

授業計画2009

経済学部

授 業 計 画

『講義内容の見方』……………(2)

参 考 ……………(4)

目次案内

経済学科・経済学科フレックスA・商学科・
現代応用経済学科

I 全学共通科目

1. 宗教教育科目……………(16)

2. 教養教育科目……………(17)

3. 外国語科目……………(22)

4. 保健体育科目……………(31)

II 専門教育科目……………(36)

III 他学部履修科目……………(46)

IV 「日本語」・「日本事情」科目……………(47)

V 随意科目……………(48)

経済学科フレックスB

I 全学共通科目

1. 宗教教育科目……………(49)

2. 教養教育科目……………(50)

3. 外国語科目……………(52)

4. 保健体育科目……………(53)

II 専門教育科目……………(54)

III 他学部履修科目……………(61)

IV 随意科目……………(62)

経済学科・経済学科フレックスA・商学科・現代応用経済学科	全学共通科目	宗教教育 教養教育 外国語 保健体育
	専門教育 履修科目	他学部 「日本語」 「日本事情」 随意科目
経済学科フレックスB	全学共通科目	宗教教育 教養教育 外国語 保健体育
	専門教育 履修科目	他学部 随意科目

『授業計画』の見方

- 1、『授業計画』は、『学習ガイドブック』（別冊）、『授業時間表』（別冊）と合わせて利用してください。
- 2、『授業計画』は、経済学部で開講されている全ての科目が掲載されています。その中で、履修できる科目は、所属する学科で開講されている科目のみです。
（この冊子に掲載されている科目全てが履修できる科目ではありませんので、注意してください。）
- 3、履修できる科目は、所属学科の『授業時間表』（別冊）に掲載されている科目です。
『授業時間表』で履修コード（※）を確認し、『授業計画』を閲覧してください。
- 4、外国語科目の再履修クラスを履修する場合は、教務部⑩番窓口で『外国語再履修科目授業時間表』を受け取り、履修コードを確認し、『授業計画』を閲覧してください。
- 5、他学部履修科目を履修する場合は、教務部⑩番窓口で『他学部履修科目授業時間表』を受け取り、履修コードを確認し、『授業計画』を閲覧してください。
- 6、教職課程・資格講座に登録している場合は、教務部で『講義内容（教職課程・資格講座）』と『課程各講座授業時間表』を受け取ってください。

※ 履修コードとは

履修コードとは、各授業に割り振られている6桁の番号です。4月の履修科目登録時にも使用します。同名科目・同担当者の科目が2つ以上ある場合、履修コードで判別することになります。履修コードの見間違いがないよう、十分注意してください。

～『授業計画』の利用手順～

- ①『学習ガイドブック』（別冊）を参照し、「授業科目の区分」や「履修できる科目」を調べる。
- ②『授業時間表』（別冊）を参照し、履修したい科目の履修コードを確認する。

（『授業時間表』の記載例）

曜日時限	科目名	担当者名	コード	備考	区分	教場名
月 1	仏教と人間	駒澤 太郎	111111	経1必		玉-111

↑
※履修コード

- ③『授業計画』の目次ページから、同様の履修コードを探し、ページを開く。

（『授業計画』目次ページの記載例）

科目名	担当者名	履修コード	ページ
仏教と人間	駒澤 太郎	111111	1

↑
※

- ④目次ページの履修コードと科目枠の履修コードが同じであることを確認して、授業内容を閲覧する。

（『授業計画』科目枠の記載例）

履修コード	111111 ←※
科目名	仏教と人間
担当者名	こまざわ たろう 駒澤 太郎

～平成 18 年度以前入学生へ～

◎「経済学科フレックスA」・「商学科」に所属の学生

フレックスB時間帯（月～金 6・7 時限、土 3～7 時限）に開講されている科目を履修したい学生は、授業内容が『授業計画』の経済学科フレックスBのページ（冊子の後半）に掲載されていますので、そちらを確認してください。

◎「経済学科フレックスB」に所属の学生

フレックスA時間帯（月～金 1～5 時限、土 1～4 時限）に開講されている科目を履修したい学生は、授業内容が『授業計画』の経済学科フレックスAのページ（冊子の前半）に掲載されていますので、そちらを確認してください。

参 考

外 国 語 科 目

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのびします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

英 語 II A

〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading : I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

英 会 話 I

〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFL® のスコア450点、TOEIC® のスコア500点程度。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 会 話 Ⅱ

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL® のスコアー480点、TOEIC® のスコアー700点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 会 話 Ⅲ

〈英会話Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFL® のスコアー500点以上、TOEIC® のスコアー900点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 語 L L I

〈英語LLⅠの授業内容と履修上の留意点〉

情報メディア機器（1号館3・4階PC教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とデジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFL® のスコアー450点、TOEIC® のスコアー500点程度を達成目標とする初級レベルです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 語 L L II

〈英語LLⅡの授業内容と履修上の留意点〉

中級：LLⅠ程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL® のスコアー480点、TOEIC® のスコアー700点程度をめざします。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

英 語 L L III

〈英語LLⅢの授業内容と履修上の留意点〉

上級：LLⅡを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が開き取り、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFL® のスコアー500点以上、TOEIC® のスコアー900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選んでください。

中 国 語

中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・句型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA－ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA－ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、授業内試験・期末試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、試験のときだけ一夜漬けて乗り切るということは絶対に不可能である。

中国語ⅡA

ⅠA－ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の文章を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・句型の学習、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内面的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語ⅡB

ⅠA－ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既習の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA－ⅠBに準ずる。

【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまうなら、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りのあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』（2002年 朝日出版社）2,800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』（2003年 小学館）語法解説や図版豊富。6,300円

相原茂『講談社中日辞典〔第二版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6,500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日辞典』（2001年 三省堂）4,000円／『小型版』（2004年）2,800円

武信彰『プログレッシブ中国語辞典』(1998年 小学館) 3,500円／『コンパクト版』(2004年) 2,600円
また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の3点も、初心者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容をもつ優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語辞典』(2002年 白水社) 7,800円

松岡榮志他『超級クラウン中日辞典』(2008年 三省堂) 6,000円

愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第二版〕』(1987年 大修館書店) 8,600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元にあれば重宝するであろう。

対外経貿大学・商務印書店・小学館『日中辞典〔第2版〕』(2002年 小学館) 7,000円

相原茂『講談社日中辞典』(2006年 講談社) 7,000円

ロ シ ア 語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているため、これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多に価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

ⅠA・ⅠB：発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

ⅡA・ⅡB：一年のⅠA・ⅠBのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

ロシア語学習上役に立つサイトを次に紹介します。

まず、学習の成果を確認するには検定試験をうけることをおすすめ。

東京ロシア語学院のサイトwww.tokyorus.ac.jpをクリックすると、応募のしかた、場所がわかります。また、同じサイトでロシア語のOSの基本的使い方、ウインドウズ日本語版でロシア語のうち方などの情報を得ることができます。ロシア語のキーボードが打てるようになったら、知りたい情報をロシア語で次のアドレスに打てば、様々な情報を詳しく得ることができます。www.gogo.ru

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

『露和辞典』（研究社）東郷 正延他著

『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編

『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村 彰一他編

『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著

『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

保健体育科目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

	1時限（現代応用）		2時限（商）		3時限（経済）		4時限（経済）	
火 曜 日	※光永	トレーニング	※高橋	空手道	※秋田	サッカー	※江口	テニス
	江口	テニス	鈴木	室内球技	山口	ソフトボール	牧野	室内球技
	舘岡	ゴルフ	舘岡	ゴルフ	高橋	空手道	山口	ソフトボール
	岩本	サッカー	山口	ソフトボール	岩本	室内球技	鈴木	卓球
	佐藤	卓球	秋田	トレーニング	牧野	卓球	岩本	サッカー
			佐藤	卓球	光永	トレーニング	秋田	トレーニング
			江口	テニス				

※は、科目の主担当者

「健康・スポーツ実習(集中授業)」開講科目一覧

集中開講科目は、前期・後期の両方を受講する必要があります。

また、前期と後期で受講する科目が変わります。科目の選択を第1回目の授業で行いますので、必ず参加してください。

《日程》前期：7月18日(土)～22日(水) 後期：1月4日(月)～8日(金)

《時間》10:00～12:00・13:00～15:30

(於：玉川校舎)

前期		後期	
※山口	室内球技	鈴木	卓球
末次	ダブルダッチ	高橋	ソフトボール
大石	太極拳	岩本	屋外球技
牧野	バドミントン	村松	室内球技

※は、科目の主担当者

「生涯スポーツ実習 I～IV」開講種目一覧

(於：本校体育館)

	月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日		
1時限							
2時限	渡	大石	下谷内	村松	牧野	前期・基礎	前期・応用
						室内球技	ミニサッカー
	後期・基礎					後期・応用	
	室内球技					ミニサッカー	
3時限	渡	大石	下谷内	末次	牧野	前期・応用	前期・基礎
						室内球技	簡化太極拳
	後期・応用					後期・基礎	
	室内球技					簡化太極拳	
4時限	渡			末次		前期・応用	
						室内球技	
	後期・応用						
	室内球技						

外国語科目

英語 I A

〈英語 I Aの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのびします。文章表現の場合、文から段落へ、会話表現の場合、日常基礎表現から、多様な会話表現の理解と運用能力を目指します。

英語 I B

〈英語 I Bの授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。読解力の場合、精読に加えて段落、章などの大意が把握できること、聴解力の場合、大意が把握できることを目指します。

英語 II A

〈英語 II Aの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I Aを基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。文章表現の場合、段落から自由作文へ、会話表現の場合、ダイアログからディスカッションを目指します。

英語 II B

〈英語 II Bの授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading : I Bを基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

英会話 I・II

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL® のスコアー450点、TOEIC® のスコアー500点程度です。

英語 LL I・II

情報メディア機器 (1号館3・4階のPC教場) を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。I、IIともTOEFL® で450点、TOEIC® 500点、英検 2 級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

中 国 語

中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・文型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA-ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA-ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、授業内試験・期末試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、試験のときだけ一夜漬けで乗り切るということは絶対に不可能である。

中国語ⅡA

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・文型の学習、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語ⅡB

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既習の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのももちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA-ⅠBに準ずる。

【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまえば、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りのあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』（2002年 朝日出版社）2,800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』（2003年 小学館）語法解説や図版豊富。6,300円

相原茂『講談社中日辞典〔第二版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6,500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日辞典』（2001年 三省堂）4,000円／『小型版』（2004年）2,800円

武信彰『プログレッシブ中国語辞典』(1998年 小学館) 3,500円／『コンパクト版』(2004年) 2,600円
また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の3点も、初心者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容をもつ優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語辞典』(2002年 白水社) 7,800円

松岡榮志他『超級クラウン中日辞典』(2008年 三省堂) 6,000円

愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第二版〕』(1987年 大修館書店) 8,600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元があれば重宝するであろう。

対外経貿大学・商務印書店・小学館『日中辞典〔第2版〕』(2002年 小学館) 7,000円

相原 茂『講談社日中辞典』(2006年 講談社) 7,000円

ロ シ ア 語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです。これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多に価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

I A・I B：発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

II A・II B：一年のI A・I Bのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

ロシア語学習上役に立つサイトを次に紹介します。

まず、学習の成果を確認するには検定試験をうけることをおすすめ。

東京ロシア語学院のサイトwww.tokyorus.ac.jpをクリックすると、応募のしかた、場所がわかります。また、同じサイトでロシア語のOSの基本的使い方、ウィンドウズ日本語版でロシア語のうち方などの情報を得ることができます。ロシア語のキーボードが打てるようになったら、知りたい情報をロシア語で次のアドレスに打てば、様々な情報を詳しく得ることができます。www.gogo.ru

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷 正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村 彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

保健体育科目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを楽しむ能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

保健体育科目時間表

(於：本校体育館)

	月 曜 日		火 曜 日		水 曜 日		木 曜 日	
6 時 限	大 石	ミニサッカー					村 松	健康・スポーツ論*
7 時 限	大 石	ミニサッカー	三 幣	健康・スポーツ論*	村 松	バドミントン		

*時間表で教場を確認のこと。

I 全学共通科目

1. 宗教教育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
仏教と人間	金沢 篤	203401	7
仏教と人間	程 正	203501	7
仏教と人間	池田 魯参	203601	8
仏教と人間	永井 政之	203701	8
仏教と人間	石井 修道	203801	9
仏教と人間	片山 一良	203901	9
仏教と人間	飯塚 大展	204001	9
仏教と人間	程 正	204011	10
仏教と人間	松田 陽志	204021	10
仏教と人間〔再クラス〕	吉津 宜英	205701	11
仏教と人間〔再クラス〕	角田 泰隆	205801	11
仏教と人間〔再クラス〕	大谷 哲夫	205901	11
仏教と人間〔再クラス〕	晴山 俊英	206001	12
自然と宗教	小川 順敬	206101	12
社会と宗教	矢野 秀武	206201	13
文化と宗教	長谷部 八朗	206301	13
坐禅	佐藤 秀孝 池上 光洋	206401	13
坐禅	佐藤 秀孝 池上 光洋	206501	13

2. 教養教育科目

・平成18年度以前入学生で『授業時間表』の区分「B」の科目を履修する場合は、フレックスBの教養教育科目のページを参照してください。

(1) 人文分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
文学〔日本文学「日本のことば」〕	相澤 貴之	206701	17
文学〔日本文学「古典」〕	塩崎 真理子	206601	17
文学〔日本文学「古典」〕	坂口 博規	206901	18
文学〔日本文学「近代」〕	石割 透	207001	18
文学〔日本のことば〕	萩原 義雄	207201	19
文学〔外国文学「アメリカ文学」〕	田中 保	207301	20
文学〔外国文学「ロシア文学」〕	杉山 秀子	207401	20
歴史学〔日本中世史〕	今野 慶信	207801	20
歴史学〔東アジア考古学〕	千葉 基次	207901	21
歴史学〔古代オリエント史〕	大城 道則	208001	21
歴史学〔西洋近代史〕	土方 史織	208101	22
歴史学〔日本近世史〕	出口 宏幸	208201	22
歴史学〔日本近代史〕	立川 章次	208301	22
芸術学〔日本美術〕	北野 良枝	208401	23
芸術学〔西洋美術〕	矢野 陽子	208501	23
芸術学〔音楽〕	浦本 裕子	208601	24
哲学〔西洋思想の源流〕	滝口 清栄	208701	24
哲学〔西洋思想の源流〕	佐藤 暁	208801	25
哲学〔西洋思想の源流〕	佐藤 暁	208901	25
哲学〔近代の人間観と世界観〕	古田 知章	209001	25
哲学〔近代の人間観と世界観〕	佐藤 暁	209101	26
哲学〔近代の人間観と世界観〕	小島 優子	209201	26
哲学〔現代文明と人間〕	黒崎 剛	209301	27
哲学〔現代文明と人間〕	滝沢 正之	209401	27
哲学〔現代文明と人間〕	麻生 享志	209501	28
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	鈴木 聡	209601	28
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	鈴木 聡	209801	28
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	鈴木 聡	210101	28
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	山口 祐弘	209701	29
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	滝口 清栄	209901	29
論理学〔知の技法〕	伊古田 理	210001	30
論理学〔知の技法〕	小島 優子	210201	30
科学史〔科学と技術〕	高橋 秀裕	210401	31
科学史〔近代科学の成立と展開〕	高橋 秀裕	210501	31
倫理学〔人間観〕	古田 知章	210601	32
倫理学〔応用倫理学〕	黒崎 剛	210701	32
倫理学〔応用倫理学〕	黒崎 剛	211111	32
倫理学〔応用倫理学〕	滝沢 正之	210901	33
倫理学〔価値観〕	久保 陽一	210801	33
倫理学〔制度とモラル〕	滝口 清栄	211001	34
倫理学〔東洋倫理〕	末木 恭彦	211101	34
宗教学〔比較宗教文化〕	池上 良正	211201	35
宗教学〔聖と俗〕	田中 かの子	211301	35

科目名	担当者名	履修コード	ページ
宗教学〔世界観と儀礼〕	小川 順敬	211401	36
宗教学〔日本人の宗教〕	矢野 秀武	211501	36
宗教学〔生活と宗教〕	菅原 壽清	211511	37
宗教学〔民俗宗教の諸相〕	星野 靖二	211521	37
人文地理学〔風土と文化〕	山口 太郎	211601	38
人文地理学〔風土と文化〕	櫻井 明久	211701	38
人文地理学〔空間と行動〕	伊藤 慎悟	211801	39
人文地理学〔空間と行動〕	伊藤 修一	211901	39

(2) 社会分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
社会学〔現代社会を考える〕	南後 由和	215801	40
社会学〔現代社会を考える〕	呉 炳三	215901	40
社会学〔現代文化を考える〕	呉 炳三	216001	41
社会学〔現代文化を考える〕	牛島 千尋	216101	42
社会学〔社会生活を考える〕	小畑 和	216201	43
社会学〔社会生活を考える〕	呉 炳三	216301	43
統計学〔社会現象の統計的分析〕	田中 正光	216401	44
統計学〔社会現象の統計的決定〕	新行内 康慈	216501	44
文化人類学〔文化と人間〕	森 雅文	216701	45
文化人類学〔文化と人間〕	加藤 之晴	216801	45
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	杉井 純一	216901	46
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	森 雅文	217001	47
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	鈴木 一馨	217101	47
文化人類学〔社会変化と価値観〕	小川 順敬	217201	48
文化人類学〔社会変化と価値観〕	内山 明子	217301	48
文化人類学〔社会変化と価値観〕	内山 明子	217401	48
法学・憲法〔法と社会生活〕	長谷川 日出世	217501	48
法学・憲法〔法と社会生活〕	和知 恵一	217601	49
法学・憲法〔法と社会生活〕	沼田 雅之	217701	50
法学・憲法〔法と社会生活〕	鷄徳 啓登	217801	51
法学・憲法〔法と国家〕	新田 浩司	218101	51
法学・憲法〔法と国家〕	新田 浩司	218201	51
法学・憲法〔法と国家〕	織田 晃子	218401	52
法学・憲法〔法と権利〕	沼田 雅之	217901	52
法学・憲法〔法と権利〕	茂野 隆晴	218501	53
法学・憲法〔法と権利〕(夏季集中)	池田 実	218601	53
政治学〔社会生活とデモクラシー〕	白鳥 浩	218701	54
政治学〔政治システムと政治参加〕	富崎 隆	218801	54
政治学〔国際社会と日本〕	山崎 望	218901	55
経済学〔現代社会と市場経済〕	畠中 貴	219001	55
経済学〔現代経済と人間〕	森田 成也	219101	56
経済学〔現代経済理解へのガイド〕	松前 龍宜	219201	56
経済学〔現代経済理解へのガイド〕	矢野 浩一	219301	57
社会科学論〔社会認識の思想〕	大石 雄爾	219401	57
教育学〔デス・エデュケーション〕	柳堀 素雅子	219501	58
教育心理〔大学生の心理〕	石橋 達也	219601	58

(3) 自然分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
生物学〔生態と進化〕	清水 善和	220201	59
生物学〔生態と進化〕	清水 善和	220301	59
生物学〔生物と環境〕	中村 敏枝	220401	59
地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕	加藤 潔	220501	60
地球科学〔地球の変遷・生命の進化〕	山縣 毅	220601	60
地球科学〔地球の変遷・生命の進化〕	山縣 毅	220801	60
地球科学〔地球システムと人間圏〕	澤口 隆	220701	61
地球科学〔自然景観の成り立ち〕	市川 清士	220901	61
地球科学〔自然景観の成り立ち〕	市川 清士	221001	61
自然環境論〔生命と環境〕	山縣 毅	221101	62
自然環境論〔生命と環境〕	山縣 毅	221201	62
自然環境論〔生命と環境〕	持丸 真里	221301	62
自然環境論〔生命と環境〕	持丸 真里	221401	62
自然環境論〔生命と環境〕	持丸 真里	221601	62
自然環境論〔生命と環境〕	中村 敏枝	221701	63
自然環境論〔地球・太陽系環境〕	坂野井 和代	221501	63
自然環境論〔生物の集団と環境〕	坂巻 義章	221801	64
自然環境論〔生物の集団と環境〕	坂巻 義章	221901	64
自然環境論〔生物の集団と環境〕	坂巻 義章	222001	64
自然誌〔現代の自然像〕	清水 善和 ・篠原 正雄 ・持丸 真里 ・山縣 毅	222201	64
自然誌〔現代の自然像〕	清水 善和 ・篠原 正雄 ・持丸 真里 ・山縣 毅	222301	64
数学〔微積分学入門〕	古宇田 悠哉	222401	65
数学〔線型代数学入門〕	古宇田 悠哉	222501	65
数学〔現代数学入門〕	福田 賢一	222601	66
情報数学〔情報と論理〕	坂野井 和代	222701	66
物理学〔光と物質〕	篠原 正雄	222801	67
物理学〔光と物質〕	篠原 正雄	222901	67
化学〔衣食住の化学〕	持丸 真里	223001	67
化学〔衣食住の化学〕	持丸 真里	223101	67
宇宙科学〔星と銀河〕	篠原 正雄	223201	67
宇宙科学〔星と銀河〕	篠原 正雄	223301	67
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	谷本 玲大	223401	68
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	谷本 玲大	223701	68
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	谷本 玲大	223901	68
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	谷本 玲大	224201	68
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	山本 博信	223501	69
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	小川 健次郎	223601	70
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	小川 健次郎	224101	70
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	澤口 隆	223801	70
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	澤口 隆	224301	70
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	山本 博信	224001	71
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	古宇田 悠哉	224401	72

科目名	担当者名	履修コード	ページ
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	山本 博信	224601	72
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	長坂 浩史	224701	73
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	小川 健次郎	224801	73
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	小川 健次郎	224901	73
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	谷本 玲大	225001	74
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)	谷本 玲大	225201	75
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	坂野井 和代	225601	76
コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕	坂野井 和代	225701	76
コンピュータ応用〔コンピュータの原理〕	坂野井 和代	225801	76
コンピュータ応用〔コンピュータの原理〕	坂野井 和代	225901	76
人類学〔人類の進化〕	馬場 悠男	226001	77
人類学〔人類の進化〕	馬場 悠男	226101	77
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	高橋 良博	226201	77
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	本間 美智子	226301	77
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	加藤 博己	226401	78
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	杉山 雅美	226501	78
心理学〔人間関係を考える〕	高橋 良博	226601	79
心理学〔人間関係を考える〕	鈴木 順一	226701	80
心理学〔人間関係を考える〕	鈴木 順一	226901	80
心理学〔人間関係を考える〕	加藤 博己	226801	81
心理学〔心を科学する〕	高橋 良博	227001	81
心理学〔心を科学する〕	堀内 正彦	227101	82
心理学〔心を科学する〕	中丸 茂	227201	83
心理学〔心を科学する〕(夏季集中)	深堀 友覚	227301	84

(4) 総合分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
総合I〔仏教と社会〕	熊本 英人	228201	85
総合I〔仏教と芸術〕	村松 哲文	228301	85
総合II〔自然観察入門富浦をめぐる人と自然〕	清水 善和 ・漆原 和子 ・坂野井 和代 ・篠原 正雄 ・須山 聡 ・出口 宏幸 ・持丸 真里 ・柳澤 紀夫 ・山縣 毅	228501	86
総合III〔TOEFL (R) の問題で学ぶ知的教養〕	白鳥 義博	228801	86
総合III〔小説と映画で読み解く現代中国〕	塩旗 伸一郎	228901	87
総合IV〔現代アメリカ事情〕	林 明人	229001	87
総合IV〔新市民社会論〕	西村 祐子	229101	88
総合IV〔ポスト・モダンの世界〕	丸小 哲雄	229201	89
総合V〔イギリスの歴史と文化〕	石原 孝哉	229301	89
総合VI〔民族とは何か〕	大野 祐二	229601	90
総合VI〔イスラム〕	吉田 京子	229701	90
総合VI〔フェミニズム・ジェンダー〕	早川 紀代	229801	91
総合VII〔トラブルと法的解決〕	中濱 義章 ・井上 健一 ・北野 かほる ・佐藤 多美夫 ・中田 英幸 ・向田 正巳	229901	92
総合VII〔都市論〕	早川 純貴 ・饗庭 伸 ・浦田 早苗 ・堀内 康史 ・村上 暁信	230001	93
総合VIII	休講	—	

3. 外国語科目

《必修科目・選択必修科目》

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語IA	川崎 笑佳	236501	97
英語IA	石原 孝哉	236601	97
英語IA	大庭 直樹	236701	97
英語IA	三輪 久恵	236801	98
英語IA	三輪 久恵	237001	98
英語IA	梅原 敏弘	237101	98
英語IA	水崎 野里子	237201	99
英語IA	真砂 久晃	237401	99
英語IA	岩屋 玉江	237501	99
英語IA	吉沢 栄治郎	237601	99
英語IA	朝川 真紀	237701	100
英語IA	岡本 誠	237801	100
英語IA	相馬 美明	237901	100
英語IA	安齋 薫	237911	101
英語IA	小布施 圭佐三	237921	101
英語IA	松堂 啓子	237931	102
英語IA	甲斐 捷子	237941	102
英語IA〔基礎英語特別クラス〕	岡本 誠	240231	103
英語IB	伊良部 祥子	243201	103
英語IB	伊良部 祥子	244631	103
英語IB	塚本 利男	243301	104
英語IB	三芳 康義	243401	104
英語IB	三芳 康義	243801	104
英語IB	濱口 真木	243701	104
英語IB	樋渡 俊光	243901	105
英語IB	濱口 真木	244001	105
英語IB	石原 孝哉	244101	105
英語IB	伊良部 祥子	244201	105
英語IB	杉村 初枝	244301	106
英語IB	樋渡 俊光	244401	106
英語IB	川崎 浩太郎	244501	106
英語IB	川崎 浩太郎	244611	106
英語IB	濱口 真木	244601	106
英語IB	樋渡 俊光	244621	107
英語IB	杉村 初枝	244641	107
英語IB〔基礎英語特別クラス〕	石原 孝哉	246921	107
英語IIA	井伊 順彦	250801	107
英語IIA	鈴木 美貴子	250901	108
英語IIA	竹村 恵都子	251001	108
英語IIA	丸小 哲雄	251101	108
英語IIA	岸本 茂和	251201	109
英語IIA	三幣 友行	251301	109
英語IIA	林 明人	251401	110
英語IIA	塙 美智子	251411	110

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語IIA	埴 美智子	251961	110
英語IIA	足田 和人	251601	110
英語IIA	伊勢村 定雄	251701	111
英語IIA	西田 義和	251801	111
英語IIA	渡部 孝治	251901	112
英語IIA	塚本 利男	251911	112
英語IIA	芝田 興太郎	251951	112
英語IIA	西村 祐子	251971	113
英語IIB	池上 賀英子	256301	113
英語IIB	市川 仁	256401	114
英語IIB	太田 雅子	256501	114
英語IIB	吉川 直澄	256601	114
英語IIB	植村 恵子	256701	114
英語IIB	清水 雅夫	256801	115
英語IIB	井出 功一	256901	115
英語IIB	井出 功一	257571	115
英語IIB	萩原 輝	256911	115
英語IIB	吉沢 栄治郎	257201	116
英語IIB	田中 靖子	257301	116
英語IIB	岡本 誠	257401	116
英語IIB	熊沢 和明	257501	117
英語IIB	飯沼 好永	257511	117
英語IIB	尾形 重政	257551	118
英語IIB	杉本 誠	257561	118
ドイツ語IA	河上 和史	266901	118
ドイツ語IA	井村 行子	266911	119
ドイツ語IB	松岡 晋	267801	119
ドイツ語IB	堀内 美江	267811	119
ドイツ語IIA	松岡 晋	268101	120
ドイツ語IIA	松岡 晋	268311	120
ドイツ語IIA	飯塚 公夫	268111	120
ドイツ語IIA	武田 利勝	268301	120
ドイツ語IIB	飯塚 公夫	268401	121
ドイツ語IIB	藪下 紘一	268501	121
ドイツ語IIB	森 公成	268511	121
フランス語IA	伊藤 なお	269901	121
フランス語IA	出口 雅敏	269911	122
フランス語IB	東 辰之介	270901	122
フランス語IB	遠山 博雄	270911	122
フランス語IIA	東 辰之介	271201	123
フランス語IIA	遠山 博雄	271211	123
フランス語IIA	遠山 博雄	271301	123
フランス語IIA	今関 アン	271401	123
フランス語IIB	菅谷 暁	271501	123
フランス語IIB	畑中 千晶	271601	124
フランス語IIB	遠山 博雄	271611	124
中国語IA	曹 泰和	274101	124
中国語IB	三田村 圭子	276501	124
中国語IA	宮本 厚子	274201	124
中国語IB	陳 洲拳	276601	124

科目名	担当者名	履修コード	ページ
中国語IA	児島 弘一郎	274211	125
中国語IB	児島 弘一郎	276611	125
中国語IIA	吉田 建一郎	277201	125
中国語IIA	梅田 雅子	277301	125
中国語IIA	児島 弘一郎	277401	126
中国語IIA	児島 弘一郎	277811	126
中国語IIA	弘兼 加奈子	277501	126
中国語IIA	秋元 翼	277601	126
中国語IIA	岩崎 皇	277701	126
中国語IIA	李 雲	277801	127
中国語IIB	吉田 建一郎	278001	127
中国語IIB	梅田 雅子	278101	128
中国語IIB	弘兼 加奈子	278111	128
中国語IIB	児島 弘一郎	278301	129
中国語IIB	秋元 翼	278401	129
中国語IIB	李 雲	278501	129
中国語IIB	本間 由香利	278511	129
スペイン語IA	佐藤 麻里乃	280501	130
スペイン語IA	齊藤 明美	280511	130
スペイン語IA	真下 祐一	280521	130
スペイン語IB	上野 勝広	281701	131
スペイン語IB	真下 祐一	281711	131
スペイン語IB	石井 登	281721	131
スペイン語IIA	真下 祐一	282101	132
スペイン語IIA	石井 登	282111	132
スペイン語IIA	大岩 功	282121	132
スペイン語IIA	大岩 功	282301	133
スペイン語IIA	上野 勝広	282401	133
スペイン語IIB	大岩 功	282501	133
スペイン語IIB	石井 登	282511	134
スペイン語IIB	大岩 功	282601	134
スペイン語IIB	上野 勝広	282611	134
スペイン語IIB	齊藤 明美	282621	135
ロシア語IA	大須賀 史和	283601	135
ロシア語IB	木村 英明	284001	136
ロシア語IIA	木村 英明	284201	136
ロシア語IIA	杉山 秀子	284301	136
ロシア語IIB	木村 英明	284401	137
ロシア語IIB	佐野 朝子	284501	137

《再履修クラス》

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語IA〔再クラス〕	大淵 利春	291501	138
英語IA〔再クラス〕	山口 晃	291601	138
英語IA〔再クラス〕	伊藤 美代子	291701	138
英語IA〔再クラス〕	岩井 洋美	291801	138
英語IA〔再クラス〕	飯沼 好永	291901	139
英語IA〔再クラス〕	町田 成男	292001	139
英語IA〔再クラス〕	外池 一子	292301	139
英語IA〔再クラス〕	太田 由紀子	292601	140
英語IA〔再クラス〕	手島 敬子	292701	140
英語IB〔再クラス〕	三芳 康義	293201	140
英語IB〔再クラス〕	安齋 薫	293401	141
英語IB〔再クラス〕	濱口 真木	293601	141
英語IB〔再クラス〕	白鳥 義博	293901	141
英語IB〔再クラス〕	川崎 笑佳	294001	141
英語IB〔再クラス〕	岩原 康夫	294101	142
英語IB〔再クラス〕	近藤 真彰	294201	142
英語IB〔再クラス〕	江田 幸子	294211	142
英語IIA〔再クラス〕	太田 美智子	294601	143
英語IIA〔再クラス〕	塙 美智子	295001	143
英語IIA〔再クラス〕	小泉 和弘	295101	143
英語IIA〔再クラス〕	川崎 浩太郎	295301	143
英語IIA〔再クラス〕	佐藤 江里子	295401	144
英語IIA〔再クラス〕	梅原 敏弘	295501	144
英語IIA〔再クラス〕	笹倉 貞夫	295601	144
英語IIB〔再クラス〕	濱口 真木	295801	144
英語IIB〔再クラス〕	行廣 泰三	295901	145
英語IIB〔再クラス〕	高野 秀夫 (後期) ・ 甲斐 捷子 (前期)	296201	145
英語IIB〔再クラス〕	佐藤 江里子	296301	146
英語IIB〔再クラス〕	丸小 哲雄	296501	146
英語IIB〔再クラス〕	本間 俊一	296901	147
ドイツ語IA〔再クラス〕	本橋 右京	297101	147
ドイツ語IA〔再クラス〕	志真 斗美恵	297201	147
ドイツ語IA〔再クラス〕	武田 利勝	297401	148
ドイツ語IA〔再クラス〕	野島 利彰	297411	148
ドイツ語IB〔再クラス〕	飯塚 公夫	297501	148
ドイツ語IB〔再クラス〕	杉本 正俊	297601	148
ドイツ語IB〔再クラス〕	薮下 紘一	297801	149
ドイツ語IB〔再クラス〕	南 はるつ	297901	149
ドイツ語IIA〔再クラス〕	森 公成	298001	149
ドイツ語IIB〔再クラス〕	森 公成	298002	149
ドイツ語IIA〔再クラス〕	本橋 右京	298101	149
ドイツ語IIB〔再クラス〕	本橋 右京	298102	149
ドイツ語IIA〔再クラス〕	薮下 紘一	298201	150
ドイツ語IIB〔再クラス〕	薮下 紘一	298202	150
フランス語IA〔再クラス〕	芦原 眷	298801	150

科目名	担当者名	履修コード	ページ
フランス語IA〔再クラス〕	大野 英士	298901	150
フランス語IA〔再クラス〕	菅原 猛	299001	150
フランス語IA〔再クラス〕	谷川 かおる	299011	151
フランス語IB〔再クラス〕	菅谷 暁	299101	151
フランス語IB〔再クラス〕	今関 アン	299201	151
フランス語IB〔再クラス〕	伊藤 なお	299301	151
フランス語IB〔再クラス〕	谷川 かおる	299501	152
フランス語IIA〔再クラス〕	畑中 千晶	299601	152
フランス語IIB〔再クラス〕	畑中 千晶	299602	152
フランス語IIA〔再クラス〕	今関 アン	299701	152
フランス語IIB〔再クラス〕	今関 アン	299702	152
フランス語IIA〔再クラス〕	桑田 禮彰	299801	152
フランス語IIB〔再クラス〕	桑田 禮彰	299802	152
中国語IA〔再クラス〕	秋元 翼	300601	153
中国語IB〔再クラス〕	秋元 翼	300602	153
中国語IA〔再クラス〕	天野 節	301201	153
中国語IB〔再クラス〕	天野 節	301202	153
中国語IA〔再クラス〕	小川 隆	301301	153
中国語IB〔再クラス〕	小川 隆	301302	153
中国語IA〔再クラス〕	布施 直子	301401	153
中国語IB〔再クラス〕	布施 直子	301402	153
中国語IA〔再クラス〕	弘兼 加奈子	301501	153
中国語IB〔再クラス〕	弘兼 加奈子	301502	153
中国語IA〔再クラス〕	曹 泰和	301511	154
中国語IB〔再クラス〕	曹 泰和	301512	154
中国語IIA〔再クラス〕	本間 由香利	301801	154
中国語IIB〔再クラス〕	本間 由香利	301802	154
中国語IIA〔再クラス〕	大久保 明男	301901	154
中国語IIB〔再クラス〕	大久保 明男	301902	154
中国語IIA〔再クラス〕	李 雲	302001	154
中国語IIB〔再クラス〕	李 雲	302002	154
スペイン語IA〔再クラス〕	大岩 功	302601	155
スペイン語IB〔再クラス〕	大岩 功	302602	155
スペイン語IA〔再クラス〕	齊藤 明美	302701	155
スペイン語IB〔再クラス〕	齊藤 明美	302702	155
スペイン語IA〔再クラス〕	石井 登	302801	155
スペイン語IB〔再クラス〕	石井 登	302802	155
スペイン語IA〔再クラス〕	荻野 恵	303001	156
スペイン語IB〔再クラス〕	荻野 恵	303002	156
スペイン語IA〔再クラス〕	佐藤 麻里乃	303011	156
スペイン語IB〔再クラス〕	佐藤 麻里乃	303012	156
スペイン語IIA〔再クラス〕	齊藤 明美	303101	156
スペイン語IIB〔再クラス〕	齊藤 明美	303102	156
スペイン語IIA〔再クラス〕	大岩 功	303201	157
スペイン語IIB〔再クラス〕	大岩 功	303202	157
スペイン語IIA〔再クラス〕	石井 登	303301	157
スペイン語IIB〔再クラス〕	石井 登	303302	157
ロシア語IA〔再クラス〕	廣田 英靖	303501	157
ロシア語IB〔再クラス〕	廣田 英靖	303502	157
ロシア語IA〔再クラス〕	佐野 朝子	303601	158

科目名	担当者名	履修コード	ページ
ロシア語IB〔再クラス〕	佐野 朝子	303602	158
ロシア語IA〔再クラス〕	木村 英明	303701	158
ロシア語IB〔再クラス〕	木村 英明	303702	158
ロシア語IA〔再クラス〕	安徳 ニーナ	303801	158
ロシア語IB〔再クラス〕	安徳 ニーナ	303802	158
ロシア語IIA〔再クラス〕	クロチコフ、Y.	303901	159
ロシア語IIB〔再クラス〕	クロチコフ、Y.	303902	159
ロシア語IIA〔再クラス〕	大須賀 史和	304001	159
ロシア語IIB〔再クラス〕	大須賀 史和	304002	159
ロシア語IIA〔再クラス〕	安徳 ニーナ	304101	159
ロシア語IIB〔再クラス〕	安徳 ニーナ	304102	159

《選択科目》

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英文講読	林 明人	284901	160
英文講読	矢島 直子	285001	160
英文講読	前田 脩	285101	160
時事英語研究	岡本 誠	285701	161
時事英語研究	梅原 敏弘	285801	161
時事英語研究	白鳥 義博	285811	161
時事英語研究	落合 和昭	285901	162
時事英語研究	矢島 直子	285911	163
マルチ・メディア	落合 和昭	286501	164
マルチ・メディア	大庭 直樹	286601	165
マルチ・メディア	梅原 敏弘	286701	165
マルチ・メディア	大庭 直樹	286801	166
英会話I	セイジ、K	264201	166
英会話I	セイジ、K	264301	166
英会話I	セイジ、K	264601	166
英会話I	ウェルズ、J. K.	264401	167
英会話I	ウェルズ、J. K.	264501	167
英会話I	ウェルズ、J. K.	264801	167
英会話I	ウェルズ、J. K.	265321	167
英会話I	ミックエリゴッ ト、J. P.	264701	168
英会話I	ミックエリゴッ ト、J. P.	265001	168
英会話I	ミックエリゴッ ト、J. P.	265311	168
英会話I	レーン、C. M.	264901	168
英会話I	レイン、R. V.	265201	169
英会話I	ロンゴ、T.	265101	170
英会話I	ロンゴ、T.	265301	170
英会話II	セイジ、K	287401	171
英会話II	ロンゴ、T.	287501	172
英会話II	レイン、R. V.	287601	173
英会話III	ウェルズ、J. K.	287701	173
英会話III	レーン、C. M.	287801	174
英語LLI	西村 祐子	265401	175
英語LLI	岸本 茂和	265501	175
英語LLI	井伊 順彦	265601	176
英語LLI	川崎 浩太郎	265701	176
英語LLI	外池 一子	265801	176
英語LLI	外池 一子	265901	176
英語LLI	甲斐 捷子	266001	177
英語LLI	久保 ひさ子	266101	177

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語LLII	セイジ、K	288501	177
英語LLII	高橋 明子	288601	178
英語LLII	加藤 佐和子	288701	178
英語LLIII	勅使河原 三保子	289301	178
英語LLIII	西村 祐子	289401	179
英語LLIII	久保 ひさ子	289501	179
名文で味わうドイツ語	松岡 晋	285201	180
現代を読むドイツ語	野島 利彰	286001	180
時事ドイツ語	野島 利彰	286002	180
ドイツ語スキルアップ	堀内 美江	286901	180
上級ドイツ語	堀内 美江	286902	180
ドイツ語コミュニケーションI	小林 ゲアリンデ	288001	181
ドイツ語コミュニケーションII	小林 ゲアリンデ	288801	181
ドイツ語IA (選)	武田 利勝	289601	181
ドイツ語IB (選)	井村 行子	290201	181
ドイツ語II (選)	井村 行子	290801	182
名文で味わうフランス語	東 辰之介	285301	182
現代を読むフランス語	桑田 禮彰	286101	182
時事フランス語	桑田 禮彰	286102	182
フランス語スキルアップ	遠山 博雄	287001	182
上級フランス語	遠山 博雄	287002	182
フランス語コミュニケーションI	ラリア・三倉、M.	288101	183
フランス語コミュニケーションII	ラリア・三倉、M.	288901	183
フランス語IA (選)	東 辰之介	289701	183
フランス語IA (選)	出口 雅敏	289711	183
フランス語IB (選)	菅原 猛	290301	184
フランス語II (選)	桑田 禮彰	290901	184
名文で味わう中国語	塩旗 伸一郎	285401	184
現代を読む中国語	岩崎 皇	286201	184
時事中国語	岩崎 皇	286202	184
中国語スキルアップ	児島 弘一郎	287101	185
上級中国語	児島 弘一郎	287102	185
中国語コミュニケーションI	陳 洲拳	288201	185
中国語コミュニケーションII	小川 隆	289001	185
中国語IA (選)	吉田 建一郎	289801	185
中国語IA (選)	岩崎 皇	289811	186
中国語IB (選)	大久保 明男	290401	186
中国語II (選)	三田村 圭子	291001	186
名文で味わうスペイン語	齊藤 明美	285501	187
現代を読むスペイン語	齊藤 明美	286301	187
時事スペイン語	齊藤 明美	286302	187
スペイン語スキルアップ	上野 勝広	287201	187
上級スペイン語	上野 勝広	287202	187

科目名	担当者名	履修コード	ページ
スペイン語コミュニケーションI	モラーレス、ムニョス、S.	288301	188
スペイン語コミュニケーションII	モラーレス、ムニョス、S.	289101	188
スペイン語IA (選)	中島 聡子	289901	188
スペイン語IB (選)	齊藤 明美	290501	189
スペイン語II (選)	佐藤 麻里乃	291101	189
名文で味わうロシア語	廣田 英靖	285601	190
現代を読むロシア語	木村 英明	286401	190
時事ロシア語	木村 英明	286402	190
ロシア語スキルアップ	クロチコフ、Y.	287301	190
上級ロシア語	クロチコフ、Y.	287302	190
ロシア語コミュニケーションI	安徳 ニーナ	288401	191
ロシア語コミュニケーションII	安徳 ニーナ	289201	191
ロシア語IA (選)	クロチコフ、Y.	290001	191
ロシア語IB (選)	木村 英明	290601	192
ロシア語II (選)	クロチコフ、Y.	291201	192
朝鮮語IA (選)	宋 美玲	290101	192
朝鮮語IB (選)	宋 美玲	290701	193
朝鮮語II (選)	宋 美玲	291211	193

4. 保健体育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
健康・スポーツ実習（空手道）	高橋 俊介	194801	197
健康・スポーツ実習（ゴルフ）	館岡 儀秋	194801	197
健康・スポーツ実習（卓球）	佐藤 政之	194801	198
健康・スポーツ実習（トレーニング）	秋田 浩一	194801	199
健康・スポーツ実習（室内球技）	鈴木 淳平	194801	199
健康・スポーツ実習（テニス）	江口 淳一	194801	200
健康・スポーツ実習（ソフトボール）	山口 良博	194801	201
健康・スポーツ実習（サッカー）	秋田 浩一	194901	201
健康・スポーツ実習（室内球技）	岩本 哲也	194901	202
健康・スポーツ実習（ソフトボール）	山口 良博	194901	202
健康・スポーツ実習（空手道）	高橋 俊介	194901	203
健康・スポーツ実習（卓球）	牧野 茂	194901	203
健康・スポーツ実習（トレーニング）	光永 吉輝	194901	204
健康・スポーツ実習（テニス）	江口 淳一	195001	205
健康・スポーツ実習（室内球技）	牧野 茂	195001	206
健康・スポーツ実習（サッカー）	岩本 哲也	195001	206
健康・スポーツ実習（トレーニング）	秋田 浩一	195001	207
健康・スポーツ実習（ソフトボール）	山口 良博	195001	208
健康・スポーツ実習（卓球）	鈴木 淳平	195001	208
健康・スポーツ実習（トレーニング）	光永 吉輝	195011	209
健康・スポーツ実習（サッカー）	岩本 哲也	195011	210
健康・スポーツ実習（テニス）	江口 淳一	195011	211
健康・スポーツ実習（ゴルフ）	館岡 儀秋	195011	212
健康・スポーツ実習（卓球）	佐藤 政之	195011	212
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	三幣 晴三	195901	213
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	三幣 晴三	196001	213
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	三幣 晴三	196101	213
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	三幣 晴三	196201	213
健康・スポーツ実習〔再クラス〕（室内球技）	三幣 晴三	196301	213
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（室内球技）	山口 良博 （前期）	196401	213
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（ダブルダッチ）	末次 美樹 （前期）	196401	214
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（太極拳）	大石 武士 （前期）	196401	215
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（バドミントン）	牧野 茂（前期）	196401	216
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（卓球）	鈴木 淳平 （後期）	196401	217
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（ソフトボール）	高橋 俊介 （後期）	196401	218
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（屋外球技）	岩本 哲也 （後期）	196401	219
健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（室内球技）	村松 誠（後期）	196401	220
健康・スポーツ実習（集中授業）（室内球技）	山口 良博 （前期）	196402	213

科目名	担当者名	履修コード	ページ
健康・スポーツ実習（集中授業）（ダブルダッチ）	末次 美樹 （前期）	196402	214
健康・スポーツ実習（集中授業）（太極拳）	大石 武士 （前期）	196402	215
健康・スポーツ実習（集中授業）（バドミントン）	牧野 茂（前期）	196402	216
健康・スポーツ実習（集中授業）（卓球）	鈴木 淳平 （後期）	196402	217
健康・スポーツ実習（集中授業）（ソフトボール）	高橋 俊介 （後期）	196402	218
健康・スポーツ実習（集中授業）（屋外球技）	岩本 哲也 （後期）	196402	219
健康・スポーツ実習（集中授業）（室内球技）	村松 誠（後期）	196402	220
生涯スポーツ実習I（前期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196501	220
生涯スポーツ実習II（前期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196502	220
生涯スポーツ実習III（前期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196503	220
生涯スポーツ実習IV（前期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196504	220
生涯スポーツ実習I（後期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196601	221
生涯スポーツ実習II（後期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196602	221
生涯スポーツ実習III（後期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196603	221
生涯スポーツ実習IV（後期・基礎）（室内球技）	渡辺 一郎	196604	221
生涯スポーツ実習I（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196701	221
生涯スポーツ実習II（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196702	221
生涯スポーツ実習III（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196703	221
生涯スポーツ実習IV（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196704	221
生涯スポーツ実習I（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196801	222
生涯スポーツ実習II（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196802	222
生涯スポーツ実習III（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196803	222
生涯スポーツ実習IV（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196804	222
生涯スポーツ実習I（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196901	222
生涯スポーツ実習II（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196902	222
生涯スポーツ実習III（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196903	222
生涯スポーツ実習IV（前期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	196904	222
生涯スポーツ実習I（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	197001	223
生涯スポーツ実習II（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	197002	223
生涯スポーツ実習III（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	197003	223
生涯スポーツ実習IV（後期・応用）（室内球技）	渡辺 一郎	197004	223
生涯スポーツ実習I（前期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197101	223
生涯スポーツ実習II（前期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197102	223
生涯スポーツ実習III（前期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197103	223
生涯スポーツ実習IV（前期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197104	223
生涯スポーツ実習I（後期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197201	224
生涯スポーツ実習II（後期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197202	224
生涯スポーツ実習III（後期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197203	224
生涯スポーツ実習IV（後期・応用）（ミニサッカー）	大石 武士	197204	224
生涯スポーツ実習I（前期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197301	224
生涯スポーツ実習II（前期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197302	224
生涯スポーツ実習III（前期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197303	224
生涯スポーツ実習IV（前期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197304	224
生涯スポーツ実習I（後期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197401	225
生涯スポーツ実習II（後期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197402	225

科目名	担当者名	履修コード	ページ
生涯スポーツ実習III（後期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197403	225
生涯スポーツ実習IV（後期・基礎）（簡化太極拳）	大石 武士	197404	225
生涯スポーツ実習I（前期・基礎）（室内球技）	下谷内 勝利	197501	225
生涯スポーツ実習II（前期・基礎）（室内球技）	下谷内 勝利	197502	225
生涯スポーツ実習III（前期・基礎）（室内球技）	下谷内 勝利	197503	225
生涯スポーツ実習IV（前期・基礎）（室内球技）	下谷内 勝利	197504	225
生涯スポーツ実習I（後期・基礎）（室内球技）	下谷内 勝利	197601	226
生涯スポーツ実習II（後期・基礎）（室内球技）	下谷内 勝利	197602	226
生涯スポーツ実習III（後期・基礎）（室内球技）	下谷内 勝利	197603	226
生涯スポーツ実習IV（後期・基礎）（室内球技）	下谷内 勝利	197604	226
生涯スポーツ実習I（前期・基礎）（室内球技）	下谷内 勝利	197701	227
生涯スポーツ実習II（前期・基礎）（室内球技）	下谷内 勝利	197702	227
生涯スポーツ実習III（前期・基礎）（室内球技）	下谷内 勝利	197703	227
生涯スポーツ実習IV（前期・基礎）（室内球技）	下谷内 勝利	197704	227
生涯スポーツ実習I（後期・基礎）（室内球技）	下谷内 勝利	197801	228
生涯スポーツ実習II（後期・基礎）（室内球技）	下谷内 勝利	197802	228
生涯スポーツ実習III（後期・基礎）（室内球技）	下谷内 勝利	197803	228
生涯スポーツ実習IV（後期・基礎）（室内球技）	下谷内 勝利	197804	228
生涯スポーツ実習I（前期・応用）（卓球）	村松 誠	197901	228
生涯スポーツ実習II（前期・応用）（卓球）	村松 誠	197902	228
生涯スポーツ実習III（前期・応用）（卓球）	村松 誠	197903	228
生涯スポーツ実習IV（前期・応用）（卓球）	村松 誠	197904	228
生涯スポーツ実習I（後期・応用）（卓球）	村松 誠	198001	229
生涯スポーツ実習II（後期・応用）（卓球）	村松 誠	198002	229
生涯スポーツ実習III（後期・応用）（卓球）	村松 誠	198003	229
生涯スポーツ実習IV（後期・応用）（卓球）	村松 誠	198004	229
生涯スポーツ実習I（前期・基礎）（ダブルダッチ）	末次 美樹	198101	229
生涯スポーツ実習II（前期・基礎）（ダブルダッチ）	末次 美樹	198102	229
生涯スポーツ実習III（前期・基礎）（ダブルダッチ）	末次 美樹	198103	229
生涯スポーツ実習IV（前期・基礎）（ダブルダッチ）	末次 美樹	198104	229
生涯スポーツ実習I（後期・基礎）（ダブルダッチ）	末次 美樹	198201	230
生涯スポーツ実習II（後期・基礎）（ダブルダッチ）	末次 美樹	198202	230
生涯スポーツ実習III（後期・基礎）（ダブルダッチ）	末次 美樹	198203	230
生涯スポーツ実習IV（後期・基礎）（ダブルダッチ）	末次 美樹	198204	230
生涯スポーツ実習I（前期・応用）（室内球技）	末次 美樹	198301	230
生涯スポーツ実習II（前期・応用）（室内球技）	末次 美樹	198302	230
生涯スポーツ実習III（前期・応用）（室内球技）	末次 美樹	198303	230
生涯スポーツ実習IV（前期・応用）（室内球技）	末次 美樹	198304	230
生涯スポーツ実習I（後期・応用）（室内球技）	末次 美樹	198401	231
生涯スポーツ実習II（後期・応用）（室内球技）	末次 美樹	198402	231
生涯スポーツ実習III（後期・応用）（室内球技）	末次 美樹	198403	231
生涯スポーツ実習IV（後期・応用）（室内球技）	末次 美樹	198404	231
生涯スポーツ実習I（前期・応用）（バスケットボール）	牧野 茂	198701	231
生涯スポーツ実習II（前期・応用）（バスケットボール）	牧野 茂	198702	231
生涯スポーツ実習III（前期・応用）（バスケットボール）	牧野 茂	198703	231
生涯スポーツ実習IV（前期・応用）（バスケットボール）	牧野 茂	198704	231
生涯スポーツ実習I（後期・応用）（バスケットボール）	牧野 茂	198801	232
生涯スポーツ実習II（後期・応用）（バスケットボール）	牧野 茂	198802	232
生涯スポーツ実習III（後期・応用）（バスケットボール）	牧野 茂	198803	232
生涯スポーツ実習IV（後期・応用）（バスケットボール）	牧野 茂	198804	232

科目名	担当者名	履修コード	ページ
生涯スポーツ実習I (前期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	198901	232
生涯スポーツ実習II (前期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	198902	232
生涯スポーツ実習III (前期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	198903	232
生涯スポーツ実習IV (前期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	198904	232
生涯スポーツ実習I (後期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	199001	233
生涯スポーツ実習II (後期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	199002	233
生涯スポーツ実習III (後期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	199003	233
生涯スポーツ実習IV (後期・基礎) (バスケットボール)	牧野 茂	199004	233
生涯スポーツ演習I (シーズン基礎) (ゴルフ)	三幣 晴三 佐藤 政之 下谷内 勝利 末次 美樹 鈴木 淳平 竹田 幸夫 館岡 儀秋 牧野 茂 光永 吉輝	199301	234
生涯スポーツ演習I (シーズン応用) (ゴルフ)	三幣 晴三 佐藤 政之 下谷内 勝利 末次 美樹 鈴木 淳平 竹田 幸夫 館岡 儀秋 牧野 茂 光永 吉輝	199302	234
生涯スポーツ演習II (シーズン基礎) (スキー・スノーボード)	鈴木 淳平 秋田 浩一 岩本 哲也 江口 淳一 佐藤 政之 下谷内 勝利 末次 美樹 竹田 幸夫 山口 良博	199401	235
生涯スポーツ演習II (シーズン応用) (スキー・スノーボード)	鈴木 淳平 秋田 浩一 岩本 哲也 江口 淳一 佐藤 政之 下谷内 勝利 末次 美樹 竹田 幸夫 山口 良博	199402	235
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎) (テニス)	江口 淳一	199501	236
生涯スポーツ実習 (集中前期・応用) (テニス)	江口 淳一	199502	236
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎) (ゴルフ)	三幣 晴三	199701	237

科目名	担当者名	履修コード	ページ
生涯スポーツ実習（集中後期・応用）（ゴルフ）	三幣 晴三	199702	237
健康・スポーツ論 1	鈴木 淳平	200201	237
健康・スポーツ論 1	高橋 俊介	200401	238
健康・スポーツ論 1	佐藤 政之	201111	238
健康・スポーツ論 2	大石 武士	201201	239
健康・スポーツ論 2	下谷内 勝利	201401	239
健康・スポーツ論 2	村松 誠	201601	240
健康・スポーツ論 2	牧野 茂	201801	240
余暇学	竹田 幸夫	202001	241
余暇学	三幣 晴三	202201	241

II 専門教育科目

・フレックスB時間帯に開講されている科目があります。開講时限は授業時間表で確認してください。

科目名	担当者名	履修コード	ページ
経済学概説	瀬戸岡 紘	089201	245
経済学概説	松井 柳平	089301	246
経済学概説	安元 稔	089401	247
経済学概説	森田 成也	089512	248
経済学基礎	森田 成也	089511	248
経済理論A・資本の原理	有井 行夫	089701	248
経済理論IA・資本の原理	有井 行夫	089702	248
経済理論A・資本の原理	大石 雄爾	089801	249
経済理論IA・資本の原理	大石 雄爾	089802	249
経済理論A・資本の原理	阿部 弘	089901	250
経済理論IA・資本の原理	阿部 弘	089902	250
ミクロ経済学	畠中 貴	090101	250
経済理論II・ミクロ経済学	畠中 貴	090102	250
ミクロ経済学	松井 柳平	090201	251
経済理論II・ミクロ経済学	松井 柳平	090202	251
マクロ経済学	荒木 勝啓	090301	252
経済理論II・マクロ経済学	荒木 勝啓	090302	252
マクロ経済学	浅野 克巳	090401	253
経済理論II・マクロ経済学	浅野 克巳	090402	253
経済学史	福原 好喜	090501	254
経済史	安元 稔	090601	255
経済政策	飯田 泰之	090701	256
財政学	野村 容康	090801	256
金融論	代田 純	090901	257
社会政策	光岡 博美	091001	257
日本経済論	沼田 郷	091101	258
国際経済論	徳永 俊明	091201	258
流通論基礎	番場 博之	091311	259
商学総論	番場 博之	091312	259
経営学基礎	松田 健	091411	260
経営学総論	松田 健	091412	260
会計学基礎	石川 祐二	091511	261
会計学総論	石川 祐二	091512	261
会計学総論	寺坪 修	091601	261
社会経済学 a	阿部 弘	097211	261
社会経済学 b	阿部 弘	097221	262
企業経済学 a	飯田 泰之	097231	262
企業経済学 b	飯田 泰之	097241	263
企業経営学 a	百田 義治	099991	263
企業経営学 b	百田 義治	099981	264
地域経済論 a	長山 宗広	097251	264
地域経済論 b	長山 宗広	097261	265
ゲーム理論 a	渡邊 泰典	097271	265
ゲーム理論 b	渡邊 泰典	097281	265
産業組織論 a	舘 健太郎	100631	266

科目名	担当者名	履修コード	ページ
産業組織論 b	舘 健太郎	100641	266
基礎ゼミ	勝田 佳裕	101211	267
基礎ゼミ	勝田 佳裕	101221	267
基礎ゼミ	齊藤 正	101231	267
基礎ゼミ	齊藤 正	101241	267
基礎ゼミ	佐藤 和子	101251	267
基礎ゼミ	佐藤 和子	101261	267
基礎ゼミ	舘 健太郎	101271	268
基礎ゼミ	山下 裕介	101281	268
基礎ゼミ	山下 裕介	101291	268
基礎ゼミ	松本 典子	101311	268
情報入門I	永井 勇	095411	269
情報入門I	井川 俊実	095421	270
情報入門I	山邊 茂之	095451	271
情報入門II	永井 勇	095431	272
情報入門II	井川 俊実	095441	273
情報入門II	山邊 茂之	095461	273
簿記論	福島 隆	092101	274
簿記論	渡邊 智	092201	274
簿記論	森田 佳宏	092301	275
企業論基礎	劉 永鶴	092411	275
ファイナンス基礎	須藤 時仁	092421	276
キャリア・デザイン	竹下 睿騏	099291	276
経済理論B・経済システムの原理	有井 行夫	090001	277
経済理論IB・経済システムの原理	有井 行夫	090002	277
経済数学	池田 宏	092501	277
応用ミクロ経済学	荒木 勝啓	092611	278
応用マクロ経済学	吉野 紀	092711	278
計量経済学	田中 正光	092801	279
統計原論	吉野 紀	092901	280
景気循環論	野村 信廣	093001	280
現代資本主義論	一井 昭	093101	281
市民と経済学 a	阿部 弘	093211	281
社会思想史 a	阿部 弘	093212	281
市民と経済学 b	阿部 弘	093221	282
社会思想史 b	阿部 弘	093222	282
日本経済史	渡邊 恵一	093301	282
西洋経済史	友松 憲彦	093401	283
農業政策	溝手 芳計	093501	284
工業政策	奥山 雅之	093601	285
経済地理	矢延 洋泰	093701	285
中小企業論	吉田 敬一	093811	286
中小企業政策論	吉田 敬一	093821	286
公共経済学 a	鈴木 伸枝	099111	287
公共経済学 b	鈴木 伸枝	099121	287
現代産業論 a	北嶋 守	100611	288
現代産業論 b	北嶋 守	100621	288
地方財政論	篠原 章	094101	289
国際金融論	田中 綾一	094201	290
人口論	森岡 仁	094301	290

科目名	担当者名	履修コード	ページ
教育経済論	谷敷 正光	094401	291
労働経済論	休講	094501	
福祉経済論	渡邊 泰典	093831	291
医療経済論	渡邊 泰典	093841	292
環境経済論	山口 由二	093901	292
アジア経済論	鄭 章淵	094601	293
中国経済論	小杉 修二	094701	294
アメリカ経済論	瀬戸岡 紘	094801	295
EU統合論	藤田 憲	095001	296
現代西欧経済論	工藤 芽衣	095101	296
ロシア・東欧経済論	山縣 弘志	095201	297
貿易実務	荒畑 治雄	100311	298
通関実務	荒畑 治雄	100321	298
情報・経済ネットワーク論	中濟 光昭	095301	299
プログラミング論	濱本 和彦	095401	300
経営情報システム論Ⅰ	休講	095701	
経営情報システム論Ⅱ	休講	095801	
基礎情報処理Ⅰ	相浦 宣徳	095901	301
基礎情報処理Ⅰ	谷口 裕子	095911	302
基礎情報処理Ⅰ	谷口 裕子	095921	302
基礎情報処理Ⅱ	相浦 宣徳	096001	302
基礎情報処理Ⅱ	谷口 裕子	096011	303
基礎情報処理Ⅱ	谷口 裕子	096021	303
応用情報処理Ⅰ	井川 俊実	096101	303
応用情報処理Ⅱ	井川 俊実	096201	304
憲法	内田 真利子	098201	304
民法一部	竹中 智香	098301	305
民法二部	織田 晃子	098401	305
商法一部	川口 幸美	098501	306
商法二部	中濱 義章	098601	306
経済法	若林 亜理砂	098701	307
労働法	藤本 茂	098801	308
行政法	鷄徳 啓登	058501	308
国際法	橋本 靖明	099001	309
税法Ⅰ	奥村 正郎	100451	309
税法Ⅱ	奥村 正郎	100461	310
経済外国書講読Ⅰa〔英語〕	鈴木 伸枝	099811	310
外国書講読Ⅰa〔英語〕	鈴木 伸枝	099812	310
経済外国書講読Ⅱa〔英語〕	鈴木 伸枝	099813	310
外国書講読Ⅱa〔英語〕	鈴木 伸枝	099814	310
経済外国書講読Ⅰb〔英語〕	鈴木 伸枝	099821	310
外国書講読Ⅰb〔英語〕	鈴木 伸枝	099822	310
経済外国書講読Ⅱb〔英語〕	鈴木 伸枝	099823	310
外国書講読Ⅱb〔英語〕	鈴木 伸枝	099824	310
経済外国書講読Ⅰa〔英語〕	松本 典子	099831	311
外国書講読Ⅰa〔英語〕	松本 典子	099832	311
経済外国書講読Ⅱa〔英語〕	松本 典子	099833	311
外国書講読Ⅱa〔英語〕	松本 典子	099834	311
経済外国書講読Ⅰb〔英語〕	松本 典子	099841	311
外国書講読Ⅰb〔英語〕	松本 典子	099842	311

科目名	担当者名	履修コード	ページ
経済外国書講読II b〔英語〕	松本 典子	099843	311
外国書講読II b〔英語〕	松本 典子	099844	311
経済外国書講読I a〔英語〕	吉野 紀	099911	311
外国書講読I a〔英語〕	吉野 紀	099912	311
経済外国書講読II a〔英語〕	吉野 紀	099913	311
外国書講読II a〔英語〕	吉野 紀	099914	311
経済外国書講読I b〔英語〕	吉野 紀	099921	312
外国書講読I b〔英語〕	吉野 紀	099922	312
経済外国書講読II b〔英語〕	吉野 紀	099923	312
外国書講読II b〔英語〕	吉野 紀	099924	312
経済外国書講読I a〔ドイツ語〕	代田 純	099931	312
外国書講読I a〔ドイツ語〕	代田 純	099932	312
経済外国書講読II a〔ドイツ語〕	代田 純	099933	312
外国書講読II a〔ドイツ語〕	代田 純	099934	312
経済外国書講読I b〔ドイツ語〕	代田 純	099941	312
外国書講読I b〔ドイツ語〕	代田 純	099942	312
経済外国書講読II b〔ドイツ語〕	代田 純	099943	312
外国書講読II b〔ドイツ語〕	代田 純	099944	312
経済外国書講読I a〔フランス語〕	清水 卓	100011	313
外国書講読I a〔フランス語〕	清水 卓	100012	313
経済外国書講読II a〔フランス語〕	清水 卓	100013	313
外国書講読II a〔フランス語〕	清水 卓	100014	313
経済外国書講読I b〔フランス語〕	清水 卓	100021	313
外国書講読I b〔フランス語〕	清水 卓	100022	313
経済外国書講読II b〔フランス語〕	清水 卓	100023	313
外国書講読II b〔フランス語〕	清水 卓	100024	313
経済外国書講読I a〔中国語〕	小杉 修二	100131	313
外国書講読I a〔中国語〕	小杉 修二	100132	313
経済外国書講読II a〔中国語〕	小杉 修二	100133	313
外国書講読II a〔中国語〕	小杉 修二	100134	313
経済外国書講読I b〔中国語〕	小杉 修二	100161	313
外国書講読I b〔中国語〕	小杉 修二	100162	313
経済外国書講読II b〔中国語〕	小杉 修二	100163	313
外国書講読II b〔中国語〕	小杉 修二	100164	313
経済外国書講読I a〔ロシア語〕	山縣 弘志	100141	314
外国書講読I a〔ロシア語〕	山縣 弘志	100142	314
経済外国書講読II a〔ロシア語〕	山縣 弘志	100143	314
外国書講読II a〔ロシア語〕	山縣 弘志	100144	314
経済外国書講読I b〔ロシア語〕	山縣 弘志	100171	314
外国書講読I b〔ロシア語〕	山縣 弘志	100172	314
経済外国書講読II b〔ロシア語〕	山縣 弘志	100173	314
外国書講読II b〔ロシア語〕	山縣 弘志	100174	314
経済外国書講読I a〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100151	314
外国書講読I a〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100152	314
経済外国書講読II a〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100153	314
外国書講読II a〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100154	314
経済外国書講読I b〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100181	314
外国書講読I b〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100182	314
経済外国書講読II b〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100183	314
外国書講読II b〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100184	314

科目名	担当者名	履修コード	ページ
現代経済事情I〔ロシアの現在〕	クロチコフ、Y.	100601	315
現代経済事情II〔国際協力の考え方と実際〕	長瀬 理英	100701	315
現代経済事情III〔今日の日本の医療現場〕	佐藤 公美子	100801	315
現代経済事情IV〔企業倒産の事例研究〕	阿南 俊昭	100901	316
会計資格特別演習	鈴木 勝浩	100511	316
教員試験特別演習	谷敷 正光	100551	317
流通経済論	大吹 勝男	099211	318
商業政策	番場 博之	091701	318
マーケティング	曾我 信孝	091801	319
商品学	大瀬良 伸	096301	319
交通政策	金 兌奎	096402	320
交通論	金 兌奎	096401	320
商業史	休講	096501	
消費経済論	姉齒 暁	096601	320
ロジスティックス	石原 伸志	099241	321
企業管理論 a	岩波 文孝	091911	321
経営管理論 a	岩波 文孝	091912	321
企業管理論 b	岩波 文孝	091921	322
経営管理論 b	岩波 文孝	091922	322
経営管理論	岩波 文孝	091901	323
人的資源管理論 a	堀 龍二	092011	323
人的資源管理論 b	堀 龍二	092021	324
ビジネスの歴史（日本）	宇田 理	096911	324
ビジネスの歴史（欧米）	宇田 理	096921	325
労務管理論	堀 龍二	092001	325
企業戦略論 a	田淵 泰男	096711	326
経営戦略論 a	田淵 泰男	096712	326
企業戦略論 b	田淵 泰男	096721	326
経営戦略論 b	田淵 泰男	096722	326
グローバル・ビジネス論 a	日高 克平	095831	327
グローバル・ビジネス論 b	日高 克平	095841	327
企業統治論 a	水村 典弘	099181	327
企業統治論 b	水村 典弘	099191	328
現代企業論 a	松田 健	099331	328
現代企業論 b	松田 健	099341	329
経営学史	休講	096901	
非営利組織論 a	松本 典子	097071	329
非営利組織論 b	松本 典子	097081	330
契約理論	村松 幹二	095311	330
財務会計論	寺坪 修	092401	331
会計監査論	森田 佳宏	097001	331
会計情報論	石川 純治	097301	331
企業倫理	桑山 三恵子	098161	332
企業社会責任論	桑山 三恵子	098171	332
管理会計論 a	石川 祐二	097111	332
管理会計論 b	石川 祐二	097121	333
原価計算論	休講	097201	
税務会計論	北口 りえ	097401	333
経営分析	休講	097501	
上級簿記	福島 隆	092311	334

科目名	担当者名	履修コード	ページ
コンピュータ会計I	鈴木 勝浩	095501	334
コンピュータ会計II	鈴木 勝浩	095601	335
貿易論	古沢 紘造	097601	336
銀行システム論	齊藤 正	097801	337
現代銀行事情	齊藤 正	097901	338
グローバル・ファイナンス	小西 宏美	098011	339
証券市場論	広田 真人	098001	339
保険論	本間 照光	098101	340
ビジネス事例研究	百田 義治	097161	340
トップ・マネジメント講座	百田 義治	097171	341
ビジネス英会話 a	井上 愛子	097141	341
ビジネス英会話 b	井上 愛子	097151	342
ビジネス・インターンシップ a	吉田 敬一 ・松田 健	099311	342
ビジネス・インターンシップ b	吉田 敬一 ・松田 健	099321	343
ビジネス・インターンシップ a	大石 雄爾 ・溝手 芳計	100951	343
ビジネス・インターンシップ b	渡辺 恵一	112951	344
ビジネス・インターンシップ b	石川 純治	113011	344
ビジネス・インターンシップ b	石川 祐二	113021	344
ビジネス・インターンシップ b	岩波 文孝	113031	344
ビジネス・インターンシップ b	松本 典子	113041	345
ビジネス・インターンシップ b	齊藤 正	113051	345
ビジネス・インターンシップ b	清水 卓	113061	345
ビジネス・インターンシップ b	代田 純	113071	345
ビジネス・インターンシップ b	瀬戸岡 紘	113081	346
ビジネス・インターンシップ b	百田 義治	113091	346
ビジネス・インターンシップ b	姉齒 暁	113111	346
ビジネス・インターンシップ b	光岡 博美	113121	346
ビジネス・インターンシップ b	谷敷 正光	113131	347
ビジネス・インターンシップ b	吉田 敬一	113141	347
ビジネス・インターンシップ b	大石 雄爾	113151	348
ビジネス・インターンシップ b	中濟 光昭	113161	348
ビジネス・インターンシップ b	阿部 弘	113171	348
ビジネス・インターンシップ b	北口 りえ	113181	349
ビジネス・インターンシップ b	溝手 芳計	113191	349
現代産業事情I	曾我 信孝	101001	350
現代産業事情II	休講	101101	
現代産業事情III	王 志安	101201	351
情報の経済学	館 健太郎	095321	351
法と経済学	村松 幹二	098181	352
制度の経済学	村松 幹二	098191	352
ファイナンス論 a	坂本 恒夫	096811	353
財務管理 a	坂本 恒夫	096812	353
ファイナンス論 b	坂本 恒夫	096821	353
財務管理 b	坂本 恒夫	096822	353
起業論	長山 宗広	097041	354
コミュニティ・ビジネス論	山口 浩平	097051	354
協同組合論	山口 浩平	097061	355

科目名	担当者名	履修コード	ページ
ネットワーク組織論 a	梅木 眞	095811	355
ネットワーク組織論 b	梅木 眞	095821	356
ベンチャー論	長山 宗広	097031	356
ボランティア経済 a	鈴木 岳	097011	357
ボランティア経済 b	鈴木 岳	097021	357
演習I	浅野 克巳	101901	357
演習I	姉齒 暁	103901	358
演習I	阿部 弘	102001	358
演習I	荒木 勝啓	103501	358
演習I	有井 行夫	102401	359
演習I	飯田 泰之	104401	359
演習I	石川 純治	104601	360
演習I	石川 祐二	101801	360
演習I	岩波 文孝	102101	361
演習I	大石 雄爾	102201	361
演習I	大吹 勝男	101601	362
演習I	北口 りえ	104301	362
演習I	小杉 修二	104001	363
演習I	小西 宏美	101411	363
演習I	齊藤 正	103301	364
演習I	清水 卓	102601	364
演習I	代田 純	101701	364
演習I	鈴木 伸枝	101501	365
演習I	瀬戸岡 紘	102801	365
演習I	曾我 信孝	103601	366
演習I	館 健太郎	101421	366
演習I	鄭 章淵	104801	367
演習I	徳永 俊明	103101	367
演習I	友松 憲彦	104701	368
演習I	中濟 光昭	102501	368
演習I	長山 宗広	101431	369
演習I	番場 博之	101481	369
演習I	百田 義治	103701	370
演習I	堀 龍二	105101	370
演習I	松田 健	101441	371
演習I	松本 典子	101451	371
演習I	溝手 芳計	101301	372
演習I	光岡 博美	103001	372
演習I	村松 幹二	101461	373
演習I	森岡 仁	102701	373
演習I	森田 佳宏	101401	374
演習I	谷敷 正光	102301	374
演習I	松井 柳平	104201	375
演習I	山縣 弘志	102901	375
演習I	吉田 敬一	103401	375
演習I	渡邊 恵一	105201	376
演習II	浅野 克巳	106001	376
演習II	姉齒 暁	108101	376
演習II	阿部 弘	106101	377
演習II	荒木 勝啓	107801	377

科目名	担当者名	履修コード	ページ
演習II	有井 行夫	106401	377
演習II	飯田 泰之	108301	378
演習II	石川 純治	109211	378
演習II	石川 祐二	105901	378
演習II	岩波 文孝	105801	379
演習II	大石 雄爾	106201	379
演習II	大吹 勝男	106501	379
演習II	北口 りえ	106701	380
演習II	小杉 修二	108201	380
演習II	小西 宏美	108501	381
演習II	齊藤 正	107601	381
演習II	清水 卓	106601	381
演習II	代田 純	105701	382
演習II	鈴木 伸枝	105501	382
演習II	瀬戸岡 紘	107001	383
演習II	曾我 信孝	107901	383
演習II	館 健太郎	105311	384
演習II	鄭 章淵	108801	384
演習II	徳永 俊明	107401	385
演習II	友松 憲彦	108701	385
演習II	中濟 光昭	105601	385
演習II	長山 宗広	109201	386
演習II	沼田 郷	108901	386
演習II	番場 博之	105361	387
演習II	百田 義治	108001	387
演習II	福原 好喜	106801	387
演習II	堀 龍二	109101	388
演習II	松井 柳平	109221	388
演習II	松田 健	105321	389
演習II	松本 典子	105331	389
演習II	溝手 芳計	105301	390
演習II	光岡 博美	107201	390
演習II	村松 幹二	105341	391
演習II	森岡 仁	106901	391
演習II	森田 佳宏	105401	391
演習II	谷敷 正光	106301	392
演習II	安元 稔	108401	392
演習II	山縣 弘志	107101	392
演習II	古沢 紘造	107301	393
演習II	吉田 敬一	107701	393
演習II	吉野 紀	107501	393
演習II	渡邊 恵一	108601	394
演習III	浅野 克巳	109901	394
演習III	姉薺 暁	109411	394
演習III	阿部 弘	113201	394
演習III	荒木 勝啓	111701	395
演習III	有井 行夫	109291	395
演習III	飯田 泰之	109801	395
演習III	石川 純治	111601	395
演習III	石川 祐二	109701	396

科目名	担当者名	履修コード	ページ
演習III	岩波 文孝	110001	396
演習III	大石 雄爾	110101	397
演習III	大吹 勝男	110401	397
演習III	北口 りえ	109421	397
演習III	小杉 修二	112001	398
演習III	小西 宏美	109431	398
演習III	齊藤 正	111501	398
演習III	清水 卓	110501	399
演習III	代田 純	109501	399
演習III	鈴木 伸枝	110601	399
演習III	瀬戸岡 紘	110901	399
演習III	曾我 信孝	111801	400
演習III	館 健太郎	109441	400
演習III	鄭 章淵	112801	400
演習III	徳永 俊明	111301	401
演習III	友松 憲彦	112601	401
演習III	中濟 光昭	112501	401
演習III	長山 宗広	109451	402
演習III	沼田 郷	112901	402
演習III	番場 博之	112101	402
演習III	百田 義治	111901	403
演習III	福原 好喜	112201	403
演習III	古沢 紘造	111101	403
演習III	堀 龍二	113001	403
演習III	松井 柳平	113101	404
演習III	松田 健	109461	404
演習III	松本 典子	109471	405
演習III	溝手 芳計	109301	405
演習III	光岡 博美	111401	405
演習III	村松 幹二	109481	405
演習III	森岡 仁	110801	406
演習III	森田 佳宏	109401	406
演習III	谷敷 正光	110201	406
演習III	安元 稔	112301	407
演習III	山縣 弘志	111001	407
演習III	吉田 敬一	109601	407
演習III	吉野 紀	111201	407
演習III	渡邊 恵一	112401	408
演習III	渡邊 智	112701	408
会計プロフェッショナルクラスI(会計士)	寺坪 修 ・石川 純治 ・石川 祐二 ・北口 りえ ・森田 佳宏	100251	409
会計プロフェッショナルクラスI(税理士)	寺坪 修 ・石川 純治 ・石川 祐二 ・北口 りえ ・森田 佳宏	100252	409

科目名	担当者名	履修コード	ページ
会計プロフェッショナルクラスII (会計士)	寺坪 修 ・石川 純治 ・石川 祐二 ・北口 りえ ・森田 佳宏	100261	410
会計プロフェッショナルクラスIII (会計士)	寺坪 修 ・石川 純治 ・石川 祐二 ・北口 りえ ・森田 佳宏	100262	410
会計プロフェッショナルクラスII (税理士)	寺坪 修 ・石川 純治 ・石川 祐二 ・北口 りえ ・森田 佳宏	100263	410
会計プロフェッショナルクラスIII (税理士)	寺坪 修 ・石川 純治 ・石川 祐二 ・北口 りえ ・森田 佳宏	100264	410
ITプロフェッショナルクラスI	中濟 光昭	101151	411
ITプロフェッショナルクラスII	中濟 光昭	101152	411

Ⅲ 他学部履修科目

・授業時間表「B」の科目を履修する場合は、フレックスBの他学部履修科目のページを参照してください。

科目名	担当者名	履修コード	ページ
西洋思想史	滝沢 正之	016701	415
日本民俗学	谷口 貢	017101	415
時事英語	唐澤 一友	027901	415
文化地理学	小田 匡保	033101	416
人口地理学	平井 誠	035101	416
現代地理学特論	平井 幸弘	041001	417
西洋文化史	西浦 麻美子	046911	417
日本史特講VII〔近代〕	熊本 史雄	048401	418
考古学特講III	休講	052911	
哲学史	山口 祐弘	053201	419
産業と変動の社会学	山田 信行	058371	419
雇用と労働の社会学	山田 信行	058381	420
マス・コミュニケーション論A	川本 勝	058411	420
マス・コミュニケーション論B	川本 勝	058421	421
社会福祉発達史	堀 千鶴子	063901	421
国際政治学	小堀 訓男	126601	422
ヨーロッパ政治史	浦田 早苗	126701	422
地方自治法	富井 幸雄	127501	423
比較政治学	三竹 直哉	128201	424
現代国家論	大塚 桂	133801	425
アメリカ経営学	宮城 徹	141201	426
経営分析論	片桐 伸夫	141301	427
リスクマネジメント論	石名坂 邦昭	142351	427
医療経済学	松元 和敏	164701	428
メディア・コミュニケーション概論	西岡 洋子	427501	428
情報メディア産業論I	福家 秀紀	432001	429
ネットワークコミュニケーション論	菅谷 実	432201	430
比較メディア制度論	西岡 洋子	432401	431
グローバルアート政策論	川崎 賢一	432601	431
グローバル創造都市論	川崎 賢一	432701	432
情報保護と社会	苗村 憲司	434301	433
映像コンテンツ論	テヅカ ヨシハ ル	435001	433
メディアと知識論	齋藤 信男	437101	434

IV 「日本語」・「日本事情」科目

(対象：外国人留学生・帰国生)

科目名	担当者名	履修コード	ページ
日本語入門I a	鈴木 美希	230511	437
日本語入門I b	鈴木 美希	230521	437
日本語入門II a	鈴木 美希	230531	437
日本語入門II b	鈴木 美希	230541	438
日本語I a	佐野 典子	230611	438
日本語I b	佐野 典子	230621	438
日本語I a	多田羅 哲子	230631	438
日本語I b	多田羅 哲子	230641	439
日本語II a	佐野 典子	230711	439
日本語II a	多田羅 哲子	230721	439
日本語II b	佐野 典子	230811	439
日本語II b	多田羅 哲子	230821	439
日本語III a	多田羅 哲子	230911	440
日本語III a	湯村 礼子	230921	440
日本語III b	多田羅 哲子	231011	440
日本語III b	湯村 礼子	231021	440
日本語IV a	鈴木 美希	231111	441
日本語IV a	湯村 礼子	231121	441
日本語IV b	鈴木 美希	231211	441
日本語IV b	湯村 礼子	231221	442
日本語V a	石川 守	231311	442
日本語V a	多田羅 哲子	231321	442
日本語V b	石川 守	231411	442
日本語V b	多田羅 哲子	231421	443
日本語VI a	石川 守	231511	443
日本語VI a	多田羅 哲子	231521	443
日本語VI b	石川 守	231611	443
日本語VI b	多田羅 哲子	231621	444
日本事情I〔地理〕	高橋 健太郎	231701	444
日本事情II〔自然〕	清水 善和	231801	444
日本事情III〔歴史〕	井上 桂子	231901	445
日本事情IV〔思想〕	佐藤 美奈子	232001	445
日本事情V〔社会〕	坪井 健	232101	446
日本事情VI〔政治・法律〕	三竹 直哉	232201	446
日本事情VII〔文学〕	坂口 博規	232301	447
日本事情VIII〔文化・芸術〕	佐藤 美奈子	232401	447
日本事情IX〔経済〕	福原 好喜	232501	448
日本事情X〔経営〕	中野 香織	232601	448

V 随 意 科 目

科 目 名	担当者名	履修コード	ページ
英語（海外演習）	—	—	451
フランス語（海外演習）	—	—	451
中国語（海外演習）	—	—	451

I 全学共通科目

1. 宗教教育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
仏教と人間〔再クラス〕	駒ヶ嶺 法子	341601	459
仏教と人間〔再クラス〕	松本 史朗	341801	459
仏教と人間〔再クラス〕	四津谷 孝道	341901	460

2. 教養教育科目

・平成18年度以前入学生で『授業時間表』の区分「A」の科目を履修する場合は、フレックスAの教養教育科目のページを参照してください。

(1) 人文分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
宗教学〔比較宗教文化〕	田中 かの子	342401	463
文学〔日本文学「古典」〕	池田 大輔	342501	463
文学〔日本文学「近代」〕	中西 亮太	342601	464
文学〔日本文学「古典」〕	伊藤 達氏	342701	464
歴史学〔日本近代史〕	林 彰	342801	465
歴史学〔中国史概観〕	小林 惣八	342901	465
歴史学〔アジア史概観〕	山口 洋	343001	465
哲学〔西洋思想の源流〕	滝沢 正之	343101	466
哲学〔近代の人間観と世界観〕	佐藤 暁	343201	466
哲学〔現代文明と人間〕	鈴木 聡	343301	466
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	伊古田 理	343401	467
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	麻生 享志	343501	467
倫理学〔現代と倫理〕	古田 知章	343601	468
倫理学〔人生と倫理〕	末木 恭彦	343701	468

(2) 社会分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
社会学〔現代社会を考える〕	南後 由和	344201	469
社会学〔現代文化を考える〕	橋爪 敏	344301	469
文化人類学〔文化と人間〕	川上 新二	344401	469
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	杉井 純一	344501	470
法学・憲法〔法と権利〕	鶏徳 啓登	344601	470
法学・憲法〔法と社会生活〕	長谷川 日出世	344701	471
政治学〔政治システムと政治参加〕	真下 英二	344801	471
政治学〔国際社会と日本〕	山村 恒雄	344901	472
経済学〔現代経済と人間〕	沼田 郷	345001	472
社会科学論〔社会認識の思想〕	枝松 正行	345101	473
統計学〔社会現象の統計的決定〕	新行内 康慈	345201	473

(3) 自然分野

科目名	担当者名	履修コード	ページ
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	鈴木 順一	345301	474
心理学〔人間関係を考える〕	鈴木 順一	345401	475
生物学〔生態と進化〕	清水 善和	345501	475
生物学〔生物と環境〕	中村 敏枝	345601	476
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	澤口 隆	345701	476
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	澤口 隆	345901	476
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	坂野井 和代	345801	477
コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕	坂野井 和代	346001	477
地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕	加藤 潔	346101	477
地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕	加藤 潔	346201	477

科目名	担当者名	履修コード	ページ
自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕	篠原 正雄	346301	478
自然環境論〔生命と環境〕	山縣 毅	346401	478
情報数学〔情報と論理〕	鳥居 竜三	346501	479

3. 外国語科目

《必修科目・選択必修科目》

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語IA〔再クラス〕	前田 脩	354601	483
英語IB〔再クラス〕	前田 脩	354602	483
英語IA〔再クラス〕	近藤 真彰	354701	483
英語IB〔再クラス〕	近藤 真彰	354702	483
英語IA〔再クラス〕	増田 恵子	354901	483
英語IB〔再クラス〕	増田 恵子	354902	483
英語IIA〔再クラス〕	照山 雄彦	355201	483
英語IIB〔再クラス〕	照山 雄彦	355202	483
英語IIA〔再クラス〕	岸本 茂和	355301	484
英語IIB〔再クラス〕	岸本 茂和	355302	484
英語IIA〔再クラス〕	本間 俊一	355401	484
英語IIB〔再クラス〕	本間 俊一	355402	484
ドイツ語IA〔再クラス〕	野島 利彰	355601	484
ドイツ語IB〔再クラス〕	野島 利彰	355602	484
ドイツ語IIA〔再クラス〕	本橋 右京	355701	484
ドイツ語IIB〔再クラス〕	本橋 右京	355702	484
フランス語IA〔再クラス〕	長谷川 光明	355801	485
フランス語IB〔再クラス〕	長谷川 光明	355802	485
フランス語IIA〔再クラス〕	長谷川 光明	355901	485
フランス語IIB〔再クラス〕	長谷川 光明	355902	485
中国語IA〔再クラス〕	大久保 明男	356001	485
中国語IB〔再クラス〕	大久保 明男	356002	485
中国語IIA〔再クラス〕	弘兼 加奈子	356201	485
中国語IIB〔再クラス〕	弘兼 加奈子	356202	485
スペイン語IA〔再クラス〕	栗林 ゆき絵	356401	486
スペイン語IB〔再クラス〕	栗林 ゆき絵	356402	486
スペイン語IIA〔再クラス〕	栗林 ゆき絵	356501	486
スペイン語IIB〔再クラス〕	栗林 ゆき絵	356502	486
ロシア語IA〔再クラス〕	杉山 秀子	356601	486
ロシア語IB〔再クラス〕	杉山 秀子	356602	486
ロシア語IIA〔再クラス〕	杉山 秀子	356701	487
ロシア語IIB〔再クラス〕	杉山 秀子	356702	487

《選択科目》

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英会話I	ロビン、G. F.	351201	488
英語LLI	西村 祐子	351301	489
英会話II	ロビン、G. F.	354301	490
英語LLII	林 明人	354401	491

4. 保健体育科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
健康・スポーツ論	村松 誠	341201	495
健康・スポーツ論	三幣 晴三	341301	495
健康・スポーツ実習（ミニサッカー）〔再クラス〕	大石 武士	340201	496
健康・スポーツ実習（ミニサッカー）〔再クラス〕	大石 武士	340301	496
健康・スポーツ実習（バドミントン）〔再クラス〕	村松 誠	340501	496
生涯スポーツ実習（集中後期・応用）	休講	—	—
生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）	休講	—	—
生涯スポーツ実習（集中前期・基礎）	休講	—	—
生涯スポーツ実習（集中前期・応用）	休講	—	—
生涯スポーツ演習I（シーズン基礎）（ゴルフ）	三幣 晴三 佐藤 政之 下谷内 勝利 末次 美樹 鈴木 淳平 竹田 幸夫 館岡 儀秋 牧野 茂 光永 吉輝	199301	497
生涯スポーツ演習I（シーズン応用）（ゴルフ）	三幣 晴三 佐藤 政之 下谷内 勝利 末次 美樹 鈴木 淳平 竹田 幸夫 館岡 儀秋 牧野 茂 光永 吉輝	199302	497
生涯スポーツ演習II（シーズン基礎）（スキー・スノーボード）	鈴木 淳平 秋田 浩一 岩本 哲也 江口 淳一 佐藤 政之 下谷内 勝利 末次 美樹 竹田 幸夫 山口 良博	199401	498
生涯スポーツ演習II（シーズン応用）（スキー・スノーボード）	鈴木 淳平 秋田 浩一 岩本 哲也 江口 淳一 佐藤 政之 下谷内 勝利 末次 美樹 竹田 幸夫 山口 良博	199402	498

II 専門教育科目

- ・平成18年度以前入学生で、『授業時間表』の区分「A」の科目を履修する場合は、フレックスAの専門教育科目のページを参照してください。
- ・科目名の前に※印が付いている科目はフレックスBの科目ですが、フレックスA時間帯で開講されることがあります。

科目名	担当者名	履修コード	ページ
経済学概説	森田 成也	306611	501
経済理論IA・資本の原理	休講	306701	
経済理論IB・経済システムの原理	阿部 弘	306801	501
経済理論II・ミクロ経済学	松井 柳平	306901	502
経済理論II・マクロ経済学	休講	307001	
経済学史	休講	308301	
経済数学	池田 宏	312101	503
応用ミクロ経済学	休講	311411	
応用マクロ経済学	休講	309511	
計量経済学	休講	312301	
統計原論	休講	307701	
景気循環論	野村 信廣	309001	503
現代資本主義論	休講	312501	
社会思想史 a	阿部 弘	312611	504
社会思想史 b	阿部 弘	312621	505
経済史	休講	307301	
日本経済史	休講	308201	
西洋経済史	友松 憲彦	307401	506
経済政策	松前 龍宜	307201	507
農業政策	溝手 芳計	309101	508
工業政策	休講	309201	
経済地理	矢延 洋泰	308701	508
中小企業論	吉田 敬一	311311	509
中小企業政策論	吉田 敬一	311401	509
環境経済論	山口 由二	312801	510
公共経済学 a	鈴木 伸枝	313511	511
公共経済学 b	鈴木 伸枝	313521	511
財政学	休講	308501	
地方財政論	休講	312701	
金融論	代田 純	308601	512
国際金融論	休講	311001	
社会政策	光岡 博美	311801	512
人口論	森岡 仁	311701	513
教育経済論	休講	310901	
労働経済論	休講	310801	
日本経済論	山岡 暁	309801	513
国際経済論	徳永 俊明	308901	514
アジア経済論	休講	310001	
中国経済論	休講	309901	
アメリカ経済論	瀬戸岡 紘	310201	515
EU統合論	藤田 憲	310111	516
現代西欧経済論	工藤 芽衣	310121	516
ロシア・東欧経済論	山縣 弘志	310301	517

科目名	担当者名	履修コード	ページ
情報・経済ネットワーク論	中濱 光昭	311901	518
プログラミング論	休講	312001	/
情報処理論	岩瀬 弘和	312401	518
商学総論	大吹 勝男	307501	519
企業経営学 a	名取 修一	307611	519
企業経営学 b	名取 修一	307621	520
会計学総論	石川 純治	307101	520
簿記論	鈴木 勝浩	307901	520
貿易実務	休講	314201	/
通関実務	休講	314301	/
憲法	内田 真利子	313401	521
民法一部	織田 晃子	307801	521
民法二部	中田 英幸	325002	522
商法一部	井上 健一	308801	522
商法二部	中濱 義章	324902	523
経済法	荒井 登志夫	325201	523
労働法	藤本 茂	325101	524
行政法	金子 昇平	323602	525
国際法	王 志安	323401	526
社会保障法	休講	325301	/
保険・海商法	井上 健一	326501	527
商法総則・商行為法	川口 幸美	325501	527
税法Ⅰ	休講	314001	/
税法Ⅱ	休講	314101	/
教員試験特別演習	休講	313601	/
商業政策	休講	309301	/
マーケティング	曾我 信孝	311101	528
商品学	休講	313301	/
交通政策	休講	309702	/
交通論	休講	309701	/
商業史	幸野 保典	311601	528
消費経済論	姉齒 暁	313101	529
経営管理論 a	岩波 文孝	330111	529
経営管理論 b	岩波 文孝	330121	530
人的資源管理論 a	堀 龍二	312211	530
人的資源管理論 b	堀 龍二	312221	531
経営戦略論 a	休講	330011	/
経営戦略論 b	休講	330021	/
企業統治論 a	休講	314351	/
企業統治論 b	休講	314361	/
現代企業論 a	休講	314391	/
現代企業論 b	休講	314411	/
財務管理 a	白坂 亨	310611	531
財務管理 b	白坂 亨	310621	532
経営学史	小阪 隆秀	308401	532
非営利組織論 a	休講	314371	/
非営利組織論 b	休講	314381	/
財務会計論	渡邊 智	308001	533
会計監査論	休講	310501	/
会計情報論	石川 純治	309411	533

経済学科フレックスB

科目名	担当者名	履修コード	ページ
管理会計論 a	石川 祐二	308111	533
管理会計論 b	石川 祐二	308121	534
原価計算論	鈴木 勝浩	309401	534
税務会計論	休講	330151	
税務会計論	高木 克己	332301	535
経営分析	渡邊 智	312901	535
貿易論	古沢 紘造	309601	536
銀行システム論	休講	310421	
現代銀行事情	休講	310411	
証券市場論	休講	310701	
保険論	休講	313201	
グローバル・ファイナンス	休講	313911	
演習II	姉齒 暁	318801	537
演習III	姉齒 暁	318802	537
演習II	阿部 弘	319001	537
演習III	阿部 弘	319002	537
演習III	荒木 勝啓	319701	537
演習II	有井 行夫	318501	538
演習III	有井 行夫	318502	538
演習II	飯田 泰之	319201	538
演習III	飯田 泰之	319202	538
演習II	石川 純治	318601	538
演習III	石川 純治	318602	538
演習II	岩波 文孝	320911	539
演習III	岩波 文孝	320912	539
演習II	大吹 勝男	320601	539
演習III	大吹 勝男	320602	539
演習II	北口 りえ	321221	539
演習III	北口 りえ	321222	539
演習II	小杉 修二	319801	540
演習III	小杉 修二	319802	540
演習II	小西 宏美	317601	540
演習III	小西 宏美	317602	540
演習II	齊藤 正	320201	541
演習III	齊藤 正	320202	541
演習II	鈴木 伸枝	320921	541
演習III	鈴木 伸枝	320922	541
演習II	瀬戸岡 紘	318701	542
演習III	瀬戸岡 紘	318702	542
演習II	曾我 信孝	318401	542
演習III	曾我 信孝	318402	542
演習II	館 健太郎	317901	543
演習III	館 健太郎	317902	543
演習II	鄭 章淵	320501	543
演習III	鄭 章淵	320502	543
演習II	徳永 俊明	321231	544
演習III	徳永 俊明	321232	544
演習II	友松 憲彦	319101	544
演習III	友松 憲彦	319102	544
演習II	中濟 光昭	316901	544

科目名	担当者名	履修コード	ページ
演習III	中津 光昭	316902	544
演習II	長山 宗弘	319301	545
演習III	長山 宗弘	319302	545
演習II	番場 博之	321201	545
演習III	番場 博之	321202	545
演習II	百田 義治	317501	546
演習III	百田 義治	320901	545
演習II	福原 好喜	317701	546
演習III	福原 好喜	317702	546
演習II	古沢 紘造	317001	546
演習III	古沢 紘造	317002	546
演習II	堀 龍二	321241	547
演習III	堀 龍二	321242	547
演習II	松田 健	321261	547
演習III	松田 健	321262	547
演習II	松本 典子	319901	548
演習III	松本 典子	319902	548
演習II	溝手 芳計	320001	548
演習III	溝手 芳計	320002	548
演習II	光岡 博美	317101	548
演習III	光岡 博美	317102	548
演習II	村松 幹二	317201	549
演習III	村松 幹二	317202	549
演習II	森岡 仁	318101	549
演習III	森岡 仁	318102	549
演習II	森田 佳宏	321211	550
演習III	森田 佳宏	321212	550
演習II	谷敷 正光	318901	550
演習III	谷敷 正光	318902	550
演習II	山縣 弘志	319601	551
演習III	山縣 弘志	319602	551
演習II	吉田 敬一	318201	551
演習III	吉田 敬一	318202	551
現代経済事情I〔ロシアの現在〕	クロチコフ、Y.	314401	551
現代経済事情II〔国際協力の考え方と実際〕	長瀬 理英	314501	552
現代経済事情III〔今日の日本の医療現場〕	佐藤 公美子	314601	552
現代経済事情IV〔企業倒産の事例研究〕	阿南 俊昭	314701	552
※ 企業論基礎	劉 永鶴	092411	275
※ ファイナンス基礎	須藤 時仁	092421	276
※ 福祉経済論	渡邊 泰典	093831	291
※ 医療経済論	渡邊 泰典	093841	292
※ 応用情報処理I	井川 俊実	096101	303
※ 応用情報処理II	井川 俊実	096201	304
※ 経済外国書講読I a〔英語〕	鈴木 伸枝	099811	310
※ 外国書講読I a〔英語〕	鈴木 伸枝	099812	310
※ 経済外国書講読II a〔英語〕	鈴木 伸枝	099813	310
※ 外国書講読II a〔英語〕	鈴木 伸枝	099814	310
※ 経済外国書講読I b〔英語〕	鈴木 伸枝	099821	310
※ 外国書講読I b〔英語〕	鈴木 伸枝	099822	310
※ 経済外国書講読II b〔英語〕	鈴木 伸枝	099823	310

経済学科フレックスB

科目名	担当者名	履修コード	ページ
※ 外国書講読II b〔英語〕	鈴木 伸枝	099824	310
※ 経済外国書講読I a〔英語〕	松本 典子	099831	311
※ 外国書講読I a〔英語〕	松本 典子	099832	311
※ 経済外国書講読II a〔英語〕	松本 典子	099833	311
※ 外国書講読II a〔英語〕	松本 典子	099834	311
※ 経済外国書講読I b〔英語〕	松本 典子	099841	311
※ 外国書講読I b〔英語〕	松本 典子	099842	311
※ 経済外国書講読II b〔英語〕	松本 典子	099843	311
※ 外国書講読II b〔英語〕	松本 典子	099844	311
※ 経済外国書講読I a〔英語〕	吉野 紀	099911	311
※ 外国書講読I a〔英語〕	吉野 紀	099912	311
※ 経済外国書講読II a〔英語〕	吉野 紀	099913	311
※ 外国書講読II a〔英語〕	吉野 紀	099914	311
※ 経済外国書講読I b〔英語〕	吉野 紀	099921	312
※ 外国書講読I b〔英語〕	吉野 紀	099922	312
※ 経済外国書講読II b〔英語〕	吉野 紀	099923	312
※ 外国書講読II b〔英語〕	吉野 紀	099924	312
※ 経済外国書講読I a〔ドイツ語〕	代田 純	099931	312
※ 外国書講読I a〔ドイツ語〕	代田 純	099932	312
※ 経済外国書講読II a〔ドイツ語〕	代田 純	099933	312
※ 外国書講読II a〔ドイツ語〕	代田 純	099934	312
※ 経済外国書講読I b〔ドイツ語〕	代田 純	099941	312
※ 外国書講読I b〔ドイツ語〕	代田 純	099942	312
※ 経済外国書講読II b〔ドイツ語〕	代田 純	099943	312
※ 外国書講読II b〔ドイツ語〕	代田 純	099944	312
※ 経済外国書講読I a〔フランス語〕	清水 卓	100011	313
※ 外国書講読I a〔フランス語〕	清水 卓	100012	313
※ 経済外国書講読II a〔フランス語〕	清水 卓	100013	313
※ 外国書講読II a〔フランス語〕	清水 卓	100014	313
※ 経済外国書講読I b〔フランス語〕	清水 卓	100021	313
※ 外国書講読I b〔フランス語〕	清水 卓	100022	313
※ 経済外国書講読II b〔フランス語〕	清水 卓	100023	313
※ 外国書講読II b〔フランス語〕	清水 卓	100024	313
※ 経済外国書講読I a〔中国語〕	小杉 修二	100131	313
※ 外国書講読I a〔中国語〕	小杉 修二	100132	313
※ 経済外国書講読II a〔中国語〕	小杉 修二	100133	313
※ 外国書講読II a〔中国語〕	小杉 修二	100134	313
※ 経済外国書講読I b〔中国語〕	小杉 修二	100161	313
※ 外国書講読I b〔中国語〕	小杉 修二	100162	313
※ 経済外国書講読II b〔中国語〕	小杉 修二	100163	313
※ 外国書講読II b〔中国語〕	小杉 修二	100164	313
※ 経済外国書講読I a〔ロシア語〕	山縣 弘志	100141	314
※ 外国書講読I a〔ロシア語〕	山縣 弘志	100142	314
※ 経済外国書講読II a〔ロシア語〕	山縣 弘志	100143	314
※ 外国書講読II a〔ロシア語〕	山縣 弘志	100144	314
※ 経済外国書講読I b〔ロシア語〕	山縣 弘志	100171	314
※ 外国書講読I b〔ロシア語〕	山縣 弘志	100172	314
※ 経済外国書講読II b〔ロシア語〕	山縣 弘志	100173	314
※ 外国書講読II b〔ロシア語〕	山縣 弘志	100174	314
※ 経済外国書講読I a〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100151	314

科目名	担当者名	履修コード	ページ
※ 外国書講読Ia〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100152	314
※ 経済外国書講読II a〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100153	314
※ 外国書講読II a〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100154	314
※ 経済外国書講読I b〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100181	314
※ 外国書講読I b〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100182	314
※ 経済外国書講読II b〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100183	314
※ 外国書講読II b〔朝鮮語〕	鄭 章淵	100184	314
※ 流通経済論	大吹 勝男	099211	318
※ ロジスティックス	石原 伸志	099241	321
※ ビジネスの歴史(日本)	宇田 理	096911	324
※ ビジネスの歴史(欧米)	宇田 理	096921	325
※ グローバル・ビジネス論 a	日高 克平	095831	327
※ グローバル・ビジネス論 b	日高 克平	095841	327
※ 契約理論	村松 幹二	095311	330
※ 経営情報システム論I	休講	095701	
※ 経営情報システム論II	休講	095801	
※ 企業倫理	桑山 三恵子	098161	332
※ 企業社会責任論	桑山 三恵子	098171	332
※ コンピュータ会計I	鈴木 勝浩	095501	334
※ コンピュータ会計II	鈴木 勝浩	095601	335
※ ビジネス事例研究	百田 義治	097161	340
※ トップ・マネジメント講座	百田 義治	097171	341
※ ビジネス・インターンシップ a	大石 雄爾 ・溝手 芳計	100951	343
※ ビジネス・インターンシップ b	石川 純治	113011	344
※ ビジネス・インターンシップ b	石川 祐二	113021	344
※ ビジネス・インターンシップ b	岩波 文孝	113031	344
※ ビジネス・インターンシップ b	松本 典子	113041	345
※ ビジネス・インターンシップ b	齊藤 正	113051	345
※ ビジネス・インターンシップ b	清水 卓	113061	345
※ ビジネス・インターンシップ b	代田 純	113071	345
※ ビジネス・インターンシップ b	瀬戸岡 紘	113081	346
※ ビジネス・インターンシップ b	百田 義治	113091	346
※ ビジネス・インターンシップ b	姉薗 暁	113111	346
※ ビジネス・インターンシップ b	光岡 博美	113121	346
※ ビジネス・インターンシップ b	谷敷 正光	113131	347
※ ビジネス・インターンシップ b	吉田 敬一	113141	347
※ ビジネス・インターンシップ b	大石 雄爾	113151	348
※ ビジネス・インターンシップ b	中濟 光昭	113161	348
※ ビジネス・インターンシップ b	阿部 弘	113171	348
※ 現代産業事情III	王 志安	101201	351
※ 情報の経済学	舘 健太郎	095321	351
※ 法と経済学	村松 幹二	098181	352
※ 制度の経済学	村松 幹二	098191	352
※ 起業論	長山 宗広	097041	354
※ コミュニティ・ビジネス論	山口 浩平	097051	354
※ 協同組合論	山口 浩平	097061	355

経済学科フレックスB

科目名	担当者名	履修コード	ページ
※ ネットワーク組織論 a	梅木 眞	095811	355
※ ネットワーク組織論 b	梅木 眞	095821	356
※ ベンチャー論	長山 宗広	097031	356
※ ボランティア経済 a	鈴木 岳	097011	357
※ ボランティア経済 b	鈴木 岳	097021	357

Ⅲ 他学部履修科目

・授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、フレックスAの他学部履修科目のページを参照してください。

科目名	担当者名	履修コード	ページ
日本法制史	休講	324001	
西洋法制史	北野 かほる	324101	555
法思想史	高橋 洋城	324201	556
国際関係論	三船 恵美	325401	557
地方自治法	富井 幸雄	326001	558
倒産処理法	鈴木 貴博	326801	558
国際会計論	休講	334001	

IV 随意科目

科目名	担当者名	履修コード	ページ
英語（海外演習）	—	—	561
フランス語（海外演習）	—	—	561
中国語（海外演習）	—	—	561

経 済 学 科

経済学科フレックスA

商 学 科

現代応用経済学科

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗教教育科目

履修コード	203401
科目名	仏教と人間
担当者名	かなざわ あつし 金沢 篤

講義のねらい

この講義は、学生諸君に本学の建学の理念である「行学一如」を身をもって体得してもらうことをそのねらいとする。2500年と言われる長き歴史を有する仏教の思想や歴史などを学ぶことは、いうまでもなく、その「学」の一環である。こうした仏教に対する勉学を通して、宗教としての仏教とは何か、現代社会においていかなる意義をもつかを考えながら、自分自身を見つめ直し、自己の存在する意義を見出すことは、仏教の実践の重要な課題であり、まさしく「行」の具現なのである。そして、学び得たものを生かし、仏教的立場から現実の社会を考える視点を持つことが、「行学一如」の理念の具体化ということなのである。

講義の内容・授業スケジュール

この講義においては、下記のテーマを順次に説明していきたい。
宗教について（5回）・世界の三大宗教（3～4回）・ブッダの生涯（2～3回）・ブッダの悟りと教え（2～3回）・インド仏教の展開（2～3回）・仏教東漸（インドから中国へ）（1回）・中国仏教の展開（3～4回）・中国禅宗の成立と展開（3～4回）・日本への仏教伝来とその展開（1～2回）・道元禅の成立と展開（1～2回）

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

講義内容を必ずノートすること。出席点を評価に入れるので、欠席しないこと。
夏休みの課題レポート（20点）、期末テスト（60点）、出席点（20点）の三つを総合的に評価する。
プリント配布。
適宜に紹介する。

履修コード	203501
科目名	仏教と人間
担当者名	てい せい 程 正

講義のねらい

この講義は、学生諸君に本学の建学の理念である「行学一如」を身をもって体得してもらうことをそのねらいとする。2500年と言われる長き歴史を有する仏教の思想や歴史などを学ぶことは、いうまでもなく、その「学」の一環である。こうした仏教に対する勉学を通して、宗教としての仏教とは何か、現代社会においていかなる意義をもつかを考えながら、自分自身を見つめ直し、自己の存在する意義を見出すことは、仏教の実践の重要な課題であり、まさしく「行」の具現なのである。そして、学び得たものを生かし、仏教的立場から現実の社会を考える視点を持つことが、「行学一如」の理念の具体化ということなのである。

講義の内容・授業スケジュール

この講義においては、下記のテーマを順次に説明していきたい。
宗教について（5～6回）・世界の三大宗教（3～4回）・ブッダの生涯（2～3回）・ブッダの悟りと教え（2～3回）・インド仏教の展開（2～3回）・仏教東漸（インドから中国へ）（1回）・中国仏教の展開（3～4回）・中国禅宗の成立と展開（3～4回）・日本への仏教伝来とその展開（1～2回）・道元禅の成立と展開（1～2回）

履修上の留意点
成績評価の方法

講義内容を必ずノートすること。出席点を評価に入れるので、欠席しないこと。
期末テスト（60点）、授業中の小レポート（20点）、出席点（20点）の三つを総合的に評価する。但し、場合によっては点数配分の割合を変更することもあり得る。

教科書
参考書等

プリント配布。
適宜に紹介する。

履修コード	203601
科目名	仏教と人間
担当者名	池田 魯参

講義のねらい 各自の人生行路において指針となるべき人生の一大事を、仏教思想とその人間像から学んで欲しい。

講義の内容・授業スケジュール 仏教に出会った人々がどのように生きたか、インド・中国・日本の三国の歴史的背景の中で仏教の人間像をどのように形成していったか、以下のスケジュールにそって考察を加えたい。
 〔前期〕(1) 釈尊の生涯
 (2) 釈尊と出会った人々
 (3) 仏教思想の特色
 (4) 仏教と出会った人々
 〔後期〕(5) 中国に仏教を伝えた人々
 (6) 中国仏教を展開させた人々
 (7) 日本に仏教を伝えた人々
 (8) 日本仏教を展開させた人々

履修上の留意点 「仏教と人間」のためにだけ使うノートを用意すること。しっかり聴いて疑問点があったら素直に質問すること。

成績評価の方法 平常の出席状況。課題レポートの提出。定期試験の成績を総合して評価する。
教科書 特に教科書を指定しない。
参考書等 テーマ毎に参考書・必読書等を講義の中で紹介するので、できるだけ多く読書するようにして欲しい。

履修コード	203701
科目名	仏教と人間
担当者名	永井 政之

講義のねらい 入学式ではじめて知った方もあろうが、駒澤大学は日本仏教の宗派の一つである曹洞宗が設立の母体になっている。したがって4年間の大学での生活の中では、さまざまな機会に「宗教的」なものに触れるであろう。

ところで学生諸君は、「宗教」とか、「仏教」という言葉を聞いたとたん、「辛気くさいもの」「前近代的なもの」「怪しげなもの」などの、漠然とした感想を持たれるものと想像する。実際、ここ1年間の、宗教、特に「仏教」をとりまくさまざまな事件—オウム真理教にせよ宗教法人法の改正にせよ—は、興味の対象とはなっても、そのイメージを好転させる方向にはないようである。現代人の多くが、宗教に関心を失った原因の過半は、既成の教団にその責任があるように私は考えている。したがって若者が宗教に無関心であったり、あるいは過度の期待を抱くことを批判することはできない。

ただ今から2、500年前にシャカによって総称された「仏教」は、けっして「おどろおどろしい」ものではないし、前近代的なものでもない。きわめて理性的な教えといつてよいであろう。そんなオーソドックスな「仏教」そして「禅」の立場を考えてみたい。

なお、「宗教教育科目」という名称ではあるが、「個人の信仰」の領域にまで踏み込んで信仰を強制するものではない。

講義の内容・授業スケジュール (1～3) そもそも「宗教」とは何なのか。人間にとってどのような意味があるのかを考えます。(4～10) ブッダによって説かれた「仏教」とはどんな教えなのか考えます。(11～30) ダルマによって中国に伝えられたという禅とはどんな風に人間を捉えるのかを紹介しつつ、道元の禅にまで論及したいと思います。

履修上の留意点 授業には必ず出席すること(出席をとります)。初めの授業で課題図書を出すので、年末にはレポートを提出すること。期末には試験を行い、それらを総合的に評価して成績とする。

成績評価の方法 授業には必ず出席すること。(出席をとります)。初めの授業で課題図書を出すので、年末にはレポートを提出すること。期末には試験を行い、それらを総合的に評価して成績とする。

教科書 必要に応じてプリントを配布したり、参考文献を指示する。課題図書は購入すること。

履修コード	203801
科目名	仏教と人間
担当者名	いしい しゆどう 石井 修道

講義のねらい 「仏教と人間」は、本学の宗教教育科目である。宗教、特に仏教は何を説き、その教えが一人一人とどうかかわるかを学びたい。

講義の内容・授業スケジュール 仏教の教えを基本に、道元禅師の教えとそれらがどのように関連をもつのか。また、道元禅師は、中国の禅者をどのように取り上げ、自己の主張にどのように継承されているかを具体的に明らかにしていきたい。

履修上の留意点 特に道元禅師の説かれる「坐禅」は、如何なる特色があるか、それがわれわれの生き方に何を教えているかを述べたい。

成績評価の方法教科書 (1) 宗教と自己との関係。(2) 釈尊の伝記と教え(七回)。(3) 中国禅者の個性と特色(六回)。(4) 日中交流と仏教(三回)。(5) 道元の伝記と思想(五回)。(6) 坐禅。(7) 曹洞宗(二回)。

「仏道をならうとは、自己をならうなり」(道元)をいかに主体的に考えるかを常に心がけて欲しい。

レポート(夏休み後に提出)20点と学期末試験80点満点で評価し、出席数も考慮する。
鎌田茂雄『仏陀の観たもの』(講談社学術文庫)693円

履修コード	203901
科目名	仏教と人間
担当者名	かたやま いちろう 片山 一良

講義のねらい 人間にとって宗教とは何かを考え、宗教としての仏教とは何かを考えたい。

講義の内容・授業スケジュール 前半は宗教一般について、1、宗教と呪術、2、神話と儀礼、3、民族宗教と世界宗教などについて、後半は仏教の基本的な考え方について、1、縁起と四諦、2、輪廻と涅槃、3、智慧と慈悲などについて講じる。いずれも現代の我々にある身近な問題の中で取り上げ、考えたい。

履修上の留意点 「人間学」として把握し、学ぶことが望まれる。

成績評価の方法教科書等その他 レポート(夏期)および年度末テストによる。
片山一良『ブツダのことは・パーリ仏典入門』(大法輪閣)平成二十年
随時、資料プリントを配布する。

履修コード	204001
科目名	仏教と人間
担当者名	いひづか ひろのぶ 飯塚 大展

講義のねらい 仏教について基本的な概念の理解に主眼を置く。

講義の内容・授業スケジュール 釈尊の生涯(1~5)、インドにおける仏教の展開(原始仏教、部派仏教、大乘仏教、6~10)、仏教の伝播(南伝仏教、北伝仏教、東アジア圏における仏教受容、11~15)、日本仏教史(主要な仏教各宗について概説したあと、古代仏教史、中世仏教史、近世仏教史、近代仏教史を順次講義、16~30)。

履修上の留意点 本講義専用のノートを準備すること。

成績評価の方法教科書参考書等 平常点(30点配分)と期末試験(70点)を以て評価する。
教科書は用いない。適宜プリントを配布する。
参考書は随時紹介する。

履修コード	204011
科目名	仏教と人間
担当者名	種 正

講義のねらい

この講義は、学生諸君に本学の建学の理念である「行学一如」を身をもって体得してもらうことをそのねらいとする。2500年と言われる長き歴史を有する仏教の思想や歴史などを学ぶことは、いうまでもなく、その「学」の一環である。こうした仏教に対する勉学を通して、宗教としての仏教とは何か、現代社会においていかなる意義をもつかを考えながら、自分自身を見つめ直し、自己の存在する意義を見出すことは、仏教の実践の重要な課題であり、まさしく「行」の具現なのである。そして、学び得たものを生かし、仏教的立場から現実の社会を考える視点を持つことが、「行学一如」の理念の具体化ということなのである。

講義の内容・授業スケジュール

この講義においては、下記のテーマを順次に説明していきたい。

宗教について（5～6回）・世界の三大宗教（3～4回）・ブッダの生涯（2～3回）・ブッダの悟りと教え（2～3回）・インド仏教の展開（2～3回）・仏教東漸（インドから中国へ）（1回）・中国仏教の展開（3～4回）・中国禅宗の成立と展開（3～4回）・日本への仏教伝来とその展開（1～2回）・道元禅の成立と展開（1～2回）

履修上の留意点
成績評価の方法

講義内容を必ずノートすること。出席点を評価に入れるので、欠席しないこと。

期末テスト（60点）、授業中の小レポート（20点）、出席点（20点）の三つを総合的に評価する。但し、場合によって点数配分の割合を変更することもあり得る。

教科書
参考書等

プリント配布。
適宜に紹介する。

履修コード	204021
科目名	仏教と人間
担当者名	松田 陽志

講義のねらい

(1)われわれが宗教全般を考える際に、重要となる視点、または日本人の「宗教」の捉えかたを、その歴史的経緯や現代の日本人の宗教観から理解すること。

(2)釈尊（釈迦牟尼世尊）の生涯と教説を、仏伝（釈尊の伝記）及び初期仏典の記述によって理解する。インドのヒンドゥー文化圏の中で、釈尊の抱えた課題とその説き示した初期仏教の内容を捉えるとともに、初期仏教と中国・日本に展開する大乘仏教との性格との違いについて考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、宗教を理解する際のさまざまな視点や枠組みを理解した後、明治期に「宗教」の語が一般化するにあたっての、意義と背景について考える。また現代の日本人の宗教に対する捉え方を、一般の人々の「無宗教」の意識と、出家者（僧侶）の存在によって問題化してみたい。

後期は、仏教の開祖、釈尊の生涯を仏伝の記述によって理解する。特にヒンドゥー文化圏の中で、釈尊の教えの独自性を、仏教教団が仏伝の中で、どのように表わそうとしたのかを、具体的に検討する。

履修上の留意点

第1回：ガイダンス、第2回：宗教とは何か、第3回～4回：宗教と哲学、第5回～6回：宗教の分類、第7回～9回：日本における「宗教」の成立、第10回～13回：日本人の「無宗教」、第14回～15回：日本仏教における出家とは、第16～17回：ヒンドゥー教の性格と出家、第18～19回：大乘仏教における要因と性格、第20～21回：〈釈尊伝〉誕生・青年時代、第22～23回：出家・禪定・苦行、第24～26回：成道・初転法輪、第27～29回：無明・涅槃・入滅、第30回：予備

成績評価の方法
教科書
参考書等

配布プリントを整理保存すること。わからない箇所は質問するなどして、授業時間内に解決すること。

前期末のレポートと年度末試験によって評価するが、出席状況も考慮する。

特に指定しない。配布プリントにしたがって講義する。

随時紹介する。

履修コード	205701
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	吉津 宜英

講義のねらい まず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」というぐらいに広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどんなイメージを抱き、どんな意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もありましょう。これまで宗教に無関心な人や、宗教批判者もありましょう。私は宗教に対して肯定的な人にも、否定的な方にもまず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古から様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、また多くの神々を信仰したり、仏教のように仏を重んじるものもあります。なぜ人間は宗教を求めたのでしょうか。この講義ではまず宗教の多様性の確認から始めます。そして宗教は社会の中でどのような機能を果たしているのかを考えます。また宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起き、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると公共の福祉に反する社会的問題も引き起こします。講義全体としては仏教を含めた宗教の功罪両面を考察してゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 前期には宗教の様々な形態について概説します。世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会や世界の様々な問題を取り上げます。新霊性運動（new spirituality movement）という新しい宗教運動にも注目します。また靖国神社問題を始めとする政教分離の課題、宗教原理主義の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、クローン人間の問題、遺伝子工学と宗教倫理などのテーマを順次取り上げていきます。毎回、あるタイトルを掲げて講義を行います。

履修上の留意点 この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいものです。

成績評価の方法 毎回出席を取ります。年間2、3回課題の提出を依頼します。最後に期末試験を行います。それらを総合して成績評価を行います。

教科書 特に使用しません。できるだけ参考資料としてプリントを配布します

参考書等 講義の中で随時参考図書を紹介いたします。

その他の 私が講義中であっても挙手して質問や意見を述べて下さい。私語は厳禁です。あまり目立つ時は退場を要請します。講義開始時間から30分過ぎていたら教場に入らないで下さい。

履修コード	205801
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	角田 泰隆

講義のねらい 宗教とは何か、そして仏教とは何かについて、その基本的事柄について、できるだけわかりやすく講義したい。特に、葬式仏教と批判され誤解されている仏教を、正しく認識してもらいたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、まず宗教とは何か(1～3)について概説し、その後、仏教の歴史(4～5)及びその基本思想(6～15)について解説する。後期は、仏教と人間(16～18)・社会(19～20)・生活(21～22)・環境(23～24)・人権(25～26)・教育等(27～30)さまざまな問題を取り上げて講義する。

履修上の留意点 教科書は用いないので、筆記用具を整え、講義の内容をしっかりと記録して頂きたい。(定期試験には自筆ノートも持ち込みを許可する)

成績評価の方法 定期試験の成績によって評価する。

教科書 なし

参考書等 授業において紹介する。

履修コード	205901
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	大谷 哲夫

講義の内容・授業スケジュール 釈尊の生涯とその教え。インド・中国・日本における仏教とくに禅仏教の流れ。特に本学の建学の理念の母胎を形作った禅の考え方を曹洞禅を中心にして講義を進める。

履修上の留意点 日本文化の基礎の一面を担った仏教を理解し、現代における日本人としての自分自身の存在を常に意識してもらいたい。

成績評価の方法 出席状況とレポートを加味して評価する。

教科書 特になし。必要な資料は随時配布する。

参考書等 必要に応じて適宜指示する。

履修コード	206001
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	<small>はれやま しゆんえい</small> 晴山 俊英

講義のねらい 仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール 釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本と仏教の発展の歴史をキーとなる人物を示しながら概観する。

- 第1回～第3回：授業と評価の概要を説明・釈尊の生涯
- 第4回～第6回：釈尊の教えとその基礎解釈 - 四諦八正道から六波羅蜜まで-
- 第7回～第12回：アビダルマ仏教 - 五位七十五法の仏教用語・仏教的宇宙観-
- 第13回～第16回：大乘仏教の成立 - 大乘仏教の特質と思想、大乘経典-
- 第17回～第24回：中国仏教 - 伝来と発展・訳経僧と中国僧・宗派の成立-
- 第25回～最終回：日本仏教 - 伝来と発展・南都仏教・最澄と空海・鎌倉時代-

履修上の留意点

上記、回数はあくまで目安なので、その時の進み具合で多少の変動があることを理解して下さい。仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。
特になし。板書が中心となる。
授業において必要があれば適宜指示する。
試験は自筆ノートのみ持ち込み可で、試験範囲を限定することはしない。従って欠席した分については自己責任で対処すること。

履修コード	206101
科目名	自然と宗教
担当者名	<small>おがわ としゆき</small> 小川 順敬

講義のねらい 人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拝の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。

この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと考えています。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価は原則として、年数回の「小試験」（出席点として処理します）および夏期レポート（前期試験に相当します）、年度末の筆記試験により行います。成績評価の具体的な方法、レポートの課題、年度末試験の方針、出席点評価等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書
参考書等

原則として教科書は用いません。
講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

履修コード	206201
科目名	社会と宗教
担当者名	矢野 秀武

講義のねらい 宗教の信仰心や宗教活動は、特定の時代や地域、あるいは性差による違いなど、社会的・文化的な影響を帯びているものでもある。さらに、宗教は社会一般の制度と関わる公的側面を持っており、宗教思想や宗教活動が、社会に何らかの影響を及ぼすこともある。本講義では、このような宗教と社会との様々な関わりについて学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、宗教集団の形成や変容など宗教社会学と宗教人類学に関わる基礎知識（1～5）、カルト問題（6～10）、観光・メディア・企業など経済面と宗教の関係（11～15）を取り上げる。後期は、宗教と政治運動（16～20）、日本や欧米を事例に、宗教と政治や法律との関係（20～25）、宗教と教育や福祉との関係（26～30）などをとりあげる。

履修上の留意点 レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業でプリントを配布し、解説する。

成績評価の方法 前期レポート（夏休み前に課題を提示・後期初回に提出）と後期の定期試験期間における筆記試験を総合して評価を行なう。

教科書 なし
参考書等 授業時に随時紹介する。

履修コード	206301
科目名	文化と宗教
担当者名	長谷部 八朗

講義のねらい 文化と宗教の関連をどのように理解したらよいかを検討し、それを踏まえて、我が国の近代以降、宗教が社会といかにかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を与えてきたかを、仏教とキリスト教を中心に学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール おおむね下記のテーマに沿って進める予定である。「文化」概念の捉え方、文化としての宗教、文化史研究における宗教の扱い、日本の近代化と仏教、日本の近代化とキリスト教、文化接触としてみた仏教とキリスト教の交渉。

成績評価の方法 出席状況、授業時に書いてもらう数回の小論文、学年末の試験を総合して評価する。

教科書 使用しない。

参考書等 授業の中で適宜紹介する。

履修コード	206401・206501
科目名	坐禅
担当者名	佐藤 秀孝・池上 光洋

講義のねらい 駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思ひ、この授業を進めるものです。

今、私たちの回りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。

講義の内容・授業スケジュール 半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。1～3「坐禅の作法指導」（坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得）

4～13「坐禅実習」（1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です）

（道元禪師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます）

履修上の留意点 実習をその主なる内容としますので出席を重視します。特に、最初の3回は作法の説明がありますので必ず出席してください。また、まじめに授業を受けられることを要望します。抽選登録ですので、他の受講希望者の迷惑となりますから、カラ登録や受講途中放棄はやめてください。

成績評価の方法 出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

教科書 適宜、プリントにて配布します。

参考書等 『坐禅一講本一』（更生社）2,226円

2. 教 養 教 育 科 目

履修コード	206701
科目名	文学〔日本文学「日本のことば」〕
担当者名	<small>あいざわ たかゆき</small> 相澤 貴之

講義のねらい	本講義は、日本のことばについて、ときに深く、ときに広く、考え、学ぶものである。講義は現代語の国語辞典をテーマとして進めていく。国語辞典に関する基本事項の確認から始め、それをふまえて、国語辞典を起点として社会や文化の諸相を捉えることで、現代日本語に対する感覚、及び日本文化に対する感覚を磨く。
講義の内容・授業スケジュール	現代語の国語辞典の基本的な使い方の確認、辞典の比較研究などを通して現代の日本語を考える。更には、現代日本語文法、方言、外国語などとの関連事項を盛り込み、講義を進めていく。講義の流れは次の通りである。 前期1～5) 辞典の基本、6～10) 辞典の比較、11～15) 現代日本語文法との関わり、後期1～5) 外国語との関連、6～10) 方言との関連、11～15) 辞典の研究
履修上の留意点	講義の中では、紙媒体の辞典を中心にさまざまな国語辞典を利用していくが、新たに辞典を購入する必要はない。各自既に持っている辞典を利用すれば良い。電子辞書も可。ただし、常に辞典を引くという習慣を持って講義に臨むことを強く求める。
成績評価の方法	成績は、①前期3回、後期3回(通年で合計6回)課すレポート、②出席状況、③授業態度、の3項目により総合的に評価する。
教科書 参考書等	授業時にプリントを配布する。 授業中に指示する。

履修コード	206601
科目名	文学〔日本文学「古典」〕
担当者名	<small>しわざき まりこ</small> 塩崎 真理子

講義のねらい	『大和物語』を周辺文学と比較しながら読む。『大和物語』は和歌説話集の性質をもつため、話型が散見する。話型をテーマとして『伊勢物語』や『今昔物語集』、『源氏物語』や他の文学作品と比較しながら講義を進めていく。また、本作品で見られた話型が現代の様々な作品にどのように影響を与えているかも、あわせて考えてもらいたい。
講義の内容・授業スケジュール	1) ガイダンス 2) 『大和物語』とは 3) 生田川伝説 4) 蘆刈伝説 5) 采女入水譚 6) 龍田山伝説 7) 安積山伝説 8) 姨捨山説話 9) 三輪山伝説 10) 二人妻説話・二人夫説話 11) 『大和物語』と『源氏物語』
履修上の留意点	古典文学の知識は必要ないが、各話型が現代の様々な作品にどのように影響しているのか問題意識をもって授業にのぞんでほしい。
成績評価の方法	出席状況と授業時の小レポート、課題レポートによって評価する。
教科書 参考書等	授業時に、プリントを配布する。 適宜、教場で指示する。

履修コード	206901
科目名	文学〔日本文学「古典」〕
担当者名	坂口 博規

講義のねらい	日本文学（古典文学）に見る「旅・旅人」の文学を取り上げる。特に「漂泊・漂泊者」の文学性を考察する。「旅」を通して、そこに現れる当時の人々の意識の深層を考察してほしい。
講義の内容・授業スケジュール	はじめに「旅・漂泊」の内実を歴史的に概説し（1・2）、漂泊者としてのヤマトタケル像（3～6）、ついで在原業平の東下り（7・8）、貴種流離譚としての光源氏の須磨退去（9・10）、西行の旅（11～15）、源義経の平泉逃亡（16・17）、阿仏尼の鎌倉下向（18・19）、後深草院二条の旅（20～23）、芭蕉の旅（24～）等々を考察してもらおう。
履修上の留意点	授業は適宜配布するプリント教材によって講義形式で行う。プリントはレポート作成の資料となるものであるから、出席に努めてほしい。
成績評価の方法	授業の最終日にレポートを提出してもらい、その成績に出席状況や授業への取り組み（授業内の小レポート提出等）への評価を含めて評価する。
教科書 参考書等	授業時に配布するプリントを教材とする。 授業時に適宜紹介する。

履修コード	207001
科目名	文学〔日本文学「近代」〕
担当者名	石割 透

講義のねらい	日本近代文学史のうえで、重要な位置を占め、多くの読者に愛され続けている夏目漱石「坊ちゃん」、島崎藤村「家」、そして芥川龍之介の作品を中心にその内容を細かく検討する。特に、作品の表現について触れ、他の芸術表現ジャンルに対しての文学テキストの特色、テキストにうかがえる文化的諸相を明らかにし、そこに潜む課題について考えていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	1、夏目漱石「坊ちゃん」(6) 2、島崎藤村「家」(8) 3、芥川龍之介「鼻」(3)、4 芥川龍之介「地獄変」(3) 5 芥川龍之介「奉教人の死」(3) 6、芥川龍之介「舞踏会」(3) など。
履修上の留意点	前もって、その授業で扱う作品をできるだけ読んで授業にのぞむこと。図書館などに積極的に足を運ぶように。特に夏目漱石、島崎藤村や田山花袋、芥川龍之介や菊池寛などの作品をできるだけ多く読んで授業に臨むこと。
成績評価の方法	年2、3回のレポート提出。出席状況を重視する。
教科書	特に指示しないが、授業で扱う作品は、文庫本で読める。「夏目漱石 坊ちゃん」「島崎藤村「家」(以上「新潮文庫」など)、「芥川龍之介全集1～6」(ちくま文庫)など。
参考書等 その他	授業時に指示する。 講義形式で進める。プリントなどは必要な際に、その都度準備する。

履修コード	207201
科目名	文学〔日本のことば〕
担当者名	萩原 義雄

講義のねらい 広く日本語の特徴についてを学ぶことで、学習者自身が修得してきた国語全般に渉る教養を再度この講義を通して確認していくことにより、自分が気づいていたこと、気づかないでいたことを含めて、自身の有する教養をより高めていくことを目標に授業を進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

01の講義内容 ※最初に情報センターの使用手続について担当責任者説明
国語・国文学作品に於ける研究とその展開

02の講義内容 和語と漢語

03の講義内容 漢字教育にみる日本語(「常用漢字表」の行方)

04の講義内容 国語辞書(近代国語辞書、大槻文彦編『大言海』)

05の講義内容 漢和辞書(近代漢和辞書、諸橋轍次編『大漢和辞典』)

07の講義内容 地名辞書(近代地名辞書、吉田東吾編『大日本地名辞書』)

08の講義内容 植物辞書(近代植物辞書、牧野富太郎編『日本植物大辞典』)

09の講義内容 和英辞書(近代英和辞書、ヘボン『和英語林集成』)

10の講義内容 明治近代語の研究、雑誌『太陽』を読む

11の講義内容 大正近代語の研究、芥川龍之介著作集を読む

12の講義内容 昭和現代語の研究、井上靖著作集を読む

13の講義内容 平成現代語の研究、村上春樹著作集を読む

14の講義内容 「パロディ」化の作品とは

15の講義内容 絵本と言語

16の講義内容 漫画・アニメにみることばの言語表現

17の講義内容 書道と言語(唐顔真卿と明朝体文字)

18の講義内容 文字遊び(回文・逆さことば・しりとり等)

19の講義内容 文字の不思議さ(漢字=正字・通俗字、増画と省画、欠字=『干禄字書』、かな(誕生と広がり)、ローマ字)

20の講義内容 豊富な語彙を学ぼう(『分類語彙表』)

21の講義内容 文法はグラグラと揺れている

22の講義内容 文章体の特徴を知ろう

23の講義内容 音韻の響きと弾み

24の講義内容 共通語と方言語はどう変容していくのか

25の講義内容 日本語の系統

26の講義内容 言語生活からみた新聞記事・雑誌

27の講義内容 愈々、独り立ち

履修上の留意点 ※出席は、教場IT管理に依拠します。授業開始時に当日の出席書込欄にまずチェックをしましょう！また、IDチェックを忘れていたりした場合などは、下記掲示板へ書込みをすることで確認が可能となります。

※講義内容及び連絡事項については、HP(情報言語学研究室)上に凡て逐次掲載しますので常時間閲覧いたします。質疑応答の問い合わせも直接研究室対応の他、IT機器を用いても対応可能とします。

成績評価の方法 成績評価方法
月毎に上記項目を常にふまえた上で、報告書を提出し内容を発表してもらいます。個人が年間分析する上記報告書における私からの質問を受けて、各自それぞれ提出してもらいます。
提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

ご自分が調査した関連語句(書名・人名・用語など)の記入とそれに関わるネットリンク、添付画像処理についても著作権・肖像権問題に充分留意をお願いします。

また、総合教育研究学部(日本文化部門)掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させ、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営を行っています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させて行きますのでご承知願います。

URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/hagi> を使用する。

『紀田順一郎著作集』第6巻一知の職人たち／生涯を賭けた一冊一〔三一書房1997刊〕
情報機器及び文書編集ソフトを利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

情報機器を利用します。講義資料はHP(情報言語学研究室)上に凡て掲載します。授業内における講義プリントやレジュメPDF資料配布の紙面出しは必要最低限で保証します。

教科書
参考書
その他

履修コード	207301
科目名	文学〔外国文学「アメリカ文学」〕
担当者名	田中 保 <small>たなか たもつ</small>
講義のねらい	アメリカ文学の主潮を辿りながら、主要な作家の代表作品を取り上げて、それらの作品を通して、アメリカの文化・歴史・社会を多角的に考察していく。
講義の内容・授業スケジュール	[1]アメリカ文学の主潮(1~15) [2]主要な作家の作品研究(1~15)
履修上の留意点	前期は講義形式で、足早にアメリカ文学を概観します。後期は主な作家の作品一覧表から興味ある作品を数編選び、グループ編成による発表を行なう。
成績評価の方法	レポート提出、発表、出席状況等で総合的に評価する。
教科書	特に教科書は使用しません。必要に応じてプリントを使用します。
参考書	参考書は授業の際に、適宜紹介します。

履修コード	207401
科目名	文学〔外国文学「ロシア文学」〕
担当者名	杉山 秀子 <small>すぎやま ひでこ</small>
講義のねらい	ロシア文学は長い伝統をもつ傑出した文学として日本ではよく知られているが、その詳細について知る人は少ない。日本とは全く異なる土壌でつくられた文学を学ぶことはその国のものの考え方、行動様式を理解するうえできわめて重要であり、意義深いことである。
講義の内容・授業スケジュール	(1)ロシアとはどういう国なのか。その風土、国民的気質、宗教、歴史、政治体制、経済についてのあらまし(2-3)ロシア人は自国の言葉をどのように守ってきたか、ロシア語の特性と文学(4-6)女帝の支配するロシア、古典主義文学の隆盛、フォンヴィージン、カラムジンの輩出、ロモノソフの文字改革。(7-9)18世紀から19世紀にかけて活躍する文豪達。プーシキン、ゴゴリ、ツルゲーネフ、レールモントフ、チェルヌイシェフスキイ、ゲルツェンの輩出(10-12)20世紀初頭のチェホフの文学 1917年革命後に活躍したゴリキイを中心とするズナーニェ派の作家。これに対抗したのは、ペールイ、ギッピウス、ソロヴィヨフ、ソログープ、ブリュースフ、ブロークラの象徴派の詩人。リアリズム派と、モダニズム派との熾烈な文学闘争。(13-14)スターリンの台頭による文学のしめつけ。スターリン死後、作家同盟を中心とする雪どけ。エレンブルグラが活躍、ソルジェニツインの国外退去。(15)1991年のソヴェート政権崩壊後の文学。
履修上の留意点	特にないが、自分の意見を書いてもらうことがある。その場合インターネット、ウィキペディアの丸写しは評価しない。
成績評価の方法	文章表現力をつけるため、数回授業中に文章を書いてもらい提出してもらう。授業内試験と提出物を基本に評価する。出席状況も考慮。
教科書	特になし。
参考書等	授業内で指示する。

履修コード	207801
科目名	歴史学〔日本中世史〕
担当者名	今野 慶信 <small>こんの よしのぶ</small>
講義のねらい	歴史学は「史料」に基づいた科学である。なかでも日本中世史は、明治時代、日本と西欧封建制との比較研究から生まれてきた学問分野であり、日本中世封建制度の研究は長く学界を規定してきた。しかし今日、その発展形である唯物史観に基づいた「戦後歴史学」の見直しが叫ばれ、一方では網野善彦氏の研究などに代表される社会史が学界に旋風を巻き起こしてきた。近年の日本中世史研究は、こうした流れを受け、さまざまな資料、例えば系図や絵画などを駆使して、豊かな中世史像を生み出すことに成功している。本講義では、そうした日本中世史の最新の研究動向を紹介しつつ、受講生には歴史・文化や地域に知的好奇心を持ち、過去へのまなざしと現代社会への視点を養ってもらいたいと考えている。
講義の内容・授業スケジュール	講義で扱う時代範囲は、平安時代末期から江戸時代初期までであるが、時代の流れを追いつつも、各回毎にテーマを設定しつつ、今ホットなトピックも努めて紹介していくことにしたい。とりわけ、近年活況を呈している地域史研究の分野において、現在我々が暮らしている関東・東京地域史研究の成果を随時紹介していくことにしたい。
履修上の留意点	授業で配布する資料を貼り込むなど、ノート作りには工夫してもらいたい。
成績評価の方法	定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。
教科書	なし。随時コピーを配布する。
参考書等	随時紹介する。

履修コード	207901
科目名	歴史学〔東アジア考古学〕
担当者名	<small>ちば もとつぐ</small> 千葉 基次

講義のねらい 長城地帯から極東アジア地域で民族・特定文物・組織その他から、一つのキーワードを選び出し、授業の主題とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業題目の研究史から始め、個々の研究内容を解説し、最後に今後の課題を示す。

履修上の留意点 板書事項もあり、薄くて充分なので専用のノートを用意することが望ましい。

成績評価の方法 毎時出席を確認し、平常授業を評価の基とする。レポートについては出欠状況を見て決める。

参考書等 授業の中で紹介する。

履修コード	208001
科目名	歴史学〔古代オリエント史〕
担当者名	<small>おおしろ みちのり</small> 大城 道則

講義のねらい 古代オリエント世界と古代地中海世界との交流関係について具体例を挙げつつ紹介し、当時の歴史背景や研究上の問題点などを解説・指摘する。

講義の内容・授業スケジュール ヨーロッパ世界の起源である古代地中海世界は、様々な文明と多様な文化が接触・交錯し、相互に影響を与え合い、共存する場であった。我々は、ヨーロッパ世界を理解するために、その根源である古代地中海世界について考える必要がある。そのため本講義では、古代エジプト文明の成立から、古代ギリシアを通して、古代ローマ帝国の地方都市である埋没都市ポンペイや隊商都市パルミラの歴史までを取り扱う。

前期

- (1) 地中海世界の中のエジプト
- (2) 古代エジプト形成期（統一王朝の出現）
- (3) 古王国時代のエジプト（ピラミッドの発展過程）
- (4) 古王国時代のエジプト
- (5) 新王国時代のエジプト
- (6) メソポタミアの古代都市
- (7) 鉄の王国ヒッタイト

後期

- (8) 古代エーゲ文明の成立
- (9) 東方化の時代と大植民時代
- (10) エトルリア文明
- (11) 古代ローマ皇帝伝
- (12) 火山で埋もれた都市ポンペイ
- (13) 古代ローマ人の食生活
- (14) 砂漠の隊商都市パルミラの歴史

履修上の留意点 お互いの信頼関係のため講義中の携帯電話および遅刻・退室は禁じる。配布したプリントはファイルし、毎回講義に持参すること。

成績評価の方法 学年末試験、出席率、受講態度により総合的に評価する。

教科書 講義の際には講義内容に則したプリントを配布する。

参考書等 大城道則『ピラミッド以前の古代エジプト文明』（創元社）

その他 画像を多用するためパワーポイントを使用する。

履修コード	208101
科目名	歴史学〔西洋近代史〕
担当者名	土方 史織
講義のねらい	西洋近代史の概観をつかみ、現代社会の「かたち」を形成した「近代」という時代がどのようなものであったのか理解することを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	以下の内容を講義形式で進めます。 前期：18世紀～19世紀 国民国家建設（フランス革命～アメリカ独立～産業革命） 後期：19世紀～20世紀 帝国主義形成（植民地主義～第一次大戦）
履修上の留意点	適宜プリントを配布し、プロジェクトなども使用して理解が深められるようにします。 予備知識としてルネサンス期以降のヨーロッパ史を理解しておく必要があります。地図帳や資料集などが手許にあると理解の助けになります。なお遅刻、私語は厳禁。守れない人は履修しないで下さい。
成績評価の方法	期末試験と夏期課題、時々とる出席で総合的に判断します。
参考書等	大下尚一他編『西洋の歴史〔近現代編〕増補版』ミネルヴァ書房1998年。 近藤和彦編『西洋世界の歴史』山川出版社1999年。 井野瀬久美恵著『大英帝国という経験』（興亡の世界史 第16巻）講談社2007年。 『ヨーロッパ史入門』（全10冊）岩波書店
その他	授業初回に詳細なガイダンスをおこなうので履修予定者は必ず出席して下さい。

履修コード	208201
科目名	歴史学〔日本近代史〕
担当者名	出口 宏幸
講義のねらい	戦国の世が閉じられ、近世社会へ移行することで、どのような社会的変化がおこったのか。都市と村落という視点を基本に話を進めます。受講生にとって、この授業が、歴史と向き合う貴重な「時間」になることを期待します。
講義の内容・授業スケジュール	（講義の内容） 全国的に成立した都市は、領土支配の拠点、また商業活動の舞台であり、村は生産の場でした。河空間の成立がもたらした、あらたな展開（身分・家格、社会的分業、文書社会化など）を通して、近代の直前に位置した近世社会について考えます。 （授業スケジュール） （1～4）戦国から近世へ、近世社会の概要〔幕府改革〕・〔流通網の形成〕・〔都市文化の隆盛〕 （5～9）領土支配〔検地、年貢・諸役、五人組〕、〔檀家制度、村請制度〕、都市、村落〔村役人〕、家格（10～14）山村と漁村、商人の台頭、奉公人組織、商品生産の展開、貨幣制度（15～17）村を支えた集団、村方騒動と一揆、村の荒廃、（18）近世の終焉
成績評価の方法	試験80%、平常点20%
教科書	各回にプリント（資料含む）を配布します。

履修コード	208301
科目名	歴史学〔日本近代史〕
担当者名	立川 章次
講義のねらい	日本史の流れを概観し、幕末から維新期にかけての過程を考察する。 幕末のわが国は、国内的には商品経済の流通により、封建制が内部矛盾を露呈し、崩壊への兆が、その一方、対外的には欧米列強の外圧に遭遇し、国家存亡の危機に直面したのである。幕末から明治初期にかけての人々は、この恐るべき外圧を契機として、みごと新国家の創造に成功し、近代日本の今日への基礎を築いたのである。このことに留意して新しく維新史を学びたい。
講義の内容・授業スケジュール	前期 維新変革の機運・尊攘運動の展開・王政復古・明治新政・新国家の統一といった幕末から維新期にかけての過程を考察する。 後期は外交の転機となった幕府最初の遣米使節の人々や、咸臨丸の勝海舟、福澤諭吉、中浜万次郎といった人々の啓蒙思想の原点を考察する。
成績評価の方法	定期試験と出席日数により総合的に評価する。
教科書	尾佐竹 猛『幕末遣外使節物語』（講談社学術文庫）960円

履修コード	208401
科目名	芸術学〔日本美術〕
担当者名	北野 ^{きたの} 良枝 ^{よしえ}

講義のねらい 室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を理解するにあたって、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回、作品の画像を映写する。

講義の内容・授業スケジュール
 前期 室町から桃山時代の絵画
 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識
 (3) ～ (7) 室町時代の水墨画 (8) 阿弥派
 (9) 関東水墨画 (10) 土佐派
 (11) ～ (12) 狩野正信・元信 (13) ～ (15) 狩野永徳と桃山画壇
 後期 江戸時代の絵画
 (16) 江戸時代の狩野派 (17) ～ (20) 琳派
 (21) ～ (22) 浮世絵 (23) 南蘋派
 (24) 文人画 (25) ～ (26) 秋田蘭画と司馬江漢
 (27) 円山四条派 (28) 伊藤若冲と曾我蕭白
 (29) ～ (30) 江戸から明治へ

履修上の留意点 授業中の私語は厳禁。
成績評価の方法 学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

履修コード	208501
科目名	芸術学〔西洋美術〕
担当者名	矢野 ^{やの} 陽子 ^{ようこ}

講義のねらい ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では私たちは異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ16世紀から18世紀まで、つまりルネサンス期から革命期頃までのフランス美術を、絵画を中心に取り上げます。まず美術の主要な流れを把握し、作品に表現された内容とその表現様式の特徴を考えます。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール
 (1) ガイダンス (2～4) 16世紀の美術 (5) 17世紀初頭の美術 (6～7) 写実的傾向の画家たち
 (8～11) アカデミーと古典主義の美術 (12) 静物画 (13～16) ヴェルサイユの美術 (17～18) 18世紀初頭のフランス美術 (19～22) ロココ美術 (23～25) 肖像画、風俗画、風景画 (26～30) 新古典主義美術

履修上の留意点 作品の画像をスクリーンに映してそれを見ながら講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてください。

成績評価の方法 夏休み後に提出するレポートと学年末の筆記試験に出席状況を加えて評価します。レポートの課題や試験の形式などは授業中に説明します。

参考書等 高階秀爾『フランス絵画史』講談社学術文庫
 大野芳材『フランス近世の美術』財務省印刷局

その他 その他、授業中に適宜紹介します。
 授業内容と関連するものに限らず、開催される様々な美術展覧会を随時紹介する予定ですので、積極的に見に行ってください。

履修コード	208601
科目名	芸術学〔音楽〕
担当者名	浦本 裕子

講義のねらい 音楽は私たちの回りに溢れている。さまざまなメディアから音楽が流れ、カラオケも今や世界共通語にまでなった。社会のグローバル化が進み、音楽も世界のものが聴けるようになり、ジャンルもボーダーレスになってきた。日本では、演歌など一部のものを除けば、流れている音楽のほとんどがヨーロッパとアフリカの音楽に基づいたものである。音楽理論はヨーロッパで生まれたクラシック音楽に由来し、ポップスにはアフリカ的な要素も多く入り込んでいる。
 そもそもどのように音楽が生まれてきたのだろうか、そしてどのように享受されてきたのであろうか。

本来は、音楽は生活の中での祈りや子守歌など「必要なもの」として生まれてきた。そして世界各地で、環境や生活形態が異なる中で、楽器や発声法などそれぞれ独自の音楽文化を長い時間をかけて形成してきたのである。

この授業では、そのような多様な諸民族の音楽やヨーロッパのクラシック音楽を学ぶことにより、多様な文化の一つとして音楽を理解することを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール
 前期：諸民族の音楽・1-3概論 4-7ヨーロッパ 8-15アジア
 後期：西洋音楽史・1-2楽器 3-4中世・ルネサンス 5-7バロック 8-10古典派 11-13ロマン派 14-15近世

履修上の留意点
 ・音資料や映像資料を鑑賞するので、できるだけ出席するように。
 ・授業中に簡単なレポートを書いてもらうことがあるかも知れません。

成績評価の方法
 前期：試験またはレポート
 後期：試験

教科書参考書等
 祐植元一・塚田健一編『はじめての世界音楽』（音楽之友社）
 藤井知昭 他 編『民族音楽概論』（東京書籍）
 久保田慶一 他 『はじめての音楽史』（音楽之友社）
 岡田暁生 『西洋音楽史』

履修コード	208701
科目名	哲学〔西洋思想の源流〕
担当者名	滝口 清栄

講義のねらい 西洋思想は古代ギリシアで哲学的思索が始まってからすでに二千数百年の歴史をもっている。とかく現代では、目新しさを求める風潮が強くある。そしてさまざまな流行が私たちを囲んでおり、思想の世界もこの風潮を免れていない。しかし、この二千数百年の歴史は、けっして遺物の山なのではない。そうではなく、この歴史のなかでさまざまなテーマが多くの思想家たちによって提出されて、さまざまな応答がなされてきた。それらは、今日のさまざまな思想的論点の底流を形作っていると看しても、言い過ぎではないだろう。

講義の内容・授業スケジュール 西洋思想の源流として、古代ギリシア・ローマの諸思想、そして中世の思想を取り上げる。講義にあたっては、それぞれの思想の検討だけでなく、その思想の背景にある歴史的な事情や当時の文化のあり方にも目配りをおこなう。講義スケジュールは次のようにする。

前期 ① 万物のはじめをもとめて（ソクラテス以前の哲学者たちの思索を検討する）、② ポリスの思想家たち（ソクラテス、プラトン、アリストテレスなど）

後期 ① ヘレニズム時代のコスモポリートたち（エピクロス、初期ストア派の思想家たち）、② 中世の思想（アウグスティヌス、トマス・アクイナスなど）、③ 近代の幕開け

履修上の留意点 講義は平明を心がける。ノートをよくとってほしい。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法 中間テスト（前期の最終授業時）と学年末試験により成績を評価する。追試験は実施する。
教科書 久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』、公論社、3200円

履修コード	208801・208901
科目名	哲学〔西洋思想の源流〕
担当者名	佐藤 暁

講義のねらい 哲学という営みが世界史上初めて行われた古代ギリシャ及びその強い影響下にあった中世ヨーロッパで活躍した哲学者たちの議論に、なるべく具体的かつ多く触れることによって、哲学的な問題とはどのようなものであり、哲学的に何かを論じるとは一般にどのようなことであるか、の理解を得ることを目的とします。また、一見現代の我々のものと異なって見えることもあるそれらの問題設定を知ることによって、我々が何かを考える際に自明と見なしている枠組みの相対性と普遍性を、結果的に吟味することにもなります。

講義の内容・授業スケジュール (1) 概論：哲学とはどのような学問か (2～4) ソクラテス以前の哲学 (5)～(10) ソクラテス・プラトン (11)～(17) アリストテレス (18)～(20) ヘレニズム期の哲学 (21) (22) 教父思想とアラビア哲学 (23) (24) カロリング・ルネサンスと前期スコラ学 (25)～(27) 盛期スコラ学 (28)～(30) 後期スコラ学

成績評価の方法 学期末にレポートを提出してもらいます。
教科書 久保陽一・河谷淳編著『原典による哲学の歴史』公論社3200円 ISBN978-4-7714-2002-1

履修コード	209001
科目名	哲学〔近代の人間観と世界観〕
担当者名	古田 知章

講義のねらい 現代において我々は、様々な場面で西洋的なものに直面し、また、我々自身、知らず知らずのうちに西洋的な人間観・世界観に基づいて判断あるいは行動していることも多い。この我々の日常にも深く係わる西洋的なものは、古代ギリシア以来の伝統のもと多岐にわたる曲折を経て、近代ヨーロッパにおいて現れた人間観・世界観に強く影響を受けている。したがって、西洋的なものの理解のためにも、また、現代に生きる我々の自己理解のためにも、近代ヨーロッパの人間観・世界観がどのような伝統と時代意識のもとに形成され、いかなる形で現代社会へと流れ込んでいるのかを学ぶことは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール 教科書を利用し、以下の内容を取り上げる。

〔前期〕 近代の人間観・世界観の源流

- (1) ガイダンス
- (2～4) 哲学における基礎的な問題の整理 人間と世界について問うこと
- (5～7) 古代ギリシアの思想 (1) ー哲学的探求の始まりー
- (8～10) 古代ギリシアの思想 (2) ー哲学の基盤の成立ー
- (11～13) キリスト教思想と中世の哲学 ー思索の新たな展開ー
- (14～15) 中世から近世への連続と変動 ー様々なルネサンスについてー

〔後期〕 近世・近代の人間観・世界観

- (1) 前期のまとめ
- (2～4) ルネサンスから近世の思想 ー人間観・世界観の変革ー
- (5～7) 科学の発展と世界観の変化との関係 ー法則的世界と人間ー
- (8～11) 「コギト」としての人間存在 ー思考の働きの能動性ー
- (12～15) 現代の存在論 ー見えるものを支える見えない枠組みー

成績評価の方法 二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。
教科書 『原典による哲学の歴史』（公論社）
参考書等 講義の際にその都度紹介する。

履修コード	209101
科目名	哲学〔近代の人間観と世界観〕
担当者名	佐藤 暁

講義のねらい

科学が世界の基礎的な真相を記述している、という現代においても支配的な信念が初めて一般に共有されるようになった近代という時代の哲学は、それゆえ、現代の我々が普段何をしていることになるのか、あるいはどのような世界に住んでいるのか、といった哲学的な問いを考えるうえで必要となる道具立てのうち、最も基本的なものを作り上げた哲学と言えます。この授業では、近代の哲学者たちの議論に具体的に触れることによって、我々自身が哲学的に考えるうえで必要な思考方法にどのようなものがあるかを実際に知り、できればそれらのある程度使いこなせるようになることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

以下の哲学者を中心に、各項目ごとの解説を行います。(1)概論：人間と人間観、世界と世界観(2)～(13)イギリス経験論(ロック・パークリ・ヒューム)(14)～(22)大陸合理論(デカルト、スピノザ、ライブニッツ)(23)～(30)カントとドイツ観念論(カント・ヘーゲル)

成績評価の方法
教科書

学期末にレポートを提出してもらいます。
久保陽一・河谷淳編著『原典による哲学の歴史』公論社 3200円 ISBN978-4-7714-2002-1

履修コード	209201
科目名	哲学〔近代の人間観と世界観〕
担当者名	小島 優子

講義のねらい

近代における「人間中心主義」をテーマとする。現代における環境問題を考えるとき、われわれはすぐに人間中心主義の思想のもとに自然破壊が行われてきたことに思い至る。近代における科学技術の発展はわれわれの生活をたいへん便利なものとしてきた。しかし、人間中心主義がわれわれにもたらしたものはいったい何であろうか。このことを考察するために、まず自然と人間との関係は古代ギリシア以来、どのように考えられてきたか、そして近代人の特色とは何であるについて押さえる。

近代において人間中心主義が標榜されるようになったのは、中世のように神が人々にとって中心的な問題ではなくなったことに由来する。そもそもなぜ古来人間は神を信じてきたのか、さらに近代人にとって神とはどのような存在であるのかについて考えたい。近代においてはむしろ人間とは何であるかということが、歴史的状況、社会的状況のなかで問われるようになった。そして人間はいかに生きるべきか、人間とは何かということが問題とされる。講義を通して、人間とは何か、また人間が生きることの意味について学生諸君に考えてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 哲学とは何か
- 2 近代以前の哲学
 - ① 古代ギリシア哲学の世界観－人間と自然・人間と国家との関係－
 - ② 中世哲学とキリスト教神学
- 3 近代哲学の特徴
 - ① キリスト教神学からの解放－近代人にとって神とは何か－
 - ② 自然科学の哲学への影響
 - ③ 人間中心主義の世界観

成績評価の方法

1回の定期試験(中間試験)と、1回の学期末試験と平常点(出席状況)で評価する。定期試験と学期末試験、平常点とで必要とされる点を満たさない場合には、追試験を認める。

教科書
参考書等

久保陽一・河谷淳編著『原典による哲学の歴史』公論社
小島優子著『最新哲学がよ～くわかる本』秀和システム

履修コード	209301
科目名	哲学〔現代文明と人間〕
担当者名	黒崎 剛

講義のねらい 近代社会（近代とは現代も含む）のなかで人間のあり方と、社会構造（近代市民社会＝資本主義社会）について、近現代哲学を総括した上で、テーマ別に人間論と社会論について入門的な講義を行う。個々の哲学者の学説史ではないので、哲学史の知識を求める人には向かない。

講義の内容・授業スケジュール 以下のテーマを取り上げる予定

1. はじめに：われわれはどんな社会に生きているか
2. 「知識」は何のためにあるのか
3. 近代的自我：「自分である」とはどういうことか
4. 近代的自由の類型：自己決定と自律
5. 人間と自然：人はなぜ自然に生きることができないのか
6. 近代資本主義社会の構造：われわれはなぜモノとカネに支配されるか
7. 歴史哲学

履修上の留意点 近代哲学の主要テーマ別はかなり抽象的な形で取り上げるので、単位獲得のためだと割切っている人は退屈するはず。自分で考える姿勢を持つことを要求したい。

成績評価の方法 学年末試験を中心とし、受講態度および出席を加えて総合評価する。
教科書 教科書の代わりにプリントを配布。参考書は教場で紹介する。

履修コード	209401
科目名	哲学〔現代文明と人間〕
担当者名	滝沢 正之

講義のねらい 現代哲学における重要な哲学者たちのうちから何人かをとりあげ、本人が書いたテキストの一部を（翻訳ではあるが）実際に読みつつ、その思想を紹介していく。

講義の内容・授業スケジュール 我々が生きている現代がさまざまな問題を抱えていることは誰でも知っている。哲学者たちの思考をたどることで、それらの問題を根本にまで立ち戻って考え直すことを試みたい。

下に指定した教科書『原典による哲学の歴史』の原典引用部分を丁寧に読み、解説していく。現代哲学の流れを紹介した後にアンケートを採り、受講者の問題関心に応じて扱う哲学者を選択する。とくに要望がない場合は、こちらで重要と思われる哲学者をピックアップする。適宜プリントで内容の補足を行う。

履修上の留意点 ちなみに昨年度は、現代思想の概観を確認したのち、フランクフルト学派、ショーペンハウアーを前期に、ニーチェ、キルケゴール、サルトルを後期に扱った。

成績評価の方法 教科書を必ず入手しておくこと。
 中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。

教科書 久保陽一、河谷淳編著『原典による哲学の歴史』、公論社、2002年、3,200円。また、授業中に適宜プリントを配布する予定。

参考書等 講義中に適宜指示する。

履修コード	209501
科目名	哲学〔現代文明と人間〕
担当者名	麻生 享志 <small>あさお たくし</small>
講義のねらい	人間の生き方と密着する、また、学問としての「本当の哲学、本物の哲学」に近付くための案内をする。 自己の人生の問題を考えるきっかけを得る。そして、その追い求め方のヒントもさがす。 哲学や、人生を考える上で有益な書物を読む、読み方を説明する、など。
講義の内容・授業スケジュール	(1)哲学とは何か(2-6)古代ギリシャ・20分で分かる哲学全歴史・ゼノンのパラドックス・時間論とタイムマシン・原子論(7-12)論理的説得とは・初心者の犯す四誤謬・実験と科学・帰納的推論・山のパラドックス考・自然法則の意味(13-20)経験論の教えるもの・美と感覚・主客二元論・真理論としての対応説・色は実在せず・第一性質と第二性質・プラグマティズムの真理観・哲学史再考(21-30)論理学開始のアポリア・ニーチェ道徳理論の借用・1命題1 真偽値説の功罪・可能性を数えつくすこと・カラスのパラドックスやグルー問題その他・「囚人のジレンマ」と哲学・保守思想と19世紀英国の思想家達・建築の哲学・神の存在論的証明の現代的意義・教育哲学における10原理
履修上の留意点	最低限の常識的なルールを守ってもらい、あとは、興味に応じて講義を聞く事を“楽しんで”もりたいと思っています。
成績評価の方法	成績は、出席等による平常点(約3分の1)、前・後期試験および夏休み明け提出のレポート(約3分の2)によって評価します。特に、2度の試験とレポート提出の3条件を満たさない場合、単位は出ません。
教科書 参考書等	久保・河谷編、麻生ほか著『原典による哲学の歴史』(公論社刊) 3200円 麻生著『ジョン・デューイにおけるプラグマティズムの真理観の研究』(コンテンツ・ワークス社「ブック・パーク」によるインターネットのオン・デマンド出版)は、講義の内容に直接関係するものとしてご紹介します。その他講義に直接必要なものは、原則としてコピーを配布します。他に読むべきものは、講義中において詳細に紹介するので、自己の興味に合せて読み進められたい、と思います。(下欄「その他」の説明も参照)
その他	大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。 初日はガイダンスとし、定時に開始し、5分間程度、資料を配布して質問を受け付けます。(その後は、雑談的内容にあてる予定で、退出自由。)この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。このガイダンス資料配布および質問受付は、支障の生じない限り、初回授業終了時5分程度にも行う予定です。

履修コード	209601・209801・210101
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	鈴木 聡 <small>すずき さとる</small>
講義のねらい	論理学の初歩の講義を、できるだけ丁寧にわかりやすく行う。論理学とは、妥当な論証と非妥当な論証との差異についての研究である。妥当な論証とは、前提から結論が帰結する論証である。前提から結論が帰結することを意味論的ならびに統語論的に表現することが論理学の主要課題である。妥当な論証を行う能力を身につけることは、いかなる分野を専攻する学生にとっても重要なことからである。
講義の内容・授業スケジュール	(1)プロローグ・(2)文論理における文の記号化・(3)文論理の言語・(4~7)文論理の意味論・(8~14)文論理の統語論・(15)中間試験・(16・17)第一階量化論理の基本概念・(18・19)第一階量化論理の言語など・(20・21)多重量化・(22・23)第一階量化論理の意味論・(24)第一階量化論理のメタ論理・(25~29)第一階量化論理の統語論・(30)期末試験
履修上の留意点	講義を理解するためには、「数学」のセンスが必須である。 欠席・遅刻は一切認めない。
成績評価の方法	成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。
教科書 参考書等	配布プリント 本講義は、講義→小テスト(チュートリアル)→前回の講義の復習→小テストの解説→・・・という形式で行う。

履修コード	209701
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	<small>ひまぐち まさひろ</small> 山口 祐弘

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

論理学の基本思想を学ぶことによって、正しく思考し語る態度を身につける。

前期

- ①論理学の課題と目標
- ②思考の基本原則、同一律・矛盾律・排中律・理由律
- ③伝統的論理学と弁証法
- ④論理的思考の要素、概念・判断・推理
- ⑤推理の方法、直接推理
- ⑥推理の方法、間接推理
- ⑦蓋然的推理、帰納と類推
- ⑧誤謬論
- ⑨パラドックス
- ⑩論理と科学

後期

- ①記号論理学の起源
- ②命題論理学
- ③命題関数と真理表
- ④標準形
- ⑤命題論理の公理体系
- ⑥体系の無矛盾性と完全性
- ⑦命題の内部構造
- ⑧述語論理学の基本概念
- ⑨定理の演繹
- ⑩伝統的論理学の記号化

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

日常の思考と言語表現における論理性に注意をむけること。

中間および期末試験による。

山下太郎「新しい認識への論理」(公論社)

履修コード	209901
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	<small>ひまぐち きよあき</small> 滝口 清栄

講義のねらい

私たちはさまざまな情報のうずのなかで生活している。これら多岐に及ぶ情報の伝達と表現は言葉によって行なわれている。また送り手も受け手も思考を通して情報に関わっている。この渦の中で私たちは納得したり、あるいは納得しなかったりする。こう見るならば、私たちは言葉と思考のあり方に敏感になるのではなかろうか。ひとたびこの点に注意を払うようになると、日常生活そしてさまざまな学問的な営みの基礎として、論理学が大切なものと思えるであろう。本講義では、思考の基礎をしっかりとしたものとし、思考の諸法則が身につくよう心がける。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書はおもにそれぞれのテーマの理解を得るために使い、練習問題をそのつど配布する。形式論理学に重点をおいて授業を進めていく。

前期では、実際に文章を論理的に解説する練習をおこない、そのあと、論理的虚偽について、概念、定義と分類、命題、演繹推理(定言三段論法、仮言三段論法など)、帰納推理、記号論理初歩を扱う。

履修上の留意点

理解を深めるために練習問題をできるだけ多く解いて、論理的な思考回路が身につくように工夫する。出席を重視する。

成績評価の方法
教科書

年間5回の小テストをおこなって、成績を出す。したがって、追試験はおこなわない。

山下太郎他著『新しい認識の論理』(公論社) 3,200円

履修コード	210001
科目名	論理学〔知の技法〕
担当者名	伊古田 理

講義のねらい	本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際のノウハウの習得を目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	(1)(2)「論理的」とはどういうことか (3)主張文の基本構成 (4)～(6)問題設定のしかた (7)～(9)根拠づけの考えかた (10)～(13)結論のつけかた (14)～(16)論証の基本原則 (17)(18)文献を使って文章を書く(1)－その意義 (19)～(22)文献を使って文章を書く(2)－文献を読む (23)～(28)文献を使って文章を書く(3)－文章を書く (29)(30)文章作成の倫理
履修上の留意点	以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。
成績評価の方法	最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート試験(1月定期試験時提出)によって判定。このほか、随時課する小レポート(内容要約、など:期日厳守)をプラス材料として考慮する。定期試験はいっさい実施しない。
教科書	本年度は、テーマとして「道徳の理由(なぜ道徳なんてものに従って行動しなければならないのか)」をとりあげる。 教科書:大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』(ナカニシヤ出版) 副読本:野矢茂樹『論理トレーニング』(産業図書)
参考書等その他	そのつど指示する。 上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

履修コード	210201
科目名	論理学〔知の技法〕
担当者名	小島 優子

講義のねらい	論理力は、自分の考えていることを他人に納得のゆくように筋道立てて説明するさいに、必要となる。そして論理的に文章を書くためには、論理学の構造を学ぶだけではなく、論理学の問題練習を行うことが必要である。そのために講義では毎回、問題演習を行う。いわゆる悪文と良文とはどこが異なるのか。わかりやすい文章、論理的につじつまの合う文章を書くために必要な事柄は何であるのか。講義では毎回、参考となる文章を取り上げて、論理的な文章を書き、論理的な構造を把握し身につけるためのトレーニングを行う。最終的には、論理的な力を身につけ、レポートや、論文を書くための力を身につけることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	1 ガイダンス 論理学とは何か 2 さまざまな接続関係 3 接続の構造 4 議論の組み立て 5 論証の構造と評価 6 演繹と推測 7 価値評価 8 否定 9 条件構造 10 推論の技術 11 批判への視点 12 論文を書く
履修上の留意点	論理力を身につけるためには、論理力トレーニングが必要となるので、講義に出席することが大事である。このために出席を重視する。
成績評価の方法	一回の定期試験(中間試験)と、一回の学期末試験、および平常点(授業時に適宜与える課題)で評価する。定期試験と学期末試験、平常点とで必要とされる点を満たさない場合には、追試験を認める。
教科書	野矢茂樹『論理トレーニング』(産業図書)
参考書等	そのつど指示する。

履修コード	210401
科目名	科学史〔科学と技術〕
担当者名	高橋 秀裕

講義のねらい 今日、我々は高度に発達した科学とその科学に基づいた技術の受益者になりうるだけではなく、その反対に被害者にもなる可能性がある。近代自然科学をどのように捉え、それに如何に対処するかという問題が近年しきりに議論されている所以でもある。本講義では、古代から現代に至る科学の歴史的展開を、「方法」や「思想」そして「宗教との関係」にも眼を向けつつ総合的に学び、科学がいかに広範な文化的背景をもって発展してゆく知的営為であるかを理解するとともに、科学と技術に関して今後思索する際の信頼できる知的道具の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、近代日本の科学技術の性格を歴史的に考察することから出発し、近代日本が導入を図った西欧近代科学の長い歴史をたどる中から、その成立の由来を探ることを通して、近代科学に裏付けられた技術の強力さの秘密とそれが抱える問題点について講義する。後期は、科学の三つの典型として、数学、自然科学、医学を議論の俎上にのせ、科学がいかなる構造と射程をもつ知的営為であるのか、そして高度な科学・技術が制度化された現代社会の抱えている諸問題について、具体的事例をとりあげながら、科学と技術の歴史的展望をも含めて講義する。

履修上の留意点 いわゆる自然科学に関する素養はとくに要求しないが、講義の中に出てくる諸概念を必要に応じて自ら調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。また、毎回講義内にコメントカード（兼出席票）を配布するので、講義内容に関する感想や不明な点などを書いてほしい。

成績評価の方法 出席・随時レポートによる平常点（40％）および定期試験（60％）の総合成績で評価を行う。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。

教科書 特に指定しない。
参考書等 講義の際に適宜紹介する。
その他 講義形式、随時プリント配布。

履修コード	210501
科目名	科学史〔近代科学の成立と展開〕
担当者名	高橋 秀裕

講義のねらい 17世紀科学革命における経験主義の起源の一つとして、魔術的伝統が挙げられる。しかし魔術のような非合理的な伝統が合理主義の追求である近代科学に影響を及ぼしたとは考えられないと言った科学史家もいる。果たしてそう言えるのだろうか？この授業では、ルネサンス期において興隆をみた魔術的伝統とはどのようなものであったか、それが多様かつ複雑なものであったことを理解し、その中で、脱神秘化していく魔術と理論化される技術に焦点をあて、とくに「遠隔力」概念の形成において、科学が魔術と占星術から大いなる刺激を受けた、その事情を探る。

講義の内容・授業スケジュール 磁力の発見をめぐる話題から出発し、魔術と科学のはざまに焦点を当てながら、近代科学の形成過程に「魔術」が果たした役割を探る。とくに磁力と重力の発見過程を歴史的に追跡し、17世紀機械論哲学と力概念の発展について講義する。

履修上の留意点 いわゆる自然科学に関する素養はとくに要求しないが、講義の中に出てくる諸概念を必要に応じて自ら調べ理解する積極的な態度は受講の最低要件である。また、毎回講義内にコメントカード（兼出席票）を配布するので、講義内容に関する感想や不明な点などを書いてほしい。

成績評価の方法 出席・随時レポートによる平常点（40％）および定期試験（60％）の総合成績で評価を行う。なお、試験については、手書きノートの参照は可とする。

教科書 特に指定しない。
参考書等 講義の際に適宜紹介する。
その他 講義形式、随時プリント配布

履修コード	210601
科目名	倫理学〔人間観〕
担当者名	古田 知章

講義のねらい われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉、あるいは、「自分が人間である」という事態を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答、そして、われわれ自身の生きる目標としての人間観が提示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

- 教科書を利用し、以下の内容を取り上げる。
- [前期] 人間観の形成の歴史とその伝統
- (1) ガイダンス
 - (2~4) 人間と倫理 一人間であるために―
 - (5~8) 古代ギリシア思想における人間観の諸相
 - (9~11) 中世キリスト教思想における人間観
 - (12~15) 人間観の転換 ―ルネサンス・宗教改革―
- [後期] 新しい時代の人間観
- (1) 前期のまとめ
 - (2~5) 出発点としてのデカルト《思惟する私》とパスカル「考える葦」
 - (6~9) 自己の内面性と他者の問題
 - (10~12) 人格 ―ロックを手がかりに―
 - (13~15) 人間存在と自由

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。
『原典による哲学の歴史』（公論社）
講義の際にその都度紹介する。

履修コード	210701・211111
科目名	倫理学〔応用倫理学〕
担当者名	黒崎 剛

講義のねらい 「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」―「価値」や「義務」、「習慣」といった―の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定
1. 生命の倫理―講義の課題概説
 2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
 3. 人工妊娠中絶
 4. 安楽死と尊厳死
 5. 脳死と臓器移植
 6. 「生殖革命」―人工生殖の現状と問題点
 7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

**成績評価の方法
教科書**

レポートおよび学年末試験を中心に、受講態度、出席を加えを総合評価。
教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

履修コード	210901
科目名	倫理学〔応用倫理学〕
担当者名	<small>たきざわ まさゆき</small> 滝沢 正之

講義のねらい	倫理学の一部門、応用倫理学について、その基本構成、重要な成果、さらには限界を探っていく。我々の人間的な生にとって、なにが善いことでなにが悪いことなのか、といった道徳的な価値判断は本質的な契機をなしている。しかし、社会が複雑化し科学技術が極度に発展した現代においては、そのような価値判断のよりどころが判明でないような場面が多々出現するようになっている。物事の根本に立ち戻って哲学的に思考することによって、そのような場面に一定の見通しを与えることを試みる。
講義の内容・授業スケジュール	[1回～5回] 倫理学とはなにか（倫理学の基本概念を紹介する。） [6回～10回] 応用倫理学とはなにか（応用倫理学の哲学的な位置づけなど。） [11回～15回] 生命倫理学の諸問題（中絶の問題、安楽死の問題、臓器移植の問題など。） [16回～20回] 環境倫理学の諸問題（地球温暖化の問題、希少動物保護の問題など。） [21回～25回] その他の諸問題（技術と倫理との関係など。） （＊残りは予備日。また、あくまで目安である。）
履修上の留意点	講義が中心になるので、きちんと出席してノートをとらないと理解が深まらない。適宜プリント等で復習を行うが、この点について注意されたい。
成績評価の方法	学年末試験を行う。その他に、講義中に提出してもらった課題を評価の対象とする。具体的には中間レポート等を考えている。出席については受講者数をみてとるかどうかが決める。
教科書 参考書等	講義中に適宜指定する。 久保陽一、河谷淳編著『原典による哲学の歴史』、公論社、2002年、3,200円。その他のものについては講義中に適宜指定する。

履修コード	210801
科目名	倫理学〔価値観〕
担当者名	<small>くぼ よういち</small> 久保 陽一

講義のねらい	何が善で何が正しいか、何に「価値」があるかという問題は、近代以前においては、何が真理であり、何が存在するかという世界観や認識の問題と切り離すことはできなかったが、近代以後峻別されるようになった。だが、現代では再びその点に対する反省が出てきて、世界認識と価値判断の関連が問われている。そこで本講義ではまず近代以前の東西の倫理思想における価値観をとりあげ、次に近代の価値判断をめぐる思想を取り上げ、そして現代における人間の生き方を問うことにしたい。
講義の内容・授業スケジュール	1 仏教、儒教、老荘思想、古代ギリシア哲学、キリスト教における世界観と価値判断 2 近代倫理学（カント、経験論・功利主義、ヘーゲルなど）における価値をめぐる思想 3 現代における価値の問題
履修上の留意点	私語をつつしみ、よくノートを取ることを。途中退席は厳禁。講義内容の疑問点は率直に問うこと（随時、質問表を配る）。
成績評価の方法	中間と期末の試験、出席の割合など
教科書 参考書等	久保・河谷編「原典による哲学の歴史」（公論社） 授業中に紹介する。

履修コード	211001
科目名	倫理学〔制度とモラル〕
担当者名	<small>たきぐり きよえい</small> 滝口 清栄

講義のねらい 人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的の制度を生みだしてきた。そこには時代により、地域により違いが見られる。そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的の制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代でも人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえない。以上の思想的営みを歴史的視野の中で振り返る。それは、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。

講義の内容・授業スケジュール 本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代から主要な思想をピックアップし、人間観の特徴と、人間のよりよき生活を可能にするよりよき制度をめぐる思索のあとを検討する。制度はもちろんそれを担う人間を必要とする。ここにモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。

こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布するが、おおまかに、前期には、古代ギリシア、中世、近代初頭までの諸思想を、後期には、近世、近代のイギリス、フランス、ドイツの諸思想を検討する。

履修上の留意点 講義は平明を心がける。ノートをよくとってほしい。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法 中間テスト（前期の最終授業時）と学年末試験により成績を評価する。追試験は実施する。
教科書 久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

履修コード	211101
科目名	倫理学〔東洋倫理〕
担当者名	<small>すえき やすひこ</small> 末木 恭彦

講義のねらい 倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。主として西洋の哲学の一部門として発達した。それに相当する思索は東洋の伝統的思想の中に生まれていた。近代に至って、西洋の学問の影響下、東洋の伝統を生かそうとする試みが行われた。そのような東西のはざままで苦心して考えられた、東洋の倫理思想を紹介し、我々自身の倫理思想を獲得する一助としたい。

講義の内容・授業スケジュール 今年は、近代日本の哲学者・倫理学者である和辻哲郎の倫理学を紹介する。和辻倫理学の中でも『人間の学としての倫理学』を取り挙げて、一年かけてじっくりと読みたい。

(1) ガイダンス (2) 和辻哲郎について (3～8) 第一章一節～四節について (9) 第一章五節 (10～17) 第一章六節～十一節について (18～28) 第二章について (29～30) まとめと質疑応答
ノートをしっかり取る。

履修上の留意点 各学期末の試験と夏期休暇のレポートによって成績をつける。追試あり。

成績評価の方法 和辻哲郎『人間の学としての倫理学』（岩波文庫）（岩波全書版でも可）

教科書 和辻哲郎『倫理学』（一）～（四）（岩波文庫）

湯浅泰雄『和辻哲郎――近代日本哲学の運命』（ちくま学芸文庫）

坂部恵『和辻哲郎――異文化共生の形』（岩波現代文庫）

荻部直『光の領国 和辻哲郎』（創文社）

履修コード	211201
科目名	宗教学〔比較宗教文化〕
担当者名	池上 良正 <small>いけがみ よしまさ</small>

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。

本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、近代宗教学の成果をふまえて、私たちの日常の身近な出来事に引き寄せながら、「宗教」を理解する広い視点を提示してみたい。後期は、多くの日本人には馴染みが薄いものの、現代世界を理解するうえでは欠くことのできない、「一神教」という特異な宗教が成立した過程を考察し、その特性に迫ってみたい。(1～5) 近代における「宗教」の発見。(6～10) 聖なる時間と空間。神話の力。(11～15) グローバル化のなかの「宗教」。(16～20) 一神教の誕生。ユダヤ教。(21～25) キリスト教。(26～30) イスラーム。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

積極的に「学ぶ」意欲をもって授業に臨むこと。

年度末に筆記試験を行なう。

特に指定しない。

『岩波講座・宗教』（全10巻）（岩波書店）。『エリアーデ著作集』（せりか書房）。脇本平也『宗教学入門』（講談社学術文庫）。加藤隆『新約聖書の誕生』（講談社）。市川裕他『ユダヤ人と国民国家』（岩波書店）。板垣雄三『イスラーム誤認』（岩波書店）。

履修コード	211301
科目名	宗教学〔聖と俗〕
担当者名	田中 かのこ <small>たなか かのこ</small>

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」といった対立概念をみるのは、変化し続ける多様な現象の動きを把握しきれない人間の焦燥感が、二分法という遠心分離機を欲するから、ともいえる。人類の精神史において展開してきた各宗教の分立を観るにつけても、深く知れば知るほど、「～教」と「～教」を隔てる壁の存在に疑問を抱かずにはいられなくなる。一見、相違するようにみえる諸宗教の教義・儀礼・生活共同体の掟にも、歴史的な相関性があり、言語や民族の絆は、信仰の違いを超えて、多様な文化圏を形成している。さらに「いのち」の尊厳を守るための真摯な祈りはどれも、学問的に定義された「宗教」概念では捉えきれない、普遍的で深遠な思想を内に秘めている。ゆえに本講では、従来の宗教学が呪縛されてきた既存の宗教分類（例：「一神教と多神教」「世界宗教と民族宗教」）から出発せずに、最も根源的で身近な「いのち」をめぐる人間の畏れ・感謝・願いをテーマにしながらか、「宗教」を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期（1～15）は、ほかならぬ自らの「いのち」に気づき、その表現・解釈・ゆくえ・価値観などについて考えることに重点を置き、後期（16～30）は、ゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化における「いのち」について、教科書を縦横に駆使しながら探究する。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
その他

既存の知識で示せる情報の範囲をはるかに凌駕した、真実の豊かさに眼を開いてほしい。

独創性と応用力を発揮できる、論述式のレポートと学年末試験（追試なし）。

拙著『比較宗教学—「いのち」の探究—』（北樹出版）2008年、改版（第4刷発行）

講義担当者の現地調査によるスライドや録音テープを活用する。

履修コード	211401
科目名	宗教学〔世界観と儀礼〕
担当者名	小川 順敬 <small>おがわ としゆき</small>

講義のねらい	人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。 この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその世界観について考えていこうと思えます。一見、不可解な行動に見えても、その背後の世界観を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずで。
講義の内容・授業スケジュール	まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。
成績評価の方法	評価は原則として、年数回の「小試験」（出席点として処理します）および夏期レポート（前期試験に相当します）、年度末の筆記試験により行います。成績評価の具体的な方法、レポートの課題、年度末試験の方針、出席点評価等は最初の授業で詳しく説明します。
教科書 参考書等	原則として教科書は用いません。 講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

履修コード	211501
科目名	宗教学〔日本人の宗教〕
担当者名	矢野 秀武 <small>やの ひであき</small>

講義のねらい	宗教というものを語り理解するには様々な方法がある。宗教学はその1つである。また宗教学の中にも宗教に対しての異なる見方がある。本講義では、宗教学における多様な見方を理解するとともに、特に宗教人類学や宗教社会学、宗教思想研究といった見方を通じて日本の宗教についての基礎的な知識を学んでもらいたい。
講義の内容・授業スケジュール	前半はおもに、宗教学の基礎（1～5）、神道と仏教（6～10）、民俗宗教（11～15）など日本の諸宗教の歴史を中心に概説する。後期では、宗教の思想的側面にも触れながら、ひきつづき日本の諸宗教の概説を行なう。具体的には、日本のキリスト教や新宗教などの概説（16～20）とともに、近代日本の宗教者の思想（21～25）を紹介する。その他日本の宗教建築や現代日本人の信仰心の特質（26～30）などもとりあげる。
履修上の留意点	レポートや試験形式、その他授業の基本的な約束事は、初回の授業でプリントを配布し、解説する。
成績評価の方法	前期レポート（夏休み前に課題を提示・後期初回に提出）と後期の定期試験期間における筆記試験を総合して評価を行なう。
教科書 参考書等	なし 授業時に随時紹介する。

履修コード	211511
科目名	宗教学〔生活と宗教〕
担当者名	菅原 壽清 <small>すがわら としきよ</small>

講義のねらい 人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠な問題であると思われます。そこで、本講義では宗教学の視点から、「生活と宗教」というテーマで、人びとの宗教的営みについてとらえてみたいと思います。

授業は講義形式とし、はじめに宗教学・宗教学人類学についての基礎的な概説を行います。次に、日本を含めたアジアの多様な姿について、人々の宗教的な営みを中心に、その分布や特徴について述べます。さらに、日本と東南アジア、および中国の西南地域の人々の暮らしなどから、その宗教形態に注目して、仏教と民俗宗教との関係や、その展開過程について、それぞれの地域の具体的な事例を取り上げながら、展開したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 宗教学・宗教学人類学とは
2. 日本とアジア、その多様な姿
3. アジアの人々の生活と宗教
4. 日本の人々の生活と宗教

(隔年で、後期の授業内容を変えています。昨年度は、農耕儀礼と人生儀礼から、私たちに身近な生活と宗教を見てきました。今年度は、呪術と宗教、シャーマニズム、妖術などから、私たちの身近にある暮らしの中の宗教を捉えてみたいと思っています。勿論、宗教学の理論も押さえながら。)

履修上の留意点

講義では、調査で写した写真をプロジェクターなどを用いて映します。また、関連の写真をホームページでも公開しています。インターネットなどができれば、なお可です。さらに、DVDを用いて、授業に関連した映像も写します。広く、アジアの人々の暮らしに関心のある方は是非どうぞ。

成績評価の方法

試験 + α + β (詳細は、講義の時説明)
 α = 座席点 (ABCで、積極的な授業参加を評価します)
 β = レポート点 (課題や参考書に基づいて提出したレポートなど、積極的な授業参加を評価します)

教科書参考書等

特には、指定しません。
『宗教学ハンドブック』(世界書院)
講義において、そのつど参考書や文献を紹介します。

その他の

講義ノートをプリントして配布します。また、学内LANでも公開の予定です。
授業の方法—講義、ビデオ・DVD、プロジェクターによるスライドの映写など、ビジュアルな授業を展開したいと思います。調査 Field Work に関心のある方(社会・文化人類学、宗教学人類学)是非どうぞ。

履修コード	211521
科目名	宗教学〔民俗宗教の諸相〕
担当者名	星野 靖二 <small>ほしの せいじ</small>

講義のねらい 本講義では、現代社会およびそこに生きる個人を、「宗教」という観点からとらえ、考える力を養うことをねらいとします。それは現代に生きている私たちの生活にどのような形で「宗教」が関わっているのかということについて自分の問題として考えることであり、またそれを可能にする方法と材料を提供していきたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

[01] はじめに。[02~03] 現代社会における宗教：導入として、現代社会においてどのような形で宗教が問題になっているのかについて概観します。[04~07] 宗教学について：宗教学の基本的な考え方について概説します。[08~11] 宗教の世界地図：世界の様々な宗教とその実践についての基本的な知識を確認します。[12~16] 近代日本の宗教：近代以降の日本の宗教とその実践についての歴史を概観します。[17~24] 生活と宗教：生活と宗教の関わりについて、毎回一つのトピックを取り上げて考察します。[25~29] 現代日本と宗教：現代日本における宗教のあり方について考察を加えます。[30] おわりに。

履修上の留意点

講義内容についてのコメントカードを適宜提出してもらいます。

成績評価の方法

夏期休暇中に小レポート(30点)、学期末に期末レポート(50点)を課します。これにコメントカード・平常点(20点)を合わせ、総合的に評価します。

教科書参考書等

特に使用しません。
棚次正和・山中弘編『宗教学入門』ミネルヴァ書房、2005
関一敏・大塚和夫編『宗教学人類学入門』弘文堂、2004
島菌進・福嶋信吉・葛西賢太・藤原聖子編『宗教学キーワード』有斐閣、2006
末木文美士『日本宗教史』岩波書店、2006

その他の

詳細については、初回講義時に説明します。

履修コード	211601
科目名	人文地理学〔風土と文化〕
担当者名	山口 太郎 <small>やまぐち たろう</small>
講義のねらい	本講義では、都市、とりわけ東京を通じて地理的想像力を磨くこと、そして都市を批判的にみつめる力を養うことを目的とする。教室で学習した知識と、地理的想像力や批判精神といった感覚を、日常生活の場(所)や空間で活かすことができれば理想的である。
講義の内容・授業スケジュール	次の項目を予定している。(1)イントロダクション、(2)東京に関する近年の人文地理学における研究成果概観、(3)～(5)東京の自然史、(6)～(9)東京の歴史地理、(10)～(13)都市の観察法、(14)(15)都市計画、(16)～(19)東京の文化地理(渋谷、秋葉原、代官山、下北沢、大久保、新宿など)、(20)～(22)東京郊外の文化・社会地理(世田谷区内各所、田園調布、「多摩田園都市」、多摩ニュータウン、港北ニュータウンなど)、(23)～(26)都市の社会地理(都市空間と権力、時間地理学、都市空間とジェンダー、都市空間と故郷)
履修上の留意点	出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課すことがある。また、高校などで利用した地図帳があると便利である。
成績評価の方法	夏休み明けに提出していただくまち歩きレポートと、後期末に行なう試験を基本とし、授業内に行なう小レポートを若干加味する。なお、期限内に夏休みのレポートが提出されないと単位の認定はできない。
教科書 参考書等 その他	特に定めない。プリントを配布する。 授業の中で紹介していく。 講義形式を基本とするが、皆さんに質問を投げかけることもあるので、主体的に参加してほしい。また、町をぶらぶらしたり、いろいろな場所へ出かけたりすることを積極的に行なってほしい。

履修コード	211701
科目名	人文地理学〔風土と文化〕
担当者名	櫻井 明久 <small>さくらい あきひさ</small>
講義のねらい	この授業では、主に作業を通じて人文地理学の考え方と方法を紹介したい。取り扱う作業・方法は、地形図読図、地図帳の利活用、テレビなどのポルターージュ番組の視聴活用などであり、日本の農村地域やヨーロッパを対象として、風土と文化に関する人文地理学の見方や考え方を考える。取り扱う地域については、伊豆の沿岸集落、ドイツ農村、パリ大都市圏など櫻井が経験・調査した地域の事例を丁寧に検討したい。
講義の内容・授業スケジュール	櫻井は今年度初めてこの授業を担当する。そのため、詳細な計画は示しにくいですが、まず前期には、個人と地域との関係を考えながら、日常生活スケールの人文地理学をまず考えたい(1、2、3)。ついで、町探検プラン作成や2.5万分の1地形図や5万分の1地形図の利用について作業をしながら学び、日常生活スケールにおける地域を考えたい(4～12)。夏休みには、前期で学んだ方法を活用してレポートを作成してもらおう。後期は、より大きなスケールで、国、超国家スケールでの人文地理学を考えることにする。すなわち、まず、地図帳を使ってヨーロッパ旅行計画を考えたりしながら、地図帳の利用方法について学び、それらを使って世界各地を説明する試みを行う。(13～15)。ついで、地図帳を使いながら、ヨーロッパの概略を知るとともに、ヨーロッパの「食」と「農業」を通じて、ヨーロッパの生活文化、風土と環境について考えたい(16～23)。また、後期の後半には、夏休みのレポートを簡単にしてもらおう予定である。
履修上の留意点	毎授業、その授業時間内で作成した略地図、着色作業などの成果、ミニレポートを提出してもらい、次時にはその成果やミニレポートを反省して、学生の皆さんの疑問や質問を取り上げ、活かしていきたい。こうした作業活動型の授業を行うつもりであるので、出席が不可欠であり、積極的に参加するよう望みたい。なお、教科書は使用しないが、高校時代に利用した地図帳やそれに相当するような地図帳を利用するので指示する時間には持参すること。また着色作業のために、6色程度の色鉛筆を使うことがあるので指示する時間には持参すること。こうした準備がないと授業に参加できないので注意すること。
成績評価の方法	毎時のミニレポートないしは作品提出・出席：50点、夏休みレポート：30点、試験：20点といったバランスで評価したい。
教科書 参考書等	なし。 適宜紹介する。

履修コード	211801
科目名	人文地理学〔空間と行動〕
担当者名	伊藤 慎悟

講義のねらい	本講義は、身近な社会問題を取りあげ、地域的な差異の存在と、その要因について議論し、人文地理学の基礎的知識および社会問題への関心を深めることを目的とする。今年度は、分布図や地理学に関する統計資料の分析、考察を行う。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、まず地理学の研究目的、意義について概説する。つぎに、文化や習慣、産業に関する地域的な差異について取り上げる予定である。 後期は、都市問題や人口問題に関する資料の分析を行い、地域差の発生要因について説明を加える。
履修上の留意点	地理学の専門知識は必ずしも必要としないが、昨今の社会問題については普段から情報収集しておくことが望ましい。板書形式の授業なので、ノートを必ず持参すること。
成績評価の方法 教科書 参考書等	前後期の試験(追試あり)と、ほぼ毎回出される課題の提出状況によって評価する。 とくに使用しない。高校などで使用した地図帳があると便利である。 とくになし。

履修コード	211901
科目名	人文地理学〔空間と行動〕
担当者名	伊藤 修一

講義のねらい	我々は日常生活の中の多くの場面で、環境に影響を受けつつ、個々の意思の基に行動する。ところが、その行動には規則性や一般性が認められることが少なくない。特に都市では多くの人々が集まるがゆえに、その規則性や一般性を捉えやすく、一方で都市がもつ特徴のような例外も観察される。それでは、その規則性や一般性はどのようなもので、例外はどのように表れているのか？この講義では理論と事例を通して、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	前期には、都市が今日のように分布・形成することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説する。後期には、都市の形成や変化に大きな影響を与える人口動態と移動の傾向を把握した上で、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきを、事例を通して説明する。なお、講義で扱う予定の主なテーマは以下のI～VIIIである。詳しくは第1回の講義の際に述べる。 I地図(2～4)、II都市の分布と立地(5～8)、III都市や地域の結びつき(9～12)、IV都市の内部構造(13～16)、V人口変動と分布・人口移動(17～19)、VI都市の居住構造の形成過程とその変化(20～24)、VII都市と余暇活動(25～27)、VIII都市空間における知覚と認知(28～30)
履修上の留意点	講義では簡単な数式を用いることがある。一次方程式や対数といった数学の基礎知識に不安がないことが望ましい。
成績評価の方法 教科書 参考書等	原則として学年末の試験結果から評価する。なお、追試験は実施しない。 高校などで利用した地図帳を準備することが望ましい。 北川建次編、『現代都市地理学』、古今書院、2,730円、ISBN4-7722-3044-0 富田和暁・藤井 正編、『図説 大都市圏』、古今書院、2,730円、ISBN 4-7722-4027-6 ノックス、P. ・ピンチ、S. 著、川口太郎・神谷浩夫・高野誠二訳、『新版 都市社会地理学』、古今書院、6,090円、ISBN4-7722-5103-0
その他	講義ではプリントを随時配布する。

履修コード	215801
科目名	社会学〔現代社会を考える〕
担当者名	南後 由和 <small>なんご よしかず</small>

講義のねらい	本講義では、普段何気なく目にして光景や当たり前とされている事柄を批判的に疑い、多角的に検討する姿勢を身につけることを狙いとします。そのことにより、現代社会の背後で起きている事象を広く見通す「まなざし」を養い、「社会学する」実践感覚をつかむことを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	(1) イントロダクション、新しい社会学のために (2～4) 親密性と公共性、相互行為と自己 (5～7) 社会秩序と権力、組織とネットワーク (8～11) メディアとコミュニケーション (12～16) 歴史と記憶、空間と場所 (17～19) 環境と技術、医療・福祉と自己決定、国家とグローバリゼーション (20～21) 家族とライフコース、ジェンダーとセクシュアリティ (22～23) エスニシティと境界、格差と階層化 (24～27) 文化と再生産、社会運動と社会構想 (28) 総括 授業の順序および配分は、多少変更の可能性があります。
履修上の留意点	教科書をベースに、具体的なトピックや映像作品を紹介しながら講義を進めます。講義中に挙手・発言をするなど、受講者の積極的な「参加」を求めます。
成績評価の方法	平常点、授業中の課題、前・後期のレポートにより総合的に評価します。
教科書 参考書等	長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志『社会学』2007年刊(有斐閣) 3,500円 授業中に随時紹介します。

履修コード	215901
科目名	社会学〔現代社会を考える〕
担当者名	奥 炳三 <small>おく ひょうさん</small>

講義のねらい	社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。
講義の内容・授業スケジュール	(前期) 社会学の基礎概念： (1) はじめに、(2) 社会学とは、行為論として、(3～4) 社会学における行為、(5) 行為者としての個人、(6) 社会化と人間形成、(7) 国民性についてグループ討議、(8) 日本の行為論、集団論として、(9) 集団の概念、(10) 官僚制理論、(11) 小集団論、(12) 集団の類型、(13) 日本の集団論、(14) おわりに、(15) 前期テスト (後期) 現代社会の特徴的な諸相： (1) 家族、(2) 家族の機能、(3) 恋愛、(4) 結婚、(5) 自殺についてグループでディベート、(6) 少年犯罪、(7) 少子・高齢、(8) アダルトチルドレン・摂食障害、(9) 若者・IT文化、(10) フリーター、ニート・引きこもり、(11) 格差社会についてグループでディベート、(12) 性同一性障害、(13) 就職・転職・リストラ、(14) ジェンダー、(15) 後期テスト 以上、講義を予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。
履修上の留意点	本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業は指定の教科書と辞書を使用するため必ず毎回持参することと、宿題もあるので、きちんと宿題が出来る学生の受講を勧める。
成績評価の方法	出席状況(遅刻厳禁)と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。
教科書 参考書等	開講時に説明する。 講義中に、その都度紹介する。

履修コード	216001
科目名	社会学〔現代文化を考える〕
担当者名	お びよんさん 呉 炳三

講義のねらい 社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール (前期)社会学の基礎概念：
 (1)はじめに、(2)社会学とは、行為論として、(3～4)社会学における行為、(5)行為者としての個人、(6)社会化と人間形成、(7)国民性についてグループ討議、(8)日本の行為論、集団論として、(9)集団の概念、(10)官僚制理論、(11)小集団論、(12)集団の類型、(13)日本的集団論、(14)おわりに、(15)前期テスト

(後期)現代社会の特徴的な諸相：
 (1)家族、(2)家族の機能、(3)恋愛、(4)結婚、(5)自殺についてグループでディベート、(6)少年犯罪、(7)少子・高齢、(8)アダルトチルドレン・摂食障害、(9)若者・IT文化、(10)フリーター、ニート・引きこもり、(11)格差社会についてグループでディベート、(12)性同一性障害、(13)就職・転職・リストラ、(14)ジェンダー、(15)後期テスト

以上、講義を予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。

履修上の留意点 本講義は、教員の一方的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業は指定の教科書と辞書を使用するため必ず毎回持参することと、宿題もあるので、きちんと宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法 出席状況(遅刻厳禁)と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

教科書等 開講時に説明する。
参考書等 講義中に、その都度紹介する。

履修コード	216101
科目名	社会学〔現代文化を考える〕
担当者名	<small>うしじま ちひろ</small> 牛島 千尋

講義のねらい 社会は人間、集団、そしてこれらの相互的な関係から成立している。本講義の前期では、まず、社会はどのような仕組みで成立しているのか、社会と個人、個人と個人は どのような関係にあるのかを学んでいく。後期は、前期の内容をもとに、社会階級・階層、ジェンダー、エスニシティ、世代、地域からみた社会・文化に関する諸問題を国内外の事例を通して考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション
2. 社会の発見と社会学
3. 社会学の誕生と展開(1)－予見するために観察する
4. 社会学の誕生と展開(2)－社会の発展的類型化
5. 社会学の誕生と展開(3)－集合的表象としての社会
6. 社会学の誕生と展開(4)－社会的連帯と社会類型
7. 社会の変動と動向(1)－近代化・産業化・都市化
8. 社会の変動と動向(2)－産業社会と社会階級
9. 社会の変動と動向(3)－支配の諸類型と近代官僚制
10. 大衆社会と中間集団
11. 大衆社会と社会的性格(1)－伝統指向型・内部指向型・他人指向型
12. 大衆社会と社会的性格(2)－オーガニゼーション・マン
13. 農村と都市－産業社会と都市
14. 都市化と生活様式(1)
15. 都市化と生活様式(2)
16. 社会階層・階級、ジェンダー、エスニシティ
17. 社会階層・階級と文化(1)
18. 社会階層・階級と文化(2)
19. 社会階層・階級と文化(3)
20. エスニックグループとエスニシティ(1)
21. エスニックグループとエスニシティ(2)
22. エスニックグループとエスニシティ(2)
23. ジェンダーと現代社会(1)
24. ジェンダーと現代社会(2)
25. ジェンダーと現代社会(3)
26. 現代社会と文化(1)
27. 現代社会と文化(2)
28. 現代社会と文化(3)
29. まとめ
30. 後期試験

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書等
参考書等

特になし。
出席状況、授業中のレポート、試験(持込不可)によって評価します。
内容は多岐にわたるので、特に指定しません。
内容は多岐にわたるので、その都度紹介します。

履修コード	216201
科目名	社会学〔社会生活を考える〕
担当者名	おぼた かず 小畑 和

講義のねらい 社会学はつかみどころのない学問と言われますが、その理由は、社会学が「社会人の形式として社会関係や社会集団を研究するだけでなく、家族、人口、経済、法律、政治、企業、教育…等々の領域を一切切包み込んだ社会全体を研究する学問だからです。それ故に幅広く、内容も多種多様で、明確な統一的立場を見出し難い性格を持っています。

講義の内容・授業スケジュール

講義では、生産力と消費力の2つのキー概念を用いて現代社会の構造を捉え、人々の社会生活が生産と消費の社会的環境の中でどのように影響されているかを明らかにしたい。また講義を通して「巨視的(Macroscopic)なものの見方」を身に付けて貰いたい。

この講義では「ゆたかさは人間を幸せにしたか」を主テーマに、人々の社会生活を誕生から老後に至る過程を追いながら次の7つの要因について講義する。

(1) マクロ的要因(現代の生産の意味、生産力と消費力の関係が個人の社会生活にどのような影響を与えるかを中心に現代社会(少子社会)を総合的に講義する。)

(2) 誕生に関する要因(出生・墮胎・殺児…)

(3) 幼児・子供の成長に関する要因(育児・保育・遊び・いじめ・体罰・塾・進学…)

(4) 家庭生活に関する要因(核家族化、晩婚晩産化、生涯独身、パート、共働き、残業、余暇、離婚の増大…)

(5) 消費生活に関する要因(広告・宣伝・ローン、消費者教育、自己破産、ホームレス問題、ゴミ問題等の消費者問題…)

(6) 会社生活に関する要因(入社、転職、失業、終身雇用制の崩壊…)

(7) 老後の生活に関する要因(年金、介護、生きがい、死の問題…)などを講義する。

この7つの要因を通して、全体として現代社会の社会生活を考えて見たいと思います。

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他**

初回の講義で説明する。

五段階2乗方式によるが、そのやり方は初回の講義で説明する。

初回の講義で説明する。

初回の講義で説明する。

上記授業のスケジュールは進度によって多少の変更がある。

履修コード	216301
科目名	社会学〔社会生活を考える〕
担当者名	お びよんさん 呉 炳三

講義のねらい 社会学の主要な対象は人間である。その人間が社会生活のなかで引き起こす諸問題を分析する学問でもある。その分野は、「家族」「恋愛」「結婚」「教育」「文化」「政治」「法律」「犯罪」「経済」など多岐にわたっている。このような分野において特徴的であるといえる諸問題は何かを整理、理解し、それを解決する視点として、社会学の基礎的な知識を身につけることによって、よりよい社会生活に臨んでもらうことが本講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)社会学の基礎概念:

(1)はじめに、(2)社会学とは、行為論として、(3~4)社会学における行為、(5)行為者としての個人、(6)社会化と人間形成、(7)国民性についてグループ討議、(8)日本の行為論、集団論として、(9)集団の概念、(10)官僚制理論、(11)小集団論、(12)集団の類型、(13)日本の集団論、(14)おわりに、(15)前期テスト

(後期)現代社会の特徴的な諸相:

(1)家族、(2)家族の機能、(3)恋愛、(4)結婚、(5)自殺についてグループでディベート、(6)少年犯罪、(7)少子・高齢、(8)アダルトチルドレン・摂食障害(9)若者・IT文化、(10)フリーター、ニート・引きこもり、(11)格差社会についてグループでディベート、(12)性同一性障害、(13)就職・転職・リストラ、(14)ジェンダー、(15)後期テスト

以上、講義を予定としているが、受講生の要望も取り入れながら講義を進めているため講義内容を変更することもある。

履修上の留意点

本講義は、教員の一方面的な講義ではなく、受講生とともに調べ、その結果を考えた上、答えを導く方向で講義を進めていくために、授業への積極的な取り組みが望まれる。なお、授業は指定の教科書と辞書を使用するため必ず毎回持参することと、宿題もあるので、きちんと宿題が出来る学生の受講を勧める。

成績評価の方法

出席状況(遅刻厳禁)と前・後末に行う筆記試験の結果から総合的に評価する。但し、授業中の私語、携帯電話の使用、寝るなど授業態度のよくない学生については出席停止とし単位を与えないことがある。

**教科書
参考書等**

開講時に説明する。

講義中に、その都度紹介する。

履修コード	216401
科目名	統計学〔社会現象の統計的分析〕
担当者名	田中 正光

講義のねらい 現代社会では、官庁統計、企業の経営上のデータ、アンケート調査結果など社会の諸相を反映した様々な数値が身近に氾濫している。これらのデータから各自が自分の必要とする情報を的確に選出・分析するためにはある程度の統計的知識とパソコン操作が必要である。こうした数値データの整理・分析の作業は実社会に出たときに様々の場面で必要とされるものである。また、新聞や専門誌上に頻出するグラフや統計表などの理解にも基礎的な統計の素養を必要とすることが多い。講義では、統計学の初歩の習得を主軸とし、同時に統計計算のためのパソコン操作に慣れることも目指す。

講義の内容・授業スケジュール (1～4) 総和記号の使い方、代表値の計算 (5～6) データの散布度の計算 (7～9) 度数分布 (10～11) 相関係数 (12～13) 回帰分析 (14～16) 確率 (17) 確率変数 (18～24) 離散型確率分布、連続型確率分布 (25～26) 標本と標本分布 (27～28) 統計的推定 (29～30) 統計的仮説検定

履修上の留意点 通常の講義では電卓(関数電卓が望ましい)を持参のこと。自分自身で計算すれば理解が倍増する。また、パソコン操作ではエクセルを使うので同ソフトの計算にある程度通じていることを前提にして講義を進める。

成績評価の方法 前期末と後期末に中間試験を行い、この点数に日頃の出席状況を加味して成績を評価する。

教科書 指定なし。

参考書等 稲葉三男・稲葉敏夫・稲葉和夫『経済・経営・統計入門』(共立出版) 2004年
室淳子・石村貞夫『Excel でやさしく学ぶ統計解析』(東京図書) 2004年
鳥居泰彦『はじめての統計学』(日本経済新聞社) 2003年
東京大学教養学部統計学教室編『統計学入門』(東京大学出版会) 1997年
岸野洋久『社会現象の統計学』(朝倉書店) 1992年
森田優三『統計概論』(日本評論社) 1966年

その他 授業においては原則的にプリントを配布する。この中に関連問題を取め、これら問題に取り組むことで理解度を高める。

履修コード	216501
科目名	統計学〔社会現象の統計的決定〕
担当者名	新行内 康慈

講義のねらい 統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門としてその基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール 前期
1統計学の概要 2-4度数分布表・ヒストグラム・基本統計量 5-7確率 8演習I
9-10確率変数と確率分布 11平均・分散と期待値 12標準化 13正規分布表 14演習II
15まとめ・補足
後期
16母集団と標本 17統計量と標本分布 18-19点推定と区間推定 20-21仮説検定
22-24その他の推定・検定 25演習III 26散布図と相関係数 27-28回帰分析
29期末試験 30まとめ・補足

履修上の留意点 統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法 以下のふたつの評価値のうち、高得点の方を最終評価とします。
①演習I～III：45% (各15%) + 期末試験55%
②期末試験：100%

教科書 テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。

参考書等 石村貞夫『すぐわかる統計解析』東京図書 2,000円 ISBN4-489-00407-9
前野昌弘・三國彰『図解でわかる統計解析』日本実業出版 1,800円 ISBN4-534-03036-3
永田靖『入門 統計解析法』日科技連出版 2,900円 ISBN4-8171-0266-7
東京大学教養学部統計学教室『統計学入門』東京大学出版 2,800円 ISBN4-13-042065-8

その他 配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに課題演習を実施して理解を深めます。
配布資料・説明資料等は YeStudy に公開します。

履修コード	216701
科目名	文化人類学〔文化と人間〕
担当者名	森 雅文

講義のねらい

異文化を理解するには、どのような方法や態度が求められるのでしょうか。文化人類学は、諸社会の比較を通して、人々に担われ創造される文化の姿を多面的に考察します。その醍醐味は、珍奇な風習や驚異についての見聞を広げることではなく、人々の日常的な実践に顕れる多様な人間性の表現についての妥当な理解を探り、そのまなごしを自己を含めた諸事象にも向けてゆく知的実践にあります。この講義では、文化の多様性を前提とした他者理解の枠組みについて、代表的なテーマや民族誌的事例とともに解説します。

講義の内容・授業スケジュール

また、近年では異文化を発見して解釈して記すという営為に批判も向けられています。異文化および他者とは何か、この現在的な問題意識も踏まえながら、文化への洞察力、自己や他者に向き合うという実践の基礎力の養成を目指します。

以下の内容は、受講者の関心により変更する場合があります。

「文化」概念の基礎と歴史（人類と文化の概念、通時的視座と共時的視座）

人間の社会化と新旧の理論（家族、婚姻、親族、人の一生と通過儀礼、ジェンダー）

環境への適応と文化様式（生業と社会、採集狩猟・牧畜・農耕、開発と社会の変貌）

共同性の構築と構造主義の文化理論（贈与と交換、境界と穢れ）

観念的世界と現実世界の接合（妖術と邪術、呪術、シャーマニズム、儀礼と神話）

人間と社会の存在様式（個人と身体、近代国家と民族、エスニシティ）

文化の現在の理解（土着・混雑・越境、グローバリズム、異文化の理解と翻訳）

履修上の留意点
成績評価の方法

初回講義時に伝達する履修上の注意事項を確認してください。

前期と後期に実施する筆記試験の合計を100%、授業時の質疑応答やコメントペーパーの内容を平常点として換算し、10%までの加算点とします。

教科書
参考書等

特定の教科書は指定しません。

一般的な入門書・概説書は初回に紹介します。

各回の講義内容に関する専門書は授業時に配布するプリントで紹介します。

その他

ビデオ等の視聴覚資料も使用します。

履修コード	216801
科目名	文化人類学〔文化と人間〕
担当者名	加藤 之晴

講義のねらい

文化人類学は、人びとが集い、生活をしていくなかで生まれる様々な生活慣習・思考・言語などに注目する。そして「フィールドワーク」と呼ばれる経験的な調査法から得られたデータに基づいて「人びとはどうしてこのような行動をとるのか、考え方をするのか？」といった問いを立て、その答えを探し求めていくなかで、人間存在についての理解を深めることを目指す。

本講義では、はじめに文化人類学の基本的な立場・目的・方法・歴史について概略的に解説をおこなう。つぎに言語・身体・宗教・病い・食などのキ・ワードを挙げ、文化人類学の世界ではそれらをどのように捉えるのか、それによって何が見えてくるのか、世界各地の具体的な事例をもとに学んでゆく。

講義の内容・授業スケジュール

I. 文化人類学の「文化」とは？

II. 文化人類学とフィールドワーク

III. 食と文化

IV. 人間と境界

V. 人間と「病い」

VI. 信仰と世界観

履修上の留意点

授業中・授業後の質問は大歓迎です。積極的な授業態度で臨んでくれると、こちらも張り合いが出ます。

成績評価の方法

基本的には年度末の筆記試験で評価しますが、出席点や課題レポートなどを評価の際の補足材料とするかもしれません。

教科書

特定の教科書は使いません。毎回講義のトピックを記したプリント（レジュメ）を配布します。これに基づいて授業を進めてゆきます。

参考書等

授業時に必要に応じて紹介します。

履修コード	216901
科目名	文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕
担当者名	<small>すぎい じゆんいち</small> 杉井 純一

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解する」ことの面白さ、そして、難しさを味わいながら、「異質なものとの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 - 1. 文化人類学とは何か
 - 2. 文化人類学の歩み(1)
 - 3. 文化人類学の歩み(2)
 - 4. 文化とコミュニケーション
 - 5. 環境と人間(1) 狩猟採集民
 - 6. 環境と人間(2) 牧畜民
 - 7. 環境と人間(3) 農耕民
 - 8. ジェンダー
 - 9. セクシュアリティ
 - 10. 婚姻の形態
 - 11. 家族の多様性
 - 12. 親族と社会
- II 民族とコスモロジー
 - 1. 呪術と宗教
 - 2. アニミズム
 - 3. シャーマニズム
 - 4. シンクレティズム
 - 5. 儀礼の構造
 - 6. コスモロジー
 - 7. 神話
 - 8. 政治組織
 - 9. 民族とエスニシティ
 - 10. 民族紛争と戦争
 - 11. 開発と文化
 - 12. 移動の民族誌

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書

参考書等

その他

ビデオを見た感想を問うことがあります。
 夏期レポート(20%)、期末試験(60%)、平常点(20%)で評価します。
 特に指定しません。適宜、プリントを配布します。
 祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書) 800円
 山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣) 1,700円
 佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』(新曜社) 2,200円
 できるだけ、ビデオを利用します(年に4~5回程度)。

履修コード	217001
科目名	文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕
担当者名	森 雅文 <small>もり まさふみ</small>

講義のねらい

異文化を理解するには、どのような方法や態度が求められるのでしょうか。文化人類学は、諸社会を比較を通じて、人々に担われ創造される文化の姿を多面的に考察します。その醍醐味は、珍奇な風習や驚異についての見聞を拡げることではなく、人々の日常的な実践に顯れる多様な人間性の表現についての妥当な理解を探り、そのままざしを自己を含めた諸事象にも向けてゆく知的実践にあります。この講義では、観念的世界観と現実世界の接合を果たす文化実践に焦点をあてながら、多様性を前提とした他者理解の枠組みを解説します。

講義の内容・授業スケジュール

また、近年では異文化を発見して解釈して記すという営為に批判も向けられています。異文化および他者とは何か、この現在の問題意識も踏まえながら、文化への洞察力、自己や他者に向き合う実践の基礎力の養成を目指します。

以下の予定は、受講者の関心により内容を変更する場合があります。
 「文化」概念の歴史（人類と文化の概念、通時的視座と共時的視座）
 文化と儀礼の基礎理解（人の一生、通過儀礼、境界と穢れ、贈与と交換）
 社会の結合とコスモロジー（妖術と邪術、呪術、神話と儀礼、聖地巡礼）
 人間の存在様式（シャーマニズム、個人と身体、伝統医療と近代医療）
 文化の現在の理解へ（テクノロジーと世界観、エスニシティ、文化の融合と衝突、異文化の理解と翻訳）

履修上の留意点
成績評価の方法

初回講義時に伝達する履修上の注意事項を確認してください。
 前期と後期に実施する筆記試験の合計を100%、授業時の質疑応答やコメントペーパーの内容を平常点として換算し、10%までの加算点とします。

教科書
参考書等

特定の教科書は指定しません。
 一般的な入門書・概説書は初回に紹介します。
 各回の講義内容に関する専門書は授業時に配布するプリントで紹介しします。
 ビデオ等の視聴覚資料も使用します。

その他

履修コード	217101
科目名	文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕
担当者名	鈴木 一馨 <small>すずき いっせい</small>

講義のねらい

文化人類学は、人類の特徴的な活動とその表現である「文化」を通して「人類とはなにか」を問う学問である。これを学ぶことは、多様な文化を理解する術を得るばかりではなく、自己の存在意義を問うことにもつながる。

この講義では、前期に「文化」と「文化人類学」、また文化の共通性に基づく「民族」、そして「コスモロジー」について基礎的な知識を学ぶ。後期はコスモロジーの具体例として「風水」を採り上げ、関連するさまざまなコスモロジーと、現実空間の認識、また風水が人間社会にとって持つ意味を学ぶ。そして、これらを通して、人類が文化を持つことの意味や、ひいては人類の中の一存在である自己の存在意義を考えてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

前期：
 第1部 文化人類学と民族
 I. 「文化」と「文化人類学」（1～3）、II. 「民族」とはなにか（4～6）
 第2部 民族とコスモロジー
 I. 「コスモロジー」とはなにか（7～8）、II. 天とひとつのコスモロジー（9～10）、III. 世界の断絶と連続（11～15）
 後期：
 第3部 風水のコスモロジー
 I. 風水を構成する宇宙論（16～24）、II. 風水による現実空間の意味付け（25～26）、III. 風水と人間社会（27～30）

履修上の留意点

講義に対する積極的な姿勢と、社会人予備軍としての常識性を重視する。なお、復習をしないとついていけない。

成績評価の方法

また、成績処理用に「受講者カード」を準備するので、初回の出席時に必ず記入すること。同カードの記入や提出がない場合には単位の認定をしない。

教科書
参考書等

出欠状況、期末試験、小テスト、質問への返答、受講態度など、評価につながるものは全て考慮する。
 プリントを使用する。
 祖父江孝男『文化人類学入門（増補改訂版）』（中公新書560、1990年）840円、ISBN：4121905601
 渡邊欣雄『風水思想と東アジア』（人文書院、1990年）1,995円、ISBN：4409410482
 鈴木一馨『陰陽道－呪術と鬼神の世界－』（講談社選書メチエ244、2002年）1,575円、ISBN：4062582449
 国立歴史民俗博物館編『異界談義』（光文社知恵の森文庫、2008年）724円、ISBN：9784334785116

履修コード	217201
科目名	文化人類学〔社会変化と価値観〕
担当者名	小川 順敬 <small>おがわ としゆき</small>

講義のねらい 文化人類学（以下、人類学）とは様々な民族の社会や文化を対象とし、人間のもっている「文化」をトータルに考察しようとする学問です。人類に多様な文化を対象とする人類学の方法の特徴は比較研究にあります。単に文化の違いを明らかにしようとするだけでなく、比較を通してその差異と共通性について考え、文化とは何か、人間とは何かを考えようとしています。

講義の内容・授業スケジュール 人類学の研究対象領域は広範で、研究方法も多岐にわたります。この講義では「社会変化と価値観」というテーマにそって文化人類学の基本的な考え方、研究方法等を解説にすることにしたいと思います。

人類学の調査対象である「異文化社会」とは多くの場合、非西欧世界の伝統社会を意味しています。それらの社会は15、6世紀の大航海時代以降「発見」され、以降は新しい近代化、社会変化・文化変化の波に洗われてきました。人類学は「西欧文化」との接触によって変容しつつある社会を調査し続けてきたのです。伝統的政治組織の変容や解体、近代の科学技術や、新たな経済システムの導入、新しい宗教、新たな価値観が伝統社会にもたらした変化はどのようなものだったのでしょうか。この講義では、人類学が取り上げてきた様々なテーマを、社会変化、文化変容という角度から紹介していきたいと思っています。

成績評価の方法 評価は原則として、年数回の「小試験」（出席点として処理します）および夏期レポート（前期試験に相当します）、年度末の筆記試験により行います。成績評価の具体的な方法、レポートの課題、年度末試験の方針、出席点評価等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書 祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書560番 中央公論社）

参考書等 講義の内容に関連する参考文献は適宜紹介します。

履修コード	217301・217401
科目名	文化人類学〔社会変化と価値観〕
担当者名	内山 明子 <small>うちやま あきこ</small>

講義のねらい グローバル化により、近年、日本でも様々な文化をもつ人々との日常生活空間の共有化が進展する一方、排外的なナショナリズムの動きも拡大している。このような時代に自分たちと異なる人々との関係を築いていくのかを考え実践していくうえで、文化人類学は一つの指針になりうる。本講義では、これからますます加速化する多文化状況を様々な局面から柔軟に捉えていくための一助として文化人類学の基礎知識を提供していきたい。

講義の内容・授業スケジュール (1)文化人類学とは(2～5)異文化理解のむずかしさ；文化相対主義、ろう文化、文化多元主義と多文化主義(6～9)民族と人種：様々な民族概念、原初主義と道具主義、人種と優生学(10～14)文化人類学の基本的枠組み：「未開」と「文明」、主要学説、フィールドワークと民族誌、オリエンタリズム、近代世界システム(15～18)家族と親族：出自理論、縁組理論、民俗生殖理論、生殖医療の発展と親族・家族研究(19～22)交換と経済：クラとポトラッチ、交換論、資本主義との接合(23～26)儀礼と分類：分類と分類からはずれるもの、通過儀礼、コミュニタス(27～30)宗教：呪術と宗教、大伝統と小伝統、国家と宗教

成績評価の方法 終講後に行う期末試験（筆記試験）を基本に、夏休みの課題レポートを加味して評価します。出席は取りませんが、授業内に行うビデオ鑑賞の感想文提出などを参考にします。

教科書 指定しません。参考文献は授業内で随時紹介します。

履修コード	217501
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	長谷川 日出世 <small>はせがわ ひでよ</small>

講義のねらい 日常生活において生ずる様々な法律問題を解決するための法の基礎知識の習得と、我々の社会生活の基本となる日本国憲法の理解を目的とします。

講義の内容・授業スケジュール ①講義に関する全般的説明、②社会秩序と法、③～⑥法概念の本質、⑦～⑩法の成り立ちとその分類、⑪～⑬法の解釈、⑭～⑮日本の裁判制度、⑯憲法とは何か、⑰近代憲法の構成原理、⑱日本の憲法史、⑲～㉒日本国憲法の基本原理、㉓～㉔基本的人権の保障、㉕国会、㉖内閣、㉗司法権、㉘一年間のまとめ

履修上の留意点 日頃から、新聞、テレビニュースで報道される法律問題に関心を持つこと。講義の前に、教科書を必ず読んでおくこと。

成績評価の方法 学期末の試験の成績と講義への出席の度合で評価します。

教科書 長谷川日出世、『法の基礎概念と憲法』、成文堂、2500+税、ISBN 4-7923-0399-0

履修コード	217601
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	和知 恵一 <small>わち けいいち</small>

講義のねらい

現代社会は、高密度に人が集合し、高度に発展した複雑な社会を構成している。その構成員である我々は、社会にとって必要不可欠である多くの法によって、取り囲まれている。たとえば、電車やバスに乗ること、コンビニで文具を買うこと、アパートを借りることなど、すべて、法的な側面を持っている。自分は法と無縁であると思っている人は、そのことを知らずにいるだけなのである。講座名は、「法学・憲法」であるが、サブタイトルに（法と社会生活）とあるように、本講義においては、「良き社会人として生活していくために、社会にある『法』とは何であるかの理解をすること、またその『法』を社会生活の上で活かしていく能力を身につけること」を主眼とする。六法を使いこなせるようになることも目的の一つとする。

講義の内容・授業スケジュール

講義形式を進める。が、講義はどうしても一方通行になりがちなので、授業中に多数の質問を行い、挙手により解答してもらおう。つまり、全員が参加する授業を目指す。授業では、数多くの事例を挙げ、具体的に話を進める。たとえば「今朝の新聞に、官僚が『収賄罪』で逮捕された記事が掲載されていたが、どんな罪であるのか、また逮捕に際し憲法上の問題があるとあったが、どんな点で、なにが問題なのか」など、より up to date な話題を提供したい。また毎回理解確認のための小テストを行う。

講義は、おおよそ以下のスケジュールで、各項目に2～3時間を割り振ることで進めていく。憲法については、特別にテーマを定めることをせず、関連するテーマが出てきたときに、随時、該当条文に当たり、年間を通して多くの条文に触れられるよう配慮する。

(1) 法学

1. 法学を学ぶにあたって
2. 法とは何か
3. 法の体系と分類
4. 法の目的
5. 法と裁判
6. 裁判の基準（法源）
7. 法の解釈
8. 法と道徳をめぐる問題

(2) 社会生活と法（以下の項目より受講生の関心の高いものをいくつかやりたいと思う。適宜報道などと関連させたい。したがってやらない項目もある。）

9. 犯罪と刑罰
10. 財産生活と法（人・物・契約など）
11. 家族生活と法（婚姻・親子・相続など）
12. アクシデントと法（交通事故・医療事故・欠陥商品など）
13. 企業と法（就職と労働契約・会社・手形小切手など）

履修上の留意点

楽しい授業・わかる授業・全員参加型の授業を行う必要からも私語はいっさい認めない。また出席は重視する（全回出席をとります）。原則的に、欠席・早退を認めない。理由があるときは、その旨届けてくれれば出席扱いとすることがある。授業開始時間は若干余裕を持たせるので遅刻しないように。また教科書・特に六法は毎回準備すること。できるだけ授業内容は板書したいと思うが、その単なる写し作業で終わらないでほしい。つまり、授業の中で十分考察し、理解することを要求する。したがって単に教場にいるだけでは出席とは認めない。真剣に授業を受けようという意識のある者だけに履修してほしい。板書を記録しやすいようになるべく前から着席すること。万一遅刻したときは、最前列に着席すること。

成績評価の方法

出席を重視し、きちんと出席したものに、期末試験の受験資格を与える。理由なく欠席した者は、受験資格を失う。その試験の得点に、小テストなどの平常点を加味して評価する。

教科書

- 小林弘人・松村格編著『法学・憲法（新版）』（八千代出版）
 - 六法（例として、『ポケット六法（平成21年版）』（有斐閣）や『デイリー六法』（三省堂）など）
- ※すでに持っている六法があれば、それで構わない。

参考書等

- 茂野隆晴編『プライマリー法学～日本法のシステム～』（芦書房）
 - 大久保治男監修『トピックスくらしの法』（芦書房）
- その他授業の中で、随時紹介する。

その他の

最初の講義日（2週目になることがある）に受講票を提出してもらおう。特別の事情のない限り、最初の講義の回から出席のこと。

履修コード	217701
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	沼田 雅之 <small>ぬまた まさゆき</small>

講義のねらい	<p>法学は難しいものです。なぜなら、社会の複雑な問題に対して「法」という強制力をもって解決を図ろうとすれば、論理的で慎重な判断が求められるからです。よって、法学を学ぶためには、論理を駆使できるだけの自分自身のブラッシュアップが必要となります。しかし、そのブラッシュアップをはかる過程で、教養を高めることができ、論理的思考力を高めることができます。そして、一定の納得できる結論に達したとき、法学としての学問的快楽があるはずで。少なくとも、私はそう確信しています。ですから、この講義では問題を理解するための知識（教養）、価値判断の方法や限界、そして自分なりに「答え」を出す「面白さ」を味わっていただくことに重点をおきます。</p> <p>例えば、「民法」という法律の第3条1項に次のような条文があります。</p> <p>「私権の享有は、出生に始まる。」</p> <p>この一文は日本語ですから、読むこと自体は可能だと思います。しかし、読みこなすことはできないでしょう。ところが、この短いセンテンスの中には、深遠な世界が広がっています。この一文だけで、人類の歴史から最近話題のクローン技術の問題まで語ることができるからです。しかし、みなさんはそれを語るできません。一つ一つのタームを理解することはできても、「法」というものを体系的に理解していないために、その世界を語ることはできないのです。</p> <p>この講義は、その法の「体系的な理解」の扉を少しだけ開けてみようというのが目的です。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>法学に関する下記の各テーマに沿って、判例（判決）を中心に講義形式で解説をおこないます。</p> <p>ガイダンス（1）、法学の基礎（2～3）、三菱樹脂事件（4～5）、日産自動車事件（6）、マクリーン事件（7）、北方ジャーナル事件（8～9）、宇奈月温泉事件（10）、契約の自由と規制（11～12）、駿々堂製パン事件（13）、消費者の保護（14～15）、不法行為（16～17）、会社法を取り巻く問題（18）、朝日訴訟（19～20）、高知放送事件（21）、萬世工業事件（22～23）、電気窃盗事件（24）、徳島県公安条例事件（25）、映画「12人の怒れる男」の上映（26）、東海大学安楽死事件（27）、代理母出産届出生届受理申立事件（28）、予備日（29～30）</p>
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールは執筆時点で上記のようなものを考えていますが、適宜変更がありうるので注意してください。
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト、成績評価方法を含めて、初回の講義で詳しく説明いたします。 ・試験成績（70%）＋平常点（30%）＝100点。 ・90点以上・・・S、80点以上・・・A、70点～80点未満・・・B、60点～70点未満・・・C、60点未満・・・D。 ・試験成績は、執筆時点で後期試験のみを考えています。 ・平常点は、出席点（50%）と課題点（50%）で構成されます。よって、出席をとります（毎回ではありません）。出席をとる際は開始後30分後におこないます。それ以降の出席票の交付はいたしません。交通機関の乱れによる遅刻の場合は、必ず遅延証明書を持参してください。
教科書	<p>教科書は指定いたしません。担当教員が作成したプリント教材を用います。開講当初は印刷したプリントを配布いたしますが、その後はホームページから各自でダウンロードしてもらいます（データはPDF形式で配布予定です）。</p>
参考書等	<p>詳細は、第1回講義時に説明いたしますので、不明な点はその際に質問してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森泉 章編著『法学（第4版）』（2006年有斐閣）2,500円（ISBN 4-641-18332-5） ・西村健一郎・西井正弘・初宿正典ほか著『判例法学（第4版）』（2005年有斐閣）2,200円（ISBN 4-641-18316-3） ・伊藤眞『法律学への誘い（第2版）』（2006年有斐閣）2,500円（ISBN 4-641-12510-4）
その他	<p>また、講義に連動して、ホームページを運用します。プリントのダウンロードサービスなどを実施する予定です。URL等は、第1回目の講義時にお知らせします。</p> <p>第1回講義時に、大学配布のものとは異なるシラバスを配布します（取り上げるテーマなどが、ここで記載されたものと異なる場合があります）。それを熟読の上、履修を決定してください。</p>

履修コード	217801
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	鷗徳 啓登

講義のねらい よく「社会あるところ法あり」といわれる。その社会にある法とは何かを研究するのが法学であり、根本的理念、法の目的などを研究する。また、憲法は国家の基本法として他の法令の根幹をなすものであり非常に重要な法である。そして、憲法制定後60年経過した現代に至って国内的、国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。本講義は、これら諸問題を法的に把握し、結論を出し得るようになることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール 法学の講義は次の内容を中心として行う。
 (1) 社会生活と法 (2) 法の意義・効力 (3) 法規範と他の社会規範との差異
 (4) 法の分類と解釈の方法 (5) 市民法の概論 (6) 刑事法の概論
 (7) 法と裁判

憲法の講義は、次の内容を中心として行う。
 (1) 憲法の意義 (2) 憲法の種類 (3) 明治憲法の原則と特質
 (4) 現憲法の原則 基本的人権の主体 (5) 基本的人権の分類
 (6) 各種基本的人権の内容
 (7) 国会の仕組みとその作用 行政機関の仕組みとその作用
 (8) 裁判所の仕組みとその作用 (9) 地方自治

成績評価の方法 出席状況と試験による。
教科書 小林弘人・松村格編著『法学・憲法』(八千代出版) 3,500円
参考書等 『小六法』または『ポケット型小六法』(出版社・定価各種)及び参考書は教場にて説明致します。

履修コード	218101・218201
科目名	法学・憲法〔法と国家〕
担当者名	新田 浩司

講義のねらい 法は社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものといえる。我々の生活にとって法や憲法を無視することは不可能である。法や憲法を良く知ることは、我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

この講義では、法学及び国家の根本法である憲法について、現実に発生する様々な問題にも言及しながら理解を深め、我々が国民として住民として生活する上で必要な法的思考(リーガル・マインド)を養うことを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

第1回目	ガイダンス	第14回目	国家の安全保障
第2回目	法学の基礎知識①	第15回目	精神的自由権①
第3回目	法学の基礎知識②	第16回目	精神的自由権②
第4回目	法学の基礎知識③	第17回目	経済的自由権
第5回目	法学の基礎知識④	第18回目	社会権
第6回目	法学の基礎知識⑤	第19回目	参政権
第7回目	法学の基礎知識⑥	第20回目	国務請求権
第8回目	憲法の基礎知識①	第21回目	統治機構①
第9回目	憲法の基礎知識②	第22回目	統治機構②
第10回目	日本国憲法の制定過程	第23回目	統治機構③
第11回目	日本国憲法の基本原理①	第24回目	統治機構④
第12回目	日本国憲法の基本原理②	第25回目	まとめ
第13回目	象徴天皇		

履修上の留意点 社会で起こる様々な問題は、憲法をはじめとする法律問題も多く、この講義を履修して法的思考を養い、それらの問題を考える知識を身につけてもらいたい。

成績評価の方法 夏期レポート及び学年末試験の成績により評価する。
 なお、適宜、小テスト及び授業の出席確認を予定している。

教科書 開講時に指示する。
参考書等 小六法(何でも可)があれば持参することが望ましい。

履修コード	218401
科目名	法学・憲法〔法と国家〕
担当者名	織田 晃子

講義のねらい 法とは何かに始まり、日本国憲法と人権について講義する。
 講義の内容・ 〔1〕法とは何か・法の目的〔2～10〕立法と司法・法の適用と解釈〔11～20〕日本国憲法と人
 授業スケジュール 権〔21～30〕法と社会生活・契約と損害賠償、不法行為と損害賠償、安全配慮義務等々
 履修上の留意点 六法は必ず持参すること
 成績評価の方法 期末試験の成績による
 教科書 『判例法学』4版（有斐閣ブックス）、ポケット六法（有斐閣）
 その他 プリント配布

履修コード	217901
科目名	法学・憲法〔法と権利〕
担当者名	沼田 雅之

講義のねらい 法学は難しいものです。なぜなら、社会の複雑な問題に対して「法」という強制力をもって解決
 を図ろうとすれば、論理的で慎重な判断が求められるからです。よって、法学を学ぶためには、論
 理を駆使できるだけの自分自身のブラッシュアップが必要となります。しかし、そのブラッシュア
 ヱップをはかる過程で、教養を高めることができ、論理的思考力を高めることができます。そして、
 一定の納得できる結論に達したとき、法学としての学問的快楽があるはずで。少なくとも、私は
 そう確信しています。ですから、この講義では問題を理解するための知識（教養）、価値判断の方法
 や限界、そして自分なりに「答え」を出す「面白さ」を味わっていただくことに重点をおきます。
 例えば、「民法」という法律の第3条1項に次のような条文があります。

「私権の享有は、出生に始まる。」

この一文は日本語ですから、読むこと自体は可能だと思います。しかし、読みこなすことはでき
 ないでしょう。ところが、この短いセンテンスの中には、深遠な世界が広がっています。この一文
 だけで、人類の歴史から最近話題のクローン技術の問題まで語ることができるからです。しかし、
 みなさんはそれを語るできません。一つ一つのタームを理解することはできても、「法」とい
 うものを体系的に理解していないために、その世界を語ることはできないのです。

この講義は、その法の「体系的理解」の扉を少しだけ開けてみようというのが目的です。

講義の内容・ 基本的に教科書に沿って解説します。また、適宜教科書以外の題材を取り上げます。
 授業スケジュール ガイダンス（1）、「紛争解決と法」（2～4）、「基本的人権と法」（5～8）、「家族関係と法」（9～11）、
 「財産関係と法」（12～15）、「労働関係と法」（16～17）、「犯罪と法」（18～22）、「国家と法」（23～
 24）、「国際関係と法」（25～27）、「現代社会の課題と法」（28～30）

履修上の留意点 ・スケジュールは執筆時点で上記のようなものを考えていますが、適宜変更がありうるので注意し
 てください。

成績評価の方法 ・テキスト、成績評価方法を含めて、初回の講義で詳しく説明いたします。
 ・試験成績（70%）＋平常点（30%）＝100点。
 ・90点以上・・・S、80点以上・・・A、70点～80点未満・・・B、60点～70点未満・・・C、60点未満・・・D。
 ・試験成績は、執筆時点で後期試験のみを考えています。

教科書 平常点は、出席点（50%）と課題点（50%）で構成されます。よって、出席をとります（毎回で
 はありません）。出席をとる際は開始後30分後におこないます。それ以降の出席票の交付はいたしま
 せん。交通機関の乱れによる遅刻の場合は、必ず遅延証明書を持参してください。

教科書 西村健一郎・西井正弘・初宿正典ほか著『判例法学（第4版）』（2005年有斐閣）2,200円（ISBN
 4-641-18316-3）。

その他 適宜プリントを配布する場合があります。その場合、開講当初は印刷したプリントを配布
 いたしますが、その後はホームページから各自でダウンロードしてもらいます（データはPDF形式
 で配布予定です）。

参考書等 詳細は、第1回講義時に説明いたしますので、不明な点はその際に質問してください。

その他 ・森泉 章編著『法学（第4版）』（2006年有斐閣）2,500円（ISBN 4-641-18332-5）
 ・伊藤眞『法律学への誘い（第2版）』（2006年有斐閣）2,500円（ISBN 4-641-12510-4）

その他 また、講義に連動して、ホームページを運用します。プリントのダウンロードサービスなどを実
 施する予定です。URL等は、第1回目の講義時にお知らせします。

第1回講義時に大学配布のものとは異なるシラバスを配布します（取り上げるテーマなどがここで
 記載されたものと異なる場合があります）。それを熟読の上、履修を決定してください。

履修コード	218501
科目名	法学・憲法〔法と権利〕
担当者名	<small>しげの たかほる</small> 茂野 隆晴

講義のねらい 法を学ぶに当たって、最も肝要なことは、「法」というものがいかようなものであり、また、いかなる特徴をもつものであるか、その本質をつかむことにある。

諸君は、いずれ社会の第一線に立って活躍する人達であるから、自分の立場をよく認識して、「在るべき法」の実現のためにも留意し進んでほしい。自己の使命を自覚され、年間の「法学」の内容の理解に取り組んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 法を学ぶに当たって
2. 法と社会生活
3. 法と他の社会規範
4. 法の種類
5. 6. 7. 法の生成I・II・III
8. 法の目的
9. 法の効力
10. 法と裁判
11. 法の解釈
12. 国家
13. 14. 憲法とその原理I・II
15. 16. 17. 基本的人権の保障I・II・III
18. 統治機構I(権力分立制)
19. 20. 21. 統治機構II・III・IV(国会)
22. 23. 統治機構V・VI(内閣)
24. 25. 統治機構VII・VIII(裁判所)
26. 各論I(民法・商法)
27. 各論II(刑法・社会法)
28. 各論III(行政法)
29. まとめ

成績評価の方法

学期末試験に加えて平常点としての出席状況を勘案して総合的に評価します。

教科書
参考書等

茂野隆晴編著『プライマリー法学—日本法のシステム—』2008年刊(芦書房)2300円+税
茂野隆晴・新田浩司・和知恵一ほか代表編集『法学資料集』2008年刊(八千代出版)2000円(予定)

履修コード	218601
科目名	法学・憲法〔法と権利〕(夏季集中)
担当者名	<small>いけだ みほる</small> 池田 実

講義のねらい 家庭生活、社会生活、政治参加、経済活動など、私たちの日常が「法」とどのようにかかわり、規制されているかを考察し、それが最終的に日本国憲法に定めるとどのような原理・精神に結びついているかを明らかにします。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 授業案内・導入 (2) 法とは何か(その1) (3) 法とは何か(その2) (4) 法とは何か(その3) (5) 法とは何か(その4) (6) 憲法の基本概念 (7) 日本国憲法の沿革 (8) 国会(その1) (9) 国会(その2) (10) 選挙・政党 (11) 内閣(その1) (12) 内閣(その2) (13) 天皇 (14) 地方自治 (15) 財政 (16) 戦争の放棄(その1) (17) 戦争の放棄(その2) (18) 人権総論(その1) (19) 人権総論(その2) (20) 精神的自由権(その1) (21) 精神的自由権(その2) (22) 経済的自由権 (23) 身体的自由権 (24) 受益権 (25) 社会権(その1) (26) 社会権(その2) (27) 包括的人権 (28) 裁判所(その1) (29) 裁判所(その2) (30) 憲法改正

成績評価の方法
教科書

出席状況その他の平常点による評価を行います。
野畑健太郎・池田実編著『テキストブック日本国憲法(第2版)』(嵯峨野書院)2,700円+税
ISBN978-4-7823-0424-2

参考書等
その他の

*教科書は年度のはじめに必ず入手しておくこと。
授業時に適宜指示します。
授業日程:7月31日(金)・8月3日(月)~8月7日(金)
(土・日曜日除く)の1~5時限。

履修コード	218701
科目名	政治学〔社会生活とデモクラシー〕
担当者名	白鳥 浩 <small>しろとり ひろし</small>

講義のねらい 「政治」とは何でしょうか。この講義においては、「政治」とは、「未来の選択である」とする視座に立ち、政治学の全体像を学んでもらいます。これは、しばしば「可能性のアート」であるといわれるゆえんでもあります。そうした「未来の選択」、「可能性のアート」を扱う学問である「政治学」とは何か、どのように発展してきたのかを、皆さんと一緒に考えていきたいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール 以下の内容を初めてのひとにもわかるように講義します。

- I、序論 政治学の基礎概念（1～4）
- II、古代の政治理論（5～8）
- III、中世の政治理論（9～11）
- IV、近代政治理論の形成（12～15）
- V、近代批判の政治理論（16～18）
- VI、現代の政治理論（19～22）
- VII、国際政治の理論（23）
- VIII、現代の政治過程理論（24～26）
- IX、ワールド・ポリティカル・サイエンスの形成（27）
- X、現代日本の政治分析（28～30）

履修上の留意点 関心を持って、講義に出席してください。

成績評価の方法 試験を中心とするが、総合的に判断する。

教科書 白鳥『都市対地方の政治学：日本政治の構造変動』（芦書房）2004年

参考書等 眞柄・井戸『比較政治学』（放送大学教育振興会）2004年

藤原『西洋政治理論史』（早瀬田大学出版部）1985年

授業内で適宜、指示します。

履修コード	218801
科目名	政治学〔政治システムと政治参加〕
担当者名	富崎 隆 <small>とみさき たかし</small>

講義のねらい 「2001年9月11日、世界が変わった」と表現されることがあります。そして、米同時多発テロを境に、「ポスト冷戦」が終了し、「新しい時代」に入ったと議論されています。しかし、世界政治の方向性がはっきりとした訳ではありません。一方、世界の急速なグローバル化と情報化を背景に、膨大な情報が、テレビ、ラジオ、新聞、コンピュータ・ネットワークを通じ流通するようになってきました。しかし、これらの情報を単に漫然と受け取っているだけでは、毎日起こる事件の本当の意味は理解できません。事件や出来事を整理する「体系的視点」がどうしても必要となります。政治学を学ぶ基本的な意義もここにあります。

本講義では、政治学が蓄積してきた視点を、最新の成果を含めた形で、かなり網羅的に、かつ現実政治との連関を失わないように検討し、受講生が日々の政治的事件に対し自分の見解をもつための土台を提供したいと思ひます。講義全体としては、現代における「国家」と「民主主義」の意義と役割、その動態について明らかにし、考えてもらうことを中心テーマとします。さらに、今日の対テロ問題とグローバル化・情報化の意味についても検討します。

講義の内容・授業スケジュール （1～2）講義のねらいと政治を学ぶ意義

（3～15）マクロ政治学—国家と自由民主主義体制の枠組み；政治・権力・国家の意味、望ましい国家のあり方（国家の仕事の範囲・国家の運営方法）、自由民主主義体制の意味、国家の展開・民主化と体制変動、自由民主主義体制の比較枠組み

（16～24）ミクロ政治学—自由民主主義体制の作動メカニズム；政権形態、政党と政党制、有権者の投票行動と選挙、官僚制と議会、利益集団とマスメディア、日本の民主政治

（25～30）国際政治学；国際政治の意味、国際政治の主要理論潮流、日本の外交政策、冷戦後の世界政治をみる視点

成績評価の方法 テスト及びレポート・出席など総合的に評価

教科書 堀江湛編『政治学・行政学の基礎知識編』一藝社 2625円 ISBN-10：4901253913

参考書等 講義時、適時指示

履修コード	218901
科目名	政治学〔国際社会と日本〕
担当者名	山崎 望

講義のねらい 本講義の副題は「国際社会と日本」です。国内政治と国際政治の相違、そしてグローバル化に伴う世界秩序の再編について、基礎的な理論や考えを学ぶことが本講義の狙いです。

講義の内容・授業スケジュール 前期は近代の国際政治の仕組みの形成と、国内政治について論じます。具体的には(1・2)近代社会の形成と変容(3・4)政治、権力(5～8)ウェストファリア秩序、世界大戦1・2、植民地主義(9～11)政治体制論、民主主義論、政党論、(12～15)政治と経済、福祉国家論、格差社会論、グローバル経済論、世界金融恐慌について扱います。

後期はグローバル化時代の民族・宗教問題、世界秩序の再編を中心に扱います。具体的には(16～20)フェミニズム、ナショナリズム、移民、多文化主義、ネオ・ナショナリズム(21～24)「9・11」対米同時多発テロ、アメリカの変容、「イスラーム原理主義」、グローバル・テロリズム、(25～30)フェミニズム、市民社会論、新しい民主主義論1～3を扱います。

履修上の留意点 新聞や本を読み、インターネットなどで情報を集め、問題意識をもって出席してください。

成績評価の方法 年度末の試験。

教科書 加茂利男・大西仁・石田徹・伊藤恭彦1998『現代政治学』有斐閣アルマ ISBN 4-641-12168

参考書等 講義中に適宜指摘します。

その他の 講義形式。講義時に簡易なレジュメを配布する予定です。
講義の後半10分にカードを配るので、質問や感想を書いてください。
翌週の講義の冒頭に簡易な応答を行います。

履修コード	219001
科目名	経済学〔現代社会と市場経済〕
担当者名	畠中 貴

講義のねらい 諸々の経済現象をよりよく理解するための理論(ミクロ経済学・マクロ経済学)について概説する。経済についての体系的な理解を得ることがこの講義の目標である。

講義の内容・授業スケジュール 経済は家計、企業、政府の三種類の主体が行っている経済活動によって成り立っている。前期は家計が行っている経済活動、企業が行っている経済活動、そして家計と企業が互いに影響を及ぼし合う場である市場について説明する。

後期は市場メカニズムが果たしている役割、市場メカニズムがうまく機能しないケース(市場の失敗)、政府が行っている経済活動、国内総生産(GDP)、不況と失業、物価の変動、国際貿易について説明する。

履修上の留意点 講義の内容は抽象的な議論が多く、理解するにはそれなりの労力と時間を必要とする。世界一頭のいい人であっても、テキストを一度読んだだけ、講義を一回聴いただけで、経済学を習得することは不可能である。受講者は、テキストを何度も読み返し、自分が理解できているのがどこまで、理解できていないのがどの部分なのかを確認するという地道な作業を、一年を通じて行わなければならない。分からない部分については分かるようになるまで説明するので、どんどん質問にいくこと。

成績評価の方法 基本的に二度の期末試験の総合評価。前期末試験、後期末試験のうちどちらか一方でも受けていない人には単位を与えないので注意すること。追試験は実施する。

教科書 伊藤元重『入門経済学第2版』日本評論社、3,000円+税、ISBN4-535-55244-4

履修コード	219101
科目名	経済学〔現代経済と人間〕
担当者名	森田 成也

講義のねらい はじめて経済学を学ぶ人のために、経済学の基礎理論の初歩的知識と、その応用編としての日本経済の歩みについて、わかりやすく解説します。

講義の内容・授業スケジュール 授業の前半は経済学の基礎理論を、最も単純で目の前に存在する普通の商品からはじめて、世界的に資本展開する多国籍企業にいたるまで、わかりやすくかいつまんで説明します。授業の後半は、以上の基礎理論を踏まえての日本経済の独自の歩みについてです。

<前半>

1、経済学とは何か、2、商品とは何か—商品生産社会と価値法則、3、貨幣とは何か、4、利潤の源泉としての剰余価値とその発生メカニズム、5～6、剰余価値生産の3つの形態、7、労賃とは何か、8、資本の蓄積メカニズム、9、利潤と生産価格、10、商業資本、11、利子生み資本と銀行、12、株式会社、13、土地所有と地代、14、競争と独占、15、市民社会と国家、16、外国貿易と多国籍企業と帝国主義

<後半>

17、明治維新から敗戦まで、18、戦後改革と戦後復興、19～20、高度経済成長、21、高度成長の終焉と70年代後半の中成長、22、レーガン革命と80年代前半の日本経済、23、バブル経済とその崩壊、24、平成大不況、25、小泉改革と階層的景気、26、今後の課題と展望

**履修上の留意点
成績評価の方法**

板書中心の授業になるので、必ずノートはとってください。出席はとくにとりません。

夏休みのレポートと学期末試験の2つで成績評価します。とくに学期末試験が重要です。夏休みのレポートは、学期末試験に対する追加点と考えてください

(1) 夏休みのレポート……夏休みのレポートとして、いくつかの課題の本を指定しますので、それを読んで、内容の要約と感想を書いてください。提出は夏休み後の授業。

(2) 学期末試験……1年間の授業すべてが範囲になります。穴埋め問題と筆記問題の両方が適度なバランスで出題されます。

**教科書
参考書等**

森田成也『資本と剰余価値の理論』2008年刊(作品社)、2300円
松石勝彦『新版現代経済学入門』2002年刊(青木書店)、2625円

履修コード	219201
科目名	経済学〔現代経済理解へのガイド〕
担当者名	松前 龍宜

講義のねらい 本講義は、経済学を初めて履修する学生に経済学の基礎を平易に解説するものです。講義では、なるべく数式を使わず、図や具体的な実例を示しながら、直感的に経済学の考え方を理解していただきます。本講義の目的は、学生自らが現実の経済現象を経済学的に解釈する力を身につけていただくことです。

講義の内容・授業スケジュール

経済学は、ミクロ経済学とマクロ経済学の2つの分野に分けられます。本講義では、この2つの分野をバランスよく、また現実の経済現象あるいは経済政策と絡めながら講義を進めます。前期はマクロ経済学に関するテーマとして、国民所得決定、有効需要と乗数メカニズム(45度線分析)、貨幣の機能、財政政策・金融政策の役割(IS/LMモデル)、開放経済下のモデル(国際金融、IS/LM/BPモデル)について取り上げます。後期はミクロ経済学に関するテーマとして、需要と供給、需要曲線と消費者行動、費用構造と供給行動、市場取引と資源配分、市場の失敗について講義します。

履修上の留意点

数学の知識は特に必要としません。自分で手を使ってグラフの意味を考えることを厭わないことが条件です。授業中の私語は厳禁です。

成績評価の方法

前期：レポート(レポート課題は前期講義終了時まで指示します)

後期：筆記テスト

**教科書
参考書等
その他**

伊藤元重著『入門 経済学 第2版』(日本評論社)、3000円、ISBN4-535-55244-4
適宜指定します。
連絡先 matsumae.t.aa@m.titech.ac.jp

履修コード	219301
科目名	経済学〔現代経済理解へのガイド〕
担当者名	矢野 浩一 <small>のこういち</small>

講義のねらい 「なぜカップラーメンは値上げしたのか?」「将来、皆さんは年金をもらえるのか?」「バイト代はなぜ安いのか?」「なぜ世界には貧しい国と豊かな国があるのか?」「なぜ食品偽装は相次ぐのか?」本講義の目的は、それらの疑問を需要と供給、インセンティブの原則、情報の非対称性など経済学の原理を用いて解き明かします。本講義終了後には、学生が自分で様々な現象を経済学的に考えることができることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 経済学は、一般的にミクロ経済学とマクロ経済学の2つの分野に分けられます。本講義では身近な出来事や経済問題を解説しながら、経済学の原理を勉強します。前期はミクロ経済学に関するテーマ(経済学とは何か、経済学的な考え方、貿易、需要と供給、完全市場と不完全市場、ゲーム理論など)について講義します。後期はマクロ経済学に関するテーマ(GDP統計、完全競争モデル、好況と不況など短期の景気変動、雇用と失業、インフレとデフレ、政府の経済政策、日本の財政赤字問題など)について取り上げます。

履修上の留意点 積極的に講義に参加してください。また私語は厳しく禁じます。
成績評価の方法 前期:レポート(レポート課題は前期講義終了時まで指示します)
 後期:筆記テスト

教科書 講義の中で適宜指定します。
参考書等 講義の中で適宜指定します。
その他 連絡先 koiti.yano@gmail.com

履修コード	219401
科目名	社会科学論〔社会認識の思想〕
担当者名	大石 雄爾 <small>おおいしゆうじ</small>

講義のねらい 私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。アメリカに端を発した経済危機のなかで、経済格差と貧困の問題は深刻化しています。世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようとしているとき、他方、中東などの地域では戦鬨の火だねが拡大しています。こうした問題を私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点を当て、社会的諸関係を把握する方法について講義します。特に、社会科学の発展にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および理論をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 社会科学を始めるにあたって
- 2~3 思考する楽しみ
- 4~5 社会科学とは何か
- 6~12 社会の歴史的発展と社会思想
- 13~14 社会科学の生誕: ホブスとロック
- 15~17 資本主義経済の把握: スミスとリスト
- 18~20 資本主義の経済と国家: マルクスとウェーバー
- 21~24 現代資本主義の捉え方: レーニン・ケインズ・ガルブレイス
- 25 現代社会の思想的諸潮流

履修上の留意点 なお、現代社会の時事的諸問題については、折に触れてとり上げ解説するつもりです。
【履修制限について】 受講希望者が多い場合は履修制限をすることがあります。選抜方法については教務部掲示板でお知らせします。1年間講義に出席し理解しようと努めることによって、皆さんの思考力、書写能力は高まります。

成績評価の方法 授業中に小レポートを作成していただくことがあります。成績は、小レポートと後期に行われる定期試験で評価します。

教科書 特に指定しない。
参考書等 高嶋善哉『社会科学入門』(岩波新書)
 平野喜一郎『社会科学の生誕』(大月書店)
 大石雄爾『ヘーゲル論理学の真相』(白桃書房)

履修コード	219501
科目名	教育学〔デス・エデュケーション〕
担当者名	柳堀 素雅子 <small>やなぎほり すかこ</small>
講義のねらい	バイオエシックスの諸問題を哲学的、心理学的、宗教的視点から分析していく。1960年代にアメリカで始まったバイオエシックスは、「患者の権利」を主張して出発したわけであるが、時を経るにつれてバイオエシックスという学問の全体構造を疑問視する見解も出てきた。それは何が原因なのかを、さまざまな視点から検証していくことが、この講義のねらいである。バイオエシックスは欧米では学問の一分野として認められているが、日本ではその存在すら知られていない場合も多い。単に知識の吸収だけでなく、バイオエシックスの成立の意味を考えながら授業に取り組んでいきたい。
講義の内容・授業スケジュール	1～4回 バイオエシックスの意味とその展開を説明する 5～10回 現代の先端医療の個別的な問題 11～15回 討論 16～17回 バイオエシックスの将来と日本における取り組み 18～21回 討論 22～25回 討論によって浮き彫りになった問題を徹底的に分析していく 26～30回 まとめの結論
履修上の留意点	後半は討論中心の授業になっていくと思うので、自分の見解をまとめて他者に理解してもらえる能力を身につけておくこと。そのために講義の内容をじゅうぶん理解しておくための準備が必要である。
成績評価の方法	欠席は6回まで認める。それ以上欠席した場合は不可になる。授業中にレポート課題を与えるので、必ず提出すること。提出したレポートの内容には必ず点数をつけるので、合格点に達するように努力すること。
教科書 参考書等	使用しない。 星野一正『医療の倫理』（岩波書店）780円＋税 ISBN4-00-430201-3 木村利人『自分のいのちは自分で決める』（集英社）1500円＋税 ISBN4-08-781195-6

履修コード	219601
科目名	教育心理〔大学生の心理〕
担当者名	石橋 達也 <small>いしばし たつや</small>
講義のねらい	本授業では今日の社会的状況における、大学生を主な対象とした青年期の心の在り方の特徴や問題点および課題について、教育心理学や教育臨床の立場を中心に探っていきます。前期の授業では、主に生涯発達の観点から青年期の位置づけやその発達課題などについて学び、現代社会における青年期の延長やアイデンティティ確立の問題などを概観します。続いて後期の授業では、青年期の様々な心の問題点について具体的に取り上げ、今日の社会における青年期の問題の特徴および社会的な背景要因などについて検討していきます。
講義の内容・授業スケジュール	主として、以下に示すテーマに沿って進めていく予定です。 ・生涯発達における青年期とその発達課題 ・アイデンティティの確立、アイデンティティの地位 ・現代社会と青年期の延長 ・青年期の家族や友人関係の問題 ・青年期のジェンダーや恋愛に関わる問題 ・大学生の学業と就職に関わる問題 ・青年期の文化や社会に関わる問題など
履修上の留意点	履修学生には、授業に毎回まじめに出席して意欲的に取り組むことを期待します。
成績評価の方法	成績の評価は前期末と後期末試験の得点を中心に、毎回の授業への出席状況や受講態度などの平常点を加味して行ないます。
教科書 参考書等 その他の	中里至正・松井洋・中村真「自己理解のための青年心理学」（八千代出版）2,100円。 授業中に必要に応じて、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介していきます。 受講学生には、「学ぶ意欲」をしっかりと持ち積極的に取り組むことを期待します。

履修コード	220201・220301
科目名	生物学〔生態と進化〕
担当者名	清水 善和

- 講義のねらい** 地球上には170万種以上の生物種が存在する（生物多様性）。それらはすべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後に関連と続いた進化の産物である（進化）。また、あらゆる生命活動は遺伝子とその産物によって実現される（遺伝子）。本講義では「生物多様性」、「進化」、「遺伝子」の3つをキーワードに、生物の進化や生態を体系的に捉えるとともに、それらを理解するための様々な仕組みや理論について解説する。
- 講義の内容・授業スケジュール** 1章：遺伝子と進化(1-3回)、2章：40億年の生物進化（4-6回）、3章：系統と分類（7,8回）、4章：行動と進化（9,10回）、5章：動物の人口論（11,12回）、6章：共生と競争（13,14回）、7章：人類の進化（15-17回）、8章：進化論（18,19回）、9章：生態系（20,21回）、10章：物質の循環（22-24回）、11章：植生遷移（25,26回）、12章：生物多様性（27,28回）、13章：人為と生物（29,30回）
- 成績評価の方法** 前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。
- 教科書** 講義内容を文章化した「web版テキスト」（清水執筆）を紹介する。受講者は指定のHPより自由にダウンロードして予習・復習に利用できる。
- 参考書等その他** 上記「web版テキスト」で章ごとに参考書を紹介する。講義に必要な図表等は章ごとに1枚のプリントにして教場で配布する。

履修コード	220401
科目名	生物学〔生物と環境〕
担当者名	中村 敏枝

- 講義のねらい** 地球上の生き物はすべて40億年の歴史を背負っている。その中でヒトだけが自然のおきてに逆らい、自分の歴史をつくろうとした。しかし、「ヒトも生物である」という現実から逃れることはできない。「生物とは何か」を考え、「自然との共生」について考えてみよう。
- 講義の内容・授業スケジュール** (前期)生物の生活
 (1)地球の歴史と生命の起源
 ・最初の生命・地球の歴史・極限環境生物
 (2)生命誕生
 ・いまここにいる奇跡・受精と発生
 (3)生命の維持
 ・なぜ食べるか・消化と吸収・排泄物のゆくえ・植物の光合成
 (4)生態系の物質循環とエネルギーの流れ
 ・陸と海をめぐるいのちの輪
 (後期)化学物質の功罪
 (1)ゴミ処理とダイオキシン汚染
 ・ゴミ焼却とダイオキシン・ゴミの減量 Reduce Reuse Recycle
 ・ゼロエミッションという考え方
 (2)人工化学物質の功罪
 ・内分泌かく乱化学物質 - 環境ホルモン
 (3)人工放射性核種
 ・原発は温暖化を防ぐ救世主か・JCO 臨界事故
 (4)まとめ 自然とともに生きる
- 履修上の留意点** 義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。
- 成績評価の方法** 学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。
- 教科書** 赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』（宣協社）2,700円
- 参考書等その他** 授業時間内に随時紹介します。授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

履修コード	220501
科目名	地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕
担当者名	加藤 潔

講義のねらい	<p>最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。</p> <p>本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会があまり無かった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、プルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題（地球温暖化など）について触れます。</p>
成績評価の方法	<p>主に期末試験で評価されます。また、前・後期に3回ぐらいずつ、ビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます（各5点程度）。</p>
教科書 参考書等 その他	<p>特に定めない。適宜プリントを配布。 『ニューステージ地学図表 新訂』（浜島書店） プロジェクター、ビデオ等を使用します。</p>

履修コード	220601・220801
科目名	地球科学〔地球の変遷・生命の進化〕
担当者名	山縣 毅

講義のねらい	<p>地球科学は、地球の成り立ちやメカニズム、あるいは環境変遷を、地球自体から様々な方法で読み取ったデータを基に理解しようとする学問分野です。特に近年は、地球温暖化などの地球規模の環境問題の原因を明らかにする上で、過去の地球の環境変化やその要因の理解が重要になってきました。本講義では、地球の歴史を誕生した46億年前から現在まで辿りながら、地球環境を決定してきた要因や、環境変化による生物への影響を考えていきます。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>〔地球の現在の姿〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地球の大きさ・形（1、2回） 2. 地球の内部構造とプルームテクトニクス（3～5回） 3. 大陸移動とプレートテクトニクス（6～8回） 4. 火山活動とそのメカニズム（9、10回） 5. 地震とそのメカニズム（11、12回） 6. 気圏・水圏の構造と地球規模の熱循環（13～15回） <p>〔地球環境の変遷〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地球環境の変動要因（16、17回） 2. 地球の形成過程（18、19回） 3. 環境変化と生物進化（20～24回） 4. 生物の大量絶滅（25、26回） 5. 人類の誕生と進化（27～29回） <p>〔未来の地球の姿〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 未来の地球環境の変遷（30回）
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書 参考書等 その他	<p>講義は、板書と併せ、OHPやビデオを使って行っていきます。 成績は、定期試験とレポートにて評価します。 特になし。 講義中に紹介します。 講義にて、資料プリントを配布します。</p>

履修コード	220701
科目名	地球科学〔地球システムと人間圏〕
担当者名	澤口 隆 <small>さわぐち たかし</small>

講義のねらい 宇宙形成から137億年。地球の誕生から46億年。人類が地球上に生まれてから400万年…地球システムと人間圏の形成。果たして人間圏は地球上にあと何年存在しうるのでしょうか？46億年におよぶ地球システムの分化の歴史を学び、そのサブシステムとしての人間圏が安定に存在し続けるための条件とは何かを考えることが、本講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール まず、地球をシステムとしてとらえるために必要な空間と時間のスケールを学び、それぞれのサブシステム内の諸現象の理解を深めたあと、サブシステム間の物質やエネルギーの交換という観点から、地球温暖化や資源エネルギー問題など、現代人間社会にとっての重要課題について学習する。

1. イントロダクション、2. 空間と時間のスケール、3. NHKスペシャル地球大進化、4. 太陽系形成の標準モデル1、5. 太陽系形成の標準モデル2、6. 火星と地球、7. 宇宙開発の歴史、8. 地球と月の始まり、9. 地球の歴史と全球凍結、10. 地球上の生命の誕生、11. 元素の誕生、12. 地球システム、13. 地球温暖化、14. オゾン層の破壊、15. エルニーニョ、16. 火山、17. 地震、18. 地震予知、19. 南極大陸、20. 地球資源問題と環境破壊、21. 原子力発電、22. 放射性廃棄物の地層処分、23. 地熱発電、24. 複雑系、25. 総まとめ

履修上の留意点 毎回独立したトピックについての講義を行う。
それに関連した内容の課題レポートが半期に3-5回程度課される。

成績評価の方法 提出された課題レポートを評価し、その総合点と出席率で成績評価を行う。(代筆・代返などの不正行為が見つかった場合はその場で不合格とする。)

教科書 使用しない。適宜プリントを配布。
参考書等 『岩波講座・地球惑星科学』(全14巻)
その他 毎回出席を取ります。遅刻・途中退出は認めません。

履修コード	220901・221001
科目名	地球科学〔自然景観の成り立ち〕
担当者名	市川 清士 <small>いちかわ きよし</small>

講義のねらい 地球が誕生して46億年といわれています。この間、地球はたえず表情を変化させつづけてきました。では、私たちの生活している周辺の自然景観、たとえば山や川、平野や海洋などはいつどのようにしてできたのでしょうか？本講義では、この問いに答えるために地形、気候、水文などの地球表面の現象を対象として、その成り立ちについて探っていきます。

講義の内容・授業スケジュール (1) 地球科学とはどんな学問か？ (2~5) 地球の成り立ちと構造について (6~10) 大陸の成り立ちや造山運動【プレートテクトニクス】 (11~15) 地震および活断層について (16~19) 氷期と間氷期【気候変動】(20~24) 地球温暖化と我々の生活 (25~30) 南関東を中心とした「身近な自然景観」の成り立ちについて

履修上の留意点 日頃から新聞・雑誌・TVなどで地球環境について目を光らせていてください。また、高校で使用した地図帳を用意すること(できれば最新のものが望ましい)。

成績評価の方法 授業への積極性・レポート・学年末の試験を総合して評価を行います。
教科書 『地球学入門 一惑星地球と大気・海洋のシステムー』(東海大学出版会) 2,940円
参考書等 参考書はその都度紹介します。
その他 一般的な講義を主とし、スライド・OHP・ビデオ・DVDによる説明を入れて皆さんが興味を持てるような講義を行おうと考えています。

履修コード	221101・221201
科目名	自然環境論〔生命と環境〕
担当者名	山縣 毅

講義のねらい 18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきました。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が地球環境に与える影響、自然と人間の関わりについて考えていくことを目標としています。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 〔地球表層の環境〕
1. 大気構造とオゾン層 (1, 2回)
 2. 気候の決定要因 (3~7回)
 3. 生物生存条件としての地球磁場 (8回)
- 〔人間活動による環境変化〕
1. 公害問題の変遷 (9回)
 2. 地球温暖化とその要因 (10~16回)
 3. 大気汚染 (17回)
 4. 酸性雨 (18回)
 5. 光化学スモッグ (19回)
 6. オゾン層の破壊 (20回)
 7. 海洋汚染 (21, 22回)
 8. 廃棄物問題 (23, 24回)
 9. 資源とエネルギー (25~27回)
- 〔自然災害〕
1. 気候変動 (28回)
 2. 地震とその災害 (29回)
 3. 火山とその災害 (30回)

成績評価の方法 成績は、定期試験とレポートにて評価します。

教科書 特になし。

参考書等 講義中に紹介します。

その他 講義にて、資料プリントを配布します。

履修コード	221301・221401・221601
科目名	自然環境論〔生命と環境〕
担当者名	持丸 真里

講義のねらい 生物を中心とした自然環境の仕組みを理解した上で、現代の人間活動が生態系へもたらしている諸問題について考えることを目的とする。講義では、基礎知識として、生物の基本構造と多様性、物質及びエネルギー代謝、生態系の成り立ちなどについて解説した上で、生化学・生態学的な視点を要求される現代の諸問題について各論的に取り上げていく。また、これらの事例を通して、生態系の保全や持続可能な人間社会のためにどのような姿勢が要求されるか考察する。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- (1) 生化学・生態学の導入 (2~3) 生態系の成り立ち (4) 生物とは何か (5~6) 生物の進化と地球環境 (7~10) 地球温暖化 (11~12) 生態系内の物質循環 (13~14) 生産者の働きと生態系 (15) 中間試験 (16~17) 森林破壊 (18) 生物多様性 (19~20) 生態系の浄化作用 (21~22) 化学物質による生態系汚染 (23~24) ダイオキシン問題 (25~26) 環境ホルモン (27~28) オゾン層破壊 (29~30) 近代農業の問題

履修上の留意点 上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度に合わせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めてゆく。

成績評価の方法 筆記試験(年二回)を基本に評価するが、出席状況も考慮する。

教科書 なし

参考書等 講義内で随時紹介する。

履修コード	221701
科目名	自然環境論〔生命と環境〕
担当者名	中村 敏枝 <small>なかむら としえ</small>

講義のねらい	私たちは今後ますます環境に配慮した行動をとることを要求されるだろう。そのためには、生態系におけるヒトの位置と、生物としての限界を正しく認識して、生活活動、経済活動、経済利益と効率などを長期的な視野で考えることが肝要である。これを本講義のねらいとする。
講義の内容・授業スケジュール	(前期)自然環境の改変 (1-6) 自然のしくみ (7-12) 自然の改変 (後期)人間の活動と地球環境―食をめぐる問題 (13-18) 農業―有機農業・灌漑・遺伝子組み替え作物 (19-22) 畜産業―肉食とは何か・BSE・クローン動物 (23-25) 漁業―海外依存度・環境ホルモン汚染
履修上の留意点	義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。
成績評価の方法	学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。
教科書	使用しません。
参考書等	赤堀他著『生物学―地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円 その他については授業時間内に随時紹介します。
その他	授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

履修コード	221501
科目名	自然環境論〔地球・太陽系環境〕
担当者名	坂野井 和代 <small>さかのい かずよ</small>

講義のねらい	人間が普段活動している地球環境(陸地、大気、海洋)の基礎的な構造やしくみを学ぶと共に、現在話題になっている地球温暖化等の環境問題について知る。また、近年人類が活動するようになった地球近傍の宇宙環境(地球磁気圏、太陽系の惑星など)についても触れ、地球環境システムを総合的に理解する。
講義の内容・授業スケジュール	主に地球温暖化についての諸問題と地球・太陽系環境の基礎について触れる。 1. ガイダンス(1回) 2. 地球温暖化について 基礎編(5回) 3. 地球環境システムの構造と原理(個体地球、大気・海洋、地球磁気圏)(9回) 4. 前期の確認・復習(1回) 5. 地球と太陽系惑星との比較(太陽、太陽系)(4回) 6. 地球大気の観測・オーロラについて(2回) 7. 地球温暖化について 応用編(5回) 8. トピックス(3回)
履修上の留意点	なるべく1つ、1つ説明しますが、中学・高校の基礎的な数学・理科を理解する程度の知識や能力が必要です。講義の進度や話題は、受講人数やその時期の状況に応じて適宜調節します。人数によっては発表形式の講義も検討します。発表形式の場合、詳細は講義で説明します。内容は決して簡単ではありませんので、興味およびやる気のある学生を求めます。
成績評価の方法	評価は授業時間中に出题するテストまたはレポート(口頭発表の場合もあり)によって行う。
教科書	使用しない。適宜資料を配付する。
参考書等	・ 赤祖父俊一、「正しく知る地球温暖化―誤った地球温暖化論に惑わされないために」、誠文堂新光社、¥1470、ISBN 978-4416208182 ・ 丸山茂徳、「地球温暖化論に騙されるな!」、講談社、¥1470、ISBN 978-4062147217 ・ 住明正、「さらに進む地球温暖化」、ウェッジ、¥1470、ISBN 978-4863100015 ・ 江守正多、「地球温暖化の予測は正しいか?」、化学同人、¥1700、ISBN 978-4759813203
その他	特に地球温暖化について考える講義をしています。 講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。 http://www.komazawa-u.ac.jp/ksakanoi/lecture.html

履修コード	221801・221901・222001
科目名	自然環境論〔生物の集団と環境〕
担当者名	<small>さかまき よしあき</small> 坂巻 義章

講義のねらい	地球環境の変化は現代の重要な問題の1つである。これは、個人の専門や興味に関係なく我々に降りかかってくる。この状況の中で人間を含めた自然、それを取り巻く環境について正しい理解をもつことは必要不可欠である。この講義では生物の生活と環境の関係を理解する事を基本とし、生態系の成り立ちやその中で起こる調節、人間による攪乱などについて取り上げる。これらの知識を基礎にこれからの環境変化についてどう対処するかを考えたい。
講義の内容・授業スケジュール	前期 (1) ガイダンス (2) 地球 (3) 気圏と水圏 (4) 環境とは何か (5) 生物とは何か (6) 生物界の構造 (7) 地球生物の歴史と環境① (8) 地球生物の歴史と環境② (9) 地球生物の歴史と環境③ (10) 生物の進化 (11) 進化説 (12) 環境への適応① (13) 環境への適応② (14) 生物の分布 (15) 前期のまとめと試験 後期 (16) 食物連鎖 (17) エネルギー流 (18) 生態ピラミッド (19) 個体群 (20) 出生と死亡 (21) 競争と住み分け (22) 捕食 (23) 共生と寄生 (24) 土壌と分解者 (25) 物質循環 (26) 里山の生態系 (27) 人口問題と環境問題① (28) 環境問題② (29) 環境問題③ (30) まとめと試験
履修上の留意点	スケジュールは基本である。開始後に理解度によって進度を調整したり、新たな内容についても触れるなどの変更はありうる。大学生として授業に参加する基本的なマナーは守って欲しい。
成績評価の方法	出席点と筆記試験(前、後期の最終回を予定)で行う。途中で課題を出すこともあるので、その場合はこれも加える。
教科書	指定しない。
参考書等	指定しない。必要な場合にプリントを配布する。
その他	講義形式の授業とする。

履修コード	222201・222301
科目名	自然誌〔現代の自然像〕
担当者名	<small>しみず よしかず</small> <small>しのはら まさお</small> <small>あらまる まり</small> <small>やまがた たけし</small> 清水 善和・篠原 正雄・持丸 真里・山縣 毅

講義のねらい	本講義では自然科学部門の4人の教員(天文学、地質学、生物学、化学)がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄って、宇宙の始まりから地球の形成、生命の起源、進化を経て人類の時代に至るまでの自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、現在私たちが直面している地球環境問題等についても紹介する。以上の講義を通じて総合的、統一的、現代的な自然像を養う。
講義の内容・授業スケジュール	オリエンテーション(1回)；第1講 宇宙の進化と地球の起源(篠原正雄)(1)宇宙の構造と起源(2-3回)、(2)宇宙の進化と物質の進化(4-6回)、(3)太陽系の起源と進化(7-8回)；第2講 地球の進化(山縣毅)(1)大陸と海洋の形成(9-10回)、(2)大陸の漂流(11-12回)、(3)変動する地球(13-14回)、(4)地球と生命の共進化(15-16回)；第3講 生命の起源と進化(清水善和)(1)生命の起源(17-18回)、(2)生物の進化と進化論(19-20回)、(3)人類の進化(21-22回)、(4)生物多様性(23回)；第4講 産業の発達と環境の変化(持丸真里)(1)人口増加とエネルギー消費の歴史(24回)、(2)エネルギー消費と「豊かさ」(25回)、(3)化石燃料の化学(26-27回)、(4)大気環境の変化(古典的大気汚染からグローバルな環境問題へ)(28-29回)、(5)未来のエネルギー(30回)
履修上の留意点	本科目は1年間の講義を通して統一的・総合的な自然像を養うことを目的とするので、毎回の出席が困難な学生は履修を控えてほしい。教員ごとに計4回の評価(テストやレポート等)を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。
成績評価の方法	担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に4人の採点を合算して成績評価とする。追試験は行わないので、各教員の指示に従って必ずそのつど評価を受けること。
教科書	特になし。必要に応じて各教員がプリント等を配布する。
参考書等	各教員がそれぞれの講義の中で適宜紹介する。

履修コード	222401
科目名	数学〔微積分学入門〕
担当者名	古宇田 悠哉

講義のねらい	微積分学の入門的事項を学びます。授業で紹介する一つ一つの例題を理解し、自分の力で練習問題を解けるようにします。その過程で、この微積分が、世の中に現れるさまざまな現象の変化の仕方をとらえる上で不可欠な学問であることを実感でき、同時に、与えられた情報を論理的に素早く理解する能力、問題を解決するための論理的な思考を身につけることを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	(1～4) 1変数関数、今までに学んだ1変数関数、三角関数、逆三角関数、指数関数、対数関数 (5～9) 微分、微分公式、初等関数の導関数、 n 次導関数 (10～15) 平均値の定理と不定形の極限、マクローリン展開、関数の増減とグラフの凹凸 (16～18) 不定積分、初等関数の不定積分 (19～21) 置換積分 (22～24) 部分積分 (25～27) 有理関数の積分 (28～30) 定積分、面積と回転体の体積
履修上の留意点	毎回授業に出席して下さい。
成績評価の方法	前期と後期の試験の結果を基本に評価します。授業への出席状況も考慮します。
教科書	石村 園子著『やさしく学べる微積分』(共立出版) 2,100円(税込) ISBN4-320-01633-5
参考書等	適宜紹介します。
その他	講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問してください。

履修コード	222501
科目名	数学〔線形代数学入門〕
担当者名	古宇田 悠哉

講義のねらい	線形代数学の入門的事項を学びます。授業で紹介する一つ一つの例題を理解し、自分の力で練習問題を解けるようにします。その過程で、世の中には「線形的な現象」が溢れていることを実感でき、同時に、与えられた情報を論理的に素早く理解する能力、問題を解決するための論理的な思考を身につけることを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	(1～4) 行列の定義、行列の演算、正方行列と逆行列 (5～9) 連立1次方程式、行基本変形、行列の階数、連立1次方程式の解、逆行列の求め方 (10～15) 行列式の定義、行列式の性質、逆行列の存在条件、クラメールの公式 (16～19) 空間ベクトル、ベクトル、内積 (20～25) 線形空間の定義、 n 項列ベクトル空間、線形独立と線形従属、部分空間、基底と次元、線形写像 (26～30) 内積空間、正規直交基底、固有値と固有ベクトル、行列の対角化、2次曲線の標準形
履修上の留意点	毎回授業に出席して下さい。
成績評価の方法	前期と後期の試験の結果を基本に評価します。授業への出席状況も考慮します。
教科書	石村 園子著『やさしく学べる線形代数』(共立出版) 2,100円(税込) ISBN4-320-01660-2
参考書等	適宜紹介します。
その他	講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問してください。

履修コード	222601
科目名	数学〔現代数学入門〕
担当者名	福田 賢一

講義のねらい	現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計り、実践的な応用力の養成を目指す。特に、情報環境、情報機器への理解を深めるため、その数理側面を充実させる。時間に余裕があれば、経済・金融等に必要とされる数理的基礎にも触れる。
講義の内容・授業スケジュール	前期：4回 論理の基礎と言語、情報理論の数理と論理、 3回 論理設計・論理回路、 2回 情報、通信機器の理解と数理 2回 ベクトル、行列 2回 線型代数とその応用 2回 まとめと演習 後期：3回 線型計画法、 3回 確率現象と社会現象、保険の数理 2回 微積分とその応用、交通・運輸の数理基礎 3回 多変量の処理と応用 2回 社会・経済現象の数理トピックス 2回 問題演習、討論
履修上の留意点	予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、系統性の強い学術分野であるから、基本的な定義、性質を明確にするとともに、基本的な事項の確実な理解・運用能力が必要とされる。また、社会・経済現象に対し興味を持ち、基礎的な認識を深める必要もある。
成績評価の方法	前後期試験結果を80%、レポート・問題演習20%とし、全出席で1.1倍、9割以上出席で1.0倍。8割出席で0.8倍。8割を下回る場合には0.6倍する。出席不足は0倍。
教科書	教科書は使用しない。教材、資料等を数時限に一回の割合で配布する。 また、内外の関連する公的な機関等のサイト等も紹介する。
参考書等その他	参考文献等は配布する教材、資料等に明示する。 印刷教材、資料等は数時限に一回の割合で配布する。印刷教材は再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的に言うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。 可能な限り演習を行い理解の徹底を図る。

履修コード	222701
科目名	情報数学〔情報と論理〕
担当者名	坂野井 和代

講義のねらい	情報処理・情報科学等で使用する基礎的な数学について学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	前期は、記数法など基礎的な数学知識について学んだ後、情報処理において必要となる概念である集合と論理について学ぶ。後期は主に確率と統計について勉強してゆく。講義時間中に例題を解くなど、実際に手を動かして数学に慣れてもらう講義をめざしている。 1. ガイダンス (1回) 2. 記数法とコンピュータにおける情報の表現 (5回) 3. 集合と論理 (7回) 4. 順列・組み合わせ (2回) 5. 確率・統計 (13回) 6. 数学のトピックス (2回)
履修上の留意点	予備知識・教科書は特に必要とせず、その都度、資料配付や説明を行う。数学は積み重ねが大切な分野であるので講義は必ず毎回出席し、ノートを取り、出題された例題や課題を解くこと。レポートは講義に出席して、例題や課題を解いていないと解答することは難しい。
成績評価の方法	評価は原則として年に3回程度のレポートによって評価する。また、講義時間中の発言も評価に含める。
教科書	使用しない。適宜資料を配付する。
参考書等	・ 結城浩、「プログラマの数学」、ソフトバンク、¥2200、ISBN 4-797329734 ・ 鑰山 徹、「ソフトウェアのための基礎数学」、工学図書、¥2300、ISBN 4-7692-0430-2 ・ 石原光/小堆光喜、「入門 情報処理数学」、実教出版、¥2200、ISBN 4-407-02347-3 ・ 小島寛之、「完全独習 統計学入門」、ダイヤモンド社、¥1800、ISBN 4-478-82009-0
その他	コンピュータ応用の講義と連携して受講することをお勧めします。 講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。 http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html

履修コード	222801・222901
科目名	物理学〔光と物質〕
担当者名	篠原 正雄

講義のねらい 「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げる。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及ぶ。

講義の内容・授業スケジュール (1-8)「光は波である 1」(光線 影 鏡 屈折 透明人間 スペクトル 虹の七色と三原色) (9-15)「光は波である 2」(波動 光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色) (16-25)「光は電磁波である」(電気と磁気 電場と磁場 電磁波 さまざまな電磁波) (26-30)「現代物理学と光」(原子構造と光 電磁波は粒子・電子は波 光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光は宇宙を駆け巡る)

履修上の留意点 十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めする。数学・物理の予備知識はいらない。

成績評価の方法 期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となる。期末試験を含む数回のテストの合計で8割、ほぼ毎回の問題による平常点が2割となる基準点により評価する。S、Aについては教務部のガイドラインを参考にするので、この点と成績とは一致しない。

教科書 藤城敏幸著『生活の中の物理』(東京教学社) 1,800円+税

参考書等 講義の中で適宜紹介する。

その他 理解を深めるためにほぼ毎回問題を考えてもらう。

履修コード	223001・223101
科目名	化学〔衣食住の化学〕
担当者名	持丸 真里

講義のねらい 現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の社会での適用について、正確な知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。前期には、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学・生化学の基礎について説明する。その後、衣食住の化学として、各論の説明を行う予定である。

講義の内容・授業スケジュール (1)有機化学・生化学の導入 (2~4)物質の成り立ち-原子・分子・イオン・化学式・周期表などの解説 (5)水の性質 (6~8)有機化学の基礎 (9~10)繊維 (11)染料 (12~13)洗剤と洗濯のしくみ (14)合成洗剤と水質汚濁 (15)中間試験 (16~17)タンパク質-酵素・免疫を中心に (18~19)遺伝子 (20~21)遺伝子情報の社会への影響 (22)遺伝子組み換え実験とは何か (23~25)遺伝子組み換え食品 (26~27)食品の安全性 (28)化学物質の安全性評価 (29~30)住環境の化学物質汚染

履修上の留意点 「化学」の中には様々な分野があるが、本講義は生化学を中心とする(=生命科学との接点が多い)。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度に合わせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めてゆく。講義は、化学の基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意して履修すること。

成績評価の方法 筆記試験(年二回)を基本に評価するが、出席状況も考慮する。

教科書 なし。

参考書等 講義内で随時紹介する。

履修コード	223201・223301
科目名	宇宙科学〔星と銀河〕
担当者名	篠原 正雄

講義のねらい 現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介する。宇宙が不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しく進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール 前期は恒星を取り上げる。(1)イントロダクション (2~4)観測:望遠鏡 スペクトル (5~7)太陽:構造, エネルギー源 (6~15)恒星:年周視差と距離, 分類, 連星と星の質量, 変光星, 星の進化
後期は銀河をとりあげる。(16~17)銀河系の発見 (18~23)銀河系:星団 星雲 銀河系の渦巻き構造と星生成領域 銀河回転と暗黒物質 (24~26)銀河: 銀河の分類 距離 銀河団 宇宙の大規模構造 (27~30)宇宙:宇宙膨張, 暗黒エネルギー, ビッグ・バン

成績評価の方法 中間試験および学年末に行う筆記試験の平均点により評価する。S、Aについては教務部のガイドラインを考慮するので、この平均点と成績とは一致しない。平常点は10点までの範囲で考慮する。

教科書 岡村定矩他編『人類の住む宇宙(シリーズ現代の天文学第1巻)』(日本評論社) 2,520円

参考書等 講義の中で適宜紹介する。

その他 講義を中心とするが、天体の映像などを多用する。

履修コード	223401・223701・223901・224201
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	谷本 玲大

講義のねらい	<p>課題実習を通じて、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。</p> <p>前半では情報検索とマナーについて学び、後半では Word、Excel の基本的な技能を養う。進度に余裕があれば、PowerPoint にも触れたい。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス／履修許可／起動～ログオン～終了／画像処理 2 情報倫理概説／検索エンジンとWWW体験 3 電子メールのマナーと実習／添付ファイル 4 パスワードの管理／解凍／ファイルの種類と拡張子／タイピング練習 5～8 Word 9～12 Excel 13～15 予備 <p>※余裕があれば、PowerPoint にも触れる。</p>
履修上の留意点	<p>※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある（★詳しくは「その他」を参照のこと★）。</p> <p>初心者～中級向け。履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。学生諸君の積極的参加を希望する。</p> <p>教室に備付のパソコンを使用するので KOMAnet の「ユーザID」と「パスワード」が必要。</p> <p>各自、駒澤大学総合情報センターに学生証持参の上、講義開始一週間以上前に申請し、【履修前に取得完了】のこと。</p>
成績評価の方法	<p>初回講義欠席者は単位認定しない。</p> <p>受講態度や出席状況等の平常点（40%）、課題・レポート（60%）。総講義時間数の3分の1以上の欠席は評価対象外。</p> <p>遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。</p> <p>パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。</p> <p>講義中に他学生に迷惑となるような行為のあった場合、教員の指示に従わない場合には履修許可を取り消すことがある。</p>
教科書	<p>他人のパスワードでログオンして受講した場合は、情報リテラシーの基礎を理解できていないものと見なし、事情の如何に関わらず、その場で成績を不可と決定する。</p> <p>小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』 （講談社現代新書1603） 2002/04、714円 ISBN：4-061496034</p>
その他	<p>※例年、前期での開講科目は受講生が多いために進度が遅れがちになり、結果として PowerPoint に触れられない場合が多い。【PowerPoint の学習を希望する学生】は、★後期に開講する方の科目★で履修申請することを強く勧める。</p> <p>※本学の建学の理念は「行学一如」である。曹洞禪に於いて、「行」とは只管打坐にある。「学」もそれと「一つの如く」、ひたすらにありたい。よって、厳しく指導する。</p> <p>※履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、真に実力を付けたい者だけに履修登録を勧める。</p>

履修コード	223501
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	山本 博信 <small>やまもと ひろのぶ</small>

講義のねらい

現代では、日常の学習や仕事の中でPCやネットワークを活用することは必須になりました。この科目では演習を行いながら情報リテラシー技術を学びます。その具体的方法は、高度なスキル（訓練によって身につけることができる、技術上の能力）やコンセプト（全体を貫く「基本的な概念」のこと）・ケーパビリティ（能力、才能、可能性、将来性）を交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。PCやネットワークの基本操作、電子メール、ウェブ閲覧、文書作成、表計算、文献検索、プレゼンテーション資料作成、Web ページ作成、マナー・倫理・著作権などの基本項目を、習熟度合いに応じて学びます。

講義の内容・授業スケジュール

パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集・Web ページ作成を実習を通して実施します。
アプリケーションソフトウェア（OFFICE2007）を使用した課題制作を通して、基本的な情報の処理能力を養う。

- 第1回 端末の利用方法と履修登録
- 第2回 ネットワークの歴史と仕組み
- 第3回 ネットワークの利用と電子メール
- 第4回 ネットワーク倫理と著作権
- 第5回 情報検索入門(1) 特許情報の検索
- 第6回 情報検索入門(2) 図書や雑誌の検索
- 第7回 情報検索入門(3) データベースの利用と学術論文の検索
- 第8回 課題1：ワードプロセッサソフトウェア(MS-WORD2007)を用いた実習
- 第9回 課題1：ワードプロセッサソフトウェア(MS-WORD2007)を用いた実習
- 第10回 課題1：ワードプロセッサソフトウェア(MS-WORD2007)を用いた実習
- 第11回 課題2：表計算ソフトウェア(MS-EXCEL2007)を用いた実習
- 第12回 課題2：表計算ソフトウェア(MS-EXCEL2007)を用いた実習
- 第13回 課題2：DATABASE SOFTWARE(ACCESS2007)を用いた実習
- 第14回 課題2：DATABASE SOFTWARE(ACCESS2007)を用いた実習
- 第15回 講評・授業評価

※なお、実際の授業進行は適宜調整を行う。

履修上の留意点

本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含まれます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。

成績評価の方法

- 以下の比率で総合的に評価します。
- ・課題 10%
 - ・授業最終日に実施する確認試験 25%
 - ・定期試験(確認試験として実施) 35%
 - ・質問書および出席状況 30%

教科書

授業の中で適宜紹介します。

参考書等

- 『30時間でマスター：ホームページ・ビルダー Ver. 7/8/9』 ¥800 (ISBN9784407307733)
- 『XP 対応 新基礎コンピュータ演習』山本誠次郎・井内善臣 (実教出版) 151P、¥1890 (ISBN4 407301147)
- 『ITリテラシーへの招待』大田幸雄 (パーソナルユーザ利用出版社) 237P、¥1680 (ISBN4894717 220)

その他の

パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアドレスの取得が必須です。いつでもやって登録するか1回目の授業で補足説明します。授業の中で質疑応答のサイトを活用します。必要に応じてプリントを配布します。

履修コード	223601・224101
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	<small>おがわ けんじろう</small> 小川 健次郎

講義のねらい インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール (1～3) ガイダンス、PCの基本操作(4～6) インターネット上のサービス、E-mail の利用・マナー(7～15) HTML文書の作成

履修上の留意点 予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。復習を丹念に行い、既習事項がスムーズに行えるようにしておくこと。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法その他 評価は授業時間中に出題する課題によって行う。
実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

履修コード	223801・224301
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	<small>さわぐち たけし</small> 澤口 隆

講義のねらい DTP (Desk Top Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス(CG)を利用したCADイメージ、映画などで用いられるリアルなCG映像や、インターネットブラウザ上でのFLASHアニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

講義の内容・授業スケジュール 本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSは Windows を用い、アプリケーションは Adobe Photoshop を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。
Web サイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

1.ガイダンス、Adobe Photoshopとは、2.Photoshopの基本操作1、3.Photoshopの基本操作2、4.ブラシツールによる描画、5.塗りつぶしとグラデーション、6.選択ツール、7.クイックマスク、8.画像の補正・修正、9.画像の合成、10.ロゴマーク、11.アニメーション、12.Web ページの作成、13.最終課題製作、14.最終課題製作

履修上の留意点 コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windows の基本操作はマスターしていること(キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法 授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書等 使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等 同上。

その他 計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

履修コード	224001
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	山本 博信

講義のねらい 現代では、日常の学習や仕事の中でPCやネットワークを活用することは必須になりました。この科目では演習を行いながら情報リテラシー技術を学びます。その具体的方法は、高度なスキル（訓練によって身につけることができる、技術上の能力）やコンセプト（全体を貫く「基本的な概念」のこと）・ケーパビリティ（能力、才能、可能性、将来性）を交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。PCやネットワークの基本操作、電子メール、ウェブ閲覧、文書作成、表計算、文献検索、プレゼンテーション資料作成、Web ページ作成、マナー・倫理・著作権などの基本項目を、習熟度合いに応じて学びます。

講義の内容・授業スケジュール パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集・Web ページ作成を実習を通して行います。アプリケーションソフトウェア（OFFICE2007）を使用した課題制作を通して、基本的な情報の処理能力を養う。

- 第1回 端末の利用方法と履修登録
- 第2回 ネットワークの歴史と仕組み
- 第3回 ネットワークの利用と電子メール
- 第4回 ネットワーク倫理と著作権
- 第5回 情報検索入門(1) 特許情報の検索
- 第6回 情報検索入門(2) 図書や雑誌の検索
- 第7回 情報検索入門(3) データベース(Access 2007)の利用と学術論文の検索
- 第8回 課題1：ワードプロセッサソフトウェア(MS-WORD2007)を用いた実習
- 第9回 課題1：ワードプロセッサソフトウェア(MS-WORD2007)を用いた実習
- 第10回 課題1：ワードプロセッサソフトウェアを用いた実習
- 第11回 課題2：表計算ソフトウェア(MS-EXCEL2007)を用いた実習
- 第12回 課題2：表計算ソフトウェアを用いた実習
- 第13回 課題2：DATABASE SOFTWARE(Access2007)を用いた実習
- 第14回 課題2：DATABASE SOFTWARE(Access2007)を用いた実習
- 第15回 講評・授業評価

※なお、実際の授業進行は適宜調整を行う。

履修上の留意点 本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含まれます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。

成績評価の方法 以下の比率で総合的に評価します。

- ・課題 10%
- ・授業最終日に実施する確認試験 25%
- ・定期試験 35%
- ・質問書および出席状況 30%

教科書 授業の中で適宜紹介します。

『XP 対応 新基礎コンピュータ演習』山本誠次郎・井内善臣（実教出版）151P、¥1890（ISBN4 407301147）、『30時間でマスター：ホームページ・ビルダー Ver. 7／8／9』¥800（ISBN978440 7307733）

参考書等 『ITリテラシーへの招待』大田幸雄（パーソナルユーザ利用出版社）237P、¥1680（ISBN4894717 220）

その他の パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアドレスの取得が必須です。いつどうやって登録するか1回目の授業で補足説明します。授業の中で質疑応答のサイトを活用します。必要に応じてプリントを配布します。

履修コード	224401
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	古宇田 悠哉

講義のねらい 授業前半では Web ページを記述するための言語である HTML(Hypertext Markup Language)、文書のレイアウトを定義する規格である CSS(Cascading Style Sheet) の基本事項を学び、ホームページを作成するために最低限必要な知識を身につけます。後半では作成したファイルをネットワークで転送するために使われる FTP(File Transfer Protocol) を利用し、実際に自身のホームページを公開してもらいます。受講することで、コンピュータを自発的に利用する能力が付き、同時にネットワークにおいて決められたテーマを工夫して表現する力を養うことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール (1～8) HTMLの基礎 (テキスト・リスト・テーブル・リンク)
(9) 無料ホームページの登録、FTPの使い方
(9～15) CSSの基礎 (フォント・テキスト・色と背景・ボックス・配置方法・リスト)

履修上の留意点 毎回授業に出席して下さい。パソコンにログインするには、KOMAnet の「ユーザID」と「パスワード」が必要です。ユーザIDとパスワードの無い学生は教場のパソコンを利用できないので、講義が始まる前に取得しておいて下さい。講義の後半には、各自ホームページを作成してもらいますので、予めテーマを決めて、どのような内容にするか考えておいて下さい。

成績評価の方法 最終的に作成したホームページの評価を基準にします。授業への出席状況も考慮します。

教科書 プリントを配布し、適時紹介します。

参考書等 適宜紹介します。

その他 講義が理解出来なかった場合は、遠慮なく質問してください。
授業日程：7月31日(金)・8月3日(月)～6日(木)の4～6時限
予備日：8月7日(金)の4～6時限

履修コード	224601
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	山本 博信

講義のねらい 問題を解決するために、わたしたちはパソコンを道具にします。その具体的方法は、情報科学を基礎にしてみなさんが習得してこられたスキルを土台にしつつ、さらに高度なスキルやコンセプト・ケーパビリティを交差させながら情報を科学的に活用してゆきます。なお、情報の作成および発信に焦点を合わせて授業を行います。

講義の内容・授業スケジュール パソコンの活用・文書の編集・表計算ソフトの活用・ネットワークの活用・画像情報の処理と編集(コーディングについて)・インターネットのしくみ・ホームページビルダーによる Web ページの作成を実習を取り込みながら実施します。
アプリケーションソフトウェア (OFFICE 2007)(photoshop)(Homepage builder Ver12.) を使用した課題制作を通して、基本的な情報の処理能力を養う。画像編集のソフトウェアを使う。OFFICE 2007を使う。

履修上の留意点 本講座は講義を中心に授業運営します。しかし、事前課題・事後課題など授業中に行う演習も含まれます。講義は必ず毎回出席し、基本課題を必ず解いているものとします。質問を歓迎します。質疑応答のためのHPを紹介します。

成績評価の方法 ・課題 30%
・授業最終日に実施する確認試験 40%
・出席状況 30%

教科書 授業の中で適宜紹介します。
『XP対応 新基礎コンピュータ演習』、山本誠次郎・井内善臣、実教出版、(151P、¥1890) ISBN4407301147

参考書等 『30時間でマスター ホームページ・ビルダー』実教出版 (¥800)ISBN978-4-407-30773-3
『ITリテラシーへの招待』、大田幸雄、パーソナルユーザ利用出版社、(237P、¥1680)、ISBN4894717220

その他 パソコン教場で講義を行うので、パソコン台数には制限があります。よって、受講生数を何らかの方法で制限することもあります。本学総合情報センターのコンピュータの利用申請と電子メールアドレスの取得が必須です。いっとうやっあって登録するか1回目の授業で補足説明します。必要に応じてプリントを配布します。
授業日程：7月31日,8月3日～6日 1時限～3時限
予備日：8月7日(金)の1～3時限

履修コード	224701
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	<small>ながさか ひろふみ</small> 長坂 浩史

講義のねらい Web ページ作成 (HTML、CSS入門) と、表計算ソフトを用いた基本的な統計処理 (統計量についての入門) の2つを中心に学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- 最終提出課題 (Web ページ) の説明 … (1)
- Excel の基本操作 … (2、3)
- Excel を用いた簡単な統計処理 (1,2次元データのさまざまな特性値の計算、相関・回帰分析、グラフ作成、曲面片の描画) … (4~6)
- HTML、CSS入門 … (7~9)
- 自由課題 (Web ページ) 作成 … (10~15)

履修上の留意点 初心者を対象にしていますが、Windows の基本操作や、テキストファイルの扱いについては軽く触れる程度です。

成績評価の方法 提出課題 (自由テーマによる Web ページ&指定された様式のファイル) を見て評価します。ただし、欠席が1日でもあり課題を全部こなすのは困難になると思いますので、特別な事情がない限り5日間の全時限に出席すること。

参考書等その他の他 簡単な説明ファイルを配布します。
授業日程: 7/31(金)、8/3(月)~8/6(木) の 1~3時限
予備日: 8/7(金) 1~3時限

履修コード	224801
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	<small>おがわ けんじろう</small> 小川 健次郎

講義のねらい インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール (1~3) ガイダンス、PCの基本操作 (4~6) インターネット上のサービス、E-mail の利用・マナー (7~15) HTML文書の作成

履修上の留意点 予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。復習を丹念に行い、既習事項がスムーズに行えるようにしておくこと。短期間の集中講義なので、就職活動や教育実習などで1回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法 評価は授業時間中に出席する課題によって行う。

その他の他 実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。
授業日程: 7/31、8/1、8/4~8/6 1時限~3時限
予備日: 8/7 1時限~3時限

履修コード	224901
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	<small>おがわ けんじろう</small> 小川 健次郎

講義のねらい インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール (1~3) ガイダンス、PCの基本操作 (4~6) インターネット上のサービス、E-mail の利用・マナー (7~15) HTML文書の作成

履修上の留意点 予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。復習を丹念に行い、既習事項がスムーズに行えるようにしておくこと。短期間の集中講義なので、就職活動や教育実習などで1回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法 評価は授業時間中に出席する課題によって行う。

その他の他 実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。
授業日程: 7/31、8/1、8/4~8/6 4時限~6時限
予備日: 8/7 4時限~6時限

履修コード	225001
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	谷本 玲大

講義のねらい	<p>課題実習を通じて、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。</p> <p>前半では情報検索とマナーについて学び、後半では Word、Excel の基本的な技能を養う。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>7/31 ガイダンス、起動～終了/情報検索/電子メールとタイピング練習</p> <p>8/3 日本語入力と Word 演習</p> <p>8/4 Word 演習・画像処理</p> <p>8/5～8/6 Excel 演習</p> <p>8/7 予備日</p>
履修上の留意点	<p>※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある(★詳しくは「その他」を参照のこと★)。</p> <p>初心者～中級向け。履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。学生諸君の積極的参加を希望する。</p> <p>教室に備付のパソコンを使用するので KOMAnet の「ユーザID」と「パスワード」が必要。各自、駒澤大学総合情報センターに学生証持参の上、一週間以上前に申請し、【履修前に取得完了】のこと。</p>
成績評価の方法	<p>初回講義欠席者は単位認定しない。</p> <p>受講態度や出席状況等の平常点 (40%)、課題・レポート (60%)。総講義時間数の 3 分の 1 以上の欠席は評価対象外。</p> <p>遅刻は30分まで。その遅刻も 3 回で 1 欠席とする。</p> <p>パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。</p> <p>講義中に他学生に迷惑となるような行為のあった場合、教員の指示に従わない場合には履修許可を取り消すことがある。</p> <p>他人のパスワードでログオンして受講した場合は、情報リテラシーの基礎を理解できていないものと見なし、事情の如何に関わらず、その場で成績を不可と決定する。</p>
教科書	<p>小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』</p> <p>(講談社現代新書1603) 2002/04、714円 ISBN: 4-061496034</p>
その他	<p>※集中講義は、進度的に厳しい面があるので、【PowerPoint には触れ得ない】。</p> <p>授業日程：7月31日(金)、8月3日(月)～8月6日(木) 1～3時限。 予備日：8月7日(金)の1～3時限。</p> <p>※なお、★登録されているクラス以外で受講した場合は欠席扱い★とする。 但し、登録されている以外のクラスで受講することそのものについては、座席数に空きがある限りに於いて、各自の自習の一環として認める。</p> <p>※本学の建学の理念は「行学一如」である。曹洞禅に於いて、「行」とは只管打坐にある。「学」もそれと「一つの如く」、ひたすらにありたい。よって、厳しく指導する。 ※履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、真に実力を付けたい者だけに履修登録を勧める。</p>

履修コード	225201
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕(夏季集中)
担当者名	谷本 玲大

講義のねらい 課題実習を通じて、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。

前半では情報検索とマナーについて学び、後半では Word、Excel の基本的な技能を養う。

講義の内容・授業スケジュール 7/31 ガイダンス、起動～終了／情報検索／電子メールとタイピング練習

8/3 日本語入力と Word 演習

8/4 Word 演習・画像処理

8/5～8/6 Excel 演習

8/7 予備日

※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある(★詳しくは「その他」を参照のこと★)。

履修上の留意点 初心者～中級向け。履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。学生諸君の積極的参加を希望する。

教室に備付のパソコンを使用するので KOMAnet の「ユーザID」と「パスワード」が必要。

各自、駒澤大学総合情報センターに学生証持参の上、一週間以上前に申請し、【履修前に取得完了】のこと。

成績評価の方法 初回講義欠席者は単位認定しない。

受講態度や出席状況等の平常点(40%)、課題・レポート(60%)。総講義時間数の3分の1以上の欠席は評価対象外。

遅刻は30分まで。その遅刻も3回で1欠席とする。

パスワード失念・紛失などにより、自分自身のパスワードでログインできない場合は欠席扱いとする。

講義中に他学生に迷惑となるような行為があった場合、教員の指示に従わない場合には履修許可を取り消すことがある。

他人のパスワードでログオンして受講した場合は、情報リテラシーの基礎を理解できていないものと見なし、事情の如何に関わらず、その場で成績を不可と決定する。

教科書 小笠原喜康著『大学生のためのレポート・論文術』

(講談社現代新書1603) 2002/04、714円 ISBN:4-061496034

その他 ※集中講義は、進度的に厳しい面があるので、【PowerPoint には触れ得ない】。

授業日程:7月31日(金)、8月3日(月)～8月6日(木)4～6時限。

予備日:8月7日(金)の4～6時限。

※なお、★登録されているクラス以外で受講した場合は欠席扱い★とする。

但し、登録されている以外のクラスで受講することそのものについては、座席数に空きがある限りに於いて、各自の自習の一環として認める。

※本学の建学の理念は「行学一如」である。曹洞禪に於いて、「行」とは只管打坐にある。「学」もそれと「一つの如く」、ひたすらにありたい。よって、厳しく指導する。

※履修当初は全くパソコンを使えなくても構わないが、真に実力を付けたい者だけに履修登録を勧める。

履修コード	225601・225701
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータの実際〕
担当者名	坂野井 和代

講義のねらい 主に実習を通してコンピュータに慣れることを目的とする。具体的には、コンピュータの基礎的な操作方法や用語およびインターネットについて基礎を学ぶ。特に、タイピング、電子メールやウェブといったサービスを実習を通じて身につける。セキュリティやITの法的側面についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス (KOMAnet ID、パスワードに関する注意事項) (1回)
2. 総合情報センターの利用方法 (2回)
(ホームディレクトリ、パソコン使用上の心得、WindowsPCの基本操作)
3. タイプ練習&日本語入力 (3回)
4. 電子メール (Active! mailの使い方、公用メールの書き方) (2回)
5. コンピュータ&インターネットの基礎 (1回)
6. WWW ウェブサイト作成 (6回)

履修上の留意点 予備知識は必要としないが、実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。KOMAnet IDの取得は必須です。

成績評価の方法 評価は授業時間中に出席する2〜3回程度の課題によって行う。

教科書 使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等 参考書は必要に応じて紹介する。

その他 実習のために計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、基本的に受講者数が制限される。
講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html>

履修コード	225801・225901
科目名	コンピュータ応用〔コンピュータの原理〕
担当者名	坂野井 和代

講義のねらい 主に実習を通して、コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また、これらのプログラミングが実際のアプリケーション上でどのように利用されているかを知る。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス (1回)
2. KOMAnetの使い方、タイピングについて (2回)
3. 公用電子メールの書き方 (2回)
4. コンピュータの動作原理とプログラミングについて (3回)
5. Visual Basicによるプログラミング (7回)
6. Excelのマクロについて Visual Basic for Application (2回)
7. Excel VBAの実習 (13回)

履修上の留意点 プログラミングに対する予備知識は必要としない。しかし必要最低限のコンピュータの操作(ファイル、ウィンドウ操作、電子メール、ウェブの利用など)はマスターしていること。これらの操作ができないと実習についてくることは難しい。またプログラミングの際に、数学や英語に関する知識が多少必要となる。実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。長期に休んだ場合の復活は難しいので、留学、就職活動や教育実習などで3回以上休むことが当初から予想される学生は、その年の授業は履修申請しないこと。

成績評価の方法 評価は授業時間中に出席する3回程度の課題によって行う。

教科書 使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

- ・ 山本信雄、「Visual Basic Vol.1 はじめてのプログラミング」、翔泳社、¥1900、ISBN4-88135-718-2
- ・ Michael Halvorson 著・(株)日本ユニテック訳、「VisualBasic.NET 実践講座 Vol.1 基礎編」、日経BPソフトプレス、¥2480、ISBN4-89100-257-3
- ・ 立山秀利、「ExcelVBAのプログラミングのツボとコツがゼッタイにわかる本」、秀和システム、¥2310、ISBN 978-4798017976

その他 実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、基本的に受講者数が制限される。
講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html>

履修コード	226001・226101
科目名	人類学〔人類の進化〕
担当者名	馬場 悠男

講義のねらい チンパンジーと似ていたはずのヒトの祖先が、いつ、なぜ、どこで、どのような要因で現在の私たちになったかを知り、人間自身の本性を理解し、人類の将来を考える一助とする。楽しく考え、ためになる授業を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 1-5回：ヒトはどこまで動物か、ヒトはなぜゾウに似ているかなど。6-10回：立ち上がった猿人たち、豊かな森林から厳しい草原へなど。11-15回：道具を作った原人と旧人、フロレス島のホビットなど。16-20回：サビエンスの世界戦略、5万年前の革命はあったかなど。21-25回：日本人はどこから来たか、縄文VS弥生など。26-30回：病いの起源、給食を正課にせよなど。

履修上の留意点 人間や動物の形態・機能・行動・心理を観察し考える習慣を付ける。上野の動物園と国立科学博物館に行こう。

成績評価の方法 学期末の試験とともに授業中の小テストさらには出席点も加味して総合的に判断する。授業中、良い質問をすると、プラスアルファ。

教科書参考書等 馬場悠男監修『学研まんが ヒトの進化の秘密』学習研究社880円 ISBN978-4-05-202931-8
馬場悠男編著『人間性の進化 700万年の軌跡をたどる』日経サイエンス社1,900円 ISBN4-532-51151-8
馬場悠男解説『ホモ・フロレンシエンシス上下』NHKブックス・日本放送出版協会 上下各970円 ISBN978-4-14-091112-9C1345
馬場悠男・道方しのぶ訳『人類進化大全』悠書館 12,000円 ISBN978-4-903487-18-2

履修コード	226201
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	高橋 良博

講義のねらい 心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。
特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間行動の対人行動やストレス・適応などのトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。
また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなども織り込み、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール 講義の予定としては、前期では、感覚・知覚・学習などの問題について学び、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学の各研究領域に焦点をあててゆく。
各回ごとの講義予定は以下の通りである。
1 オリエンテーション（講義のねらい・成績の基準・評価履修上の注意など）、2 心理学の定義・心理学の領域・心理学の成り立ち、3 心理学研究法、4 感覚（1）、5 感覚（2）、6 感覚（3）、7 感覚（4）、8 感覚（5）、9 知覚（1）、10 知覚（2）、11 知覚（3）、12 知覚（4）、13 学習（1）、14 学習（2）、15 学習（3）、16 学習（4）、17 記憶（1）、18 記憶（2）、19 記憶（3）、20 動機づけ（1）、21 動機づけ（2）、22 感情と情動（1）、23 感情と情動（2）、24 ストレス・適応（1）、25 ストレス・適応（2）、26 ストレス・適応（3）、27 パーソナリティ（1）、28 パーソナリティ（2）、29 パーソナリティ（3）、30 パーソナリティ（4）、31 パーソナリティ（5）、32 まとめ、33 試験

履修上の留意点 履修者は、講義中は私語をつつしみ静粛に講義を受講すること。

成績評価の方法 筆記試験の得点、レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）などを得点化して総合的に評価を行う。

教科書参考書等 鈴木清編『人間理解の科学〔第2版〕—心理学への招待』（ナカニシヤ出版）2,000円税別
講義の中で指示する。

履修コード	226301
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	本間 美智子

講義のねらい この授業では、実験心理学・教育心理学・社会心理学・発達心理学・臨床心理学にわたる心理学全般の基礎的知見を概観し、心理学がどのような学問であるかについての理解を深める

講義の内容・授業スケジュール 心理学の目的と方法、心理学の各分野について概説する

成績評価の方法 通常授業の出席ならびに試験により評価する。

教科書参考書等 プリントを使用
「ヒルガードの心理学」内田一成（監訳）ブレン出版、2005

履修コード	226401
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	加藤 博己

講義のねらい この講義では、人間観察に重点を置きつつ、哲学から独立し、130年の歴史を有する心理学の基礎分野、並びに、心理学論（語源、定義、分野、研究法、歴史）を概観し、心理学の基礎知識を習得することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール 前期：オリエンテーション（講義の目標、内容、進め方、評価方法、注意事項等の確認）
【記憶】 1.記憶の過程、2.記憶の分類、3.記憶の仕方、4.記憶の変容、5.忘却の仕方と理由
【感覚・知覚・認知】 1.感覚（感覚のモダリティ、閾値）2.知覚（図と地、群化、恒常性）、3.認知（心的回転）、対人認知（ハロー効果、ビッグマリオン効果）
【学習・思考】 1.レスポデント条件づけ、2.オペラント条件づけ、3.その他の学習理論（試行錯誤学習、洞察学習、模倣学習、観察学習）4.初期学習
【動機づけ】 1.動機づけの分類、2.葛藤、3.コンプレックス
【情動】 1.感情の生起、2.感情の測定
 後期
【発達】 1.発達段階、2.発達要因（遺伝と環境）、3.愛着、4.知覚の発達、5.発達の研究法
【パーソナリティ】 1.パーソナリティの分類（類型論・特性論・力動論）、2.パーソナリティの測定（信頼性、妥当性、標準化）、3.パーソナリティ検査（質問紙法、投影法、作業検査法）、4.知能
【社会】 1.他者や社会が個人の態度に及ぼす影響（印象形成、同調実験、態度変容、バランス理論、援助の傍観者効果、認知的不協和理論）、2.相互作用、集団内の行動やリーダーシップ論
【心理学論】 1.「心理学」の語源、2.定義、3.心理学の基礎分野、4.心理学の研究法、5.心理学の歴史

履修上の留意点 履修希望者は、初回授業の「オリエンテーション」に必ず出席し、講義の目標、内容、進め方、評価方法、注意事項等をよく理解した上で受講すること。

成績評価の方法 前期授業の最終日より1回前の授業（7月）に授業内前期試験を、定期試験期間内に定期試験を行う。詳細は、初回のオリエンテーションで述べる。

教科書 鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃(編) 2008年 『心理学 第3版』 東京大学出版会 2,520円(本体2,400円+税) ISBN4-13-012041-0

参考書等その他 教科書や配付資料の引用文献を参照のこと。その他、必要に応じて紹介する。
 主に板書を用い、必要に応じて教科書を用い、数回の簡単な実験や心理検査を実施する予定である。本授業は講義形式であるが、一方通行の講義とならないよう、前回の授業内容の理解度を確認するためのワークを実施し、授業中に個々に指名して授業内容の理解度を確認する。

履修コード	226501
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	杉山 雅美

講義のねらい 「心理学」は、その対象が「心」という、人間にとってもっとも身近なものであり、みなさんも日常のヒューマンウォッチングをもとに、各人各様の「心理学」を構築し、応用しているのではないのでしょうか。また、書籍や雑誌、テレビ番組等からの情報を通じて、とりわけ心理テストやカウンセリングなどの側面から、すでに「心理学」に対する何らかのイメージや興味、知識をもっている人も多いことでしょう。

一方、高校までの履修科目には「心理学」がないこともあってか、みなさんのイメージするその内容と、学問としての「心理学」との間には、少なからず違いがあり、それらのなかには科学的裏付けの希薄なものも散見されます。

本講義では、学問としての「心理学」の概論的内容について、身近な具体例を通して紹介していきます。それにより、自分や周囲の他者、ひいては人間の心・行動にまつわる諸現象に対する、科学的視点からの理解を目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 年間スケジュールや実際の進捗状況による変更もありますが、概ね以下のように進める予定です。
 (1) ガイダンス・心理学とは何か (1~3回)、(2) 感覚・知覚 (4~6回)、(3) 学習 (7~9回)、(4) 記憶 (10~12回)、(5) 思考・言語 (13~15回)、(6) 情動・動機づけ (16~18回)、(7) パーソナリティ (19~21回)、(8) 発達 (22~24回)、(9) 臨床 (25~27回)、(10) 社会 (28~30回)

履修上の留意点 履修するうえでとくに予習は求めませんが、そのぶん履修者は講義中集中し、私語を慎んで臨むよう心がけて下さい。

成績評価の方法 年度末に行われる筆記試験の成績と出席状況により、総合的に評価します。

教科書 とくに指定しません。適宜プリントを配布します。

参考書等 講義の中で適宜紹介していきます。

履修コード	226601
科目名	心理学〔人間関係を考える〕
担当者名	<small>たかほし よしひろ</small> 高橋 良博

講義のねらい 心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。講義スケジュールは以下の通りである。

1 講義についてのオリエンテーション 2 心理学の定義・心理学の領域・心理学の成り立ち 3 心理学研究法 4 感覚(1) 5 感覚(2) 6 感覚(3) 7 感覚(4) 8 知覚(1) 9 知覚(2) 10 知覚(3) 11 知覚(4) 12 学習(1) 13 学習(2) 14 学習(3) 15 学習(4) 16 記憶(1) 17 記憶(2) 18 記憶(3) 19 動機づけ(1) 20 動機づけ(2) 21 感情と情動(1) 22 感情と情動(2) 23 ストレス・適応(1) 24 ストレス・適応(2) 25 ストレス・適応(3) 26 パーソナリティ(1) 27 パーソナリティ(2) 28 パーソナリティ(3) 29 パーソナリティ(4) 30 試験

(上記の講義スケジュールは、履修学生の理解度などを確認しながら、若干の時間調整を行う可能性もある。)

履修上の留意点

履修者は、講義中は私語をつつしみ静粛を保って受講すること。私語その他の迷惑行為が目立つ場合、教場外への退出をもとめる事もある。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点(講義への出席状況や、参加度)などを得点化して総合的に評価を行う。

**教科書
参考書等**

鈴木清編『人間理解の科学〔第2版〕—心理学への招待』(ナカニシヤ出版)2,000円税別
講義中に指示する。

履修コード	226701・226901
科目名	心理学〔人間関係を考える〕
担当者名	鈴木 順一 <small>すずき じゆんいち</small>

講義のねらい	<p>講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方向的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強すること）ではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。</p> <p>学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を獲得した人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。</p> <p>しかし、経験から学ぶプロセスから遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見しようとするモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互と自己内のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>番号は進行順であり、それぞれ1回から3回程度時間が配当されます。学習計画は、進行状況により変更することがあります。</p> <p>【前期】 [1]学習とは？ 授業方針 [2]エンカウンター（出会いと人間関係づくり） [3]グループ形成と集団規範 [4]コミュニケーションの促進 [5]心とは何か [6]性格検査による自己理解 [7]パーソナリティ理論 [8]無意識の心の働き（精神分析的人格理論） [9]環境を知る働き（感覚・知覚・認知）</p> <p>【後期】 [10]カウンセリングの理論と技法 [11]心理療法による自己理解と他者理解 [12]自己肯定の人間関係 [13]学習理論と行動療法 [14]relaxation による心身の健康回復</p>
履修上の留意点	<p>最初の数回の授業で、6人のグループを編成しますので必ず出席してください。授業は、グループごとに決められた場所に着席していただき、毎回グループごとに自筆で出席をとり本人を確認します。</p> <p>単独・聴講学習ではなく、グループによる協力学習・相互学習・体験学習・発見学習ですので、集団規範を守ることと、全回出席することが求められます。ルールを守れない人と欠席しがちな人は、履修しないでください。</p>
成績評価の方法	<p>出席状況と平常の小試験、小レポート、個人発表とグループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。平常点で評価しますので、学年末定期試験及び追・再試験はありません。</p>
教科書	<p>使用しません。授業内で紹介する参考図書や下記参考書の指摘する部分などを読み概念学習を進めていただきます。</p>
参考書等その他の	<p>蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学―体験をとおして学ぶ心理学―』（福村出版）</p> <p>すべての「心理学」の授業で、心理学科卒業年次生の卒業論文のための調査に協力していただく時間があります。</p>

履修コード	226801
科目名	心理学〔人間関係を考える〕
担当者名	加藤 博己

講義のねらい この講義では、人間関係に重点を置きつつ、哲学から独立し、130年の歴史を有する心理学の基礎分野、並びに、心理学論（語源、定義、分野、研究法、歴史）を概観し、心理学の基礎知識を習得することを旨とする。

講義の内容・授業スケジュール 前期：オリエンテーション（講義の目標、内容、進め方、評価方法、注意事項等の確認）
【記憶】 1.記憶の過程, 2.記憶の分類, 3.記憶の仕方, 4.記憶の変容, 5.忘却の仕方と理由
【感覚・知覚・認知】 1.感覚（感覚のモダリティ、閾値）2.知覚（図と地、群化、恒常性）、3.認知（心的回転）、対人認知（ハロー効果、ピグマリオン効果）
【学習・思考】 1.レスポナント条件づけ, 2.オペラント条件づけ, 3.その他の学習理論（試行錯誤学習、洞察学習、模倣学習、観察学習）4.初期学習
【動機づけ】 1.動機づけの分類, 2.葛藤, 3.コンプレックス
【情動】 1.感情の生起, 2.感情の測定
 後期
【発達】 1.発達段階, 2.発達要因（遺伝と環境）、3.愛着, 4.知覚の発達, 5.発達の研究法
【パーソナリティ】 1.パーソナリティの分類（類型論・特性論・力動論）、2.パーソナリティの測定（信賴性、妥当性、標準化）、3.パーソナリティ検査（質問紙法、投影法、作業検査法）、4.知能
【社会】 1.他者や社会が個人の態度に及ぼす影響（印象形成、同調実験、態度変容、バランス理論、援助の傍観者効果、認知的不協和理論）、2.相互作用、集団内の行動やリーダーシップ論
【心理学論】 1.「心理学」の語源, 2.定義, 3.心理学の基礎分野, 4.心理学の研究法, 5.心理学の歴史

履修上の留意点 履修希望者は、初回授業の「オリエンテーション」に必ず出席し、講義の目標、内容、進め方、評価方法、注意事項等をよく理解した上で受講すること。

成績評価の方法 前期授業の最終日より1回前の授業（7月）に授業内前期試験を、定期試験期間内に定期試験を行う。詳細は、初回のオリエンテーションで述べる。

教科書 鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃(編) 2008年 『心理学 第3版』 東京大学出版会 2,520円（本体2,400円＋税）ISBN4-13-012041-0

参考書等その他 教科書や配付資料の引用文献を参照のこと。その他、必要に応じて紹介する。
 主に板書を用い、必要に応じて教科書を用い、数回の簡単な実験や心理検査を実施する予定である。本授業は講義形式であるが、一方通行の講義とならないよう、前回の授業内容の理解度を確認するためのワークを実施し、授業中に個々に指名して授業内容の理解度を確認する。

履修コード	227001
科目名	心理学〔心を科学する〕
担当者名	高橋 良博

講義のねらい 心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。
 特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。
 また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール 講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。講義予定は以下の通りに進めてゆく予定。
 1 講義についてのオリエンテーション 2心理学の定義・心理学も領域・心理学の成り立ち 3心理学研究法 4感覚（1） 5感覚（2） 6感覚（3） 7感覚（4） 8感覚（5） 9知覚（1） 10知覚（2） 11知覚（3） 12知覚（4） 13学習（1） 14学習（2） 15学習（3） 16学習（4） 17記憶（1） 18記憶（2） 19記憶（3） 20動機づけ（1） 21動機づけ（2） 22感情と情動（1） 23感情と情動（2） 24ストレス・適応（1） 25ストレス・適応（2） 26パーソナリティ（1） 27パーソナリティ（2） 28パーソナリティ（3） 29パーソナリティ（4） 30試験
 （上記の予定は、履修学生の理解度などを考慮し、時間配分に若干の修正が加わる場合もある。）

履修上の留意点 履修者は、受講中は私語をつつしむ静粛を保つこと。

成績評価の方法 筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合に得点化して、最終的な評価を行う。

教科書 鈴木清編『人間理解の科学〔第2版〕—心理学への招待』（ナカニシヤ出版）2,000円税別

参考書等 講義中に指示する。

履修コード	227101
科目名	心理学〔心を科学する〕
担当者名	ほりうち まさひこ 堀内 正彦

講義のねらい 人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、それ以外にも、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物事の捉え方や判断の仕方など、様々な場面で何気なく行なっている活動全般について理解するということである。

講義の内容・授業スケジュール 心理学の様々な分野を概観できるように、下記の内容、スケジュールで講義を進行する予定である。

- 第1回 オリエンテーション
- 第2～3回 心理学の視点
- 第4～6回 発達 —環境と遺伝—
- 第7～9回 学習
- 第10～11回 記憶
- 第12回 前期末試験
- 第13～15回 感覚・知覚
- 第16～18回 思考・言語
- 第19～21回 動機づけ・情動
- 第22～24回 個人差
- 第25～27回 社会行動
- 第28～30回 行動の基本様式

履修上の留意点 この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいふべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。

成績評価の方法 試験の結果（前期の講義内と定期試験の計2回）による。

教科書 鹿取廣人・杉本敏夫（編）『心理学 第2版』（東京大学出版会）

その他の 私語については、厳格に対応します。授業の初回に行うオリエンテーションで詳細を説明しますので、必ず出席して下さい。

履修コード	227201
科目名	心理学〔心を科学する〕
担当者名	中丸 ^{なかまる} 茂 ^{しげる}

講義のねらい

心理学は、人間の心（行動・言語を含む）を客観的に研究する学問である。心理学は、心の科学、および、心の工学と定義され、心の理解・説明・予測・制御を目的とする。本講義では、科学的観点より、日常場面での人間の行動を分析し、得られたデータの解釈の仕方といった科学的方法を身につけることを目的として行われる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、科学論を中心に、心理学における中心的なパラダイムを紹介し、後期は、それらの日常生活への応用についての話を行う。また、講義は、下記のスケジュールにしたがって進めていく予定である。授業は、ビデオなどを使用し、簡単な実験を体験してもらいながら行っていく。

1. オリエンテーション 心理学って何？
2. 血液型と性格 本当に関係あるの？
3. 科学としての心理学 科学って何？
4. 行動分析学I ラムちゃんの電撃
5. 行動分析学II バナナとリンゴ
6. 行動分析学III 月に向かって吠える
7. 認知心理学I マジカルナンバー
8. 認知心理学II カクテルパーティ
9. 認知心理学III 悩めるオマタかおる
10. 心霊現象の心理学 幽霊は乗り物がお好き？
11. 社会心理学I 他人を好きになる時
12. 社会心理学II 恋、愛、そして、意志決定 その他（リクエスト可）
13. 無意識の心理学 UFOは存在するか？
14. 人格心理学 社交的な人は朝に弱い
15. 占いの心理学 ラッキーカラーは、赤!!
16. 呪いの心理学 呪殺は可能か？
17. 所信の心理学I 知識は人類を駄目にする!!
18. 所信の心理学II マインド・コントロール
19. 宗教の心理学 神社の石段
20. スポーツ心理学 イメージトレーニング
21. プロファイリングモラル・ハラスメント
22. テクノ・コミュニケーション 顔文字は使ったほうがいいか

履修上の留意点

講義は、プリント中心に行い、毎回、参考文献や図書の紹介を行う。したがって、一冊の本を読めば本講義の内容を把握できるというのではなく、毎回の知識の積み重ねが必要である。（教科書理解度UP++）

成績評価の方法

筆記試験の絶対評価として処理される。また、心理学の実験や調査に参加することも、心理学を学ぶために重要であり、得点として加算される。

教科書

中丸茂『心理学者のための科学入門』1999年（北大路書房）
中丸茂『トワイライト・サイコロジー』2000年（北大路書房）

参考書等

講義オリジナル資料 毎回配布（2～3枚）年間 40～50枚
講義用の配布資料で紹介。

履修コード	227301
科目名	心理学〔心を科学する〕(夏季集中)
担当者名	深堀 友覚 <small>ともしなり</small>

講義のねらい 身体的な異質性も然ることながら、人間には固有の性格、価値観、知能、行動パターンといった精神的(心理的)な異質性が認められる。それらを含め、人間は個性を獲得する。しかし、人間とは決して一人では生きていけない。これはこの世に生を授かり生を全うするまで続くのである。人生とは、いわば異なる個性との共存である。個性が異なれば、そこから衝突や誤解が生じ、人間関係に支障を及ぼすこともしばしばである。

本講義では個と、個の集合体である「社会」を心理学的側面から理解していくことを目的とする。本講義を通じ、少しでも心理学の世界に興味を持って頂ければ幸いである。

講義の内容・授業スケジュール パーソナリティ、学習心理学、集団・社会心理学、臨床心理学、生涯発達心理学等を講義する予定である。

履修上の留意点 短期間で集中的に行われる講義なので、主体的に講義に参加できる姿勢が望まれる。受動的にしかならない学生には、本講義の性質は不向きであろう。

成績評価の方法 講義最終日に行われる筆記試験と、出席率(3分の2以上)による総合評価。

教科書等 特に指定しない。授業内にプリントを配布する。

参考書等 重野純『キーワードコレクション 心理学』(新曜社)1994年
中村昭二『心理学概説』(八千代出版)1982年

その他 授業日程: 7月31日・8月3日~7日、1~5時限(土、日は除く)

履修コード	228201
科目名	総合I〔仏教と社会〕
担当者名	熊本 英人

講義のねらい	日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。 社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。 仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。仏教の立場、仏教の功罪、仏教への期待などをみていくことで、現代社会への問題提起を行いたい。
講義の内容・ 授業スケジュール	1 はじめに 2～5 仏教と戦争 6～13 仏教と差別 14～17 仏教と女性 18～21 仏教と家族 22～29 仏教と生命倫理 30 おわりに
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書 参考書等	出席を重視する。 適宜レポートを課す。年度末の筆記試験またはレポートと合わせて評価する。 適宜プリントで配布する。 末木文美士編『現代と仏教』（佼成出版社、2006年）2,625円 その他、講義の中で随時紹介する。

履修コード	228301
科目名	総合I〔仏教と芸術〕
担当者名	村松 哲文

講義のねらい	本講義では、仏教美術の誕生から伝播について、インド・西域・中国・朝鮮半島の仏像・仏画をスライドを写して概観する。同じモチーフが時代や地域によって変化してゆく過程を、歴史的な背景と照らし合わせながら考察してゆく。講義を通して、信仰が生み出した深遠なる美の表現を眼と心で会得してもらいたい。
講義の内容・ 授業スケジュール	〔前期〕 仏教美術の世界（1～2） インドの仏教美術（3～5） 西域の仏教美術（6～8） 初期の敦煌石窟（9～11） 後期の敦煌石窟（12～15） 〔後期〕 炳靈寺石窟（16～17） 麦積山石窟（18～20） 雲岡石窟（21～23） 龍門石窟（24～27） 朝鮮三国の仏教美術（28～30）
履修上の留意点 成績評価の方法 教科書 参考書等	以上は予定で、講義の合間に特定の意匠（仏像の胸飾・宝冠・袈裟など）についても考察する。 博物館・美術館で開催される仏教美術関係の展覧会には、積極的に足を運ぶこと。 出席率・レポート・授業態度・定期試験などを総合的に評価する。 プリントを配布する。 講義中に適宜参考書を紹介する。

履修コード	228501
科目名	総合II〔自然観察入門富浦をめぐる人と自然〕
担当者名	清水 善和・漆原 和子・坂野井 和代・篠原 正雄・須山 聡・出口 宏幸・持丸 真里・ 柳澤 紀夫・山縣 毅

講義のねらい	自然を理解するためには、自然を観察し、データをとり、解析し、結果を出すという科学的な研究手法の一部を実体験することが重要である。本科目では、まず、前期半期で植物、鳥類、地形・地質、天体、環境などの観察やデータ処理の方法等を学ぶ。次いで、夏休み（7月下旬）に駒澤大学富浦セミナーハウスにて、4泊5日の泊り込みの集中講義と野外実習を行い、富浦周辺の人と自然をトータルに理解することを試みる。これらの講義や実習を通して、自然の見方、接し方、自然科学的な考え方の基本を学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	前期（半期）：本校での講義（一部実習を含む） （1）ガイダンス（1回）、（2）自然観察の方法（2回）、（3）植物の観察（3,4回）、（4）バードウォッチング（5,6回）、（5）地球科学的な見方（7-9回）、（6）地球環境の見方（10-12回）、（7）天体観測の方法（13,14回）、（8）富浦実習に向けて（15回） 富浦での講義と実習：7月19日（日）午後-23日（木）午前（4泊5日） 午前の講義、午後の実習（植物、地形・地質、地理・歴史）、夜の天体観測など。
履修上の留意点	前期の講義に毎回欠かさず出席し、夏休みの実習に参加できる人のみ履修すること。また、本科目を9月卒業のための単位に加えることはできないので注意すること。 富浦への旅費とセミナーハウスの宿泊費（1泊4000円×4日）は学生の自己負担とする。
成績評価の方法	実習を伴う科目の性格上、履修人数の上限を30名とする。 各教員が適宜、レポート、小テストなどを課して評価を行う。また、富浦の実習については、現地での実習をふまえた総合的なレポートを課す。以上の評価点と出席点とを合算して最終的な成績の判定を行う。
教科書 参考書等	特になし。各教員が必要に応じてプリント等を配布する。 各教員が必要に応じて紹介する。

履修コード	228801
科目名	総合III〔TOEFL(R)の問題で学ぶ知的教養〕
担当者名	白鳥 義博

講義のねらい	TOEFLは講義や討論などアカデミックな場面での英語運用能力を試すテストであり、出題される英語は、さまざまな学問領域の基礎的な知識を土台としています。この知的で幅広い内容を逆手にとって、学生あるいは社会人として必要な知的教養をTOEFLの問題から学んでみようというのが、本授業のコンセプトです。テキストにはリスニングとリーディングに特化したTOEFL対策用教材を使用します。授業では、知のプラットフォームを固める上で必須なトピックをこの教材からいくつか選び出し、必要に応じてプリントなども使いながら、学習を進めます。（本年度扱う予定のトピックは次のとおり：PTSD（心の傷）、ビジネスの新しい倫理性（sustainability）、動物園と動物の権利の問題、燃料電池とエネルギーの基礎概念、など）
講義の内容・授業スケジュール	前期（1）ガイダンス、（2）～（13）4～5回の授業でひとつのレッスンをカバーして進めてゆく。（14）まとめ（15）期末テスト 後期 前期と同じ
履修上の留意点	語学と教養とキャリア教育をミックスさせた授業であり、知的好奇心の旺盛で意欲的な学生の履修を望みます（発表やレポート、小テストなどを頻繁に課す予定）。TOEFLテストを受けたことのない学生、受験予定のない学生の履修も大歓迎です。逆に、TOEFLの直前対策や解法テクニックの演習を専門的に行う授業ではないので、注意してください。
成績評価の方法	出席、受講態度、課題へのとりくみ、テストの成績などから総合的に評価する。
教科書 参考書等	『戦略的トータル®テスト対策演習』（南雲堂、2008年） 授業中に随時指示する。

履修コード	228901
科目名	総合III〔小説と映画で読み解く現代中国〕
担当者名	<small>しおはた しんいちろう</small> 塩旗 伸一郎

講義のねらい 今日、日本人の生活と生存に欠かせない存在でありながら、理解を超えた縁遠い国でもある中国。そのミステリアスな隣人を理解できる日本人が多くなるのが、結局は日本と世界の平和と繁栄の礎となる。本講で採りあげる短編小説と映画は、必ずしもミステリー作品というわけではなく、中国というミステリーを読み解くための素材である。その意味で本講は文学論、映画論である前に、中国論である。

講義の内容・授業スケジュール 解題(1～2)、「暗香」と韓少功(3～5)、映画(6～8)、「太白山記」と賈平凹(9～11)、映画(12～14)、遲子建「霧の月」(15～16)、映画(17～19)、韓東「部屋と風景」(20～21)、映画(22～24)、魏微「鄭さんの女」(25～26)、映画(27～28)

履修上の留意点 映画の表題は、映像を確保できる保証がないため、未定。
成績評価の方法 中国語学習歴がなくても履修できる。
教科書 平常点(作品ごとに感想文を提出、レポートに代える)
 釜屋修 監修『同時代の中国文学—ミステリー・イン・チャイナ』(東方書店)1600円+税

履修コード	229001
科目名	総合IV〔現代アメリカ事情〕
担当者名	<small>はやし あきと</small> 林 明人

講義のねらい 現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード(abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill 等)を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

講義の内容・授業スケジュール

1	世界史の中のアメリカ(1)	16	Brady bill(1)
2	世界史の中のアメリカ(2)	17	Brady bill(2)
3	世界史の中のアメリカ(3)	18	Brady bill(3)
4	世界史の中のアメリカ(4)	19	official English law(1)
5	世界史の中のアメリカ(5)	20	official English law(2)
6	世界史の中のアメリカ(6)	21	official English law(3)
7	世界史の中のアメリカ小テスト	22	euthanasia(1)
8	abortion(1)	23	euthanasia(2)
9	abortion(2)	24	euthanasia(3)
10	abortion(3)	25	hate crime(1)
11	affirmative action(1)	26	hate crime(2)
12	affirmative action(2)	27	hate crime(3)
13	affirmative action(3)	28	multiculturalism(1)
14	political correctness	29	multiculturalism(2)
15	前期試験	30	後期試験

履修上の留意点 遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の出入りは認めません。
成績評価の方法 ①試験(40%)②レポート(30%)③出席(30%)で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合は評価の対象にしない。

教科書 プリントを配布します。

履修コード	229101
科目名	総合IV〔新市民社会論〕
担当者名	西村 祐子

講義のねらい 前期はJICA(国際協力機構)と協力して市民社会と国際協力に関して考える。後期は本学で現在JICA草の根協力プロジェクトとして進行しているバイオトイレプロジェクトを中心に、環境、マイノリティ、被差別問題などを考える。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期：
1. 市民社会とNGO、NPO
 2. グローバル化現象と国際協力
 3. 日本の国際協力と市民社会：JICAスタッフ講義
 4. 国際協力の現状と日本：まとめ（1）
 5. JICAスタッフ講義：海外協力隊の一員として
 6. 草の根協力と開発途上国：まとめ（2）
 7. JICAスタッフ講義：グローバル化と国際協力の実情
 8. 草の根協力と開発途上国：まとめ（3）
 9. 途上国社会と市民セクター：NGOの役割（1）インド
 10. 途上国社会と市民セクター：NGOの役割（2）インド
 11. 途上国社会とマイノリティ（1）インドの場合
 12. 途上国社会とマイノリティ（2）インドの場合
 13. 前期まとめと国際協力とその課題：草の根支援のレベルから

後期：

1. インド社会の基礎知識
2. クラスとカースト：政治と宗教
3. ジェンダー、宗教、マイノリティ集団
4. インドの市民社会とNGO
5. インド地縁組織とコミュニティ開発
6. 被差別カーストとコミュニティ開発
7. 行政とNPO,NGO：公衆衛生の実情
8. 公衆衛生とバイオトイレ：グローバルな環境問題の観点から
9. 公衆衛生と途上国：グローバルな観点から
10. バイオトイレとリーダーシップトレーニングプロジェクト（1）
11. 同上（2）
12. マイノリティ・被差別・コミュニティ開発を考える
13. まとめと課題

履修上の留意点

インターネットによる資料調査をおこなうので学内で使用するコンピュータ用IDを必ず取得しておくこと。

成績評価の方法

出席（25%）、毎回の小レポート内容（30%）、前期、後期それぞれのレポート（45%）。試験はない。

**教科書
参考書等**

教場で指定する。
JICAに関しては <http://www.jica.go.jp/>
南インドにおけるバイオトイレ事業、
エコサントイレについては以下をみておく。<http://www.b1b2.org/EcoSan/index.htm>,
<http://jp.youtube.com/watch?v=gPummZRR2Cg>、<http://jp.youtube.com/watch?v=6x-PqyF9CVRE>、<http://www.indiawaterportal.org/blog/category/ecosan/>

その他

希望者は現在南インドで実施中の海外協力プロジェクトにボランティアとして参加できる。（例年2月下旬実施）

履修コード	229201
科目名	総合Ⅳ〔ポスト・モダンの世界〕
担当者名	丸小 哲雄

講義のねらい

急速な科学の発達による携帯電話とインターネットによる個別化への誘導、学問の細分化による「断絶の経験」が起こり、現在さまざまに個別化された経験が<つなぎ>の必要とする必然性を見出せるかどうかが問われています。

建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、精神分析、歴史、哲学、宗教、経済、政治などさまざまな分野が、それぞれが別途に関連なく居座って、個別化され、核化され、特化されて、さまざまな意味を込めて解釈されてきています。核家族、コミュニティからの断絶、オタク族の跋扈、いじめや孤立化の経験、被害者と加害者の両義性、しかも過剰な人権が叫ばれ、現代人は「断絶の経験」の悲劇性を、意識的にしろそうでないにしろ、味わっています。このようなコンテキストで現代のグローバリズムが吹聴されていった経緯があります。

そこで本講義の狙いは、1914年から1995年までの歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史を思想化（帝国主義と植民地化に対する批判）し、近代化（モダニゼーション）における合理性に対する啓蒙思想批判と、その近代化批判に対する主体的な批判能力（主体性の確立）を育むことで現代文明の本質を捉え直すことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 総合Ⅳの性格と意義：総合教育と専門との連動性（1～2）
- 2) 現代という時代状況の捉え方（3）
- 3) 「プレモダン」・「モダン」と「ポストモダン」という言葉の定義と時代認識の問題及び言語の恣意性（ソシユールの言語観など）（4～5）
- 4) ルネッサンス以後の人間観・宇宙観・社会観の思想的な変遷（6～9）
- 5) モダンとポストモダンにおけるヴィジュアル系の変化：建築・映画・広告・世界万博の変遷・エロスの変遷・ファッション・モードなどのジャンルに見られる思想の変遷（10～15）
- 6) 理性批判の整理：思想史の観点（ポストモダン）からモダン批判（後期）
 - ①プレモダン・モダンという近代史（16～18）
 - ②モダン思想的批判の源泉（19～21）
 - ③合理性と非合理性理の問題（22～23）
 - ④外部の力と内部の力（24～25）
- 7) ポストモダンを乗り越えるための主体性の問題（26～29）
- 8) レビュー：アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対する批判（30）

履修上の留意点
成績評価の方法

授業以外に文庫本・新書版を読み込んでいく読書課題があります。
授業での質疑応答による発表と出席率、前期と後期の読書課題、学年末に提出するターム・ペーパー（レポート課題）

教科書

- ・プリント使用：読書課題のリスト配布（レポート作成方法・提出日・提出場所も指示）
- ・多くのプリントを配布しますので、ファイル用具を用意すること

履修コード	229301
科目名	総合Ⅴ〔イギリスの歴史と文化〕
担当者名	石原 孝哉

講義のねらい

イギリス史の流れのなかで、イギリス文化がいかに形成されてきたかを考察します。

講義の内容・授業スケジュール

日本と同じ島国でありながら、イギリスは異民族支配と異文化の同化を繰り返しながら独自の文化を形成してきました。プリント教材を中心に、映像、動画、ホームページなどを利用しながら、独自の文化の源泉をたどります。

履修上の留意点

毎回プリントを配布するので欠席しないように。ホームページなどを参考にするのでコンピューターが使えると便利です。

成績評価の方法

レポート、期末試験により評価します。

履修コード	229601
科目名	総合VI〔民族とは何か〕
担当者名	<small>おのの かつじ</small> 大野 祐二

講義のねらい この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論（文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など）についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点 講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとります。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法 前後期の定期試験（またはレポート）、および小テストで評価します。

教科書 詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参考書等 原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』（筑摩書房）
吉野耕著作『文化ナショナリズムの社会学』（名古屋大学出版会）
李孝徳著『表象空間の近代』（新曜社）

履修コード	229701
科目名	総合VI〔イスラム〕
担当者名	<small>よしだ きょうこ</small> 吉田 京子

講義のねらい 本講義は、イスラームの基本的理念、信仰上の儀礼、日常の規定、宗教思想などについて、ユダヤ教、キリスト教との関係性を確認しつつ概論的講義を行い、イスラームの知識を通じセム系一神教の世界観理解を促すことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- ①セム系一神教
- ②預言者ムハンマド
- ③神のこトバ
- ③イスラームの世界観
- ④イスラームの実践
- ⑤イスラームの分派
- ⑥イスラーム神秘主義

これらの項目を各2～3回ずつ行う予定。

履修上の留意点 授業中の疑問点やコメントを毎回提出。

成績評価の方法 毎回提出のコメント用紙を出席確認に使用。出席率（3分の2以上）と試験による総合評価。

履修コード	229801
科目名	総合VI〔フェミニズム・ジェンダー〕
担当者名	<small>はやかわ のりよ</small> 早川 紀代

講義のねらい

男性と女性、あるいは女性と男性との関係は、個人的にも、また社会的にも、この二〇年のあいだに大きく変化してきている。ちょうど学生の皆さんが誕生し、成長してきた時期である。どのように変わり、これからどのように変わっていくのか、また変化しないものはなにかをとりあげて、一人ひとりの人間の在りかたを考える場にする。

講義の内容・授業スケジュール

前期 a ジェンダーってなんだ？

私たちが当たり前と思っていること、たとえば女はやさしい、男はたくましいといった考えは本当なのか、どうかということにメスをいれたのが1990年代に日本にはいつてきたジェンダーという見方です。このジェンダーという理論がどのようにして誕生したかをとりあげ、女性学と男性学と人間学の間接の関係を考える。

b 労働とジェンダー

男女格差がもっとも明確にあらわれている被雇用者の労働をとりあげる。戦後の労務管理の歴史、経営者の労働政策、女性労働者の運動、雇用機会均等法の変遷、育児・介護休業法などをとりあげ、どのようにしたら誰でも、働きかつ家族生活を楽しむ、人間としてバランスのとれた生活を送ることができるか考える。

後期 c 家族とジェンダー

私たちが無意識にすごしている家族は形も親子や夫婦の人間関係も家族ひとりひとりの生き方も大きく変化している。恋愛時代の男女、結婚後の夫と妻の関係はジェンダーが深く影響している。またいろいろな人間関係でつくられている家族のかたちもあらわれている。現代の日本社会では家族をめぐる現象は暗いことが多い。家族を共同生活ととらえて将来の家族のあり方を模索する。

d セクシュアリティ

この20年間の変化のなかでもっとも深くて大きなものが、人間の性にかんする考え方です。買春、心と身体の性が同じでない人びと、同性愛、レイプ、親しい人びとの間の暴力などをとりあげて、性にかんする固定観念から脱出する道を考える。

教員と学生、学生間のコミュニケーションを深めたいので、遅刻、お喋り、内職は厳禁

前期試験にかわる夏休みの課題レポート 30%、後期試験 40%、講義内容やビデオ内容に関する意見、感想・出席 30%

履修上の留意点
成績評価の方法

教科書

使用しない。参考資料を配布する。

履修コード	229901
科目名	総合VII〔トラブルと法的解決〕
担当者名	なかほま よしあき いのうえ けんいち きたの かほる さとう たみお なかた ひでゆき むかいだ まさみ 中濱 義章・井上 健一・北野 かほる・佐藤 多美夫・中田 英幸・向田 正巳

講義のねらい	日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。
講義の内容・授業スケジュール	法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。 第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。 担当教員の順番や講義内容は、KOMSY内の「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。 中濱 義章 消費生活と法 井上 健一 現代社会と商法 北野 かほる トラブルが法の問題になるとき 佐藤 多美夫 犯罪とは何か 中田 英幸 金融取引と法 向田 正巳 契約と不法行為
履修上の留意点	各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。 私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。
成績評価の方法	各担当教員がそれぞれの担当回数の中で実施する試験（担当教員により、担当枠の最後に試験を実施する場合や毎回小テストを実施する場合がある）の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。 担当教員が実施する試験を2回以上欠席（不受験）した場合には、全体の評価が0点となり、その時点で単位取得が不可能になるので注意して欲しい。 追試験は、講義の形態上、行わない。
教科書 参考書等	特に指定しない。 各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。 六法は毎回忘れずに、持参すること。

履修コード	230001
科目名	総合VII〔都市論〕
担当者名	早川 純貴・饗庭 伸・浦田 早苗・堀内 康史・村上 暁信

講義のねらい

大都市は多様な問題が集積する場である。過密化と空洞化、犯罪、失業、ゴミ問題、再開発、国際化など。しかしこれらは、独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にほかならない。都市の現状を政治学あるいは社会学や都市計画学の観点から概観し、その将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

5名の講師により、各々3回又は6回の講義を担当する。その順序、時期と講義内容については以下の通り。

■早川純貴『都市論』ガイダンス（1回：4月）

■早川純貴「まちづくりと住民参加」（3回：4月・5月）

いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

■浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」（3回：5月）

イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、居住などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

■堀内康史「都市とコミュニティ」（6回：6月・7月）

都市を社会学的な視点からとらえ、都市における人間関係（あるいはコミュニティ）を中心にみていく。都市化とコミュニティの変化、社会階層とコミュニティの関係、グローバリゼーションとコミュニティの変化、などのテーマを考察していく。

■村上暁信「都市のランドスケープ」（6回：9月・10月）

都市のランドスケープを読み解く基本的な視座について、概念・歴史・関連する諸制度などの観点から概説する。また、ヒートアイランド現象をはじめとする都市の環境問題解決に向けた都市ランドスケープ保全のあり方について考察する。

■饗庭伸「市街地整備とアーバンデザイン」（6回：11月・12月）

都市のフィジカルな空間を改善するために市街地整備やアーバンデザインが行われる。首都圏を対象に、近年の都市空間の課題を概観したうえで、それぞれの課題に対する取り組み、方法を論じる。

履修上の留意点
成績評価の方法

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判断し、それらを早川が総合して評価する。

3. 外国語科目

履修コード	236501
科目名	英語IA
担当者名	川崎 <small>かわさき</small> 笑佳 <small>えみか</small>

講義のねらい	入学時の英語能力を基盤として、文章による意思伝達能力の向上を目的とする。本授業では、テキスト、また必要に応じて教師の用意したその他教材を用いて指導を行い、パラグラフの構造を確認してもらいながら基本的な英文から、より効果的な表現へとステップアップすることを最終目標とする。また、TOEIC、TOEFLの小テストも授業に取り入れる予定である。
講義の内容・授業スケジュール	(1) プリント使用の授業 (2) ~ (3) Unit 1 (4) ~ (5) Unit 2 (6) ~ (7) Unit 3 (8) ~ (9) Unit 4 (10) ~ (11) Unit 5 (12) ~ (13) Unit 6 (14) ~ (15) プリント使用の授業 (16) ~ (17) Unit 7 (18) ~ (19) Unit 8 (20) ~ (21) Unit 9 (22) ~ (23) Unit 10 (24) ~ (25) Unit 11 (26) ~ (27) Unit 12 (28) ~ (29) Unit 13
履修上の留意点	学生全員が予習をしていることを前提に授業を進める。また、毎回授業の中で英作文を提出してもらうので、和英辞書は必須。(電子辞書も可。)
成績評価の方法 教科書	3分の2以上の出席および毎回の提出物、発表内容、授業態度をもとに総合的に評価する。 黒川裕一『SUBJECT : E-MAIL… Writing Effective Messages 大学生のEメール英作文』(南雲堂) 1995円

履修コード	236601
科目名	英語IA
担当者名	石原 <small>いしはら</small> 孝哉 <small>こうさい</small>

講義のねらい	日常使っている平易な英文を例に、実用的な文法、作文、聴解など英語の総合力向上を目指します。
講義の内容・授業スケジュール	前期は教科書を中心に基礎力を養い、後期はプリントなどにより応用力を身につけます。
履修上の留意点	必ず教科書を予習して出席すること。出席を重視し、時々小テスト、レポート提出もあるので休まないこと。
成績評価の方法 教科書	中間試験、期末試験のほか小テスト、レポートなどを総合的に判断します。 Looking Backward — Major Events of the 20th Century 南雲堂 1800円

履修コード	236701
科目名	英語IA
担当者名	大庭 <small>おほば</small> 直樹 <small>なれき</small>

講義のねらい	英語を効率的にマスターするための最善の方法は、文法をきちんと身につけることである。このクラスの主眼は、英文法の要点を押さえながら、できるだけ多くの短い日本語を英語で表現する訓練をすることである。英語は、口頭であるいは文書で表現してもらう。
講義の内容・授業スケジュール	授業は発表形式で進めていきます。そのため、毎回のクラスでは全員が2, 3回は発表することになる。年4回ほど、英文のレポートを書いて提出してもらいます。
履修上の留意点	必ず、予習をしてからクラスに出席すること。各クラスでは、受講生がすでに調べてきていることを前提に、練習問題を発表してもらう。また、受講生からの積極的な質問・ディスカッションを期待する。
成績評価の方法	成績については、まず、クラスに出席すること、3分の2以上の出席が成績評価を受ける前提である。定期試験を前期と後期にそれぞれ一回行なう。成績評価は、定期試験の成績、授業中の発表、レポートの成績に基づき、総合的に判断します。
教科書 参考書等	教科書については、クラスの最初に指示する。
その他	必ず、辞書を持参すること。英語の運用力を均等にのばすためには、英文法の要点をマスターするとともに、語彙力を強化しなければならない。 受講についての心構え(例えば、ノートの作り方、辞書の使用方法、予習で調べることなど)、開講時にお話します。

外国語

履修コード	236801・237001
科目名	英語IA
担当者名	三輪 久恵

講義のねらい シチュエーションや英語表現を正しく受けとめる語学能力と共に、文化的背景の違いからくる受けとめ方の違い(異文化の視点)を分析する能力、多角的な観点に立つ柔軟なものを見方を、あわせて養うことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール テキストを読み進めると同時にハンドアウトも使用します。さまざまなシチュエーションに接し、また、さまざまな作者の英文を読みたいと思います。

履修上の留意点 予習をしていくことが重要です。辞書は中辞典程度のもの必携です。電子辞書はあまり感心しないですけれどね。

成績評価の方法 日常の予習・発表等の積極的な授業参加を重視。15~20分程度の小テスト等の提出物が年間8回程度あります。定期試験は行なわない予定です。普段出席しない学生は必然的に単位も記録されない事となりますのでご注意ください。

教科書 Culture Riddles - America : Shaules 他著(南雲堂)1,400円+ tax.[前期]
The Spirit of New England : MIWA編著(旺史社)1,500円+ tax.[後期]

履修コード	237101
科目名	英語IA
担当者名	梅原 敏弘

講義のねらい 英語を読み・書き・話すために必要な実践的な英文法の知識の習得を目指します。

講義の内容・授業スケジュール 教科書に基づいて、英語の理解・運用に不可欠な文法項目を勉強します。教科書は練習問題が豊富で、一年間の授業でその全てをこなすことは難しいので、重要と思われる文法項目を取捨選択して取り上げ、学習していくことにします。この教科書は日本人英語学習者を特に念頭において書かれたものではありませんので、日本人学習者が苦手とする文法項目や犯しやすい過ちには特に留意しながら、授業を進めていく予定です。

前期:

1. Orientation
2. progressive
3. Present Perfect(1)
4. Present Perfect(2)
5. Present Perfect(3)
6. Future(1)
7. Future(2)
8. Modals(1)
9. Modals(2)
10. Modals(3)
11. -ing and the infinitive(1)
12. -ing and the infinitive(2)
13. 前期試験

後期:

1. -ing and the infinitive(3)
2. -ing and the infinitive(4)
3. Articles and nouns(1)
4. Articles and nouns(2)
5. Articles and nouns(3)
6. Prepositions(1)
7. Prepositions(2)
8. Prepositions(3)
9. Prepositions(4)
10. Conjunctions(1)
11. Conjunctions(2)
12. Adjectives and adverbs(1)
13. 後期試験

履修上の留意点 練習問題はアットランダムにあてますので、全員しっかり予習してきてください。

成績評価の方法 成績評価は、前期・後期の学期末に行う授業内試験と、出席、予習のしぐあいを総合的に勘案して行います。

教科書 Raymond Murphy, Grammar in Use (Intermediate), second edition, (Cambridge)

参考書等 江川泰一郎「英文法解説」(金子書房)

正保富三「英語の冠詞がわかる本」(研究社出版)

履修コード	237201
科目名	英語IA
担当者名	水崎 野里子

講義のねらい 日常的な話題を中心に、入学時の英語力を運用し、より高度な英語が書け、話せるようになることを目的とする。一授業ごとに、基礎的な英語表現を確認しつつ、より自由な英語作文能力を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 通年課題である。テキストを使用し、一授業一課を予定している。

履修上の留意点 出席率に留意すること。また授業に積極的に参加して欲しい。

成績評価の方法 前期後期の二度の試験に平常点を加味する。出席率、授業への参加度などである。

教科書 スヌービーと覚える日常表現(朝日出版社)

参考書等 未定

その他 質問があれば積極的に提出して欲しい。授業の終わりでも授業中でも構わない。

履修コード	237401
科目名	英語IA
担当者名	真砂 久晃

講義のねらい 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール (1) 初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。(2)～(14) Unit 1 から順番に授業を行う。授業の進捗は限定しない。(15) 前期試験 (16)～(29) 前期に引き続き、授業を行う。(30) 後期試験

履修上の留意点 出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法 $成績 = (前期の成績 + 後期の成績) \div 2$
前期、後期共、成績は(100点満点) = 出席点(20～30%) + テスト(70～80%)となる。

教科書 吉原令子、他『Writing Gear』金星堂 価格：1,800円(税別) ISBN978-7647-3879-9 C1082

履修コード	237501
科目名	英語IA
担当者名	岩屋 玉江

講義のねらい 入学時の英語の基礎知識を確認しながら英語の運用能力の向上を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 身近な事柄や社会問題を扱ったテキストを中心に進めていきます。(1) ガイダンス (2～14) 主語の選択、名詞、代名詞、動詞など、(16～29) 態、不定詞、接続詞、仮定法など、(15と30) 前期・後期試験

履修上の留意点 授業は発表形式でおこなうので予習をして臨んで下さい。辞書は毎回持参して下さい。

成績評価の方法 前期・後期試験、小テスト、出席状況(全授業回数の3分の2以上)、授業態度を総合して評価します。

教科書 Writing Updates 金星堂 ¥1800. - ISBN78-4-7647-3859-1

履修コード	237601
科目名	英語IA
担当者名	吉沢 栄治郎

講義のねらい 比較的みじかい和文を英訳してゆきます。できるだけ英訳する練習を積み重ねてゆくことが肝心です。次第次第に英訳化するコツのようなものが体得できるとおもいます。

講義の内容・授業スケジュール テキストを格別使用する訳でもありませんが、要は復習を念入りにおこなっていただきたいと思えます。一回の授業についておおよそ10題くらい日本語を英訳していきます。短時間のうちに充当された和文を英訳するには、辞書につくのが一番の近道です。要は根気よくやっていただくことしか方法はありません。なお、後期は「英文解釈」の基礎にも目を向けてゆきたいとは思いますが、とくに用意していただく必要はありません。但し、繰り返しになりますけれども、辞典を大いに使用していただきたいと思っております。

履修上の留意点 和英辞典を大いに活用して下さい。

成績評価の方法 ペーパーテストと出席状況、及び提出物を見て総合評価とします。

履修コード	237701
科目名	英語IA
担当者名	朝川 真紀 <small>あさかわ まき</small>

講義のねらい 文法・語法を再確認しながら、様々な種類の文を構築し、発信型のコミュニケーション能力を身につけていきます。

講義の内容・授業スケジュール 練習問題を解きながら基礎的な文法事項を確認し、前期は(1)オリエンテーション(2~14)不定詞・動名詞・分詞・接続詞・時制・態・仮定法・動詞・助動詞(15)前期試験、後期は(16~29)形容詞・副詞・比較・名詞・冠詞・代名詞・関係詞・前置詞に即した英語表現、またTOEIC形式のリスニング練習を行います。(30)後期試験

履修上の留意点 毎回予習をして下さい。辞書を必ず持ってきて下さい。

成績評価の方法 小テスト、平常点、前期後期試験によって総合的に評価します。

教科書 本多吉彦『大学生のための基本英文法とTOEIC(R)テスト必修単語』(金星堂)1900円 ISBN978-4-7647-3856-0

履修コード	237801
科目名	英語IA
担当者名	岡本 誠 <small>おかもと まこと</small>

講義のねらい Writing and Speaking を主眼とするが、読解力も平行して見直していきたい。

講義の内容・授業スケジュール 以下のような実在の企業の実績の紹介をまず読み、次に内容確認をリスニング養成も含めた問題で行っていく。

- 1.KIRIN: A Taste of Success
- 2.EDWIN: JEANS 'Made in Japan'
- 3.NPC: Starting from Worse than Scratch
- 4.KOBAYASHI Pharmaceutical: The Name of the Game
- 5.ITOCHU: Trading In One's Old Line
- 6.KAMEDA SEIKA: Life's Little Pleasures
- 7.URAWA RED DIAMONDS: Sharing the Passion
- 8.TERUMO: Caring about Your Health
- 9.DAISEKI: Re-thinking "NIMBY"
- 10.KIKKOMAN: Soy Sauce Forever
- 11.SHOEI: Keeping Ahead
- 12.YAMAHA: The Sound of Music Everywhere

履修上の留意点 予習してくることは必須。その前提で進める。語学の養成はこれにつける。

成績評価の方法 前期・後期の試験。発表あるいはプレゼンテーションの力。出席・遅刻状況。その他の受講態度。

教科書 Moving ahead in the 21st Century: 12 Forward-looking Companies 躍進する企業一時代を見抜くビジネスの先鋒 (松柏社)

履修コード	237901
科目名	英語IA
担当者名	相馬 美明 <small>そうま よしあき</small>

講義のねらい 入学時の英語を基礎として、様々な英語の運用能力(発話・読解・聴解)を身につける。プリントを用いた文法問題、及び教科書による読解問題を通じ、精読・多読の両面から英語の基本的な運用能力を身につける。また、様々な検定対策にも対応すべく、TOEFLのリスニング・セクションの問題などにも触れ、聴解力を高めてゆく。

講義の内容・授業スケジュール 前期一・教科書 Lesson1 ~6
 ・リスニング Exercise1 ~11
 後期一・教科書 Lesson7 ~9,13・14
 ・リスニング Exercise12 ~20
 ・プリント文法問題 P.1~8

成績評価の方法 出席については、基本的に全出席を期待し、前期・後期に行う定期試験、および授業で課すレポート、また授業態度などを総合的に評価する。

教科書 ・ Hiroko Nishida, William Gudykunst 『American Communication Patterns』金星堂
 ・ Masahiro Oikawa, Elizabeth Johnson, Peter Gobel 『10-Minute TOEFL Listening Exercises』桐原書店

履修コード	237911
科目名	英語IA
担当者名	安齋 薫 <small>あんさい かおる</small>

講義のねらい 日常基本表現・会話に多く触れることで英語による意思伝達能力『書く力』と『話す力』の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 Introduction
- 第2.3回 Asking for Repetition
- 第4.5回 Natural Responses
- 第6.7回 Thanks and Apologies
- 第8.9回 Greetings and Farewells
- 第10.11回 Meeting People on the Campus
- 第12.13回 Making Appointments
- 第14.15回 Requests and Permission
- 第16.17回 Suggestions and Advice
- 第18.19回 Intentions and Wishes
- 第20.21回 Techniques for Carrying
- 第22.23回 College Life
- 第24.25回 Physical Appearance
- 第26.27回 Friends and Dating
- 第28.29.30回 Health and Sports

履修上の留意点 予習をしてください
 成績評価の方法 出席状況（3分の2以上の出席が原則）、前後期試験、レポートで評価する。
 教科書 The Road From Writing to Speaking 成美堂 ￥1600 ISBN4-7919-5026-7

履修コード	237921
科目名	英語IA
担当者名	小布施 圭佐三 <small>おほせ けいさく</small>

講義のねらい 既習の語彙、構文を活用しながら、基本的な口語表現を習得します。最終目標はパラグラフ構成から自由英作文が書けるようにすることにあります。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス（授業を展開する上で）
2. 主語の選択
3. 名詞（1）
4. 名詞（2）
5. 名詞（3）
6. 代名詞
7. 冠詞（1）
8. 冠詞（2）
9. Pretest
10. 形容詞（1）
11. 形容詞（2）
12. 副詞（1）
13. 副詞（2）
14. 副詞（3）
15. 中間テスト
16. 比較（1）
17. 比較（2）
18. 動詞（1）
19. 動詞（2）
20. 動詞（3）
21. 時制
22. 態
23. 動名詞
24. Pretest
25. 不定詞
26. 接続詞
27. 前置詞
28. 関係詞
29. 仮定法
30. 期末テスト

履修上の留意点 進度は各課90分で消化。授業は演習方式で行います。予習をしてきてください。毎時間、英語の辞書を持参してください。

成績評価の方法 出席（30点）／レポート・授業の貢献度（20点）／小テスト・中・期末テスト（50点）などを加味して総合評価します。

教科書 木塚晴夫／R.Northridge：Writing Updates（金星堂）1，800円
 ISBN978-4-7647-3859-1 C1082

履修コード	237931
科目名	英語IA
担当者名	松堂 啓子

講義のねらい 基本的な文法を確認しながら、語彙、表現力を固め、短い英文を書けるようにする。

- 講義の内容・
授業スケジュール
- 1 ガイダンス
 - 2 Amber
 - 3 Amber
 - 4 Material World
 - 5 Material World
 - 6 Symbol
 - 7 Symbol
 - 8 The Maori
 - 9 The Maori
 - 10 Manatees
 - 11 Manatees
 - 12 Followers of Fashion
 - 13 Followers of Fashion
 - 14 前期試験
 - 15 Food
 - 16 Food
 - 17 Water
 - 18 Water
 - 19 The Marsh Arabs
 - 20 The Marsh Arabs
 - 21 Stepping Out
 - 22 Stepping Out
 - 23 Medicine
 - 24 後期試験

履修上の留意点 単位取得には三分の二以上の出席が必要である。
成績評価の方法 試験の結果（8割）、平常点（2割）。
教科書 BBC Short Clips on DVD、成美堂、¥2300、ISBN4-7919-1038-9

履修コード	237941
科目名	英語IA
担当者名	甲斐 捷子

講義のねらい アメリカ社会の様々な職種の人々へのインタビューを通して、臨場感あふれる生きた英語を学び、英語の運用能力を高めることがこの授業の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール インタビューの内容は、まず、教員がビデオを一時停止させながら日本語で話し、概要が理解できたところで、語句の解釈、英問英答、スキット等を通して学んだ内容を定着させます。テキスト全15課の内、7課を前期に、残り後半8課を後期に学びます。

履修上の留意点 小テストがありますから、まず、休まないことです。
成績評価の方法 一応の目安として、平常評価としての出席10%、小テスト30%、中間・定期試験30%とします。
教科書 American Society Uo-to-Date Itsuki Yasuyoshi 著 鶴見書店 ¥1,575 ISBN:4-7553-0307-9
参考書等 特になし。
その他 特になし。

履修コード	240231
科目名	英語ⅠA〔基礎英語特別クラス〕
担当者名	<small>おかもと まこと</small> 岡本 誠

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

Writing and Speaking を主眼とするが、読解力も平行して見直していきたい。
下記に示したテキストを用意すること。テキストは日米両国の懸け橋になった以下のような人物をとりあげている。これらの人物の業績を読み、まず知識を深めてほしい。内容を確認したところで、設問に答えることになる。設問はリスニングの形式もある。また、作文、つまり英語での表現力をも試すようになっている。

1. Douglas MacArthur
2. Edwin O. Reischauer
3. William Smith Clark
4. Matthew Calbraith Perry
5. Elvis Presley
6. Yukichi Fukuzawa
7. Donald Keene
8. Hayao Miyazaki
9. Momofuku Ando
10. Umeko Tsuda
11. Steve Jobs
12. Haruki Murakami
13. Soichiro Honda
14. Clarence Saunders
15. The McDonald Brothers and Ray Kroc
16. Shigeru Yoshida
17. John Manjiro
18. Hideo Nomo
19. Kyu Sakamoto
20. William Adams (Miura Anjin)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

予習してくることは必須。その前提で進める。語学力の養成はこれにつきる。
前期・後期の試験。発表あるいはプレゼンテーションの力。出席・遅刻状況。その他の受講態度。
Across the Pacific Ocean 『日米の懸け橋になった人々』、成美堂出版

履修コード	243201・244631
科目名	英語ⅠB
担当者名	<small>いらぶら ちよこ</small> 伊良部 祥子

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール
成績評価の方法
教科書

The Japan Times や The New York Times 等に掲載された政治、経済、科学、文化など様々な分野の英文記事を読み、内容の大意を読み取る力を養います。

15Unit の英文記事がありますが、大体、2回の授業で 1Unit を終えます。

前期・後期試験、課題提出、授業時の発表、出席で総合評価します。
高橋優身+伊藤典子+リチャード・パウエル編著、『1/2版：ニュースメディアの英語一演習と解説2009年度版』朝日出版社、¥1600

履修コード	243301
科目名	英語IB
担当者名	塚本 利男

講義のねらい 絶えず構文、文法、語彙などの知識の増強を図りながら、できるだけ多くの英文を速く、正確に読む基礎を習得することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール 基本的な語彙1500語レベルの記事を読み、その内容を把握したかどうか確認するために練習問題を解きます。毎回、授業の総仕上げとしてテキストの問題を提出してもらいます。

1部として健康に関して1章精神(2~4)、2章身体(5~7)、3章治療法(8~10)、新しい解決法(11~14)、2部として環境に関して5章自然現象(16~19)、6章自然の恵み(20~24)、7章新しい科学技術(25~29)を読む。授業の概要を説明(1)する。前期・後期のテストを実施する(15と30)。

履修上の留意点 授業の予習をすること。辞書を持ってくること。

成績評価の方法 授業における発表、テキストの練習問題の成績、前・後期の試験に基づく。

教科書 Shawn M. Clankie・小林敏彦

『かけがえのない健康と環境』

(株)成美堂 1,900円+税

ISBN 978-4-7919-4624-2

履修コード	243401・243801
科目名	英語IB
担当者名	三芳 康義

講義のねらい TOEICやTOEFLのような学外の学力試験を念頭に置いた授業になります。今日のグローバルな社会においては、こうした英語の総合的な運用能力は必須条件になっているため、とくに会話文などを中心とした総合的な英文を読み、繰り返し発音することで英語の語感を鋭敏にし、実用英語の演習を行います。

講義の内容・授業スケジュール 前期はアメリカン・アクセントをプリントを使って口頭練習の基礎をを行い、それに並行して、テキストの基礎的な会話英文をしっかりと読み、語法・発音・イントネーションをじっくり身につける。さらに、徐々に後期に向けて多読を併用していく。

履修上の留意点 授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。

成績評価の方法 授業中の口頭発表、出席率、小テスト(4回から6回)などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教科書 David E.James著, Hello Again! Cultural Exchange and Everyday Life 1995円 ISBN9784902902785
5センチゲージ ラーニング

履修コード	243701
科目名	英語IB
担当者名	濱口 真木

講義のねらい 英語の読解力と表現力の一層の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 現代人の常識とも言うべきテーマを追いながら、多面的な英語学習ができるようにテキストを読みすすめる。Welcome to My Bower ~ Danger-detecting Animals (1~10)、Denizens of Antarctica ~ Moon Rocks (11~30)。

成績評価の方法 出席や発表などの平常評価(50%)、前期・後期試験(50%)の総合評価。

教科書 Science Square (成美堂) 1800円

ISBN978-4-7919-1083-0

履修コード	243901
科目名	英語I B
担当者名	樋渡 俊光 <small>ひわた しのこう</small>

講義のねらい 国際人としての英語力を身につける為に高度な構文の理解と習得をはかり、副教材を通して基礎的な Business English の習得をはかる。

講義の内容・授業スケジュール 大学生として興味ある英文内容を通して上記目標の達成をはかる。留学の仕方・ビザ等に関して (1-6) アメリカ人の特色・他 (7-12) 女性管理職・他 (13-18) Culture Shock ・他 (19-24) アメリカ留学生活・他 (25-30)

履修上の留意点 副教材： Business English, Japan Times 等を授業内に取り入れる。

成績評価の方法 教材の予習、辞書持参

教科書 年 2 回の学期試験、予習具合、出席状況にて評価

Clayton Naff ・他
A Shorter Course in Reading
南雲堂 900円
044540 B-161

履修コード	244001
科目名	英語I B
担当者名	濱口 真木 <small>はまぐち まさき</small>

講義のねらい 英語の読解力と表現力の一層の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 環境問題や文化、ビジネス等をテーマとしてテキストを読みすすめる。Hibari Misora ~ Rice (1~10)、Ecocircle ~ Anti-cancer Diet (11~14)、Postal System Privatization ~ Bioethanol (15~24)、TV Viewer Ratings ~ Pachinko (25~30)。

成績評価の方法 出席や発表などの平常評価 (50%)、前期・後期試験 (50%) の総合評価。

教科書 ECO-INNOVATION AND PROSPERITY (南雲堂) 1900円 ISBN978-4-523-17598-8

履修コード	244101
科目名	英語I B
担当者名	石原 孝哉 <small>いしはら こうさい</small>

講義のねらい 平易な英文を多く読みこなすことによって、英語の基礎的な読解力の向上を目指します。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、教科書にしたがって英語の基礎力を向上させ、後期は多くの文章を読みこなすことによって、内容把握、要点理解といった読解力のアップを目指します。

履修上の留意点 必ず予習して授業に出てください。小テスト、レポート提出などがありますので日ごろの努力が要求されます。DVD付の教材ですので、コンピュータが来ると便利です。

成績評価の方法 前・後期末試験、レポート、プレゼンテーションなどを総合的に評価します。

教科書 Horrible Histories ENGLAND 南雲堂 2100円

履修コード	244201
科目名	英語I B
担当者名	伊良部 祥子 <small>いら部 けいこ</small>

講義のねらい 同世代のアメリカの大学生が書いたエッセイを読み、speed reading と paragraph reading の基礎を身につけます。同時にアメリカの文化を理解します。

講義の内容・授業スケジュール 15Unit の英文記事がありますが、大体、2回の授業で 1Unit を終えます。

成績評価の方法 前期・後期試験、課題提出、授業時の発表、出席等で総合評価します。

教科書 喜納育江+小林正臣+山城新+マーフィー編著、『American Students Write about College Life 応答力をつけるリーディング』、英宝社、¥1900

履修コード	244301
科目名	英語IB
担当者名	杉村 初枝

講義のねらい 身近なニュースを集めたテキストを使用し、難解な文章でも正確に読みこなすための、文法、構文、語彙に留意した読解練習と、映像を見ながら大意を把握する練習を行います。

講義の内容・授業スケジュール 授業は発表形式で進めます。読解の発表者は予めレポートを準備し、授業終了後に提出するものとします（年間5回程度）。授業最後には毎回、内容確認と出席確認のための小テストを行います。

履修上の留意点 予習の段階でわからない個所を曖昧にせず、各自が徹底的に調べる習慣を心がけてください。英和辞典は中辞典以上のものを用意することをお勧めします。

成績評価の方法 授業中の発表、レポート、小テスト、試験（年3～4回）の成績に基づき、総合的に評価します。ただし、出席回数が全授業回数の3分の2に満たない場合は、成績評価の対象になりません。評価の詳しい配分については、開講時に配布するマニュアルに掲載します。

教科書 金森 強・Braven Smillie 編『ニューヨーク街物語』（金星堂、2300円）ISBN978-4-7647-3871-3

履修コード	244401
科目名	英語IB
担当者名	樋渡 俊光

講義のねらい 国際人育成の為、国際人としての英語力を身につける為に高度な英語構文の理解とその習得をはかる。又副教材を通して基礎的な Business English の習得をはかる。

講義の内容・授業スケジュール 国際社会のさまざまな新事情を学ぶ内容とする。
America の School ID Tags ・他（1-6）Hackers ・他（7-12）イギリスの話題 ・他（13-18）認知症の問題 ・他（19-24）南アフリカ問題 ・他（25-30）
副教材：Business English, Japan Times 等を授業内に取り入れる。

履修上の留意点 教材の予習、辞書持参

成績評価の方法 年2回の学期試験、予習具合、出席状況にて評価

教科書 Richard Best
The World at a Glance
南雲堂 1500円+税
ISBN4-523-17525-X C0082

履修コード	244501・244611
科目名	英語IB
担当者名	川崎 浩太郎

講義のねらい 入学時の英語力を基礎として、英語を理解する能力の向上を目的とします。リーディングに関しては、様々な日本企業を紹介した比較的平易な英文を、大意の把握に努めつつ、より速く正確に読む訓練を行っていきます。リスニングに関しては、TOEICのリスニング問題を毎時間行う予定です。

講義の内容・授業スケジュール (1)オリエンテーション (2~15) Chapter 1~6 (15~29) Chapter 7~12 (30)テスト

履修上の留意点 毎時間必ず辞書を持ってくること。

成績評価の方法 出席、発表50%、レポート及び小テスト50%の割合で評価する。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書 Brenda Hayashi 他『Moving ahead in the 21st Century:12Forward-looking Companies 躍進する企業-時代を見抜くビジネスの先鋒』松柏社 ¥2000(税別) ISBN978-4-88198-616-5

履修コード	244601
科目名	英語IB
担当者名	濱口 真木

講義のねらい 文法・構文を重点的にチェックしつつ、テキストの内容を正確に読みとる能力の向上をはかる。

講義の内容・授業スケジュール 現代人の常識とも言うべきテーマを追いながら、多面的な英語学習ができるようにテキストを読みすすめる。Welcome to My Bower ~ Danger-detecting Animals (1~10)、Denizens of Antarctica ~ Moon Rocks (11~30)。

成績評価の方法 出席や発表などの平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）の総合評価。

教科書 Science Square (成美堂) 1800円 ISBN978-4-7919-1083-0

履修コード	244621
科目名	英語IB
担当者名	樋渡 俊光

講義のねらい 高度な英語力を有する国際人育成の為、高度な英語構文の理解とその習得をはかる。又授業を通して基礎的な Business English の力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール 色々な分野の話題を通して英語に興味をもつ内容とする。
アメリカ高校生のパーティーに関する話題・他（1～6）Blood Transfusion ・他（7-12）歴史に関する話題・他（13-18）世界銀行・他（19-24）スポーツ・他（25-30）
副教材： Business English, Japan Times 等を授業内に取り入れる。

履修上の留意点 教材の予習、辞書持参

成績評価の方法 年2回の学期試験、小テスト、予習具合、出席状況にて評価

教科書 Makoto Shishido 他1名
Reading Expert 1
成美堂 1800+税
ISBN978-4-7919-1084-7

履修コード	244641
科目名	英語IB
担当者名	杉村 初枝

講義のねらい 身近なニュースを集めたテキストを使用し、難解な文章でも正確に読みこなすための、文法、構文、語彙に留意した読解練習と、映像を見ながら大意を把握する練習を行います。

講義の内容・授業スケジュール 授業は発表形式で進めます。読解の発表者は予めレポートを準備し、授業終了後に提出するものとします（年間5回程度）。授業最後には毎回、内容確認と出席確認のための小テストを行います。

履修上の留意点 予習の段階でわからない箇所を曖昧にせず、各自が徹底的に調べる習慣を心がけてください。英和辞典は中辞典以上のものを用意することをお勧めします。

成績評価の方法 授業中の発表、レポート、小テスト、試験（年3～4回）の成績に基づき、総合的に評価します。ただし、出席回数が全授業回数の3分の2に満たない場合は、成績評価の対象になりません。評価の詳しい配分については、開講時に配布するマニュアルに掲載します。

教科書 John S Lander 編 『ビデオが語る世界のトピック』（朝日出版社、1800円）ISBN4-255-15398-1

履修コード	246921
科目名	英語IB〔基礎英語特別クラス〕
担当者名	石原 孝哉

講義のねらい やさしい英文を読みながら、英語の基礎力を養います。

講義の内容・授業スケジュール 前期は教科書にそって基礎力を養い、後期は付属のDVDを利用して多読、速読の訓練をします。

履修上の留意点 出席を重視するほか、レポート提出、プレゼンテーションなどもあります。

成績評価の方法 中間、期末試験のほか、小テスト、レポートなどを総合的に評価します。

教科書 Horrible Histories ENGLAND 南雲堂 2100円

履修コード	250801
科目名	英語IIA
担当者名	井伊 順彦

講義のねらい 多様な問題を扱ったテキストを用いて、おもに英語を「聞く」力と「書く」力を伸ばす。「話す」機会も多少は設けたい。

講義の内容・授業スケジュール 毎回かなりの時間がテープを聞いて問題に答える（口答もしくは筆記で）ことに費やされる。ときおりビデオを観て、英米の社会状況について学びたい（英語の聞き取り練習にもなる）。

履修上の留意点 毎回おそらく全体の半数ほどの学生が指名され、なんらかのかたちで問題に答えることになる。積極的な姿勢が求められる。

成績評価の方法 数回の小テストの成績、質疑応答の出来、出席数などを柱とするが、詳細は教室で。

教科書 『リスニングで学ぶ現代の社会事情』成美堂 2,000円（税別）

参考書等 おりにふれて教室で指示する。

履修コード	250901
科目名	英語IIA
担当者名	鈴木 美貴子

講義のねらい 色んな場面の会話表現を学びながら英作文力をつける。
 講義の内容・ テキストに従って学ぶ。随時こちらで用意したリスニング教材でも会話表現を学ぶ。随時エッセイ
 授業スケジュール を提出して頂く。
 前期スケジュール：1回目オリエンテーション、2～4回目 Unit 1～2、5～7回目 Unit 3～
 4、8～10回目 Unit 5～6、11～13回目 Unit 7～8、14回目エッセイの書き方、15回目試験
 後期スケジュール：16回目オリエンテーション、17～19回目 Unit 9～10、20～22回目 Unit 11～
 12、23～25回目 Unit 13～14、26～28回目 Unit 15～16、29回目エッセイの書き方、30回目試験

履修上の留意点 必ず辞書（英和・和英）を持参する。
 成績評価の方法 出席状況（出欠席・授業への姿勢）、前・後期試験、提出物により総合的に評価する。
 教科書 「日常会話の英作文 Lively Writing」(南雲堂、1800円)
 ISBN4-523-17388-5 C0082

履修コード	251001
科目名	英語IIA
担当者名	竹村 恵都子

講義のねらい 主として Speaking や Writing の英語運用能力を高めることを目標とします。
 講義の内容・ テキストを中心に、テープを使用しながら演習形式で授業を進めます。
 授業スケジュール 前期予定—オリエンテーション+ Chapter 1～10 +テスト
 後期予定—テスト結果発表+ Chapter 11～20 +テスト

履修上の留意点 欠席・遅刻をせず、予習を含めて積極的に授業に取り組むこと。
 成績評価の方法 前期・後期の試験を主とし、授業時の発表及び出席率などを考慮して総合的に評価します。
 教科書 未定

履修コード	251101
科目名	英語IIA
担当者名	丸小 哲雄

講義のねらい 読みと表現の総合英語。経済と社会現象の捉え方とその分析力に力点を置き、語彙を増やし、英語
 のヴァリエーションやパラグラフの捉え方・英文作成の仕方に留意し、速読の要領も捉えるように
 目指します。

講義の内容・ ウォーミングアップとしてリスニング・タイム（授業の始めに毎回10分間程度）とし、文法と文
 授業スケジュール 構造の作成の仕方に留意し、語彙を増やし着実なライティング力も養成していきます。

第1回～第2回 Multimedia Revolution
 第3回～第4回 New Information Networks
 第5回～第6回 The Changing Role of Japanese Trading Companies
 第7回～第8回 Price Destruction
 第9回～第10回 Untangling Japan's Distribution System
 第11回～第12回 Credit Cards and Smarts — A New Era
 第13回～第14回 How the Foreign Exchange Market Works
 第15回～第16回 APEC Takes Off
 第17回～第18回 The Role of the World Trade Organization
 第19回～第20回 Department Stores and Supermarkets
 第21回～第22回 Discount Stores
 第23回～第24回 Catalog Shopping
 第25回～第26回 Catalog Shopping
 第27回～第28回 Weather Forecasting and Its Links to the Economy
 第29回～第30回 Tourism

履修上の留意点 質問や発表は評価の対象となりますので、予習・復習がこのクラスの前条件です。
 成績評価の方法 出席率、平常テスト、レポート作成課題（開講時に指示）、前期・後期の試験などの総合評価。ク
 ラスでの発表者には別途評価します。

教科書 ・ Listening Time TOEIC TEST LISTENING 550 南雲堂 ISBN198-4-523-17590-2
 ・ Reading Time: Let's Enjoy Economics 南雲堂 ISBN4-523-17289-7

参考書等 参考資料等を随時指示し、日常英語のプリントや時事英語ニュースのコピーも配布します。

履修コード	251201
科目名	英語IIA
担当者名	岸本 茂和

講義のねらい Back-to-Basics! —基本に帰ること—をこのクラスの最大の標語としたい。英語学習の Basics である「5文型」の徹底的理解をめざす。

講義の内容・授業スケジュール (1)基本的な2時週で1章(全12章)読了することを目標とする。計24週。(2)《遊び時間》として前期と後期にそれぞれ「英語固有名詞」および「英語慣用句」について学習する。計2週。プリントを配布。(3)前期・後期試験が各1週で計2週。合計年間28週。

履修上の留意点 予習は必須。出欠はかならずとる。3分の1以上欠席は不可。授業には英和辞書をかみならず携行のこと。電子辞書も可。電子辞書をあらたに購入する用意のある受講生は「英和大辞典」が入っているものを選ぶこと。

成績評価の方法 前期・後期試験の結果および出席状況等をかみがみ評価する。

教科書 『総合英語学習コースブック中級』 松柏社 定価1,900円(本体)

履修コード	251301
科目名	英語IIA
担当者名	三幣 友行

講義のねらい 英語IAで学んだことを基礎として、英語表現能力のさらなる向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 予習を前提として授業をすすめる。

第1回 lesson 1
 第2回 lesson 1 Exercise
 第3回 lesson 2
 第4回 lesson 2 Exercise
 第5回 lesson 3
 第6回 lesson 3 Exercise
 第7回 lesson 4
 第8回 lesson 4 Exercise
 第9回 lesson 5
 第10回 lesson 5 Exercise
 第11回 lesson 6
 第12回 lesson 6 Exercise
 第13回 lesson 7
 第14回 lesson 7 Exercise
 第15回 lesson 8
 第16回 lesson 8 Exercise
 第17回 lesson 9
 第18回 lesson 9 Exercise
 第19回 lesson 10
 第20回 lesson 10 Exercise
 第21回 lesson 11
 第22回 lesson 11 Exercise
 第23回 lesson 12
 第24回 lesson 12 Exercise
 第25回 lesson 13
 第26回 lesson 13 Exercise
 第27回 lesson 14
 第28回 lesson 14 Exercise
 第29回 lesson 15
 第30回 lesson 15 Exercise

履修上の留意点 欠席数が全体の1/3を超えたら単位は認めない。

成績評価の方法 前期テスト、後期テスト、小テスト、出席点、平常点を総合的に評価する。

教科書 未定。開講時に指示する。

その他 授業への積極的な参加を望む。

履修コード	251401
科目名	英語IIA
担当者名	林 明人

講義のねらい 英語の発想に基づいた英文が書けるようになることを目指します。なるべく多く試験を実施するつもりである。

講義の内容・授業スケジュール	1 ユニット1	16 ユニット5
	2 ユニット1	17 ユニット6
	3 ユニット1	18 ユニット6
	4 ユニット2	19 ユニット6 (小テスト)
	5 ユニット2	20 ユニット7
	6 ユニット2	21 ユニット7
	7 ユニット3	22 ユニット7
	8 ユニット3	23 ユニット8
	9 ユニット3 (小テスト)	24 ユニット8
	10 ユニット4	25 ユニット8
	11 ユニット4	26 ユニット9
	12 ユニット4	27 ユニット9
	13 ユニット5	28 ユニット9 (小テスト)
	14 ユニット5	29 ユニット10
	15 前期試験	30 後期試験

履修上の留意点 遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の退席は認めない。
成績評価の方法 ①試験(40%)②小テスト(30%)③出席(30%)で総合評価するが、①~②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合には評価の対象にしない。

教科書 4月の最初の授業で指定します。

履修コード	251411・251961
科目名	英語IIA
担当者名	埴 美智子

講義のねらい より高度な英語の運用能力を身につけることを目標とする。自分の考えを表現するために必要な英語力を読みを通して文章表現や会話表現へとステップアップする。

講義の内容・授業スケジュール テキストを中心に行い、英語力を高めるために様々な話題や出来事について関心を抱きそれらに対する意見を英語で表現するテクニックを取得しようとする心構えを持つ。

履修上の留意点 出席は大切ですので重視します。語学の特質として持続の心構えが大切ですので宿題や課題提出を求めることがあります。

成績評価の方法 出席重視。レポート提出、小テスト、授業態度、前期、後期試験の総合評価で示します。

教科書 'What Should We Think About?' - Reading & Writing
「表現力を磨くためのリーディング&英作文」 松柏社 ¥1900

参考書等 その都度、黒板に板書します。
その他の 欠席はなるべく避けて下さい。

履修コード	251601
科目名	英語IIA
担当者名	足田 和人

講義のねらい 英語の文法と思考方法を学び、運用能力を高める。また可能な場合、コンピュータを使用し、実践的な英文作成を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール 1 イントロ(1) 2 英文の構成法(2~12) 3 前期のまとめ(13~14) 4 前期試験(15)
5 長文英語の構成法(16~27) 6 後期のまとめ(28~29) 7 後期試験(30)

履修上の留意点 出席しているだけでは評価されない。積極的な授業態度が求められる。
成績評価の方法 出席態度及び毎回授業中に課する小レポート、2回の学期末試験、その他の課題を総合的に判断し成績評価を行う。

教科書 What's Up? 2009-10 Intermediate、および付属の確認問題集(桐原書店)

履修コード	251701
科目名	英語IIA
担当者名	伊勢村 定雄

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

アメリカ生活の常識と疑問に対する答えを通して、現代英語表現とアメリカ文化を学ぶ。アメリカ人には常識であるがゆえにわざわざ語れない情報と問題点を、長文とコラム、2つの会話を通して学ぶが、そのやり方は以下のとおり。
テキストは12課で、各課に本文、設問、長いダイアログ、コラム、短いダイアログがついている。テキストどおりに進めるので、1課について3～4時限ですすむ。最後はダイアログのテストで終わる。
4月-1課、5月-2～3課、6月-4～5課、7月-6課、10月-7～8課、11月-9～10課、12月-11課

履修上の留意点
成績評価の方法

辞書は持参。予習は不可欠！
ダイアログテスト（7割）＋出席率（1.5割）＋他のテスト（1.5割）＝100
なお、オーラルのクラスなので積極的に参加してくれるものを高く評価する。

教科書
参考書等
その他

『アメリカ生活の常識と疑問』、伊勢村定雄著、英光社、2010年：1700円
なし
なし

履修コード	251801
科目名	英語IIA
担当者名	西田 義和

講義のねらい

英語学習の基本的な方法は、英文の内容を正しく読み、理解することである。それに加えて英文がある程度の速度で読めるようになることも大切なことである。この授業ではこのようなことを踏まえて、総合英語的な教材を選び、英文和訳、和文英訳等を行うことにより、さらなる英語力の向上を目指すつもりである。

講義の内容・
授業スケジュール

前期・後期を通じて可能な限り、多くの学生にやってもらいたいと思っている。学生諸君は毎時間必ず訳読なり質問なりの指名があると思ってください。
第1回と2回は文の攻略法について
第3回と4回は動詞の構文攻略法について
第5回と6回は時制の構文攻略法について
第7回と8回は仮定法の構文の攻略法について
第9回と10回は態の構文攻略法について
第11回と12回は不定詞の構文の攻略法について
第13回は14回は動名詞の構文の攻略法について
第15回は中間試験
第16回と17回は分詞、分詞構文の攻略法について
第18回と19回は助動詞の構文攻略法について
第20回と21回は名詞の構文攻略法について
第22回と23回は冠詞の構文攻略法について
第24回と25回は代名詞の構文攻略法について
第26回と27回は形容詞の構文攻略法について
第28回と29回は総復習
第30回は期末試験

履修上の留意点
成績評価の方法

*その他時間があったらテープを聞いたりして、listening 力を身につけるようにしたい。
予習や復習は必ずして、授業には積極的に参加してください。また、辞書は必ず持参してください。出席状況、授業態度、発表の内容、テスト等を総合して評価を行う。なお、単位取得は三分の二以上の出席を前提とする。

教科書

現在ではまだ未定ですので、四月の開講時に指示する。

履修コード	251901
科目名	英語IIA
担当者名	渡部 孝治

講義のねらい 1年生のときの学習を基にして、英語運用能力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール リーディングは（直読直解）、リスニングは（速聴速解）、いわゆる同時通訳方式で行なう。同時に英語表現にも力を入れたい。

前期（15回程度） 前半（7回）は基礎的な文章表現を利用して行なう。後半は前半を基にして、応用表現を学ぶ。

後期（15回程度） 前半（7回）は、前期の文章表現よりもやや難解な文章を使用して授業を進める。後半（7回）は、前半の学習を基にして、応用表現を学ぶ。

履修上の留意点 授業中できるだけ多くの人を当てていきます。予習は予め全員がやってくること。

成績評価の方法 3分の2以上の出席と前期・後期の2回のテストの成績、授業の参加度合で成績を評価します。

教科書 最初の授業時に指示します。

参考書等 授業時に指示します。

履修コード	251911
科目名	英語IIA
担当者名	塚本 利男

講義のねらい より高度な英語の運用能力を身につけます。そのために、絶えず文法・構文、語彙などの知識の増強を図りながら、社会問題や環境問題などについて自分の意見が書けるようになることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール パラグラフの書き方として、「列挙」、「原因と結果」、「比較」など（2～14）、さらに「定義」、「意見」、「類推」など（16～25）の展開方法を学び、最後に、パラグラフから発展してエッセイの書き方（26～29）を学ぶ。授業の概要の説明（1）をする。前・後期のテスト（15と30）を実施する。授業の総仕上げとして毎回授業の最後に小論文（約30分）を書き提出してもらいます。

履修上の留意点 授業の予習をすること。辞書を持ってくること。

成績評価の方法 授業における発表、毎回提出する小論文、前・後期の試験に基づく。

教科書 山村三郎・兼頭満里子他 『大学生の英語ライティング—センテンスからパラグラフへ』（株）金星堂 1,900円＋税 ISBN978-4-7647-3835-5

履修コード	251951
科目名	英語IIA
担当者名	芝田 興太郎

講義のねらい 様々なテーマについて平易な英文をのびのびと書きながら、基本的な語彙、語法、文法を復習してゆく。

講義の内容・授業スケジュール a) 教科書単元ごとの内容理解とドリル、随時復習。進度は目安として授業ごとに一課。

履修上の留意点 b) 指示したトピックについて自由作文作成と発表。

成績評価の方法 予習を必ず。辞書必携。日本人らしい礼儀をわきまえること。

教科書 エッセイ、毎回の小テスト、出席率、積極性等を総合的に評価。

参考書等 登美博之他著 『日常英語ライティング入門』 成美堂 1800円

履修コード	251971
科目名	英語IIA
担当者名	にしむら ゆうこ 西村 祐子

講義のねらい 英語で聞く、読むを中心に訓練し、TOEICスコアでクラス平均が450以上となることをめざす。
講義の内容・授業スケジュール 前期

- 1 コンピュータソフトの使い方
Listening, Reading セクション 1
- 2 Listening, Reading セクション 2
- 3 Listening, Reading セクション 3
- 4 Listening, Reading セクション 4
- 5 まとめと小テスト
- 6 Listening, Reading セクション 5
- 7 Listening, Reading セクション 6
- 8 Listening, Reading セクション 7
- 9 Listening, Reading セクション 8
- 10 まとめと小テスト
- 11 TOEIC形式模擬試験 1
- 12 まとめと解説
- 13 まとめと解説、夏休みの課題について

後期

- 1 夏休み課題試験
- 2 Listening, Reading セクション 9
- 3 Listening, Reading セクション 10
- 4 Listening, Reading セクション 11
- 5 Listening, Reading セクション 12
- 6 まとめとテスト
- 7 Listening, Reading セクション 13
- 8 Listening, Reading セクション 14
- 9 Listening, Reading セクション 15
- 10 まとめと小テスト
- 11 TOEIC形式模擬試験 2
- 12 まとめと解説
- 13 総まとめとテスト

履修上の留意点 全員コンピュータIDを取得しておくこと。

成績評価の方法

出席、平常点 : 30%
小テスト、課題提出 : 30%
模擬TOEICテスト : 40%

教科書

参考書等

その他の他

教場にあるPCソフト教材を使う。
教場で指示。
USBメモリー、簡易ヘッドセット（マイクつき）を用意しておくと家庭学習に便利。

履修コード	256301
科目名	英語IIB
担当者名	いけがみ かほこ 池上 賀英子

講義のねらい 英語IIBの学習の延長上において、英語への認識と、日本人としての自覚と大学生としての教養を、英語学習の座標軸として、英文の文意把握能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを演習中心に講義・質疑応答等を組み合わせて、体系的に進行させる。テープレコーダー、ビデオ（VHS,DVD）等を活用する。具体的な授業内容・スケジュールについては開講時に指示する。

履修上の留意点

授業は予習を第一義とすること。3分の2以上を出席し、発表・課題提出等演習を旨とする授業に、積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常における個人の努力と成長を重視しつつ、前後期の試験の結果を加えて、総合的に評価をする。

教科書

参考書等

未定
開講時に指示する。

履修コード	256401
科目名	英語II B
担当者名	市川 仁 <small>いちかわ ひとし</small>

講義のねらい より多くの量の英文を読めるようになることを目指します。
 講義の内容・授業スケジュール 学生の皆さんの発表を中心に授業を進めていきます。基本的にはテキストの各章をそれぞれ時間ごとに読み終わり、構文等の説明や小テストなどを適宜行なっていきます。
 履修上の留意点 必ず予習をして授業に出席してください。
 成績評価の方法 授業中の発表と前期・後期の試験を総合して評価します。原則として全授業回数の3分の2以上の出席を条件とします。
 教科書 石原孝哉他『英語で楽しむ秘録・イングランド史外伝』(南雲堂) 2,100円
 ISBN978-4-523-17578-0

履修コード	256501
科目名	英語II B
担当者名	太田 雅子 <small>おわた まさこ</small>

講義のねらい 英文を上から順に理解していく訓練を行なう。
 講義の内容・授業スケジュール 最初は精読、慣れてきたら速読の練習をする。原則1回の授業でテキストの1章進む。
 履修上の留意点 予習は必須。
 成績評価の方法 平常点と前期・後期試験
 教科書 未定

履修コード	256601
科目名	英語II B
担当者名	吉川 直澄 <small>きつかわ なおすみ</small>

講義のねらい 英語 I B を基礎として、大意の把握を心がけつつ、英文を正確に理解する技術を総復習する。
 講義の内容・授業スケジュール 映画『海辺の家』を観賞しながら、そのシナリオと評論を読む。前期15回で、テキストの Unit 7 まで学習し、前期試験を行ない。後期15回で、Unit 13 (最終章) まで学習し、後期試験を行なう。
 履修上の留意点 英語は演習科目に相当する。出席は、原則として、3分の2以上必要であり、授業内課題(宿題、小テスト等)は重視される。
 成績評価の方法 出席、課題、前期後期試験を総合的に検討して評価する。
 教科書 相本資子『海辺の家』、英宝社、1,900円、ISBN978-4-269-09005-7。
 参考書等 Elizabeth Bronfen, Home in Hollywood: Film and Culture, Columbia University Press, 2004. (ただし、購入の必要はない。)

履修コード	256701
科目名	英語II B
担当者名	植村 恵子 <small>うゑむら けいこ</small>

講義のねらい 新聞・放送の英語ニュースの基本用語と語学的特質を知った上で、政治・経済・外交・軍事・環境保護からスポーツに至るまで多方面の英語ニュースを読んでいきたい。これにより新聞英語ニュースや放送英語ニュースの内容が理解できるようになることを最終目標としたい。(そのためにも今、日本や世界で何が起きているのか、新聞・ニュースをよく読み、聞いて欲しい。)
 講義の内容・授業スケジュール 使用するテキストは各課6ページから成り、まずは関連記事頻出用語を学び、次に2ページに渡る News を読んで内容を把握し、そして Exercises1 の問題を解きながら読み、最後に Exercises2 でディクテーション(聞いて書き取る)を行なう、という作業を前期・後期を通じて進めていきたい。
 履修上の留意点 授業には必ず予習をして臨み、テキストを忘れた場合はコピーを準備しておくこと。
 成績評価の方法 出席状況(実授業回数の少なくとも2/3以上の出席が原則)、平常点(授業態度、予習や授業時発表の内容、復習の意味での授業後の小テスト)及び前期・後期試験による。
 教科書 藤井・加藤『時事英語の総合演習—2009年度版—』(朝日出版社) 1,500円
 ISBN978-4-255-15465-7
 参考書等 『リーダーズ英和辞典』(研究社)
 『現代用語の基礎知識』(自由国民社)

履修コード	256801
科目名	英語II B
担当者名	清水 雅夫

講義のねらい 単語力、構文を把握する力を増強する。

講義の内容・授業スケジュール 環境問題に対処するためのテクノロジーや、それを応用したビジネスを扱った文章を読む。レベルは中の下ぐらいだが、やや専門的な語彙を含む(バイオ方面)。授業2回で1課進む。全20課から12課を選ぶ。

履修上の留意点 予習は、本文中の単語調べ、練習問題の指定箇所。復習は本文中の指定箇所など。

成績評価の方法 試験(授業内、4回)80%、出席20%、平常点(予習、授業態度など)±20%。

教科書 クリストファー・プルスミス、他5名著
Eco-Innovation and Prosperity 『エコイノベーションと繁栄』 南雲堂 1900円+税 978-4-523-17598-8

履修コード	256901・257571
科目名	英語II B
担当者名	井出 功一

講義のねらい テキストは世界各地の国民、民族、部族が何を、どのように料理し、どのような作法で食べているかを、比較文化の立場から現地調査して書いた食文化論です。

講義の内容・授業スケジュール イギリスのお茶(2回)、中国のお茶(2回)、茶の湯(2回)、コーヒーの道(2回)、ナイフ・フォーク文化圏(2回)、手食の文化圏(2回)、中華料理(2回)、フランス料理(2回)、日本料理(2回)、アメリカ料理(2回)、パン食文化圏(2回)、根菜農耕文化(2回)、世界の麺類(2回)、牛乳の文化(2回)、香辛料(2回)

なお、最近の話題の食料、例えばアンデス山脈からやってきた「ヤーコン」(Yacon)、通称キャブテン・クックのニュージーランドの探検からもたらされた「ツルナ」(New Zealand Spinach)、歴史の古い「蜂蜜酒」(Mead)、シベリヤ南部原産で16世紀にヨーロッパに導入された「ルバーブ」(Rhubarb)、フランス、イタリア原産で、サラダに最適のニュー野菜「トレビス」(Treviso)なども説明します。

成績評価の方法 前後期試験、平常試験、出席、受講態度による総合評価

教科書 『A Global Tour of Dietary Culture』(世界の食文化)成美堂

その他 全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要です。

履修コード	256911
科目名	英語II B
担当者名	萩原 輝

講義のねらい 英文を正確に読解するために必要な英文法を再確認しながら、数多くの英文を読む予定。

講義の内容・授業スケジュール (前期)
第1回 インTRODクシヨソ
第2～4回 花王
第5～7回 パナソニック
第8～10回 トヨタ
第11～13回 三菱電気
第14回 前期まとめ
第15回 前期試験
(後期)
第1回 コマツ
第2～4回 ANA
第5～7回 オリックス
第8～10回 ローソン
第11～13回 ソニー銀行
第14回 後期まとめ
第15回 後期試験

履修上の留意点 毎時間、英和、和英辞典を持参すること。

成績評価の方法 出席(全体の2/3以上)、授業態度、課題(レポート、プレゼンテーション、等)前・後期の試験結果・等の総合評価

教科書 Styling Corporate Messages, Atsushi Mukuhira 他・著(成美堂) ISBN978-4-7919-1082-3

履修コード	257201
科目名	英語II B
担当者名	吉沢 栄治郎

講義のねらい 小説をよみます。原文とその訳文を同時に書き取ることによって作品の核となるものをつかみま
す。一見、こうした遠回りのアプローチが実は作品味読のコツなのです。どうぞ楽しんで書き留め
てみて下さい。

講義の内容・授業スケジュール テキストを中心に板書をフルに活用し乍ら、講義形式で授業を進めます。一回の授業について原文
ではおよそ1～2頁を目途に進めてゆきます。なお、後期は「基礎英作文」も視野におさめていま
す。

履修上の留意点 英和辞典をこまめにひいておくことです。

成績評価の方法 ペーパーテストと出席状況、及び提出物の総合評価とします。

履修コード	257301
科目名	英語II B
担当者名	田中 靖子

講義のねらい 本授業では、単なる和文英訳ではなく読解に必要な技法（パラグラフ リーディング）を学んでい
くことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 前期(1～14) 国際理解を深める文献を用いながら、パラグラフの特徴をとらえパラグラフ毎に、長
い文を速読速解できるように進めていきます。(15) 総括
後期(1～14) 比較文化に関する文献を用いながら、語彙力の強化および文法、語法の確認をし、
速読できる力を向上させます。(15) 総括

履修上の留意点 事前の予習を前提として進めていきます。

成績評価の方法 前期、後期ともに3分の2以上の出席を必要とします。評価は前期、後期のテスト、課題の評価、
授業への参加状況など総合して行います。

教科書 未定

履修コード	257401
科目名	英語II B
担当者名	岡本 誠

講義のねらい 英語なる外国語学習もいよいよ終盤。英語の実力が試されるのはなんといっても「なにが書いて
あるか読み取れる」ということである。この英語II Bという講義はその最終仕上げである、と思っ
てほしい。

講義の内容・授業スケジュール 商学科の学生諸君によかれうと、いずれも日本を代表する、あるいは新進気鋭の企業がどのよう
な活動内容であるか、各企業の英語ウェブサイトとその素材を求めたものを読んでいく。それらの
企業とは以下のとおり。

1. 花王
2. パナソニック
3. トヨタ
4. 三菱電機
5. コマツ
6. ANA
7. オリックス
8. ローソン
9. ソニー銀行
10. J. フロントリテイリング
11. 東京海上グループ
12. 三菱重工業・三菱航空機
13. 京セラ
14. イオン
15. 参天製薬
16. キッコーマン
17. キーエンス
18. 博報堂

履修上の留意点 外国語の学習は予習につきる。自分なりに考えてきているものとして講義は行われる。下見がな
されていない場合は授業に参加していないのと同様なり。

成績評価の方法 前期・後期の試験。発表・プレゼンテーション力。出席・遅刻状況。その他の受講態度。

教科書 Styling Corporate Messages 『世界で活躍する日本の企業』(成美堂)

履修コード	257501
科目名	英語II B
担当者名	<small>くまさわ かずあき</small> 熊沢 和明

講義のねらい 映画の魅力を利用し、現在の生きた社会問題を考えながら、英語文化の理解を深める。文化的な内容のある語学学習を目指します。

講義の内容・授業スケジュール 現代英語映画を題材にした総合教科書を使い、映画化された社会問題を多読し、語彙力、読解能力を伸ばします。英語字幕を早読みする能力も身に付けます。

1. Unit 1 Volunteer
2. Unit 1 Volunteer
3. Unit 2 Child Abuse
4. Unit 2 Child Abuse
5. Unit 3 Internet Love
6. Unit 3 Internet Love
7. Unit 4 Women and Jobs
8. Unit 4 Women and Jobs
9. Unit 5 Barrier Free
10. Unit 5 Barrier Free
11. Unit 6 Racial Problems
12. Unit 6 Racial Problems
13. Unit 7 Computer and CG
14. Unit 8 Computer and CG
15. Unit 9 Drugs
16. Unit 9 Drugs
17. Unit 10 Modern Medical Treatment
18. Unit 10 Modern Medical Treatment
19. Unit 11 Mass Media
20. Unit 11 Mass Media

履修上の留意点 映画だけでなくPCゲームを利用した授業も行います。
成績評価の方法 英語が苦手でも積極的に授業参加する姿勢を評価します。出席、授業態度などの平常点を重視します。年間12回の単語テストを実施します。評価は総合評価とします。

教科書 参考書等 PCおよび携帯メールを利用した補習を行います。
EVERY MOVIE TELLS A STORY 金星堂
PS2、PS3、XBOX360、PCなど各種プラットフォームのゲームソフトも利用します。

履修コード	257511
科目名	英語II B
担当者名	<small>いいのさ よしなが</small> 飯沼 好永

講義のねらい IBを基礎として、より高度な英文を正確且つ速く理解する英語力を身に付けることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール 基本的な文法事項も確認しながら、さまざまな内容の英文を読んでいきます。一つのプリントを2週で進む予定です。

履修上の留意点 予習を忘れずに、積極的に授業に参加してください。
成績評価の方法 成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行います。
教科書 プリント使用

履修コード	257551
科目名	英語II B
担当者名	おがた しげまさ 尾形 重政

講義のねらい 英語IBを基礎として、さらに多くの量の英文をより早く読めるようにすることを目指す。また、短時間で大意の把握を心がけ読む速度を上げていく。

講義の内容・授業スケジュール 日本人学生が旅行者としてあるいは留学生として、アメリカで遭遇しうる場面で、適切に行動できるように必要な英語運営能力と、異文化理解の手助けとなるような背景知識等を教科書や他の教材を通して学んでいきます。

1. Right or Time 2. In Your Face 3. Restaurant 4. Money 5. Getting Around Town 6. Hotels 7. Phone calls 8. Cooking 9. Driving a Car 10. Holidays 11. Supermarkets 12. Medical Care 13. Shopping 14. Meeting People 15. Invitation 16. Manners 17. Reservation 18. その他 19. 前期試験及び後期試験

履修上の留意点 予習して授業に望むこと。英和辞典を持参すること。

成績評価の方法 1. 授業数の3分の2以上出席すること
2. 予習をしてきて積極的・主体的に授業に参加すること
3. 前期・後期の試験で一定以上の得点を取ること
以上3点を基に総合的に判断し評価します。

教科書 Culture Watch U.S.A. ISBN4-7919-0543-1 成美堂 (¥1,800)

履修コード	257561
科目名	英語II B
担当者名	すぎもと まこと 杉本 誠

講義のねらい 現代社会は、オゾン層の破壊、熱帯雨林の伐採、温暖化現象、砂漠化といった多岐にわたる深刻な環境問題に直面している。このような状況下、「環境に優しい」を合言葉に環境保護に向けて様々な取り組みがなされ始めている。そこで、授業では『熱い地球2』のテキストを用いて、「第一部：修復へのシナリオ」「第二部：日常の環境保護」の各表題のもとに再利用、再生、脱化石燃料、省エネ、代替エネルギーなど12項目にわたって日常生活で我々が少しでも気を配れば、自然保護の一助と成り得る方法について学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール 各章は、それぞれ Warm Up, Reading それに続く Listening, Vocabulary, Writing, Grammar の練習問題を通して、英語の総合的な能力を向上させるように構成されている。授業では英文を精読し、内容を理解し、特に読解力を身につけることに主題を置き、さらに練習問題を通して総合的な英語能力の向上を目的とする。授業は Lesson 1～6を前期でおこない、Lesson 7～12を後期でおこなう。

履修上の留意点 かならず毎時間の予習が必要である。

成績評価の方法 前・後期定期試験、小テスト、出席率などを総合して評価する。

教科書 『Earth Day Volume 2』(オセアニア出版) 1,400円 ISBN4-87203-083-4 C1082

履修コード	266901
科目名	ドイツ語IA
担当者名	かわかみ かずひと 河上 和史

講義の内容・授業スケジュール 近代化の歩み、敗戦とその後の経済的繁栄など、ドイツは日本と多くの共通点を持つ国です。しかしその一方、ドイツは日本と対照的な面も多く持っています。今、我々と我々の国が直面している様々な問題を考えようとするとき、「ドイツ」はいろいろなヒントを与えてくれるはずで、知っているようで意外に知らない「ドイツ」、そして「ヨーロッパ」とあらためて出会うために、これから一年間「もう一つの外国語」を学びます。授業は単に「文法」の習得だけでなく、「話す」練習にかなり時間を使い、またビデオなどによって多角的で楽しいものにするつもりです。

成績評価の方法 授業と試験を総合して判断する。

教科書 「独和辞典」は必ず必要ですが、最初の授業でいくつか紹介しますので、あわてて買う必要はありません。教科書は「プリント」を使います。

履修コード	266911
科目名	ドイツ語IA
担当者名	井村 行子

講義のねらい ドイツ語の文法の基礎を学びます。
 講義の内容・授業スケジュール 教科書に沿って進めます。
 成績評価の方法 前期と後期の筆記試験の成績によります。
 教科書 現在まだ未定ですが、学期初めまでに書店のほうに連絡しておきます。

履修コード	267801
科目名	ドイツ語IB
担当者名	松岡 晋

講義のねらい 文法事項の説明はできるだけ簡略に行い、実際のドイツ語の文章により多く触れることによってドイツ語理解の基礎を築くことを、この授業の目標とします。
 講義の内容・授業スケジュール (1~2) 文字と発音の原則の説明 (3~4) 第1課 [人称代名詞と動詞の現在人称変化] (5~6) 第2課 [名詞の性と冠詞] (7~9) 第3課 [幹母音の変わる動詞、前置詞] (10~11) 第4課 [複数名詞、男性弱変化名詞、定冠詞類・不定冠詞類] (12~14) 第5課 課容詞と副詞 (15~17) 第6課 [分離・非分離動詞、不定代名詞] (18~20) 第7課 [話法の助動詞、未来形] (21~23) 第8課 [再帰動詞、非人称動詞、時刻] (24~26) 第9課 [動詞の三基本形、過去時制、完了時制] (27~29) 第10課 [関係代名詞 (30) まとめ
 履修上の留意点 語学の学習は何よりも継続性が大事です。従って定期的出席と課題、練習問題の着実な実行が望まれます。ともかく、一年間、ぜひとも授業に出席するように心がけてください。
 成績評価の方法 一年間に数度行う記述試験、小テストのほかに、平常点(出席率、授業中の課題の実行の具合など)を重視いたします。記述試験と平常点の割合は6対4と考えてください。
 教科書 須賀洋一ほか著『はじめて学ぶドイツ語文法読本(第二版)』、白水社、¥2,100 ISBN978-4-560-01394-6
 参考書等 初回の授業で独和辞典を数種類、紹介いたします。

履修コード	267811
科目名	ドイツ語IB
担当者名	堀内 美江

講義のねらい ヨーロッパのなかで特別な歴史を持ちながら、今でも重要な役割を担うドイツという国を、言葉を勉強しながら体験していきます。実際に使われる会話を練習しながら、文法的な知識を確認し、話す、聞く、書く、読むといった総合的な力を身につけていきましょう。
 講義の内容・授業スケジュール 教科書に沿って授業を行います。第1回目はオリエンテーションを兼ねます。2回目以降は、前期は1~3課まで、後期は4~7課までを予定しています。
 履修上の留意点 言葉を学ぶには、最初はまずできるだけたくさんその言葉に触れることです。出席はそのためにとっても大切です。また、新しいことを学ぶのですから、途中でわからなくなることもあるかと思いません。どんな質問でもよいですから、わからなくなったら何でも尋ねてくださいね。
 成績評価の方法 それぞれの課の最後に小テストを行い、自分の学習度を確認していただきます。その小テストの合計と、出席、平常点などを含めた総合評価を行います。
 教科書 飯田道子/江口直光著『Abfahrt アプファールト スキットで学ぶドイツ語』三修社 2400円(定価) 978-4-384-12249-7 C1084
 参考書等 要望に応じて教場でお伝えします。
 その他 できるだけドイツの文化などを紹介できるモノや映像をお見せしたいと考えています。また、授業も皆さんの理解度を見ながら、授業を進めていきますので、安心して出席してください。

履修コード	268101・268311
科目名	ドイツ語IIA
担当者名	まつおか すすむ 松岡 晋

講義のねらい	一年次に学んだ文法知識を基礎にして、平易なドイツ語の文章を読みます。教科書の各課には文法事項のまとめも記されていますので、文法の復習も行うつもりです。教科書の読章の部分は内容が徐々にレベル・アップしてゆきます。
講義の内容・授業スケジュール	(1)発音の復習、数字の読み方 (2)第1課 Hier wohne ich (3~4) 第2課 Ein Sonntag im Park (前置詞など) (5~6) 第3課 Hilfst du mir, so helfe ich dir (副文など) (7~8) 第4課 Über den Wolken (形容詞の格変化など) (9~10) 第5課 Ich habe noch so viel vor (再帰動詞と分離動詞) (11~12) 第6課 Eine tolle Überraschung (過去時制、完了時制) (13~14) 第7課 Urlaub (命令形など) (15~16) 第8課 Meine Lieblingscafe(関係代名詞) (17~19) 第9課 Bevölkerungsexplosion (zu 不定詞など) (20~21) 第10課 Was kann ich tun (受動態) (22~23) 第11課 Immer nur Würstchen mit Sauerkraut?(接続法) (24~25) 第12課 Sonderbare Menschen (分詞について) (26~30) 復習とまとめ
履修上の留意点	語学の学習は何よりも継続性が大事です。従って定期的出席と課題、練習問題の着実な実行が望まれます。ともかく、一年間、独和辞典を持参して、ぜひとも授業に出席するように心がけてください。
成績評価の方法	一年間に数度行う記述試験、小テストのほかに、平常点(出席率、授業中の課題の実行の具合など)を重視いたします。記述試験と平常点の割合は6対4と考えてください。
教科書	諏訪功ほか著『ドイツ語の探検』、朝日出版社、¥1,900 ISBN4-255-25168-1

履修コード	268111
科目名	ドイツ語IIA
担当者名	いづつか まさお 飯塚 公夫

講義のねらい	ここ1,2年、1年の文法事項がほとんど頭に入っていないように見受けられるので、前期は復習と練習問題をやっていきます。辞書を早く引き、頭をなるべく早く回転させることが目的です。後期は普通のドイツ語の文章を読む予定です。
講義の内容・授業スケジュール	前期：文法の説明を大雑把にやってから、練習問題を順番に当ててやってもらいます。 後期：前期、問題をやりながら、程度を見て考えます。
履修上の留意点	辞書を毎回持ってくる(完全に予習している人は持ってこなくてもよろしい)。辞書を引く気のない人は出ないでください。
成績評価の方法	前期後期各1回の筆記試験及び平常点(=発表点)。
教科書	前期：松本嘉久著『独検3級・4級受験者のためのチャレンジ・ドイツ語』(同学社)2000円。 後期：未定。
その他	実は、授業で受験勉強みたいなことはやりたくはないのですが、最近は、ドイツ語の文章を読んで、内容を把握し、自分の興味を広げていくということが、全くできなくなっているのが、実情です。少なくともこの授業の間は、携帯電話の外の世界で生きてほしいというのが切なる願いです(といっても意味がわからないかもしれませんが)。

履修コード	268301
科目名	ドイツ語IIA
担当者名	いづた としむつ 武田 利勝

講義のねらい	前年度に学習した文法の知識を実践的に活用しながら、ドイツ語の長文読解にあたります。さらにテキストの読解を通じて、ドイツのさまざまな文化的背景について、理解を深めます。辞書さえあれば中級程度のテキストを自力で読解できるようになることを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	(1)オリエンテーション、発音の復習 (2~5) 初級レベルの長文読解、基本的な文法事項の復習 (6~15) 中級程度の長文読解 (16~30) 前期に引き続き、中級以上の長文読解。難易度は皆さんの進捗状況に応じて判断します。
履修上の留意点	本授業では、教員から一方的に教える形態をとりません。訳読は基本的にグループ作業で進め、指定時間以内に訳文を作る、という形をとります。チームワーク力を磨くよい機会とも思ってください。また、毎回必ず辞書と文法テキスト(初回授業で指定)を持参のこと。
成績評価の方法	各テキスト終了時に提出してもらった訳文、また小テストと学期末テスト、そして出席状況を評価の対象とします。また、グループ作業にどれだけ貢献できたかなど、学期末に自己評価してもらいます。
教科書	プリント配布。

履修コード	268401
科目名	ドイツ語II B
担当者名	飯塚 公夫

講義のねらい ここ1,2年、1年の文法事項がほとんど頭に入っていないように見受けられるので、前期は復習と練習問題をやっていきます。辞書を早く引き、頭をなるべく早く回転させることが目的です。後期は普通のドイツ語の文章を読む予定です。

講義の内容・授業スケジュール 前期：文法の説明を大雑把にやってから、練習問題を順番に当ててもらいます。後期：未定。前期、問題をやりながら、程度を見て考えます。

履修上の留意点 辞書を毎回持ってくること（完全に予習をしている人は持ってこなくてもよろしい）。辞書を引く気のない人は出ないでください。

成績評価の方法 前期後期各一回の筆記試験及び平常点（＝発表点）

教科書その他 前期：松本嘉久著「独検3級・4級受験者のためのチャレンジ・ドイツ語」（同学社）2000円。
 実は、授業で受験勉強みたいなことはやりたくはないのですが、最近では、ドイツ語の文章を読んで、内容を理解し、興味を自分で掘り下げていくということが、まったくできなくなっているのが実情です。少なくともこの授業の間は、携帯電話の外の世界に生きてほしいというのが切なる願いです（といっても意味がわからないかもしれませんが）。

履修コード	268501
科目名	ドイツ語II B
担当者名	数下 絃一

講義のねらい 中級ドイツ語を辞書を引きながら訳す。

履修上の留意点 毎時間指名して1文ずつ読み、訳してもらいます。毎回試験をしているようなものです。出席重視。1回3ページ

成績評価の方法 前・後期各1回50点満点の試験を実施。

教科書 テキスト、A.Raab,T. 石井著、『ドイツ人の一生』、朝日出版（1900円＋税）

参考書等 参考書、辞書等については第1講時に話します。

履修コード	268511
科目名	ドイツ語II B
担当者名	森 公成

講義のねらい ドイツ語IAとIBを基礎とした、初級から中級にかけての講読中心の授業です。『白雪姫』の初版を、決定版と比べながら読む予定です。ドイツの歌もいくつか紹介します。

講義の内容・授業スケジュール 最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。

履修上の留意点 授業への積極的な参加を希望します。遅刻と早退は2回で1回休みとみなします。なお遅刻は30分以内のみ認めます。3分の1以上休んだ場合は原則として定期試験の成績いかんに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。

成績評価の方法 定期試験（年2回）、出席率、夏季休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。

教科書 テキスト(プリント)はこちらで用意します。

履修コード	269901
科目名	フランス語IA
担当者名	伊藤 なお

講義のねらい 一年かけてフランス語文法の基礎を習得します。

講義の内容・授業スケジュール 1)～3) 受講上の諸注意 / Alphabet と発音の基礎 4)～15) 文法の基礎 (名詞の性と数/冠詞/形容詞/動詞の現在形/近接未来・近接過去/命令形/疑問代名詞など) 16)～29) 文法の発展 (比較級/目的語人称代名詞/動詞の過去形・未来形/関係代名詞など) 30) 復習と今後のフランス語学習について (中級に向けて)

履修上の留意点 ※毎回、発音練習・聞き取り練習問題・文法練習問題に取り組みます。
 授業にはただ出席するだけでなく、積極的に参加して下さい。毎回与えられる課題を必ずしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法 平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。

教科書 太田浩一著『フランス語文法の〈基礎〉』（駿河台出版社）2,625円

履修コード	269911
科目名	フランス語IA
担当者名	出口 雅敏

講義のねらい この授業では、フランス語文法の基礎を学習してゆきます。文法の基礎をしっかり身につけることは、フランス語世界に入ってゆくための大切なプロセスです。この入り口で躓かぬよう、じっくり基礎固めをすることが授業の目的です。

講義の内容・授業スケジュール (1) 受講上の諸注意 / Alphabet (2) ~ (4) 発音の基礎 (5) ~ (15) 文法の基礎 (名詞の性・数 / 冠詞 / 主語人称代名詞 / 疑問文・否定文 / 形容詞 / 冠詞の縮約 / 疑問代名詞 / 比較 / 動詞の現在時制など) (16) ~ (29) 文法の発展 (命令文 / 目的語人称代名詞 / 代名動詞 / 中性代名詞 / 動詞の過去・未来時制など) (30) 復習と今後のフランス語について

履修上の留意点 「仏和辞典」を毎回持参して下さい。*但し、電子辞典やポケット版辞典は不可です。

成績評価の方法 前期・後期の期末試験と通常点(出席状況・小テストなど)によって評価します。

教科書 藤田裕二『Pascal au Japon (パスカル・オ・ジャポン)』2009年刊 白水社 2,000円+税 ISBN 978-4-560-06083-4

履修コード	270901
科目名	フランス語IB
担当者名	東 辰之介

講義のねらい フランス語初級文法の習得と、基礎的な読解力の養成を目的とします。発音も重視します。

講義の内容・授業スケジュール (1) 受講上の諸注意 / Alphabet (2) ~ (3) 発音の基礎 (4) ~ (15) 基本的表現 (挨拶 / 自己紹介 / 好きなものを言う / 尋ねる / 時間、天候を言うなど) (16) ~ (29) 発展的表現 (一日を語る / 頼む、命令する / 未来のことを語る / 過去のことを語るなど) (30) 復習と今後のフランス語学習について (中級への橋渡し)

履修上の留意点 授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。調べても分からない時は、質問してください。

成績評価の方法 学期末試験の結果と平常点によって評価します。

教科書 藤田裕二他著『新・東京一ぱり、初飛行』(駿河台出版社) 2,200円+税 ISBN978-4-411-01110-7

参考書等 仏和辞典が必要です。初回授業でガイダンスをします。

履修コード	270911
科目名	フランス語IB
担当者名	遠山 博雄

講義のねらい 文法の初歩を重ねて学び、それを応用して簡単なスケッチを読み取り、発音すること。

講義の内容・授業スケジュール (1~8) 授業方針の説明、音の単位の紹介、文法と応用(名詞、冠詞、形容詞、動詞の現在形、疑問文、否定文、所有形容詞等)、(9~15) 同(動詞の現在形のつづき、目的語、命令形等)、(16~24) 同(動詞の未来形、過去形、関係代名詞等)、(25~30) 同(動詞の過去形のつづき、形容詞の比較級、最上級等)。はじめに詳しい説明をします。その後で各自取り組むこと。プリントによる補足もあります。

履修上の留意点 必ず仏和辞典持参で出席すること。課題をやってくる。遅刻をしないこと。声を出すこと。

成績評価の方法 2~3回の筆記試験を予定しています。人数が少なければ口頭試験もあります。

教科書 中村敦子『友だちとフランス語を』白水社、2400円+税、ISBN:4-560-06060-6 C3085

その他 最初の時間に辞書のガイダンスをします。

履修コード	271201
科目名	フランス語IIA
担当者名	あづま たつすけ 東 辰之介

講義のねらい 短い対話文や説明的文章の読解等によって、フランス語能力のレベルアップを図ります。発音も重視します。

講義の内容・授業スケジュール (1)～(10) 初級文法の復習と未習事項の説明(複合過去、半過去、単純未来、条件法、接続法など) (11)～(20) 対話文の読解(自己紹介、意見を言う、昨日したことを話す、予定、理由、意見を尋ねるなど) (21)～(30) 説明的文章の読解(パリ、カフェ、学生生活、プロヴァンス、政治など)

履修上の留意点 授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。調べても分からない時は、質問してください。

成績評価の方法 学期末試験の結果と平常点によって評価します。

教科書 澤田直之他著『アミカルマン』(駿河台出版社) 2,500円+税 ISBN978-4-411-01093-3

履修コード	271211・271301
科目名	フランス語IIA
担当者名	とおやま ひろゆき 遠山 博雄

講義のねらい 1年次の文法事項を復習し、さらに学習を続けながらややまとまった文章やスケッチを読み、発音すること。簡単な会話表現を覚えること。フランスの「今」にふれること。(ビデオ使用)

講義の内容・授業スケジュール (1～5) 1年次の復習、(6～15) 復習から発展へ(動詞の直説法の過去形、未来形、受動態等)、(16～24) 発展学習(動詞の条件法、接続法、現在分詞等)。はじめに文法説明をします。その後各自で取り組むこと。(25～30) 教科書を終了し、プリントで応用読解。

履修上の留意点 必ず仏和辞典持参で出席すること。課題をやってくること。声を出すこと。

成績評価の方法 2回の筆記試験をします。

教科書 中山真彦・杉山利恵子『改訂版ミニ・ボンジュール・パリ』白水社、1900円+税、ISBN978-4-560-06081-0 C3085

履修コード	271401
科目名	フランス語IIA
担当者名	いまぼき 今関 アン

講義のねらい 1年次に習得したフランス語の理解を確実にし、仏検4級3級に合格する。

講義の内容・授業スケジュール 前期:(1)ガイダンス (2～8)冠詞、動詞の活用、時制、数字0-60 (9～11)単語配列(12～14)前置詞 (15)定期試験
後期:(1～7)応用問題、数字60-100 (8～11)聞き取り、会話文 (12～14)映画鑑賞(15)定期試験

履修上の留意点 積極的に参加し、仏検合格を目指すこと。

成績評価の方法 平常点40%+定期テスト(60%)

教科書 『ニヴォー・カトル -教室で学ぶ仏検4級-』駿河台出版社

履修コード	271501
科目名	フランス語IIB
担当者名	すがや さとる 菅谷 暁

講義のねらい フランス語を読む力を養うこと、フランスの歴史や文化についての理解を深めること、言葉に対する感覚を磨くことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 教科書はフランスの最近の新聞や雑誌の記事をやさしく書き直したものです。毎回数人の担当者をあらかじめ決めておくので、その者は担当部分を正確に発音し、訳せるようにしておいてください。全部で24課あるので、1課を1回の授業で終わらせる予定です。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。

成績評価の方法 前期末と後期末の試験によります。

教科書 ボームルー著『セレクション・時事フランス語3』(朝日出版社) 1,890円

履修コード	271601
科目名	フランス語ⅡB
担当者名	畑中 千晶

講義のねらい 繰り返しCDを聞くことで、語彙や表現を増やし、聞き取り能力を次第に上げていくことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス/詩の暗唱 (2)～(8) 1-1～3-2 (9) 復習、ビデオ視聴 (10)～(12) 4-1/4-2 (13) 会話 (14) 復習 (15) 期末試験 (16) 課題提出 (17)～(21) 5-1～7-2 (22) 復習 (23)～(27) 8-1～9-2 (28) 復習/発展項目 (29) 発展項目 (30) 期末試験

履修上の留意点 毎回課題を出すので、必ず取り組んでください。課題は提出した分がすべて得点になります(内容を点数化することはありません。参加することに意義がある、というものです)。締切厳守(欠席した場合のみ、次回提出可)。

成績評価の方法 前期末30%、学年末30%、宿題など平常点20%、夏休みの課題10%、出席10%

教科書 中井珠子『コミュニケーションのためのフランス語リスニング入門』1998年刊(白水社) 1,800円+税

履修コード	271611
科目名	フランス語ⅡB
担当者名	遠山 博雄

講義のねらい 1年次の文法事項を復習しながら学習を継続し、やさしいスケッチや文章を読み、発音すること。簡単な会話表現を覚えること。フランスの「今」にふれること。

講義の内容・授業スケジュール (1～8) 文法事項と応用(目的語、代名動詞、動詞の直説法の未来形、過去形、関係代名詞、現在分詞等)、(9～15) 同(受動態、動詞の条件法等)、(16～22) 同(動詞の接続法、直接・間接話法等)、はじめに文法説明をします。その後各自で取り組むこと。(23～30)教科書を終了し、プリントで応用読解。

履修上の留意点 必ず仏和辞典持参で出席すること。課題をやってくること。声を出すこと。

成績評価の方法 2回の筆記試験を予定しています。人数が少なければ口頭試験もありえます。

教科書 中村敦子・加藤行男著『改定版』クリケ!クリケ! 2年目のフランス語』第三書房、2,300円+税、ISBN: 978-4-8086-2065-3

履修コード	274101・276501
科目名	中国語ⅠA 中国語ⅠB
担当者名	曹 泰和・三田村 圭子

講義のねらい 発音(ピンイン=中国語の表音ローマ字)と基本文法を覚え、そして会話や文章の基本表現を習得する。

講義の内容・授業スケジュール ①文字・語義・文法・表現などの面から日中両語を比較し、その異同を認識すると同時に学習上の注意事項や学習要領を覚える。
②発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などを反復練習する。
③文法は教科書の展開に従い、句型を解析する。文法を理解してから応用会話や作文練習を行なう。

履修上の留意点 出欠は成績に加味するので、欠席数の多い学生は単位をとるのが難しい。

成績評価の方法 前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。

教科書 本間 史・孟 広学著『中国語ポイント55』白水社 2300円

参考書等 授業開始時に説明する。

その他 必ずⅠA(曹 泰和)とⅠB(三田村 圭子)をセットで履修すること。

履修コード	274201・276601
科目名	中国語ⅠA 中国語ⅠB
担当者名	宮本 厚子・陳 州拳

講義のねらい 中国語で簡単な日常会話ができ、平易な文章が読めるようになることを目標に、基本的な短文の暗記と徹底した発音訓練をする。

講義の内容・授業スケジュール はじめは発音をマスターするために、中国語の発音表記(ピンイン)を反復練習し、その後、文法事項を確認しながら多くの文章を読みこなしてゆく。

履修上の留意点 授業は真剣勝負の時間である。特に語学は積み重ねが大切なので、真摯な態度で授業に臨むこと。

成績評価の方法 前期・後期の試験、授業中の小テスト、出席率などを総合評価する。

教科書 林正人著『楽しい初級中国語』2200円(隆美出版)

履修コード	274211・276611
科目名	中国語ⅠA 中国語ⅠB
担当者名	児島 弘一郎

- 講義のねらい** 外国語としての中国語の基礎を習得し、異文化を深く理解するための土台作りをします。「読む・書く・話す・聴く」の4つの能力に関する基礎的な訓練を行ないますが、特に発音・ピンイン・簡体字の習得については、徹底的に指導します。
- 講義の内容・授業スケジュール** 開講後5月上旬までは、中国語の発音体系を集中的に学習します。その後、テキストに沿って基本構文や基礎的な単語の習得を図りますが、年間を通じて、標準的な発音を身につけることが最も重要な課題です。学習者の状況を見つつ、全8ユニットから成るテキストを、大体3～4回に1ユニットずつ進めます。
- 履修上の留意点** 4分の3以上の出席を求めます。初級は音声の習得が第一なので、恥ずかしがらずに大きな声で発音することが大事です。
- 成績評価の方法** 出席状況と年間4回実施する試験によって総合的に評価します。
- 教科書その他** 董燕・遠藤光暁『北京物語』朝日出版社、2500円（税別）。
ⅠAとⅠBが連動するので、必ずセットで履修すること。

外国語

履修コード	277201
科目名	中国語ⅡA
担当者名	吉田 建一郎

- 講義のねらい** 一年次で行った会話練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。
- 講義の内容・授業スケジュール** 会話・補充短文・語法・練習問題などから成るテキストを随時指名しながら読み進め、発音矯正、単語・文法・構文の解説、ペアによる対話実践などを行ないます。全16課のテキストを、およそ2回で1課ずつ進めていきます。
- 履修上の留意点** 4分の3以上の出席を求めます。
- 成績評価の方法** 前期・後期の試験、小テスト、授業への取り組み、出席状況によって総合的に評価します。
- 教科書その他** 石慧敏、金子真也『上海びより』（好文出版）2000円＋税
教場は練習の場ですから間違っても構いません。毎回の授業に積極的に参加してください。

履修コード	277301
科目名	中国語ⅡA
担当者名	梅田 雅子

- 講義のねらい** ・中国語の漢字を読んで意味がわかるようになる。
・ピンインをきれいに発音できるようになる。
・文法項目を使って、自分でオリジナルの文章を作れるようになる。
- 講義の内容・授業スケジュール** 授業の流れ
1：新出単語小テスト（中国語→日本語、日本語→中国語）
2：文法項目（語法）解説
3：文法項目（語法）例文の確認
4：オリジナル文章発表
5：会話確認（日本語の意味）
6：補充短文、意味確認
7：補充短文、発音
8：補充短文、穴埋め（リスニング）
9：補充短文に関するQ&A問題（未定）
10：教科書練習問題
※情景会話は進度によって決める。
- 履修上の留意点** 間違いやすいピンインに注意！
子音：q、x、c
母音：ian (yan)、si の i など
- 成績評価の方法** 前期・後期末試験70パーセント
平常点（出席、小テスト）30パーセント
- 教科書等** 『上海びより』
日中中日辞典（好文出版）2,000円＋税
日本漢字音から引ける機能が付いたものがよい。
- その他** 授業進度等で質問がある場合は梅田までメールにて連絡すること。
hanyu555@gmail.com

履修コード	277401・277811
科目名	中国語IIA
担当者名	児島 弘一郎

講義のねらい 一年次で行った会話練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 会話・補充短文・語法・練習問題などから成るテキストを随時指名しながら読み進め、発音矯正、単語・文法・構文の解説、ペアによる対話実践などを行ないます。全16課のテキストを、およそ2回で1課ずつ進めていきます。

履修上の留意点 4分の3以上の出席を求めます。

成績評価の方法 前期・後期の試験、小テスト、授業への取り組み、出席状況によって総合的に評価します。

教科書その他 石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版)2000円+税
 教場は練習の場ですから間違っても構いません。毎回の授業に積極的に参加してください。

履修コード	277501
科目名	中国語IIA
担当者名	弘兼 加奈子

講義のねらい 一年次で行った会話練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 全16課の内、4課ごとにテストを行います。年間30回の授業では、テストも含めて授業7、8回で4課ずつ進むこととなります。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5点として合計し、7点以内の者を成績評価の対象とします。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提に、テストによって評価します。テストは年間4回行う予定です。

教科書 石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版)2000円+税

履修コード	277601
科目名	中国語IIA
担当者名	秋元 翼

講義のねらい 1年次で行った会話練習を継続しつつ、中国で日常的に触れるアナウンスや説明文など簡単な文章を読む練習を行います。テキストの内容は本学が上海で実施している夏季中国語セミナーの状況とも一致しており、即活用できる表現を学ぶことができます。

講義の内容・授業スケジュール 全16課(日常生活の16場面)から構成されるテキストを各課1回ないし2回の授業で進めていきます。4課ごとに小テストを行い、学習内容を確認していきます。

履修上の留意点 やむをえない場合を除き、全出席が前提です。欠席が7回を超えた場合は成績評価の対象としません。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提に、年間4回のテストによって評価します。

教科書 石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版)2000円+税

履修コード	277701
科目名	中国語IIA
担当者名	岩崎 皇

講義のねらい 一年次の会話練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習をします。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況と一致しているので、ぜひ実際に中国へ行って、学習したことを使ってもらいたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール 授業はテキストに沿って進めていきますが、全16課を一年間で終わらせることが無理な場合があるかもしれません。その時は課の内容を見て取捨選択します。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、部活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得ができなくなります。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提とした上で、試験の成績により評価します。毎回の試験では80%が単語や文の聞き取り(書き取り)になります。

教科書 試験は前期2回、後期2回、授業時間内に行います。
 石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版)2,000円

履修コード	277801
科目名	中国語IIA
担当者名	李 ^リ 雲 ^{ウン}

講義のねらい 一年次で行った会話練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 全16課の内、4課ごとにテストを行います。年間30回の授業では、テストも含めて授業7、8回で4課ずつ進むことになります。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5点として合計し、7点以内の者を成績評価の対象とします。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提に、テストによって評価します。テストは年間4回行う予定です。

教科書 石慧敏、金子真也『上海びより』（好文出版）2000円＋税

履修コード	278001
科目名	中国語IIB
担当者名	吉田 ^{よしだ} 建一郎 ^{たけいちろう}

講義のねらい IA・IBで学んだことを復習しながら、聞く力と話す力を伸ばす。

講義の内容・授業スケジュール 全12課のテキストで、各課平均2回のペースですすめる。

履修上の留意点 大きな声を出して練習に積極的に参加し、地道に努力する意思のある方のみ歓迎。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提に、平常点と定期試験により評価。

教科書 内田慶市・奥村佳代子・張軼政『中国語への道〔準中級編〕一浅きより深きへー』金星堂、2300円＋税、978-4-7647-0680-4

履修コード	278101
科目名	中国語ⅡB
担当者名	梅田 雅子 <small>うめだ まさこ</small>

講義のねらい

- ・ばつと中国語が発音できるようになる（反応力）
- ・自分の力で中国語を話せるようになる（自発能力）
- ・教科書にない言い方もできるようになる（応用力）
- ・会話の最中に困ったことがあっても解決できる（問題解決能力）
- ・恥ずかしがらずに話すことができる（積極性）

講義の内容・授業スケジュール

授業の流れ：1課を一回または二回で終わらせる。

- 1：その課の単語小テスト
- 2：ひとこと会話（よく使うフレーズ練習）
- 3：その課で使う単語の発音練習（絵カード・文字カードを使って）
- 4：文型練習（置き換え練習）
- 5：Q&A（ペア練習またはクラス全体で行うグループ練習）
- 6：練習問題

履修上の留意点

- 3 / 4 以上の出席が必要。
- 積極的に練習する。
- 辞書（日中・中日）持参。
- 添付のCDを何度も聞くこと。
- 適宜単語を補充する（教科書の単語がとても少ないため）

★特に学生諸君に求めること

- 1：ばつと中国語で言ってみる（反応力）
- 2：シャイな気持ち乗り越える（積極性）
- 3：会話中に何か問題が起きても、とにかく何か言うまたは行動を起こす（問題解決能力の育成）
- 4：問いかげには必ず反応する（コミュニケーションの基本です）

成績評価の方法

前期・後期試験70パーセント
平常点（出席・小テストなど）30パーセント

教科書
参考書等

『你好中国語』金星堂

日中・中日辞典を持ってくる。電子辞書でも可。出版社は問わないが、日本の漢字音から引ける索引がついている辞書が望ましい。

その他の

■なぜ中国語が話せるようにならないのでしょうか？

- 1：1課あたりの学習項目（単語・文法）が多く、未消化のまま次の課に進んでいたから。
- 2：いつも先ず日本語で考えてから中国語に直していたから。
- 3：いつも先生（またはCD）の後について発音していたから。
- 4：いつも教科書を見ながら発音していたから。
- 5：オリジナルの中国語を考える練習が少なかったから。

★この授業ではこれらの問題を克服しながら進めていきます。

履修コード	278111
科目名	中国語ⅡB
担当者名	弘兼 加奈子 <small>ひろかね かなこ</small>

講義の内容・授業スケジュール

テキストは本文・文法・練習問題から成る。初回は、基本的な文法の確認を行う。

- 第1回 一年の復習。
- 第2回～14回 本文・練習問題等。
（うち1回は中間テスト）
- 第15回 期末テストの予定。
- 第16回～29回 本文・練習問題等。
（うち1回は中間テスト）
- 第30回 学年末テストの予定。

なお、5月連休明けに授業進行予定表を配布する予定。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

尹景春・竹島毅『《新版》中国語さらなる一歩』白水社 2200円 ISBN 4-560-06910-7

履修コード	278301
科目名	中国語II B
担当者名	児島 弘一郎

講義のねらい 1年次に学習した発音・単語・文法事項を復習しつつ、ヒアリング・会話を中心としたコミュニケーション能力の向上を図ります。中国語の音声面に重点を置いた授業です。

講義の内容・授業スケジュール 会話文例・文法ポイント・反復練習・ヒアリングから成るテキストを随時指名して進め、発音の矯正・単語の解説・文法事項の整理・聴き取り・ペアによる対話の実践などを行ないます。全12課のテキストを、およそ2回で1課ずつ進めていきます。

履修上の留意点 4分の3以上の出席を求めます。

成績評価の方法 前期・後期の試験、小テスト、授業への取り組み、出席状況によって総合的に評価します。

教科書 塚本慶一監修・劉穎著『2年生のコミュニケーション中国語』(白水社、2200円、CD付)。

参考書等 辞書や役立つ音声教材などは、教場で紹介します。

その他 教場は練習の場ですから間違っても構いません。毎回の授業に積極的に参加してください。

履修コード	278401
科目名	中国語II B
担当者名	秋元 翼

講義の内容・授業スケジュール Iで学んだ内容を復習しながら、実践的に応用ができるよう、ヒアリングと発音を繰り返し練習する。前期は1課から6課まで、後期は7課から12課まで、2回で1課の割合で進む。

履修上の留意点 4分の3以上の出席を要する。授業中、積極的に声を出して発音練習をすること。

成績評価の方法 平常の出席状況・学習態度・理解度および中間・期末テストの成績で総合的に評価する。

教科書 塚本慶一・劉穎『2年生のコミュニケーション中国語』白水社、2200円+税

履修コード	278501
科目名	中国語II B
担当者名	李 雲

講義のねらい 基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点 平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法 筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書 内田慶市等「中国語への道」金星堂2380円

その他 内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

履修コード	278511
科目名	中国語II B
担当者名	本間 由香利

講義のねらい 比較的簡単なテキストを使用します。

朗読目標：単語単位ではなく、文章を中国語らしく読めるようにすること。

文法目標：必要最小限の文法、つまり語順を学び、シンプルな文を自分で組み立てられるようにします。

講義の内容・授業スケジュール まずは発音訓練と矯正、1年次既習の単語、フレーズの聞き取り練習をします。次に中国語の基本構文の復習と理解を通じて自分で簡単な会話ができるようにします。

履修上の留意点 必ず出席し、大きな声で発音し、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法 授業出席を前提とし、授業態度、小テスト、期末テストにより評価します。

教科書 『たのしい中国語』首都大学東京 中国文学研究室編 金星堂 ¥2,600

参考書等 授業内で指示する。

履修コード	280501
科目名	スペイン語ⅠA
担当者名	佐藤 麻里乃

講義のねらい 文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。
 講義の内容・ 教科書にそって解説と練習を行う。性数変化、動詞の変化、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。
 授業スケジュール 履修上の留意点 教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。
 成績評価の方法 主として前期・後期各1回の試験による。
 教科書 ロベス他『スペイン語で行こう!』朝日出版社
 辞書については初回授業で指示する。

履修コード	280511
科目名	スペイン語ⅠA
担当者名	齊藤 明美

講義のねらい 基礎文法を楽しく勉強しながら、スペイン語を使って簡単なコミュニケーションを取れることを目的とします。文法に関しては直説法現在の学習を中心に基本を固めます。また日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学び、一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化共生に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテン音楽なども紹介していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

前期が終わるころにはスペイン語で簡単なあいさつや道を聞くなどの質問、自己紹介が、後期が終わるころには簡単な雑談や自分の意見をスペイン語で言うことができるようになります。

- 前期
- (1) オリエンテーション スペイン語に親しもう (1)
 - (2) ホテルに泊まる (発音、アクセント、あいさつ、ser 動詞など (2-5))
 - (3) 入学手続き (estar 動詞の現在形、名詞、冠詞・形容詞、数字0-10など) (6-9)
 - (4) 自己紹介 (規則動詞 (ar, er, ir 動詞)、現在形の働き) (10-13)
 - (5) これまでのおさらい、中間試験(14、15)
- 後期
- (6) 学校での会話 (tener, ir, venir, 基数詞 (11-100)、時刻、接続詞、前置詞 (11-100) (16-19))
 - (7) 友人との会話(母音変化動詞、いろいろな不規則動詞、目的語の人称代名詞、gustar 動詞など) (20-23)
 - (8) サッカーのテレビ観戦 (所有詞、指示詞、比較、最上級など) (24-27)
 - (9) これまでのおさらい (28、29)
 - (10) まとめ (30)

履修上の留意点

スペイン語で初歩的な「読む」「聞く」「書く」「話す」技能を身につけるためには毎回の予習・復習が大切です。最初は文法や単語を覚えるのが大変ですが、きっと次第にスペイン語を使うことが楽しくなるでしょう。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

毎回の出席、授業参加(態度、発言等)や各期末の定期試験(年2回)を総合的に評価します。
 福嶋(ふくしま)『Español Dinámico』動く!スペイン語』朝日出版社、2600円
 講義中に推薦する辞典の中から一番自分に合うものを探し、活用しましょう。
 学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

履修コード	280521
科目名	スペイン語ⅠA
担当者名	真下 祐一

講義のねらい スペイン語の初歩を学ぶ。文法知識および語彙の習得だけではなく、正しい発音、場面に即した会話力の養成をめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1~5) 導入、名詞に関して、動詞直説法現在・規則活用 (6~8) 動詞SERとESTAR、形容詞 (9~14) 直説法現在不規則動詞、目的格人称代名詞 (15) 試験 (16~20) GUSTAR型動詞、再帰動詞 (21~25) 現在完了形、受動態 (26~29) 無人称文、現在分詞 (30) 試験

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

大きな声で練習に参加する。遅刻・欠席をしない。
 2回の試験の結果60%、出席および授業参加40%
 田村さと子、『アニモ!』、白水社、2200円+税
 西和辞典を一冊

履修コード	281701
科目名	スペイン語ⅠB
担当者名	<small>うえの かつひろ</small> 上野 勝広

- 講義のねらい** スペイン語の基礎（発音・文法・語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。
- 講義の内容・授業スケジュール** 下記のテキストを用いて、前期は1課～5課まで、後期は6課～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。
前期（1）導入、アルファベット（2～5）文字と発音、主語の人称代名詞、動詞 ser、名詞の性数、冠詞、形容詞、動詞 hay、位置を表す表現、など（6～10）動詞 estar、31までの数字、時間等の表現、規則動詞の活用、など（11～15）疑問詞の使い方、動詞 ir、yo の活用が不規則な動詞、目的語の人称代名詞、天候の表現、など
後期（16～20）語根母音も変化する動詞、querer、poder の使い方、その他の不規則動詞、動詞 gustar の使い方、gustar 型の諸動詞、など（21～25）比較の表現、関係代名詞 que、100までの数字、再帰動詞とその使い方、不定主語文など（26～30）100を超える数字、命令形、婉曲・丁寧な表現、現在完了、感嘆文、など
- 履修上の留意点** 少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。また最低限の復習も欠かせません。
- 成績評価の方法** 年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。
- 教科書** 上野勝広『改訂版・新世紀のスペイン語』（同学社）2,500円
- 参考書等** 初回の授業で紹介しします。

履修コード	281711
科目名	スペイン語ⅠB
担当者名	<small>ましも かつひろ</small> 真下 祐一

- 講義のねらい** 世界中で用いられているスペイン語の初歩を学びます。読み書きの練習を通し文法や語彙に関する知識を少しずつ蓄えていきながら、正確な発音で生き生きとした表現ができるよう、また話し相手の言うことが確実に理解できるよう、総合的なスペイン語能力の開発を目指します。
- 講義の内容・授業スケジュール** （1～3）スペイン語圏について、文字と発音（4・5）動詞SER（6・7）動詞ESTAR（8・9）動詞HABER（10・11）指示詞、疑問詞（12～14）規則動詞（15）前期試験（16・17）不規則動詞①（18・19）不規則動詞②（20・21）不規則動詞③（22・23）所有詞（24・25）目的語代名詞（26・27）GUSTAR（28・29）再帰動詞（30）後期試験
- 履修上の留意点** 初級の授業ゆえ根気よく勉強を続ける必要があります。学習の動機を保てるよう常日頃スペイン語圏のニュースに注意していきましょう。また、大きな声ではっきりと話す習慣が身につくよう積極的な姿勢で授業にのぞんでください。毎回かならずあります。
- 成績評価の方法** 100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストの結果などで評価します。
- 教科書** 山道佳子・他『スペイン語でお願いします!』（同学社）
- 参考書等** 西和辞典を一冊。

履修コード	281721
科目名	スペイン語ⅠB
担当者名	<small>いしい のぼる</small> 石井 登

- 講義のねらい** スペイン語の基本的な文法を修得することを目的とします。
- 講義の内容・授業スケジュール** 教科書は全12課からなっており、前期は1～6課、後期は7～12課を学びます。
前期は（1）オリエンテーション（2～5）名詞、冠詞、ser、estar 動詞、形容詞など、（6～10）直説法現在の規則動詞、不規則動詞など、（11～15）目的語の人称代名詞、gustar 動詞、所有詞、指示詞、比較級・最上級など。
後期は（16～20）点過去、線過去、現在分詞など、（21～25）過去分詞、再帰動詞など、（26～30）関係詞、接続法など。
- 履修上の留意点** 授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。
- 成績評価の方法** 前期と後期の試験（50％）と出席や課題提出などの平常点（50％）で評価します。
- 教科書** 福嶋教隆『動く！スペイン語』朝日出版社 2600円 978-4-255-55023-7

履修コード	282101
科目名	スペイン語IIA
担当者名	真下 祐一 <small>ましも ゆういち</small>

講義のねらい 一年次で学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。

講義の内容・授業スケジュール (1~3) 一年次の復習 (4~9) 線過去、点過去 (10~12) 完了形、関係詞 (13・14) 前期の復習 (15) 前期試験 (16~19) 未来形、分詞、比較、再帰動詞 (20~22) 過去未来形 (23・24) 接続法現在 (25・26) 命令 (27~29) 接続法過去 (30) 後期試験

履修上の留意点 予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。

成績評価の方法 100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストなどの結果で評価します。

教科書 東京大学教養学部スペイン語部会『ディメロースペイン語初級一』(朝日出版社)

履修コード	282111
科目名	スペイン語IIA
担当者名	石井 登 <small>いしい のぼる</small>

講義のねらい すでに学んできたスペイン語文法の復習と平易な文章の読解を通じて、スペイン語力を高めます。

講義の内容・授業スケジュール 教科書は全15課からなっており、前期は1~10課、後期は11~15課を学びます。
前期は(1)オリエンテーション、(2~5)名詞、冠詞、形容詞などといった品詞と、ser, estar, hay の用法、比較級など、(6~10)直説法現在の動詞の規則変化、目的語、gustar 動詞など、(10~15)直説法現在の不規則動詞、再帰動詞、重要な動詞の用法などを学びます。
後期は(16~20)不定詞、過去分詞、現在分詞、点過去の規則変化、点過去の不規則変化など、(21~25)線過去、現在完了、過去完了、未来形、過去未来形、(26~27)接続法現在、名詞節、形容詞節、副詞節、(28~30)命令文、接続法の用法条件文などを学びます。

履修上の留意点 授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。

成績評価の方法 前期と後期の試験(50%)と出席や課題提出などの平常点(50%)で評価します。

教科書 二村久則、水戸博之、西村秀人『エクセレンテ!』朝日出版社 2300円 978-4-255-55031-2

履修コード	282121
科目名	スペイン語IIA
担当者名	大岩 功 <small>おおいわ いさお</small>

講義のねらい スペイン語Iで学習した内容を発展させ、長文読解能力を身に付けながら、スペイン語圏の生活や文化への理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 前期15回 1つの長文を2回~3回の授業で読み進めます。スペイン語Iで学習した文法項目の復習が文法学習の中心となります。
後期15回 文章を読み進める速度は徐々に速くなります。文法は点過去時制、線過去時制、未来時制、完了時制などを学習して行きます。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。

履修上の留意点 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。

成績評価の方法 前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70%、小テスト(5~6回程度)の得点=20%、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10%の割合で評価し、最終的な成績を算出します。

教科書 『やさしいスペイン語文法』大岩功著 三修社 他に長文読解用のプリント教材を教室で配布します。

参考書等 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)

履修コード	282301
科目名	スペイン語IIA
担当者名	大岩 功 <small>おおいわ いさお</small>

講義のねらい	スペイン語Iで学習したことを基に、さらに高度な文法知識を身につけ、長文読解能力を養うことをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	前期15回 再帰動詞の用法と応用、点過去時制の規則活用および不規則活用、線過去時制等を学習。 後期15回 過去分詞と完了時制、現在分詞の用法、未来時制、過去未来時制、命令法等を学習。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。 (上記スケジュールは場合により変動することがある)
履修上の留意点	必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。
成績評価の方法	前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70、小テスト(5~6回程度)の得点=20、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10の割合で評価し、最終的な成績を算出します。
教科書 参考書等	『やさしいスペイン語文法』大岩功著(三修社) 他に長文読解用のプリント教材を使用します。 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)

履修コード	282401
科目名	スペイン語IIA
担当者名	上野 勝広 <small>うえの かつひろ</small>

講義のねらい	スペイン語Iで学習した基礎(発音・文法・語彙)を確認しながら発展させるクラスです。前期は既習事項の復習にも重点を置きます。
講義の内容・授業スケジュール	下記のテキストを用いて、前期は1課~7課まで、後期は8課~14課を学習します。随時プリントも配布し、口頭および筆記の練習を追加します。 またテキスト後半の対話文を随時取り上げ、読解力と表現力の向上を図ります。 前期(1)オリエンテーション (2~5)動詞 ser, estar, hay の用法、直説法現在、など(6~10)重要な不規則動詞の用法、冠詞の使い方、など(11~15)再帰動詞の用法、直説法現在完了・点過去の用法、など 後期(16~20)線過去の用法、関係代名詞、接続法の活用、など(21~25)接続法の用法、使役および受動構文、など(26~30)直説法未来完了の用法、条件文、など
履修上の留意点	休まず遅れずきちんと授業に参加することが肝要です。授業には必ず辞書を持参すること。スペイン語本文の音読や練習問題は、指名して読んだり答えてもらいます。原則的に毎回課題があり、翌週の授業でチェックします。
成績評価の方法	年間4回のテストの結果(70%)に平常点(30%)を合わせて評価します。
教科書 参考書等	西川 喬/Ceterino Puebla『バモス』(同学社) 2,600円

履修コード	282501
科目名	スペイン語IIB
担当者名	大岩 功 <small>おおいわ いさお</small>

講義のねらい	スペイン語Iで学習した内容をさらに発展させ、簡単な新聞記事などのスペイン語の原文を読めるようになることをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	前期15回 1つの記事を2回~3回の授業で読み進めます。点過去・線過去の形と用法が文法学習の中心となります。 後期15回 記事を読み進める速度は徐々に速くなります。未来時制、完了時制、命令法、接続法の形と用法が文法学習の中心となります。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。 (上記スケジュールは場合により変動することがある)
履修上の留意点	必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。
成績評価の方法	前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70、小テスト(5~6回程度)の得点=20、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10の割合で評価し、最終的な成績を算出します。
教科書 参考書等	国本伊代著『スペイン語でニュースを読む』朝日出版社 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社) 参考書 大岩功著『やさしいスペイン語文法』(三修社)

外国語

履修コード	282511
科目名	スペイン語II B
担当者名	石井 登

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

スペイン語文法の基礎を復習し、修得することを目的とします。
教科書は全20課からなっており、前期は1～10課、後期は11～20課を学びます。
前期は、(1) オリエンテーション、(2～5) 名詞、冠詞、ser, estar などの動詞、直説法現在の規則動詞など、(6～10) 直説法現在の不規則動詞、所有詞、指示詞、比較級・最上級など、(11～15) 点過去、線過去など。
後期は、(16～20) 現在分詞、過去分詞、現在完了、再帰動詞など、(21～26) 未来形、過去未来形、命令法、関係詞など、(27～30) 接続法など。
授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。
前期と後期の試験(50%)と出席や課題提出などの平常点(50%)で評価します。
福嶋教隆 『生き活きスペイン語』 朝日出版社 2000円 978-4-255-55013-8

履修コード	282601
科目名	スペイン語II B
担当者名	大岩 功

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

スペイン語Iで学習したことを基に、さらに高度な文法知識を身につけ、長文読解能力を養うことをねらいとします。
前期15回 再帰動詞の用法と応用、点過去時制の規則活用および不規則活用、線過去時制等を学習。
後期15回 過去分詞と完了時制、現在分詞の用法、未来時制、過去未来時制、命令法等を学習。
前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。
(上記スケジュールは場合により変動することがある)

履修上の留意点
必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。

成績評価の方法
前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70、小テスト(5～6回程度)の得点=20、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10 の割合で評価し、最終的な成績を算出します。

教科書
大岩功著 『やさしいスペイン語文法』(三修社)
長文読解用の教材については、プリントを適宜用意します。

参考書等
推奨辞書宮城昇編 『現代スペイン語辞典』(白水社)

履修コード	282611
科目名	スペイン語II B
担当者名	上野 勝広

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

スペイン語Iで学習した基礎(発音・文法・語彙)を確認しながら発展させるクラスです。前期は既習事項の復習にも重点を置きます。
下記のテキストを用いて、前期は1課～7課まで、後期は8課～14課を学習します。随時プリントも配布し、口頭および筆記の練習を追加します。
またテキスト後半の対話を随時取り上げ、読解力と表現力の向上を図ります。

前期(1) オリエンテーション (2～5) 動詞 ser, estar, hay の用法、直説法現在、など (6～10) 重要な不規則動詞の用法、冠詞の使い方、など (11～15) 再帰動詞の用法、直説法現在完了・点過去の用法、など
後期(16～20) 線過去の用法、関係代名詞、接続法の活用、など (21～25) 接続法の用法、使役および受動構文、など (26～30) 直説法未来完了の用法、条件文、など

履修上の留意点
休まず遅れずきちんと授業に参加することが肝要です。授業には必ず辞書を持参すること。スペイン語本文の音読や練習問題は、指名して読んだり答えてもらいます。原則的に毎回課題があり、翌週の授業でチェックします。

成績評価の方法
年間4回のテストの結果(70%)に平常点(30%)を合わせて評価します。

教科書
西川 喬/ Ceferino Puebla 『パモス』(同学社) 2,600円

履修コード	282621
科目名	スペイン語II B
担当者名	さいとう けいみ 齊藤 明美

講義のねらい 一年次で学習した直説法現在などの基礎文法や単語を復習しながら、本年度は過去形（点過去・線過去）、現在完了形、再帰動詞などの初級文法や日常よく使われる口語表現などをDVD付きの教材やさまざまなプリントを用いて具体的なシチュエーションを通して学びます。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化共生に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテン音楽なども紹介していきます。

前期が終わるころにはスペイン語圏の友人に自分の思い出話を語ったり、簡単なEメールを書いたりすることができるようになります。後期が終わるころには短期語学留学に無理なく参加できる力がついていることでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- (1) オリエンテーション・自己紹介（一年次の復習）(1)
- (2) 第7課、過去のことを語る1（点過去の活用と用法、疑問詞、住まいについて）(2-5)
- (3) 第8課、過去のことを語る2・買い物（線過去の活用と用法、haber、文の連結、大きな数字(101〜一億)、美術館）(6-9)
- (4) 第9課、電子メールの使い方（現在分詞、hacer、季節、月、曜日、不定語、否定語など、居酒屋とタバコ）(10-14)
- (5) 中間試験(15)

後期

- (6) 第10課 パーティー（過去分詞、受動文、現在完了形、再帰動詞、誕生日と聖人）(16-19)
- (7) 第11課 ミニ観光（再帰動詞2、受動文2、命令法、関係詞、不定詞、コウノトリ）(20-23)
- (8) 第12課 テスト（接続法現在、命令文、動詞のまとめ、序数詞など、祭りと闘牛）(24-27)
- (9) 一年間のまとめ(28、29)
- (10) 定期試験(30)

履修上の留意点

スペイン語で初歩的な「読む」「聞く」「書く」「話す」技能を身につけるためには毎回の予習・復習が大切です。最初は文法や単語を覚えるのが大変ですが、きっと次第にスペイン語を使うことが楽しくなるでしょう。

**成績評価の方法
教科書
参考書等
その他**

毎回の出席、授業参加（態度、発言等）や各期末の定期試験（年2回）を総合的に評価します。
福嶋（ふくしま）『Espanol Dinámico 動く！スペイン語』朝日出版社、2600円
講義中に推薦する辞典の中から一番自分に合うものを探し、活用しましょう。
学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

履修コード	283601
科目名	ロシア語IA
担当者名	おむらたか ふみかぜ 大須賀 史和

講義のねらい 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
4) 基礎的な初等文法を学びます。
5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。

6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。4-7月は、イントネーションや発音に力点をおき、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

**講義の内容・授業スケジュール
成績評価の方法**

**教科書
参考書等**

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円＋税
『露和辞典』

履修コード	284001
科目名	ロシア語I B
担当者名	木村 英明

講義のねらい 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
 4) 基礎的な初等文法を学びます。
 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
 はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。
 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。4月-7月は、イントネーションや発音に力点をおき、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。
成績評価の方法 何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

講義の内容・授業スケジュール
成績評価の方法

教科書
参考書等

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円+税
 『露和辞典』

履修コード	284201
科目名	ロシア語II A
担当者名	木村 英明

講義のねらい 1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。
 ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。
- 4-7月 基礎文法の復習。9-12月 中等文法の学習、講読力を高める。出席と平常点を重視します。

成績評価の方法
教科書
その他

『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年次に使用した教科書と文法表。
 プリント配布。教場にて指示します。

履修コード	284301
科目名	ロシア語II A
担当者名	杉山 秀子

講義のねらい 1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月-7月
- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- 9月-12月
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。
- 出席と平常点を重視します。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

『やさしいロシア語読本』(杉山秀子他著)(大学書林)、一年次に渡した文法表。
 露和辞典
 プリント配布。教場にて指示します。

履修コード	284401
科目名	ロシア語ⅡB
担当者名	木村 英明 <small>きむら ひであき</small>

講義のねらい 正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。
 さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

- ・アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- ・日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- ・やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- ・かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- ・中等文法のエッセンスを勉強をします。
- ・4月～7月 基礎文法の復習。9月～12月 中等文法の学習、講読力を高める。

成績評価の方法 平常点で評価します。

教科書 『やさしいロシア語読本』(大学書林)。1年で使用した教科書、および1年のときに渡した文法表。

その他 プリント配布。

履修コード	284501
科目名	ロシア語ⅡB
担当者名	佐野 朝子 <small>さの あさこ</small>

講義のねらい 正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。
 さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。
- 4～7月 基礎文法の復習。9～12月 中等文法の学習、読解力を高める。

成績評価の方法 平常点で評価する。

教科書 『やさしいロシア語読本』(大学書林)を使用します。

その他 プリント配布。

履修コード	291501
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	大瀧 利春 <small>おほたけ としはる</small>

講義のねらい 英作文能力の向上を目指す。
 講義の内容・授業スケジュール 具体的には、以下のペースでテキストを読み進めていく。Unit1 (1～3)、Unit2 (4～5)、Unit3 (6～7)、Unit4 (8～9)、Unit5 (10～11)、Unit6 (12～13)、Unit7 (14～15)、Unit8 (16～17)、Unit9 (18～19)、Unit10 (20～21)、Unit11 (22～23)、Unit12 (24～25)、Unit13 (26～27)、Unit14 (28～30)

履修上の留意点 予習をしてくること。辞書をもってくること。
 成績評価の方法 前後期試験50%、日常点(出席率、授業参加度等)50%で評価する。
 教科書 Keiichiro Fukui『基礎からはじめる英作文』成美堂 1900円 ISBN978-4-7919-1087-8

履修コード	291601
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	山口 晃 <small>やまぐち あきら</small>

講義のねらい 英語を使って自分の考えを表現するための基本的な練習をめざす。
 講義の内容・授業スケジュール 毎回の授業では、正確な発音と英作文の練習を行なう。毎回十名前後の学生がこの練習を行なう。
 履修上の留意点 辞書は毎回かならず持ってくること。
 遅刻は成績評価に関係してくるので注意すること。
 成績評価の方法 出席、発表、レポートの三つで成績評価を行う。遅刻すると発表の機会が失われるので注意すること。
 授業中の発表を非常に重視するので、毎回の授業に何よりも集中することが評価につながる。
 教科書 毎回、プリントを配布する。

履修コード	291701
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	伊藤 美代子 <small>いとう みよこ</small>

講義のねらい 文法を中心に、学生の Reading, Writing, Listening, Speaking の四つのスキルを総合的に延ばすことを目的とする。できるだけすべての学生が毎回英語を口にし、エクササイズに参加するよう留意する。
 講義の内容・授業スケジュール 原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明は日本語で行う。
 履修上の留意点 予習が絶対条件である。半期に、4回以上欠席したのものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。
 成績評価の方法 各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、平常点、小テスト、提出物等により計算する。
 教科書 「コミュニケーションのためのベーシック・グラマー」山本厚子他(成美堂、¥1,900)

履修コード	291801
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	岩井 洋美 <small>いわい ひろみ</small>

講義のねらい 自分のことや身近なことを話したり書いたりできるようにする。
 講義の内容・授業スケジュール テキストに沿って毎週1課ずつ進めていきます。あいさつから旅行、会社内の会話など日常やビジネスで用いる語句表現を学びながら最低限必要な文法を確認していきます。
 履修上の留意点 欠席遅刻の多い学生や授業参加を好まない学生は単位を得ることができません。就職活動で欠席する学生もその度に必ず連絡のこと。
 成績評価の方法 出席授業態度 前期・後期試験 クラス内小テスト スピーキングテスト
 教科書 津村修志他 GOOD JOB 金星堂 1950円+税

履修コード	291901
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	<small>いひぬま よしなが</small> 飯沼 好永

講義のねらい 日本語と英語の文章構造の違いを重視しながら、日常生活の様々な事柄を一つの短文から次第に複数の短文で表現できるようにしていきます。

講義の内容・授業スケジュール 基本的な英語の文法を踏まえ、日本語と英語の基本的な仕組みの違いを理解しながら、英作文の練習を行っていきます。テキストの各 Unit とプリントを2週単位で進みます。

履修上の留意点 予習を忘れずに、積極的に取り組んでください。

成績評価の方法 成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行います。

教科書 登美博之／Gordon Bateson 編著 English Writing Using Everyday Expressions
朝日出版社、1785円 ISBN 978-4-255-15456-5

履修コード	292001
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	<small>まちだ しげお</small> 町田 成男

講義のねらい 英語による意思伝達：入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。

講義の内容・授業スケジュール 1. テキストと英語の話し、2. Lesson1、3. Lesson2、4. Lesson3、5. Lesson4、6. Lesson5、7. Lesson6、8. Lesson7、9. Lesson8、10. Lesson9、11. Lesson10、12. Lesson11、13. Lesson12、14. Lesson13、15. 試験
16. Lesson14、17. Lesson15、18. Lesson16、19. Lesson17、20. Lesson18、21. Lesson19、22. Lesson20、23. Lesson21、24. Lesson22、25. Lesson23、26. Lesson24、27. Lesson25、28. Lesson26、29. Lesson27、30. 試験

履修上の留意点 辞書を持参すること。

成績評価の方法 出席・発表・試験の総合評価

教科書 未定

履修コード	292301
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	<small>とのいけ かずこ</small> 外池 一子

講義のねらい 高校までに学習した英語の知識を復習しながら、現在の世界が直面する問題などに関する英文をたくさん読み、構文を理解する力や語彙力をつけていきます。
また、ニュースになったり話題になったテーマを取り上げますから、自分の意見を英語で表明できるようになることも目指します。

講義の内容・授業スケジュール テキストに従って、毎週1課を終るようにします。
また、関連する英字新聞の記事なども、適宜取り上げていきます。

履修上の留意点 必ず予習をして出席すること。予習をしていない場合は出席とは認めません。
CALL教室を使用する場合がありますから、最初の授業でユーザーIDとパスワードをできるようにしておくこと。

成績評価の方法 平常点30％、春・秋学期の期末試験70％。(授業内に小テストを行う場合は、期末試験の成績に加味します。)なお、出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書その他 開講時に指示します。
日頃から新聞を読んだり、ニュースを聞いたりして、日本そして世界が直面するさまざまな問題に目を向け、考える習慣を身につけて下さい。

履修コード	292601
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	太田 由紀子

講義のねらい 語彙や構文に対する理解を深め、自らの英語表現力を高めてゆく。言語を通し、英国から米国へ移民した男の自伝を通し、映画を通して、英語圏の文化に親しんで貰いたい。

講義の内容・授業スケジュール アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの映画を鑑賞しつつ、その粗筋や関連する自伝（音声テープ付）の一部を読む。聴く、読むの作業を通して、自らこれを再現する能力を身につけたい。前期は『偽牧師』、『黄金狂時代』など、後期は『独裁者』、『殺人狂時代』、『ライムライト』などを鑑賞する。

履修上の留意点 毎回の授業に参加し、作業をすることが実力向上につながる。そう心得てほしい。

成績評価の方法 授業時の応答および小テスト、そして前期・後期の最終授業日に実施する試験結果を総合する。

教科書 未定

参考書等 安井絵『英文法総覧』（開拓社）江川泰一郎『英文法解説』（金子書房） Charles Chaplin 著 My Autobiography (Penguin Modern Classics Non-Fiction) チャールズ・チャップリン『チャップリン自伝』中野好夫訳（新潮文庫 上・下巻に分冊。下巻は絶版）

履修コード	292701
科目名	英語IA〔再クラス〕
担当者名	手島 敬子

講義のねらい 本授業は、正しい英語力を身につける上で不可欠な基本的な英文法の確認を行いながら、実際の生活の中で活用できる自然で正確な「ライティング」力の習得を図ります。

講義の内容・授業スケジュール 前期
第1回 ガイダンス
第2回以降 Unit1～Unit10 まで毎回1課ずつ進めて行く予定です。
前期授業最終日 前期試験
後期
第1回 前期試験答案返却
第2回以降 Unit11～Unit20 まで毎回1課ずつ進めて行く予定です。
後期授業最終日 後期試験

履修上の留意点 原則として2/3以上授業に出席すること。
遅刻しないこと。(原則として30分以上の遅刻は欠席扱い)
課題は必ず期限を守って提出すること。
辞書は必ず持参すること。

成績評価の方法 前期試験、後期試験、課題、出席状況、授業への参加度等に基づき総合的に評価します。

教科書 村田和代 太谷麻美『基本文法からはじめる発信型英作文 改訂新版』マクミラン ランゲージハウス ¥1,890

その他 授業、成績等に関する質問、相談は遠慮なく早めに。
まずは授業に出席しましょう！

履修コード	293201
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	三芳 康義

講義のねらい TOEICのような学外の英語検定試験に出題される文法事項を確認しながら、実用英語の総合的な運用能力の向上を目指します。また、日常会話に用いられる慣用句を適宜練習します。

講義の内容・授業スケジュール 前期は基本的な英文をじっくり読みながら、そこに出てくる文法や語法を確認する。後期はさらにペースを上げながら、英語の速読・多読と共に、多種多様な英文の講読に重点を置いて授業を進める。

履修上の留意点 授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとるので、積極的な授業参加を求めます。英語の辞書は必ず持参のこと。

成績評価の方法 授業中の口頭発表、出席率、小テスト（4回から6回）などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教科書 Mary Lee Wholey著、Eden Brough編著、New Reading Matters 2、出版社セーゲージ ラーニング ISBN9784863120488、定価1890円

履修コード	293401
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	あんざい かおる 安齋 薫

講義のねらい Reading, Listening 能力向上とともに、バランスよく英語運用能力を習得する。
 講義の内容・授業スケジュール 第1回 Introduction
 その後は2回で1章ずつ進めていく。
 履修上の留意点 予習をしてくること。
 成績評価の方法 出席状況(2/3以上の出席が原則)前後期試験、レポートで評価
 教科書 English with Hit Songs (成美堂) ¥1700+税 ISBN4-7919-4581-6

履修コード	293601
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	はまぐち まさき 濱口 真木

講義のねらい 英語の読解力と表現力の一層の向上を目指す。
 講義の内容・授業スケジュール 文化、社会、政治、経済、教育等の分野のニュースを取り上げてテキストを読みすすめる。 Blogging Granny ~ Cat lovers, Unite! (1~14)、Practice Makes Perfect! ~ Food Mileage (15~30)。
 成績評価の方法 出席や発表などの平常評価(50%)、前期・後期試験(50%)の総合評価。
 教科書 Insights 2009 (金星堂) 1900円 ISBN978-4-7647-3872-0

履修コード	293901
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	しらとり よしのぶ 白鳥 義博

講義のねらい せっかくの再履修なので、将来なにか実践的に役立つ勉強をして見ませんか?この講座では、TOEICテスト対策用の問題集を使って、高校までに学習した英語力(読解、文法、聴き取り)を高めるさまざまな練習を行います。TOEICは現代社会のさまざまな分野で求められる英語力をテストするハードな試験ですが、明確な目的意識をもち、発想の転換の転換を図れば、決して恐れるには値しません。
 講義の内容・授業スケジュール 前期:(1)ガイダンス(2~14)ひとつのUnitに2・3回かけてテキストを進める(15)前期末試験、後期:(15~28)テキストを進める(29)総復習(30)後期末試験 *その他、必要に応じて小テストや中間テストをおこなう予定。
 履修上の留意点 テキストの問題をスピーディーに進めますので、慣れない最初のうちは大変かもしれません。しかし、そこをなんとか乗り越えてほしいです。実践的な授業内容になりますので、やる気のない学生に対しては厳しい態度でのぞみます。ご注意ください。
 成績評価の方法 平常点と出席状況、および授業内の試験の結果などから総合的に評価する。受講態度(課題へのとりくみの熱意)と出席状況を特に重く見るつもり。
 教科書 『ステップ式TOEICテスト総合演習』(南雲堂、2009年) ¥1,900+税

履修コード	294001
科目名	英語IB〔再クラス〕
担当者名	かわさき えみか 川崎 笑佳

講義のねらい 入学時の読解能力を基礎として、listening と speed reading の上達および英語長文の正確な内容把握を目標とする。授業は基本的にテキスト中心に行う予定であるが、学生の希望や必要に応じて他の教材を使用することも考慮に入れている。
 講義の内容・授業スケジュール (1)プリント使用の授業(2)~(3)Arts & Amusement(4)~(5)Lunch & parties(6)~(7)Medicine & Health(8)~(9)Traffic & Travel(10)~(11)Ordering & Shipping(12)~(13)Factories & Production(14)プリント使用の授業(15)試験(16)プリント使用の授業(17)~(18)Research & Development(19)~(20)Computers & Technology(21)~(22)Employment & Promotions(23)~(24)Advertisements & Personnel(25)~(26)Telephone & Messages(27)~(28)Banking & Finance(29)プリント使用の授業(30)試験
 履修上の留意点 学生全員が予習していることを前提として授業を進める。
 成績評価の方法 3分の2以上の出席と授業態度(発表を含む)、前期、後期末の試験結果をもとに総合的に評価する。
 教科書 大須賀直子 塚野壽一 山本厚子 Robert VanBenthuyzen 『Essential Approach for the TOEIC Test TOEIC テストへのニューアプローチ』(成美堂) 2100円

履修コード	294101
科目名	英語I B〔再クラス〕
担当者名	岩原 康夫

講義のねらい
講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

読解を通して英語特有の論理的な思考と表現を学ぶ。
パラグラフを構成する論理性や表現を学び、文脈の中での読解力を養う。前期はテキストの1～3章(2～7)と4～7章(8～15)、後期は8～11章(1～9)と12～15章(10～15)の予定で授業を進める。
予習、発表、質問、課題などは平常点として考慮される。なおこのクラスは再履修であるので、必要な場合には個々の学生に対応した指導を行う。
前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。
Edward Hoffman, Words of Wisdom for a Successful Life (朝日出版) 1700円 ISBN978-4-255-15467-1 C1082

履修コード	294201
科目名	英語I B〔再クラス〕
担当者名	近藤 真彫

講義のねらい
講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

英文ニュース記事を読みながら、時事英語の読解力、語彙力をつけ、その内容について英語で意見が述べられるようになることを目指します。
【前期】第1週：ガイダンス 第2,3週 英文記事の読み方 第4～13週：ジャンル別に記事を読みながら、センテンスで意見を述べる練習を行ないます。第14,15週：復習
【後期】第1週：前期試験の解答 第2～13週：その時々話題になっている記事を読み、それについての自分の意見をパラグラフで述べる練習を行ないます。第14,15週：復習
授業には必ず辞書を持参してください。
前期と後期の定期試験の成績(50%)と平常点(50%)を総合して評価します。
ハンドアウトを配布します。

履修コード	294211
科目名	英語I B〔再クラス〕
担当者名	江田 幸子

講義のねらい
講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

I (B)の再履修であるこのクラスは、高校終了時までの基礎がしっかりと修得されていないことが考えられます。英文を読解するための基礎を再度確認・学習して、読解の基礎力をつけることがこのクラスの目標です。
より高度な英文を読むためには、基礎がしっかりと修得されていることが必須条件です。このクラスでは、まず、平易な名文で書かれた比較的短い英文を、余裕を持って楽しく読み、英語の基礎的な文法や表現方法を再学習します。易な英語で書かれていれば、基礎的な構文も理解・修得し易いはず。易しい英語を繰り返すことで英語表現に馴染むようにします。
授業の進め方は次のプロセスに従って行います。：(1) 語彙の確認(2) 読解：音読と内容理解(3) 必要な文法事項の再学習(4) 聴解：読解した本文を、音声から理解する。このクラスでは、音読をしっかり行います。声にだして発音することで、構文の理解がより効率的に促され、言葉も記憶に残りやすくなります。
学習する態勢を整えて(テキストや辞書、ノートなどを持参)授業に臨んで下さい。英語は繰り返し学習することで修得される学科ですので、基礎を固めるためには、休まず授業を受けることが大切です。出席を重要視するクラスになりますが、出席は学習することが前提なので、出席さえすればいい、と言う考えは捨てて下さい。
前期・後期に定期的に行う筆記試験、クラス内で適宜行う小テストなどの素点評価で平均点60点以上が及第点。平常点を筆記試験と同じ比率で評価します。平常点とは、授業中の発表、努力する姿勢、熱心度など。特に、このクラスは出席率を重要視しますが、出席率を点数としては出しません。出席率が学習意欲と結びついている場合のみ、素点評価とは無関係に平常評価の対象になります。
未定

履修コード	294601
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	太田 美智子

講義のねらい コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 英語の歌を素材として、様々な表現を幅広く学ぶ。広範な基本フレーズを覚えることにより、状況に合わせて応用できる基礎力を培うべく、多くの表現方法を身につける。
1章につき2回で進めてゆく予定であるが、それには予習が欠かせない。

履修上の留意点 必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。積極的な授業参加を高く評価する。欠席は年間授業回数数の3分の1まで。

成績評価の方法 平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。

教科書 角山照彦著 Power of Love センゲージラーニング 2100円 ISBN978-4-86312-034-1

履修コード	295001
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	埴 美智子

講義のねらい より高度な英語の運用能力を身につける。自分の考えを表現するために必要な英語力を読みを通して文章表現、会話表現へとステップアップする。

講義の内容・授業スケジュール テキストを中心に英語力を高めることを目標に様々な話題や出来事について関心を抱き、それらに対する意見を英語で表現する術を学んでいく。

履修上の留意点 出席は大切なので重視します。日ごろの学習が欠かせないのでホームワークも大切になります。

成績評価の方法 出席重視。レポート提出、小テスト、授業態度、定期試験の総合点で評価します。

教科書 'What Should We Think About?' — Reading & Writing
「表現力を磨くためのリーディング&英作文」

参考書等 その都度、黒板に板書します。

その他 欠席はなるべく避けましょう。

履修コード	295101
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	小泉 和弘

講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス (2-3) Chapter 1 (4-5) Chapter 2 (6-7) Chapter 3 (8-9) Chapter 4 (10-11) Chapter 5 (12-13) Chapter 6 (14) ビデオ (15) 試験 (16-17) Chapter 7 (18-19) Chapter 8 (20-21) Chapter 9 (22-23) Chapter 10 (24-25) Chapter 11 (26-27) Chapter 12 (28-29) ビデオ (30) 試験

成績評価の方法 試験50% 出席率および授業態度50%

教科書 Life and Health —生活と健康— (鳳書房)

履修コード	295301
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	川崎 浩太郎

講義のねらい IAを基礎としてさらに高度な英語運用能力の向上を目的とする。最終的には数パラグラフからなるエッセイで自分の意見を具体的かつ論理的に表現できるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール 具体的には、テキストをもとに、パラグラフを書く手順、パラグラフの基本構成、論理展開等を学習した後で、エッセイライティングをおこなってもらいます。また、口語表現の学習のため、TOEICのリスニングなどもおこなう予定です。

履修上の留意点 (1)オリエンテーション (2~15) Unit1~6 (15~30) Unit7~13

成績評価の方法 毎時間必ず辞書を持ってくること。
出席点、発表点50%、授業中のレポート50%。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書 石谷由美子/エマ・アンドルース『Skills for Better Writing (Revised Edition) —構造で書く英文エッセイ(改訂版)』 南雲堂 ¥1995 ISBN978-4-523-17604-6

履修コード	295401
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	佐藤 江里子

講義のねらい IAを基礎とし、より高度な英語（Writing/Speaking）の運用能力を身につける。テキスト中心に、演習形式で授業を進めていく。その他に補足プリントを配布し、TOEIC等の各種検定にも対応できる英語力の習得をめざす。

講義の内容・授業スケジュール (1)小テスト、(2～6)Unit1-5、(7)確認テスト①、(8～12)Unit6-10、(13)確認テスト②、(14～18)Unit11-15、(19)確認テスト③、(20～24)Unit16-20、(25)確認テスト④、(26～30)文法のまとめと自由英作文。

履修上の留意点 必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないで注意すること。
出席日数が全授業日数の3分の2以上に達していない場合は、定期試験を受ける資格を失い、評価の対象から外れるので十分に注意すること。

成績評価の方法 年2回の定期試験（50％）と小テスト、提出物、発表などの平常点（50％）から総合的に評価する。特に、出席状況や授業態度を重視する。

教科書 『スヌーピーと覚える日常表現』（朝日出版社）1,700円＋税

履修コード	295501
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	梅原 敏弘

講義のねらい 英語を読み・書き・話すために必要な実践的な英文法の知識の習得を目指します。

講義の内容・授業スケジュール 教科書に基づいて、英語の理解・運用に不可欠な文法項目を勉強します。教科書は練習問題が豊富で、一年間の授業でその全てをこなすことは難しいので、重要と思われる文法項目を取捨選択して取り上げ、学習していくことにします。この教科書は日本人英語学習者を特に念頭において書かれたものではありませんので、日本人学習者が苦手とする文法項目や犯しやすい過ちには特に留意しながら、授業を進めていく予定です。取り上げる文法項目は開講時に指示します。

履修上の留意点 練習問題はアットランダムにあてますので、全員しっかり予習してきてください。

成績評価の方法 成績評価は、前期・後期の学期末に行う授業内試験と、出席、予習のしぐあいを総合的に勘案して行います。

教科書 Raymond Murphy, *Grammar in Use(Intermediate), second edition*, (Cambridge)

参考書等 江川泰一郎「英文法解説」(金子書房)
正保富三「英語の冠詞がわかる本」(研究社出版)

履修コード	295601
科目名	英語IIA〔再クラス〕
担当者名	笹倉 貞夫

講義のねらい 近年ますます国際化していく現代社会に即応しうる国際感覚の育成とともに英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・授業スケジュール (1～5) AMAZING ANIMALS, (6～10) YOUR AMAZING BODY, (11～14) OUR AMAZING UNIVERSE, (15) テスト, (16～20) AMAZING FIRSTS, (21～25) AMAZING ACCOMPLISHMENTS, (26～29) AMAZING ODDS & ENDS, (30) テスト

履修上の留意点 予習・復習重視、辞書持参。

成績評価の方法 前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

教科書 M.Vogel『珍しい事実・記録のビッグブック』（太陽社）¥1,400

履修コード	295801
科目名	英語IIB〔再クラス〕
担当者名	濱口 真木

講義のねらい 文法・構文を重点的にチェックしつつ、テキストの内容をより速く正確に読みとる能力の向上をはかる。

講義の内容・授業スケジュール 環境問題や文化、教養、ビジネス等をテーマとしてテキストを読みすすめる。Hibari Misora ～ Rice (1～10)、Ecocircle ～ Anti-cancer Diet (11～14)、Postal System Privatization ～ Bioethanol (15～24)、TV Viewer Ratings ～ Pachinko (25～30)。

成績評価の方法 出席や発表などの平常評価（50％）、前期・後期試験（50％）の総合評価。

教科書 ECO-INNOVATION AND PROSPERITY (南雲堂) 1900円 ISBN978-4-523-17598-8

履修コード	295901
科目名	英語II B〔再クラス〕
担当者名	<small>ゆきひろ たいぞう</small> 行廣 泰三

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

この授業では、総合的な観点から英語の基本的な技能が習得できることを目指します。

- 第一回目では、プリテスト
- 第二・三回目では、The Polar Bear
- 第四・五回目では、The Hippotamaus
- 第六回目では、小テスト
- 第七・八回目では、How can a plant kill?
- 第九・十回目では、How do many Hearing-Impaired people talk?
- 第十一回目では、小テスト
- 第十二・十三回目では、The Date Palm
- 第十四回目では、Oranges
- 第十五回目では、前期のまとめとテスト
- 第十六回目では、前期の復習
- 第十七・十八回目では、Blues and Jazz
- 第十九・二十回目では、Latin music and Salasa
- 第二十一回目では、小テスト
- 第二十二・二十三回目では、Work Clothes
- 第二十四・二十五回目では、The Ainu of Japan
- 第二十六回目では、小テスト
- 第二十七・二十八回目では、The Yanomami of the Amazon
- 第二十九回目では、The Hopi of Arizona
- 第三十回目では、後期のまとめとテスト

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

復習と予習をしっかりと下さい。
小テスト55% 期末30% 出席15%

編著者 柳浦 恭『納得する英文解釈再入門』センゲージラニング(株) ¥1700+税 ISBN978-4-86312-109-6C3082

外国語

履修コード	296201
科目名	英語II B〔再クラス〕
担当者名	<small>たかの ひでお かい かつこ</small> 高野 秀夫・甲斐 捷子

講義のねらい

ニューヨークで収録されたABC放送の定評あるニュース番組をビデオで学び、英語の運用能力を高めることがこの授業の目的です。言葉の面白さはもちろん、人とのコミュニケーションのあり方、また、アメリカ文化についても学べるでしょう。

講義の内容・
授業スケジュール

再履修者のためのやさしい教材を、あえて使わないことで、力をつけていただこうと思っています。全15章の内、7章を前期に、残りの後半8章を後期に学びます。授業のスピードも早いので、履修したら最後、頑張るしかありません。

履修上の留意点
成績評価の方法

小テストがありますから、まず、授業を休まないことです。一応の目安として、平常評価としての出席10%、小テスト30%、中間・定期試験各30%の総合評価とします。

教科書

ABC World News 11 Shigeru Yamane/kathleen Yamane 著 金星堂 ¥2,300 ISBN: 978-4-7647-3869-0

参考書等
その他

特になし。
特になし。

外国語

履修コード	296301
科目名	英語II B〔再クラス〕
担当者名	佐藤 江里子

講義のねらい	IB (Reading/Listening Comprehension) を基礎として、多読・速読をめざす。テキスト中心に、演習形式で授業を進めていく。その他に、補足プリントを配布し、基礎からTOEIC等の各種検定にも対応できる英語力の習得をめざす。
講義の内容・授業スケジュール	(1)小テスト、(2～4)Unit1,2、(5～7)Unit3,4、(8～10)Unit5,6、(11～13)Unit7,8、(14～16)Unit9,10、(17～19)Unit11,12、(20～22)Unit13,14、(23～25)Unit15,16、(26～28)Unit17,18、(29～30)Unit19,20
履修上の留意点	必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。授業中に、私語をしたり、寝ている場合は出席とみなさないで注意すること。 出席日数が全授業日数の3分の2以上に達していない場合は、定期試験を受ける資格を失い、評価の対象から外れるので十分に注意すること。
成績評価の方法	年2回の定期試験(50%)と小テスト、提出物、発表などの平常点(50%)から総合的に評価する。特に、出席状況や授業態度を重視する。
教科書	『エコインベーションと繁栄』(南雲堂)1,900円+税

履修コード	296501
科目名	英語II B〔再クラス〕
担当者名	丸小 哲雄

講義のねらい	題材は日本文化論。読みと表現の総合英語。速読ができるようにパラグラフの構成のあり方とそのコメント力を涵養しながら、語彙を増やし英語のヴァリエーションに留意し、速読の要領も捉えるように目指します。
講義の内容・授業スケジュール	ウォーミングアップとしてリスニング・タイム(授業の始めに毎回10分間程度)とし、文構造の作成の仕方に留意し、コメント力を養成していきます。 ・授業スケジュール 第1回 Introduction 第2回～第5回 Smaller Is Better:Four Examples 第6回～第8回 The Fan—Fold It, Hold It, Bring It Closer 第9回～第12回 The Anesama Doll—Take away and pare down 第13回～第15回 The Well-Stuffed Box Lunch—Pack It In 第16回～第18回 Reductionism Today 第19回～第21回 Transistors Reflecting the Japanese Spirit 第22回～第23回 Reductionism and Management 第24回～第25回 The Robot and Pachinko 第26回～第27回 Expansionism and the Japan of Today:The Samurai Merchant 第28回～第29回 A Fear of Open Spaces 第30回 The Handtruck and the Raft
履修上の留意点	質問や発表は評価の対象となりますので、予習・復習がこのクラスの前条件です。
成績評価の方法	出席率、平常テスト、レポート作成課題(開講時に指示)、前期・後期の試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価します。
教科書	・ Listening Time:TOEIC Test Fundamentals 南雲堂 ISBN978-4-523-17533-9 ・ Reading Time:The Compact Culture 英宝社 ISBN978-4-523-17533-9
参考書等	参考資料等を随時指示し、日常英語のプリントや時事英語ニュースのコピーも配布します。

履修コード	296901
科目名	英語II B〔再クラス〕
担当者名	^{ほんま としかず} 本間 俊一

講義の内容・ 授業スケジュール	教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、学習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。
履修上の留意点	毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。
成績評価の方法	前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。
教科書	Checknote For Business Trends (金星堂) 1,100円 ISBN4-7647-3717-5

履修コード	297101
科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕
担当者名	^{なにはし うきよう} 本橋 右京

講義のねらい	伝統的な配列にしたがってドイツ語初級文法を学びます。やさしい例文にできるだけ多くあたり、ドイツ語の基本的な語彙や構造を習得します。
講義の内容・ 授業スケジュール	文法をアルファベット、発音から復習します。ドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに毎時間配布する練習問題で理解を確実なものにします。
履修上の留意点	予習・復習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。
成績評価の方法	前期・後期の試験60%、出席率と授業参加度40%。
教科書	諏訪田 清著『新訂・ドイツ文法18歩』(同学社) 2004年刊 2300円+税 ISBN8102-0839-7

履修コード	297201
科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕
担当者名	^{しま とみえ} 志真 斗美恵

講義のねらい	さまざまな理由でもう一度ドイツ語IAを再履修することになった方たちのクラスですが、編入等ではじめてドイツ語に触れる方もおいでです。全員が、気持ちを新たにドイツ語に取り組んでいきましょう。新しい言葉を学び、未知の文化に触れていくことは楽しいことです。無理なく、一步一步進めるよう、やさしいテキストをつかい、ドイツ語の知識を確実なものにしていきます。
講義の内容・ 授業スケジュール	ABCからはじめて、ドイツ語の初級文法を学習します。文法だけでなく、CDを使い、聞き取りや簡単な会話の練習もしながら、初級ドイツ語を習得していきます。前期は、7課分離動詞まで、後期で、14課接続法まで終えます。
履修上の留意点	ドイツ語は決して難しくはありません。きちんと法則にしたがって構成されています。積み重ねが大事です。欠席をするとわからなくなるのは当然ですので、必ず出席してください。
成績評価の方法	前期・後期試験および平常点(毎回その日の授業内容の復習練習をし点検します)で総合的に評価します。
教科書	春日正男・松澤淳著、『怖くはないぞドイツ文法』、朝日出版社、2400円+税、ISBN978-4-255-25323-7C1084

外国語

履修コード	297401
科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕
担当者名	<small>たけだ としかつ</small> 武田 利勝

講義のねらい 1年間のドイツ語文法の学習を通じ、ドイツ語検定4級～5級程度の力を身に付けてもらいます。学習内容は初歩的な文法に留まりますが、どの学習事項も、これから自分でドイツ語を話したり読んだりする時の重要な「引き出し」になります。

講義の内容・授業スケジュール (1)オリエンテーション、ドイツ語学習の目標設定 (2～3)発音の練習 (4～6)動詞の変化、その1 (7～10)名詞の格変化のいろいろ (11～15)数詞、疑問詞、前置詞など (16～20)動詞の変化、その2 (20～23)接続詞、受動文、否定詞など (24～26)形容詞、序数 (27～28)関係代名詞と関係文 (29～30)非現実話法、まとめ

履修上の留意点 外国語の学習は継続と積み重ねが命ですから、復習は絶やさないこと。もちろん、出席し続けること！ とはいっても、チームワークを重視した授業になりますので、ただ出席するだけでなく、積極的に参加することが望まれます。楽しく真剣な授業になるように、協力しあいましょう。

成績評価の方法 各学習事項についての小テスト、また学期末テストのスコアに加え、出席状況および課題提出状況も評価の対象とします。

教科書 未定

履修コード	297411
科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕
担当者名	<small>のじま としあき</small> 野島 利彰

講義のねらい ドイツ語は英語と比べると覚える文法事項が多いのですが、それを避けている限り、ドイツ語は理解できません。少し努力すれば後が楽です。

講義の内容・授業スケジュール 練習問題を中心に授業を進めます。

履修上の留意点 外国語学習には予習復習が重要です。授業の前には必ず予習しておいて下さい。

成績評価の方法 出席回数、小テスト、七月と一月の試験の成績、および授業中、練習問題や質問にどれだけ答えたかが成績評価の基準になります。

教科書 大岩信太郎著『快速ドイツ文法』、朝日出版社、2100円。

その他 慣れるためにテレビやラジオのドイツ語講座も利用して下さい。

履修コード	297501
科目名	ドイツ語IB〔再クラス〕
担当者名	<small>いらいつか きみお</small> 飯塚 公夫

講義のねらい 正規の授業と同じで、ドイツ語の基本をやっていきます。発音・文法の理解・内容の読み取りが中心となります。

講義の内容・授業スケジュール 教科書通り、文法説明・発音練習・練習問題・文章の読解という手順でやっていますが、練習問題に重点が置かれます。

履修上の留意点 語学の勉強は大変日常的な事柄と密着していますが、未知の外国語である以上、自己の日常べったりでは、理解に至りません。辞書の引き方からして、ただ持っていればことばがわかっている人が多いようですが、引き方を知らなければ目的の単語に到達しませんし、また到達しても、考えなければ、意味のわかることばにはなりません。大変な作業です。「暗記物」ではありませんので、心してください。辞書必携。

成績評価の方法 前期後期各一回の筆記試験と平常点(=発表点)。

教科書 萩野蔵平他著『ドイツ文法 型から型へ』(朝日出版社)2,300円

履修コード	297601
科目名	ドイツ語IB〔再クラス〕
担当者名	<small>すぎもと まさとし</small> 杉本 正俊

講義のねらい ドイツ語に再チャレンジする人々にも、初めて学ぶ人々にも、ドイツ語を学ぶ楽しさを知って頂きたい。基礎的な知識を初めから丁寧に学びつつ、ドイツ語を学ぶ土台を築いて頂きたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール 所定の教科書に従って一年間の授業を進める。発音を重視し、教科書の文や練習問題は必ず発音してもらい、また添付CDを聴いてネイティブ・スピーカーの発音を確認する。

履修上の留意点 予習は必ずしも必要ではないが、与えられた課題はしっかりと行い、授業を有効に活用して実力を付けて頂きたい。

成績評価の方法 きちんと授業に参加しているかどうかを評価します。年度末試験も評価の基準になる。

教科書 関口一郎著『ハロー・ミュンヘン・ノイ』 白水社¥2200

履修コード	297801
科目名	ドイツ語I B〔再クラス〕
担当者名	^{やました} 藪下 ^{こういち} 紘一

講義のねらい 困難に思えるドイツ語を、何とか理解してもらいたい。
 講義の内容・授業スケジュール 1 講目第1 課～30 講目第10 課まで、各課に授業3 回をかけて、とにかくわかるまで教える。
 履修上の留意点 今年こそ単位をとるぞと頑張ってもらいたい、出席重視。
 成績評価の方法 成績は、前・後期各1 回の試験（50 点満点）を実施。教わったとおりに答えて下さい。平常点も加味する。
 教科書等 佐藤ほか著『新ドイツへ行ってみませんか』郁文堂（2500 円＋税）
 参考書等 辞書だけは持って来る事。

履修コード	297901
科目名	ドイツ語I B〔再クラス〕
担当者名	^{みなみ} 南 はるつ

講義のねらい 会話表現、文法事項に関する比較的容易な問題を解くことによって初級文法の基礎を身につけるとともに、ドイツ文化についても学びます。
 講義の内容・授業スケジュール 前期：発音、冠詞類、動詞の現在人称変化、前置詞、命令形
 後期：助動詞、複合動詞、接続詞、過去形・現在完了形、形容詞
 履修上の留意点 出席を重視します。
 成績評価の方法 夏休み後に行う中間試験、後期試験、平常授業時間中に行う小テスト、平常点、出席状況を総合して評価します。
 教科書 小野寿美子・中川明博・西巻丈児著『ドイチュ プラヴォー！ プラスアルファ』朝日出版社
 ¥2400＋税 ISBN:978-4-255-25310-7 C1084
 参考書等 随時紹介する他、授業に必要な練習問題等のプリントを配布します。

履修コード	298001・298002
科目名	ドイツ語II A〔再クラス〕 ドイツ語II B〔再クラス〕
担当者名	^{もり} 森 ^{こうせい} 公成

講義のねらい 文法を最初から学びなおし、ある程度の読解力を身につける。
 講義の内容・授業スケジュール 一年をかけて、下記の教科書を終わらせます。最初はゆっくりと進めますが、じょじょにスピードアップをはかります。
 履修上の留意点 授業への積極的な参加を希望します。遅刻と早退は2 回で1 回休みとみなします。なお遅刻は30 分以内のみ認めます。3 分の1 以上休んだ場合は原則として定期試験の成績いかに関わらず、単位の修得ができませんのでくれぐれも注意してください。
 成績評価の方法 定期試験（年2 回）、出席率、夏期休暇中の課題、授業態度等から総合的に判断、評価します。
 教科書 小塩節著『ドイツ こころの旅』（朝日出版社）2,200 円

履修コード	298101・298102
科目名	ドイツ語II A〔再クラス〕 ドイツ語II B〔再クラス〕
担当者名	^{もとほし} 本橋 ^{うきよう} 右京

講義のねらい 平易な読章を読みながら、ドイツ語の基本的な語彙や構造を習得して行きます。
 講義の内容・授業スケジュール 初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。基本表現はできるだけ覚えましょう。
 履修上の留意点 テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。
 成績評価の方法 前期・後期の試験60%、出席率と授業参加度40%。
 教科書 佐藤和弘・他『新ドイツへ行ってみませんか』（郁文堂）2009 年刊 2500 円＋税、ISBN978-4-261-01232-3

履修コード	298201・298202
科目名	ドイツ語IIA〔再クラス〕 ドイツ語IIB〔再クラス〕
担当者名	藪下 紘一 <small>やぶした こういち</small>

講義のねらい 辞書をひいて、文を読み訳すのは毎回1人1文ずつ、中級ドイツ文が読めるようにする。
履修上の留意点 1回3ページが目標。ぜひ単語だけでも家で辞書を引いて下さい。出席重視。
成績評価の方法 前・後期各1回50点満点の試験をする。毎時間の読・訳も考慮に入っている。
教科書 テキスト、A.Raab, 石井著:『こんにちはドイツです』;朝日出版(1900円+税)
参考書等 参考書・辞書等については第1講目に口頭で。

履修コード	298801
科目名	フランス語IA〔再クラス〕
担当者名	芦原 伸 <small>あしはら けん</small>

講義のねらい 1年かけて、仏語のやさしい文章(おもに会話の多い文章)が読めて(発音)、その内容が理解(読解力)できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。
講義の内容・授業スケジュール 前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を進展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。
履修上の留意点 教科書と同時に辞書を持参して下さい。
成績評価の方法 毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。
教科書 中山真彦『ミニ・ボンジュール・パリ』(白水社)

履修コード	298901
科目名	フランス語IA〔再クラス〕
担当者名	大野 英士 <small>おのの ひでし</small>

講義のねらい フランス語を全く知らない初心者を対象に、フランス語の基礎的な文法知識を学習しつつ、特に、話す、聞く、読む、書く能力を無理なく、バランスよくつけてもらうことを目標として授業を行います。仏検5級合格の実力を錬成することを目指します。
講義の内容・授業スケジュール (1)~(2)受講上の諸注意/綴り字と発音 (3)-(4)自己紹介する (5)-(6)家族・年齢を言う (7)-(8)好き嫌いを言う (9)-(10)所有を言う、指し示す (11)-(12)人を描写する (13)中間テスト (14)-(15)尋ねる (16)-(17)近い未来・近い過去 (18)-(19)数量を表す (20)-(21)時間や天候を言う (22)-(23)比較する (24)-(25)比較する (26)-(27)過去の話をする (28)定期試験
履修上の留意点 授業中は、恥ずかしがらないで、大きな声で積極的に授業に参加してください。その上で、教科書に出てくる会話は暗記するぐらい声を出して、何度も読んでください。「練習」はできれば予習の段階で、あらかじめ準備してきてください。
成績評価の方法 出席点、授業中の小テスト、1学期末の中間テスト、定期試験の三つの総合点で評価します。
教科書 藤田裕二著『新訂版・えすかるご1』(朝日出版社)
参考書等 森本 英夫、三野 博司著、『プチット・リュミエール フランス語参考書』(駿河台出版社)
その他 辞書等は、授業の開始時に簡単なガイダンスを行います。

履修コード	299001
科目名	フランス語IA〔再クラス〕
担当者名	菅原 猛 <small>すかはら たけし</small>

講義の内容・授業スケジュール かつて習ったフランス語の初歩をもう一度基礎から学習しなおすクラス。かぎられた授業時間内で毎時間先へ先へと進んでゆきます。
履修上の留意点 再履修クラスですから出席状況が重視されます。
成績評価の方法 年2回の定期試験の成績を中心に、毎時間行なう練習問題の結果も評価の対象にします。
教科書 石上亜紀子他『アトリエ・フランセー見開きフランス語文法』2007年刊(朝日出版社)2100円+税

履修コード	299011
科目名	フランス語IA〔再クラス〕
担当者名	谷川 <small>たにかわ</small> かおる
講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール	フランス語に親しみながら、基本文法を学び直す。 自己紹介カフェでの注文ー簡単な日常会話などを学ぶ。毎週、簡単なフレーズをいくつか暗記する。
履修上の留意点 成績評価の方法	出席重視。なるべく積極的に授業に参加すること。 前期・後期の暗唱テスト、筆記テストの点を基準とし、小テストの点を加算し、全体として60点以上を合格とする。
教科書 参考書等	伊勢晃、谷口千賀子著、『サヴァ?』早美出版、2400円。 授業中に指示する。

履修コード	299101
科目名	フランス語IB〔再クラス〕
担当者名	菅谷 <small>すがや さとる</small> 暁
講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール	初歩のフランス語を、コミュニケーション能力の学習に力点を置いて勉強します。 教科書は1課ごと、会話、文法、演習、読解、文化の5つのパートからなっています。全部で12課あるので、1課を2回の授業で終わらせる予定です。
履修上の留意点 成績評価の方法	休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。 前期末と後期末の試験、および小テストによります。
教科書	藤田著『新・彼女は食いしん坊!』(朝日出版社) 2,625円

履修コード	299201
科目名	フランス語IB〔再クラス〕
担当者名	今関 <small>いませき</small> アン
講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール	1年次に習得できなかった初級フランス語の理解を確実にする。 前期：(1) ガイダンス、アルファベ (2~7) 発音、数字、名詞、動詞、avoir、être、自己紹介 (10~14) -er 動詞、住所、好きなもの (15) 定期試験 後期：(1~7) 否定文、数字、所有・指示形容詞、時間表現、非人称構文 (8~11) aller、交通手段、疑問詞、prendre、目的の代名詞 (12~14) 代名動詞、複合過去 (15) 定期試験
履修上の留意点 成績評価の方法	2課毎に小テストを実施するので、欠席・遅刻しないこと。 小テスト40%+定期テスト(60%)
教科書	『これだけでフランス語!』駿河台出版社

履修コード	299301
科目名	フランス語IB〔再クラス〕
担当者名	伊藤 <small>いとう</small> なお
講義のねらい 講義の内容・ 授業スケジュール	フランス語の基礎を学習しなおし、実用に適した知識を身につけます。 1) ~3) 受講上の諸注意 /Alphabet と発音の基礎 4) ~15) 文法の基礎 (名詞/冠詞/形容詞/前置詞と定冠詞の縮約/人称代名詞強勢形/動詞現在形/近接未来・近接過去/命令形など) と会話練習 (自分と家族の紹介、何をやる? など) および読解 16) ~29) 文法の発展 (補語人称代名詞/比較級/疑問代名詞/動詞過去形・未来形など) と会話練習および読解の発展 30) 復習と今後のフランス語学習について (中級に向けて)
履修上の留意点	積極的に授業に参加し、ためらわずに発話練習、練習問題に取り組むことが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。辞書は必ず持参して下さい。
成績評価の方法	平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。
教科書	藤田祐二著 『パスカル・オ・ジャポン』(白水社) 本体2,000円

履修コード	299501
科目名	フランス語I B〔再クラス〕
担当者名	谷川 かおる

講義のねらい フランス文化に親しみながら、フランス語の基礎をゆっくりと学び直す。
 講義の内容・授業スケジュール (1) フランス語の歴史(2-3) 発音(4-8) あいさつ、自己紹介(9-30) 旅行に便利な表現など。
 履修上の留意点 毎回暗記小テストを行う。
 成績評価の方法 前期・後期の期末テストを基本とし、小テストを加算し、60点以上を合格点とする。
 教科書 フランク・デルバル他著『パス・パルトゥ』駿河台出版社、2,625円
 参考書等 参考書は授業中に指示する
 その他 出席重視。

履修コード	299601・299602
科目名	フランス語II A〔再クラス〕 フランス語II B〔再クラス〕
担当者名	畑中 千晶

講義のねらい やさしいフランス語で書かれたお話を読みます。日本語に訳す必要はありません。フランス語の問いにフランス語で答えることで、語彙・文法・コミュニケーション力などを総合的に伸ばしていきます。
 講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス/L1 (2)~(6) L2-4 (7) 復習 (8)~(13) L5-7 (14) 復習 (15) 期末試験 (16) 課題提出/L8 (17)~(21) L9-11 (22) 復習 (23)~(27) L12-14 (28) 復習/発展項目 (29) 発展項目 (30) 期末試験
 履修上の留意点 ①毎回、辞書を持参してください。②基本的に予習は不要。その代わりに宿題を出します(平常点としてカウント)。
 成績評価の方法 前期末30%、学年末30%、宿題など平常点20%、夏休みの課題10%、出席10%
 教科書 リリアヌ・ラタンジオ/村松定史『続・小さなコントー読解からコミュニケーションへー(CD付)』2004年刊(駿河台出版社)2,500円+税

履修コード	299701・299702
科目名	フランス語II A〔再クラス〕 フランス語II B〔再クラス〕
担当者名	今関 アン

講義のねらい 1年次に習得できなかった初級フランス語の理解を確実にする。
 講義の内容・授業スケジュール 前期:(1) ガイダンス (2~7) 代名動詞、半過去 (8~14) 関係代名詞、単純未来 (15) 定期試験
 後期:(1~7) 比較級、最上級、中性代名詞 (8~14) 条件法、接続法、目的の代名詞 (15) 定期試験
 履修上の留意点 課毎に小テストを実施するので、欠席・遅刻しないこと。
 成績評価の方法 小テスト40%+定期テスト(60%)
 教科書 『新・彼女は食いしん坊!2』朝日出版社

履修コード	299801・299802
科目名	フランス語II A〔再クラス〕 フランス語II B〔再クラス〕
担当者名	桑田 禮彰

講義のねらい フランス語中級
 講義の内容・授業スケジュール まず発音の基本をしっかりと復習した上で、初級文法を再確認しながら簡単なフランス語の文章をゆっくり読んでいきます。できるかぎり分かりやすい解説心がけます。
 (1) 受講上の諸注意(2) 発音の基本の復習(3)~(15) 初級文法復習を中心としたテキスト読解(16)~(29) 中級文法解説を中心としたテキスト読解(30) 復習と今後のフランス語学習について
 履修上の留意点 発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
 成績評価の方法 ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
 教科書 授業開始時に受講者と相談の上決定。
 参考書等 そのつど授業で指示します。

履修コード	300601・300602
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	秋元 翼 <small>あきもと たすく</small>

講義の内容・授業スケジュール
 履修上の留意点
 成績評価の方法
 教科書

発音の基礎からやり直し、初級文法・表現を学ぶ。全12課を1回1課ずつ進み、一年で教科書一冊を学び終える。
 今年度は絶対に単位を落とさないという気持ちで授業に臨んで欲しい。4分の3以上の出席を要する。授業中は積極的に声を出して発音練習すること。
 平常の出席状況・学習態度・理解度および中間・期末テストの成績で総合的に評価する。
 本間史・孟広学『中国語ポイント42』白水社、2100円+税

履修コード	301201・301202
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	天野 節 <small>あまの せつ</small>

講義のねらい
 講義の内容・授業スケジュール
 履修上の留意点
 成績評価の方法
 教科書

中国語の発音、初級文法修得。
 (1) 発音(1~4) (2) 人称代詞、指代詞(5~7) (3) 数詞、時間詞、動詞(8~10)
 (4) 形容詞等(11~13) (5) 動態助詞、前置詞(14~17) (6) 比較(18~21) (7) 助動詞(22~25) (8) 動態助詞、補語(25~30)
 遅刻早退欠席せず、予習をすること。
 テスト+課題+授業態度+出席
 榎本英雄『おもしろスキット初級中国語』(同学社) 2500円

履修コード	301301・301302
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	小川 隆 <small>おがわ たかし</small>

講義の内容・授業スケジュール
 成績評価の方法
 教科書

発音と文法をゼロからていねいに勉強してゆく。
 年間4~5回のテスト、出席点、その他の平常点を総合して成績評価を行う。授業進行のためのルールとマナーを守れない人、欠席が全授業回数数の4分の1を超えた人などは、その時点で受講をやめてもらう。卒業年次生も特別扱いではないので要注意! 必ず初回から出席すること。
 古川裕・盧華岩『話し放題中国語』スリム版(金星堂) ¥2300+税 ISBN 978-4-7647-0679-8

履修コード	301401・301402
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	布施 直子 <small>ふせ なおこ</small>

講義のねらい
 講義の内容・授業スケジュール
 履修上の留意点
 成績評価の方法
 教科書

入門初級段階をていねいにゆっくり学習。
 授業開始から4週は発音。5週から前期終了まで、人称代詞、「是、不是」と基本的動詞。後期に入り、経験、完了、助動詞を用いる表現、前置詞、受身、比較の表現を学習。
 欠席をしないこと。積極的に取り組むこと。
 出席状況、テスト、授業への積極性を評価。
 鄧秀・湯海鵬著『ゆうゆう中国語』郁文堂。価格2500円+税。ISBN978-4-261-01821-9

履修コード	301501・301502
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	弘加 奈子 <small>ひろか なこ</small>

講義のねらい
 講義の内容・授業スケジュール
 成績評価の方法
 教科書

当初は、発音や基本的な文法の確認を行う。テキストは分かり易い文法説明と練習問題、簡単な会話文から成っている。一年を通じ、バランスの取れた学力向上を目指す。
 第1回 発音・声調確認 他
 第2回~第14回 本文・練習問題等
 (うち1回は中間テスト)
 第15回 期末テストの予定
 第16回~第29回 本文・練習問題等
 (うち1回は中間テスト)
 第30回 学年末テスト
 成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。
 八木章好・廣麗媚『はじめての中国語ぶうとんほあ』朝日出版社 2200円
 ISBN 4-255-45086-2C 1087

履修コード	301511・301512
科目名	中国語ⅠA〔再クラス〕 中国語ⅠB〔再クラス〕
担当者名	曹 泰和

講義のねらい 中国語に興味と関心を持ってもらうこと。
 講義の内容・ 基本的な文法が充実したテキストで、基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。また、授業を通じて、言葉と中国文化のことなどについて学ぶ。
 授業スケジュール 元気で、積極的に授業に参加すること。
 履修上の留意点 元気よく、積極的に授業に参加すること。
 成績評価の方法 テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。
 教科書 南雲智・趙暉『始めよう！中国語』（白水社）2100円＋税
 参考書等 開講時に説明する。

履修コード	301801・301802
科目名	中国語ⅡA〔再クラス〕 中国語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	本間 由香利

講義のねらい 中国語の基本である発音の訓練と語順を覚えることを重視し、各自が運用できるようにする。
 講義の内容・ 前期は発音訓練、発音矯正を重視します。さらに単語単位ではなく、文章を中国語らしく読めるようにします。次に難しい文章を読んだり書いたりするのではなく、必要最小限の文法、つまり語順を学び、シンプルな文を自分で組み立てられるようにします。
 授業スケジュール 必ず出席をし、大きな声で発音し、積極的に授業に参加すること。
 履修上の留意点 授業に出席していることを前提とし、授業態度、小テスト、期末テストにより評価します。
 成績評価の方法 『スタンダードチャイニーズ②上海旅行編』朝日出版社
 教科書 『スタンダードチャイニーズ②上海旅行編』朝日出版社
 参考書等 授業内で指示します。

履修コード	301901・301902
科目名	中国語ⅡA〔再クラス〕 中国語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	大久保 明男

講義のねらい 中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指します。
 講義の内容・ 基本的に教科書に沿って授業を進めていくが、折に触れて中国の社会や文化に関することを紹介したり、ビデオを見たりする予定です。
 授業スケジュール 積極的に授業に参加すること。
 履修上の留意点 毎回予習、復習すること。
 成績評価の方法 出席率、試験の成績、平常点の三項目で総合評価します。
 教科書 石慧敏・金子真也『上海びより』（好文出版）2000円

履修コード	302001・302002
科目名	中国語ⅡA〔再クラス〕 中国語ⅡB〔再クラス〕
担当者名	李 雲

講義のねらい 基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。
 講義の内容・ 基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。
 授業スケジュール 平常の練習が大切なので必ず出席すること。
 履修上の留意点 筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。
 成績評価の方法 相原茂等『えんぴつで覚える中国語』朝日出版社 2300円
 教科書 内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。
 その他

履修コード	302601・302602
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功

講義のねらい 初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 前期15回で名詞と形容詞の性・数、規則活用の動詞等を学習。
後期15回で目的語代名詞、不規則活用の動詞、再帰動詞等を学習。
前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。
(上記スケジュールは場合により変動することがある)

履修上の留意点 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。

成績評価の方法 前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70、小テスト(5~6回程度)の得点=20、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10 の割合で評価し、最終的な成績を算出します。

教科書 『Aventura』立岩礼子他著 同学社
参考書 推奨辞書宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)
参考書 大岩功著『やさしいスペイン文法』(三修社)

履修コード	302701・302702
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	さいばう みづみ 齊藤 明美

講義のねらい 直説法現在などの初歩文法を復習しながら、日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学びます。一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化共生に対する理解を深めます。随時スペイン・ラテン音楽なども紹介していきます。前期が終わるころには簡単な自己紹介や道を尋ねるなどの基本的な質問が、後期が終わるころにはスペイン料理店などで注文ができた簡単な会話が交わせるようになります。

講義の内容・授業スケジュール (1) オリエンテーション(文字、数字、簡単な挨拶など) (1)
(2) 1課: こんにちは、私はマリアです(名詞の性・数、冠詞、ser 動詞)、2課: 私の母です(estar 動詞の用法)、3課: このあたりに銀行ありますか(存在文、前置詞)(2-9)
(3) 4課: 君は学生ですか(直説法現在、疑問文、否定文)(10-13)
(4) 5課: 私のめがねを探しています(所有形容詞、指示形容詞) 6課: 一緒に出かける?(直説法現在2、天候の表現)(14-19)
(5) 7課: 何にしますか(語根母音変化動詞、関係詞)、8課: ああ残念!(直説法現在3) (20-26)
(6) 9課: 病院で(目的格人称代名詞、gustar 型動詞)(27-30)

履修上の留意点 遅刻・早退をせず自ら興味をもって学習に打ち込む姿勢がスペイン語習得の鍵です。

成績評価の方法 出席状況、授業参加、各期末の定期試験によります。

教科書 内田/尾尻/稲森『Mucho gusto 初めてのスペイン語』同学社 2500円
参考書 講義時に推薦する辞書の中から一番使いやすいと思うものを選び、活用しましょう。
その他の 学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

履修コード	302801・302802
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	いしい のぶる 石井 登

講義のねらい スペイン語の基本的な文法を修得することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 教科書は全12課からなっており、前期は1~6課、後期は7~12課を学びます。
前期は(1)オリエンテーション(2~5)名詞、冠詞、ser、estar 動詞、形容詞など、(6~10)直説法現在の規則動詞・不規則動詞など、(11~15)目的語の人称代名詞、gustar 動詞、所有詞、指示詞、比較級・最上級など。
後期は(16~20)点過去、線過去、現在分詞など、(21~25)過去分詞、再帰動詞など、(26~30)関係詞、接続法など。

履修上の留意点 授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。

成績評価の方法 前期と後期の試験(50%)と出席や課題提出などの平常点(50%)で評価します。

教科書 福嶋教隆『動く!スペイン語』朝日出版社 2600円 978-4-255-55023-7

履修コード	303001・303002
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	荻野 恵

講義のねらい スペイン語文法の基礎を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて講読力を培う。

講義の内容・授業スケジュール テキストにそって、文法の説明と練習を進める。
前期：名詞形容詞の性数変化、規則動詞の活用など。
後期：不規則動詞、再帰動詞など。

成績評価の方法 成績は出席、課題、年2回のテストを総合して評価する。

教科書 荻野・浜岡『イベリア文化への誘い』(大学書林)

履修コード	303011・303012
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	佐藤 麻里乃

講義のねらい 文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容・授業スケジュール テキストにそって教員が解説を行い、その後受講者は関連する練習問題を解いて提出する。性数変化、動詞の変化、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。

履修上の留意点 テキストと辞書を毎回必ず持参すること。授業時の提出物の出来具合により評価するので、欠席をしないこと。

成績評価の方法 試験は行わず、毎回の授業内で提出する課題の点数により評価する。やむをえない事情で欠席した場合は、(それを証明できる文書等を提出した場合に限り)後日課題を提出すればその点数の80%をもって評価する。

教科書 未定(プリント配布の場合もあり)

履修コード	303101・303102
科目名	スペイン語IIA〔再クラス〕 スペイン語IIB〔再クラス〕
担当者名	齊藤 明美

講義のねらい スペイン語1などで学習した基礎文法を復習しながら、現在完了、再帰動詞、過去形などの初級文法、および日常よく使われる口語表現などを教科書やプリントなどで具体的なシチュエーションを通して学びます。一人でスペイン語圏を旅行できるスペイン語運用能力習得を目指します。また語学学習を通して日本とスペイン語圏の生活・風習に関する相違点を考察し多文化共生に対する理解を深めます。映像資料なども積極的に取り入れます。前期が終わるころにはスペイン語圏の友陣と簡単な雑談ができるようになります。後期が終わるころにはスペイン語圏に無理なく短期留学ができる力がつきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期
(1) オリエンテーション・自己紹介(基礎の復習)(1)
(2) 9課 病院で(人称代名詞、gustar)、10課 映画スターのインタビュー(再帰動詞、時間の表現、人称代名詞2)(2-7)
(3) 11課 観光ツアーを探す(不定語、否定語、疑問詞) 12課 トルティージャを食べたことがありますか(過去分詞、現在完了、現在分詞、現在進行形)(7-13)
(4) これまでのおさらい(14)
(5) 中間試験(15)

後期
(6) 13課 ショッピング(形容詞、副詞の比較) 14課 世界の偉人たち(点過去1)(16-21)
(7) 15課 言い訳はなし!(点過去2、時の経過を表すhacer)、16課 君の青春時代はどうだった?(線過去、点過去と線過去の違いなど)(22-28)
(8) まとめ(29)
(9) 定期試験(30)

履修上の留意点 遅刻・早退をせず自ら興味をもって学習に打ち込む姿勢がスペイン語習得の鍵です。

成績評価の方法 毎回の出席、授業参加と各期末の定期試験(年二回)を総合的に判断します。

教科書 内田他『Mucho gusto 初めてのスペイン語』(テキスト+CD)同学社、2500円

参考書等 授業時に推薦する辞書の中から自分に合うものを探し、活用しましょう。

その他 学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

履修コード	303201・303202
科目名	スペイン語IIA〔再クラス〕 スペイン語IIB〔再クラス〕
担当者名	おおいわ いさお 大岩 功

講義のねらい スペイン語Iで学習した内容を発展させ、文法知識と読解力とを深化させることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール 前期15回 不規則動詞と目的語代名詞の形と用法を復習した後、点過去時制の規則活用、不規則活用を学習。
後期15回 点過去時制の復習の後、線過去時制、完了時制、未来時制、過去未来時制等を学習。前期、後期ともに最後の授業で各1回の試験を実施します。
(上記スケジュールは場合により変動することがある)

履修上の留意点 必ず予習してくることを前提に授業を進めます。何も準備していないことが明らかな場合は平常点の減点対象となります。

成績評価の方法 前期末、後期末の試験(計2回)の得点=70、小テスト(5~6回程度)の得点=20、出席率、授業参加への積極性等の平常点=10 の割合で評価し、最終的な成績を算出します。

教科書 『やさしいスペイン語文法』大岩功著(三修社)
他に長文読解用のプリント教材を使用します。

参考書等 推奨辞書 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社)

履修コード	303301・303302
科目名	スペイン語IIA〔再クラス〕 スペイン語IIB〔再クラス〕
担当者名	いしい のぼる 石井 登

講義のねらい スペイン語文法の基礎を復習し、修得することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 教科書は全20課からなっており、前期は1~10課、後期は11~20課を学びます。
前期は(1)オリエンテーション(2~5)名詞、冠詞、ser, estarなどの動詞、直説法現在の規則動詞など、(6~10)直説法現在の不規則動詞、所有詞、指示詞、比較級、最上級など、(11~15)点過去、線過去など。
後期は(16~20)現在分詞、過去分詞、現在完了、再帰動詞など、(21~26)未来形、過去未来形、命令法、関係詞など、(27~30)接続法など。
授業に加えて、予習や復習といった自学自習が重要になります。

履修上の留意点 前期と後期の試験(50%)と出席や課題提出などの平常点(50%)で評価します。

成績評価の方法 福嶋教隆 『生き活きスペイン語』 朝日出版社 2000円 978-4-255-55013-8

教科書 福嶋教隆 『生き活きスペイン語』 朝日出版社 2000円 978-4-255-55013-8

履修コード	303501・303502
科目名	ロシア語IA〔再クラス〕 ロシア語IB〔再クラス〕
担当者名	ひろた ひろかず 廣田 英靖

講義のねらい 1)母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
2)かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
3)平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
4)基礎的な初等文法を学びます。
5)アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

講義の内容・授業スケジュール はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしくないことが大切。

履修上の留意点 4-7月はイントネーションや発音に力点をおき、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。
PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。

成績評価の方法 試験は行わず、平常点で評価します。

教科書 杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円

参考書等 『露和辞典』

外国語

履修コード	303601・303602
科目名	ロシア語IA〔再クラス〕 ロシア語IB〔再クラス〕
担当者名	佐野 朝子

講義のねらい 発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。
 会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

講義の内容・授業スケジュール 4-7月は、イントネーション、発音に力を入れる。
 9-12月は、やさしい短文のききとり、初級文法を学ぶ

履修上の留意点 予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法 平常点を重視します。

教科書 絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

履修コード	303701・303702
科目名	ロシア語IA〔再クラス〕 ロシア語IB〔再クラス〕
担当者名	木村 英明

講義のねらい 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
 4) 基礎的な初等文法を学びます。
 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
 はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしくないことが大切です。

講義の内容・授業スケジュール 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。
 2名の教員が、連携しながら、週に2回授業をします。4月-7月は、イントネーションや発音に力点をおき、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法 何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書 『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円+税
 参考書等 『露和辞典』

履修コード	303801・303802
科目名	ロシア語IA〔再クラス〕 ロシア語IB〔再クラス〕
担当者名	安徳 ニーナ

講義のねらい 基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 教科書に基づいて講義を進める。
 4-7月 発音、イントネーション。
 9-12月 読み書きを学ぶ。

履修上の留意点 要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法 講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書 桑野隆『はじめてのロシア語』(白水社)

参考書等 必要に応じてその都度資料を配布する。

履修コード	303901・303902
科目名	ロシア語IIA〔再クラス〕 ロシア語IIB〔再クラス〕
担当者名	クロチコフ, Y.

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール 4-7月 発音、会話を学ぶ。
9-12月 会話力を一層高める。

成績評価の方法 平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

その他 ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	304001・304002
科目名	ロシア語IIA〔再クラス〕 ロシア語IIB〔再クラス〕
担当者名	<small>おのすか みみか</small> 大須賀 史和

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール 4-7月 基礎文法の復習。
9-12月 中等文法の学習、講読力を高める。

成績評価の方法 平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

その他 ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	304101・304102
科目名	ロシア語IIA〔再クラス〕 ロシア語IIB〔再クラス〕
担当者名	<small>あんたく</small> 安徳 ニーナ

講義のねらい 一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 教科書に基づいて講義を進める。
4-7月 基礎文法の復習。
9-12月 会話と読解に重点をおく。

履修上の留意点 要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法 講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書 桑野隆『はじめてのロシア語』(白水社)

参考書等 必要に応じてその都度資料を配布する。

外国語

履修コード	284901
科目名	英文講読
担当者名	林 明人

講義のねらい 現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるように
なれば幸いです。

講義の内容・ 授業スケジュール	1 pp.1-2	プリント(1)配布	16 pp.1-2	プリント(2)配布
	2 pp.3-4	(試訳提出)	17 pp.3-4	(試訳提出)
	3 pp.5-6		18 pp.5-6	
	4 pp.7-8		19 pp.7-8	
	5 pp.9-10		20 pp.9-10	
	6 pp.11-12	(試訳提出)	21 pp.11-12	(試訳提出)
	7 pp.13-14		22 pp.13-14	
	8 pp.15-16		23 pp.15-16	
	9 pp.17-18		24 pp.17-18	
	10 pp.19-20		25 pp.19-20	
	11 pp.21-22	(試訳提出)	26 pp.21-22	(試訳提出)
	12 pp.23-24		27 pp.23-24	
	13 pp.25-26		28 pp.25-26	
	14 pp.27-28		29 pp.27-28	
	15 前期試験		30 後期試験	

履修上の留意点 遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の出入りは認めない。
成績評価の方法 ①試訳(40%)②試験(30%)③出席(30%)で総合評価するが、①~②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合には評価の対象にしない。

教科書 教員が作成したものを uses。

履修コード	285001
科目名	英文講読
担当者名	矢島 直子

講義のねらい 昨夏ロンドンで観たオーストラリア人劇作家の喜劇作品を読みます。現実に近い英語会話と戯曲の読み方を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール 戯曲を読んで意味を言ってもらい、こちらで訂正したものを言います。
授業スケジュール 1回目-授業の説明、2~14回目-各回2~4ページずつ進む。15回目-前期末試験。16回目-前期末試験の解説、17~29回目-各回2~4ページずつ進む。慣れれば進度をあげます。30回目-後期末試験。

履修上の留意点 どんどん当てますから、必ず予習をしてくる。1回目の授業から出て下さい。
成績評価の方法 平常点と前期末・後期末試験の結果を総合的に評価します。

教科書 Joanna Murray-Smith, *The Female of the Species*, Nick Hern Books, £ 8-99, ISBN 978-1-85459-522-5.

履修コード	285101
科目名	英文講読
担当者名	前田 脩

講義のねらい 17世紀のフランス式整形庭園から、それに対立するかのようには登場したイギリス式風景庭園までの過程を英文による庭園史の中で見てゆきます。

講義の内容・
授業スケジュール 一回にテキスト二章ずつ進みます。テキストが終わったのち、*The Formal Garden* の中からプリントを配布します。

履修上の留意点 あくまでも購読の時間ですから予習が重要です。
成績評価の方法 日常評価を60%、前期テストを10%、後期テストを20%の割合で評価します。

教科書 *English Garden* (イギリス庭園) 南雲堂 ¥1,200
ISBN4-523-18506-9

履修コード	285701
科目名	時事英語研究
担当者名	岡本 誠 <small>おかもと まこと</small>

講義のねらい	「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でしいて言えば“Current English”ということになる。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではない。メディアの英語と考えてよいであろう。 小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終わりに近くなってクライマックスに達する。メディアの英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、次に重要な点から説明していく。この最初の部分を lead という。
講義の内容・授業スケジュール	かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義でそういった分野の英語、また journalese に親しんでもらう。英字新聞なども気軽に読むようになってほしい。 講義の性質上、新鮮な素材を使用する。その素材のソースとするところはイギリスの BBC4、アメリカの npr (national public radio) や VOA (Voice of America)、さらに新聞や雑誌というところ。夏休み前の初夏の頃、秋風が立つ頃、それぞれの時期に一番世界で話題になっているものを追っていく。従って、特定の教科書は使用しない。
履修上の留意点	事前に資料を配布するので、必ず下見をしていくこと。世界の政治・経済の動きにも常に注意を払いフォローしてほしい。その意識が効果を上げることになるし、それが社会の事象に対して問題意識を持つことに通ずる。こういう態度はいよいよ社会人になるときにモノをいう。
成績評価の方法	前期・後期の試験、予習の出来具合、出欠・遅刻状況等、総合的に評価する。被りものは脱いでから教場へ入る。ケータイは切っておく。携帯するものは辞書。
教科書	上に記したように特定のもの使用しない。

履修コード	285801
科目名	時事英語研究
担当者名	梅原 敏弘 <small>うめはら としひろ</small>

講義のねらい	新聞英語・放送英語の特徴を身につけることを目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	できる限り現在話題になっている英文記事を英字新聞、英語雑誌、インターネットなどから選び、講読していきます。放送英語にもなれるため、録音されたニュースも教材として使用します。
履修上の留意点	予習は不可欠です。英文記事を理解するためには英語の知識だけではなく背景の知識も欠かせません。普段から時事問題に関心を持つようにしてください。
成績評価の方法	成績評価は、前期・後期の学期末に行う授業内試験と、出席、予習のしぐあいを総合的に勘案して行います。
教科書	使用しません。ハンドアウトを配布します。
参考書等	学習者用の英英辞典 (Longman Dictionary of Contemporary English や Oxford Advanced Learner's Dictionary of Current English 等の) を購入し、利用してください。

履修コード	285811
科目名	時事英語研究
担当者名	白鳥 義博 <small>しらとり よしひろ</small>

講義のねらい	政治を中心とした時事的なトピックの英文を多読し、語彙力と速読力を高める訓練を行う。あわせて、音読の練習を通してリスニング力の向上も図る。英語学習だけではなく、時事的なトピックに対する強い好奇心と意欲をもって受講されたい。
講義の内容・授業スケジュール	前期：(1) ガイダンス (2~14) 毎回ひとつのチャプターを進めてゆく (15) 前期末試験、後期：(15~28) テキストを進める (29) 総復習 (30) 後期末試験 *その他、必要に応じて小テストや中間テストをおこなう予定。
履修上の留意点	選択履修の授業であるので不真面目な態度での受講は決して許されない。注意されたい。
成績評価の方法	授業への参加の熱心さ、課題への取り組み、出席状況、テストの結果などから総合的に判断する。
教科書	『NHKワールド・ニュースで学ぶ「聴く英語、読む英語」』(南雲堂、2009年) ¥2,100

履修コード	285901
科目名	時事英語研究
担当者名	おちあい かずあき 落合 和昭

外国語

講義のねらい このクラスのレベルは英語の中級から上級（英検二級、準一級、一級）程度とし、新聞、雑誌、インターネット、ラジオ、テレビ等で使用されている英語を読み、聞き取ることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、リスニングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は、書き取りをする。第三段階は、リスニングで聞いたニュースの意味を、文字を通して、確認する。

年間の授業計画は次の通りである。

- 第一回 オリエンテーション
- 第二回 『ライフスタイル』 Chapter1
- 第三回 『ライフスタイル』 Chapter2
- 第四回 『ライフスタイル』 Chapter3
- 第五回 『ライフスタイル』 Chapter4
- 第六回 『ライフスタイル』 Chapter5
- 第七回 『ライフスタイル』 Chapter6
- 第八回 『ライフスタイル』 Chapter7
- 第九回 『ライフスタイル』 Chapter8
- 第十回 『ライフスタイル』 Chapter9
- 第十一回 『ライフスタイル』 Chapter10
- 第十二回 『ライフスタイル』 Chapter12
- 第十三回 『ライフスタイル』 Chapter13
- 第十四回 『ライフスタイル』 Chapter14
- 第十五回 前期試験
- (『ライフスタイル』 Chapter 14,16,17)
- 第十六回 『ライフスタイル』 Chapter18
- 第十七回 『ライフスタイル』 Chapter20
- 第十八回 『ライフスタイル』 Chapter21
- 第十九回 『ライフスタイル』 Chapter22
- 第二十回 『ライフスタイル』 Chapter23
- 第二十一回 『ライフスタイル』 Chapter24
- 第二十二回 『CNN』 UNIT1
- 第二十三回 『CNN』 UNIT2
- 第二十四回 『CNN』 UNIT3
- 第二十五回 『CNN』 UNIT4
- 第二十六回 『CNN』 UNIT5
- 第二十七回 『CNN』 UNIT6
- 第二十八回 『CNN』 UNIT7
- 第二十九回 『CNN』 UNIT8
- 第三十回 後期試験

(『CNN』のUNIT9,10,11,12)

※上記の『ライフスタイル』は『ライフスタイルとニュービジネス』、『CNN』は『CNN：ビデオで見る世界のニュース（10）』

なお、リスニングは毎回行う。

履修上の留意点
成績評価の方法

授業は、学生の事前の予習を前提にし、徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を求める。前期試験は20%、後期試験20%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%。出席率は、前・後期試験を除く、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」とする。

教科書

- 1) 『ライフスタイルとニュービジネス』成美堂 1,600円 ISBN4-7919-4049-0 C1082
- 2) 『CNN：ビデオで見る世界のニュース（10）』朝日出版社 2,000円 ISBN978-4-225-15461-9 C1082
- 3) プリント

履修コード	285911
科目名	時事英語研究
担当者名	矢島 ^{やじま なおこ} 直子

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

辞書を引いて英米のニュースを読めるようになり、聞き取りにも慣れてもらうこと。
講義内容は、英語の記事を聞き、読んで意味を取ってもらうもの。
授業スケジュール
1回目—授業の説明。2～4回目— Unit 1、5～7回目—U7、8～10回目—U8、11～13回目—
U9、14回目—見直し、15回目—前期末試験。16回目—前期末試験解説、17～19回目—U15、20～22
回目—U19、23～25回目—U20、26～28回目—U22、29回目—見直し、30回目—後期末試験。

履修上の留意点

どンドン当てて意味を取ってもらいますから、必ず予習すること。1回目の授業から出席して下さい。

成績評価の方法
教科書

平常点と前期末・後期末試験の結果を総合的に評価します。
佐藤公雄『オンラインニュースで学ぶ世界情勢』、成美堂、1,800円、ISBN4-7919-1043-5。

外国語

履修コード	286501
科目名	マルチ・メディア
担当者名	落合 和昭

外国語

講義のねらい

このクラスに副タイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級から上級（二級、準一級、一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、リスニングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、リスニングを向上させる。第二段階は、会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底的した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

年間の授業計画は次の通りである。

- 第一回 オリエンテーション
- 第二回 『ネイティブ』 UNIT1
- 第三回 『ネイティブ』 UNIT2
- 第四回 『ネイティブ』 UNIT3
- 第五回 『ネイティブ』 UNIT4
- 第六回 『ネイティブ』 UNIT5
- 第七回 『ネイティブ』 UNIT6
- 第八回 『ネイティブ』 UNIT7
- 第九回 『ネイティブ』 UNIT8
- 第十回 『ネイティブ』 UNIT9
- 第十一回 『ネイティブ』 UNIT10
- 第十二回 『ネイティブ』 UNIT11
- 第十三回 『ネイティブ』 UNIT12
- 第十四回 『ネイティブ』 UNIT13
- 第十五回 前期試験
（『ネイティブ』 UNIT14,15,16,17）
- 第十六回 『UNIT18,19,20』
- 第十七回 台本の読み方について
- 第十八回 『映画』 UNIT1～4 （単語、熟語）
- 第十九回 『映画』 UNIT5～8 （単語、熟語）
- 第二十回 『映画』 UNIT9～10 （単語、熟語）
- 第二十一回 『映画』 UNIT1
- 第二十二回 『映画』 UNIT2
- 第二十三回 『映画』 UNIT3
- 第二十四回 『映画』 UNIT4
- 第二十五回 『映画』 UNIT5
- 第二十六回 『映画』 UNIT6
- 第二十七回 『映画』 UNIT7
- 第二十八回 『映画』 UNIT8
- 第二十九回 『映画』 UNIT9
- 第三十回 後期試験
（『映画』 UNIT10,11,12）

※『ネイティブ』は『ネイティブ英語の慣用表現（2）』、『映画』は『映画シナリオ：海辺の家』。なお、リスニングは毎回行う。

履修上の留意点

このクラスの受講生はすでに口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。初めて口語英語を学ぶ学生には、少々、つらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講するように心がけてもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は40数名しか入れないLL教場を使用するので、それ以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

前期試験は20%、後期試験は20%、その他（課題、小テスト、授業中の発表等）は60%とする。出席率は、前・後期試験を除いた、平常授業の3分の2を越えなければ、成績は「不合格」となる。

教科書

- 1) 『ネイティブ英語の慣用表現（2）』 マクミラン 1,800円 ISBN978-4-89585-333-0 C3082
- 2) 『映画シナリオ：海辺の家』 英宝社 1,900円 ISBN978-4-269-09005-7 C1082
- 3) プリント

履修コード	286601
科目名	マルチ・メディア
担当者名	大庭 直樹 <small>おおいば なおき</small>

講義の内容・授業スケジュール このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいくことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。
 第二の課題は、マインドマップを使って、頭の中の概念を図式化する訓練をする。このソフトを使って、英語を読んで理解したこと、聞いて理解したことを図式化して表現する訓練をする。
 第三の課題として、Word と電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。
 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

履修上の留意点 受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法 試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらおう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。また、後期のパワーポイントを使ってのプレゼンテーションも成績評価の対象である。

その他 受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

履修コード	286701
科目名	マルチ・メディア
担当者名	梅原 敏弘 <small>うめはら としひろ</small>

講義のねらい 映画の英語に慣れることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 1942年に製作されたアメリカ映画 Casa Blanca を教材として使用します。この映画を十分鑑賞するためには、時代背景などの知識が不可欠ですが、まずは各場面で使われている英語がある程度理解できなくてははいけません。授業はリスニング・コンプリヘンションを中心としますが、日常会話で使えるような表現をピックアップし学習することによって、英語での表現力の向上をも目指します。

履修上の留意点 映画の英語の聞き取りは難しいので、途中で give up しないこと。

成績評価の方法 前期・後期の学期末に行う授業内試験を中心に、出席、授業への積極的参加なども考慮したうえで成績評価をします。

教科書 使用しません。

履修コード	286801
科目名	マルチ・メディア
担当者名	おおいば 直樹

講義のねらい このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいくことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。
 第二の課題は、マインドマップを使って、頭の中の概念を図式化する訓練をする。このソフトを使って、英語を読んで理解したこと、聞いて理解したことを図式化して表現する訓練をする。
 第三の課題として、Word と電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。
 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。
 後期からは、パワーポイントを使って、テーマを決めてプレゼンテーションをしてもらう。

講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点 受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法 試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。また、後期のパワーポイントを使ってのプレゼンテーションも成績評価の対象である。

その他 受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

履修コード	264201・264301・264601
科目名	英会話I
担当者名	セイジ、 K

講義のねらい Those students who are interested in English conversation - but a little underconfident - should take this course. The course aims to build your interest and confidence in English conversation for the real world.

講義の内容・授業スケジュール In lessons there will be mainly pair work and some small group work. Each class we will look at different English functions, then you will practice them. The functions will build to reflect a life-like situation of the real world. About 5 situations will be done.

履修上の留意点 Please come to class willing to try to participate at your best.

成績評価の方法

1. Class activities
2. Pair performances × 5 (about)
3. Attendance and attitude
4. YeStudy work and use

教科書 There is no textbook. You will need to keep the printouts and YeStudy will be used.

参考書等 A dictionary, preferably an electronic one.

履修コード	264401・264501・264801・265321
科目名	英会話I
担当者名	ウェルズ, J. K.

講義のねらい WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I

講義の内容・
授業スケジュール

Speaking English is not so difficult if you have the interest and belief that you can. I hope to give you this chance to speak without feeling shy!

First Semester: Pairwork practice answering and asking questions in a relaxed environment. The first semester exam will be an interview that I give you based on the questions and answers you practiced with your partner (s).

Second Semester: Role-playing will be emphasized as I feel that speaking English while moving (not just sitting) is important. It will also give you an opportunity to show your acting skills in front of other people, or should I say speaking skills. Your final exam will be a dialogue that you and your partner create/write, and which you will perform in the classroom. Do not worry, it is FUN!

履修上の留意点

There is a maximum of 40 students in my class. If there are more than 40 students the first day of class, I will be forced to choose out of a hat the students who will study with me. So please DO NOT take my class if you are not sincere about learning from me. Thanks for understanding this.

Attendance is MOST important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent MORE THAN THREE TIMES during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. You will fail the class if you are absent more than three times.

There are NO exceptions for activities in sports or for job hunting. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and I know you can attend regularly also.

成績評価の方法

Please DO NOT be absent from the first class of the year or you may not be able to take the class if there are more than 40 students in the classroom!

Attendance: 50%

Tests: 25% (one test each semester)

Quizzes: 25% (usually part of assignments or announced quiz)

教科書

There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook (A4 size) to keep all the prints I provide you in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders are NOT allowed. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 should be used. Notebooks will be checked in the second class.

その他

The first class is VERY important, so please do not be absent!

I am now an older American and have been teaching at Komazawa for many many years! It is a great joy to be a part of such a fine university and I hope you will help me enjoy teaching you during the school year. Learning to communicate in English CAN be fun!

SEE YOU IN CLASS SOON!

外国語

履修コード	264701・265001・265311
科目名	英会話I
担当者名	ミックエリゴット, J. P.

講義のねらい This course will cultivate in students a higher level of natural oral and written English expression. Through this course students should be able to listen and understand longer English texts, carry on an extended conversation and write in English at some length.

講義の内容・授業スケジュール Students will enter into a weekly journal at the beginning of each class. The journals will be read aloud and/or exchanged with classmates. Following the class textbook themes, students will read and write about topics of daily interest. The teacher will help empower students with the skill of proficient writers, to be able to use English accurately and creatively to perform a variety of writing tasks.

This is a highly interactive class. Students will be placed in small groups and pairs. Students will ask each other questions and offer opinions according to the theme of each chapter of the text.

履修上の留意点 Student grades will be based on attendance, completion of class assignments, class participation and oral presentation.

成績評価の方法 GPA方式

教科書 Dale Fuller & Clyde Grimm 著 "New Airwaves Developing Better Listening Skills"
Macmillan Language House \2,100

参考書等 Bilingual dictionary

履修コード	264901
科目名	英会話I
担当者名	レーン, C.M.

講義のねらい This class concentrates on improving communication and fluency skills in English. Most Japanese university students already have basic vocabulary and grammatical skills in English. However, they are unable to use them when speaking. Therefore, this course aims to help students learn to use the knowledge they already have, and then to build on this knowledge. During the first semester basic conversation skills will be covered, through pair work and group work, which will be followed during the second semester by more in depth conversational discussions, also in pairs, small groups and through whole class activities. By the end of the year students should feel more confident when speaking English, and should have the ability to hold simple conversations in English, as well as being able to give their opinion on various topics.

講義の内容・授業スケジュール During the first semester students will study basic conversation patterns and will gain confidence and fluency skills in making general conversation. At the end of the first semester students will be required to give a three-minute speech talking about general themes. Then, during the second semester more time will be spent on group discussions whereby the students will be invited to give their opinions on a variety of topics chosen by the teacher. At the end of the year students will give a presentation in small groups on a topic of their choice.

履修上の留意点 As this is an oral English class students will not improve unless they attend most of the classes. Students who are absent without a good reason more than twice a semester will find it hard to pass. Moreover, while it is not necessary for students to be able to speak English really well to enter this class, they must try to speak English as much as they can. If a student is too shy then they might find this class difficult.

成績評価の方法 (ア) Attendance 20 %
(イ) Participation during class 50 %
(ウ) Individual presentation 10 %
(エ) Group presentation 20%

As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.

教科書 A good dictionary

A file to keep work sheets together-A4 size

履修コード	265201
科目名	英会話I
担当者名	レイン, R. V.

講義のねらい

This course enables students to use better conversational English language patterns and idioms with increased confidence as well as to improve students' skills and confidence in giving presentations in front of the class.

講義の内容・
授業スケジュール

[1] Class introduction. [2-28] The first half of the class is devoted to textbook speaking activities to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted student presentations in front of the class on topics selected by the instructor. [29-30] Exams will draw from selected textbook activities.

履修上の留意点

Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home. Students should be aware that regular attendance is essential. Absence from 1/3 of classes will result in a failing grade.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as on attendance and class participation.

教科書

Steven Molinsky and Bill Bliss Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4 Longman 2003 ISBN 0-13-183937-3

履修コード	265101・265301
科目名	英会話I
担当者名	ロンゴ, T.

外国語

講義のねらい

English Conversation 1 is for students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Communicative, interactive-style learning will be a feature of the classes, so good attendance will be required.

- 1) Introductions: Getting to know your teacher and classmates.
- 2) Talking about skills and abilities.
- 3) Exchanging personal information politely.
- 4) Time and date.
- 5) Daily routines.
- 6) How often? Adverbs of frequency.
- 7) Who am I? Who are you? Your life story so far ...
- 8) MOVIE #1 viewing and discussion of a movie's content.
- 9) Talking about likes and dislikes.
- 10) Where does it go? Prepositions of location.
- 11) Giving directions.
- 12) Favorite holidays and places.
- 13) Comparative adjectives and superlatives.
- 14) Review and practice exercises
- 15) End of term WRITING TEST.
- 16) Review of the previous term's class topics and test questions.
- 17) Describing people.
- 18) Best friends.
- 19) Talking about family.
- 20) Favorite movies and actors/actresses.
- 21) MOVIE #2 viewing and discussion of a movie's content.
- 22) About tomorrow. Questions and answers about the future.
- 23) About yesterday. Talking about the past.
- 24) Do you remember when ... ? Conversation game.
- 25) In a restaurant. Food ordering role-plays.
- 26) What do you think of ... ? How to give and listen to opinions.
- 27) Looking ahead. Talking about goals and dreams for the future.
- 28) Review and classroom test practice time.
- 29) SPEAKING TESTS.
- 30) SPEAKING TESTS.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude actually to SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook and an electronic dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) speaking test at the end of the course.

教科書

Fifty-fifty Book 1 (Third Edition) ISBN 962-00-5665-5
Published by Longman

Another text book will be presented in the first classroom, so that students can choose either one.

履修コード	287401
科目名	英会話II
担当者名	セイジ, K

講義のねらい	If you want to take your English conversation to the next level through discussions, then you should choose this course. The course aims to further build on your English conversation skills and develop your discussion skills as well. The teacher's role will be a facilitator in this class and students will be expected to contribute topics for discussion in class.
講義の内容・授業スケジュール	In lessons, you will do pair work. Individually you will be expected to contribute your own topics of interest for conversation or discussion. The pair work builds to a challenging scenario that you would find in the real world. You will be assessed on your ability to function in these scenarios.
履修上の留意点	Due to the conversation and discussion focus of this course, you must be prepared to come to every class ready at first to speak and then move on to discussing things in English.
成績評価の方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. Class activities 2. Pair performances 3. Individual contributions 4. Attitude and attendance 5. YeStudy work and use
教科書 参考書等	There is no textbook. You will need to keep the printouts and YeStudy will be used. A dictionary, preferably an electronic one.

履修コード	287501
科目名	英会話II
担当者名	ロンゴ, T.

外国語

講義のねらい

English Conversation 2 is for intermediate level students who really want to improve their listening and speaking skills in English.

講義の内容・授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Communicative, interactive-style learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

- 1) Introductions: Getting to know your teacher and classmates.
- 2) Talking about likes/dislikes and preferences.
- 3) Family relationships.
- 4) The place where you live.
- 5) Who am I? Who are you? Your life story so far ...
- 6) Daily routines and habits.
- 7) Feelings and emotions.
- 8) Going places: Holiday destinations and travel tips.
- 9) Favorite holidays and places.
- 10) Comparative adjectives and superlatives.
- 11) Talking about the best and the worst.
- 12) Explaining problems and making excuses.
- 13) Borrowing and lending.
- 14) Talking about culture and festivals.
- 15) End of term WRITING TEST.
- 16) Review of last term's class topics and test questions.
- 17) Do you remember when ... ?
- 18) Best friends.
- 19) Favorite movies and actors/actresses.
- 20) MOVIE viewing and discussion of movie's content.
- 21) A special time and a special person.
- 22) Making plans: Offers and requests.
- 23) What should I do? How to give advice.
- 24) Dilemmas discussion game: I need your advice because ...
- 25) Tell me a story. Retelling stories and interesting past events.
- 26) In my opinion.
- 27) Looking ahead: Talking about goals and dreams for the future.
- 28) Review and classroom test practice time.
- 29) SPEAKING TESTS.
- 30) SPEAKING TESTS.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude actually to SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook and an electronic Japanese-English dictionary to each class.

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a conversation test at the end of the course.

教科書

English Firsthand 2 ISBN 962-00-5347-8

Published by Longman

Another text book will be presented in the first classroom, so that students can choose either one.

履修コード	287601
科目名	英会話II
担当者名	レイン, R. V.

講義のねらい This course will enable students to use better conversational English language patterns and idioms with increased confidence as well as to improve students' skills and confidence in giving presentations in front of the class.

講義の内容・授業スケジュール [1]Class introduction. [2-28] The first half of the class is devoted to textbook speaking activities to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to student presentations in front of the class on topics selected by the instructor. [29-30] Exams will draw from selected textbook activities.

履修上の留意点 Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home. Students should be aware that regular attendance is essential. Absence from 1/3 of the scheduled classes will result in a falling grade.

成績評価の方法 Students will be tested orally on the textbook activities and will also be graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as on attendance and class participation.

教科書 Steven Molinsky and Bill Bliss *Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4* Longman 2003 ISBN 0-13-183937-3

履修コード	287701
科目名	英会話III
担当者名	ウェルズ, J. K.

講義のねらい English Conversation III
Welcome to my class! I hope you will challenge yourself speaking English openly on a variety of subjects and activities. This is NOT a beginner's class and the class is held (in most cases) entirely in English. It is usually a small class, so there should be much opportunity for you to speak freely.

講義の内容・授業スケジュール
First Semester:
Emphasis will be put on working with your partners and talking about a variety of subjects I give you.
Second Semester: Partner and group activities will enhance your speaking ability. Current events ARE important!
Your grade will be determined by your participation in class as well as your attendance.

履修上の留意点 ATTENDANCE is VERY important and so I have one very STRICT rule in my classroom. NO student will be allowed to be absent more than three times during the school year. If I did not have this rule, students would come and go as they please. It is important to attend class. There are NO exceptions for activities in sports or for JOB HUNTING. I am proud of the overall percentage of students who attend my class and know you can attend regularly also.
* It is preferred that you not take English Conversation I and English Conversation III at the same time.
The first class is very important, so please do not be absent!
Auditing my class will be granted based upon the size of the class. Please talk to me about this when we meet.

成績評価の方法 Attendance : 50%
Grading: Class participation evaluation and attendance

教科書 There is NO textbook, but you will need one larger than average notebook to keep all the prints I provide you with in the class. This notebook will be checked and graded. Loose leaf binders should NOT be used. I will provide you with B5 sized prints so a notebook larger than B5 (A4 size) should be used.
Notebooks will be checked in the second class.

その他 I am an older American and have been teaching at Komazawa for many, many years. I am sure some of you know me and maybe I taught you English Conversation I.
If you want to challenge yourself further, please join my class. I will interview you briefly the first class period to see if your English is good enough to join this class. It is NOT a beginner's class.
SEE YOU IN CLASS!

履修コード	287801
科目名	英会話III
担当者名	レーン, C. M.

外国語

講義のねらい	This course concentrates on improving communication, discussion and fluency skills in English. During the first semester a different topic will be discussed each week through pair work and group work, which will be followed during the second semester by more in depth conversational discussions, also in pairs, small groups and through whole class activities. By the end of the year students should feel confident when speaking in English, as well as being able to give their opinion on various topics.
講義の内容・授業スケジュール	During the first semester students will be invited to give their opinion on a variety of different issues. At the end of the first semester students will be required to give a three-minute speech. Then, during the second semester more time will be spent on more in depth group discussions. At the end of the year students will give a presentation in small groups on a controversial topic of their choice.
履修上の留意点	As this is an oral English class students will not improve unless they attend most of the classes. Students who are absent without a good reason more than twice a semester will find it hard to pass. Also, students who are not prepared to give their opinions strongly might find this class difficult.
成績評価の方法	(ア) Attendance 20 % (イ) Participation during class 50 % (ウ) Individual presentation 10 % (エ) Group presentation 20 % As this is a practical class, students must be present and participate actively in order to get a passing grade.
教科書	A good dictionary A file to keep work sheets together-A4 size

履修コード	265401
科目名	英語LLI
担当者名	西村 ^{にしむら} 祐子 ^{ゆうこ}

講義のねらい 聞き取り、読む力を同時につける。日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。TOEIC形式の模擬試験を前期1回後期一回行う。すくなくともスコアで150から300程度のアップをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

前期

1. 小テスト(1)実施(受講希望者が多い場合はこのテストにより振り分けを行う)
2. 聞き取り、書き取り訓練(1)
3. 聞き取り、書き取り訓練(2)
4. 聞き取り、書き取り訓練(3)
5. 聞き取り、書き取り訓練(4)
6. 小テスト(2)
7. 英語での自己紹介(1)
8. 英語での自己紹介(2)
9. 英語での自己紹介(3)
10. 聞き取り、書き取り訓練(5)
11. 聞き取り、書き取り訓練(6)
12. 聞き取り、書き取り訓練(7)
13. 小テスト(3)

後期

1. 小テスト(4)
2. 聞き取り、書き取り訓練(8)
3. 聞き取り、書き取り訓練(9)
4. 聞き取り、書き取り訓練(10)
5. 聞き取り、書き取り訓練(11)
6. 小テスト(5)
7. 英語でおこなうペアワークと書く英語(1)
8. 英語でおこなうペアワークと書く英語(2)
9. 英語でおこなうペアワークと書く英語(3)
10. 英語でおこなうペアワークと書く英語(4)
11. 小テスト(6)
12. 復習とまとめ(1)
13. 復習とまとめ(2)

履修上の留意点

全員コンピュータIDを取得しておくこと。(総合情報センターで取得可能)。例年希望者が多いので振り分けテストをおこなう。

成績評価の方法

出席は4分の3以上であること、平常点としての小テスト、TOEIC形式模擬試験の成績、上昇度などによる。定期試験は実施しない。

教科書
参考書等
その他の

配布資料、および教場内コンピュータにある教材をつかう。授業中に提示する。

ウェブ上でおこなう宿題はYeStudyなどをつかい、電子データでの音の持ち帰りもできる。フラッシュメモリー(USB)、自宅での吹き込み用簡易ヘッドセット(マイクつき)などを用意しておくとう便利。

履修コード	265501
科目名	英語LLI
担当者名	岸本 ^{きしもと} 茂和 ^{しげかず}

講義のねらい 聴解能力一会話において相手が何を話しているか聴き取れる力一の涵養につとめる。「習うより馴れる」を標語に1年間やってゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

教場のPCに既設のソフトであるPC@LLを利用しながら必要におうじて映画DVDなどの商用ソフトも使用する。授業時にはいわゆる「双方向性」にのっとりIT機器をとおした受講生の自主的参加がもめられる。

履修上の留意点

出欠はかならずとる。3分の1以上欠席は不可。授業には英和辞書をかならず携行のこと。電子辞書も可。電子辞書をあらたに購入する用意のある受講生は「英和大辞典」が入っているものを選ぶこと。

成績評価の方法

前期・後期試験の結果および平常点ならびに出席状況等をかながみ評価する。試験形式はセンター入試のListening Tests とおなじような形になるであろう。

教科書
その他の

開講時に指示する。

このシラバス(授業内容)作成の時点(平成20年12月)から21年4月の開講時まで担当(岸本)の機器習熟とソフトの研究により一部授業内容が変更することもあることを付記する。

履修コード	265601
科目名	英語 LLI
担当者名	井伊 順彦

講義のねらい リスニング、スピーキングの初歩から始まり、最終的には高度なニュースをある程度は聞き取り、かつ内容のあるスピーチができるまで実用能力を高めること。

講義の内容・授業スケジュール 初心者が少なからず履修する点に留意して発音練習を重視するとともに、書き取りの時間を確保する。ビデオ、DVDも活用するつもり。

履修上の留意点 毎回おそらく一度は指名され、なんらかの問題に解答してもらおうことになる。また各自の練習時間もかなり設ける。積極的な姿勢が大事。

成績評価の方法 数回の小テストの成績、ひんばんな質疑応答の出来、出席数などを柱とするが、詳細は教室で。

教科書 『話すためのリスニング』南雲堂 1900円(税別)

参考書等 おりにふれて教室で指示する。

履修コード	265701
科目名	英語 LLI
担当者名	川崎 浩太郎

講義のねらい 英語の母音、子音、ストレス、単語と単語のリエゾン等の発音を練習し、ネイティブスピーカーが聞いて分かる明確な発音で話すことが出来るようになることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 具体的には、日常の様々な場面を再現したスキットをビデオで見ながらリスニング能力の向上をはかりつつ、スキットの中で用いられた単語や、フレーズ、文章等の発音練習を行っていきます。TOEICのリスニングなどもおこなう予定です。

履修上の留意点 (1)オリエンテーション (2~5) Unit1~10 (15~30) Unit11~20

成績評価の方法 恥ずかしがらずに大きな声で明瞭に発音することをこころがけてください。平常点50%、前期末と後期末の試験50%の割合で評価する。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書 村川久子『Sounds Right! Sounds Good!』マクミランランゲージハウス ¥2000(税別) ISBN4-89585-304-7

履修コード	265801・265901
科目名	英語 LLI
担当者名	外池 一子

講義のねらい リスニングに欠かせない英語の音声変化と聴き取りのストラテジーを体系的に学習し、その後英語のニュースを中心に、比較的短いモノローグやダイアローグなどを正確に聴き取れるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 1. 前期はテキストを中心に、以下の項目を学習します。
 (a) 個音(母音、子音)の識別
 (b) 連結
 (c) リダクション(機能語の弱形・縮約形)
 (d) 脱落・同化
 (e) リズム、イントネーション

履修上の留意点 2. 後期は実際の聴き取り練習を行いながら、さまざまなリスニングのストラテジーを実践的に身につけていきます。
 (a) ニュース
 (b) ドキュメンタリー
 (c) 映画、ドラマ
 (d) インターネット

履修上の留意点 授業はCALL教室で行います。コンピューターを使用しますから、受講前にユーザーIDとパスワードを取得しておくこと。

履修上の留意点 また、初回にテストを行い受講の可否を判定しますから必ず出席してください。初回のテストを受けなかった場合受講できない場合があります。

成績評価の方法 平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書 開講時に指示します。

その他の 毎週きちんと予習をして出席すること。予習をしていなかった場合は出席とは認めません。

履修コード	266001
科目名	英語 L I
担当者名	甲斐 捷子

講義のねらい 外国語の習得は、乳幼児の言語習得を観察すればわかるように、音の習得が基本です。この授業では、河合楽器が製作したビデオを使って、アメリカ英語の発音を視覚的に、基礎から学び直し、バランスの取れた英語力を身につけることが目的です。一つ一つの音の習得から始めて、単語、短文を正確に聞き取り、アメリカ人と同じような発音で発話する訓練へと進みます。音の習得ができれば、英語を学ぶ楽しさが倍加するだけでなく、正確なリスニング力、スピーキング力が身につきます。中、高等学校の間に、きちんとした発音の訓練を受けなかった皆さんには、ぜひ履修していただきたい授業です。

講義の内容・授業スケジュール テキスト各章の構成は、課題発音を含むスキット、発音方法、日米比較、単語、短文の練習、初めのスキットとなっています。発音の様子が映像で写し出されますから、それを見ながら、また、自分の発音とビデオの発音とを重ね合わせながら、正しい発音を習得します。前期後半にはビデオ2本を終了し、American Accent Training へ進み、アメリカ英語の特色であるリエゾンの訓練を通して、リスニング力、スピーキング力の飛躍的なレベルアップを図ります。このハンドアウトは開講時に配布します。

履修上の留意点 発音の訓練は早いほど良いので、1、2年次での履修が望ましいと思います。

成績評価の方法 一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。

教科書 Sounds Right! Sounds Good! マクミランランゲージハウス 2,100円 ISBN: 978-4-89585-304-0

参考書 American Accent Training 2nd ed. Barrons. \$39.95

その他 特になし。

履修コード	266101
科目名	英語 L I I
担当者名	久保 ひさ子

講義のねらい 海外旅行で場面別に、一回で通じる短い、英会話文を習得する。

講義の内容・授業スケジュール 旅行英会話の短文を、パソコン使用で、聞きとり、書きとり、反復練習する。コミュニケーションできるようにするため、さらに暗記する。毎週、小テストあり。

履修上の留意点 クラス同時録音のため、遅刻しないように、又、実習授業のため、欠席しないようにお願い致します。

成績評価の方法 前期試験と、授業実習点と、小テストの合計点

教科書 マイケル・ブラウン「旅行でしゃべる英会話」南雲堂 ¥1,200

履修コード	288501
科目名	英語 L L II
担当者名	セイジ, K

講義のねらい If you are interested in integrated language skills (reading+speaking+listening+writing - at the same time!) in a multimedia atmosphere, then this course will be a good challenge for you.

講義の内容・授業スケジュール Since this course is in the LL room, we will have access to online authentic sources from web-sites, including video and audio. In lessons, you will be expected to combine the resources provided by the teacher and/or yourself from the internet, into pairwork activities and real-world scenarios presented to the class. Various activities on YeStudy will also be required.

履修上の留意点 As this course is a little intensive, you must be prepared to have a good attitude and try your best to keep up with the material provided and your YeStudy work.

- 成績評価の方法**
1. Class activities
 2. Pair work and scenario presentations
 3. YeStudy work and use
 4. Attendance and attitude

教科書 There is no textbook. You will need to keep up-to-date with the online material and your YeStudy work.

参考書 Know of a good online dictionary.

履修コード	288601
科目名	英語 L L II
担当者名	高橋 明子

講義のねらい ニュースや映画などの多量の英語を聴き取って内容を理解し、学習した英語表現を実際に運用できるよう練習を重ねていきます。

講義の内容・授業スケジュール テキストを中心に聴き取りの練習を進め、進度に応じて映画などの教材やTOEICのリスニング・セクションの問題も取り入れます。テキストの各 Unit を二回の授業を目安にして進め、前期に Unit6 まで、後期に Unit12 までを学びます。

履修上の留意点 毎回の授業での学習の積み重ねが大事なので、欠席をなるべくしないことを心がけてください。また、受講前にユーザーIDとパスワードを取得してください。

成績評価の方法 平常点（出席状況や小テストなど）と前期・後期の試験結果とを総合して評価します。

教科書 『CNN：ビデオで見る世界のニュース（10）』（朝日出版社）2,000円＋税
ISBN978-4-255-15461-9

履修コード	288701
科目名	英語 L L II
担当者名	加藤 佐和子

講義のねらい TOEICの高得点を目指して、リスニング強化の訓練する。

講義の内容・授業スケジュール テキストに、Tactics for TOEIC を用い、TOEICの攻略法を研究し、練習問題を解きながら実践的力をつける。テキストの Listening Test Part を1ユニットずつ進む。

履修上の留意点 TOEICの Reading Part は、各自自習すること。

成績評価の方法 授業の参加度 50%
毎回の小テスト 50%

教科書 Tactics for TOEIC Listening and Reading Test, Student Book (Oxford University Press)

履修コード	289301
科目名	英語 L L III
担当者名	勅使河原 三保子

講義のねらい 英語圏の大学に留学するためのリスニング・スピーキング力の養成を目指します。英語圏の大学の授業では、読んだ記事や自分のレポートの口頭での要約が求められることもあります。この授業では、英語でプレゼンテーションを行うための準備、スピーチの仕方を学び、スピーキングの訓練をします。留学希望者でなくても、英語によるプレゼンの練習をしたい学生も歓迎します。

講義の内容・授業スケジュール 授業中に2回プレゼンテーションをしてもらいます（前後期各1回）。授業では英語でプレゼンテーションを行うための準備の仕方と講義の聞き方について学び、学んだスキルを練習します。

成績評価の方法 2回のプレゼンテーション、提出物、平常点

履修コード	289401
科目名	英語 L L III
担当者名	西村 祐子

講義のねらい 英字新聞を使い、時事問題をつかってディスカッションやプレゼンテーションをしながら読み書き話す英語力をやしなう。1年間の受講の後、すくなくともスコアが50から100程度は上昇することをめざす。授業はすべて英語でおこなう。

講義の内容・授業スケジュール
 前期：
 (1) 自己紹介、The Japan Times の記事にもとづくディスカッション
 (2) Herald Tribune の記事を選び各自プレゼンテーション
 (3) The Japan Times 上の記事を選び、各自プレゼンテーション、ディスカッション
 (4) TOEIC形式模擬テスト (1)
 (5) TOEIC形式模擬テスト (2)
 (6) テーマにそったまとめとディスカッション (1)
 (7) 小テスト
 (8) まとめとディスカッション (2)
 (9) Herald Tribune の記事によるプレゼンテーションとディスカッション
 (10) The Japan Times の記事によるプレゼンテーションとディスカッション
 (11) まとめと英語サマリー提出
 (12) 小テスト
 (13) プレゼンテーションとディスカッション

後期
 (1) 夏休み課題 のまとめ：ディスカッションとプレゼンテーション
 (2) Herald Tribune の記事を選び各自プレゼンテーション
 (3) The New York Times 上の記事を選び、各自プレゼンテーション、ディスカッション
 (4) まとめと小テスト
 (5) Herald Tribune より記事を選びプレゼンテーションとディスカッション
 (6) テーマにそったまとめと英語サマリー提出
 (7) 小テスト
 (8) まとめとディスカッション (2)
 (9) The New York Times の記事によるプレゼンテーションとディスカッション
 (10) 小テストと英語サマリー提出
 (11) 関連トピックをオンラインで検索、英語でサマリーをする。
 (12) TOEIC形式模擬試験 (1)
 (13) TOEIC形式模擬試験 (2)

履修上の留意点 受講者はTOEICで650点以上のレベルであること。受講制限あり。
 成績評価の方法 平常点 (出席点40%)、模擬TOEICテストのスコア40%、小テストスコア (20%) など。
 教科書 オンラインで入手できる英字新聞 (The Japan Times, Herald Tribune, The New York Times など) および教場にある英語学習ソフト、youtube などのオンラインによるビデオ教材。
 参考書等 教場で指示する。
 その他 PC教場にある英語学習ソフトも使用するの持ち帰り用としてUSBメモリースティックや家庭学習用に簡易ヘッドセット (マイクつき) を用意しておくことよい。

履修コード	289501
科目名	英語 L L III
担当者名	久保 ひさ子

講義のねらい 英語講演等をおおよそ、理解でき、さらに、ディベートできる程度をめざしたいと思います。
 講義の内容・授業スケジュール テキストを再生、聞きとり、書きとり、解答し、反復練習する。授業後半は、ABC or BBC ニュースのビデオ or DVD を使用します。

履修上の留意点 実習授業のため、欠席しないようお願い致します。
 成績評価の方法 前期試験と授業実習の合計点
 教科書 World Times of Japan, Michigan Action English Step 6 ¥3,000

外国語

履修コード	285201
科目名	名文で味わうドイツ語
担当者名	まつおか すすむ 松岡 晋

講義のねらい 日本の現代作家、村上春樹の小説『海辺のカフカ』のドイツ語訳“Kafka am Strand. Roman“(btb-Verlag, München 2006)を部分的に読みます。ときには原文の日本語と同箇所ドイツ語をつき合わせて、この箇所をドイツ人の訳者(Ursula Gräfe)はどう解釈してドイツ語に移し換えたのであろうか、などといったことも考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール ドイツ語訳でも600ページ以上の長編小説ですから、そのうちの5~10箇所ほどを集中的に読みます。上述のように、適宜、日本語の原文も参照します。講読の速度は授業参加者の理解度によって定めます。

履修上の留意点 毎回の予習をきちんと行ってください。また、授業には必ず独和辞典を持参してください。受講者は少数と予測されますので、ほぼ毎回、分担箇所を和訳してもらうことになるでしょう。日本文学専攻の方も受講を歓迎いたします。なお、講義担当者が作成した語句の語学および内容的説明のための注解を配布いたします。

成績評価の方法 試験はおこなわず、出席率と分担箇所の和訳の出来具合に基づいて成績を評価いたします。

教科書 教材はコピーで配布いたします。

参考書等 参考書、辞書などは授業の初回に紹介いたします。

履修コード	286001・286002
科目名	現代を読むドイツ語 時事ドイツ語
担当者名	のじま としあき 野島 利彰

講義のねらい ドイツ語圏の新聞を読み、それぞれの国が抱えている問題を知り、その対処の仕方を学びます。今年度は環境問題の記事を中心に取り上げます。

講義の内容・授業スケジュール 訳読は原則として希望者に任せますが、少人数クラスなので一回の授業で必ず一度は順番が回って来ることを予定してください。なお記事に関しては難しい文法事項、単語などを前もって解説し、辞書を引きやすいようにします。

履修上の留意点 文を読む上で必要なのは、正確な文法知識です。1年次の文法教科書を復習しておいて下さい。授業に対する貢献度、例えばどれだけ予習し、どれだけ訳を発表したかが評価の重要な基準です。

成績評価の方法 プリントを配布します。

教科書 日本語での知識があればあるほどドイツ語の記事は簡単に読めます。日本の新聞・雑誌あるいは新書などで温暖化の問題や地球環境に関して知識を入れておいて下さい。

履修コード	286901・286902
科目名	ドイツ語スキルアップ 上級ドイツ語
担当者名	ほりうち みえ 堀内 美江

講義のねらい はじめて学んだドイツ語を、せっかくですから少しでもモノにしてみませんか？新たに学びなおし、最後には「けっこうできるな、自分」と思えるようになりましょう！この授業は、あやふやだったドイツ語の語いや知識を整理整頓しつつ、「話す」「聞く」「書く」「読む」という技能をていねいに訓練し、獲得していきます。

講義の内容・授業スケジュール ドイツの文化背景を紹介しつつ、前期は「話す」「聞く」に重点を置き、映像や聴覚資料を用いてそのスキルを鍛えます。後期は「書く」「読む」に重点を置き、インターネットなどを使いながら、さまざまなドイツ語の姿に触れていきます。

履修上の留意点 出席をこころがけるようにしてください。せっかく獲得したスキルも、毎週使わなければ衰えてしまいます。また、ドイツの文化や歴史に関心を引くテーマを見つけ、それに関して使われるドイツ語などから、興味を持ってみるといいでしょう。

成績評価の方法 試験は行いません。平常点で評価します。

教科書 プリント配布予定。

参考書等 必要に応じて教場で指示します。

その他 楽しく、皆さんがドイツを好きになれるような授業を心がけたいと思います。がんばってドイツに行ったり、ドイツ人とコミュニケーションできるようなドイツ語を、少しでもマスターしてみよう！

履修コード	288001
科目名	ドイツ語コミュニケーションI
担当者名	<small>こばやし</small> 小林 ゲアリンデ

講義のねらい ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。
 日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

講義の内容・授業スケジュール (1～4) LektionI 今日は私の名前は (5～8) LektionII 家族と友だち (9～12) LektionIII 食物と飲食 (13～16) LektionIV 私の家 (17～20) LektionV 私の一日 (21～24) LektionVI くつろぎの時 (25～29) LektionVII 生涯学習 (30) テスト

成績評価の方法 定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書その他 Kursbuch + Arbeitsbuch "Schritte international I" (Hueber)
 ビデオ、カセットを使用する。

履修コード	288801
科目名	ドイツ語コミュニケーションII
担当者名	<small>こばやし</small> 小林 ゲアリンデ

講義のねらい ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拓けることを目標とする。
 話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

講義の内容・授業スケジュール (1～3) お互いに知り合う (4～6) 電話での会話 (7～9) コーヒーショップで (10～12) ヨーロッパ旅行 (16～19) 買い物 (16～19) 自由時間 (20～23) 家族と親戚 (24～28) 衣服・百貨店 (29) 復習 (30) テスト

成績評価の方法 定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。当面はプリントを配布する。開講時に指示する。

教科書その他 ビデオを使用する。

履修コード	289601
科目名	ドイツ語IA (選)
担当者名	<small>たけだ としかつ</small> 武田 利勝

講義のねらい 1年間のドイツ語文法の学習を通じ、ドイツ語検定4級～5級程度の力を身につけてもらいます。学習内容は初歩的な文法に留まりますが、どの学習事項も、これから自分でドイツ語を話したり読んだりする時の重要な「引き出し」になります。

講義の内容・授業スケジュール (1) オリエンテーション、ドイツ語学習の目標設定 (2～3) 発音の練習 (4～6) 動詞の変化、その1 (7～10) 名詞の格変化のいろいろ (11～15) 数詞、疑問詞、前置詞など (16～20) 動詞の変化、その2 (20～23) 接続詞、受動文、否定詞など (24～26) 形容詞、序数 (27～28) 関係代名詞と関係文 (29～30) 非現実話法、まとめ

履修上の留意点 外国語の学習は継続と積み重ねが命ですから、復習は絶やさないこと。もちろん、出席し続けること! とはいっても、チームワークを重視した授業になりますので、ただ出席するだけでなく、積極的に参加することが望まれます。楽しく真剣な授業になるように、協力しあいましょう。

成績評価の方法 各学習事項についての小テスト、また学期末テストのスコアに加え、出席状況および課題提出状況も評価の対象とします。

教科書 未定

履修コード	290201
科目名	ドイツ語IB (選)
担当者名	<small>いらいら ゆまこ</small> 井村 行子

講義のねらい ドイツ語を実際に使えるようにするとともに、ドイツについての知識の習得に努めます。教科書に沿って進めます。少なくとも4課までは終わらせる予定です。

講義の内容・授業スケジュール 前期と後期の筆記試験の成績によります。

成績評価の方法 『シュトラーセ・ノイ』(朝日出版社)

履修コード	290801
科目名	ドイツ語II (選)
担当者名	井村 行子

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール
成績評価の方法
教科書

ドイツ語のレベルアップとともに、ドイツについての知識を深めます。
第5課から第8課まで教科書後半を終わらせる予定です。
前期と後期の筆記試験の成績によります。
『シュトラッセ・ノイ』(朝日出版社)

履修コード	285301
科目名	名文で味わうフランス語
担当者名	東 辰之介

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

素朴で平明な文体をもつ魅力的な短編小説を教材として、フランス文学に親しむことを目的とします。
あらかじめ割り当てられた箇所を音読の上、日本語に訳していただきます。その後、担当者が解説します。授業スケジュールは受講者のレベルを考慮して調整しますが、以下のように考えています。(1)ガイドンス、受講者への割り当て(以後適宜) (2)~(15)アルフォンス・ドーデの短編 (16)~(30) ジュラルド・ド・ネルヴァルの短編
授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。調べても分からない時は、質問してください。
学期末試験の結果と平常点によって評価します。平常点を重視します。
適宜プリントを配布します。

履修コード	286101・286102
科目名	現代を読むフランス語 時事フランス語
担当者名	桑田 禮彰

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。
比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいきます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。できれば最後に、実際のフランスの新聞記事を読んで見ましょう。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一步踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。
(1) 受講上の諸注意 (2) (3) 豪華帆船と海賊 (4) (5) サン＝テグジュペリ、謎の結末 (6) (7) クリスチャン・ディオール (8) (9) 「パリ海岸」(10)~(24) 名所めぐりのパリマラソン、他 (25)~(29) Le Monde 記事 (30) 復習と今後のフランス語学習について
最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
クリスチャン・ボームルー他著『ヴァリエテ・フランセーズ2009』(朝日出版社) 1,995円 ISBN978-4-255-35198-8
そのつど授業で指示します。

履修コード	287001・287002
科目名	フランス語スキルアップ 上級フランス語
担当者名	遠山 博雄

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

文法の復習をしながら、きちんとした発音と基礎的な文字表現力を身につけること、仏検3級も視野に入れて。
(1~5) 名詞、冠詞、形容詞、基本動詞の直説法現在形、疑問文、否定文等)、(6~10) 命令形、動詞現在形のつづき、疑問形容詞、指示形容詞等) (11~15) 形容詞の比較級・最上級、動詞の過去形、代名動詞等) (16~20) 関係代名詞、動詞の条件法、接続法、現在分詞等)、(21~30) 教科書をはなれて様々な実践練習。
続けて出席すること。
平常点を原則とします。
松村剛『はじめての仏作文』朝日出版社、2,200円+税 ISBN4-255-35134-1 C1085

履修コード	288101
科目名	フランス語コミュニケーションI
担当者名	ラリア・三倉, M.

講義のねらい 教科書の内容に沿ってフランス語コミュニケーションの聴く、話す、読む実力が自然とついてくる授業にします。

講義の内容・授業スケジュール あくまで全くの初心者にフランス語のコミュニケーション力の基礎を習得させる内容になっています。
 (1) Alphabet /興味を持たせるための簡単な会話と表現/フランス語発音練習 (2)～(4) Leçon 1 (5)～(7) L2 (8)～(10) L3 (11)～(13) L4 (14)～(16) L5 (17)～(19) L6 (20)～(22) L7 (23)～(25) L8 (26)～(28) L9 (29)～(30) L10

履修上の留意点 授業は実践力をつけるため、フランス語で行います。

成績評価の方法 成績評価は講義で学生の各々の能力を見極める通常点で評価します。試験はいたしません。

教科書 高橋・ジュンタ共著『ヌーヴォー・ク・ドゥ・クール』第三書房
 ISBN 4-8086-2136-3

履修コード	288901
科目名	フランス語コミュニケーションII
担当者名	ラリア・三倉, M.

講義のねらい フランス語の基礎力が備わった学生向けのフランス人講師による授業です。

講義の内容・授業スケジュール ビデオを使って視聴覚中心の授業をいたします。
 (1) 受講上の諸注意 / à l'Aéroport の1回目 (2)～(4) à l'Aéroport (5)～(7) à l'hôtel (8)～(10) Paris, la nuit (11)～(13) Au café (14)～(16) Le train (17)～(19) Le téléphone (20)～(22) invitations (23)～(25) les courses (26)～(28) Au Restaurant (29)～(30) まとめと復習

履修上の留意点 授業は実践力をつけるため、フランス語で行います。

成績評価の方法 試験はいたしません。通常評価で採点します。

教科書 教材は“BIENVENUE EN FRANCE”よりプリントして学生に渡します。

履修コード	289701
科目名	フランス語IA (選)
担当者名	東 辰之介

講義のねらい フランス語初級文法の習得を目的とします。

講義の内容・授業スケジュール (1)受講上の諸注意 / Alphabet (2)～(3)発音の基礎 (4)～(15)文法の基礎(主語人称代名詞/動詞の直説法現在/形容詞の性・数/名詞/冠詞など) (16)～(29)文法の発展(疑問代名詞/縮約/補語人称代名詞/比較/動詞の過去・未来時制など) (30)復習と今後のフランス語学習について(中級への橋渡し)

履修上の留意点 授業にきちんと出席することが何より重要です。やむを得ず遅刻や欠席をしてしまった場合は、その分を次の授業までに自分で勉強しておいてください。調べても分からない時は、質問してください。

成績評価の方法 学期末試験の結果と平常点によって評価します。

教科書 藤田裕二著『パスカル・オ・ジャポン』(白水社) 2,000円+税 ISBN978-4-560-06083-4

参考書等 仏和辞典が必要です。初回授業でガイダンスをします。

履修コード	289711
科目名	フランス語IA (選)
担当者名	出口 雅敏

講義のねらい フランス語をはじめて学ぶ学生のための授業です。初級文法の習得を中心に、読む、書く、聞く、話すための基礎をバランス良く学習することが目的です。

講義の内容・授業スケジュール (1) 受講上の諸注意 / Alphabet (2)～(4) 発音の基礎 (5)～(15) 文法の基礎 (名詞の性・数/主語人称代名詞/冠詞、疑問文・否定文・命令文/形容詞/冠詞の縮約/動詞の現在時制など) (16)～(29) 文法の発展 (目的語人称代名詞/中性代名詞/比較/代名動詞/関係代名詞/動詞の過去・未来時制など) (30) 復習と今後のフランス語学習について

履修上の留意点 「仏和辞典」を毎回持参して下さい。*但し、電子辞書やポケット版辞典は不可です。

成績評価の方法 前期・後期の期末試験と通常点(出席状況・小テストなど)によって評価します。

教科書 仏語IA(選)
 石野好一・大久保政憲・山崎吉朗 『O es-tu? (どこにいるの?)』2008年刊 朝日出版社 2,500円+税 ISBN978-4-255-35190-2

履修コード	290301
科目名	フランス語I B (選)
担当者名	菅原 猛

講義の内容・授業スケジュール 既得の英語力を応用してフランス語の初歩を学びながら外国語で書かれた文章の構造を分析して読解力を高めてゆく。その作業は日本語の文章作法を見直すことにも通じてゆくと思われる。

履修上の留意点 履修した以上、できるだけ最後まで学習する意欲をもちつけて欲しい。

成績評価の方法 年2回の定期試験の成績を中心に、各課ごとに行なう練習問題の結果も平常試験として評価の対象にします。

教科書 鈴木隆芳・中野茂『フランス語文法の単位』2007年刊(駿河台出版社)2,625円(税込)

履修コード	290901
科目名	フランス語II (選)
担当者名	桑田 禮彰

講義のねらい フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・授業スケジュール 比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終わった人は、ぜひこの授業を取って、もう一步踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点 (1) 受講上の諸注意 (2)(3) 豪華帆船と海賊 (4)(5) サン＝テグジュペリ、謎の結末 (6)(7) クリスチャン・ディオール (8)(9) 「パリ海岸」(10)～(29) 名所めぐりのパリマラソン、他 (30) 復習と今後のフランス語学習について

成績評価の方法 最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書 クリスチャン・ボームルー他著『ヴァリエテ・フランセーズ2009』(朝日出版社)1,995円 ISBN978-4-255-35198-8

参考書等 そのつど授業で指示します。

履修コード	285401
科目名	名文で味わう中国語
担当者名	塩旗 伸一郎

講義のねらい 講読において音読は「刺身のつま」ではない。原文に深く食いこみ、より正確な理解に達するための手段である。朗読と翻訳という二つの表現方法により、古今の名文を味わい、文章を読む力を養う。

講義の内容・授業スケジュール 解題(1)、当代・現代篇(2～13)、前期末試験(14)、当代・古代篇(15～27)、後期末試験(28)

履修上の留意点 予習は不可欠。「一字の存在理由」を追究する姿勢と、朗読への意欲的取り組みを期待する。

成績評価の方法 試験(30×2)+平常点(40)-欠席点。
「平常点」≠「出席点」。欠席が3回を超えると10点ずつ減点。

教科書 プリント配布

参考書等 辞書は必携のこと。下記URLが参考になる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/gakujoho/zhojisho>

履修コード	286201・286202
科目名	現代を読む中国語 時事中国語
担当者名	岩崎 皇

講義のねらい 中国の経済改革、対外開放が始まって30年経ちましたが、その間、中国社会は大きく変化しています。授業のねらいは、古いイメージを離れて、ありのままの中国を見てみることです。

講義の内容・授業スケジュール コンピュータ教場を利用して、映像を見ながら授業を進めます。特にテーマはなく、中国社会のさまざまな面を見ていこうと考えています。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、部活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得はできません。

成績評価の方法 なお、就職活動を行う学生はそのつど状況を報告してください。場合により上記の制限を多少緩和することがあります。

また、これまで中国語を勉強したことのない人は履修できません。

履修上の留意点にある条件を満たした上で、毎回の授業への取り組み、課題提出、テスト等で評価します。

教科書 教材はこちらで用意します。

履修コード	287101・287102
科目名	中国語スキルアップ 上級中国語
担当者名	児島 弘一郎

講義のねらい 実用的な中国語表現の習得を目指すと同時に、各種検定試験への対策を行ないます。頻出する基本構文・語彙を反復学習しつつ、聴き取り・翻訳・作文などの訓練をします。

講義の内容・授業スケジュール 中国でのインタビューを中心に編集された音声教材を使用し、自然なスピードで話された中国語に毎回触れてもらいます。前期は全12課のテキストを毎回1～1.5課ずつ進め、前期の終わりから後期には、教員が用意した教材により、検定試験の具体的な対策を行ないます。

履修上の留意点 4分の3以上の出席、失敗を懼れない果敢さを求めます。

成績評価の方法 前期・後期の試験、小テスト、授業への取り組み、出席状況によって総合的に評価します。

教科書等 楊達・南勇『リスニング中国I』（朝日出版社、2200円、CD付）。

その他の 辞書や役立つ音声教材などは、教場で紹介します。

検定試験の受験を予定していない学生も、もちろん歓迎します。

履修コード	288201
科目名	中国語コミュニケーションI
担当者名	陳 洲拳

講義のねらい 中国語を用いて意思疎通を円滑に進める能力を養う。日常会話の初歩的な表現を口でスムーズに応答できるように習得する。

講義の内容・授業スケジュール 割とやさしい教科書を使い、学んだ内容を理解し、暗誦できる程度まで繰り返して音読し、そして今まで憶えた単語や文型など活用して、日常的な会話を練習する。5課ごとに1回自由会話を行う。

履修上の留意点 学んだ課の本文の録音をよく聞き、まねをして読み、正確に言えるように練習すること。

成績評価の方法 後期のテストの成績によって評価する。

教科書 陳洲拳他著『中国語耳留学』（隆美出版）2600円（CD2枚付き）

履修コード	289001
科目名	中国語コミュニケーションII
担当者名	小川 隆

講義の内容・授業スケジュール 「II」とあるが、レベルは「I」と同じ。大量の口頭練習を行いながら、発音と文法を基礎から復習し、徹底的に身につける。予習は必要ないが、毎回の学習内容を必ず次の週に暗誦してもらう。かつて中国語IA・IBを履修した、でも内容が身につけているわけではない、という現状の受講生を標準とする。短期・長期の留学に興味がある人も、ぜひ参加してほしい。

成績評価の方法 成績は平常点評価。

教科書 董燕・遠藤光暁『ともだち・朋友』トータル版（朝日出版社）¥2500＋税 ISBN978-4-255-45167-1

履修コード	289801
科目名	中国語IA（選）
担当者名	吉田 建一郎

講義のねらい 中国語の基礎力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール （1～6）四声とピンイン（7～14）代名詞、「是」と「不是」、名前・月日・曜日の言い方、疑問詞疑問文など（15～19）形容詞述語文、比較文、「在」と「有」、「了」など（20～）助動詞、補語、存現文、使役文、受身文など

履修上の留意点 積極的に練習に参加し、自主的に努力する意志のある方のみ歓迎。

成績評価の方法 平常点（出席状況、積極性）と定期試験をもとに総合的に評価。

教科書 内田慶市等『中国語への道—近きより遠きへ—』金星堂、2380円（税別）、ISBN978-4-7647-0659-0

外国語

履修コード	289811
科目名	中国語ⅠA (選)
担当者名	<small>いわさき ひろし</small> 岩崎 皇

講義のねらい 中国語という言語を体験してもらうことが目的です。とりわけ聞き取りと発音が重要ですから、繰り返し練習します。

講義の内容・授業スケジュール テキスト(全12課)に沿って日常会話を練習していきます。5月の連休までに発音の練習をし、その後はほぼ授業2回で1課進む予定です。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、6回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5として合計し、6点以内の者を成績評価の対象とします。

成績評価の方法 上記の出席を前提とした上で、年間4回行う試験で判断します。

教科書 劉穎『1年生のコミュニケーション中国語』(白水社)2,200円(本体)

履修コード	290401
科目名	中国語ⅠB (選)
担当者名	<small>おおくぼ あきお</small> 大久保 明男

講義のねらい 中国語の基礎知識(発音、基本的な文法、基本文型、慣用句など)を確実に習得して、会話力や文章読解力を養うとともに、現代中国社会に対する認識や理解を深めていくことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 発音編から入り、基礎編(基本文型など)を経て、ひねくれた女の子燕燕との会話を学んでいきます。ジョークまじりの中国語を通して中国人の笑いのセンスにも触れてみます。また、授業中に折に触れて現代中国の社会情勢や、学生諸君と同年代の中国若者の生活や文化などを紹介していきたいと思えます。

履修上の留意点 中国語を学ぶ意義を認識し、意欲を持って授業に臨むこと。毎回予習、復習すること。

成績評価の方法 出席、試験、平常点(担当時の出来具合や討論への参加、授業に臨む姿勢など)で総合評価します。

教科書 相原茂・郭雲輝『ひねくれ燕燕 ジョークで中国語入門』(朝日出版社、2520円)

履修コード	291001
科目名	中国語Ⅱ (選)
担当者名	<small>みたむら けいこ</small> 三田村 圭子

講義のねらい 基礎中国語を復習し、聞く・話す・書くを反復練習することで、より実践的な中国語を習得する。また1年間の学習終了時には、中国語検定3級程度の力を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール ①基礎中国語で学習した重要な文法や発音を復習する。
②教科書の進捗にしたがって、会話を暗記し、また簡単な文章を書けるように練習する。

履修上の留意点 出欠は成績に加味するので、欠席の多い学生は単位取得が難しい。欠席が3分の1以上の場合、採点評価の対象外とする。

成績評価の方法 前・後期の中間期末試験(全4回)と平常点で総合評価する。本文の暗記も点数に加算する。

教科書 董燕・遠藤光暁著『話す中国語北京篇2』(朝日出版社)2500円

参考書等 辞典や参考書については、授業開始時に説明する。

その他 辞典を持っていることが望ましい。

履修コード	285501
科目名	名文で味わうスペイン語
担当者名	齋藤 明美

講義のねらい 辞書の力を借りながら内容を理解する力をつけ講読を通して基礎文法の復習と語彙力の増加を目指します。前期では、直説法現在形、未来形、過去形(点過去、線過去)の復習を、後期は接続法現在などの中級文法習得も視野に入れます。スペイン語圏を代表する名曲の歌詞を題材にしヒヤリング力と発音の向上も図ります。講義が終わるころにはカラオケで歌われるスペイン語の歌の歌詞の意味が理解できるようになります。

講義の内容・授業スケジュール
 (1)スペイン語ポップスの名曲に親しむ(1-7)
 (2)カリブのリズム(サルサ・メレンゲなど)を感じる(8-14)
 (3)メキシコ、アンデス音楽を楽しむ(15-23)
 (4)スペインの民謡(フラメンコ、クリスマス之歌など)を味わう(24-30)

履修上の留意点 初級文法修了者を対象とします。
成績評価の方法 毎回の授業参加と年二回の演習課題によります。
教科書 GIDE語彙研究班『スペイン語語彙練習帳 スペ単ライト!』朝日出版社1200円
 テキストは毎回配布します。
参考書等 推薦辞書:『西和中辞典』(小学館) 『プエルタ新スペイン語辞典』(研究社)
その他の 講義内容の順序が前後する場合があります。

履修コード	286301・286302
科目名	現代を読むスペイン語 時事スペイン語
担当者名	齋藤 明美

講義のねらい 初級文法および基本語彙を復習しながら、現代のスペイン語圏の政治・社会、文化、芸術、スポーツ、文化についての簡単なテキストを読んでいきます。スペイン語を使った情報収集能力を高めます。講義が終了するころには辞書をひきながら現地の新聞雑誌やインターネットの簡単な話題を理解できるようになります。

講義の内容・授業スケジュール
 (1)スペイン語圏の衣食住(1-6)
 (2)スペイン語圏の社会(若者像、職業、大学など)(7-13)
 (3)文化・余暇(旅行、音楽、映画、スポーツなど)(14-19)
 (4)今年の重大ニュース(20-26)
 (5)スペイン語の日本に関するニュース(27-30)

履修上の留意点 初級文法修了者対象。
 興味関心がもてるテーマを一つでも見つけ、辞書をたよりに貪欲に語彙や慣用表現を増やす努力をしていきましょう。またインターネット等を積極的に活用して日ごろからスペイン語に慣れましょう。

成績評価の方法 毎回の授業参加や演習課題(夏休み1回)そして後定期試験によります。
教科書 GIDE語彙研究班『スペイン語語彙練習帳 スペ単ライト!』朝日出版社 1200円
 テキストは毎回配布します。
参考書等 推薦辞書:『西和中辞典』(小学館)
 『プエルタ新スペイン語辞典』(研究社)
その他の 講義内容の順序が前後する場合があります。

履修コード	287201・287202
科目名	スペイン語スキルアップ 上級スペイン語
担当者名	上野 勝広

講義のねらい このクラスでは、スペイン語検定試験(3級・4級)に合格することを目標にします。既習の文法事項を随時復習しながら、聴解・会話・読解・作文の各技能を伸ばし、総合的なスペイン語力を身につけられるようレッスンを進めます。

講義の内容・授業スケジュール 作文については年間を通じ下記のテキストを用いて、1回の授業で10ページくらい進めます。読解はインターネットのオンライン教材およびプリント、聴解・会話はビデオ・CD等の視聴覚教材を利用してゆきます。
 前期(1)オリエンテーション(2~5)自動詞・再帰動詞・他動詞の構文、など(6~10)連結動詞の構文、など(11~15)関係節、など
 後期(16~20)副詞節、など(21~25)受動構文、など(26~30)比較構文、など

履修上の留意点 「継続こそ力なり」です。休まずさばらず目標に向かって頑張れる意欲に満ちた受講者を歓迎します。また授業の学習成果を最大限あげるために、何より集中力が大切です。

成績評価の方法 前期末・学年末試験の結果(60%)と平常点(40%)を総合して評価します。
教科書 小池和良『スペイン語作文の方法・構文編』(第三書房)2,500円

履修コード	288301
科目名	スペイン語コミュニケーションI
担当者名	モラーレス, ムニョス, S.

講義のねらい スペイン語を用いて平易な日常会話が可能となるよう、必須の語彙を蓄えさせ、基礎文法の習得を促す。同時にスペイン語圏についての知識を深める。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 世界の中のスペイン語・発音とアルファベット (2) 自己紹介をする・動詞SERとESTAR (3) 自己紹介における形容詞の用い方・所有形容詞 (4) 場所と位置関係の表現 (5) 直説法現在規則活用の動詞 (6~7) 曜日と月・数詞 (8~9) 再帰動詞 (10) 直説法現在不規則活用動詞 (11) HABERとESTAR (12) 動詞GUSTAR (13) 食事について (14) 天候の表現 (15) 前期試験 (16) 命令法(規則活用) (17) 依頼の表現 (18) 現在進行形 (19) 約束をするときの表現 (20) 点過去規則活用 (21) 買い物をする (22) 目的語代名詞 (23~24) 身体各部の名称・病院で・動詞DO LER (25~26) 点過去不規則活用 (27) 線過去 (28~29) 現在および過去の習慣について (30) 後期試験

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

積極的にスペイン語を用いること。スペイン語圏のニュースに注意していること。
出席 (20%)、短い作文、発話 (30%)、2回の口頭試験 (50%)。
Francisca Castro Viúdez, et al. 『Español en marcha 1,A1. (Libro del alumno)』 (S.G.E.L.)

履修コード	289101
科目名	スペイン語コミュニケーションII
担当者名	モラーレス, ムニョス, S.

講義のねらい スペイン語のやさしい言い回しで心情などが表現できるようにする。過去の出来事の語り方や、未来の計画の立て方を学ぶ。現代のテーマについてスペイン語で意見を述べられるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

(1~3) 自分について話す (4から6) 評価を読む (7から9) 習慣と行事 (10~12) 未来の事柄 (13~14) 過去と現在 (15) 前期試験 (16~18) 比較 (19~21) 広告文・求人・買い物 (22~24) 助言をする (25~27) 自由時間・世界のお祭り (28~29) 未来の計画 (30) 後期試験

履修上の留意点

以前に学んだ文法の復習をしっかりとやっておくこと。積極的にスペイン語を用いること。スペイン語圏のニュースに注意していること。

成績評価の方法
教科書

出席 (20%)、短い作文、発話 (30%)、2回の口頭試験 (50%)。
Francisca Castro Viúdez 『Español en marcha 2,A2. (Libro del alumno)』 (S.G.E.L.)

履修コード	289901
科目名	スペイン語IA (選)
担当者名	なかじま さとこ 中島 聡子

講義のねらい スペイン語の基礎(発音・文法・語彙)を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課~5課まで、後期は6課~10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。

前期 (1) 導入、アルファベット (2~5) 文字と発音、主語の人称代名詞、動詞 ser、名詞の性数、冠詞、形容詞、動詞 hay、位置を表す表現、など (6~10) 動詞 estar、31までの数字、時間等の表現、規則動詞の活用、など (11~15) 疑問詞の使い方、動詞 ir、yo の活用が不規則な動詞、目的語の人称代名詞、天候の表現、など

後期 (16~20) 語根母音も変化する動詞、querer, poder の使い方、その他の不規則動詞、動詞 gustar の使い方、gustar 型の諸動詞、など (21~25) 比較の表現、関係代名詞 que、100までの数字、再帰動詞とその使い方、不定主語文など (26~30) 100を超える数字、命令形、婉曲・丁寧な表現、現在完了、感嘆文、など

履修上の留意点

外国語は繰り返し練習することによって習得できます。わからない単語はあらかじめ辞書をひいておく、新しい動詞の活用を確認するなどの予習、文法などの説明を聞き、実際にスペイン語を使ってみる場である授業、そしてそれらの復習、どれも欠かせません。繰り返し練習することが外国語習得への一番の近道です。

成績評価の方法
教科書
参考書等

テスト結果 (80%) に平常点 (20%) を合わせて評価します。
上野勝広『改訂版・新世紀のスペイン語』(同学社) 2,500円
初回の授業で紹介します。

履修コード	290501
科目名	スペイン語IB (選)
担当者名	齊藤 明美

講義のねらい

基礎文法を習得しながらスペイン語で「聞く」「読む」「話す」「書く」ことができるバランスの取れた基本的コミュニケーション能力を伸ばします。直接法の習得を目指します。また日常よく使われる口語表現などを具体的なシチュエーションを通して学び、スペイン語圏を安心して旅行できるコミュニケーション能力習得を目指します。

前期が終わるころにはスペイン語で簡単なあいさつや自己紹介、また道を聞いたりすることができるようになります。後期が終わるころにはスペイン料理店で自信を持って注文したり、スペイン語圏の友人と簡単なやりとりができるようになります。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) コースの説明、アルファベット、簡単な挨拶(1)
- (2) 1課：あいさつ、カフェで(発音、アクセント、挨拶、数、名詞の性・数、冠詞など)、2課：バス停にて(直説法現在、規則動詞) (2-8)
- (3) 3課：大学で(ser 動詞と estar 動詞(不規則動詞1)) 4課：どこ出身？(形容詞の性質と用法) (9-14)
- (4) 中間試験 (15)
- (5) 5-7課：バルにて、夏休みの計画、空港にて(直説法現在、不規則動詞など) (16-25)
- (6) 8課：歓迎会にて gustar 型動詞など) (26-28)
- (7) まとめ (29)
- (8) 定期試験 (30)

履修上の留意点

文法や語彙習得するためには多大な時間と努力が必要です。自ら楽しみながら勉強するコツを見つけましょう。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

毎回の出席、授業参加や各期末の達成度チェック(年二回)によります。

菊田/丹波『Entre dos mundos 二つの世界で』同学社 2700円

授業で推薦する辞典の中から各自使いやすいものを選び活用しましょう。

学生の理解度にあわせながら授業を進めますのでスケジュールが前後する場合があります。

履修コード	291101
科目名	スペイン語II (選)
担当者名	佐藤 麻里乃

講義のねらい

原語でまとまった量の文章を読むことに慣れ、スペイン語の持つ諸特徴への理解を深める。

講義の内容・

受講者はあらかじめテキストの文章を予習しておき、授業時に音読と和訳をする。教員は必要に応じてこれに解説を加える。

授業スケジュール

毎回必ず予習してくる。

履修上の留意点

予習の状況と前期末・後期末の試験を総合して評価する。

成績評価の方法

未定

教科書

外国語

履修コード	285601
科目名	名文で味わうロシア語
担当者名	<small>ひろた ひであき</small> 廣田 英靖

講義のねらい

ロシアの各メディアのホームページをパソコン画面で見渡すと、エネルギー関係を含むその豊富な天然資源のもとで、ロシアの経済発展が極めて著しいと感じられます。さらに、ロシア語で検索すると、様々な情報がリアルタイムに入手でき、日本の国土の約45倍もの広大な領土で生活するロシア人の科学、文化、芸術等の分野での思考方法、獨創性、奥深さが伝わってきます。

講義の内容・授業スケジュール

本授業では、近年のグローバル化、多極化したIT時代の状況をも踏まえ、PCルームにてインターネットなどの機能を活用し、膨大な情報の山に秘められている、簡潔で、温かみのある短文、詩、歌などの入手手順も分かりやすく説明し、五感を生かし、きらりと光る“ロシア語”を楽しく、内容豊かに学びます。気分転換もかね、『千と千尋の神隠し』などのアニメ作品で有名な宮崎駿監督など、日本を代表する多数の映画監督も、その若き日に、感銘や影響を受けたソ連時代のロシアアニメやビデオ映画を鑑賞します。

履修上の留意点

インターネットを活用し、発音、基本文法を復習しつつ、平明なロシア語講読を行います。

成績評価の方法
教科書

4-7月 ○基礎文法の復習と
○中級文法の導入
○ロシア語版のソフトになれるようにする
9-12月 ○インターネットを駆使し様々なロシア関係の知識を集積し深める。
PC教場にて、インターネットを介しロシアの各メディアを利用し学習に役立てます。
積極的に生きたロシア語を学びながら、変化の激しい時代に対応しましょう。
試験は行わず、平常点で評価します。
教場にてプリント配布。

履修コード	286401・286402
科目名	現代を読むロシア語 時事ロシア語
担当者名	<small>きむら ひであき</small> 木村 英明

講義のねらい

1991年のソ連邦崩壊から20年近くが過ぎたロシアは、2000年代に入ってから、豊かな天然資源を基盤に著しい経済成長を維持している。また、天然資源のみならず、人的資源にも恵まれたロシアの国際政治に及ぼす影響力や、21世紀の文化創造に向けて秘める潜在力は看過できないものがある。この授業では、そんなロシアの動向にじかにロシア語で触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ロシアの政治、経済、文化に関する平易な記事や論文を講読する予定だが、ビデオ等の映像教材も用いることにする。なるべく受講者の要望に応じたテーマを取り上げていきたい。テキストは適宜プリントの形で配布する。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

4-7月 新聞や雑誌の記事をもとに様々なスタイルのロシア語を読む。
9-12月 メドヴェージェフ大統領、プーチン首相による現在のタンデム体制を読み解く。
各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会うよう、アクティブな授業参加を望む。
試験は行わず、平常点で評価する。
プリントを配布する。
辞書：研究社露和辞典、岩波ロシア語辞典、博友社ロシア語辞典

履修コード	287301・287302
科目名	ロシア語スキルアップ 上級ロシア語
担当者名	クロチコフ, Y.

講義のねらい

会話練習。
簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読します。
講読した内容について自由会話を行う。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月 初歩の会話を学ぶ。
9-12月 会話力を高めながら同時にロシア語の文章の理解力を深める。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

出席を重視します。
平常点で評価します。
教場にて指示します。プリント配布。
学生の要望も考慮してテキストを選びます。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	288401
科目名	ロシア語コミュニケーションI
担当者名	<small>あんたく</small> 安德 ニーナ

講義のねらい ロシア語I、IIで学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール
成績評価の方法
教科書
参考書等

日常の話題等についても自由に会話ができるようになることを目指します。
教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。
講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。
安德ニーナ他著「RUSSIAN AS SPEAK IT」(ナウカ社)、「21世紀のロシア語」(大学書林)
必要に応じてその都度資料を配布します。

履修コード	289201
科目名	ロシア語コミュニケーションII
担当者名	<small>あんたく</small> 安德 ニーナ

講義のねらい 日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。

講義の内容・
授業スケジュール
成績評価の方法
教科書

資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。
講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。
新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)学生
のレベルにあわせて、その他の資料を用います。
講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

その他

履修コード	290001
科目名	ロシア語IA (選)
担当者名	クロチコフ, Y.

講義のねらい 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみ
っちりやります。
2) 簡単な挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディ・ランゲージを含む)を
身につけます。
3) 平易な内容を聞き取りによって理解できるようにします。
4) 基礎的な初級文法を学びます。
5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。
教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、受け答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使
い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話
してもらおうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません
。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切。
4-7月は発音やアクセントに重点をおき、9-12月は短文の読みや文法をくり返し学びます。

講義の内容・
授業スケジュール
成績評価の方法
教科書
参考書等

テストは行わず、平常点で評価。
『21世紀のロシア語』(大学書林)1,800円、プリント配布。
ビデオ、オーディオ等を使用します。
『露和辞典』

履修コード	290601
科目名	ロシア語IB (選)
担当者名	木村 英明

講義のねらい アジアからヨーロッパにかけて広がるロシアは、100に及ぶ民族を抱え、歴史的、文化的に多様な、世界の縮図のような国家です。ソ連崩壊後の1990年代は社会的に大変混乱しましたが、今世紀に入ってから再び経済や文化の領域で飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は、隣国である日本でも確実に高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの現況、習慣や文化にも触れていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール この授業では、4-7月では簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。9-12月ではビデオ等の映像資料も利用する予定です。

履修上の留意点 外国語の学習は、その外国語を使う国や人々、文化への関心が継続の意欲につながります。受講者各自が、授業を通じて、それぞれの関心と出会えるような能動的な参加を望みます。

成績評価の方法 試験は行わず、平常点で評価します。

教科書 黒田龍之介『ニューエクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

参考書等 学生の関心に応じて、適宜紹介するようにします。
辞書：白水社パスポート露和辞典、博友社ロシア語辞典

履修コード	291201
科目名	ロシア語II (選)
担当者名	クロチコフ, Y.

講義のねらい 以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。

講義の内容・授業スケジュール ロシア語を通して世界を広げていきましょう。
4-7月 発音・会話を学ぶ。
9-12月 会話力を一層高める。

成績評価の方法 平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書 杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林)

参考書等 ビデオ、オーディオ等を使用します。

履修コード	290101
科目名	朝鮮語IA (選)
担当者名	宋 美玲

講義のねらい 朝鮮語Iの授業は、同一の教員がそれぞれ違う教科書をもって週2回の授業を行う。IAのクラスは会話中心、IBのクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に多様な資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試みる。

講義の内容・授業スケジュール 文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。テキストに沿って進めていくが、初歩的な学習事項はIAとIBクラス同様である。後期からIAのクラスでは、口頭練習を通じた会話能力の養成に力を注いでいく。

履修上の留意点 最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法 出席・授業への参加度および、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書 IA：長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語 (会話編1)』(白帝社) 2,400円+税
野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』(ナツメ社) 1,000円

履修コード	290701
科目名	朝鮮語IB (選)
担当者名	宋 美玲 <small>ソン ミリョン</small>

- 講義のねらい** 朝鮮語Iの授業は、同一の教員がそれぞれ違う教科書をもって週2回の授業を行う。IAのクラスは会話中心、IBのクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを旨とする。同時に多様な資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試みる。
- 講義の内容・授業スケジュール** 文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。テキストに沿って進めていくが、初歩的な学習事項はIAとIBクラス同様である。後期からIBのクラスでは、文法事項による作文や読解に力を注いでいく。
- 履修上の留意点** 最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。
- 成績評価の方法** 出席・授業への参加度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。
- 教科書** IB：長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語（読んで書こう1）』（白帝社）2,400円+税
- 参考書等** 野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

履修コード	291211
科目名	朝鮮語II (選)
担当者名	宋 美玲 <small>ソン ミリョン</small>

- 講義のねらい** 基本的な文法内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるよう、表現能力を養成する。なお、多様な映像の資料をもって韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試みる。
- 講義の内容・授業スケジュール** テキストを中心に基本的な文法や語彙を学習し、会話文は完全に暗誦する。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を強化し、応用練習を通してより豊かな表現力を強化していく。第1回～第4回は初級の復習を行う。第5回からはテキストを中心に進めていく。
- 履修上の留意点** 韓国語の文字と発音を覚え、初歩的な文法事項を学習した人を対象とするので、まったく初めての人は朝鮮語Iのほうを受講すること。受講生は、テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。
- 成績評価の方法** 授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。
- 教科書** 浜之上幸 監修 姜英淑ほか5人共著『楽しく学ぶハングル1』白帝社 2,400円 +税
- 参考書等** 野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

4. 保健体育科目

履修コード	194801
科目名	健康・スポーツ実習（空手道）
担当者名	<small>たかはし しむすけ</small> 高橋 俊介

講義のねらい 空手道は、男子、女子を問わずに誰もができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してから猿臂打
- 7時限目：総合的に反復して練習
- 8時限目：総合的に反復して練習
- 9時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11時限目：総合的に反復して練習
- 12時限目：総合的に反復して練習
- 13時限目：総合的に反復して練習
- 14時限目：総合的に反復して練習
- 15時限目：実技試験

履修上の留意点 服装は、全員が授業用の空手着を着用する。

成績評価の方法 授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

履修コード	194801
科目名	健康・スポーツ実習（ゴルフ）
担当者名	<small>たておか よしあき</small> 館岡 儀秋

講義のねらい ゴルフゲームは、より豊かな余暇時間の体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。生涯スポーツとして、楽しくゴルフのラウンドプレーする為の基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ゴルフスイングの基礎（グリップ、アドレス、スイング）
- 3時限目：打撃練習（9I）
- 4時限目：打撃練習（PW・9I）
- 5時限目：打撃練習（PW・9I）
- 6時限目：打撃練習（9I・7I）
- 7時限目：打撃練習（7I・1W）
- 8時限目：打撃練習（7I・1W）
- 9時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11時限目：パッティング（ゴルフコース・クラブの解説）
- 12時限目：パッティングラウンド（マナー、エチケットの解説）
- 13時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法 授業に出席して実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

その他 雨天及び強風時は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

履修コード	194801
科目名	健康・スポーツ実習（卓球）
担当者名	佐藤 政之

講義のねらい	卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。
講義の内容・授業スケジュール	1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム 9 時限目：シングルスゲーム 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習 11時限目：ダブルスゲーム 12時限目：ダブルスゲーム 13時限目：ダブルスゲーム 14時限目：ダブルスゲーム 15時限目：まとめ
履修上の留意点	服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。
成績評価の方法	評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。
その他	30分以上の遅刻は認めない。

履修コード	194801
科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）
担当者名	秋田 浩一 <small>あきた こういち</small>

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行わないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単かつ安全なトレーニングマシンである。

1時限目：オリエンテーション、体力測定

2時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定

3時限目：〃

4時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう

5～7時限目：トレーニング

8時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up

9～11時限目：トレーニング

12時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up

13・14時限目：トレーニング

15時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装、トレーニングウエア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

成績評価の方法

出席点70%、実技点30%とする。実技点はトレーニング内容（毎時間記録する）。授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

その他の事項

ストレッチ体操の各種、器具のいらないトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

履修コード	194801
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	鈴木 淳平 <small>すずき じゅんぺい</small>

講義のねらい

室内で行なわれるボールゲーム等を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の愉しさを感じつつ、積極的な協力関係の構築を主なねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール等のチームスポーツ、バトミントンを行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

1時限目はオリエンテーションを行う。

2～5時限目 バスケットボール

6～9時限目 バレーボール

10～13時限目 バトミントン

14・15時限目 学生の希望によって決定する。

履修上の留意点

遅刻や欠席をせずに出席して、積極的に運動することを心がけてください。運動に適した一般的なスポーツウエアと、凹凸の少ないフラットなソールの室内用シューズで受講してください。

成績評価の方法

出席を重視し、評点の80%とします。

出席点は、遅刻や欠席の減点法で計算します。

その他、実技やルール等の小テストの得点、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価します。

履修コード	194801
科目名	健康・スポーツ実習（テニス）
担当者名	<small>えぐち じゅんいち</small> 江口 淳一

保健
体育

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで様々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目的とする。

さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ボレー、ミニストローク
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4 時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サービスの基本技術
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) ラケットは貸与する。

成績評価の方法
そ の 他

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

履修コード	194801
科目名	健康・スポーツ実習（ソフトボール）
担当者名	<small>やまぐち よしひろ</small> 山口 良博

講義のねらい	ソフトボールを行うための基礎技術やルールを学び、身体運動の楽しさを感じつつ健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深める。 また、基本的に毎時間ゲームを行うことにより、チームプレーを通して協調性やリーダーシップ等を養う機会とし、生涯スポーツについても理解を深める。
講義の内容・ 授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明 2時限目：キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、ゲーム 3時限目：キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、ゲーム 4時限目：シートノック、フリーバッティング、ゲーム 5時限目：シートノック、フリーバッティング、ゲーム 6時限目：総合練習、ゲーム 7時限目：総合練習、ゲーム 8時限目：総合練習、ゲーム 9時限目：総合練習、ゲーム 10時限目：ゲーム（リーグ戦） 11時限目：ゲーム（リーグ戦） 12時限目：ゲーム（リーグ戦） 13時限目：ゲーム（リーグ戦） 14時限目：ゲーム（リーグ戦） 15時限目：ゲーム（リーグ戦）
履修上の留意点	スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（スパイクは不可）の着用を厳守すること。用具は貸与する。
成績評価の方法	授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。
その他の	雨天時等の場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

履修コード	194901
科目名	健康・スポーツ実習（サッカー）
担当者名	<small>あきた こういち</small> 秋田 浩一

講義のねらい	サッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることで数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことへの理解度を高める。
講義の内容・ 授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業内容、服装等の説明 2時限目：班分け、インサイドキック、トラッピング（グラウンダー） 3時限目：インサイドキック、練習ゲーム 4時限目：浮玉のトラッピング1、リーグ戦1 5時限目：インステップキック、リーグ戦2 6時限目：インフロントキック、リーグ戦3 7時限目：オフサドルールの理解、リーグ戦4 8時限目：浮玉のトラッピング2、リーグ戦5 9～12時限目：基礎技術の応用練習 リーグ戦6～9 13時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦 14時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦 15時限目：まとめ
履修上の留意点	服装は、一般的な運動服装で良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること（6本ポイントのスパイクは不可）。靴下は厚手のものがよい。
成績評価の方法	評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点はチーム対抗リーグ戦の結果と受講態度により採点する。個人に実技テストは、行わない。
その他の	雨天の場合は、室内にて他種目の運動もしくは、ルールの説明、ビデオによるプロゲームの観戦注）運動服装は雨天でも持参すること。

履修コード	194901
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	岩本 哲也

講義のねらい	バスケットボール、パドミントン、フットサルを教材とし、各種目を楽しむための基本技術やルールを学び、各種目の理解を深める。また、ゲームを通して健康・体力を維持し、豊かな人間関係づくりを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	<p>1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明 （バスケットボール）</p> <p>2時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、ゲーム</p> <p>3時限目：パス（チェスト、オーバー、アンダー、パウンドパス）、ゲーム</p> <p>4時限目：ハーフコート3対3、ゲーム</p> <p>5時限目：リーグ戦1</p> <p>6時限目：リーグ戦2 （パドミントン）</p> <p>7時限目：グリップの理解、ストロークの基本技術、ゲーム</p> <p>8時限目：サーブ、スマッシュ、ゲーム</p> <p>9時限目：シングルスゲーム</p> <p>10時限目：ダブルスゲーム （フットサル）</p> <p>11時限目：ボールコントロール、ドリブル、ゲーム</p> <p>12時限目：パス、トラップ、シュート</p> <p>13時限目：基本技術の応用、ゲーム</p> <p>14時限目：リーグ戦1</p> <p>15時限目：リーグ戦2</p>
履修上の留意点	<p>服装：一般的な運動服装とする。</p> <p>シューズ：必ず体育館シューズを用意すること。</p>
成績評価の方法	評価は、出席点70点、実技点30点とする。

履修コード	194901
科目名	健康・スポーツ実習（ソフトボール）
担当者名	山口 良博

講義のねらい	ソフトボールを行うための基礎技術やルールを学び、身体運動の楽しさを感じつつ健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深める。 また、基本的に毎時間ゲームを行うことにより、チームプレーを通して協調性やリーダーシップ等を養う機会とし、生涯スポーツについても理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール	<p>1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明</p> <p>2時限目：キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、ゲーム</p> <p>3時限目：キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、ゲーム</p> <p>4時限目：シートノック、フリーバッティング、ゲーム</p> <p>5時限目：シートノック、フリーバッティング、ゲーム</p> <p>6時限目：総合練習、ゲーム</p> <p>7時限目：総合練習、ゲーム</p> <p>8時限目：総合練習、ゲーム</p> <p>9時限目：総合練習、ゲーム</p> <p>10時限目：ゲーム（リーグ戦）</p> <p>11時限目：ゲーム（リーグ戦）</p> <p>12時限目：ゲーム（リーグ戦）</p> <p>13時限目：ゲーム（リーグ戦）</p> <p>14時限目：ゲーム（リーグ戦）</p> <p>15時限目：ゲーム（リーグ戦）</p>
履修上の留意点	スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（スパイクは不可）の着用を厳守すること。用具は貸与する。
成績評価の方法	授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。
その他の	雨天時等の場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

履修コード	194901
科目名	健康・スポーツ実習（空手道）
担当者名	高橋 俊介

講義のねらい 空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内蔵諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してから猿臂打
- 7時限目：総合的に反復して練習
- 8時限目：総合的に反復して練習
- 9時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11時限目：総合的に反復して練習
- 12時限目：総合的に反復して練習
- 13時限目：総合的に反復して練習
- 14時限目：総合的に反復して練習
- 15時限目：実技試験

履修上の留意点 服装は、全員が授業用の空手着を着用する。

成績評価の方法 授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

履修コード	194901
科目名	健康・スポーツ実習（卓球）
担当者名	牧野 茂

講義のねらい 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、ダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、生涯スポーツの一つとして、継続して実施できるような基盤を作ることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2時限目：ラケットイング、フォアハンドの基本形
- 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方 シングルスゲーム
- 5時限目：バックハンドショートの打ち方、バックハンドゲーム
- 6時限目：カットの打ち方、カット&カット、シングルスゲーム
- 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8時限目：スマッシュ、シングルスゲーム
- 9時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：ダブルスゲーム
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点 服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法 評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	194901
科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）
担当者名	<small>みつなが よしひろ</small> 光永 吉輝

保健
体育

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行わないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・
授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1 時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2 時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3 時限目：＃
- 4 時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5 時限目：トレーニング
- 6 時限目：トレーニング
- 7 時限目：トレーニング
- 8 時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 9 時限目：トレーニング
- 10 時限目：トレーニング
- 11 時限目：トレーニング
- 12 時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 13 時限目：トレーニング
- 14 時限目：トレーニング
- 15 時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

そ の 他

ストレッチ体操の各種、器具のいらぬトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

履修コード	195001
科目名	健康・スポーツ実習（テニス）
担当者名	江口 淳一 <small>まぐち じゅんいち</small>

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで様々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目的とする。

さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ボレー、ミニストローク
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4 時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サービスの基本技術
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) ラケットは貸与する。

成績評価の方法その他

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

履修コード	195001
科目名	健康・スポーツ実習（室内球技）
担当者名	^{まきの しげる} 牧野 茂

講義のねらい バスケットボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容等の説明（バスケットボール）
- 2時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3時限目：ハーフコート2対1、ゲーム（1次リーグ）
- 4時限目：ハーフコート3対2、ゲーム（1次リーグ）
- 5時限目：ハーフコート4対3、ゲーム（1次リーグ）
- 6時限目：フルコート3対2、ゲーム（2次リーグ）
- 7時限目：フルコート4対3、ゲーム（2次リーグ）
- 8時限目：ハーフコート3対3、ゲーム（2次リーグ）
- 9時限目：ハーフコート4対4、ゲーム（2次リーグ）（バドミントン）
- 10時限目：ラケットティング、ストロークの基本技術、ドライブ
- 11時限目：スマッシュ、ドロップ、クリアー、ミニゲーム
- 12時限目：サービス、ネットショット、シングルスゲーム
- 13時限目：サービス、ロブ、ブッシュ、シングルスゲーム
- 14時限目：ストロークの応用、ダブルスゲーム
- 15時限目：ダブルスゲーム

履修上の留意点
成績評価の方法

服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること。
評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	195001
科目名	健康・スポーツ実習（サッカー）
担当者名	^{いわもと てつや} 岩本 哲也

講義のねらい サッカーにおける、止める（トラップ）、蹴る（キック）、運ぶ（ドリブル）の基本技術を向上すると共に体力の向上、健康の維持・増進を図る。また、団体競技である「サッカー」を通して、コミュニケーション能力の向上と豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2時限目：リフティング、インサイドキック、ゲーム
- 3時限目：インサイドキック、トラッピング、ゲーム
- 4時限目：浮き球のトラッピング、ゲーム
- 5時限目：インステップキック（浮き球、グラウンダー）、ゲーム
- 6時限目：インフロントキック、ゲーム
- 7時限目：オフサイドルールの理解、ゲーム
- 8時限目：基本技術の応用1、ゲーム
- 9時限目：基本技術の応用2、ゲーム
- 10時限目：基本技術の応用3、ゲーム
- 11時限目：リーグ戦1
- 12時限目：リーグ戦2
- 13時限目：リーグ戦3
- 14時限目：リーグ戦4
- 15時限目：リーグ戦5

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装とする。
シューズ：必ずアップシューズもしくは、固定式スパイクを用意すること（取替え式スパイクは不可）。

成績評価の方法
その他の

評価は、出席点70点、実技点30点とする。
雨天時は、室内にて他種目の運動もしくは、ルール説明とビデオ観戦とする。

履修コード	195001
科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）
担当者名	秋田 浩一 <small>あきた こういち</small>

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

1時限目：オリエンテーション、体力測定

2時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定

3時限目：＃

4時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう

5～7時限目：トレーニング

8時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up

9～11時限目：トレーニング

12時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up

13・14時限目：トレーニング

15時限目：体力測定、まとめ

**履修上の留意点
成績評価の方法**

服装、トレーニングウエア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

出席点70%、実技点30%とする。実技点はトレーニング内容（毎時間記録する）。授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

その他

ストレッチ体操の各種、器具のいろいろなトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

履修コード	195001
科目名	健康・スポーツ実習（ソフトボール）
担当者名	<small>やまぐち よしひろ</small> 山口 良博

講義のねらい	ソフトボールを行うための基礎技術やルールを学び、身体運動の楽しさを感じつつ健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深める。 また、基本的に毎時間ゲームを行うことにより、チームプレーを通して協調性やリーダーシップ等を養う機会とし、生涯スポーツについても理解を深める。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明 2時限目：キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、ゲーム 3時限目：キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、ゲーム 4時限目：シートノック、フリーバッティング、ゲーム 5時限目：シートノック、フリーバッティング、ゲーム 6時限目：総合練習、ゲーム 7時限目：総合練習、ゲーム 8時限目：総合練習、ゲーム 9時限目：総合練習、ゲーム 10時限目：ゲーム（リーグ戦） 11時限目：ゲーム（リーグ戦） 12時限目：ゲーム（リーグ戦） 13時限目：ゲーム（リーグ戦） 14時限目：ゲーム（リーグ戦） 15時限目：ゲーム（リーグ戦）
履修上の留意点	スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（スパイクは不可）の着用を厳守すること。用具は貸与する。
成績評価の方法	授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。
その他	雨天時等の場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

履修コード	195001
科目名	健康・スポーツ実習（卓球）
担当者名	<small>すずき じゅんぺい</small> 鈴木 淳平

講義のねらい	1. 卓球を教材に使い、身体運動の実践の中で、その楽しさや重要性を理解する。技術・戦術や試合運営、ルール等を習得し、生涯スポーツとして取り組む事ができる基本的技術を身につける。 2. 技術練習やゲームを行う中で、その運営を協力して行っていく社会性・協調性を養う。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：ラケットの持ち方、スイングとフットワーク、ダブルス・ゲーム 3時限目：サービス、レシーブ、シングルス・ゲーム 4時限目：ドライブ（フォアハンド、バックハンド）、スマッシュ、ゲーム 5時限目～：総合練習、ゲーム、リーグ戦
履修上の留意点	遅刻や欠席をせずに出席して、積極的に運動することを心がけてください。運動に適した一般的なスポーツウェアと、清潔な室内用シューズで受講してください。
成績評価の方法	出席を重視し、評点の80%とします。出席点は、遅刻や欠席の減点法で計算します。 その他、実技やルール等の小テストの得点、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価します。

履修コード	195011
科目名	健康・スポーツ実習（トレーニング）
担当者名	みつなが よしひろ 光永 吉輝

保健体育

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3時限目：＃
- 4時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5時限目：トレーニング
- 6時限目：トレーニング
- 7時限目：トレーニング
- 8時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 9時限目：トレーニング
- 10時限目：トレーニング
- 11時限目：トレーニング
- 12時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 13時限目：トレーニング
- 14時限目：トレーニング
- 15時限目：体力測定、まとめ

**履修上の留意点
成績評価の方法**

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

その他の

ストレッチ体操の各種、器具のいろいろなトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

履修コード	195011
科目名	健康・スポーツ実習（サッカー）
担当者名	岩本 哲也

講義のねらい サッカーにおける、止める（トラップ）、蹴る（キック）、運ぶ（ドリブル）の基本技術を向上すると共に体力の向上、健康の維持・増進を図る。また、団体競技である「サッカー」を通して、コミュニケーション能力の向上と豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2時限目：リフティング、インサイドキック、ゲーム
- 3時限目：インサイドキック、トラッピング、ゲーム
- 4時限目：浮き球のトラッピング、ゲーム
- 5時限目：インステップキック（浮き球、グラウンダー）、ゲーム
- 6時限目：インフロントキック、ゲーム
- 7時限目：オフサイドルールの理解、ゲーム
- 8時限目：基本技術の応用1、ゲーム
- 9時限目：基本技術の応用2、ゲーム
- 10時限目：基本技術の応用3、ゲーム
- 11時限目：リーグ戦1
- 12時限目：リーグ戦2
- 13時限目：リーグ戦3
- 14時限目：リーグ戦4
- 15時限目：リーグ戦5

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装とする。
シューズ：必ずアップシューズもしくは、固定式スパイクを用意すること（取替え式スパイクは不可）。

成績評価の方法その他

評価は、出席点70点、実技点30点とする。
雨天時は、室内にて他種目の運動もしくは、ルール説明とビデオ観戦とする。

履修コード	195011
科目名	健康・スポーツ実習（テニス）
担当者名	江口 淳一

講義のねらい	<p>テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで様々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と態度を養うことを目標にしている。</p> <p>また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目的とする。</p> <p>さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的な人間形成を目指す。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明</p> <p>2 時限目：ラケットティング、ボレー、ミニストローク</p> <p>3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術</p> <p>4 時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本技術</p> <p>5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー</p> <p>6 時限目：スマッシュ、サービスの基本技術</p> <p>7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム</p> <p>8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）</p> <p>9 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）</p> <p>10 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）</p> <p>11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング</p> <p>12 時限目：ダブルスゲームを楽しむ</p> <p>13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ</p> <p>14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方</p> <p>15 時限目：まとめ</p>
履修上の留意点	<p>(1) 履修者の技術レベルは問わない。</p> <p>(2) 服装は一般的な運動服装とする。</p> <p>(3) ラケットは貸与する。</p>
成績評価の方法その他	<p>出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。</p> <p>雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。</p>

履修コード	195011
科目名	健康・スポーツ実習（ゴルフ）
担当者名	たておか よしあき 館岡 儀秋
講義のねらい	ゴルフゲームは、より豊かな余暇時間の体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。生涯スポーツとして、楽しくゴルフのラウンドプレーする為の基礎的知識、技術、及び態度を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：ゴルフスイングの基礎（グリップ、アドレス、スイング） 3時限目：打撃練習（9I） 4時限目：打撃練習（PW・9I） 5時限目：打撃練習（PW・9I） 6時限目：打撃練習（9I・7I） 7時限目：打撃練習（7I・1W） 8時限目：打撃練習（7I・1W） 9時限目：打撃練習（アプローチ） 10時限目：打撃練習（アプローチ） 11時限目：パッティング（ゴルフコース・クラブの解説） 12時限目：パッティングラウンド（マナー、エチケットの解説） 13時限目：ラウンド（模擬コース） 14時限目：ラウンド（模擬コース） 15時限目：実技テスト
履修上の留意点	1. 服装は、一般的な運動服装とする。 2. シューズは、運動靴とする。 3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。
成績評価の方法	授業に出席して実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。
その他の	雨天及び強風時は、教場を変更する場合があるので掲示板を確認すること。

履修コード	195011
科目名	健康・スポーツ実習（卓球）
担当者名	さとう まさゆき 佐藤 政之
講義のねらい	卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム 5時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム 8時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム 9時限目：シングルスゲーム 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習 11時限目：ダブルスゲーム 12時限目：ダブルスゲーム 13時限目：ダブルスゲーム 14時限目：ダブルスゲーム 15時限目：まとめ
履修上の留意点	服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。
成績評価の方法	評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。
その他の	30分以上の遅刻は認めない。

履修コード	195901・196001・196101・196201・196301
科目名	健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)
担当者名	三幣 晴三

講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校教育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習
(バドミントンのスイング技術・グリップ)
- 2 時限目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術
簡易ゲーム(ダブルスのラリーゲーム)
- 3 時限目：スマッシュの基本技術/ネット際のプレー技術
簡易ゲーム(ダブルスのラリーゲーム)
- 4 時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明
正式ルールでのダブルス練習試合
- 5 時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6 時限目：同 第2日目
- 7 時限目：同 第3日目
- 8 時限目：同 第4日目
- 9 時限目：同 第5日目
- 10 時限目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11 時限目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12 時限目：同 第2日目
- 13 時限目：同 第3日目
- 14 時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15 時限目：シングルス、トーナメント優勝戦

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装

成績評価の方法

シューズ：運動靴(体育館用として中履きのシューズを使用すること)
出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

保健体育

履修コード	196401・196402
科目名	健康・スポーツ実習(集中授業)〔再クラス〕(室内球技) 健康・スポーツ実習(集中授業)(室内球技)
担当者名	山口 良博

講義のねらい

室内で行われるボールゲームを教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。本講義では、基本的に毎時間ゲームを行い、身体運動の楽しさを感じつつ、チームの勝利獲得に必要である積極的な協力関係の構築を主な狙いとする。

講義の内容・授業スケジュール

バスケットボール、バレーボール、フットサルといった室内でのボールゲーム(主にチームスポーツ)を行う。技術・戦術を学んだ後は、主にゲームを通じて技術の習得、体力の向上を図る。

1時限目にオリエンテーションを行い、スケジュール(どの種目をどの程度やるか等)は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

スポーツウエア(上下)、体育館シューズの着用を厳守すること(土足厳禁)。

成績評価の方法

授業に出席して、積極的に取り組むことが重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。

その他の

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期)7月18日(土)～7月22日(水)
(後期)1月4日(月)～1月8日(金)
7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。
- (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川校舎
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。
「健康・スポーツ実習(集中授業)開講科目一覧」参照

履修コード	196401・196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（ダブルダッチ） 健康・スポーツ実習（集中授業）（ダブルダッチ）
担当者名	^{すえつぐ みき} 末次 美樹

保健体育

講義のねらい	ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う縄跳び運動である。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく。縄の回し方、跳び方等を自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身につく優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	<p>1日目 午前：オリエンテーション ターナーの練習・ジャンプの練習 午後：一本縄での応用 5回跳び・10回跳び</p> <p>2日目 午前：短縄を使って練習 一本縄応用 午後：奇数跳び・偶数跳び</p> <p>3日目 午前：出方の練習 午後：応用</p> <p>4日目 午前：ビデオ学習・応用 午後：応用</p> <p>5日目 午前：応用 午後：応用、まとめ</p>
履修上の留意点	服装：上下とも動きやすいものが良い。 シューズ（室内用）を用意する
成績評価の方法	出席状況（出欠の確認は午前・午後の二回行う）、授業の参加意欲・態度から総合的に判断する。
その他	<p>再クラス 集中授業コース実施について</p> <p>(1) 実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水） （後期）1月4日（月）～1月8日（金） 7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。</p> <p>(2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30</p> <p>(3) 実施場所：玉川校舎</p> <p>(4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。</p> <p>(5) 備考：再クラスの集中授業は、<u>前期・後期を履修して通年で2単位である</u>。該当する担当者・種目が、<u>前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること</u>。 「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照</p>

履修コード	196401・196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（太極拳） 健康・スポーツ実習（集中授業）（太極拳）
担当者名	おおいし たけし 大石 武士

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、将来、生涯スポーツの一つとしての基礎をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬚・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5時限目：第三組 左撥雀尾・右撥雀尾
- 6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身撒ラン捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点
成績評価の方法
その他

服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
出席率70%、総合評価30%で行う。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水）
（後期）1月4日（月）～1月8日（金）
7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。
- (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期に開講されるものが後期に開講されるものかを確認すること。
「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196401・196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（バドミントン） 健康・スポーツ実習（集中授業）（バドミントン）
担当者名	まきの しげる 牧野 茂

講義のねらい	ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基礎的能力を身につけることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	<p>1日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、ストロークの基本（回内・回外）</p> <p>1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク（1）（スマッシュ、ドロップ） コート半面のシングルス・ゲーム</p> <p>2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク（2）（スマッシュ、クリアー、ドライブ） サービス、コート半面のシングルス・ゲーム</p> <p>2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク（1）（クリアー、ヘアピン・ショット） サービス、シングルス・ゲーム</p> <p>3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク（2）（ロブ、クロス・ネットショット） シングルス・ゲーム</p> <p>3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー） サービス、シングルス・ゲーム</p> <p>4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク（3）（カット、プッシュ） 総合練習、ダブルス・ゲーム</p> <p>4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム</p> <p>5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム</p> <p>5日目午後：総合練習、トーナメント形式のゲーム</p>
履修上の留意点	ラケットは貸与する。 服装は、一般的な運動服装とする。 体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	成績は、出席（70点）と服装・授業態度等（30点）で評価し、60点以上を合格とする。出欠は、午前・午後の二回確認する。
その他	<p>再クラス 集中授業コース実施について</p> <p>（1）実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水） （後期）1月4日（月）～1月8日（金） 7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。</p> <p>（2）実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30</p> <p>（3）実施場所：玉川校舎</p> <p>（4）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。</p> <p>（5）備考：再クラスの集中授業は、<u>前期・後期を履修して通年で2単位である</u>。該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。 「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照</p>

履修コード	196401・196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（卓球） 健康・スポーツ実習（集中授業）（卓球）
担当者名	鈴木 淳平

講義のねらい	1. 卓球を教材に用い、身体運動の実践のなかで、その楽しさや重要性を理解する。 技術やルール等を習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的技術を身につける。
講義の内容・ 授業スケジュール	2. 技術練習やゲームを行う中で、その運営を仲間と協力して行っていく社会性・協調性を養う。 1日目：ラケットの持ち方、スイングとフットワーク、シングルス・ゲーム 2日目：サーブとレシーブ、ラリー、ダブルス・ゲーム 3日目：ドライブ（フォアハンド・バックハンド）、スマッシュ、ゲーム 4日目：総合練習、ゲーム、リーグ戦 5日目：総合練習、ゲーム、リーグ戦
履修上の留意点 成績評価の方法	スポーツウェア（上下）、室内用のシューズ着用で受講する。 出席を重視し、評点の80%とします。 出席点は、遅刻や欠席の減点法で計算します。 その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加点評価します。
その他の	再クラス 集中授業コース実施について (1) 実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水） （後期）1月4日（月）～1月8日（金） 7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。 (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30 (3) 実施場所：玉川校舎 (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業 コース用に設定された特・4時限で提出すること。 (5) 備 考：再クラスの集中授業は、 <u>前期・後期を履修して通年で2単位である</u> 。該当する 担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認する こと。 「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196401・196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（ソフトボール） 健康・スポーツ実習（集中授業）（ソフトボール）
担当者名	なかはし しゅんすけ 高橋 俊介

講義のねらい 補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール 第1日目 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスパッティング、走塁練習、その他）

午後：同上

第2日目 午前：ゲーム

午後：〃

第3日目 午前：〃

午後：審判法・ゲーム

第4日目 午前：〃

午後：〃

第5日目 午前：〃

午後：〃

履修上の留意点 一般的体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法その他 出席を重視し、総合的に評価する。

再クラス 集中授業コース実施について

(1) 実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水）

（後期）1月4日（月）～1月8日（金）

7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合。

(2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30

(3) 実施場所：玉川校舎

(4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。

(5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期に開講されるものか後期に開講されるものかを確認すること。

「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196401・196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（屋外球技） 健康・スポーツ実習（集中授業）（屋外球技）
担当者名	<small>いわもと てつや</small> 岩本 哲也

講義のねらい

サッカーにおける、止める（トラップ）、蹴る（キック）、運ぶ（ドリブル）の基本技術を向上すると共に体力の向上、健康の維持・増進を図る。また、団体競技である「サッカー」「フットサル」を通して、コミュニケーション能力の向上と豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- （サッカー）
- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
 - 2時限目：リフティング、インサイドキック、トラッピング、ゲーム
 - 3時限目：浮き球のトラッピング、インステップキック（浮き球、グラウンダー）、ゲーム
 - 4時限目：インフロントキック、オフサイドルールの理解、ゲーム
 - 5時限目：基本技術の応用、ゲーム
 - 6時限目：リーグ戦 1
 - 7時限目：リーグ戦 2
 - 8時限目：リーグ戦 3
（フットサル）
 - 9時限目：ボールコントロール、ドリブル、ゲーム
 - 10時限目：パス、トラップ、シュート
 - 11時限目：基本技術の応用 1、ゲーム
 - 12時限目：基本技術の応用 2、ゲーム
 - 13時限目：リーグ戦 1
 - 14時限目：リーグ戦 2
 - 15時限目：リーグ戦 3

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装とする。
シューズ：必ずアップシューズもしくは、固定式スパイクを用意すること（取替え式スパイクは不可）。

成績評価の方法

評価は、出席点70点、実技点30点とする。実技点は、授業中に行われるゲーム成果、授業態度を加味して評価する。また、個人の実技テストは行わない。

その他の他

雨天時は、室内にて他種目の運動もしくは、ルール説明とビデオ観戦とする。30分以上の遅刻は認めない。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（土）～7月22日（水）
（後期）1月4日（月）～1月8日（金）
7月18日および1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00、13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川校舎
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。該当する担当者・種目が、前期に開講されるものが後期に開講されるものかを確認すること。
「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196401・196402
科目名	健康・スポーツ実習（集中授業）〔再クラス〕（室内球技） 健康・スポーツ実習（集中授業）（室内球技）
担当者名	まつむら まこと 村松 誠

講義のねらい	バスケットボール、バレーボールのゲームを通して、その基礎技術、戦術、ルール等を理解し、他の受講者と協力してゲーム運営ができるようになることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	1月4日午前：オリエンテーションと班分け 午後：バスケットボールのパス・キャッチとシュート 5日午前：ボールハンドリングとリーグ戦 午後：対人技術とリーグ戦 6日午前：コンビネーションプレートリーグ戦 午後：バレーボールの基礎技術 7日午前：スパイクとリーグ戦 午後：サーブ・レシーブとリーグ戦 8日午前：総合練習とリーグ戦 午後：リーグ戦とまとめ
履修上の留意点	スポーツ服装と室内用スポーツシューズを用意すること。冬期のため、風邪を引かないよう防寒に留意すること。
成績評価の方法その他	出席点を重視する。全体の3分の2以上の出席者に対して評価点をつけることとする。 再クラス集中授業実施について (1) 実施期間：後期；1月4日（月）～1月8日（金） 1月4日は、更衣の上、午前10時に玉川校舎101教場に集合 (2) 実施時間：10：00～12：00、13：00～15：30 (3) 実施場所：玉川校舎 (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業用に設定された特・4時限で提出すること。 (5) 備考： <u>再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して通年で2単位である。</u> 該当する担当者・種目が、前期のものか後期のものか確認すること。 「健康・スポーツ実習（集中授業）開講科目一覧」参照

履修コード	196501・196502・196503・196504
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）（室内球技）
担当者名	わたなべ いらあろ 渡辺 一郎

講義のねらい	半期間にバレーボール、バスケットボール、フットサル、卓球の4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等） 3時限目～4時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス） 5時限目：バレーボールの基本スキル（パス、スパイク、サーブ等） 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム 9時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等） 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム 13時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等） 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム
履修上の留意点	1. 本校第一体育館で行う。 2. 定員は40名とする。 3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	196601・196602・196603・196604
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）（室内球技）
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎

講義のねらい 半期間にバレーボール、バスケットボール、フットサル、卓球の4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等）
- 3時限目～4時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス）
- 5時限目：バレーボールの基本スキル（パス、スパイク、サーブ等）
- 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム
- 9時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム
- 13時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム

履修上の留意点

1. 本校第一体育館で行う。
2. 定員は40名とする。
3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法 出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	196701・196702・196703・196704
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）（室内球技）
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎

講義のねらい 半期間にバレーボール、バスケットボール、フットサル、卓球の4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等）
- 3時限目～4時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス）
- 5時限目：バレーボールの基本スキル（パス、スパイク、サーブ等）
- 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム
- 9時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム
- 13時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム

履修上の留意点

1. 本校第一体育館で行う。
2. 定員は40名とする。
3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法 出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	196801・196802・196803・196804
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）（室内球技）
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎

講義のねらい 半期間にバレーボール、バスケットボール、フットサル、卓球の4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等）
- 3時限目～4時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス）
- 5時限目：バレーボールの基本スキル（パス、スパイク、サーブ等）
- 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム
- 9時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム
- 13時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム

履修上の留意点

1. 本校第一体育館で行う。
2. 定員は40名とする。
3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	196901・196902・196903・196904
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）（室内球技）
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎

講義のねらい 半期間に卓球、バレーボール、バスケットボール、フットサルの4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等）
- 3時限目～4時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス）
- 5時限目：バレーボールの基本スキル（パス、スパイク、サーブ等）
- 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム
- 9時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム
- 13時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
- 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム

履修上の留意点

1. 本校第一体育館で行う。
2. 定員は40名とする。
3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	197001・197002・197003・197004
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・応用）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・応用）（室内球技）
担当者名	<small>わたなべ いちろう</small> 渡辺 一郎

- 講義のねらい** 半期間に卓球、バレーボール、バスケットボール、フットサルの4種目を行う。各々の種目を通して個人の基礎体力や運動技能を高めるとともに、集団の中での各個人の役割等を認識することにより社会的態度を養うことを目的とする。
- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1時限目：オリエンテーション
 - 2時限目：卓球の基本スキル（ストローク、ドライブ、カット、サーブ等）
 - 3時限目～4時限目：ゲーム（シングルス、ダブルス）
 - 5時限目：バレーボールの基本スキル（パス、スパイク、サーブ等）
 - 6時限目～8時限目：総合練習、ゲーム
 - 9時限目：バスケットボールの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
 - 10時限目～12時限目：総合練習、ゲーム
 - 13時限目：フットサルの基本スキル（パス、ドリブル、シュート等）
 - 14時限目～15時限目：総合練習、ゲーム
- 履修上の留意点**
1. 本校第一体育館で行う。
 2. 定員は40名とする。
 3. 服装は一般的スポーツウエア、体育館シューズを用意すること。
- 成績評価の方法** 出席点70点、実技点20点、態度点10点

履修コード	197101・197102・197103・197104
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・応用）（ミニサッカー） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・応用）（ミニサッカー） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・応用）（ミニサッカー） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・応用）（ミニサッカー）
担当者名	<small>おおいし たけし</small> 大石 武士

- 講義のねらい** ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。
- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1時限目：オリエンテーション
 - 2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
 - 3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
 - 4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
 - 10時限目～14時限目：ゲーム
 - 15時限目：まとめ
- 履修上の留意点**
- (1) 定員：35名
 - (2) 服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。
 - (3) 教場：体育館
- 成績評価の方法** 評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

履修コード	197201・197202・197203・197204
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(ミニサッカー) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(ミニサッカー)
担当者名	おおいし なげし 大石 武士

- 講義のねらい** ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。
- 講義の内容・授業スケジュール**
 1時限目: オリエンテーション
 2時限目: ゲームの進め方、練習ゲーム
 3時限目: ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
 4時限目～9時限目: 基礎技術の応用練習、ゲーム
 10時限目～14時限目: ゲーム
 15時限目: まとめ
- 履修上の留意点**
 (1) 定員: 35名
 (2) 服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。
 (3) 教場: 体育館
- 成績評価の方法** 評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

履修コード	197301・197302・197303・197304
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・基礎)(簡化太極拳) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・基礎)(簡化太極拳) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・基礎)(簡化太極拳) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・基礎)(簡化太極拳)
担当者名	おおいし なげし 大石 武士

- 講義のねらい** 太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のため KOMAnet・インターネットで配信(学内のみ)の予定。
- 講義の内容・授業スケジュール**
 1時限目: オリエンテーション
 2時限目: 重心の移動・腹式呼吸運動
 3時限目: 第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅
 4時限目: 第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肘
 5時限目: 第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
 6時限目: 第四組 単鞭・雲手・単鞭
 7時限目: 第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
 8時限目: 第六組 左下勢独立・右下勢独立
 9時限目: 第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
 10時限目: 第八組 轉身搬ラン捶・如封似閉・十字手・收勢
 11時限目: 総合
 12時限目: 総合
 13時限目: 総合
 14時限目: 総合
 15時限目: テスト
- 履修上の留意点**
 (1) 定員: 45名
 (2) 服装: 一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
 (3) 教場: 体育館
- 成績評価の方法** 出席率70%、総合評価30%で行う。

履修コード	197401・197402・197403・197404
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（後期・基礎）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅱ（後期・基礎）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅲ（後期・基礎）（簡化太極拳） 生涯スポーツ実習Ⅳ（後期・基礎）（簡化太極拳）
担当者名	おおいし なけし 大石 武士

講義のねらい 太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。なお、授業風景をビデオ撮影し、予習・復習のため KOMAnet・インターネットで配信（学内のみ）の予定。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分ゾン・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒巻肘
- 5 時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右ドン脚・双峰貫耳・轉身左ドン脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身撒ラン捶・如封似閉・十字手・收勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：体育館

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

履修コード	197501・197502・197503・197504
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）（室内球技）
担当者名	しもやち かつとし 下谷内 勝利

講義のねらい この授業は、バスケットボール、バレーボール、バドミントンの3種類のスポーツを教材として展開する。各々のスポーツの基本技術を学習した後、ゲームを通してそれぞれのスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション（バスケットボール）
- 2 時限目：基本技術の学習（ボールハンドリング、ドリブル、パス、シュートなど）
- 3 時限目：ハーフコート2対1、3対2、5対5など
- 4 時限目：ゲーム
- 5 時限目：ゲーム
- 6 時限目：ゲーム（バレーボール）
- 7 時限目：基本技術の学習（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブなど）
- 8 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの練習およびゲーム
- 9 時限目：ゲーム
- 10 時限目：ゲーム
- 11 時限目：ゲーム（バドミントン）
- 12 時限目：基本技術の学習（ラケットティング、ハイクリア、ドライブ、ヘアピンなど）
- 13 時限目：スマッシュの練習およびシングルのゲーム
- 14 時限目：サービスの練習およびダブルスのゲーム
- 15 時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアとするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。授業に出席して、積極的に実技に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。60点以上を合格とする。

教科書

特に指定はしないが、バスケットボール、バレーボール、バドミントンのルールは予習してもらいたい。

その他の

グループ毎に試合を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

履修コード	197601・197602・197603・197604
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・基礎)(室内球技)
担当者名	<small>しもやち かつとし</small> 下谷内 勝利

講義のねらい この授業は、バスケットボール、バレーボール、バドミントンの3種目のスポーツを教材として展開する。各々のスポーツの基本技術を学習した後、ゲームを通してそれぞれのスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
(バスケットボール)
- 2時限目：基本技術の学習(ボールハンドリング、ドリブル、パス、シュートなど)
- 3時限目：ハーフコート2対1、3対2、5対5など
- 4時限目：ゲーム
- 5時限目：ゲーム
- 6時限目：ゲーム
(バレーボール)
- 7時限目：基本技術の学習(オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブなど)
- 8時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの練習およびゲーム
- 9時限目：ゲーム
- 10時限目：ゲーム
- 11時限目：ゲーム
(バドミントン)
- 12時限目：基本技術の学習(ラケットティング、ハイクリア、ドライブ、ヘアピンなど)
- 13時限目：スマッシュの練習およびシングルのゲーム
- 14時限目：サービスの練習およびダブルスのゲーム
- 15時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点
成績評価の方法

服装は、一般的なスポーツウェアとするが、必ず体育館シューズを用意すること(土足厳禁)。授業に出席して、積極的に実技に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。60点以上を合格とする。

教科書

特に指定はしないが、バスケットボール、バレーボール、バドミントンのルールは予習してもらいたい。

その他の

グループ毎に試合を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

履修コード	197701・197702・197703・197704
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅱ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅲ（前期・基礎）（室内球技） 生涯スポーツ実習Ⅳ（前期・基礎）（室内球技）
担当者名	^{しもやち かつとし} 下谷内 勝利

講義のねらい	この授業は、バスケットボール、バレーボール、バドミントンの3種類のスポーツを教材として展開する。各々のスポーツの基本技術を学習した後、ゲームを通してそれぞれのスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	1 時限目：オリエンテーション （バスケットボール） 2 時限目：基本技術の学習（ボールハンドリング、ドリブル、パス、シュートなど） 3 時限目：ハーフコート 2対1、3対2、5対5など 4 時限目：ゲーム 5 時限目：ゲーム 6 時限目：ゲーム （バレーボール） 7 時限目：基本技術の学習（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブなど） 8 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの練習およびゲーム 9 時限目：ゲーム 10 時限目：ゲーム 11 時限目：ゲーム （バドミントン） 12 時限目：基本技術の学習（ラケットティング、ハイクリア、ドライブ、ヘアピンなど） 13 時限目：スマッシュの練習およびシングルスゲーム 14 時限目：サーブの練習およびダブルスのゲーム 15 時限目：ダブルスのゲーム
履修上の留意点 成績評価の方法	服装は、一般的なスポーツウェアとするが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。授業に出席して、積極的に実技に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。60点以上を合格とする。
教科書	特に指定はしないが、バスケットボール、バレーボール、バドミントンのルールは予習してもらいたい。
その他	グループ毎に試合を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

履修コード	197801・197802・197803・197804
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・基礎)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・基礎)(室内球技)
担当者名	下谷内 勝利

講義のねらい この授業は、バスケットボール、バレーボール、バドミントンの3種目のスポーツを教材として展開する。各々のスポーツの基本技術を学習した後、ゲームを通してそれぞれのスポーツへの理解を深めてもらい、生涯スポーツの基礎を築くことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
(バスケットボール)
- 2時限目：基本技術の学習(ボールハンドリング、ドリブル、パス、シュートなど)
- 3時限目：ハーフコート2対1、3対2、5対5など
- 4時限目：ゲーム
- 5時限目：ゲーム
- 6時限目：ゲーム
(バレーボール)
- 7時限目：基本技術の学習(オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブなど)
- 8時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの練習およびゲーム
- 9時限目：ゲーム
- 10時限目：ゲーム
- 11時限目：ゲーム
(バドミントン)
- 12時限目：基本技術の学習(ラケットティング、ハイクリア、ドライブ、ヘアピンなど)
- 13時限目：スマッシュの練習およびシングルのゲーム
- 14時限目：サービスの練習およびダブルスのゲーム
- 15時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点 服装は、一般的なスポーツウェアとするが、必ず体育館シューズを用意すること(土足厳禁)。
成績評価の方法 授業に出席して、積極的に実技に取り組む姿勢が重要である。したがって、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。60点以上を合格とする。

教科書 特に指定はしないが、バスケットボール、バレーボール、バドミントンのルールは予習してもらいたい。
その他 グループ毎に試合を行うことが多いため、30分以上の遅刻は認めないものとする。

履修コード	197901・197902・197903・197904
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・応用)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・応用)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・応用)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・応用)(卓球)
担当者名	村松 誠

講義のねらい 卓球の基本技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単と言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基礎をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5時限目：バックハンドショットの打ち方。バックハンドゲーム
- 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8時限目：スマッシュ(3球目)、シングルスゲーム
- 9時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ダブルスゲーム
- 14時限目：ダブルスゲーム
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点 服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること(土足厳禁)。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法 評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

履修コード	198001・198002・198003・198004
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(卓球) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(卓球)
担当者名	まつむら 村松 誠

講義のねらい 卓球の基礎技術を習得し、シングルス、さらにはダブルスのゲームを行うことにより、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルールを理解し、生涯スポーツとしての基盤をつくる。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
 - 2時限目：ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
 - 3時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
 - 4時限目：フォアハンドドライブのショット、ロングの打ち方。シングルスゲーム
 - 5時限目：バックハンドショットの打ち方。バックハンドゲーム
 - 6時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
 - 7時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
 - 8時限目：スマッシュ(3球目)、シングルスゲーム
 - 9時限目：シングルスゲーム
 - 10時限目：ダブルスゲームの行い方。ダブルスゲームの練習
 - 11時限目：ダブルスゲーム
 - 12時限目：ダブルスゲーム
 - 13時限目：ダブルスゲーム
 - 14時限目：ダブルスゲーム
 - 15時限目：まとめ

履修上の留意点 服装は、一般的な運動服装とするが、必ず体育館シューズを用意すること(土足厳禁)。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法 評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

履修コード	198101・198102・198103・198104
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・基礎)(ダブルダッチ) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・基礎)(ダブルダッチ) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・基礎)(ダブルダッチ) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・基礎)(ダブルダッチ)
担当者名	すえつみ 末次 美樹

講義のねらい ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う、縄跳び運動である。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく、また、動きを自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付く、優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1時限目：オリエンテーション
 - 2時限目：ターナーの練習・ジャンプの練習
 - 3時限目：短縄を使って練習・縄一本での練習
 - 4時限目：ペアでリズム・バランス感覚の確認
 - 5時限目：ターナーの練習、奇数と偶数の違い
 - 6時限目：5回跳び・10回跳び
 - 7時限目：ターナーの回転・スピード
 - 8時限目：ビデオ学習
 - 9時限目：連続跳び
 - 10時限目：応用
 - 11時限目：応用
 - 12時限目：応用
 - 13時限目：応用
 - 14時限目：応用
 - 15時限目：応用

履修上の留意点 服装：上下とも動きやすいものが良い。シューズ(室内専用)を用意する。

成績評価の方法 出席率70%、総合評価(授業への参加意欲、授業態度など)30%で行う。

履修コード	198201・198202・198203・198204
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・基礎)(ダブルダッチ) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・基礎)(ダブルダッチ) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・基礎)(ダブルダッチ) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・基礎)(ダブルダッチ)
担当者名	^{すよつぐ みき} 末次 美樹

講義のねらい ダブルダッチとは、2本の長縄を使って行う、縄跳び運動である。誰もが手軽にでき、集中力・リズム感・バランス感覚が身につく、また、動きを自分達で工夫する事で想像力やチームワークも身に付く、優れた運動である。ダブルダッチを体得することにより、現在および将来の体力・健康の保持増進を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ターナーの練習・ジャンプの練習
- 3 時限目：短縄を使って練習・縄一本での練習
- 4 時限目：ペアでリズム・バランス感覚の確認
- 5 時限目：ターナーの練習、奇数と偶数の違い
- 6 時限目：5回跳び・10回跳び
- 7 時限目：ターナーの回転・スピード
- 8 時限目：ビデオ学習
- 9 時限目：連続跳び
- 10時限目：応用
- 11時限目：応用
- 12時限目：応用
- 13時限目：応用
- 14時限目：応用
- 15時限目：応用

履修上の留意点
成績評価の方法

服装：上下とも動きやすいものが良い。シューズ(室内専用)を用意する。
出席率70%、総合評価(授業への参加意欲、授業態度など)30%で行う。

履修コード	198301・198302・198303・198304
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・応用)(室内球技)
担当者名	^{すよつぐ みき} 末次 美樹

講義のねらい 室内で行う球技(バスケットボール・バレーボール・バドミントン・ドッジボール等)を教材とし、各種目ともゲームを中心とした授業を展開する。各種目の身体運動を通して、生涯における健康・体力を維持するとともに、ゲームを通して、豊かな人間関係の構築を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時間目：オリエンテーション
- 2 時間目：＜バスケットボール＞パス、ドリブル等の基本技術・応用
- 3 時間目：ゲーム
- 4 時間目：ゲーム
- 5 時間目：＜バレーボール＞サーブ、レシーブ等の基本技術・応用
- 6 時間目：ゲーム
- 7 時間目：ゲーム
- 8 時間目：＜ドッジボール＞ルールの説明、キャッチボール等の基本技術
- 9 時間目：ボールコントロール、ゲーム
- 10時間目：ゲーム(リーグ戦)
- 11時間目：ゲーム(リーグ戦)
- 12時間目：＜バドミントン＞基本的な説明
- 13時間目：ゲーム
- 14時間目：ゲーム
- 15時間目：まとめと評価

履修上の留意点

実技は本校第1体育館で行う。一般的なスポーツウェア、運動に適した体育館シューズを用意する。人数によっては(出席者人数)、種目を変更する場合もある。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価(授業への参加意欲、授業態度など)30%とする。個人の実技テストは行わない。

履修コード	198401・198402・198403・198404
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(室内球技) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(室内球技)
担当者名	末次 美樹

講義のねらい 室内で行う球技(バスケットボール・バレーボール・バドミントン・ドッジボール等)を教材とし、各種目ともゲームを中心とした授業を展開する。各種目の身体運動を通して、生涯における健康・体力を維持するとともに、ゲームを通して、豊かな人間関係の構築を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時間目: オリエンテーション
- 2時間目: <バスケットボール>パス、ドリブル等の基本技術・応用
- 3時間目: ゲーム
- 4時間目: ゲーム
- 5時間目: <バレーボール>サーブ、レシーブ等の基本技術・応用
- 6時間目: ゲーム
- 7時間目: ゲーム
- 8時間目: <ドッジボール>ルールの説明、キャッチボール等の基本技術
- 9時間目: ボールコントロール、ゲーム
- 10時間目: ゲーム(リーグ戦)
- 11時間目: ゲーム(リーグ戦)
- 12時間目: <バドミントン>基本的な説明
- 13時間目: ゲーム
- 14時間目: ゲーム
- 15時間目: まとめと評価

履修上の留意点 実技は本校第1体育館で行う。一般的なスポーツウェア、運動に適した体育館シューズを用意する。人数によっては(出席者人数)、種目を変更する場合もある。

成績評価の方法 出席率70%、総合評価(授業への参加意欲、授業態度など)30%とする。個人の実技テストは行わない。

履修コード	198701・198702・198703・198704
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・応用)(バスケットボール)
担当者名	牧野 茂

講義のねらい バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目: オリエンテーション
- 2時限目: ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3時限目: 2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4時限目: 2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5時限目: 3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦)
- 6時限目: 4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦)
- 7時限目: マンツーマン・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 8時限目: マンツーマン・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 9時限目: マンツーマン・オフENSE(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 10時限目: モーション・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
- 11時限目: モーション・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
- 12時限目: モーション・オフENSE(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦)
- 13時限目: 総合練習、ゲーム
- 14時限目: 総合練習、ゲーム
- 15時限目: 実技テスト、ゲーム

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 駒沢キャンパス第1体育館で実施する。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法 出席点70点、実技テスト20点、受講態度10点で評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	198801・198802・198803・198804
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・応用)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・応用)(バスケットボール)
担当者名	まきの しげる 牧野 茂

講義のねらい	バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦) 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦) 7時限目：マンツーマン・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦) 8時限目：マンツーマン・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦) 9時限目：マンツーマン・オフENSE(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦) 10時限目：モーション・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦) 11時限目：モーション・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦) 12時限目：モーション・オフENSE(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦) 13時限目：総合練習、ゲーム 14時限目：総合練習、ゲーム 15時限目：実技テスト、ゲーム
履修上の留意点	(1) 定員は50名とする。 (2) 駒沢キャンパス第1体育館で実施する。 (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	出席点70点、実技テスト20点、受講態度10点で評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	198901・198902・198903・198904
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(前期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(前期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(前期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(前期・基礎)(バスケットボール)
担当者名	まきの しげる 牧野 茂

講義のねらい	バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	1時限目：オリエンテーション 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1 3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム 4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム 5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦) 6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦) 7時限目：マンツーマン・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦) 8時限目：マンツーマン・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦) 9時限目：マンツーマン・オフENSE(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦) 10時限目：モーション・オフENSE(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦) 11時限目：モーション・オフENSE(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦) 12時限目：モーション・オフENSE(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦) 13時限目：総合練習、ゲーム 14時限目：総合練習、ゲーム 15時限目：実技テスト、ゲーム
履修上の留意点	(1) 定員は50名とする。 (2) 駒沢キャンパス本校第1体育館で実施する。 (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。
成績評価の方法	出席点70点、実技テスト20点、受講態度10点で評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	199001・199002・199003・199004
科目名	生涯スポーツ実習Ⅰ(後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅱ(後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅲ(後期・基礎)(バスケットボール) 生涯スポーツ実習Ⅳ(後期・基礎)(バスケットボール)
担当者名	まきの しげる 牧野 茂

講義のねらい バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション
2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
3時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
4時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
5時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム(リーグ戦)
6時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム(リーグ戦)
7時限目：マンツーマン・オフense(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
8時限目：マンツーマン・オフense(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
9時限目：マンツーマン・オフense(3)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
10時限目：モーション・オフense(1)ハーフ・コート2対2、ゲーム(リーグ戦)
11時限目：モーション・オフense(2)ハーフ・コート3対3、ゲーム(リーグ戦)
12時限目：モーション・オフense(3)ハーフ・コート4対4、ゲーム(リーグ戦)
13時限目：総合練習、ゲーム
14時限目：総合練習、ゲーム
15時限目：実技テスト、ゲーム

履修上の留意点

(1) 定員は50名とする。
(2) 駒沢キャンパス本校第1体育館で実施する。
(3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法 出席点70点、実技テスト20点、受講態度10点で評価する。60点以上を合格とする。

履修コード	199301・199302
科目名	生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎）（ゴルフ） 生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン応用）（ゴルフ）
担当者名	三幣 晴三 他

講義のねらい

「健康・スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。

ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション:

1 回目 4月8日(水) 12:10~12:40 2研-209教場

2 回目 4月18日(土) 12:10~12:40 2研-209教場

*本オリエンテーションにて、受講許可書を発行します。

1 回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2 回目を実施します。

2. 事前授業: 7月21日(火) 13:00~16:10 2研-209教場「ゴルフの基礎知識」

3. 実習内容および現地講義

1 日目 9月7日(月)

講義: 9:00~12:10 ゴルフコースとゲーム、スイングの基礎(玉川校舎教場)

実技: 13:00~17:30 打撃練習

*注意: 1 日目は、玉川校舎で実施する。

2 日目 9月8日(火) 実技・講義: 11:00~18:00 打撃練習・ゴルフの規則1、その他

3 日目 9月9日(水) 実技・講義: 8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ゴルフの規則2

4 日目 9月10日(木) 実技・講義: 8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ラウンドの総括

5 日目 9月11日(金) 実技・講義: 8:30~13:30 打撃練習・ラウンド・閉校式

履修上の留意点

生涯スポーツ演習Ⅰ(シーズン基礎・シーズン応用)を履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。

1. 実習日程: 平成21年9月7日(玉川校舎)・9月8日~11日(現地: 3泊4日)

2. 場所:

宿泊: マロードインターナショナルホテル成田

〒286-0121 千葉県成田市駒井野763-1

電話 0476-30-2222 FAX 0476-32-9112

練習コース: ダイナミックゴルフ成田

〒289-2231 千葉県香取郡多古町飯笹1040

電話 0479-75-0793 FAX 0479-75-0785

3. 定員: 40名

4. 集合解散:

(1) 集合 9月7日(月) 午前9時 玉川校舎 305教場

9月8日(火) 午前11時 ダイナミックゴルフ成田

(2) 解散 9月11日(金) 午後12時30分: 予定 ダイナミックゴルフ成田

5. 受講料: 37,600円(左記金額には、交通費は含まれない。)

6. 納入期間: 平成21年5月18日(月)~5月30日(土)

証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康部門(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意してください。

7. 服装・用具

(1) 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)

(2) ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。

(3) グローブは、必ず各自で用意すること。

(4) ゴルフクラブ・キャディーバックは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法
その他

出席状況、ゴルフの技術的向上、授業態度を総合的に判断して評価する。

都合で参加できなくなった場合は、早急にスポーツ・健康部門(第2研究館9階資料室)に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

履修コード	199401・199402
科目名	生涯スポーツ演習II（シーズン基礎）（スキー・スノーボード） 生涯スポーツ演習II（シーズン応用）（スキー・スノーボード）
担当者名	鈴木 淳平 他

講義のねらい 現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。
 ○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。
 ○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション 1回目 4月8日（水）12：10～12：40 2研-209教場
2回目 4月18日（土）12：10～12：40 2研-209教場
※本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業 1月8日（金）13：00～16：00 2研-209教場「スノースポーツの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 1月28日（木）
午前：駒澤大学駒沢校舎から貸し切りバスで移動（集合・出発時刻未定） 正午到着予定
午後：開講式 班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 1月29日（金）
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目 1月30日（土）
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目 1月31日（日）
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省まとめ」
 - 5日目 2月1日（月）
午前：班別実習 閉講式
午後：駒澤大学駒沢校舎へ貸し切りバスで移動（集合・出発時刻未定） 到着後解散予定

履修上の留意点 本講座は、生涯スポーツ演習IIシーズン・基礎／応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認してください。

- 1) 実習日程：平成22年1月28日（木）～2月1日（月）の4泊5日（現地集合解散）
- 2) 実習場所：セントレジャー舞子スノーリゾート
宿泊）セントレジャー舞子ホテル 電話（025）783-3511
〒949-6423 新潟県南魚沼市舞子2056-108
- 3) 定員：スキー20名
スノーボード30名（但し、初心者・初級者に限る）
- 4) 受講料：50,000円（内訳：往復交通費・宿泊費・食費・傷害保険・その他雑費として）
※リフト券、レンタル代は別途料金がかかります。
証明書自動発行機（教務部ロビー設置）で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康部門（第2研究館9階資料室）に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成21年5月18日（月）～5月30日（土）
- 5) 用具：用具は現地レンタル可能（有料）。
- 6) 特記事項：卒業年次生が履修する場合は日程などに注意すること。

成績評価の方法 オリエンテーション・事前授業および実習（5日間）に参加修了し、2単位が認められる。成績評価方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

履修コード	199501・199502
科目名	生涯スポーツ実習（集中前期・基礎）（テニス） 生涯スポーツ実習（集中前期・応用）（テニス）
担当者名	えぐら じゅんいち 江口 淳一

保健体育

講義のねらい テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、スポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自律的に生活化する態度を養うことを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。
 （基礎）…初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

（応用）…エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

**講義の内容
授業スケジュール**

1日目午前：ラケットティング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術

1日目午後：ミニラリー、ラリーを楽しむ

2日目午前：フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用

2日目午後：ラリーの応用とミニゲーム

3日目午前：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）

3日目午後：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）

4日目午前：ダブルスのルールとポジショニング

4日目午後：ダブルスのゲームを楽しむ

5日目午前：トーナメント形式の試合

5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

**成績評価の方法
その他**

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：7月18日（土）～22日（水）
7月18日更衣の上、午前10時にテニスコート集合
- (2) 実施時間：午前10：00～12：00
午後13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は、集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限（前期）

履修コード	199701・199702
科目名	生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）（ゴルフ） 生涯スポーツ実習（集中後期・応用）（ゴルフ）
担当者名	<small>あのさ はるみ</small> 三幣 晴三

- 講義のねらい** ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。
- 講義の内容・授業スケジュール** 本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講生同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。
- 生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。
- 1日目実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）
講義：スイングの基本
 - 2日目実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）
講義：マナーとエチケット
 - 3日目実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）
講義：ゴルフルール
 - 4日目実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）
講義：ゴルフコースとラウンドについて
 - 5日目実技：打撃練習（総合的打撃練習）
- 履修上の留意点**（1）服装：一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
（2）グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。
- 成績評価の方法その他** 出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。
- （1）実施期間：1月4日（月）～8日（金）
1月4日午前10時に玉川校舎集合
 - （2）実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
 - （3）実施場所：玉川校舎グラウンド
 - （4）費用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、1,000円程度必要である。
 - （5）定員：40名
 - （6）申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『抽選登録』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限（後期）

履修コード	200201
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	<small>すずき じゆんぺい</small> 鈴木 淳平

- 講義のねらい** 健康であるための諸条件の追求と、それに深くかかわる体育・スポーツの本質を見つめる。将来の社会生活に有用な、科学的・医学的知識を得ることを目的とする。
- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1時限目：オリエンテーション
 - 2時限目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を認識する。
 - 3時限目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
 - 4時限目：スポーツと体力の関係について
 - 5時限目：運動能力発達の原理
 - 6時限目：運動能力の領域
 - 7時限目：運動能力の構造
 - 8時限目：運動能力とスポーツ技能の分析
 - 9時限目：総合体力の定義と要素
 - 10時限目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ障害について
 - 11時限目：トレーニング理論全般
 - 12時限目：〃
 - 13時限目：応急処置（テーピング、アイシング等）の実際
 - 14時限目：〃
 - 15時限目：まとめ
- 成績評価の方法** 出席を重視し、評点の80%とします。遅刻や欠席の減点法で計算します。レポート提出は必須とし、評点の20%とします。

履修コード	200401
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	たかはし しゆんすけ 高橋 俊介

講義の内容・授業スケジュール 健康スポーツ論学習の内容は健康で楽しい社会生活を送るためにもスポーツを行なうことは心身をリフレッシュさせ、体力の維持、健康の増進には欠かすことのできないことですが、体育とは何か、体育とは何をめざして行うのか、また現在のスポーツがどのような変革の道を進んで今日に至ったのか、その歴史を知ることによって体育の意義を知り、健康を考えることに役立てるものである。

- I
- 1 時限目：運動はなぜ必要か
 - 2 時限目：人類が生命を維持するのに必要な労働本能から生まれた運動
 - 3 時限目：一人の人間の健康が、国家、社会、団体に与える問題と運動
 - 4 時限目：体育によってどのような教育が考えられるか
 - 5 時限目：学校体育による教育
 - 6 時限目：社会体育による教育
 - 7 時限目：生涯体育による教育
 - 8 時限目：現在行なわれている運動がどのような経緯で生まれてきたか
 - 9 時限目：実用の面から生まれてきた運動
 - 10 時限目：健康の面から生まれてきた運動
 - 11 時限目：ホモルーデンスの面から生まれてきた運動
- II
- “レポート提出”授業時間内に課題に対する独自の見解をレポートする。
- 12 時限目：(例) スポーツの文化性、芸術性について
 - 13 時限目：(例) スポーツマン精神について
 - 14 時限目：(例) 大衆スポーツ論
 - 15 時限目：(例) スポーツと政治

成績評価の方法 出席を重視し、特にペーパーテストは行なわないが、レポート提出によって試験に代え評価する。

履修コード	201111
科目名	健康・スポーツ論 1
担当者名	さとう まさゆき 佐藤 政之

講義のねらい 現代社会は早いテンポで激しく移り変わり、新しい健康問題が次つぎと生じてきている。若年者を含む人々の中に生活習慣病が増えてきている。もはや最先端の医療技術だけでは抑え込めぬ時期にきている。このような時代の中で、健康とは何か、なぜ大切であるのかという、しっかりした健康観を持ち、「自からの健康は自からで守る」という自覚が必要である。本講義は日常の学生生活内容を豊かにするため、正しい食生活を中心に運動・スポーツの基礎的な知識を正しく理解し、心身をリフレッシュし、体力、健康の維持、増進につとめるための手助けとなる事を目的とする。

- 講義の内容・授業スケジュール
- 1 時限目：講義の概要説明
 - 2 " : 現代生活と健康 (食生活と健康)
 - 3 " : " (食生活と栄養)
 - 4 " : " (")
 - 5 " : " (運動不足と生活習慣病)
 - 6 " : " (栄養と生活習慣病)
 - 7 " : " (平均余命と寿命の伸び)
 - 8 " : " (健康のための生活習慣)
 - 9 " : " (喫煙・飲酒)
 - 10 " : " (ストレス社会と健康障害)
 - 11 " : " (ストレスと健康度測定)
 - 12 " : 現代生活と運動 (健康づくり運動)
 - 13 " : " (スポーツマンのトレーニング)
 - 14 " : " (スポーツマンの運動処方)
 - 15 " : (スポーツ医学の一般知識)

成績評価の方法 学期末試験と授業内に提出を求める2回の課題レポート中心に評価します。
教科書 教科書は使用しない。適時に配布プリントにて授業を進める。

履修コード	201201
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	おおいし たけし 大石 武士

講義のねらい 生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっきの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病気や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病気・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1 時限目：講義内容の説明
 - 2 時限目：体育の概念
 - 3 時限目：身体運動と体育運動
 - 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
 - 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
 - 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
 - 7 時限目：一次救命処置
 - 8 時限目：一次救命処置実習
 - 9 時限目：出血多量、ショック
 - 10 時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
 - 11 時限目：R・I・C・E処置、創傷、創傷のない障害
 - 12 時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
 - 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
 - 14 時限目：体力について
 - 15 時限目：テスト

履修上の留意点 日頃から新聞・雑誌等の応急手当に関連する記事に目を通しておくこと。

- 成績評価の方法** 出席・実習および学期末試験で評価する。
- 参考書等**
- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カツサ出版）1,700円
 - 2 『最新図解救命救急一応手当の手引き』（小学館）700円
- その他の** 救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

履修コード	201401
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	しもやち かつし 下谷内 勝利

講義のねらい 「健康」あるいは「スポーツ」をテーマに、スポーツ科学が教える基礎知識を理解することを目的としたい。

- 講義の内容・授業スケジュール**
1. 授業内容の説明
 2. 健康とは
 3. スポーツとは
 4. 健康・スポーツを究明するスポーツ科学とは
 5. からだと環境 1 適応について
 6. " 2 生活習慣病について
 7. " 3 運動の必要性について（日常生活と運動）
 8. 骨の構造と機能（骨格、関節の種類、関節の働きなど）
 9. 身体構造に規制される動き
 10. 筋肉（骨格筋の種類、筋収縮の仕組みなど）
 11. 筋収縮エネルギー（ATP-PC機構、乳酸性機構、非乳酸性機構、スポーツ競技との関連など）
 12. 有酸素運動
 13. 無酸素運動
 14. ワークショップ
 15. まとめ

履修上の留意点 配布プリントに沿って板書することが多くあることから、ノート整理が重要である。

成績評価の方法 小テスト数回、期末テストあるいはレポートによって総合的に評価する。

教科書 特に指定はしない（授業において、プリントを配布する）

参考書等 配布プリントに記載されている参考文献参照のこと。

その他の 基本的に講義形式で行うが、必要に応じてワークショップを行う。

履修コード	201601
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	村松 誠

講義のねらい 現代は健康の時代の不健康な時代といわれる。健康に関する情報は、マスコミにあふれている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、しっかりとした健康観を持つことは、適切な選択をするために大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中で最も健康な時期といわれるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この年代より始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯にわたっての健康を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10 時限目：飲酒と健康
- 11 時限目：ストレスと健康
- 12 時限目：食べ物と健康
- 13 時限目：運動と健康
- 14 時限目：環境と健康
- 15 時限目：まとめ

**成績評価の方法
教科書**

数回のレポート、小テストなどを行い、これを加味して評価する。
特に指定はしない。参考図書についてはその都度提示する。

履修コード	201801
科目名	健康・スポーツ論 2
担当者名	牧野 茂

講義のねらい 現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 アンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か（1） 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か（2） 身体的健康、精神的健康
- 4 時限目：健康とは何か（3） 社会的健康
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件
- 7 時限目：健康の保持増進（1） 科学的研究、健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進（2） 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9 時限目：WHOの総合健康指標
- 10 時限目：日常生活と健康（1） 運動・栄養
- 11 時限目：日常生活と健康（2） 休養・睡眠
- 12 時限目：日常生活と健康（3） 嗜好品と健康
- 13 時限目：感染症について（1） インフルエンザ、結核
- 14 時限目：感染症について（2） 性行為感染症
- 15 時限目：筆記試験

**成績評価の方法
教科書**

数回の小テストと学期末の筆記試験で評価する。60点以上を合格とする。
教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参考書等

「健康科学－知っておきたい予防医学－」（丸善）
「ライフスタイルと健康の科学」（不味堂出版）
他は、講義のなかで紹介する。

履修コード	202001
科目名	余暇学
担当者名	<small>たけだ ゆきお</small> 竹田 幸夫

講義のねらい 「余暇」に関する基礎的な知識と考え方についての講義を行う。大学生の年代は、将来における自分のライフスタイルの基礎を確立する大切な時期である。この授業における講義を聞いて、自分の「余暇」に関する考え方を確立してほしい。授業の進行状況に応じて、健康体操等の実技も行う。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1 時限目 オリエンテーション
 - 2 時限目 余暇のある生活
 - 3 時限目 余暇の意味
 - 4 時限目 新しい余暇概念
 - 5 時限目 余暇に関する日本と海外の考え方
 - 6 時限目 地域社会と余暇のかかわり
 - 7 時限目 余暇と健康 1
 - 8 時限目 余暇と健康 2
 - 9 時限目 健康体操の実践（実技）
 - 10 時限目 余暇とスポーツ 1
 - 11 時限目 余暇とスポーツ 2
 - 12 時限目 自分自身の余暇の設計 1
 - 13 時限目 自分自身の余暇の設計 2
 - 14 時限目 まとめ
 - 15 時限目 筆記試験

履修上の留意点 講義は教場で行い、実技は体育館で行う。実技の場合は、運動着と体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法 出席状況、授業中に作成・提出してもらったレポート（自分自身の余暇の設計）の内容、ならびに授業最後に行う筆記試験で評価する。

教科書 特に指定しない。毎回資料を配付する。

履修コード	202201
科目名	余暇学
担当者名	<small>みなと はるみ</small> 三幣 晴三

講義のねらい 人間にとっての余暇の意義を特にスポーツと健康の両面から説き明かす。特にスポーツについては世界と日本の現状を説明しながらそのときどきの話題に触れて考える。健康については、実技を交えて説明し、どうしたら健康な生き方ができるかを考える。教科書はないが授業で配布するプリントを中心に授業を進める。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 第1時限：オリエンテーション＜授業の進め方＞
 - 第2時限：スポーツの歴史と現在
 - 第3時限：人間とスポーツ＜ホモ・ルーデンス＞
 - 第4時限：〃
 - 第5時限：ワールドスポーツの現状＜ワールドカップ・オリンピック＞
 - 第6時限：〃
 - 第7時限：日本のスポーツの現状
 - 第8時限：〃
 - 第9時限：My Exercise のすすめ
 - 第10時限：My Exercise の実践＜実技＞
 - 第11時限：体操競技の歴史と現状
 - 第12時限：〃
 - 第13時限：駒澤大学スポーツの歴史と現状
 - 第14時限：人生と健康
 - 第15時限：総合テスト

履修上の留意点 毎時限出席は取るが、それだけでは単位認定はできない。ときどき実施する小テストと最後に行う総合テストの成績も重要である。

成績評価の方法 出席は毎時限とるが、出席と小テスト・総合テストを総合的に評価して単位認定を行う。

教科書 特になし

参考書等 特になし

Ⅱ. 専門教育科目

経 済 学 科

経済学科 フレックス A

商 学 科

現代応用経済学科

履修コード	O89201
科目名	経済学概説
担当者名	<small>せとおか ひろし</small> 瀬戸岡 紘

講義のねらい

この科目は、経済学の楽しさと奥深さを紹介することがねらいです。新しく経済学部に入学者が、これから経済学を学習し研究するためのイントロダクションとなる話を、年間をとおしておこないます。ここで私がなにより大切にしたいと考えていることは、まだ入学して間もない諸君が大いに抱えているはずの勉学への期待を裏切らないで、むしろ膨らませるようにもっていくことです。そのために、この講義では、受講者となる諸君の期待や要望に応じて、きわめて柔軟にプログラムを組んでいくつもりです。以下に掲げた講義の内容も、大まかな目標としてのプログラムにすぎません。

講義の内容・授業スケジュール

<導入の話題> ◇最近の経済をめぐる話題から（内容未定）
 <世界各地の経済を題材として：経済史と経済政策論へのイントロダクション> ◇ヨーロッパ経済の歴史と現在、◇アメリカ経済の特質、◇日本経済のおいたちと現状、◇アジア経済の発展と展望、◇旧ソ連と東欧の実験は何だったのか、◇地球と経済
 <経済学派や経済学者を題材として：経済学史と理論経済学へのイントロダクション> ◇古典学派の人びと、◇歴史学派とその後継者たち、◇マルクス学派、◇近代経済学の起源と諸潮流、◇ケインズと20世紀の経済、◇現下の経済と新古典学派
 <むすびの話題> ◇新しい経済学派の諸見解と21世紀の経済

履修上の留意点

前期の課題は、経済史、経済事情、経済政策のイントロダクションです。
 世界各地の今日の経済事情を概観しつつ、そのような経済事情を生んできた歴史的背景を考え、あわせてそれぞれの地域での経済政策の実態をごく簡単ながら紹介します。「現代経済事情――各国めぐりの旅」という気分で、最新の情報をもとに、受講者のみなさんを経済の世界に案内します。しめくりは、環境問題のような、今日さけてとおれない諸問題にまで話をすすめます。
 後期の課題は、経済学史と経済理論のイントロダクションです。

成績評価の方法

過去の著名な経済学者や経済学派のおかれた環境やその人（たち）自身が格闘した難題などの紹介をとおして、今日われわれが学ぶ経済学の生いたちをたどってみます。あわせて、それぞれの学者や学派の理論のアウトラインや特色をも概観します。著名な経済学者たちが、どのような人生をすごしながら、それぞれ歴史にのこる理論をつくっていったのか、この講義の聞きどころとなるでしょう。最終回では、今日の最新鋭の経済学の潮流や苦難にも言及します。

教科書

経済学の面白さが理解できた受講者が単位をとることができるような評価をします。したがって、安直に単位だけをねらおうとする学生には、容赦のない対応をとることになります。この講義の性格上、一発の年度末試験で成績をつけることは、諸君の強い希望がないかぎり実施しません。平常点重視のためまえから、随時、学んだことやその感想を書いもらい、その累積点を年間の評価とするつもりです。

最新のニュースや膨大な情報、そして歴史的事実こそ、この講義のテキストです。したがって、この講義では、特定の図書を教科書として使用しません。たくさん出版されている書物や雑誌、テレビ番組のなかに勉学に役立つものが見つかれば、その都度紹介します。

専門教育

履修コード	089301
科目名	経済学概説
担当者名	まつい 柳平

講義のねらい 経済学部経済学科に入学した学生に、経済学という学問の基本的な分析手法について理解してもらおう。

講義の内容・授業スケジュール 変数、1次関数、変数の累乗、多項式、微分、微分と接線の傾き、導関数と微係数、2階の導関数、極値、2変数関数、効用関数、無差別曲線と限界代替率、限界効用、偏微分、コブ・ダグラス関数、予算制約線、制約下の最大化問題

履修上の留意点 欠席すると授業についていけなくなるので、毎回出席すること。
講義プリントを、YeStudy を通じて配布する場合がありますので、その場合には、事前にプリントアウトして授業に臨むこと。

この講義の履修においては、小学校・中学校での算数・数学について、その基本的な部分の理解がきちんとできていることが前提となる。こうした算数、初等的な数学について自信のない受講生は、算数や中学時代の数学の教科書を事前に十分よく復習した上で授業に臨んでもらう必要がある。

具体的には、

◎小学校の算数における「数と計算」（個数を数える・比べる、加法・減法・乗法・除法、小数・分数の計算、約数・倍数、約分・通分）、「数量関係」（表やグラフ、交換法則、結合法則や分配法則、比、比例）

◎中学校の数学における「数と式」（正の数と負の数・その四則計算、一元一次方程式、文字を用いた式の四則計算、連立二元一次方程式、式の展開や因数分解、等）、「数量関係」（比例・反比例の関係、変数・変域、一次関数、等）

以上について理解ができていない人は、この講義を理解するのに困難を感じる場合が多々あるだろう。こうした基礎学力について自信がない受講生は、必ず、算数や中学時代の数学の勉強を自学自習すること。

成績評価の方法 授業時間内の小テスト、及び定期試験（年度末）の成績で評価する。

遅刻は3回で1回の欠席と扱う。早退も3回で1回の欠席と扱う。

教科書 教科書はとくに指定しない。

参考書等 三土修平『はじめてのミクロ経済学』日本評論社、4-535-55397-1

履修コード	089401
科目名	経済学概説
担当者名	やすもと みのる 安元 稔

講義のねらい この講義では、経済学的なものの方とは何かを経済学の基本的な概念を説明し、現代社会の経済問題について、新聞・経済雑誌・著書からの抜粋を解説しながら勉強します。現在私たちが生きている社会は、資本主義社会・工業化社会・市場経済社会などと呼ばれていますが、これらは必ずしも同じものではありません。その違いと特徴を理解するためには、現代社会の仕組み、成り立ち、歴史的な発展を知る必要があります。講義は以下の順序で進めます。

講義の内容・授業スケジュール

第 I 編 社会科学としての経済学

1. 経済学の対象
2. 物質的資源配分の方法（市場経済と非市場経済）
3. 慣習経済・指令経済・市場経済
4. 市場経済の特質（教科書上巻[IV]市場の原理を理解するーマイクロ経済学の基本）

第 II 編 経済学の発展

（教科書上巻[I]経済学とは何かー3. 経済学の思想はどのように発展してきたか）

1. アダム・スミスの自由主義経済学
2. カール・マルクスの資本主義批判
3. ジョン・メイナード・ケインズの経済学

第 III 編 経済分析の基礎理論

1. 国民所得と経済成長（教科書上巻[II] 経済を大づかみに捉えるーマクロ経済学の基本）
2. 価格と市場メカニズム（教科書上巻[IV] 市場の原理を理解するーマイクロ経済学の基本）
3. 公共部門の経済学（教科書下巻[VI] 公共部門の経済学）
4. 金融システム（教科書下巻[VII] 金融システムを理解する）
5. 経済組織（教科書下巻[VIII] 人と組織の経済学）

第 IV 編 国際経済

1. 輸出と輸入（教科書下巻[IX] 国際経済を見る目）
2. 通貨制度（教科書下巻[IX] 国際経済を見る目）

履修上の留意点

毎回講義の最後に新聞・経済雑誌・著書から抜粋した最近の経済事情に関する記事をコピーして配布し、幾つかの質問をします。配布する資料をよく読んで、解答してもらいます。この講義は必修科目ですから、毎回出席し、指定された文献は必ず読むこと、これらを守ってください。

**成績評価の方法
教科書**

期末試験の成績で評価します。

伊藤元重『はじめての経済学[上]・[下]』（「日経文庫」1014/F38・1015/F39 日本経済新聞出版社）(ISBN978-4-532-11014-7・978-4-532-11015-4)

**参考書等
その他の**

適宜指摘します。

できるだけ社会の動きに関心を持つことが大事です。そのためには、例えば、新聞の経済面をよく読んでください。板書をできるだけ避け、パワー・ポイント、ビデオ・テープによる説明を行います。映像をただ見ているだけでなく、必ずノートを取ってください。

履修コード	089512・089511
科目名	経済学概説 経済学基礎
担当者名	森田 成也

講義のねらい はじめて経済学を学ぶ人のために、経済学の基礎理論の初歩的知識と、その応用編としての日本経済の歩みについて、わかりやすく解説します。

講義の内容・授業スケジュール 授業の前半は経済学の基礎理論を、最も単純で目の前に存在する普通の商品からはじめて、世界的に資本展開する多国籍企業にいたるまで、わかりやすくかいつまんで説明します。授業の後半は、以上の基礎理論を踏まえての日本経済の独自の歩みについてです。

<前半>

1、経済学とは何か、2、商品とは何か—商品生産社会と価値法則、3、貨幣とは何か 4、利潤の源泉としての剰余価値とその発生メカニズム、5～6、剰余価値生産の3つの形態、7、労賃とは何か、8、資本の蓄積メカニズム、9、利潤と生産価格、10、商業資本、11、利子生み資本と銀行、12、株式会社、13、土地所有と地代、14、競争と独占、15、市民社会と国家、16、外国貿易と多国籍企業と帝国主義

<後半>

17、明治維新から敗戦まで、18、戦後改革と戦後復興、19～20、高度経済成長、21、高度成長の終焉と70年代後半の中成長、22、レーガン革命と80年代前半の日本経済、23、バブル経済とその崩壊、24、平成大不況、25、小泉改革と階層的景気、26、今後の課題と展望

履修上の留意点
成績評価の方法

板書中心の授業になるので、必ずノートはとってください。出席はとくにとりません。

夏休みのレポートと学期末試験の2つで成績評価します。とくに学期末試験が重要です。夏休みのレポートは、学期末試験に対する追加点と考えてください

(1) 夏休みのレポート…夏休みのレポートとして、いくつかの課題の本を指定しますので、それを読んで、内容の要約と感想を書いてください。提出は夏休み後の授業。

(2) 学期末試験…1年間の授業すべてが範囲になります。穴埋め問題と筆記問題の両方が適度なバランスで出題されます。

教科書
参考書等

森田成也『資本と剰余価値の理論』2008年刊(作品社)、2300円

松石勝彦『新版現代経済学入門』2002年刊(青木書店)、2625円

履修コード	089701・089702
科目名	経済理論A・資本の原理 経済理論IA・資本の原理
担当者名	有井 行夫

講義のねらい 経済のエネルギーとは、水力や火力、電力、原子力など自然力一般ではなく、人間自身のエネルギー、すなわち労働力です。地中における諸資源の地質学的生成、原生林や大気の生成など、人間エネルギーの関与しない自然的生成は経済関係を構成しません。経済システムとは、人間自身のエネルギーを組織しバランスよく発揮させている仕組みなのです。そして今日の経済システムは、かぎりない利潤追求を活動動機とする企業の商品生産にもとづいて実現されています。

さて、企業のかぎりない利潤追求を意味づけているのは、利潤の再投資運動、すなわちお金を産むお金の運動です。この運動のことを資本といいます。資本こそは、現代の経済システムの編成原理です。経済理論Aは、資本の存在と意味について、経済活動の原点から掘り下げます。なお、経済理論Bは、資本の意義の理解を前提して資本による社会的諸制度の意味づけをとらえる経済理論Aの発展コースです。また、ミクロ経済学、マクロ経済学は、おなじく現代経済システムの構造を原理的に考察しますが、経済理論A、Bとはアプローチの方法がちがいます。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】(第1週—第4週)第1章=経済学の対象と方法。(第5週—第13週)第2章=商品と貨幣。
【後期】(第13週—第22週)第3章=資本と剰余価値。(第23週—第26週)第4章=資本の蓄積。(第27週)第5章=結論。

履修上の留意点
成績評価の方法

骨格的内容の理解に時間を集中します。

授業中にアンダーラインを指示した箇所から出題した実力試験で7割、秋のレポートで3割の評価をします。

教科書

大谷禎之介『図解社会経済学』(桜井書店)3,000円

履修コード	089801・089802
科目名	経済理論A・資本の原理 経済理論 A・資本の原理
担当者名	<small>おおいし ゆうじ</small> 大石 雄爾

講義のねらい

私たちが生活している資本主義社会は、利潤追求を目的とする資本が支配的な力となり、生産・分配・消費のあり方を規定している社会です。現代社会はますます複雑なものとなっているため、まず資本主義経済の一般的な仕組みや法則についてきちんと理解することが必要となります。この「経済理論A」では、科学的な方法に基づいて打ち立てられたマルクス経済学の理論を中心に講義していきます。

この講義では、経済理論と現実の経済問題との関連についてもできる限り触れてみたいと考えています。受講生の皆さんも、新聞・テレビ・ラジオなどの報道に注意を向け、世界や日本国内で生じている政治・経済問題について考えるよう心がけて欲しいものです。

この講義は次のようなテーマに沿って進められます。

講義の内容
授業スケジュール

- 1 経済学を始めるにあたって
- 2～3 経済学とはどういう学問か？
- 4～5 商品の2要因と商品生産社会
- 6～8 貨幣の本質と諸機能
- 9～10 資本の一般的定式
- 11～12 資本の生産過程
- 13～14 賃金とは何か？
- 15～16 資本の蓄積過程
- 17～18 資本の循環と回転
- 19～20 社会的総資本の再生産と流通
- 21～22 利潤と利潤率
- 23～24 平均利潤率と生産価格
- 25 資本主義経済の長期的傾向

履修上の留意点

経済理論A（資本の原理）は体系的なまとまりを持っているため、講義の全体を通して聞くことにより、初めてよく理解できるという性質の科目です。授業には、年間をとおして毎回出席することを勧めます。

成績評価の方法

授業時間中に小レポートを書き、提出していただくことがあります。成績評価は、後期に実施される定期試験の点数を基礎に、小レポートの点数を勘案して行います。

教科書
参考書等

- 金子ハルオ編著『資本主義の原理と歴史』（青木書店）2,000円
大石雄爾著『商品の価値と価格』（創風社）3,600円
大石雄爾編著『労働価値論の挑戦』（大月書店）3,400円

履修コード	089901・089902
科目名	経済理論A・資本の原理 経済理論I A・資本の原理
担当者名	あべ ひろし 阿部 弘

講義のねらい 「経済理論」という科目は経済学の基本的内容をなすものである。この講義は主としてマルクスの『資本論』を主体として講義・演習をおこなう。一般に知られているように、『資本論』はその副題を「経済学批判」として、階級社会における体制的な経済学の批判を展開している。この講義では「資本主義の経済」が抱えている問題は何か、その基本的な枠組みについて、『資本論』が19世紀半ば(1867年)に批判をしたその内容を検証する。と同時に、現在「アメリカ発の世界的金融危機」に端を発した「黒字倒産」と大量解雇が日常不断の現象になっているなかで、マルクスへの回帰が言われるようになってきていることの問題を分析し、「経済学」は今何を課題として提起すべきかを受講生の皆さんと共に考えていこうと思う。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義は前期15回、後期15回の合計で30回である。
- I 「富」とは何か(前期15回)
- 1: 「富」とは何か(01-03回)
- (1) 「富」は人間にとって外部に存在する (2) 「富」の人間からの乖離 (3) 「富」に支配された人間
- 2: 「経済学の方法」(04-09回)
- (1) 「国富」 (2) 私的所有 (3) 価値
- 3: 人間社会と交換価値(11-15回)
- (1) 商品 (2) 貨幣 (3) 商品カテゴリーと人間社会
- II 資本(II/IIIで後期15回)
- 1: 資本の生産(01-03回)
- (1) 資本と商品 (2) 資本の本質 (3) 階級の生産
- 2: 資本の運動法則(04-09回)
- (1) 資本の運動範式 (2) 資本の生産と再生産 (3) 階級社会の拡大再生産
- 3: 資本の蓄積と階級の生産(10-14回)
- (1) 資本の蓄積 (2) 資本関係と人間労働 (3) 資本蓄積の本質

成績評価の方法

- III 資本主義生産様式と人間社会ーまとめ(15回)
- 1 レポートによる評価
- (1) 年間4回のレポート作成を通じて「成績評価」を行う。
- (2) レポートは、第1回目:5月/第2回目:6月末~7月初旬
第3回目:10月~11月/第4回目:12月~1月

教科書その他

阿部弘:『「経世済民論」と「経済学」』、創成社、2009。
「定期試験」は行なわない。

履修コード	090101・090102
科目名	ミクロ経済学 経済理論II・ミクロ経済学
担当者名	ほななか たかし 畠中 貴

講義のねらい ミクロ経済学は様々な経済分析の基礎となる理論の一つである。この講義では、ミクロ経済学の基礎的な内容を一通り説明する。数学は議論を単純化し論理の厳密性を実現する上でとても有益な道具であり、ミクロ経済学の醍醐味を味わうためには、ぜひとも初歩的な数学をマスターする必要がある。したがって、初歩的な数学(関数、微分)の説明も併せて行う。

- この講義の目標とするところは、次の二点である。
- (i) 経済のありさまを自分なりに把握するための技術を身につける。
- (ii) 筋道立ててものを考える力をつける。

講義の内容・授業スケジュール

前期は需要曲線、供給曲線、完全競争市場、集合、関数について説明する。
後期は需要曲線の背後にある家計の行動、供給曲線の背後にある企業の行動、市場メカニズムが果たしている役割、市場メカニズムがうまく機能しないケース(市場の失敗)、微分について説明する。

履修上の留意点

経済学の説明も数学の説明もすべて一から行うので、この講義を受講するにあたって前提とする知識は何もない。高校時代にあまり数学の勉強をしてこなかった人も積極的に受講して欲しい。ただし、講義の内容は抽象的で頭に入りにくい上、一旦理解できたと思った内容も日が経つと忘れてしまうのが通常であるから、一年を通して根気よく予習・復習を継続する必要がある。テキストは熟読しなくてはならない。前に説明したことの上に新しい内容を組み立てていくから、前にやったことがよく理解できていないと今やっていることが分からないということが起こるので、注意して欲しい。分からない部分があったら、分かるようになるまで説明するので、どんどん質問にいくこと。

成績評価の方法

基本的に二度の期末試験の総合評価。前期末試験、後期末試験のうちどちらか一方でも受けていない人には単位を与えないので注意すること。追試験は実施する。

教科書

岩田規久男『ゼミナールミクロ経済学入門』日本経済新聞社、3,107円+税、ISBN4-532-13030-1

履修コード	O90201・O90202
科目名	ミクロ経済学 経済理論II・ミクロ経済学
担当者名	まつい りゆうへい 松井 柳平

講義のねらい 理論的な経済分析の基礎となるミクロ経済学の理論を、ゲーム理論をベースとして解説する。消費者や企業などの個別経済主体が自発的かつ合理的に行動しているとき、どのような社会・経済状態が実現するか考察する。その際、その帰結の理解よりもむしろ、その帰結に至る論理展開、つまり分析方法の理解に重点を置く。

講義の内容・授業スケジュール <前期>
ガイダンス 講義の概要等説明・あるパン屋の話・ナッシュ均衡・バックワード・インダクション・サブゲーム完全均衡

<後期>
交渉ゲーム・オークション・消費者理論・金融とリスク管理・契約と誘因

履修上の留意点 この講義の履修においては、小学校・中学校・高校での算数・数学について、その基本的な部分の理解がきちんとできていることが前提となる。こうした算数、初等的な数学について自信のない受講生は、算数や中学時代の数学の教科書を事前に十分よく復習した上で授業に臨んでもらう必要がある。

具体的には、
 ◎小学校の算数における「数と計算」（個数を数える・比べる、加法・減法・乗法・除法、小数・分数の計算、約数・倍数、約分・通分）、「数量関係」（表やグラフ、交換法則、結合法則や分配法則、比、比例）
 ◎中学校の数学における「数と式」（正の数と負の数・その四則計算、一元一次方程式、文字を用いた式の四則計算、連立二元一次方程式、式の展開や因数分解、等）、「数量関係」（比例・反比例の関係、変数・変域、一次関数、等）
 ◎高校の「数学I」における「方程式と不等式」、「二次関数」
 以上について理解ができていない人は、この講義を理解するのに困難を感じる場合が多々あるだろう。こうした基礎学力について自信がない受講生は、必ず、算数や中学時代の数学の勉強を自学自習すること。

また、受講生の予習と復習を前提とし、授業中に学生に答えを尋ねる場合が多々ある。したがって、受講生は YeStudy に登録し、講義プリントを、YeStudy から事前にプリントアウトして必ず予習してきた上で、講義に臨むこと。

公務員試験、経済学検定試験、その他各種資格試験を将来、受験しようという学生は、この科目やマクロ経済学を履修した後、さらに、応用ミクロ経済学、応用マクロ経済学、公共経済学、経済政策などの科目を履修することが望まれる。

成績評価の方法 成績評価は基本的に、定期試験（年度末）に基づくが、授業中に自ら手を上げて練習問題を自発的に発表して内容がよかった人には成績評価に加味する。

また、夏期休暇中にレポート課題を課す場合がある（レポート課題の有無は7月の授業中にアナウンスする）。

教科書 梶井・松井『ミクロ経済学—戦略的アプローチ』（日本評論社）ISBN4-535-55202-9
参考書等 岩田 規久男『経済学を学ぶ』（筑摩書房）（ちくま新書）ISBN4-480-05602-5
 武藤 滋夫『ゲーム理論入門（日経文庫：経済学入門シリーズ）』（日本経済新聞社）ISBN：4532108292
 渡辺 隆裕『図解雑学 ゲーム理論』（ナツメ社）ISBN：4816337458
 渡辺 隆裕『ゼミナール ゲーム理論入門』（日本経済新聞出版社）ISBN：4532133467

その他 受講生の予習と復習を前提として講義を進める。練習問題等において自発的に解答を発表してくれる受講生を歓迎する。

履修コード	090301・090302
科目名	マクロ経済学 経済理論II・マクロ経済学
担当者名	<small>あらかし よしひろ</small> 荒木 勝啓

講義のねらい 乗数理論の完全理解、貨幣の役割と信用創造理論、IS-LM-BP曲線による国際経済と国内経済の
関係の理解、という4つのメインテーマを中心にマクロ経済理論を学習する。

講義の内容・授業スケジュール 授業の内容は次の通り。

1. 国民経済の成立
2. 所得の循環図式
3. 国民所得の概念
- 4-5. 国民所得の決定
- 6-7. 政府・輸出入の導入
8. 乗数理論
9. ビルト=イン=スタビライザー
10. 貨幣とは何か
- 11-12. 信用通貨の成立
13. 信用創造理論
- 14-15. 貨幣数量説と古典派学説
16. 流動性選好説
17. LM曲線
18. 投資関数
19. IS曲線
- 20-21. IS=LM曲線による均衡実質国民所得の決定
22. マンデル=フレミングの定理
23. フィリップス曲線と期待理論
- 24-30. IS=LM=BP曲線による国際経済と国内経済の関係の理解

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

ノートを取ることが肝要。
主として計算問題から成る定期試験100により評価する。
特に指示しない。
適宜紹介する。

専門
教育

履修コード	090401・090402
科目名	マクロ経済学 経済理論II・マクロ経済学
担当者名	あさの かつみ 浅野 克巳

講義のねらい

現代経済学は「マクロ理論」と「ミクロ理論」からなる。「マクロ」とは大きいという意味を持ち、「ミクロ」は小さいという意味を持つ。このコースでは経済全体の動きを分析する「マクロ理論」の基礎を勉強する。具体的に言うと、景気の良し悪しは何によって決まるか？物価の変動はどのような要因によるものか。デフレ経済の要因は何か？さらに政府の経済活動についてどのように考えるべきか。また輸出・輸入、経常収支といった外国との経済関係をどのように捉えたらよいか。マクロ理論はこれらの疑問に答えるきわめて日常的で身近な分野であるといえる。しっかり勉強すれば、面白くてためになる「一粒で二度おいしい」基礎コースだ。なお、上に述べたように「ミクロ理論」とはペアであるから、必ず両コースを履修することが現代経済学を体系的に勉強するためには不可欠である。

講義の内容・授業スケジュール

年間のスケジュールは以下のとおりであるが、理解しにくいトピックスには十分時間をかけ説明するが、テキストなどで「読めばわかる」箇所は簡単に済ませ時間の節約を心がけたい。

1. マクロ経済活動とマクロ経済学の考え方
- 2～3. 国民経済計算と国民所得の考え方
- 4～5. GDPとは何か、それはどのようにして決まるのか
- 6～7. 独立支出の変化とGDPの関係
- 8～9. 消費と投資
- 10～11. IS-LMモデルと財政金融政策
- 12～13. インフレとデフレについて
- 14～16. グローバル経済と国際貿易
- 17～18. 政府の経済的役割
- 19～20. 総需要と総供給
21. 労働市場の働き
22. インフレーションとデフレーション
23. 資産市場
24. 貨幣とマクロ経済
- 25～26. 金融政策と金融システム
27. 為替市場と金融政策
- 28～30. 経済成長と景気循環

履修上の留意点

現代経済学を勉強する上で不可欠なことは、実際の経済問題に強い関心を持つことだ。これらはさまざまなメディアをとおしてあふれるほど提供されている。とくに『日本経済新聞』やその他の新聞には毎日必ず目をとおすこと。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけスクラップブック等に整理しておくことよい。これは授業だけでなく、将来の就職活動に際しても役立つおすすり。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的コースで使う数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要に応じて授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れろ！」のつもりで反復練習に限る。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを使ってシミュレーションしてみることも、面白く経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席し、予習復習を実行すれば100点取るのも夢じゃない。

成績評価の方法

定期試験（年度末）と授業内試験（5～7回実施予定）、およびレポート（1～2回）の成績を総合評価する。

教科書 参考書等

テキストおよび参考書については最初の授業で詳しく説明します。

公務員試験の過去問などの国家試験の受験対策にも十分通用するようできる限り問題練習をすることも理解を確実にする近道だ。自分で復習をかねて解いてみることをとくにお勧めする。

その他の

毎回の授業の主な要点、トピックスをKOMSYに掲載するから参考にしてください。また授業中わからないこと、その他問題点などあったら、オフィスアワーを設けていますので利用してください。

履修コード	090501
科目名	経済学史
担当者名	福原 好喜

講義のねらい

学問としての経済学の成立は、近代ブルジョア社会の生誕と軌を一にしている。例えばイギリスの重商主義、フランスの重農主義、ドイツの歴史学派、そして又イギリスの古典学派などの経済諸理論は、一方では世界資本主義の発展段階に、そして他方ではその国民経済の編成過程によって色濃く規定されている。経済学の歴史を単に経済学者による経済理論の受容、継承の歴史としてではなく、近代ブルジョア社会の成立、並びにその変容の過程の中で捉えようと思う。近代における経済学の成立・体系化の歩みを、近代資本主義の成立並びに確立過程の中に位置づけるというのが私の基本的視角である。講義は重商主義段階からマルクス経済学の成立までを包括する。経済学の歴史とはまさしく近代ブルジョア社会の自己認識の歴史に他ならない。かかる観点から、学生諸君に経済学及び経済学史に対する心底からの興味を喚起できればと思っている。授業ははじめに近代ヨーロッパの生成史を英、仏、独について概括し、後半で各国経済学の成立史を講義する。授業は学生の興味ある具体的な話から始める。経済学史が単なる訓詁学となりやすいので、極力現代の経済問題も取り上げる。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 近代社会の生誕と近代化の諸類型
2. François Quesnay : フランス絶対王政末期の経済学
3. Adam Smith : イギリス産業革命の夜明け前
4. Karl Marx : 資本主義の一般理論
5. John Maynard Keynes : 世界恐慌脱出の経済学
6. 軍国主義批判の経済学—石橋湛山
7. 平成恐慌と銀八経済学
8. 来たるべき世界大不況と銀八経済学

履修上の留意点

出席点を40点つけるので不真面目な人はとらないでほしい。大人数の授業となるので、私語、居眠りは厳禁。違反者は退場願う。(イエローカード二枚でレッドカード)

成績評価の方法

出席もせず単位がほしいなどという不屈きな学生がいるので出席を頻繁にとる。テストも厳格につけるつもりなので、それでもという熱意のある学生のみとってほしい。数回レポートを課す。

参 考 書 等

福原著『総理に忠告す』、『銀八先生心の手紙』、『Warm Heart』、『我も生命汝も生命』、『総理お間違えではありませんか?』、『熱血教授心の教育』

そ の 他

経済に興味を持ってもらうために経済の今の問題にも言及する。一部で横道の話の方が面白いという風評がある。学生の次元で経済学の話をしようという意図であって、本人には少し不本意な評価である。授業には全力投球する。ケイタイPHS禁止。覚える授業でなく、感じる授業、考えさせる授業を心掛ける。

履修コード	090601
科目名	経済史
担当者名	安元 稔

講義のねらい この講義の目的は、社会科学のものの見方がある程度身につけた諸君に、『経済史』という学問領域の特色を知ってもらうことです。経済学と歴史学双方の学問的特色をもった『経済史』とは、人間のどのような営みを対象にするのか。どのような切り口で対象に接近するのか。現在、『経済史』では何が問題になっているのか。先ず、こうした点を簡単に説明します。

次に、外国の経済史を勉強する意味について考えてみます。特にわれわれが生活しているアジア社会の歴史的な発展とヨーロッパのそれとは、どこが、どのように違うのか。環境・政治的要因・技術のあり方は、どのように経済発展の道筋を決定するのか。幾つかの考え方を紹介しながら、広い視野からこの点を捉え直してみたいと思います。

講義の後半では、ヨーロッパにおける中世以降の経済発展を取りあげます。中世に生きる人々は、物質的な欲求の充足をどのような形で行ってきたのか。そのためにどのような制度・慣習・技術を発展させてきたのかを考えてみます。およそ1000年から1500年までのヨーロッパは、農業中心の社会でした。農業生産はどのような形で組織され、その生産性はどの程度のものであったのか。中世社会における都市の機能は、どのようなものであったのか。中世社会が崩壊し、近代の誕生を告げたおよそ1500年～1750年におけるヨーロッパの社会経済システムは、中世のそれとどのように違っていたのか。こうした点を具体的にみて行きます。

最後に、現代社会の根幹を形造った産業革命＝工業化とは何であったのかを説明します。工業化の波は、次々にヨーロッパ諸国、アジア・その他の地域に拡大して行きました。国際経済の生成と発展の時期、19世紀末期から20世紀初頭の世界経済のメカニズムを具体的に説明します。

講義の内容・授業スケジュール

第1編 『経済史』とは何か：(1)『経済史』の対象と課題、(2-4)資源配分の方法、第2編 外国経済史を学ぶ意味：(5-7)ヨーロッパとアジア、(8)環境・政治支配の型と経済発展、第3編 ヨーロッパ経済の歴史的発展：(9-12)中世の経済と社会、(13-17)近世の幕開け、(18-21)工業化のモデル、(22-24)最初の工業国家、(25-28)工業化の伝播と拡大、(29-30)国際経済の生成と発展

履修上の留意点

この講義は、ヨーロッパを中心に、経済発展を歴史的に概観し、経済史的なものの見方を身につけることを主な目的としています。聞き慣れない用語・概念や事実が多く出てきますので、億劫がらずに調べ、理解することが必要です。受講者は、授業スケジュール(シラバス)・参考文献リスト・講義資料(講義中に配布します)をいつも持参して下さい。

成績評価の方法

前期試験を行わない代わりに、夏休みに、参考書 E. L. ジョーンズ『ヨーロッパの奇跡 — 環境・経済・地政の比較史』を読み、レポート(4,000字以上=40点配点)を提出してもらい、後期試験(60点配点)と総合して成績を評価します。

**教科書
参考書等**

特に指定しません。
E・L・ジョーンズ『ヨーロッパの奇跡 — 環境・経済・地政の比較史』(名古屋大学出版会)
(ISBN4-8158-0389-7)

その他

授業の方法は、講義方式です。Power Point・OHP・ビデオ・紙媒体資料を使って説明します。年間の講義資料をネット上に公開します。アクセスの仕方、その他は講義中に知らせます。

履修コード	090701
科目名	経済政策
担当者名	<small>いいた やすゆき</small> 飯田 泰之

講義のねらい

現代経済に関する諸問題についてその政策的な対応のあり方を論じる。
複雑な現状を理解し、対応策を探るためにも問題を整理し、論理的に把握することが必要である。
経済問題に関してその導きの糸となるものこそが経済理論に他ならない。本講では基本的なマイクロ
経済学・マクロ経済学の知識を援用し「経済学的に妥当な政策」を論じることを中心的な課題とす
る。講義全体に必要な基本ツールの学習後、個々の経済問題について、

- (1) 理論的な枠組みを解説し
 - (2) 基本理論を用いて政策的課題を論じ
 - (3) 現実の事例・データで確認する
- というプロセスを繰り返すことで講義を進めていく。

以下のテーマを各3講毎に講義する。

1. 経済学と経済政策の基礎理論(1) ミクロ編
2. 競争市場の効率性と政府介入
3. 公益事業と競争政策
4. 外部性と公共財
5. 情報の経済学
6. 経済学と経済政策の基礎理論(2) マクロ編
7. 短期安定化政策
8. 中期安定化政策
9. 現代日本経済の政策的課題

講義の内容・
授業スケジュール

履修上の留意点

出席は問わないかわりに講義中の私語等には厳しく対応する。なお、本講義は基礎的な内容が中
心となるため上級学年ほどより厳しい基準で単位認定を行う点に留意すること。

成績評価の方法

夏・冬2回のレポート提出と後期試験による。

教科書

岩田規久男・飯田泰之『ゼミナール経済政策入門』(日本経済新聞社)2006年

参考書等

必要となる参考書については講義中に適宜指示する。

履修コード	090801
科目名	財政学
担当者名	<small>のむら ひろやす</small> 野村 容康

講義のねらい

本講義では、財政赤字、税制改革、年金改革、公共事業といったわが国の財政問題を考えていく
際の手掛かりとなるように財政学の基礎的事項について概説する。財政の基礎的な制度とその機能
について理解を深め、現実の財政問題について自分なりに考える力を身につけることを目標とする。

前期は、どちらかと言えば政府の支出活動面に重点を置きながら、財政の機能とわが国財政の現
状、公共支出に関する理論、政府債務の問題、公的年金問題等について解説する。後期は、政府取
入の中で最も重要な租税に関する議論(租税理論、制度、税制改革論等)に焦点を絞って授業を進
める。

講義の内容・
授業スケジュール

前期

1. 財政とは何か 2. 財政学とその変遷 3. 資源配分の調整機能 4. 財政と所得再分配
5. 価格政策と補助金 6. 財政政策の理論① 7. 財政政策の理論② 8. 公共財の理論① 9.
- 公共財の理論② 10. わが国財政の現状 11. 公債の制度と理論① 12. 公債の制度と理論②
13. 公的高齢年金① 14. 公的高齢年金② 15. まとめ

後期

1. 租税の意義と根拠 2. 租税の基礎的概念 3. 課税の公平性 4. 課税の中立性 5. 租税
- の転嫁と帰着 6. 包括的所得税論 7. 支出税と最適課税 8. 二元的所得税 9. わが国の租
- 税体系 10. 個人所得課税 11. 法人所得課税 12. 間接消費課税 13. 資産課税 14. グローバ
- ル化と税制 15. まとめ

履修上の留意点

受講生には、新聞などを通じてできるだけ財政制度改革、税制改正の動向についてフォローし、
わが国の財政に関する問題意識を高めることを期待している。また、受講に際しては、微分とミク
ロ経済学に関する基礎的知識を習得していることが望ましい。

成績評価の方法

原則として定期試験の成績で評価する。出席は考慮しない。

教科書

里中恆志・八巻節夫『新財政学』文真堂、3300円(税込)、ISBN 9784830945465

履修コード	090901
科目名	金融論
担当者名	<small>しろた じゆん</small> 代田 純

講義のねらい	通貨など金融の基本から説明する。小切手・手形を踏まえ、銀行貸出へと進む。最終的に公的金融、証券市場を含む、金融の全体像の理解を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	テキストはイラストを多用した、ビジュアル系なので、わかりやすい。 年間を通じた授業の流れとしては、以下のような予定である。 1 金融とは、2 通貨とは、3 小切手・手形とは、4 ペイオフ解禁とは、5 銀行貸出とは、6 金利とは、7 金融市場とは、8 証券市場とは、9 国債とは、10 金融機関とは、11 公的金融とは、12 財政投融资とは、13 郵便貯金とは、14 簡易保険とは、15 公的年金とは、16 政府系金融機関の再編とは
履修上の留意点	OHPにより、授業を進める。原則として板書はしない(チョークによる環境問題もあるため)。毎年、500名を超える学生が履修登録しており、大規模講義になっています。可能な学生はフレックスBでの金融論を履修することを勧めます。またフレックスBの学生はフレックスBの金融論を履修してください。
成績評価の方法	定期試験(80点)とレポート(20点)により評価する。出席は評価点には関係しない。追試験は実施する。
教科書	代田 純著、『図説 やさしい金融財政』(丸善)、定価1800円+税、ISBN-621-07708-2を使用する。
参考書等	レポートの際に、 代田純著『日本の株式市場と外国人投資家』(東洋経済)2002年 代田純編、『日本の国債・地方債と公的金融』(税務経理)2007年のいずれか(本人の選択による)を使用する。
その他	出席はとらないが、私語は厳禁する。

履修コード	091001
科目名	社会政策
担当者名	<small>みつおか ほんみ</small> 光岡 博美

講義のねらい	社会政策という科目は、経済学のなかでも古い歴史をもっている。その詳細については最初の講義で解説する。この講義計画では、社会政策とは、資本主義社会の各々の時代において発生する社会問題の原因を学問的に究明し、その問題を解決するための政策を多面的に研究することを目的とする学問である、と定義しておきたい。そして、この場合、社会政策という学問のなかで特に重視されてきたのは、労働問題や社会保障・福祉 etc といった社会問題である。経済学という研究の分野は、財・サービスの生産・分配・消費に関する研究としてイメージされるが、これにたいして社会政策は労働力と生命の再生産が、どのような社会・経済のシステムとの関連で展開されているのかを研究する学問であるといっていよい。
講義の内容・授業スケジュール	このような大きな領域を全般的に講義することは不可能であるから、この講義では現代の日本社会を念頭に置き、そこで重要と思われるテーマを設定し、各々のテーマについて講義、解説する。 年間の具体的な講義スケジュールは、(1)現代日本の労働・雇用問題(5回)、(2)社会政策、労働関係、労働組合の理論(5回)、(3)戦後日本の労使関係史(6回)、(4)福祉国家の歴史と理論(3回)、(5)日本型福祉の現実(3回)、(6)現代日本の女性労働、フェミニズム論、(3回)を予定している。
履修上の留意点	受講者数が多いせいもあり、私語によって、授業が円滑に進行しないことがある。授業に支障が生ずる場合、厳しい措置を取る。
成績評価の方法	期末試験で評価する。具体的な内容は授業時に詳しく説明する。
参考書等	講義の内容と関連して参考書を適時指示する。また、毎講義ごとにレジュメを配布する。

履修コード	091101
科目名	日本経済論
担当者名	沼田 郷 <small>ぬまた さとし</small>

講義のねらい 日本経済を様々な角度から多面的に学習する。第二次世界大戦後の解説を中心とするが、日本経済のより深い理解には、それ以前（明治、大正）についての理解も重要であるため、必要に応じてふれてみたいと考えている。本講義の特徴は、戦後日本経済を支えてきた日本型システムに注目し、その変化を詳細に検討することにある。さらに、日本と諸外国（とりわけ米国と東アジア）との関係についても詳細に検討する。

講義の内容・授業スケジュール おおまかなスケジュールは以下の通り。
可能な限り学生諸君の要望を取り入れた講義を行いたいと考えています。

- 1 イントロダクション
- 2～3 第二次大戦以前の日本経済
- 4～8 戦後復興期
- 9～12 高度経済成長期
- 13～14 二つのショック
- 15～16 低成長期
- 17～18 バブル経済の発生とその要因
- 19～21 1990年代不況
- 22～25 日本経済の現代的課題
- 26～29 日本と東アジア諸国における工業化の諸特徴
- 30 総括

履修上の留意点 本講義では日本経済のみではなく、広く社会全般に興味と関心をもつみなさんの履修を期待します。そのためには、現在起こっていることに目を向け、日々のニュースに接してください。講義では必要に応じて初歩的な理論を扱いますが、高等数学などを必要とするものではありませんのでご安心ください。

成績評価の方法 本講義では学生のみなさんの強い要望がない限り定期試験は行わず、レポートの提出を求めます。テーマ、書式等は講義中にお知らせします。また、講義終了時に小論文を書いてもらいます。これと学期末のレポートを合算して成績評価を行います。

教科書 参考書等 その他 特に指定しない。
参考書に関しては適時紹介する。
本講義では質問を歓迎します。講義に関することはもちろんのこと、それ以外のことがらであっても、遠慮せず質問しにきてください。なお、他人に迷惑をかける行為に関しては厳しく対応します。念のため。

履修コード	091201
科目名	国際経済論
担当者名	徳永 俊明 <small>とくなが としあき</small>

講義のねらい 世界経済は、今日、世界社会・日本社会のあり方の<土台>をなしているものです。世界の姿・日本の姿を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の<基本構造>の解明をめざします。

講義の内容・授業スケジュール [前期]
(1・2) 講義のテーマ・趣旨の説明、(3・4) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制、(5・6) 産業革命と自由貿易植民地体制、(7) 小括、(8・9) 帝国主義植民地体制、(10・11) 第1次世界大戦と世界経済、(12・13) 戦間期の世界経済、(14) 小括、(15) 予備日

[後期]
(1・2) 第2次世界大戦と世界経済、(3・4) 「アメリカ中心体制」、(5) 貿易：GATT/WTO、(6) 国際通貨制度：IMF、(7・8) 「援助」、(9・10) 多国籍企業、(11) 小括、(12・13) <南北問題>、(14) 新国際経済秩序、(15) 小括

成績評価の方法 ミニ・レポート（2回予定、各20点）と学年末レポート（60点）で評価します。世界経済の”枝葉”ではなく、”幹”の理解度を重視します。（追試験は行いません。）

教科書 とくにありません。

履修コード	091311・091312
科目名	流通論基礎 商学総論
担当者名	ばんば ひろゆき 番場 博之

講義のねらい 本講義は流通論分野に関する基礎的内容の講義である。前期は流通論に関する基本事項および基本的な用語について解説する。いわば「流通論の基礎の基礎」を学ぶことになる。

後期は2年次以降で学ぶ流通論の専門的分野（流通経済論・商業政策・商業史・マーケティングなど）への橋渡しの内容の講義となる。それぞれの分野の関係性を解説しながら、各分野の概略を講義していく。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 流通論の考え方
- (2～5) 流通の基礎知識
- (6～9) 商業の基礎知識
- (10～15) 小売業のかたち
- (16～21) 流通と法
- (22～27) マーケティング
- (28～30) 流通システム

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

詳細かつ正確なシラバスは開講時に配布する。

定期試験によって評価する。ただし、若干の平常点を加味することもある。

加藤義忠・齋藤雅通・佐々木保幸編『現代流通入門』有斐閣 978-4-641-18351-3

日本流通学会編『現代流通事典』白桃書房、2006年。

現在注目されている流通に関わる新しいトピックをテーマとした「トピック講義」を何回かおこなう予定である。「トピック講義」では、ゲストを講師にお願いすることも検討している。

履修コード	091411・091412
科目名	経営学基礎 経営学総論
担当者名	まつだ たけし 松田 健

講義のねらい 本講義の目的は、企業に関する基礎的な知識、概念ならびに理論等を広く体系的に習得することにあります。現代における企業社会の変容と企業経営の現代的課題について、企業の目的と企業活動の枠組み、経営理論、経営組織、経営戦略など、個別テーマを設定して講義を行います。後半からは、とりわけ欧州の企業を考察対象としながら、企業の果たす役割、企業統治ならびに企業の社会的責任など、現代の企業経営にとって重要なTOPICSを中心に学習します。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 前期オリエンテーション：経営学の学び方
- 第2回 企業の成立と展開（1）：産業革命と資本主義的生産システムの確立
- 第3回 企業の成立と展開（2）：重工業化と株式会社の成立
- 第4回 株式会社論
- 第5回 企業と市場
- 第6回 新制度派経済学と企業（取引コスト論：所有権理論）
- 第7回 企業統治（1）
- 第8回 企業統治（2）
- 第9回 中小企業論
- 第10回 非営利組織（NPO）論
- 第11回 経営戦略（1）
- 第12回 経営戦略（2）
- 第13回 リーダーシップ論
- 第14回 人的資源論
- 第15回 前期の総復習
- 第16回 後期オリエンテーション
- 第17回 生産管理（1）
- 第18回 生産管理（2）
- 第19回 日本の経営
- 第20回 労働の人間化と小集団活動
- 第21回 国際経営
- 第22回 CSRと企業倫理
- 第23回 欧州企業の戦略と社会性（1）EU（欧州連合）と企業の社会性
- 第24回 欧州企業の戦略と社会性（2）RDS：スーパーメジャーの戦略
- 第25回 欧州企業の戦略と社会性（3）スタトイル：ノルウェーにおけるCSR
- 第26回 欧州企業の戦略と社会性（4）ルノー：CSR戦略の国際的展開
- 第27回 欧州企業の戦略と社会性（5）フォルクスワーゲン：共同決定法と資本市場
- 第28回 欧州企業の戦略と社会性（6）レゴ：安全性、高品質
- 第29回 欧州企業の戦略と社会性（7）エアバス：汎欧州企業
- 第30回 後期の総復習

履修上の留意点 企業とそれを取り巻く経済社会との相互関連への理解を深めるために、現代の経済・経営にとって何が問題となっているのかという点にアンテナを張るように心がけて下さい。

成績評価の方法 講義への出席を最低要件とし、定期試験を行います。この評価に、夏休み中のレポートによる評価を加味して総合的に評価し、60点以上の者に単位を認めます。

教科書 前期：百田義治編著『経営学基礎』中央経済社、2006年。

後期：高橋俊夫編著『EU企業論』中央経済社、2008年。

参考書等 風間信隆監訳／風間信隆・松田 健・清水一之訳『ライン型資本主義の将来』文眞堂、2008年。
経営学辞典あるいは経営学用語集

履修コード	091511・091512
科目名	会計学基礎 会計学総論
担当者名	いしかわ ゆうじ 石川 祐二

講義のねらい	会計学に関する基礎的な考え方を身につけることが、本講義の目的である。現代の「会計」をめぐる社会的状況は変化が激しい。こうした変化の意味を自らの力で理解するために、会計現象を捉える力・考える力を養ってほしい。
講義の内容・授業スケジュール	(1)ガイダンス、(2～3)「会計」と「会計学」、(4～9)「会計」を科学する方法、(10～14)社会的「制度」としての会計、(15)中間のまとめ、(16～17)会計の機能、(18～20)資産をめぐる諸問題、(21～23)負債をめぐる諸問題、(24～25)資本(純資産)をめぐる諸問題、(26～27)費用をめぐる諸問題、(28～29)収益をめぐる諸問題、(30)総括
履修上の留意点	簿記に関する知識を全く有していない学生については、本講義と同時に「簿記論」を履修することが望ましい。
成績評価の方法	夏休み中のレポート(30%)、および、定期試験(70%)により評価する。
教科書	特に指定しない。
参考書等	必要に応じて紹介する。

履修コード	091601
科目名	会計学総論
担当者名	てらつぼ おさむ 寺坪 修

講義のねらい	経済学専攻の学生にとって、会計学の知識は不可欠といえます。本講義では国民経済単位(マクロ)および個別経済単位(ミクロ)の活動を計数でとらえる会計のうち、営利企業を対象とする会社会計を取り上げます。会計学関連教科の「総論」として位置づけますので、より深い学習には「簿記論」や「財務会計論」などを(別途)履修してください。
講義の内容・授業スケジュール	(1)オリエンテーション、(2～4)会計の意義等、(5～9)複式簿記、(10～14)財務諸表総論、(15～20)新会計基準：会計ビッグバン・リース会計・キャッシュフロー会計・連結財務諸表、(21～25)財務諸表の分析、(26～28)管理会計、(29～30)監査。
履修上の留意点	会計は積み重ねの学習によって理解が深まりますので、極力、休まずに受講してください。良好な授業環境を維持するため、私語は厳禁とします。状況により、退席を求めます。
成績評価の方法	学年末試験(60%)、出席率(25%)、宿題・レポート等提出(15%)の総合評価。ただし、S・Aの評価はGPA制度の評価ガイドラインによる調整を行うことがあります。
教科書	寺坪修『会社会計論(改訂版)』2004年刊(創成社)3,990円
参考書等	寺坪・井手・小山『簿記教本』2008年(創成社)1,890円

履修コード	097211
科目名	社会経済学 a
担当者名	あべ ひろし 阿部 弘

講義のねらい	この科目は「現代応用経済学科」の基本的科目の一つである。経済学がその形成期より現在に至るまで問題にしてきた「富」を論理的に考察する。この場合、到達点は、「私的」・「個別的・私人的」な次元での富から協同・社会の富の解明に至ることである。
講義の内容・授業スケジュール	私たちの日常社会における「豊かさ」とは何か、これがこの講義の主たる内容になる。この「豊かさ」ということは、私たちの社会の「富」に結実している。したがって、講義では、この「豊かさ」的な人間の個々人の生活のさまを考察し、基本にあるのは何かをえぐります。その場合に、そのような「富」の現実の複雑に入り組んだ構造を明らかにしていき、現在の世界で、いわばグローバル現象となっている「格差社会」、人間の存在そのものが格差的になっているさまが、どのようにして形成されるのか、この「格差」をすすめている反人間的なもの・システムは何か、「資本主義」という生産・社会秩序が、人間をコスト原理で規定して「非人間化」していくさまを明らかにして、その社会の基底に存在する貧困化はなぜ起るのかを根本原理から問題にしていく。 講義のプラン：講義回数は15回なので、次のような形ですめる： 1. 「富」とは何か(01-05回) 2. 資本家的な生産様式の基本(06-10回) 3. 取得の体系とその社会化の問題点(11-15回)
履修上の留意点	この科目は初年次「選択必修」である。皆さん全員がこの科目を履修していただくために「レポート」を3回おこなうので、出席が重要になる
成績評価の方法	3回の「レポート」で評価する。したがって「定期試験」は行なわない。なお何度か出席の確認を簡単なペーパーで行う。これも評価の基準に入れる。
教科書	阿部弘『「経済市民論」と「経済学」』、創成社、2009

履修コード	097221
科目名	社会経済学 b
担当者名	阿部 弘

講義のねらい この科目は「社会経済学 a」の発展したものである。講義「a」では、私たちの社会の「富」とは何かをその原理から明らかにしてきた。この講義では「富」の形成・存在が個人レベルから社会全体の公共的な形で形成・存在し得るためには、「富」観念をどのような形で形成していったらいいのかを考える。

講義の内容・授業スケジュール 講義の内容：資本主義社会の「富」は貨幣や資本的な形で形成され運動していく。この「資本」という非人間的な、コスト原理で決定される価値＝「富」は人間を格差分断してしまうので、もはや「個人」のレベルでの生活を保障する富の形成は不可能になってしまう。人間、といってもその大半は、常に資本・企業のための労働者およびその「予備軍」として編成されていて、時間や機械（コンピュータ）に隷属し、その挙げ句の果てには「過労死」というものが待ち受けている状態にある。そして、退職して公認の失業体制に入っても、資本家的な国家の本質・仕組みのために老人医療や看護、そして年金システムなどの瓦解によって強制的に死に追いやられるというのが現状である。このようななかであって、このシステムに反映している「公共的なもの」とは何かを追及していくことが重要になってくる。そして私的・個別的な次元では統御不可能な「共通の利益」の観念の形成がどのようにすれば可能なかを考察していく。

講義のプラン：講義回数は15回なので、次のような形ですめる：

1. 社会的価値体系（01-05回）
2. 「企業社会」と価値体系の分裂（06-10回）
3. 地球規模での価値体系の形成（11-15回）

履修上の留意点 この科目は初年次「選択必修」である。皆さん全員がこの科目を履修していただくために「レポート」を3回行うので、出席が重要になる。

成績評価の方法 3回の「レポート」で評価する。したがって「定期試験」は行わない。なお何度か出席の確認を簡単なペーパーで行う。これも評価の基準に入れる。

教科書 阿部弘：『「経済民論」と「経済学」』、創成社、2009

履修コード	097231
科目名	企業経済学 a
担当者名	飯田 泰之

講義のねらい 企業活動のミクロ経済学的な分析を行う。経済学的な思考法は、現代のあらゆる社会科学の基礎であるといっても過言ではない。そして、経済学的な思考法を最も素朴に適用して組み立てられているのがミクロ経済学である。本講では狭義の企業経済学にこだわらず、経済学的な思考法自体に積極的に言及することで、今後の学習の基礎（ベース）を提供したいと考えている。

なお、企業経済学 a で主に取り扱うのは市場に対する企業の活動である。様々な市場環境に対して、企業はどのように活動するかを主なターゲットとする。

- 講義の内容・授業スケジュール**
1. 企業とはなにか？
 2. 経済学と経営学
 3. 経済学思考について
 4. 競争市場での企業活動
 5. 価格支配力と企業活動
 6. ライバル企業との競争と協調
 7. 利潤最大化の3つの方向性

履修上の留意点 企業経済学 b との同時履修を強く推奨する。なお、本講義は初めて経済学を学ぶ1年生を主な対象として想定している。したがって2年生以上の履修はお勧め出来ない（2年生以上の履修者については単位の認定を大幅に厳しくする予定である）。

成績評価の方法 中間レポートと学期末試験によって評価する。

教科書 なし

参考書等 必要となる参考書については講義中に適宜指示する。

履修コード	O97241
科目名	企業経済学 b
担当者名	<small>いいた やすゆき</small> 飯田 泰之

講義のねらい 企業活動のミクロ経済学的な分析を行う。経済学的な思考法は、現代のあらゆる社会科学の基礎であるといっても過言ではない。そして、経済学的な思考法を最も素朴に適用して組み立てられているのがミクロ経済学である。本講では狭義の企業経済学にこだわらず、経済学的な思考法自体にも積極的に言及することで、今後の学習の基礎（ベース）を提供したいと考えている。

なお、企業経済学 b では企業戦略の立案、企業内部でのマネジメント・ガバナンスの問題を主に取り扱う。

講義の内容・授業スケジュール

1. レッドオーシャンとブルーオーシャン
2. コスト優位戦略
3. 差別化優位戦略
4. インセンティブ・コントロール
5. 委託と受託
6. コーポレート・ファイナンス
7. 企業経済学から考える

履修上の留意点

企業経済学 a を履修していることを前提に講義を進める。なお、本講義は初めて経済学を学ぶ1年生を主な対象として想定している。したがって2年生以上の履修はお薦め出来ない（2年生以上の履修者については単位の認定を大幅に厳しくする予定である）。

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

中間レポートと学期末試験によって評価する。
なし
必要となる参考書については講義中に適宜指示する。

履修コード	O99991
科目名	企業経営学 a
担当者名	<small>ひやくた ましはる</small> 百田 義治

講義のねらい 現代社会における企業の役割、株式会社の基本的特徴、株式会社における所有・支配・経営、専門経営者の性格、企業統治（コーポレート・ガバナンス）のあり方、持株会社と企業集団といった企業論基礎を概説すると同時に、企業におけるマネジメントの機能と役割、経営組織の基本的構造（事業部制、カンパニー制、ライン・スタッフ制など）、その日本の特徴など企業経営の基礎を概観する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 現代企業の基本的な役割と構造（1～3）
2. 現代の株式会社をめぐる諸問題：現代における株主と経営者の実像、コーポレート・ガバナンス、企業集団（持株会社）などについて（4～8）
3. マネジメント（経営管理）の基本的性格について（9～10）
4. 経営組織の基本的構造について（11～12）
5. 日本企業の普遍性と特殊性について（13～15）

履修上の留意点

新聞、テレビ、インターネットなどを通して、現代の企業、経営、労働をめぐる動きに注目し、現代企業経営のさまざまな問題に関心をもって授業に参加してください。

成績評価の方法

出席（毎回の授業の感想を含めて）、小レポート数回（授業スケジュールの項目ごと）と定期試験で総合的に評価します。

**教科書
参考書等**

百田義治編著『経営学基礎』中央経済社、2006年。
授業の中で随時紹介します。

履修コード	O99981
科目名	企業経営学 b
担当者名	ひやくた よしはる 百田 義治

講義のねらい 経営学の生成から現代に至る主要な理論を概観し、経営学のエッセンス（基本的な方法と課題）を明らかにする。また、情報技術革新、グローバリゼーションなど経営環境の激変にともなう現代の企業経営の変化の方向と課題を明確化し、さらに企業倫理や企業社会責任など新たに台頭する企業と社会の関係について概説する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 経営学の流れ：経営学の巨人たちはどのような問題にどのようにアプローチしたのか？（1～5）
2. 現代のビジネス・モデル：グローバリゼーションやIT革命などの経営環境の変化は企業経営のあり方をどのように変えているのか？（6～10）
3. 「社会と企業」の関係：社会から信頼される企業とは何か、企業が果たすべき社会的責任とは何か？（11～15）

履修上の留意点 新聞、テレビ、インターネットなどを通して、現代の企業、経営、労働などめぐる動向に目を向け、現代の企業経営に関心を持って授業に参加してください。

成績評価の方法 出席（毎回の授業の感想を含めて）、小レポート数回と定期試験で総合的に評価します。

**教科書
参考書等**

百田義治編著『経営学基礎』中央経済社、2006年。

鈴木幸毅・百田義治編著『企業社会責任の研究』中央経済社、2008年。

稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』ミネルヴァ書房、2005年。

専
門
教
育

履修コード	O97251
科目名	地域経済論 a
担当者名	ながやま ともひろ 長山 宗広

講義のねらい グローバリゼーションの進展下、現代経済における「地域」という存在を再評価し、その活性化を図るための理論面の理解と実践的な課題解決について考えていく。地域経済および産業集積の構造的把握とともに、企業間関係・企業家ネットワーク・スピノフ連鎖・産学官連携などの実態把握を目指す。特に、地域経済の活性化を図る上での地域イノベーションシステム、新産業集積の形成と既存産業集積の再生を一体的に進めるメカニズムを明らかにしていく。本講義では、その上で前提となる地域経済論の基礎的な諸理論・概念を学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 今、地域の現場に何が起きているのか（ガイダンス）
- (2) 地域、地域経済とは
- (3) 古典的な立地論
- (4) 日本の地場産業・産地研究
- (5) フレキシビリティ論と新経済地理学
- (6) 産業クラスター論
- (7) 日本と海外の地域クラスター政策
- (8) 地域産業システム論（シリコンバレーの事例）
- (9) 学習地域・ミリュー・地域イノベーションシステム論
- (10) 新産業集積の新理論（浜松地域のIT・光電子集積の事例）
- (11) 都市と中心地の理論、小売商業の実態
- (12) まちづくりと地域活性化

履修上の留意点 地域経済論 a、b を一括履修することががのぞましい。

成績評価の方法 期末試験による評価：50%

講義中のレポートおよび出席状況など平常点評価：50%

**教科書
参考書等**

教科書は特に指定しない。都度、プリント等を配付する。

吉田敬一・井内尚樹編『地域振興と中小企業』ミネルヴァ書房 2009年

岡田・川瀬・鈴木・富樫『地域経済学』有斐閣アルマ 1997年

中村剛治郎編『基本ケースで学ぶ地域経済学』有斐閣 2007年

松原宏『経済地理学』東京大学出版会 2006年

M.ポーター『競争戦略論II』ダイヤモンド社 1999年

浜松信金・信中金総研編『産業クラスターと地域活性化』同友館 2004年

その他

本学の e-Education システム「イエスタディ」を活用する。

履修コード	097261
科目名	地域経済論 b
担当者名	<small>ながやま むねひろ</small> 長山 宗広

講義のねらい 本講義の基本的な狙いは、地域経済論 a と同じであるので、そちらを参照のこと。
本講義では、地域経済論 a で学んだ理論を踏まえて、日本および欧米の地域経済事例へと接近し、現代経済における地域的視点をより一層養っていく。具体的には、各種統計データを用いた地域経済分析、地域産業集積の実態把握、地域活性化プランの策定、といった実践的手法・方法論についてケーススタディ等を通じて学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール (1) 地域経済論 a (前期) の試験サマリー、後期のガイダンス
(2) 地域経済の統計分析
(3) 地域産業の統計分析
(4) ~ (5) 地域の工業
(6) ~ (7) 地域の商業
(8) ~ (9) 地域の観光
(10) 地域の一次産業 (主に農業)
(11) 地域の新たな産業
(12) 地域産業の活性化プラン

履修上の留意点 地域経済論 a、b を一括履修することがのぞましい。

成績評価の方法 期末試験による評価：50%

講義中のレポートおよび出席状況など平常点評価：50%

教科書 教科書は特に指定しない。都度、プリント等を配付する。

参考書等 地域経済論 a と同じ

その他 本学の e-Education システム「イエスタディ」を活用する。

専門教育

履修コード	097271
科目名	ゲーム理論 a
担当者名	<small>わたなべ やすのり</small> 渡邊 泰典

講義のねらい 複数の意思決定主体が関わる状況を分析するためのツールであるゲーム理論について、できるだけ多くの応用例を交えながら基本的な考え方を解説する。講義で解説される例に対する理解を深める中で、ゲーム理論が幅広い分野で利用されていることを実感してほしい。ゲーム理論 a では基礎的な概念について学習する。

講義の内容・授業スケジュール 1 イントロダクション 2-6 単純なゲーム 7-10 リスクと混合戦略 11-14 交渉とコミットメント 15 期末試験

履修上の留意点 ゲーム理論 b と合わせて履修することが望ましい。

成績評価の方法 中間レポート (30%程度) と期末試験 (70%程度) を主として、学期中に行う教室実験への参加点を加算して評価。出席状況は問わない。

教科書 なし。講義内容をまとめたプリントを配布。

参考書等 ジョン・マクミラン 『経営戦略のゲーム理論』 有斐閣 3600円 4-641-06754-6

履修コード	097281
科目名	ゲーム理論 b
担当者名	<small>わたなべ やすのり</small> 渡邊 泰典

講義のねらい 複数の意思決定主体が関わる状況を分析するためのツールであるゲーム理論について、できるだけ多くの応用例を交えながら基本的な考え方を解説する。講義で解説される例に対する理解を深める中で、ゲーム理論が幅広い分野で利用されていることを実感してほしい。ゲーム理論 b ではゲーム理論 a の内容を踏まえて、特に情報の非対称性が存在する場合を扱う。

講義の内容・授業スケジュール 1 イントロダクション 2-6 戦略的な情報利用 7-10 契約 11-14 入札 15 期末試験

履修上の留意点 ゲーム理論 a を履修していることを前提として講義を行う。履修していない場合にはナッシュ均衡、混合戦略、部分ゲーム完全均衡、ベイズの法則、期待効用などについて学習しておくこと。

成績評価の方法 中間レポート (30%程度) と期末試験 (70%程度) を主として、学期中に行う教室実験への参加点を加算して評価。出席状況は問わない。

教科書 なし。講義内容をまとめたプリントを配布。

参考書等 ジョン・マクミラン 『経営戦略のゲーム理論』 有斐閣 3600円 4-641-06754-6

履修コード	100631
科目名	産業組織論 a
担当者名	館 健太郎

講義のねらい 本講義では、現実の経済で最もよく見られる独占、寡占などの不完全競争市場を中心として、個別の産業における企業の戦略や市場の結果を分析するために必要となる概念やモデルについて説明する。また、企業や産業の調査を行う際に使われる指標についても簡単にふれたい。近年多くの関心が寄せられるようになってきている情報通信産業などの特徴についても紹介したい。

講義の内容・授業スケジュール 1. 経済と経済学 2. 市場の需要とその変化 3. 価格と所得の弾力性 4. 企業の技術 5. 企業の費用 6. 競争的企業の供給決定 7. 長期市場均衡 8. 競争の経済的意義 9. 独占市場 10. 価格差別 11. 寡占市場 12. 独占的競争市場 13. これまでの内容の復習
※講義の進度などにより内容を変更することがある。

履修上の留意点 ミクロ経済学、経済数学、ゲーム理論の学習を並行して行うことが望ましい。
成績評価の方法 定期試験（100点）。ただし、授業中に加点方式で課題を出すことがある。

教科書 とくに指定しない。

参考書等 とくに指定しない。

その他 参考資料を授業中と YeStudy 上で配布する。

専門教育

履修コード	100641
科目名	産業組織論 b
担当者名	館 健太郎

講義のねらい 本講義では、現実の経済で最もよく見られる独占、寡占などの不完全競争市場を中心として、個別の産業における企業の戦略や市場の結果を分析するために必要となる概念やモデルについて説明する。また、企業や産業の調査を行う際に使われる指標についても簡単にふれたい。近年多くの関心が寄せられるようになってきている情報通信産業などの特徴についても紹介したい。

講義の内容・授業スケジュール 1. 最適化問題の解き方 2～3. クールノー競争 4. シュタッケルベルグ競争 5. ベルトラン競争 6. 数量競争と価格競争の比較 7. ホテリング競争 8. 参入阻止ゲーム 9. 企業の水平的連携 10. 垂直的取引関係 11. オークション 12. 企業の研究開発投資 13. ネットワーク産業 14. 企業の国際的活動
※講義の進度により内容を変更することがある。

履修上の留意点 ミクロ経済学、経済数学、ゲーム理論の学習を並行して行うことが望ましい。
成績評価の方法 定期試験（100点）。ただし、授業中に加点方式で課題を出すことがある。

教科書 とくに指定しない。

参考書等 とくに指定しない。

その他 参考資料を授業中と YeStudy 上で配布する。

履修コード	101211・101221・101231・101241・101251・101261
科目名	基礎ゼミ
担当者名	かつた よしのり さいとろ ただし さとう かずこ 勝田 佳裕・齋藤 正・佐藤 和子

講義のねらい

基礎ゼミは、勉学意欲に燃えて入学してきた新入生の皆さんに、入学後の学習の道案内をするとともに、学習のための基礎知識とスキル（学習技術）を身につけてもらおうという目的で設けられた科目です。

新聞を広げてみると、私たちの暮らす社会は実に様々な問題があることがわかります。社会科学、とくに経済学や商学・会計学・経営学を学ぶということは、新聞に載っているさまざまな問題がなぜ生まれてくるのか、その問題をどのように解決すれば良いのかということについて、事実を正確に認識した上で、考えることです。そのためには、まず基礎知識を身に付けていただきたいのです。その過程で、どのような問題であろうと興味・関心が湧いてくれればしめたものです。

興味・関心が芽生えた問題をさらに追求しようとするとき、基本として「聴く、読む、調べる、整理する、書く」といった学習技術が大いに役立ちます。たとえば、講義で聴いたことをノートにとるだけでもそれなりのコツが必要です。ノートはとったけれども、後で見直してみたらサッパリ、というのでは役に立ちません。基礎ゼミでは、具体的な問題を皆さんに紹介して興味・関心を喚起しながら、同時にそれを題材にして学習のための知識と技術を演習形式で身に付けていただきます。

講義の内容・授業スケジュール

内容は、大別して（１）基礎知識の習得（５回程度）、（２）学習技術の習得（４回程度）、（３）基礎知識・学習技術の活用としてのレポート作成とプレゼンテーション（４回程度）の３つを柱とします。

基礎ゼミは、商学科の新入生を対象としていますので、ここでの基礎知識とは、たとえば、高校の政治・経済のテキストで扱われているような基本的・常識的レベルの知識を指しています。

学習技術の内容は、ノートのとり方、本の読み方と要約の仕方、資料・情報収集の仕方と整理の方法、レポートの書き方、などです。これらの具体的問題を題材にしながら実習します。

最後に、それぞれ興味・関心のあるテーマについてレポートを作成し、プレゼンテーションしていただきます。

履修上の留意点

基礎ゼミが１年次の「全員履修科目」となっているのは、この科目の重要性を示しています。理由なく欠席することのないことを望みます。また、学習スキルを身に付けたり、プレゼンテーションを行うためにはPCの活用が不可欠です。「情報入門I」、「情報入門II」は必ず履修して下さい。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

出席、レポート、プレゼンテーションで評価します。

第１講時に担当者がそれぞれ指示します。

担当者が適宜紹介します。

基礎ゼミで基礎知識と学習技術を習得し、社会・経済問題への興味・関心を養い、４年間の勉学に大いに役立てられることを期待します。

１年次生のみ対象の科目です。２年次以降は履修できません。

履修コード	101271・101281・101291・101311
科目名	基礎ゼミ
担当者名	館 健太郎・山下 裕介・松本 典子

講義のねらい 基礎ゼミは1年生を対象とし、今後の4年間で社会・経済問題への興味・関心を養いながら、大学生として自らのキャリアをどのように積んでいくのかを考え、同時に勉学の基礎となる知識と学習技術（「聴く、読む、調べる、整理する、書く」といった技術）を具体的な問題を題材にしながら、学習のための知識と技術とを演習形式で身に付けてもらうことを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

本講義は大別して (I)～(III) のモジュールから構成されており、それぞれ
 (I) 基礎知識の習得 (1～5)、
 (II) 学習技術の習得 (6～10)、
 (III) 基礎知識・学習技術を活用したレポート作成とプレゼンテーション (11～15)
 の3つを柱としています。

ここでの基礎知識は、たとえば、高校の政治・経済のテキストで扱われているような基本的・常識的レベルのいわゆる暗記物の知識だけでなく、大学生として今後の4年間で積み上げていく自らのキャリアをどのように捉え、またこれを発展させていくのかを考える上で必要となるような知識や技法も含まれます。また、学習技術の内容は、ノートのとり方、本の読み方と要約の仕方、資料・情報収集の仕方と整理の方法、レポートの書き方、などです。これら具体的問題を題材にしながら実習します。

最後に、それぞれ興味・関心のあるテーマについてレポートを作成し、プレゼンテーションをしてもらいます。

履修上の留意点

基礎ゼミが1年次の「全員履修科目」となっているのは、この科目の重要性を示しています。理由なく欠席することのないようにして下さい。またPCの活用が不可欠になりますから、「情報入門I」、「情報入門II」は必ず履修して下さい。さらに、企業とそれを取り巻く経済社会との相互関連への理解を深めるためにも、新聞、雑誌の経済・経営欄に目を向け、自らアンテナを張るように心がけて下さい。

成績評価の方法

授業への出席を最低要件とし、レポート (50%)、プレゼンテーション (20%) ならびに講義への参加姿勢その他 (30%) で評価します。

**教科書
参考書等**

『MY CARRER NOTE』BENESSE、2006年。
適宜指示します。

履修コード	095411
科目名	情報入門I
担当者名	<small>ながい いさむ</small> 永井 勇

講義のねらい

コンピュータを活用して情報収集やレポート作成、プレゼンテーションを行うことは、大学で学ぶ上で欠かせない要素となってきた。さらにこうした能力は社会においても必須である。本講義では、基礎ゼミと連携して商学を学ぶ上で必要な「ツールとしてのパソコンの扱い方・ソフトウェアの使い方」の習得を目指す。コンピュータの扱いに慣れることとインターネット（電子メールやWWW）を利用できるようになること、さらには Power Point による発表資料作成法、WORDの基本機能を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 教場の使い方、コンピュータの起動・終了方法、受講上の注意など
- (2～4) パソコンの仕組み、Windows の基本的な使い方、タイピング練習、インターネットとネットワーク、インターネット用語の説明、検索の方法、電子メールの使い方
- (5～9) Power Point の基本操作、スライドの作成、スライドショー、文字修飾、図の挿入、アニメーション機能
- (10～14) Word の基本操作、Word 文書の作成・印刷、表の作成
- (15) テスト

履修上の留意点

- 1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、研修会社で経験を積んだ講師の指導のもと実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。
- 2) コンピュータ使用経験の少ない初心者を対象とした講義を行う。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。
- 3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。
- 4) 商学科1年次は原則としてこの講義を履修登録すること。
- 5) 2年次以降の履修はできないので注意すること。
- 6) 評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。
- 7) 後期の情報入門IIの履修登録ミスが目立っています。後期の情報入門IIも忘れずに履修登録すること。
- 8) この科目は基礎ゼミのレポート課題や発表と連携した内容になっています。基礎ゼミにも必ず出席すること。

成績評価の方法

各カテゴリー終了時に行う授業時間中の小テスト、提出物、そして最終講義に行う総合テストの結果から総合的に評価する。高度な課題を提出した者は別途加点する。開講時に指定。

**教科書等
参考書
その他**

必要に応じて紹介する。
1年次生のみ対象の科目です。2年次以降は履修できません。

専門教育

履修コード	095421
科目名	情報入門I
担当者名	井川 俊実 <small>いがわ としむ</small>

講義のねらい コンピュータを活用して情報収集やレポート作成、プレゼンテーションを行うことは、大学で学ぶ上で欠かせない要素となってきた。さらにこうした能力は社会においても必須である。本講義では、基礎ゼミと連携して商学を学ぶ上で必要な「ツールとしてのパソコンの扱い方・ソフトウェアの使い方」の習得を目指す。コンピュータの扱いに慣れることとインターネット（電子メールやWWW）を利用できるようになること、さらには Power Point による発表資料作成法、WORDの基本機能を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 教場の使い方、コンピュータの起動・終了方法、受講上の注意など
- (2~4) パソコンの仕組み、Windows の基本的な使い方、タイピング練習、インターネットとネットワーク、インターネット用語の説明、検索の方法、電子メールの使い方
- (5~9) Power Point の基本操作、スライドの作成、スライドショー、文字修飾、図の挿入、アニメーション機能
- (10~14) Word の基本操作、Word 文書の作成・印刷、表の作成
- (15) テスト

履修上の留意点

- 1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、研修会社で経験を積んだ講師の指導のもと実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。
- 2) コンピュータ使用経験の少ない初心者を対象とした講義を行う。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。
- 3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。
- 4) 商学科1年次は原則としてこの講義を履修登録すること。
- 5) 2年次以降の履修はできないので注意すること。
- 6) 評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。
- 7) 後期の情報入門IIの履修登録ミスが目立っています。後期の情報入門IIも忘れずに履修登録すること。
- 8) この科目は基礎ゼミのレポート課題や発表と連携した内容になっています。基礎ゼミにも必ず出席すること。

成績評価の方法

各カテゴリー終了時に行う授業時間中の小テスト、提出物、そして最終講義に行う総合テストの結果から総合的に評価する。高度な課題を提出した者は別途加点する。

**教科書
参考書等
その他**

開講時に指定。
必要に応じて紹介する。
1年次生のみ対象の科目です。2年次以降は履修できません。

履修コード	095451
科目名	情報入門I
担当者名	山邊 ^{やまべ} 茂之 ^{しげゆき}

講義のねらい	<p>コンピュータを活用した情報収集やレポート作成、プレゼンテーションを行うことは、大学で学んでいく上で欠かせないスキルとなっている。また、コンピュータの知識・スキルは、社会においても必須である。</p> <p>本講義では、商学を学ぶ上で必要な「ツールとしてのパソコンの扱い方・ソフトウェアの使い方」を予備知識のない段階から習得を目指す。コンピュータの扱いに慣れること、インターネット（電子メール含む）を利用できるようになること、さらには Microsoft Office Word による文書作成技法および Microsoft Excel による表計算法の習得を目的とする。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>1. 教場の使い方、受講上の注意、パソコンの起動・終了方法。</p> <p>2.-5. パソコンの仕組み・用語。Windows の基本操作。マウス操作。YeStudy の使い方。日本語入力(IME)の説明。タイピング。Windows のトラブル回避方法。インターネット・ネチケットについて。ActiveMail の使い方。ファイルとフォルダ。ネットワークドライブの活用。</p> <p>6.-12. Microsoft Office Word(2007) の基本操作、文書の作成。フォントの変更、文字の大きさ・色の変更。箇条書き。印刷、図・クリップアート・図形の挿入。表の作成、ワードアートの挿入、文章の校正、検索、置換。レイアウト（ページ番号、改ページ、段組みなど）。</p> <p>13.-15. Microsoft Office Excel(2007) の基本操作。表計算、相対参照・絶対参照。</p>
履修上の留意点	<p>1)この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、講師の指導のもと実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。</p> <p>2)コンピュータ使用経験の少ない初心者を対象とした講義を行う。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。</p> <p>3)実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。</p> <p>4)現代応用経済学科1年次は原則としてこの講義を履修登録すること。</p> <p>5)2年次以降の履修は出来ないので注意すること。</p> <p>6)後期の情報入門IIの履修登録ミスが目立っています。後期の情報入門IIも忘れずに履修登録すること。</p>
成績評価の方法	<p>各カテゴリー終了時に行う授業時間中の小テストと実機試験及び最終講義に実施する総合試験の結果から総合的に評価する。高度な課題を提出した者は、別途加点する。</p>
教科書 参考書 その他	<p>開講時に指定する。 必要に応じて紹介します。 1年次生のみ対象の科目です。2年次以降は履修できません。</p>

履修コード	095431
科目名	情報入門II
担当者名	永井 勇

講義のねらい 本講義は「情報入門I」の単位取得者を対象とした講義に位置づけられる。コンピュータの基本的操作を習得していることを前提として、前期に続き Word による文書作成技法および表計算ソフト (Excel) の基本操作・データ処理法を習得することを目的とする。また、基礎ゼミと連携して、大学で学ぶ上で必要な技法の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール (1~6) Word の文書レイアウト、図の作成、図の挿入
(7~11)表計算 Excel の基本操作、データ集計、関数の利用、表の書式 (罫線・列幅の変更など)・印刷

(12~14) Word と Excel の要点の復習、グラフの作成、Word との連携

(15) 総合テスト、基礎ゼミレポート課題提出

履修上の留意点

1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、研修会社で経験を積んだ講師の指導のもと実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。

2) 「情報入門I」の単位取得者を前提に講義を進める。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。

3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。

4) 商学科1年次は原則としてこの講義を履修登録すること。

5) 2年次以降の履修は出来ないので注意すること。

6) 評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。

7) 4月の履修登録時、当科目の履修登録ミスが目立っています。後期の情報入門IIも忘れずに登録すること。

8) この科目は基礎ゼミのレポート課題や発表と連携した内容になっています。基礎ゼミにも必ず出席すること。

成績評価の方法

各カテゴリー終了時に行う授業時間中の小テスト、提出物、基礎ゼミレポート課題及び最終講義に実施する総合テストの結果から総合的に評価する。高度な課題を提出した者は別途加点する。

教科書

開講時に指定。

参考書

必要に応じて紹介します。

その他

1年次生のみ対象の科目です。2年次以降は履修できません。

履修コード	095441
科目名	情報入門II
担当者名	井川 俊実 <small>いがわ としむ</small>

講義のねらい 本講義は「情報入門I」の単位取得者を対象とした講義に位置づけられる。コンピュータの基本的操作を習得していることを前提として、前期に続き Word による文書作成技法および表計算ソフト(Excel)の基本操作・データ処理法を習得することを目的とする。また、基礎ゼミと連携して、大学で学ぶ上で必要な技法の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール (1~6) Word の文書レイアウト、図の作成、図の挿入
(7~11)表計算 Excel の基本操作、データ集計、関数の利用、表の書式(罫線・列幅の変更など)・印刷
(12~14) Word と Excel の要点の復習、グラフの作成、Word との連携
(15) 総合テスト、基礎ゼミレポート課題提出

履修上の留意点 1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、研修会社で経験を積んだ講師の指導のもと実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。
2) 「情報入門I」の単位取得者を前提に講義を進める。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。
3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。
4) 商学科1年次は原則としてこの講義を履修登録すること。
5) 2年次以降の履修は出来ないので注意すること。
6) 評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。
7) 4月の履修登録時、当科目の履修登録ミスが目立っています。後期の情報入門IIも忘れずに登録すること。
8) この科目は基礎ゼミのレポート課題や発表と連携した内容になっています。基礎ゼミにも必ず出席すること。

成績評価の方法 各カテゴリー終了時に行う授業時間中の小テスト、提出物、基礎ゼミレポート課題及び最終講義に実施する総合テストの結果から総合的に評価する。高度な課題を提出した者は別途加点する。

教科書参考書等その他 開講時に指定。
必要に応じて紹介します。
1年次生のみ対象の科目です。2年次以降は履修できません。

専門教育

履修コード	095461
科目名	情報入門II
担当者名	山邊 茂之 <small>やまべ しげゆき</small>

講義のねらい 本講義は「情報入門I」の単位取得者を対象とした講義に位置づけられる。コンピュータの基本的操作を習得していることを前提として、Microsoft Office Excel による表計算・グラフ作成法、Microsoft Office PowerPoint によるプレゼンテーション技法の習得を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 1.-3. Microsoft Office Word と Microsoft Office Excel の復習。
4.-8. Microsoft Office Excel による表計算、相対参照・絶対参照。シート間計算、関数、ユーザー定義。グラフの作成。複合グラフ。データの並べ替え。
9.-15. Microsoft Office PowerPoint(2007) の基本操作。スライドマスク。アニメーション。プレゼンテーション資料作成、個人発表。

履修上の留意点 1)この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、講師の指導のもと実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。
2)コンピュータ使用経験の少ない初心者を対象とした講義を行う。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。
3)実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。
4)現代応用経済学科1年次は原則としてこの講義を履修登録すること。
5)2年次以降の履修は出来ないので注意すること。
6)後期の情報入門IIの履修登録ミスが目立っています。後期の情報入門IIも忘れずに履修登録すること。

成績評価の方法 各カテゴリー終了時に行う授業時間中の実機試験、プレゼンテーション資料及び個人発表の結果、そして最終講義に行う総合試験結果から総合的に評価する。高度な課題を提出した者は別途加点する。

教科書参考書等その他 開講時に指定する。
必要に応じて紹介します。
1年次生のみ対象の科目です。2年次以降は履修できません。

履修コード	092101
科目名	簿記論
担当者名	福島 隆

講義のねらい 本講義では、複式簿記について学習します。簿記とは、企業活動を貨幣額で記録し、測定し、その結果を報告するための技術です。今日では企業活動を行ったり、実際のビジネスを理解したりする際には、簿記の知識が必要不可欠です。また簿記は、会計諸学（会計学、財務会計論、経営分析論、管理会計論、原価計算論等）の基礎であるため、これらの学習をするには簿記の知識が必要になります。本講義では、簿記の初心者を対象として、日商簿記3級のレベルを目安に、なるべく具体的に分かりやすく講義したいと考えています。その際、簿記の技術だけを講義するのではなく、理論や実際の企業活動との係り合いについても説明する予定です。

講義の内容・授業スケジュール 本講義では、次のようなスケジュールを予定しています。なお、授業内で中間試験を2回行います。

(1) ガイダンス(簿記の意義) (2・3) 簿記の基礎概念 (4) 仕訳と転記 (5・6) 現金預金 (7・8) 商品売買 (9・10) 手形 (11・12) 債権と債務 (13) 有価証券 (14) 固定資産 (15) 資本金と引出金・税金、(16・17) 収益と費用の見越し・繰延べ (18) 伝票 (19・20) 決算と財務諸表 (21・22) 財務諸表の読み方 (23-) その他

履修上の留意点 簿記は積み重ねが重要であるので、毎回出席して、復習に時間を当てることを希望します。また、受講生は毎回必ず電卓を持参して下さい。なお、10分以上の遅刻は欠席扱いとします。授業中の私語で注意された学生は、大幅減点されます。

成績評価の方法 評価は、次のいずれかを自己の責任で選択してもらいます。

(1) 平常点重視型・出席10点、課題20点、中間試験40点(20点×2回)、定期試験30点。
(2) 試験重視型・中間試験60点(30点×2回)、定期試験40点。

教科書その他 未定。1回目の講義で使用テキストを指示しますが、価格は2,500円前後になる予定です。授業の詳細については、1回目のガイダンスで説明しますので、履修を考えている学生は出席してください。

専門教育

履修コード	092201
科目名	簿記論
担当者名	渡邊 智

講義のねらい 企業は貸借対照表・損益計算書をはじめとする財務諸表を社会に向けて開示しています。これらを作成あるいは解釈するためには、簿記に関する知識が必要となります。この講義は、基本的な複式簿記原理の理解、さらには初歩的な記帳技術の習得を目標とするものです。

講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス (2) 簿記の基礎概念 (3) 簿記の取引 (4) 勘定記入 (5) 仕訳 (6) 仕訳帳への記入 (7) 総勘定元帳への転記 (8) 試算表 (9) 6桁精算表 (10~13) 決算 (14~15) 前期のまとめ (16) 現金・小口現金 (17) 当座預金 (18) 商品 (19) 仕入帳・売上帳・商品有高帳 (20) 売掛金・買掛金 (21) 手形 (22) その他の債権債務 (23) 貸倒れと貸倒引当金 (24) 有価証券 (25) 固定資産 (26) 資本金・引出金・税金 (27) 決算整理 (28) 8桁精算表・10桁精算表と決算 (29) 伝票 (30) 後期のまとめ

履修上の留意点 簿記の学習は積み重ねが大切ですから、講義には毎回必ず出席して下さい。万一欠席した場合には、必ず質問をするなどして欠席した回の学習事項を十分に理解しておくようにして下さい。予習・復習は毎回必ず行なって下さい。

成績評価の方法 出席状況、試験の結果および平常点(問題集の仕上がり具合)から総合的に判断して成績を評価します。

教科書 加古宜士・渡部裕亘・片山覚編著『新検定 簿記ワークブック 3級 商業簿記』中央経済社 定価700円+税 ISBN978-4-502-03230-1
伊藤秀俊編著『入門 商業簿記テキスト』中央経済社 定価2,400円+税 ISBN978-4-502-03430-5

参考書等 『日商簿記検定テキスト商業簿記3級』実教出版
『日商簿記検定テキスト問題集 商業簿記3級』実教出版
その他必要に応じて講義中に紹介します。

履修コード	092301
科目名	簿記論
担当者名	森田 佳宏

講義のねらい 今日わが国で一般に用いられている複式簿記は、明治6年（1873年）に刊行された福沢諭吉訳『帳合の法』に始まる。複式簿記とは、現金の収支、商品の売買、債権・債務の発生や消滅、建物・備品の購入や売却など、さまざまな企業活動を記録・計算・整理し、もって企業の財政状態および経営成績を明らかにするための技術である。

このような簿記の技術や知識は、税理士や公認会計士などの会計専門家を志す人にとっては必要不可欠なものであるとともに、企業の経営者が合理的な経営管理を行うためにも、投資者や債権者が企業に対して投資・融資を行う場合にも、また、企業に対して税金を課す税務当局者にとっても欠かすことのできない基本的なものである。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 簿記の意義・種類、(2~3) 簿記一巡の手続、(4~5) 資産・負債・純資産・収益・費用、(6) 財産法と損益法、(7) 勘定記入、(8) 取引の二面性、(9) 貸借平均の原則、(10) 仕訳、(11) 仕訳帳と総勘定元帳、(12) 試算表、(13) 決算、(14) 6桁精算表、(15) 現金および現金過不足勘定、(16) 当座預金勘定と当座借越、(17) 小口現金、(18) 3分法、(19) 商品有高帳、(20) 売掛金と買掛金、(21) 貸倒引当金、(22~23) 売掛金・買掛金以外の債権債務、(24) 手形、(25) 有価証券、(26) 固定資産と減価償却、(27) 資本金と引出金、(28) 8桁精算表、(29) 費用・収益の見越し・繰延べ、(30) 財務諸表の作成、伝票制度

履修上の留意点

簿記では特に、毎回の講義内容の完全な理解が重要であり、その積み重ねがないと、最終的な目標である貸借対照表と損益計算書の作成に到達することが困難となる。基本的な仕組みさえマスターすれば、簿記は決して難しいものではないので、頭で考えるだけでなく、実際にペンと電卓を手に取り、ワークブックに取り組んでもらいたい。

成績評価の方法
教科書

原則として定期試験（年度末）の結果により評価する。
加古宜士、渡部裕吾、片山覚編著『新検定簿記講義 3級商業簿記』（中央経済社）
加古宜士、渡部裕吾、片山覚編著『新検定簿記ワークブック 3級商業簿記』（中央経済社）

専門教育

履修コード	092411
科目名	企業論基礎
担当者名	劉 永鶴

講義のねらい 本講義は、企業の法律形態、企業の支配・統治構造ならびに企業成長に対する理論的究明を中心内容とする。なかには、株式会社の特質、支配形態および統治構造を重点的に講義し、その国際比較も行う。これを通して、現代社会における企業とくに巨大な株式会社の全体構図ならびに最新動向をより広い角度からアプローチする。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、企業論の研究対象、主な企業形態とそれぞれの特徴について講義する。
I 企業論の研究対象
II 企業の種類と企業形態
III 企業形態の発展過程
IV 単独投資者の企業：個人企業
V 会社企業：①合名会社 ②合資会社 ③合同会社 ④有限会社
後期には、株式会社の特徴と会社機関、企業支配、企業統治、企業成長と社会などを講義する。
VI 株式会社の特質
VII 株式会社の資金調達
VIII 株式会社の支配
IX 株式会社のガバナンス
X 企業成長と社会

履修上の留意点

予習はもちろんのこと、各章ごとに「演習問題」を出すので、それを中心に復習することも望まれる。

成績評価の方法

前期と後期に分けて2回の筆記テストを行い、その成績に、普段の講義への出席状況を加味して評価する。

教科書

・百田義治編著『経営学基礎』中央経済社、2006年。
・作新学院大学経営学研究グループ（代表：中村瑞穂）著『経営学—企業と経営の理論』白桃書房、2003年。
その他、授業の初回目に指示する。

履修コード	092421
科目名	ファイナンス基礎
担当者名	須藤 時仁

講義のねらい

この講座では、企業ファイナンスの基礎を、市場の性格とメカニズムを知ることによって理解することを目的としています。企業が資金を調達する場合、大別して銀行からの融資と、株式市場および債券市場を通じて調達する方法とがあります。前者を間接金融、後者を直接金融と言います。わが国では間接金融による資金調達が中心と言われていましたが、80年代からは株式市場を通じて、90年代からは債券市場を通じた資金調達が増えてきています。

前期は、間接金融と直接金融との相違および両者の関係を理解することを主目的とします。後期は、資金調達を行なう中心的な市場である株式市場と債券市場の性格とメカニズムについて詳細に考察します。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1-5) 金融制度と金融機関 (6-10) 金融システムの形成とその変遷
(11-15) 金融機関の資金調整 (短期金融市場での資金調達)
(後期) (16-20) 債券市場を用いた資金調達 (21-25) 株式市場を用いた資金調達
(26-30) まとめと今後の展望

履修上の留意点
成績評価の方法

できる限り新聞や雑誌に目を通して、現実の経済・金融の動きを理解するように努めてください。基本的に学年末の定期試験で行います。(夏休みに提出自由形式でレポートを課すことを考えていますが、その場合には提出者についてレポートの成績を加味します)

教科書

未定。第1回目の講義のときに基本書を示します。また、必要な参考文献は講義中に適宜指示します。

参考書等

未定。第1回目の講義のときに基本書を示します。また、必要な参考文献は講義中に適宜指示します。

専門教育

履修コード	099291
科目名	キャリア・デザイン
担当者名	竹下 春樹

講義のねらい

「キャリア」とは、狭義には「個人が自分の仕事人生を通してもつ一連の職業および職務」ですが、広義には(職業・労働の世界での生き方に限定されず)「人生の諸過程(ライフプロセス)、生き方(ライフスタイル)」を意味します。従って「キャリア・デザイン」とは、自分らしい生き方を実現するためには、どのような知識・技能を身につければよいかを考え、実践すること(人生設計)です。21世紀の生涯学習社会において個人が自立するためには、職業人として、家族やコミュニティの一員として、学びや遊びの主体として、自分の能力を生かし、「キャリア・アップ」や「キャリア・チェンジ」を行うことが重要となります。

講義では、個性的創造的キャリア形成のために自ら考え、判断し、意思決定をしていくうえで必要な基礎的能力を身につけてもらいたいと思います。また、広く各分野からゲスト講師を迎え、さまざまな「キャリア」=それぞれの方の労働・生活・人生の喜怒哀楽の実際を紹介・評価してもらう機会を適宜設けます。ゲストの個性あふれる人生体験はきっとみなさんに大きなヒントになるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

講義—1. 企業による雇用システムの変化と就職戦線への対応(学業と就職準備活動の両立)、2. 21世紀はどんな時代・社会になるのか(生涯学習社会と「キャリア・デザイン」)、3. ライフサイクルと職業生活(職業と就職の意味)、4. 「キャリア・デザイン」と大学の役割(学業と課外活動の意義)、5. 大学生活をどのように過ごすか(進路選択=職探しは自分探しである)。ゲスト講師による「キャリア・デザイン(人生設計論)」—前期3~4回、後期5~6回。なお、前期、後期の初めに「授業実施計画」(スケジュール表)を配布します。

履修上の留意点
成績評価の方法

出席を重視します。
後期の期末に記述形式の試験を行います。出席点と試験の結果を総合して評価します。

教科書

教科書は使用しません。

参考書等

講義のつど紹介します。

その他

1・2年次生のみ対象の科目です。3年次生以降は履修できません。適宜、講義内容に関連するレジュメ、プリント、資料を配付します。

履修コード	090001・090002
科目名	経済理論B・経済システムの原理 経済理論IB・経済システムの原理
担当者名	<small>ありい ゆきお</small> 有井 行夫

講義のねらい 今日のエconomicシステムは、かぎりない利潤追求を活動動機とする企業による商品生産、すなわち資本の運動にもとづいて実現されています。経済理論Aは、資本のシステムの基礎的諸条件をあきらかにしました。資本のシステムは、それ自身、人間の生命のように生きたシステムです。人間が生命を実現するのに頭脳や神経組織、消化諸器官、運動諸器官など、身体の諸器官を展開しておこなうのと同様に、資本のシステムは資本の自己増殖運動という独特の生命原理を実現するのに、自己の独特の身体諸器官、すなわち社会的諸姿態を発達させています。価格や商業、利子、土地所有、国家、市場などは、歴史的に資本のシステムに先行して形成された社会的諸形態ですが、今日では、資本のシステムという社会的有機的身体の独特の自己諸器官になっています。経済理論Bは、このような観点から、経済システムの諸姿態をとらえかえます。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1-4)第1章=理論経済学Iの3つの精神(経済理論Aの復習)。 (5-7)第2章=価格と利潤。 (8-10)第3章=商業資本と商業利潤。 (11-13)第4章=利子生み資本と信用制度。

(後期) (14-17)第5章=土地所有と地代。 (18-22)第6章=資本の国家。 (23-25)第7章=世界市場と恐慌。 (26)まとめ

履修上の留意点

この科目は、経済理論Aの発展科目です。原則として、講義は、経済理論Aの既修者を想定しておこないますが、未修者にも配慮しますのでなんら不利はありません。1年次にAとBの並行履修もできます。

成績評価の方法教科書

成績評価は、授業で強調したポイントのみから出題して実力試験によっておこないます。
大谷禎之介著『図解社会経済学』桜井書店、3000円

履修コード	092501
科目名	経済数学
担当者名	<small>いけだ ひろし</small> 池田 宏

講義のねらい 経済学に必要な道具としての数学、およびその道具として使う数学を修得するために必要な数学的基礎の理解を目的とする。経済学で使う道具としての数学で基礎となるのは線形代数と微分積分である。本講義ではこの2分野のなかで経済学で使う事柄のうちの基本的方法の修得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期:線形代数 1. ガイダンス (2.3)ベクトルと行列の定義と計算 (4.5.6)1次変換と固有値、固有ベクトル (7.8)行列式の定義と計算 (9.10)連立1次方程式(掃き出し方) (11.12)線形計画法 (13)試験

後期:微分積分 (1.2.3)微分の基礎 (4.5)接線、増減、極値 (6.7.8.9)基本関数の微分 (10)高次導関数 (11.12)多変数関数と偏微分 13. 試験

履修上の留意点

高校2年までに学習した程度の微分の基礎知識が必要である。

成績評価の方法

前後期に各一回行う試験(70%)と平常点(30%)

教科書

教科書は指定しない。必要な時には適宜、教材プリントを配布する。

参考書

田代嘉宏著『数学概論 線形代数/微分積分』裳華房 本体2400円
ISBN4-7853-1078-2 C3041

履修コード	092611
科目名	応用ミクロ経済学
担当者名	荒木 勝啓

講義のねらい

今年度は、金融経済学、金融工学などに必要な最低不可欠な理論的フレームワークを基礎の基礎から教える。本来この分野の標準的な数値は非常に高く、学ばなければならない知識も膨大であるが、この講義では各種参考書などを読んだだけでは分かりにくいテーマに絞って講義する。将来銀行、金融、証券、貿易（為替）などの方面に進みたいと考えている学生はこの授業の内容が金融スペシャリストのほんの入り口にすぎないということをよく認識した上で、示される手法を完全にマスターして欲しい。ただし証券アナリストを受験しようと思っている学生はこの授業は必須である。

講義の内容・授業スケジュール

1-8. 基礎となる数学の復習—解析と線形代数。基礎から図解入りで説明するので高校のときに数学をやっていなかった人でもよく理解できると思う。
 内容: 微分・全微分・偏微分係数・ベクトル・行列・行列式・逆行列・一次方程式・固有値・回転の行列・2次形式と2次曲線・不定積分・テイラー展開・マクローリン展開・eと対数微分
 9-12. 条件付き最適化問題（ラグランジュ未定係数法とキューン・タッカー定理）
 13-14. 多重線形回帰法と主成分分析
 15-16. 企業の市場価値とMM命題
 17-20. CAPM理論
 21-25. 利子理論
 (1) 債券価格とさまざまな利子率
 (2) デュレーションとコンベキシティ
 (3) イミュニゼーション
 26-30. ブラック・ショールズ公式と派生商品の価格付け、Greeks とヘッジ。

履修上の留意点

ノートをとることを欠かさないと。金融工学の手法のエッセンスが凝縮された内容なので、あとから文献等で調べようとする膨大な量になる。

成績評価の方法

定期試験100、ただしノート持込可。ノートのコピー不可。授業に出ればほぼ確実に解けるような簡単な問題を出すので安心して授業をとっていただきたい。

教科書
参考書等

特になし。
 高森寛 『現代ファイナンスの基礎理論』
 池田昌幸 『金融経済学の基礎』（朝倉書店）2000年
 Cuthbertson, K. and Nitzsche, D., Financial Engineering-Derivatives and Risk Management, John Wiley and Sons, Ltd., 2001.

履修コード	092711
科目名	応用マクロ経済学
担当者名	吉野 紀

講義のねらい

為替レートや株価はなぜ減価したり、高騰するのか。失業率は何故に上昇するのか。物価の変動はどのような影響を我々の生活に及ぼすのか。これらはいずれもマクロ経済学の主要な課題である。失業率4.0%といえば実数にして250万人余の労働力人口が失業していることを意味する。特定の個人が終業しているか失業しているかは、その個人のスキル（能力）などによるところが大きく、国民経済全体の失業率とは直接の関係はない。しかし、後者は国民経済全体の景況状態の良い指標ともなる。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では相対的な国民経済の動きを説明することが主題となる。個々人の日常的な経済活動の意志決定は受動的に大きな影響を受けるが、能動的に影響を及ぼすことを直感的にも経験的にも把握することは難しい。したがって、マクロ経済の仕組みを理解するには豊かな想像力と鋭い推理力とが求められる。

1. 「国民経済計算の話」…………… 5回
 《参考》経済企画庁「平成16年日本経済の循環図」（配布資料）
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」…………… 4回
 《参考》中谷巖 『入門マクロ経済学』（日本評論社）第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」…………… 8回
 《参考》伊達邦春（編）『マクロ経済学』（八千代出版）第9章
4. 「金融政策、財政政策」…………… 4回
 《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学（上）』（CAP出版）第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」…………… 5回

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。

教科書
その他の

R.J. ゴードン 『現代マクロエコノミクス（上）』（第6版）（多賀出版）
 本講は旧「国民所得論」からの名称変更である。

履修コード	092801
科目名	計量経済学
担当者名	<small>たなか まさみつ</small> 田中 正光

講義のねらい

経済学で学んだ消費関数や投資関数などが現実の経済にどの程度適用できるか検証を行うには、関連データを集め、これら諸関数の構造方程式を推計し、それらの推計パラメータをさまざまな角度から評価する作業が必要になる。

こうした経済の構造の解明を目指すためのツールとして、また簡単な経済予測を行うためのツールとして計量経済学がある。本講義では、計量経済学の概略を簡単な理論と数値例から学び、計量経済学の有用性の理解を深めることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

(1～6) 計量経済学に最低限必要な基礎的統計学 (7～10) 統計学の応用 (11～16) 最小二乗法と回帰モデル (17～18) 重回帰モデル (19～20) 回帰モデルの仮説検定 (21) ダミー変数の利用 (22～28) 系列相関、多重共線性、分散不均一 (28～30) 連立方程式モデル

履修上の留意点

授業の中で簡単な計算をする場面がしばしばあるので、電卓(関数電卓が望ましい)を持参すること。

成績評価の方法

前期末と後期末に実施する中間試験の結果、通常授業における演習問題の結果、出席状況等を総合的に判断して成績を評価する。

教科書
参考書等

指定なし。

伴金美・中村二郎・跡田直澄『エコノメトリックス(新版)』2006年(有斐閣)

唯是康彦『Excelで学ぶ計量経済学』2003年(東洋経済新報社)

白砂堤津耶『初歩からの計量経済学』2000年(日本評論社)

蓑谷千風彦『計量経済学』1998年(東洋経済新報社)

その他

授業では、原則的にプリントを配布する。これに従って授業を進める予定である。しかしながら、講義を進める過程で、履修者の興味・理解度に応じて講義内容の軌道修正を行う場合があるのでご理解願いたい。

履修コード	092901
科目名	統計原論
担当者名	吉野 紀 <small>よしの おさむ</small>

講義のねらい 現代の統計学の基本は推測統計学にあるという認識に立って講義を進めてゆく。それでは、推測統計学の基本とは何であろうか。サミュエル・バトラーは「人生とは、不十分な証拠から十分な結論を引き出す芸術である」と言っているが、この文言の「人生」を「統計学」に置き換えるならば、相当の部分言い当てていることになろう。「相当の」であって「完全に」ではない理由は、元来、人生には偶然性や不確実性がつきものであるであって、偶然が支配しているとしたか思えないデータから何がしかの決定や判断を下すためには、すべての経験に裏打ちされた人間性・人格を総動員して粗なデータをインテリジェンス（情報）へと昇華させなければならず、その過程こそ人生そのものであるからである。

統計学の扱う世界は不確実性が支配する世界であり、人間はこの偶然性に長い間悩まされてきた。「偶然とは、おそらく、神が自分の名をサインしなくなかったときの、神の仮名であろう」（アナトール・フランス）。端的に言えば、統計学の住む世界では、どのような結論が下されようとも、そこには確実に誤りが何パーセントかの確率で含まれるのである。この世界の住人たることに何がしかの面白味を感得してもらえればと期待する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 記述統計——標本データの整理——
度数分布表、統計値（平均値、中央値、最頻値）、散らばりを表す統計値（分散、標準偏差）
2. 確率変数と確率分布
2項分布、ポアソン分布、正規分布
3. 標本抽出と標本分布
ランダム・サンプリング、中心極限定理、t 分布
4. 統計的推定
推定とは何か、平均値の区間推定
5. 仮説検定
検定とは何か、平均値の検定
6. 回帰分析I
単純回帰モデル、最小2乗法、回帰と相関
7. 回帰分析II
回帰における統計的推測、多変量回帰（重回帰）

履修上の留意点

授業は1-201教場を使って、あらかじめサーバーに保存してあるデータを各自のパソコンで開き、加工する方法で進行させる。したがって、机上のパソコンにアクセスするためのパスワード、KOMAnet のユーザIDを得ておくことが望ましい（総合情報センターで割当てられる）。

**成績評価の方法
教科書**

数学上の知識は特に必要としない。
期末試験による。ただし、夏季休暇中の宿題を考慮する。
P.G.ホーエル、「初等統計学」（原著第4版）、培風館、1,838円

履修コード	093001
科目名	景気循環論
担当者名	野村 信廣 <small>のむら のぶひろ</small>

講義のねらい 景気（循環）への関心は極めて高い。それは（1）景気循環が多くの人の生活に影響する（2）景気循環の姿がその都度変化する（3）景気循環が経済・政治の諸問題に影響する—などのためである。講義では（1）景気循環を把握する方法（2）景気循環を引き起こす原因とメカニズム（3）景気循環を応用して景気の過去や現状把握、将来予測—などを学ぶ。学生達が景気判断に対する理解・評価能力を習得し、自分自身で景気判断や予測が出来るようにする。

講義の内容・授業スケジュール

[前期]
景気循環と景気指標・景気循環を引き起こす要因とメカニズム

[後期]
景気循環の歴史・景気循環の理論
理論的なもののウエートを高くして行う。

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他**

日々の経済動向に興味を持つこと
レポート（前期）、定期試験（筆記・後期）、出席状況を加味して評価
景気循環学会・金森久雄「ゼミナール・景気循環入門」（東洋経済新報社）
適宜参考資料を配布
講義中心だが、質問や討議を歓迎

履修コード	093101
科目名	現代資本主義論
担当者名	いらい あきら 一井 昭

講義のねらい 現代資本主義論は、中心的課題として経済のグローバル化と国家の経済政策を解き明かす必要がある。そのために、基礎的な理論（独占資本主義論と国家独占資本主義論）を理解した上で、現実の経済動向を見通す現代資本主義の総合的・体系的な理解へと進みたい。

講義の内容・授業スケジュール (1～4) 第I篇 現代資本主義論の課題と方法（理論的課題、歴史的対象など）、(5～16) 第II篇 独占資本主義論（資本の集積・集中と独占、信用制度の発展、独占の諸形態、独占価格と独占利潤、金融資本、資本輸出、国民経済と世界経済など）、(17～24) 第III篇 国家独占資本主義論（概念、機構、地域的統合体、類型化、歴史的意義と限界など）、(25～30) 第IV篇 現代資本主義の緊急課題（国際的な通貨・金融システム、地球温暖化、富と貧困など）

履修上の留意点 毎回出席のこと。かなり詳細な講義資料を配布する予定なので、予習、復習にも心がけてほしい。

成績評価の方法 学期末試験と授業内に提出を求める課題（レポート、任意）を基本に評価します。4年以上は出欠をとり評価のボーダーを救済します。

教科書 未定（ただし、4月下旬にテキストを刊行する予定）。

参考書等 最初の授業時に紹介します。

その他 できれば、経済原論や経済理論など基礎的科目の履修者が望ましい。

履修コード	093211・093212
科目名	市民と経済学 a 社会思想史 a
担当者名	あべ ひろし 阿部 弘

講義のねらい 「経済学」は私たちが日常生活している「市民社会」と密接な関連をもって形成されてきた。そこでこの過程を概観することをこの講義の目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 講義の内容： 「市民社会」の発達と「経済学」の形成過程
「経済学」という科学は人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持つ。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入ってヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしている。

さて「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた「帝王学」的な政治・経済の倫理・政策論に求められる。この場合に重要なのは古代中国で培われてきた「経世済民」という考え方であった。

近代的な「経済学」の成立は、ヨーロッパ的な「市民社会」の発達との関係なしにはあり得ない。そこで近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」およびその後に登場してくる「プロレタリアート」が、「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察する。そのうえで、現代社会で「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていく。

講義のスケジュール：講義は15回であるので、次のスケジュールになる。

第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開（01-05回）
第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程（05-12回）
第3章：現代の経済的諸問題（13-15回）

成績評価の方法 この科目は講師からの一方通行的講義によるものではなくて、受講生の社会思想を通じた参加型のカリキュラムを目指しているので、受講生の積極的参加が重要視される。したがってつぎのようになる：1、出席の確認（授業中に適宜実施される）・2、3回のレポートの作成
「成績評価」は以上の形で行い、「定期試験」は実施しない。したがってこの「定期試験」に伴う「追試試験」等は行わないので注意して欲しい。

教科書 阿部弘：『「経世済民論」と「経済学」』、創成社、2009。

参考書等 適宜授業中に指定する。

履修コード	093221・093222
科目名	市民と経済学 b 社会思想史 b
担当者名	阿部 弘

講義のねらい 私たちが何気なしに用いている「市民」という概念が私たち自身の「社会」との関わりのなかでの概念であり、そして、この「市民」・「市民社会」の成り立ちと共に「経済学」もまた形成されるのであるが、それは「国家」的なシステムの構築と共にあることを明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール 講義の内容：
「経済学」という科学は人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持つ。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入ってヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしている。

さて「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた「帝王学」的な政治・経済の倫理・政策論に求められる。この場合に重要なのは古代中国で培われてきた「経世済民」という考え方である。この論の本質・その発展を追っていくことによって現代の「経済学」にもつながるこの論は、資本家的な生産システムが人間それぞれをコスト原則で規定していき、「格差社会」なるもの作り上げて、それをさき「高度な社会」であるかのように吹聴する資本家的な国家体制のなかで、まさにこの非人間的な体制を根本から見直すべきものをもっている。

そこでこの講義体系では「経世済民」論の成立過程そしてその本質と現代へつながっていく要素を明らかにして、現代においてこの論の持つ意義を観ていく。

講義のスケジュール： 講義は15回であるから、つぎのようなかたちになる：

- 第1章：「経世済民」の思想（01-05回）
- 第2章：「経世済民論」と経済学（06-12回）
- 第3章：「経世済民論」と現代（13-15回）

成績評価の方法 この科目は講師からの一方通行的講義によるものではなくて、受講生の社会思想を通じた参加型のカリキュラムを目指しているため、受講生の積極的参加が重要視される。したがって次のようになる：1、出席の確認（授業中に適宜実施される）・2、3回のレポートの作成

「成績評価」は以上の形で行い、「定期試験」は実施しない。したがってこの「定期試験」に伴う、「追試試験」等は行わないので注意して欲しい。

教科書 阿部弘『労働と所有』、八千代出版、1983

参考書等 適宜授業中に指定する。

履修コード	093301
科目名	日本経済史
担当者名	渡邊 恵一

講義のねらい 経済学は現状分析あるいは将来予測に関心を置く学問であり、歴史的アプローチとはいささか縁遠いものと思われがちである。しかし、われわれの目の前にあるすべての経済的現象は、あるどこかの時点で発生し、その後発展あるいは変容を遂げてきたものであって、その歴史的経緯を理解することは、一見遠回りのように見えるが、きわめて重要な作業であるといえよう。本講義では、研究史上の論争や最新の研究成果などをわかりやすく紹介しつつ、現代日本経済の形成過程をたどっていくこととしたい。

講義の内容・授業スケジュール (1) 課題と方法、(2)～(6) 幕藩制下の経済発展、(7)～(9) 幕末開港の歴史的意義、(10)～(12) 明治前期の経済政策、(13)～(18) 日本産業革命の展開、(19)～(23) 第一次大戦期の日本経済、(24)～(27) 恐慌の時代、(28)～(29) 戦時経済の展開と崩壊、(30) 総括と展望

履修上の留意点 毎回の講義は連続した内容となっている。欠席もしくは遅刻は、その分だけ話の前後関係がなくなってしまうことを意味するので、くれぐれも注意されたい。

成績評価の方法 定期試験（年度末）の成績をベースとして、授業中に随時配布する「リアクション・ペーパー」の提出状況、記載内容などを平常点として加味し、総合的に判断して評価する。

教科書 老川慶喜・仁木良和・渡邊恵一『日本経済史一太閤検地から戦後復興まで一』（税務経理協会、2940円、ISBN4-419-04025-4）。あらかじめ指示したページ範囲に目を通していただくことを前提に授業を行う。

その他、補助教材として、資料・図表をまとめたプリントを講義時に配布する。後日になって再び参照する資料もあるので、各自ファイルして毎回持参すること。

参考書等 上記教科書の巻末に掲載。個別の問題に関する文献は、講義の中でその都度紹介する。

その他 日本史の知識不問（挫折者歓迎!）。「経済学」を遠巻きに見ている他学部の方も、ぜひ受講してみてください。

履修コード	093401
科目名	西洋経済史
担当者名	友松 憲彦

講義のねらい

この講義は近代ヨーロッパと北アメリカの経済発展の歴史について説明しますが、中心は18世紀末から19世紀にかけての工業化（産業革命）についてです。

現在、世界経済の3つの中心は、EUとして政治経済的統合を進める「ヨーロッパ」、アメリカ合衆国を中心とする「北アメリカ」、そして日本や近年成長著しい「アジア」です。これらの地域は、いずれも工業化に成功したか、あるいは成功しつつあるという共通の歴史的経験をもっています。工業化とはなにか、それはどのようにしておこり、経済や社会をいかに変化させたのか。また、工業化により現われた社会経済問題に対してどのような改革が進められたのか。講義では世界最初の工業化に成功したヨーロッパ（とりわけイギリス）の事例を中心に説明します。さらに、ヨーロッパの工業化が他の地域にどのような影響を与え、世界経済をどう変容させたのか、工業化がもたらした光だけでなく影にも注目します。

近代西洋経済の歴史を学ぶことで、現在の世界経済の成立過程と、それが抱える諸問題を理解するための手がかりを得ることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

1. 講義のねらい
 - (1) 資本主義市場経済
2. 前近代の経済 - 封建制 -
 - (2) (3) 農村と農業, (4) (5) 都市と商工業
3. 資本主義の成長
 - (6) (7) 「封建制の危機」と資本主義の誕生, (8) (9) 農村工業の成長, (10) 農業革命, (11) 海外市場の発達, (12) 国内市場の発達
4. 資本主義の確立 - イギリス産業革命（工業化）
 - (13) 産業革命の原因, (14) (15) 産業革命の過程, (16) (17) 産業革命の結果, (18) (19) 経済・社会問題の改革
5. 世界資本主義の形成
 - (20) イギリス経済と世界経済, (21) (22) (23) 後発国の産業革命, (24) (25) 脱工業化
6. 資本主義の変質
 - (26) 「大不況」と資本主義の構造変化, (27) 国際経済, (28) (29) 帝国主義と植民地
7. まとめ
 - (30) 現代への展望

成績評価の方法
教科書等
参考書等

定期試験（年度末）、授業中に行う小レポートに出席状態を加味します。

とくに指定しませんが、毎回資料を配布します。

長岡・太田・宮本編著『世界経済史入門』ミネルヴァ書房、1992年

岡田泰男編著『西洋経済史』八千代出版、1996年

原輝史・工藤章『現代ヨーロッパ経済史』有斐閣、1996年

岡田泰男著『アメリカ経済史』慶応義塾大学出版会、2000年

楠井他著『エレメンタル西洋経済史』英創社、2006年

履修コード	093501
科目名	農業政策
担当者名	溝手 ^{みぞて} 芳計 ^{よしかず}

講義のねらい “工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、食料問題を入口として、現代農業の産業的特質との関連で日本と世界の農業問題・農業政策について、経済学の視点から説明します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「農業政策」とは（1回）
2. 食料問題と食料政策（6回程度）
3. 農業の特質と現代農業（4回程度）
4. 戦後日本の農業問題と農業政策（6回程度）
5. 農産物価格問題と価格・所得政策（5回程度）
6. グローバリゼーション下における世界の農業（5～8回）

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験（年度末）を基本としますが、授業中に行う小テストの結果を20点の範囲で加点して採点します。追試験有り。

教科書

田代洋一『新版農業問題入門』、大月書店、3150円、ISBN978-4-272-14046-6
中野一新・岡田知弘編『グローバリゼーションと世界の農業』、大月書店、3150円、ISBN978-4-272-14055-8

参考書等

※ どちらも、授業中には使いませんが、予復習してください。
大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』、有斐閣、2100円、ISBN4-641-28094-0
加瀬良明編著『グローバル資本主義と農業』、筑波書房、2940円、ISBN978-4-8119-0332-3 C3033
橋本卓爾ほか編著『食と農の経済学』、ミネルヴァ書房、3150円、ISBN4-623-04012-7

履修コード	093601
科目名	工業政策
担当者名	奥山 雅之 <small>おくやま まさゆき</small>

講義のねらい わが国の工業（「ものづくり」産業）は、その技術力を背景に高い国際競争力を有しており、産業全体を支える重要な存在です。

この講義では、数多くの企業事例を取り上げ、ものづくり産業の特徴を確認しながら、産業の「過去」「現在」そして「将来」を考察します。また、ものづくり産業に対する国や地方公共団体の政策の課題と方向性についても検討を加えていきます。

前期では、ものづくり産業の現状をさまざまな角度から分析し、その課題と今後の方向性を明らかにします。後期では、産学連携、知的財産、環境問題、CSR（企業の社会的責任）など、ものづくり産業をめぐる今日的な題材に検討を加えます。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期（1～3）工業の意義と役割
 （4～6）工業の発展と工業政策の歩み
 （7～9）産業構造とものづくり産業
 （10～13）工業の立地問題
 （14～15）ものづくり中小企業と政策
 後期（16～19）ものづくり産業の業種別動向（自動車産業、繊維産業ほか）
 （20～21）「ソフトなものづくり」産業（映画産業、アニメーション産業ほか）
 （22～23）ものづくりを支える人材の確保・育成
 （24～25）イノベーションと産学連携
 （26）知的財産の創造・保護・活用
 （27）創業・ベンチャー支援策
 （28～29）工業振興と環境問題
 （30）工業振興とCSR（企業の社会的責任）

履修上の留意点

1年間の講義を通して「ものづくり」を中心とした産業課題に対する問題意識や提言力を身につけてもらうのが目標です。日頃から新聞の経済・産業関連記事に接することを望みます。

成績評価の方法

成績は学年末試験とレポート提出で評価します。試験およびレポートの内容については、講義に積極的に参加していた人が有利になるように配慮します。追試は行いません。

教科書

特に指定しません。配布する資料によって講義を実施します。

参考書等

加藤秀雄『地域中小企業と産業集積』（新評論）

専門教育

履修コード	093701
科目名	経済地理
担当者名	矢延 洋泰 <small>やのぶ ひろやす</small>

講義のねらい 経済的諸活動の空間構造を地理学的に捉えてみたい。なかでも世界で最も経済発展が著しい東アジア地域を中心に考察します。

講義の内容・授業スケジュール

- （1）地理学の中における経済地理学とは （2）経済を中心にした世界史の潮流 （3）経済社会の変化を探る （4）東南アジアの基礎知識 （5）アジア・ダイナミズムの源泉を探る—OECD レポートの衝撃とその分析、アジアNIES誕生の意味。（6）成長の基層文化 （7）戦後日本の経済発展と周辺アジアとの関係 （8）東南アジアにみる地域協力機構の色々—ASEANの成立過程、シンガポールの経済開発と成長の限界、成長の三角地帯構想の背景、（9）冷戦崩壊後の世界と日本—冷戦とバブル崩壊後の日本の対応、幻のEAEC構想とAFTA実現の意味、太平洋を跨ぐAPECの思惑、日米中が描くASEANを核にした地域協力、（10）「ハブ」と「スポークス」の考え方 （11）大航空時代の周辺アジアと日本の動向

履修上の留意点

学ぶことに意欲を持ち、アジアに興味と関心のある学生を期待します。文献紹介は適宜するつもりですが、それらは必ず読むようにしてください。

成績評価の方法

学期末の筆記試験（80％）と、授業内に提出を求める課題、アトラダムに取る出席（20％）で評価します。

教科書

教科書は使いませんが、適宜プリントを配布します。配布は基本的に2週としますので、忘れずに取得するようにしてください。

参考書等

矢延洋泰『インサイト東南アジア』勁草書房 3255円 ISBN4-326-65182-2

その他の

質問は授業の後に受け付けます。諸般の事情で授業スケジュールを変更する場合があります。

履修コード	093811
科目名	中小企業論
担当者名	吉田 敬一

講義のねらい	商店街のパン屋さんも中小企業、ハイテク製品を造るベンチャーも中小企業。中小企業は異質で多様な形で存在しています。しかも戦後日本の経済発展において中小企業は意外に大きな役割を果たしてきました。この点に関して自動車工業を事例として明らかにし、中小企業の実態を考えることが、この講義の目的です。
講義の内容・授業スケジュール	講義ガイダンス (1) I 中小企業の基礎理論 I-1 中小企業の法的規定(2) I-2 中小企業の経営類型(3) I-3 中小企業の企業形態(4) I-4 日本型下請構造の特質(5~6) II 日本型下請システムの形成過程、 II-1 日本経済復活期の生産分業構造(7~8) II-2 高度経済成長期の下請管理の合理化(9~10) II-3 自動車工業の急成長と日本型下請構造の確立(11~12) II-4 グローバル化と日本型下請け構造の改変(13~14) 講義のまとめ(15)
履修上の留意点	中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。
成績評価の方法	成績評価は定期試験(前期末:80点)とレポート(最終授業日提出:20点)を基準として行ないます。追試験は実施します。
教科書 参考書等	教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。 『中小企業白書』 吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房 吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版 渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣 『世界を制した中小企業』講談社現代新書

履修コード	093821
科目名	中小企業政策論
担当者名	吉田 敬一

講義のねらい	この講義は中小企業論の内容を前提として進めます。戦後日本の高度成長を支えた中小企業の革新過程を支援した中小企業政策の特徴を学ぶこと、さらに下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。
講義の内容・授業スケジュール	講義ガイダンス (1) 1 復興期の中小企業政策 (2~4) 2 高度成長と中小企業近代化政策 (5~8) 3 中小企業政策の大転換 (9~11) 4 経済のグローバル化と中小企業政策 (12~13) 5 中小企業と不正取引問題 (14) 講義のまとめ (15)
履修上の留意点	中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。
成績評価の方法	成績評価は定期試験(後期末:80点)とレポート(最終授業日提出:20点)を基準として行ないます。追試験は実施します。
教科書 参考書等	教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。 『中小企業白書』 吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房 吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版 渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣 『世界を制した中小企業』講談社現代新書

履修コード	O99111
科目名	公共経済学 a
担当者名	鈴木 伸枝

講義のねらい 社会福祉や環境政策はなぜ必要か。どのような政策が望ましいのか。理想をすべて満たすような政策はあるのか。ないとすれば、どのような政策なら実現可能なのか。そして実施された政策はどんな効果をもたらすのか。公共経済学では、こうした問題をミクロ経済学的手法を用いて考えます。『公共経済学 a』は、基礎理論の習得が中心となります。『公共経済学 b』では環境問題や所得再分配などの現実の諸問題に関連付けながら、より高度な理論を紹介していきます。この講義をしっかり理解すれば、講義時間内で扱いきれない多くの政策についても習得した理論を応用して自分で考えたり、専門書を読んでさらに知識を深めることができるはずです。

講義の内容・授業スケジュール
 「ガイダンス」(第1回)
 「政府の役割」(第1～2回)
 「日本の政府」(第2～3回)
 「数学的準備Ⅰ：微分」(第3～4回)
 「生産者理論：完全競争・独占・寡占」(第4～8回)
 「課税・価格統制」(第8～10回)
 「競争均衡の効率性・公平性」「消費者理論Ⅰ：無差別曲線」(第11回～)

履修上の留意点 公共経済学というのは数学を多用する分野です。予備知識は要求しませんが、講義で習ったことを理解するまで復習できる根気のない人には履修をお勧めしません。

成績評価の方法 基本的には試験の得点で評価します。講義資料の誤植を指摘してくれた場合にはボーナスポイントを加味します。小テスト提出がボーナスポイントの対象となることもあります。

教科書その他 特に指定しません。
 YeStudy を活用します。

履修コード	O99121
科目名	公共経済学 b
担当者名	鈴木 伸枝

講義のねらい 社会福祉や環境政策はなぜ必要か。どのような政策が望ましいのか。理想をすべて満たすような政策はあるのか。ないとすれば、どのような政策なら実現可能なのか。そして実施された政策はどんな効果をもたらすのか。公共経済学では、こうした問題をミクロ経済学的手法を用いて考えます。『公共経済学 a』は、基礎理論の習得が中心となります。『公共経済学 b』では環境問題や所得再分配などの現実の諸問題に関連付けながら、より高度な理論を紹介していきます。この講義をしっかり理解すれば、講義時間内で扱いきれない多くの政策についても習得した理論を応用して自分で考えたり、専門書を読んでさらに知識を深めることができるはずです。

講義の内容・授業スケジュール
 「『公共経済学 a』復習」(第1回)
 「消費者理論Ⅱ：効用最大化」「数学的準備Ⅱ：偏微分」(第2～4回)
 「外部性」(第4～9回)
 「公共財」(第9～12回)
 「応用：環境問題・所得再分配・教育・年金・医療」(第12回～)

履修上の留意点 公共経済学というのは数学を多用する分野です。予備知識は要求しませんが、講義で習ったことを理解するまで復習できる根気のない人には履修をお勧めしません。

成績評価の方法 基本的には試験の得点で評価します。講義資料の誤植を指摘してくれた場合にはボーナスポイントを加味します。小テスト提出がボーナスポイントの対象となることもあります。

教科書その他 特に指定しません。
 YeStudy を活用します。

履修コード	100611
科目名	現代産業論 a
担当者名	北嶋 守

講義のねらい 本講義は、日々変化する日本の産業の動向について、特に戦後からバブル経済崩壊までの高度経済成長期とその後のインターネットの登場、経済のグローバル化、環境問題及び人口減少社会の到来等々に伴う日本の産業の変化に焦点を当て、具体的な事例を紹介することによって、学生諸君の現代産業を見る眼を豊かにすることを目的に開講するものである。

講義の内容・授業スケジュール 第1回目は、講義全体の進め方を説明した上で、日本の産業の分類及び歴史的概観について講義する。第2回目から第3回目は、戦後日本の産業の黎明期について講義する。第4回から第5回は、戦後日本の産業の革新期・成長期について講義する。第6回から第7回は、バブル経済崩壊に至る経緯及びバブル経済崩壊後の日本の産業構造の変化について講義する。第8回から第9回は、IT(情報技術)、インターネットの普及が日本の産業に与えた影響を中心に講義する。第10回から第11回は、アジア地域を中心とした日本企業のグローバル展開に伴う日本の産業の変化について講義する。第12回から第13回から環境問題・高齢化社会の進行が日本の産業に与える影響について講義する。第14回から第15回は、地域産業イノベーションの視点から今後の日本の産業政策の方向性について講義する。

履修上の留意点 定期的にレポート課題を用意するので、常に産業情報、特に新聞情報について目を通しておくこと。欠席は大きなマイナスになるのでその点も十分留意すること。

成績評価の方法 レポート課題の提出状況、期末試験(執筆試験)及び出席状況に基づいて評価する。
教科書 三菱総合研究所編『日本産業読本』また、必要に応じてプリント類を配布する。
参考書等 経済産業省等編『ものづくり白書』、中小企業庁編『中小企業白書』、(財)日本情報処理開発協会編『情報化白書』、(財)機械振興協会経済研究所編『日本の機械産業2008』他。

その他 意欲的な学生の出席を期待する。

履修コード	100621
科目名	現代産業論 b
担当者名	北嶋 守

講義のねらい 本講義は、日々変化する日本の産業の動向について、リーディング産業及び地域産業等に焦点を当てながら、個々の産業セクター別に具体的な事例を紹介することによって、学生諸君の現代産業を見る眼を豊かにすることを目的に開講するものである。

講義の内容・授業スケジュール 第1回目は、講義全体の進め方を説明した上で、日本の産業を牽引する産業(リーディング産業)の概要及びこれまでのリーディング産業の変遷過程について講義する。第2回目から第3回目は、日本の自動車産業の動向とその競争力について講義する。第4回から第5回は、電気電子産業(家電・半導体・液晶・太陽光パネル等)の動向について講義する。第6回から第7回は、精密機械産業について講義する。第8回から第9回は、医療福祉機器及び環境機器産業の動向について講義する。第10回から第11回は、サービス産業及びコンテンツ産業の動向について講義する。第12回から第13回は、地域産業(観光及び地場産業)の動向について講義する。第14回から第15回は、今後成長が期待される新産業分野とそれに関連する産業政策及び世界規模で見た場合の日本の産業の競争力向上における課題について講義する。

履修上の留意点 定期的にレポート課題を用意するので、常に産業情報、特に新聞情報について目を通しておくこと。欠席は大きなマイナスになるのでその点も十分留意すること。

成績評価の方法 レポート課題の提出状況、期末試験(執筆試験)及び出席状況に基づいて評価する。
教科書 三菱総合研究所編『日本産業読本』また、必要に応じてプリント類を配布する。
参考書等 新庄浩二『産業組織論』(有斐閣ブックス)、経済産業省等編『ものづくり白書』、中小企業庁編『中小企業白書』、(財)日本情報処理開発協会編『情報化白書』、(財)デジタルコンテンツ協会編『デジタルコンテンツ白書』、(財)機械振興協会経済研究所編『日本の機械産業2008』他。

その他 意欲的な学生の出席を期待する。

履修コード	094101
科目名	地方財政論
担当者名	<small>しのはら あきら</small> 篠原 章

講義のねらい

「分権の時代」といわれて久しいが、本講義では、地方自治体（地方政府）の財政（収入と支出）に関する制度的・理論的な知識を身につけると同時に、地方分権に関わるさまざまな問題点を理解・分析し、その解決策を見いだす能力を涵養することが目標である。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 前期オリエンテーション（講義の進め方・注意点）
2. 財政・地方財政と経済（1）
3. 財政・地方財政と経済（2）
4. 中央政府と地方政府（1）
5. 中央政府と地方政府（2）
6. 財政の三つの機能と地方財政支出（1）資源配分
7. 財政の三つの機能と地方財政支出（2）資源配分
8. 財政の三つの機能と地方財政支出（3）所得再分配
9. 財政の三つの機能と地方財政支出（4）所得再分配
10. 財政の三つの機能と地方財政支出（5）経済安定
11. 地方財政の現状と課題（1）合併と道州制
12. 地方財政の現状と課題（2）合併と道州制
13. 地方財政の現状と課題（3）地方分権の課題
14. 地方財政の現状と課題（4）地方分権の課題
15. 中間総括（前期総括）
16. 後期オリエンテーション（講義のポイント）
17. 地方税の理論（1）
18. 地方税の理論（2）
19. 地方税の現状と課題（1）
20. 地方税の現状と課題（2）
21. 地方税の現状と課題（3）
22. 社会保障と地方財政（1）年金
23. 社会保障と地方財政（2）年金
24. 社会保障と地方財政（3）医療
25. 社会保障と地方財政（4）医療
26. 社会保障と地方財政（5）福祉
27. 社会保障と地方財政（6）福祉
28. ケーススタディ：沖縄県の財政（1）
29. ケーススタディ：沖縄県の財政（2）
30. 総括講義

履修上の留意点
成績評価の方法

経済学・財政学に関する基礎的な知識が身につけていることが望ましいが、必要条件ではない。平常点（レポート）と定期試験（後期）の総合評価。前期と後期に各1～2回のレポート提出を義務づける。

教科書
参考書等
その他

特に指定せず。
必要に応じて指定する。
E-MAILアドレス
shino.hara@nifty.com（篠原章）

履修コード	094201
科目名	国際金融論
担当者名	田中 綾一

講義のねらい 国境を越えた金融取引が引き起こす様々な問題を取り扱うのが国際金融論である。前期では国際収支や国際決済、外国為替相場などの基本的な事項を取り扱い、後期では国際通貨体制の変遷や昨今の諸問題などの発展的な事項を取り扱う。新聞記事を読みこなせる程度の国際金融に関する知識を獲得してもらうことが講義の目標である。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期
- (1) 国際収支統計の基礎
 - ・構成項目の内容
 - ・国際収支の赤字と黒字
 - ・国民所得と国際収支
 - (2) 国際決済と国際通貨
 - ・国際決済の方法
 - ・為替調整取引と為替媒介通貨
 - (3) 外国為替市場と為替相場
 - ・外国為替市場の構造
 - ・外国為替相場の見方
- 後期
- (4) 国際通貨体制の歴史
 - ・国際通貨体制とは
 - ・IMF体制の成立
 - ・IMF体制の変容
 - (5) 国際金融の諸問題
 - ・ドル体制の現状と課題
 - ・欧州通貨統合の歴史と現状

*なお、授業の進度は受講者の反応をみて調整することがある。

出席はとらないが、深い理解のためには毎回の出席が不可欠である。

学年末試験(60%)と夏休みのレポート(40%)の合計。なお、授業中の私語は減点対象とするので注意すること。

**履修上の留意点
成績評価の方法**

**教科書
参考書等
その他**

奥田宏司・横田綾子・神沢正典編『現代国際金融－構図と解明－』(法律文化社)2006年。
講義中に適宜指示する。
国際金融に関係のある(と自分が思う)TVニュースや新聞記事に日頃から関心を持っておくこと。

履修コード	094301
科目名	人口論
担当者名	森岡 仁

講義のねらい 本講義は経済人口学の立場から、経済と人口の相互依存関係を理論的、実証的に論ずる。マルサスの人口波動理論に始まり、出生力の経済学に至る理論篇から、現在わが国に進行する少子高齢化人口減少の実状とその経済に及ぼす影響を追及する実証篇まで、人口がいかに関わらねばならないと身近な問題を提起しているかを明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

(1～8) 経済人口学とは何か、A.スミスの人口論、T.R.マルサスの人口波動理論、K.マルクスの相対的過剰人口論、J.S.ミルの人口論、E.キャナンの適度人口論、J.M.ケインズの過少人口論、発展途上国の過剰人口問題、(9～13) 人口転換論、出生力の経済学の先駆者H.ライベンシュタイン、G.S.ベッカーの出生力の経済学、R.イースターリンの出生力理論、出生力理論の統合、(14～16) 第2次大戦直後の日本の過剰人口問題、経済の高度成長と人口要因、人口移動、(17～25) 人口高齢化とは何か、人口高齢化の諸指標、日本の人口高齢化、人口高齢化と従属負担、人口高齢化と貯蓄行動、人口高齢化と労働力、人口高齢化と社会保障、人口高齢化と所得再分配、所得再分配の世代間摩擦、(26～29) 少子化とは何か、家族政策、人口減少と技術進歩、人口減少と資源・環境、(30) 人口政策。

履修上の留意点

近年大きな関心ごとになっている人口高齢化や少子化、それに人口減少に関する知識をどのような手段を通じてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験。追試験も実施する。

教科書

大淵寛・森岡仁『経済人口学』(新評論)1981年、2800円。1033-330172-3177。大淵寛・森岡仁編『人口減少時代の日本経済』(原書房)2006年、2800円。4-562-09112-6

参考書等

大淵寛『少子化時代の日本経済』(日本放送協会)1997年
京極・高橋編『日本の人口減少社会を読み解く』(中央法規)2008年、2200円。

その他

授業方法：講義

履修コード	094401
科目名	教育経済論
担当者名	谷敷 正光

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育・人材養成教育が果たした意義とその役割について明らかにする。日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この経済発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるとされている。一時、欧米各国は経済面で国際競争力の低下が顕著と成り、国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から、一連の教育改革が行われた。

本年度は、外国からは高く評価された日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前・戦後期に分け、戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は「特需」を契機に復興した経済復興期から高度経済成長・低成長期を中心に、それぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた経済界・産業界の人材養成をまず明らかにする。その上で欧米先進国の経済再生計画と教育改革の動向を日本との比較しながら明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 経済発展とリテラシー・識字教育

(1) ガイダンス～経済・産業の発展とリテラシー、(2) 日本の産業化とリテラシー～教育水準と識字率、非識字者と児童労働、(3) 日本の近代化と教育～徳川時代の遺産、(4) 江戸時代・工業化の準備機能、開発途上国と非識字運動

2. 戦前期日本の経済発展と実業教育政策

(5) 学制時代の経済と教育～産業革命育成期「富国強兵・殖産興業」、(6) 学制時代の経済と教育～「学制」公布と行政管理学校、(7) 教育令時代の経済と教育～産業革命準備期（明治10年代）、(8) 教育令時代の経済と教育～「教育令」公布と職工学校・機業地学校、(9) 学校令時代の経済と教育～第1次産業革命と紡績業の発展、(10) 学校令時代の経済と教育～「学校令」公布と実業補習学校・徒弟学校、(11) 実業学校令時代の経済と教育～第2次産業革命と鉄鋼業の発展・生産財部門の確立、(12) 実業学校令時代の経済と教育～「実業学校令」「専門学校」公布と上からの教育、(13) 実業学校令時代の経済と教育～委託教育・工場内学校と下からの教育、

3. 戦後期日本の経済発展と産業教育政策

(14) 戦後経済の民主化と教育、(15) 経済復興期の経済発展と教育～「産業教育振興法」、(16) 高度成長第I期の経済発展と教育、(17) 高度成長第II期の経済発展と教育、(18) 高度成長第III期の経済発展と教育、(19) 高度成長第IV期の経済発展と教育、(20) 低成長期の経済発展と教育、(21) バブル経済期の経済発展と教育

4. 欧米の経済発展と教育

(22) サッチャー政権の経済と教育～「テッチャーリズム」、(23) サッチャー政権の経済と教育～「教育改革法」、(24) プレア政権の経済と教育～「福祉のニューディールとオペティングアウト」、(25) プレア政権の経済と教育～「学校の水準・枠組み法」とピーコンクール、(26) レーガン政権の経済と教育～「危機に立つ国家」教育水準特別委員会報告、(27) ブッシュ政権の経済と教育、(28) ブッシュ政権の経済と教育～「全米教育サミット」、(29) クリントン政権の経済と教育、(30) クリントン政権の経済と教育～「アメリカ教育法」「教育大国」

履修上の留意点

- ① 年間数回小テストを実施し、平常点とする。
- ② 毎時間、講義の参考資料として、ビデオ（VTR）・DVDを使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。

成績評価の方法

授業中の小テスト、レポート、定期試験によって評価する。追試験は実施する。

教科書

教科書の代わりとして講義用プリントを配布し、教科書とする。

参考書等

参考文献は講義の中で適宜紹介する。以下は当初の参考文献です。

OECD編『世界の児童労働』明石書店。H・R・ウオッチ著『インドの債務児童労働』明石書店。中岡哲郎著『日本近代技術の形成 伝統と近代のダイナミクス』朝日新聞社。佐々木譲著『幕臣たちと技術立国』集英社。大野健一著『途上国日本の歩み』有斐閣。以下は講義の中で単元ごとに紹介します。

専門教育

履修コード	093831
科目名	福祉経済論
担当者名	渡邊 泰典

講義のねらい

社会保障制度のうち、年金、医療、介護、保育制度に焦点をあて、日本の各制度の現状を確認すると共に、社会保障制度一般について、公共経済学の視点からどのような含意が得られるのかについても解説する。

講義の内容・授業スケジュール

1 イントロダクション 2 社会保障とは 3-5 年金 6-8 医療 9-11 介護 12-14 保育 15 期末試験

成績評価の方法

中間レポート（30%程度）と期末試験（70%程度）により評価。出席状況は問わない。

教科書

なし。講義内容をまとめたプリントを配布。

参考書等

村上雅子 『社会保障の経済学 第2版』東洋経済新報社 2300円 4-492-81456-6

履修コード	093841
科目名	医療経済論
担当者名	渡邊 泰典

講義のねらい 医療制度特有の問題を経済理論によって分析する医療経済学の理論的成果とともに、日本の医療制度や問題点について適宜データを参照しながら解説する。

講義の内容・授業スケジュール 1 イントロダクション 2-6 医療経済学の基礎 7-10 日本の医療制度 11-14 医療経済学の理論的含意 15 期末試験

成績評価の方法 中間レポート(30%程度)と期末試験(70%程度)により評価。出席状況は問わない。

教科書 なし。講義内容をまとめたプリントを配布。

参考書等 鍋田忠彦編 『日本の医療経済』 東洋経済新報社 3200円 4-492-39199-1

履修コード	093901
科目名	環境経済論
担当者名	山口 由二

講義のねらい 産業革命以降、人類は無限とも思える生産力を得て、それまでとは比べものにならない急速な経済発展・成長を成し遂げてきた。この大量生産、大量消費を美德とする社会における経済成長は、すべての人々に文化的で豊かな生活を与えるものとして、これまで、声高に異議を唱える者はほとんどいなかった。しかし、21世紀が間近にせまる現在、様々な矛盾が露呈してきている。そのもっとも大きな問題が、環境問題である。

現在の環境問題は、かつての水俣病に代表される公害問題のように加害者と被害者が明確に分離されるものばかりではなく、地球温暖化のように、ほとんどすべて人々が加害者であると同時に被害者となりうる問題や、熱帯雨林の破壊や、酸性雨問題のように、貧しきゆえに引き起こされ、そのことが南北問題にまで発展しているより複雑な問題もある。

本講義では、経済成長と環境の相互関係を歴史的視点と理論的視点の両視座から論じると共に、様々な事例を提示して経済成長の意味や、経済成長と環境破壊とのトレードオフの関係について論じる。この講義を通して、受講者の方々に環境経済学への問題意識を喚起したい。

講義の内容・授業スケジュール 前期では、おもに、資源・環境問題、及び環境経済学を理論的に論じる。その上で、後期では、地球温暖化問題、国有林や東京湾の漁業のコスト・ベネフィット分析、捕鯨問題、自動車の社会的費用、ダイオキシンの問題、農業の環境問題など様々な実例を取り扱う。

履修上の留意点 本講義は、近経の基礎的知識を必要とするが、講義過程でその都度、簡単に復習を行いたい。環境経済学は、まだ確固とした学問体系が出来上がっておらず、発展的余地があり今後ますます重要となる研究分野である。この講義で積極的な質問や議論ができることを希望する。

成績評価の方法 前期はレポート、後期はテストを行う。

教科書 また、適宜に簡単なレポートを提出していただき、これも考慮する。

参考書等 未定、最初の授業時に指定する。

- ・K.W. カップ著 篠原泰三訳『私的企業と社会的費用』(岩波書店)
環境経済学の古典的名著。生産過程で第三者や社会が受ける、公害、環境汚染による損失を社会的費用として、大気汚染、水質汚染、動植物の絶滅、人災、エネルギーの枯渇、森林の濫伐等について理論と実際の両面で分析を試みている。1905年に原著は刊行されている。

- ・宇沢弘文著『自動車の社会的費用』(岩波書店)

若い人ならば皆大好きで、現代社会においてこれなしには成り立たないと思われている自動車の外部不経済性を徹底的に追求した名著。私が自動車の免許を取らないのもこの本を読んだため?。宇沢氏は日本の近経の一人者で、ノーベル賞をもらってもまさか文化勲章はもらおうまいと思いましたが…。ちょっと古い本だがおすすめ。

- ・宮本憲一著『環境経済学』(岩波書店) 3,600円ぐらい

筆者は公共経済学者、政治経済学者の立場から長年様々な公害問題に立ち向かってこられた。環境経済学を「容器の経済学」と称し、環境をあらゆる経済活動の「容器」としてとらえている。やはり、読んでおいてほしい本。

履修コード	094601
科目名	アジア経済論
担当者名	ちよん 鄭 章淵

講義のねらい

この講義では、受講生諸君に東アジア経済に対する理解を深めてもらうために、東アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、下記のような個別のテーマについてそれぞれ解説する予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化する東アジアの経済発展を20世紀後半期（冷戦期）に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾の弁証法的メカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来の「アジア経済論」（典型的には新古典派開発経済学）のように工業化の本格化した1960年代以降の時期のみを注目するのではなく、その「前史」（植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、1960年代以降の工業化過程において経済発展をリードしてきた東アジア諸国の政府の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまで「アジア」に軸足を置きつつも、東アジア経済がこれまで外部環境から様々な影響を受けてきた事実を考慮し、その時々の世界経済の動向についても注意を払うつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

1. 東アジア経済の全体像（1～2回）
 - （1）アジアの「多様性」（2）「東アジア」の範疇
2. 東アジア経済と経済理論（3～5回）
 - （1）従来の経済理論（2）今日の経済理論
3. 東アジアの経済発展（6～10回）
 - （1）工業化の「前史」（2）東アジアの経済発展過程（3）経済発展の特徴
4. アジア NIEs の経済発展（11～15回）
 - （1）用語説明（2）経済発展の特徴（3）各アジア NIEs 経済の状況

〔後期〕

5. 東南アジア諸国の経済（16～19回）
 - （1）主要各国の経済発展過程（2）ASEANの歴史
6. アジア社会主義国の経済（20～22回）
 - （1）中国の改革・開放政策（2）その他社会主義国の現状
7. アジア通貨危機（23～25回）
 - （1）危機の背景・原因・特徴（2）危機への対応策
8. アジアの地域経済協力（26～28回）
 - （1）地域経済協力の歴史と現状（2）東アジア経済圏の展望
9. 東アジア経済と日本（29～30回）
 - （1）東アジアと日本の関係史（2）東アジアと日本の展望

履修上の留意点
成績評価の方法

試験およびレポートの際に自筆のノートを参照するので、授業中にノートをよくとってもらいたい。前期および夏季休暇のレポートと定期試験（学年末）で総合的に評価する。なお、定期試験とレポートの成績比重は、前者80%、後者20%とする。

教科書

特に定めませんが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。

大野健一・桜井宏二郎著『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税別）、ISBN4-641-12044-7

参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

履修コード	094701
科目名	中国経済論
担当者名	小杉 ^{こすぎ} 修二 ^{しゅうじ}

講義のねらい

講義の内容・
授業スケジュール

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大国志向としての「ソ連モデル」、独自の超大国を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」について学ぶ。後期は現在につながる鄧小平モデルの経済発展と問題点について学ぶ。

第1-3週：キーワードの解説を中心に基礎知識にふれる。

第4週-10週：ソ連モデル期に中国は発展途上国の特徴である機械の生産能力を欠いているという弱点を克服した。現在、中国の知的財産権侵害が問題にもされているが、発展途上国が発展していくとき良かれ悪しかれ、先進的な技術をまねることになる。しかし、世界中のどの国でもまねができるかといえば必ずしもそうではない。まねすることも偉大な能力であることはわが日本が示してきた能力である。まねができるだけの基礎的能力のかかなりの部分がこの時期に培われたと考えられる。また、年9%近い高度経済成長、国民生活の一定の改善もこの時期に達成された。さらに一定の兵器の自給も達成された。

第11週-15週：毛沢東モデル時期には国家目標は独自の超大国に切り替えられた。この時期中国は一見すると経済発展に背を向けて「革命」を目指していたなどといわれることもある。しかし、この時期に6%程度の経済成長があった。しかし、その成果は国民生活のためには使われず、核ミサイルの開発や米ソとの覇権争いのため、また、後にはソ連との戦争に備える臨戦態勢づくりに消費されてしまった。そしてこの開発戦略のため、中国経済の効率は低下し、行き詰った。これら二つの時期の中国の行き方は良くも悪くも今日にまで続く影を落としている面がある。

後期は鄧小平モデル期（1978年-）の中国を考える。この時期の中国は、平和共存の戦略の下でもうひとつの超大国を目指すべく目覚ましい経済発展を遂げるにいたった。平和共存への転換は臨戦態勢からの脱却を可能にした。資本が乏しいというのが発展途上国の特徴だが、中国は毛沢東式の共産主義の下に「我慢することが共産主義」だとして、さまざまなキャンペーンを通じて消費を抑制し、工場や核ミサイルの開発をしてきた。毛沢東の後継者たち＝「4人組」が敗退したということは、新しい国際条件の下では、国民生活の抑制による経済運営ではなく経済成長による国民生活の向上が新しい経済発展の道として選ばれたということであり、この流れは不可逆的なものである。

第16週-25週：新しい発展戦略は外国の技術・資本を積極的に導入することによって可能になった。中国の低賃金労働力もそれを後押しする要因だった。電機産業にみられる「組み合わせ型」の技術による産業分野では中国はテレビ、パソコン、電子レンジ、洗濯機、冷蔵庫等で世界有数の生産国になった。1人あたりの所得も1000ドルを超えるにいたった。こうした中国の発展を可能にした要因を考えていく。

第26週-30週：産業構造の特徴、地域的な産業集積、産業高度化の課題、日中関係、地域格差、階層格差等について考えていく。

私語、飲食、携帯電話禁止（授業に集中できない人は出席不可）。

前期レポート、後期試験（30%、70%）。

前期 小杉修二『増補 現代中国の国家目的と経済開発』（龍溪書舎 1997年）4000円

加藤弘之・上原一慶編著『中国経済論』ミネルヴァ書房 2004年、馬成三『中国経済の読み方』ジェトロ、2002年、周牧之『中国経済論』日本経済評論社、2007年

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書等
参考書等

履修コード	094801
科目名	アメリカ経済論
担当者名	<small>せとおか ひろし</small> 瀬戸岡 紘

講義のねらい 現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール 1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。◇大統領選挙の動向。◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティ、◇ドルの地位、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点 この講義は、アメリカ経済の個々の現象を羅列的に述べるようなことはしません。むしろ、日々報道されているアメリカ経済の事象を、みなさんが自力で読み解く力をつけるための話に徹します。アメリカものの本には書かれていない事柄をたくさんお話することによって、みなさんが講義に出席してよかったと実感してもらえたらありがたい、と考えています。

アメリカ経済を理解することは、この国が好きであれ嫌いであれ、現代世界経済全体を理解するためのカナメです。現代の国際事情を幅広く解明したい諸君は、この科目を早めに履修して、いっそう広範かつ深い国際理解へとすすむことをお勧めします。

成績評価の方法 随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。

教科書 最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、
瀬戸岡著『アメリカ理念と現実』(時潮社、2005年)
グリーンバーグ著・瀬戸岡訳『資本主義とアメリカの政治理念』(青木書店、1994年)
瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』(桜井書店、2003年)
をおすすめします。

履修コード	095001
科目名	EU統合論
担当者名	藤田 憲

講義のねらい	本講義は、域内において通貨統合を実現したEUの国際金融史的的特色を、固定相場制が有する「為替変動リスク回避機能」という金融政策的観点から、実証的・理論的に論じる。 本講義の具体的目的は、「国際的通貨当局者間協力」、「中央銀行政策に対する信託」、「裁定取引を含めた国際資本移動」を鍵概念とした、第一次大戦前国際金本位制における「金」と21世紀初頭世界経済において存在感を増す「ユーロ」の相対化である。
講義の内容・授業スケジュール	I. EUにおける通貨統合から何を学ぶのか？ (①-②) II. 国際金本位制 (③-⑥) III. 再建金本位制 (⑦) IV. ブレトンウッズシステム (⑧) V. 欧州決済同盟から欧州通貨同盟へ (⑨-⑫) VI. 為替変動リスク回避機能から観る「金」と「ユーロ」 (⑬-⑭)
履修上の留意点	国際経済・国際金融に関する基礎的知識を有していることが望ましい。講義の中で、適宜、EU統合関連のショート・ライティングを課すほか、ユーロ圏経済の現状を示す指標に関する小テスト、および発表予定の経済指標を予想するとともにその根拠を明示するレポートを課すことを検討している。「マネー」のダイナミズムに日ごろから接するよう努めること。
成績評価の方法	出席点 (1～2割)、講義への参加姿勢およびショート・ライティング (2～3割)、前期講義最終回に実施する中間テスト (5～7割)
教科書 参考書等	特に指定しない。 金井雄一 (1989) 『イングランド銀行金融政策の形成』名古屋大学出版会 ジョン・ウィリアムソン (須田美矢子・奥村隆平・柳田辰雄訳) (1990) 『世界経済とマクロ理論』多賀出版 金井雄一 (1994) 『ポンドの苦闘—金本位制とは何だったのか』名古屋大学出版会 藤瀬浩司 (2004) 『改定新版 欧米経済史』放送大学教育振興会 木畑洋一編 (2005) 『ヨーロッパ統合と国際関係』日本経済評論社 小野塚知二・沼尻晃伸編著 (2007) 『大塚久雄『共同体の基礎理論』を読み直す』日本経済評論社 遠藤乾編 (2008) 『ヨーロッパ統合史』名古屋大学出版会

専門教育

履修コード	095101
科目名	現代西欧経済論
担当者名	工藤 芽衣

講義のねらい	本講義では、欧州通貨統合の基礎となった欧州通貨制度 (European Monetary System) のメカニズムの基礎を学びつつ、EMSへの参加やユーロ導入が、各国の国内経済社会政策とどのような点で問題となり、そして今後どのような問題が起こり得るのかを勉強していきます。個別の焦点としては、独仏英米の政策に焦点をあてることになります。
講義の内容・授業スケジュール	第1回～第3回 ブレトンウッズ固定相場制とその崩壊 ① ブレトンウッズ体制の設立 ② ドル過剰とブレトンウッズ体制の崩壊 第4回～第5回 スネークの発足と挫折 ① スネーク発足の背景とメカニズム ② スネークの挫折 第6回～第9回 欧州通貨制度 (EMS) の展開 ① EMSの設立 ② フランスとEMS—強いフラン政策への転換 ③ ドイツ統一とEMS危機 第10～14回 ユーロをめぐる諸問題 ① 財政安定協定と各国経済 ② イギリスの参加問題 ③ グローバル経済の中のユーロ 第15回 予備日
成績評価の方法	授業中に行われる小テスト、中間テストによる。
教科書	山下英次 『ヨーロッパ通貨統合』勁草書房、2002年。

履修コード	095201
科目名	ロシア・東欧経済論
担当者名	山縣 弘志 <small>やまがた ひろし</small>

講義のねらい

外国経済研究の課題は、その経済事情に通じることではない。むしろ、我々にとっては、日本経済の進むべき方向を考える上でのヒントをそこから引き出すことである。ロシア・東欧経済を研究する場合、異なる文化に基づく人々の行動様式の違い、経済体制の違いの基礎となる思想、体制転換によって露になった経済と人々の生活との関わり、これらのことが特に大きな関心と呼ぶテーマになるだろう。ロシアとソ連の歴史は常に価値判断を伴って語られてきた。多くの場合、証明されるべき結論が前提とされて議論された。そのため、議論はすれ違わざるを得なかった。こうした不毛を終わらせるためには、事実を前提として考えなければならない。事実とはしばしば諸君の常識を覆すはずである。

講義の内容・授業スケジュール

講義では主としてロシアを取り上げる。前期は、ロシア経済の現状分析と将来展望、問題点を明らかにする内容とし、全体として問題提起を狙いとする講義になる。後期は、歴史的なアプローチによって、問題に答えるためのいくつかの視点を示す。最終的に問題に答えるのは諸君である。

前期

- 1 ペレストロイカと体制転換
 - (1) 経済改革と停滞の時代
 - (2) ペレストロイカとその挫折
 - (3) 体制転換
- 2 ロシア・東欧経済の現状
 - (1) 市場経済化のショック療法
 - (2) 金融危機
 - (3) プーチンの時代
- 3 BRICs の発展と限界

後期

- 4 社会主義論とロシア革命
 - (1) マルクスの社会主義論
 - (2) ロシア革命とレーニン時代
- 5 ソ連型社会主義の確立と行きづまり
 - (1) 1930年代とスターリン
 - (2) ソ連型社会主義の特質
 - (3) 計画経済のフィクション
- 6 ロシア経済の独自性
 - (1) 帝政ロシアの資本主義発展
 - (2) ロシアと日本 ——比較経済の視点——

履修上の留意点

常に現状に留意しそこから問題意識を喚起していきたいので、必ずしも授業計画通りに進まない。配布資料は必要最小限にとどめ、授業中にノートを取ることを推奨する。ウェブ時代にはむしろそれが学習能力を高めるために必要と考えるためである。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持ち込み可、60点配点）によって行う。ダウンロードしただけのレポートは認めない。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。

教科書の他

教科書は存在しない。参考書は適宜指示する。板書には注意を払うが、時間の関係で読みづらくなることもあり得るので、許していただきたい。聞きながら書く習慣を身につけて対応できるものと期待する。

専門教育

履修コード	100311
科目名	貿易実務
担当者名	荒畑 治雄

講義のねらい 本講義では、貿易取引に必要な業務内容を実務に即して解説する。近年、電子商取引の環境整備が進み、新たなグローバルSCMの形成が創出しているため、この点も考慮する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1、国際マーケティング
 - (1) 相手市場の選定 (2) 商品の持つ市場性 (3) 取引相手の信用調査
- 2、取引関係の形成
 - (1) 見本、価格表、カタログ等の送付 (2) 一般的取引条件の協定 (a) 品質条件、数量条件、価格条件、受渡条件、決済条件など基本5条件の協定
- 3、輸出入貿易管理と規制
- 4、売買契約成立に伴う実務
 - (1) 売買条件の取り決め (2) 荷為替信用状の実務
- 5、先物為替の予約
- 6、国際運送
 - (1) 海上運送、航空運送、各種運送書類、(2) 海上保険契約
- 7、輸出通関と船積み、航空機への貨物搭載
- 8、輸入貨物の荷揚げと輸入通貨
- 9、貿易取引における代金決済
- 10、電子商取引と信用
- 11、電子商取引における国際物流の変化と対応
- 12、グローバルSCMの形成と電子的手続き

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

テキストをよく読んで、授業に出席する事、
授業への参加度、定期試験(追試験)等による。
荒畑治雄、『現代国際商取引論』、慶應義塾大学、3,000円、ISBN 4-7664-1247-8
授業時に指示する。

履修コード	100321
科目名	通関実務
担当者名	荒畑 治雄

講義のねらい 貨物を輸出/輸入する者は、税関に申告して、その許可を得る必要がある。本講義では、一連の輸出入通関業務について解説する。さらに、通関士を目指す学生に対して考查を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1、定義
 - (1) 輸入・外国貨物 (2) 輸出・内国貨物
- 2、輸入通関
 - (1) 輸入申告 (2) 輸入申告の審査、貨物の検査 (3) 輸入許可
- 3、輸出通関
 - (1) 輸出申告 (2) 輸出申告の審査(貨物の検査)(3) 輸出許可
- 4、簡易申告制度
- 5、保税地域、保税運送
- 6、課税物件の確定時期・納税義務者
 - (1) 原則 (2) 例外 (3) 税額の確定の方式
- 7、関税の納付と徴収
 - (1) 関税の納付 (2) 納期限 (3) 担保 (4) 延滞税
- 8、特殊関税
 - (1) 便益関税 (2) 報復関税 (3) 相殺関税
 - (4) 不当廉売関税 (5) 緊急関税・対抗関税
- 9、輸入禁制品
- 10、電子情報処理組織による税関手続きの特例等に関する法律(NACCS特例法)
- 11、輸出申告書の書き方、輸入申告書の書き方

履修上の留意点

日頃から日本経済新聞、業界雑誌、税関出版物、インターネットなどにより工業製品、農林水産物の輸出入に関する情報を入手しておくこと。

成績評価の方法
教科書

出席状況、期末試験の結果等により評価、
荒畑治雄『現代国際商取引論』慶應義塾大学、3000円、ISBN 4-7664-1247-8

参考書等

(輸出入通関手続き、NACCS等は本書を利用) 講義には主として税関資料、その他の資料を使用する。
授業に使用する参考書は講義日に指示する。

履修コード	095301
科目名	情報・経済ネットワーク論
担当者名	なかすみ みつあき 中 済 光 昭

講義のねらい この講義では、情報が経済学でどのように扱われているかについて議論します。具体的には「経済学と情報」「デジタルエコノミーとはなにか」「ICTによって何が変わるのか」「情報ネットワーク経済の基盤となる情報システムとは」「電子商取引とは」について理解し、事例を通じてインターネット上の電子商取引、オンラインバンキング、オンライントレーディングなどについて理解を深めていきます。講義では、コンピュータを操作して情報システムについて実習し、また電子掲示板などを活用し教員と皆さんが双方向に意見を交換するようにしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 教場のパソコンの使い方、受講上の注意など
(2)～(6) インターネットのサービスを使ってみる (株取引シミュレーション、グループウェア、経営情報システムの実例 (SAP ERP))。
(7)～(15) 情報システム概論 ―コンピュータのコスト構造、組織変革論、技術概論
(16)～(21) 情報経済システム論 ―情報とは、カジノテーブルと取極増の法則、情報の非対称性、デジタルエコノミーとは
(22)～(26) 電子商取引概論 ―電子商取引のインパクト、電子決済概論、法制度
(27)～(29) インターネットビジネス概況 ―マイクロソフトにみる情報とビジネス戦略、Web2.0 やロングテール、google のビジネスモデル、インターネットビジネスを覆う危機
(30) まとめ

履修上の留意点 ワープロ、表計算、メール、ホームページ検索などの基本的操作ができる前提で講義を行います。課題提出や講義中の議論には、パソコンやインターネットを活用します。パソコン初心者には、まず、コンピュータ基礎、基礎情報処理I・IIや情報入門I・IIを履修することをお薦めします。

成績評価の方法 講義時の課題、夏季休業時に課すレポートと授業内試験によります。卒業年次生においても期限までにレポートを提出しないものは、単位を認めません。

教科書等その他 初回の講義で指示
初回の講義で指示

- ・本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがあります。初回の講義で履修許可票を配布するので「必ず」出席すること。卒業年次生についても例外は認めません。
- ・KOMAnet に登録している前提で講義を行なうので、KOMAnet 未登録者は4月初旬に4号館1F自習室に行き、登録手続きを行なうこと（登録なしに受講することは講義内容上困難です）。
- ・講義に関する質問などは、nakasumi@komazawa-u.ac.jp にメールすること。

履修コード	095401
科目名	プログラミング論
担当者名	はまもと かずひこ 濱本 和彦

講義のねらい

現在の社会においてコンピュータはあらゆる分野で使用されており、その重要性は非常に高い。それに伴いソフトウェアの機能強化が必要とされており、ソフトウェアの開発におけるプログラミング技術の重要性はますます高くなっている。またコンピュータの使用環境もスタンドアローンからインターネットなどのネットワーク上での利用へと変化し、それに伴って供給されるソフトウェアを記述するプログラミング言語も変化している。

本講義ではまず、ソフトウェア開発におけるプログラミング技術の位置づけを明らかにするために、ソフトウェア工学の基礎について講義する。次にプログラミング技法とプログラミング言語について講義する。プログラミング言語としては主にC言語を扱い、実際にソフトウェアを作成しながら包括的なプログラミング技術、ソフトウェア開発について講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

(1~3)ソフトウェア工学の基礎とプログラミング技法(構造化やオブジェクト指向) (4~5)実習のためのコンピュータ操作方法の習得 (6~8)言語学習してのプログラム学習とCプログラムの構成 (9~10)画面への文字列の表示 (11~13)各種データとデータ構造 (14~17)変数の計算と数値の入出力 (18)中間テスト (19~22)条件付き分岐構造 (23~26)繰り返し構造 (27~29)関数 (30)総復習とまとめ

履修上の留意点

できるだけコンピュータの初心者に対しても理解しやすいように講義を行うが、各自の予習復習が理解のためには必要である。なお、メール(大学のメールアドレスを利用)による出席調査、課題提出を行うため、履修予定学生はメール送受信などの基本的なコンピュータ操作についてのリテラシーが必要である。なお、最初の数回の講義においてプログラミングの実習のためのコンピュータの操作方法について説明するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

講義中に出す課題、長期休暇中に課すレポート、および中間試験、期末試験により評価する。出席状況も考慮する。

教科書

特に指定しない。授業で利用するパワーポイント、プログラムリストは web 上で公開する。必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

新訂新C言語入門 {スーパービギナー編, ビギナー編, シニア編}, 林晴比古著, ソフトバンクパブリッシング

その他の他

講義は実際にコンピュータの画面をプロジェクタで見せながら行い、実習中心に行う。出席、レポート提出は e-mail を用いる。よって、受講学生は、コンピュータの基本的な操作を習得している必要がある。

専門教育

履修コード	095901
科目名	基礎情報処理I
担当者名	<small>あいうら のぶのり</small> 相浦 宣徳

講義のねらい コンピュータを活用して情報収集やレポート作成、プレゼンテーションを行うことは、大学で学ぶ上で欠かせない要素となってきた。さらにこうした能力は社会においても必須である。本講義では、経済学を学ぶ上で必要な「ツールとしてのパソコンの扱い方・ソフトウェアの使い方」の習得を目指す。コンピュータの扱いに慣れることとインターネット(電子メールやWWW)を利用できるようになること、さらには Microsoft Word による文書の作成技法および表計算ソフト (Microsoft Excel) の基本操作を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール
 (1)教場の使い方、コンピュータの起動・終了方法、受講上の注意など
 (2-6)パソコンの仕組み、Microsoft Windows の基本的な使い方、タイピング練習、インターネットとネチケット、インターネット用語の説明、ブラウザの使い方、電子メールの使い方
 (7-13) Word の基本操作、文書の作成・印刷、表の作成、文書レイアウト、図の作成、図の挿入
 (14-15)表計算 Excel の基本操作

履修上の留意点
 1)この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。
 2)コンピュータ使用経験の少ない初心者を対象とした講義を行う。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。
 3)実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。
 4)評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。
 5)経済学科1年次は必ずこの講義を履修登録すること。来年度以降2年次以降の履修は原則としてできないので注意すること。
 6)2年次以降の学生で当科目を履修したい場合は初回講義に必ず出席し、担当教員の指示を受けること。
 7)後期の基礎情報処理IIの履修登録ミスが目立っている。後期の基礎情報処理IIも忘れずに履修登録すること。

成績評価の方法 各カテゴリー終了時に行う授業時間中の小テスト及び最終講義に実施する総合テストの結果から総合的に評価する。高度な課題を提出した者は別途加点する。

教科書等 講時に指定する。

その他の他 必要に応じて紹介する。
 1年次生のみ対象の科目です。2年次以降は原則として履修できません。

履修コード	095911・095921
科目名	基礎情報処理I
担当者名	谷口 裕子

講義のねらい コンピュータを活用して情報収集やレポート作成、プレゼンテーションを行うことは、大学で学ぶ上で欠かせない要素となってきた。さらにこうした能力は社会においても必須である。本講義では、経済学を学ぶ上で必要な「ツールとしてのパソコンの扱い方・ソフトウェアの使い方」の習得を目指す。コンピュータの扱いに慣れることとインターネット（電子メールやWWW）を利用できるようになること、さらには Microsoft Word による文書の作成技法および表計算ソフト（Microsoft Excel）の基本操作を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール (1) 教場の使い方、コンピュータの起動・終了方法、受講上の注意など
(2-6) パソコンの仕組み、Microsoft Windows の基本的な使い方、タイピング練習、インターネットとネチケット、インターネット用語の説明、ブラウザの使い方、電子メールの使い方
(7-13) Word の基本操作、文書の作成・印刷、表の作成、文書レイアウト、図の作成、図の挿入

履修上の留意点 (14-15) 表計算 Excel の基本操作
1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。
2) コンピュータ使用経験の少ない初心者を対象とした講義を行う。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。
3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。
4) 評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。
5) 経済学科1年次は【必ず】この講義を履修登録すること。2年次以降の履修は【原則として】できないので注意すること。2年次以降の学生で当科目を履修したい場合は初回講義に必ず出席し、担当教員の指示を受けること。
6) 後期の基礎情報処理Ⅱの履修登録ミスが目立っている。後期の基礎情報処理Ⅱも忘れずに履修登録すること。

成績評価の方法 各カテゴリー終了時に行う授業時間中の小テスト及び最終講義に実施する総合テストの結果から総合的に評価する。高度な課題を提出した者は別途加点する。

教科書 開講時に指定する。
参考書等 必要に応じて紹介する。
その他 1年次生のみ対象の科目です。2年次以降は【原則として】履修できません。

履修コード	096001
科目名	基礎情報処理Ⅱ
担当者名	相浦 宣徳

講義のねらい 本講義は「基礎情報処理I」の単位取得者を対象とした講義に位置づけられる。コンピュータの基本的操作を習得していることを前提として、前期に続き表計算ソフト（Microsoft Excel）によるデータ処理法、Microsoft PowerPoint によるプレゼンテーション技法を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール (1-3) Word と Excel の要点の復習、グラフの作成、Word との連携
(4-10) データ集計、関数の利用、表の書式(罫線・列幅の変更など)・印刷
(11-15) プレゼンテーション PowerPoint の基本操作、スライドの作成、スライドショー、文字修飾、図の挿入、アニメーション機能、個人発表

履修上の留意点 1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。
2) 「基礎情報処理I」の単位取得者を前提に講義を進める。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。
3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。
4) 評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。
5) 経済学科1年次は必ずこの講義を履修登録すること。来年度以降2年次以降の履修は原則としてできないので注意すること。
6) 2年次以降の学生で当科目を履修したい場合は初回講義に必ず出席し、担当教員の指示を受けること。
7) 4月の履修登録時、当科目の履修登録ミスが目立っている。必ず後期の基礎情報処理Ⅱも忘れずに履修届に記入して登録すること。

成績評価の方法 各カテゴリー終了時に行う授業時間中の小テスト、プレゼンテーション資料及び個人発表、最終講義に行う総合テストの結果から総合的に評価する。高度な課題を提出した者は別途加点する。

教科書 開講時に指定する。
参考書等 必要に応じて紹介する。
その他 1年次生のみ対象の科目です。2年次以降は原則として履修できません。

履修コード	096011・096021
科目名	基礎情報処理II
担当者名	<small>たにくち ゆうこ</small> 谷口 裕子

講義のねらい	本講義は「基礎情報処理 I」の単位取得者を対象とした講義に位置づけられる。コンピュータの基本操作を習得していることを前提として、前期に続き表計算ソフト (Microsoft Excel) によるデータ処理法、Microsoft PowerPoint によるプレゼンテーション技法を習得することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	(1-3) Word と Excel の要点の復習、グラフの作成、Word との連携 (4-10) データ集計、関数の利用、表の書式 (罫線・列幅の変更など)・印刷 (11-15) プレゼンテーション PowerPoint の基本操作、スライドの作成、スライドショー、文字修飾、図の挿入、アニメーション機能、個人発表
履修上の留意点	1) この講義では、より実践的な技術の習得を目指し、実習を行う。積極的に知識を吸収することを期待している。 2) 「基礎情報処理 I」の単位取得者を前提に講義を進める。経験者には高度な課題を与えるなどの工夫を行う予定であるので講師に申告すること。 3) 実習を中心に進めるので欠席・遅刻をしないようにすること。 4) 評価に関わる各試験の追試験は行わない。合理的な事由を文書によって申告した時のみ考慮する。 5) 経済学科 1 年次は【必ず】この講義を履修登録すること。2 年次以降の履修は【原則として】できないので注意すること。2 年次以降の学生で当科目を履修したい場合は初回講義に必ず出席し、担当教員の指示を受けること。 6) 4 月の履修登録時、当科目の履修登録ミスが目立っている。必ず後期の基礎情報処理 II も忘れずに履修届に記入して登録すること。
成績評価の方法	各カテゴリ終了時に行う授業時間中の小テスト、プレゼンテーション資料及び個人発表、最終講義に行う総合テストの結果から総合的に評価する。高度な課題を提出した者は別途加点する。
教科書 参考書等 その他	開講時に指定する。 必要に応じて紹介する。 1 年次生のみ対象の科目です。2 年次以降は【原則として】履修できません。

履修コード	096101
科目名	応用情報処理I
担当者名	<small>いがわ としあ</small> 井川 俊実

講義のねらい	表計算ソフト (Excel) を使用したデータの分析やグラフ化は経済学を学ぶものにとっても必要不可欠なものになっています。この講義では、Excel の基本操作を習得しているものが経済分析などへの応用に活かせるように更に高度な技法を習得することを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> Excel の基本操作 (セル参照、合計関数など) ピボットテーブル VLOOKUP関数 テンプレートとクエリ ExcelVBA の基礎 相関と単回帰分析 パレート図の作成とABC分析 ゴールシークとソルバー、線形計画法への適用 重回帰分析 (3 変数間の相関)
履修上の留意点	Excel の応用面に重点を置くので、「情報入門」講座、「基礎情報処理」講座を履修するなど、Excel の基本操作は知っていることを前提にしています。
成績評価の方法	講義の中で課す課題及び出席状況により評価します。
教科書 参考書等 その他	配布資料 (講義時に随時配布します)。 『仕事に役立つ Excel ビジネスデータ分析 改訂版』(ソフトバンククリエイティブ) 2,680円 『速効! 図形 Excel2007 データベース編』(毎日コミュニケーションズ) 1,580円 本講座は応募人数によっては履修制限を行なう場合があります。

履修コード	096201
科目名	応用情報処理II
担当者名	井川 俊実 <small>いかわ としむ</small>

講義のねらい	プレゼンテーション技術は、企業の営業活動や社内会議などでのプレゼンテーションで非常に重要なものになっていますが、大学においても研究成果の発表などで今後ますます重要になってきます。本講義では、プレゼンテーションツールの代表とも言える PowerPoint を使用して、効果的な発表資料の作成とその資料に基づく発表を繰り返し行なうことで実際に活用できるレベルのプレゼンテーション技術を習得します。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・図解のポイント ・ PowerPoint の基本操作 (クリップアート・写真の取込み、表・棒グラフ、円グラフ・ Excel 表・組織図) ・アニメーションの設定 ・良い図解悪い図解 ・プレゼンテーション技法 ・プレゼン資料作成とプレゼンの実施 ・企画書の作成
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ PowerPoint の活用面に重点を置くので、「情報入門」講座、「基礎情報処理」講座を履修するなど、PowerPoint の基本操作は知っていることを前提にしています。 ・ PowerPoint で作成した資料の発表に多くの時間を割くので、欠席や遅刻をしないこと。
成績評価の方法	作成した PowerPoint 資料とその発表及び出席状況により評価します。
教科書	配布資料 (講義時に随時配布します)。
参考書等	『はじめての PowerPoint2007 基本編』(秀和システム) 1,200円 『Z式マスター パワーポイント2007』(アスキー) 1,480円
その他	本講座は応募人数によっては履修制限を行なう場合があります。

履修コード	098201
科目名	憲法
担当者名	内田 真利子 <small>うちだ まりこ</small>

講義のねらい	市民と公権力との関係、個人と集団との関係、少数者と多数者との関係において、憲法の存在意義を再確認すること。受講者が、自分自身に関わる問題として憲法に興味を持つためのきっかけにしたい。
講義の内容・授業スケジュール	政治の動向、社会的事件、受講者にとっての身近な関心事などを題材に選び、「憲法」の視点から問題点の整理および検討を行う。具体的なテーマは、現実社会の変化に応じて、また受講者からの要望に応じて、適宜選択していく。網らざる領域は幅広い、というよりほとんど制限がないと言ってもよい。あくまでも一例を以下に挙げる。環境、平和、象徴 (日の丸・君が代・天皇制)、家族と法、子どもの人権、職場における人権、医療と人権、性愛の自由、外国人の人権、宗教と人権、犯罪と法、報道と人権、表現の自由、性差別……。
履修上の留意点	毎回の授業への参加が履修の最低条件。形式的な出席にとどまらず、主体的・積極的な参加意欲・努力を期待する。
成績評価の方法	通常授業時間中に年1回もしくは2回テストを行う。このテストのほか、授業中の発言・提出物などについても成績評価の対象とする。
教科書	授業で指示する。
参考書等	六法 (出版社、サイズは問わない)、少なくとも日本国憲法の全条文。
その他	追試は行わない。やむをえない理由によりテストを欠席した場合、レポート提出をもってテスト受験に替えることを認める。

履修コード	098301
科目名	民法一部
担当者名	竹中 智香 <small>たけなか ちか</small>

講義のねらい 民法典のうち、民法典全体に適用される一般規定である第1編「総則」と、特定の物を直接支配する権利に関する第2編「物権」を取り上げます。とくに民法典の導入部である「総則」は、民法の勉強を放棄したくなるほど抽象性が高い規定が多いことから、具体的な事案を提示しながら説明をし、学生諸君の理解を図ります。指定した教科書に沿って、前期では、第1編「総則」のうち「物権」の理解に必要な事項を概説した後、「物権の変動」について解説します。後期では、「総則」の残りの部分と、「物権」の一種である「担保物権」について説明します。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕
 (1) 導入、(2) 民法における個人、(3) 権利能力、(4) 意思能力と行為能力 ～成年後見制度～、(5) 所有権の概念、(6) 所有権の効力、(7) 契約とその効力、(8) 契約にもとづく不動産の物権変動 [1]、(9) 契約にもとづく不動産の物権変動 [2]、(10) 契約にもとづく動産の物権変動 [1]、(11) 契約にもとづく動産の物権変動 [2]、(12) 予備日

〔後期〕
 (1) 法人 [1]、(2) 法人 [2]、(3) 代理制度、(4) 無権代理、(5) 表見代理、(6) 法律行為、(7) 消滅時効、(8) 取得時効、(9) 抵当権、(10) 先取特権、留置権、質権、(11) 譲渡担保、(12) 予備日

履修上の留意点

第1編の「総則」は民法典の中でも非常に抽象度が高い分野ですから、必ず教科書を購入して、講義の前に教科書を読むように心がけてください。また、講義後に復習することで、理解の定着を図ってください。

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も加味します。
 山野目章夫『民法 総則・物権 [第4版]』(有斐閣)
 六法(コンパクトタイプのもの)
 『法律学小辞典 [第4版]』(有斐閣)

専門教育

履修コード	098401
科目名	民法二部
担当者名	織田 晃子 <small>おだ てるこ</small>

講義のねらい 民法二部の講義は債権総論と債権各論を対象とする。契約を中心にその交渉、成立そして履行にいたるまでの財産法上の問題をとりあげる。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 契約の成立(2～8) 契約不履行の法的処理として債務不履行、危険負担、瑕疵担保責任
 契約解除等(9～11) 債権者代位権、詐害行為取消権(12～13) 債権譲渡(14～15) 第三者による
 債権侵害、多数当事者の債権関係等(16～20) 保証契約(21～22) 相殺、同時履行(23～30) 典型
 契約・消費貸借契約、賃貸借契約、請負契約等

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書**

六法は必ず持参すること
 期末試験の成績による
 『民法第二版②債権法』(勁草書房)

その他

ポケット六法(有斐閣)
 プリント配布

履修コード	098501
科目名	商法一部
担当者名	川口 幸美 <small>かわぐち ゆきみ</small>

講義のねらい 本講義では、株式会社の経済活動を経営管理の側面と資金調達の側面について規制する会社法を体系的・基礎的に理解することを目的とする。具体的には法規制の内容と、重要かつ興味深い事例等を随時紹介し、現実社会で会社法が果たしている役割について説明する。

講義の内容・授業スケジュール 1. 会社の種類 (LLCとLLP) 2. 会社の設立
3. 組織と会計 (機関設計と会計参与) 4. 組織と会計 (リスク管理と内部統制)
5. 会社の計算 (配当・持分変動計算書) 6. 企業の計算 (役員賞与の扱い)
7. 企業買収・再編 (三角合併) 8. 企業買収・再編 (新株予約権の強制償却)
9. 企業買収・再編 (黄金株と譲渡制限) 10. その他

履修上の留意点 会社法を体系的により深く理解するために、他の商法科目 (商法総則・商行為法) および民法科目 (特に民法総則・債権法) を現在履修しているか、既履修であることが望ましい。

成績評価の方法 試験の点数による。出席は原則として取らないので、出席点は考慮しないものと考えてください。つまり、就職活動・部活動および病欠等による欠席者を優遇することはありません。期末試験は12月最後の授業内で行いますので注意してください。

教科書参考書等 開講時に指定する。
神田秀樹「会社法 (第11版)」(弘文堂)
江頭憲治郎・岩原紳作・藤田友敬/編
別冊ジュリスト「会社法判例百選」

その他 (当然のことですが) 授業中の私語・携帯電話の使用を厳しく注意します。場合によっては退室を命じます。

専門教育

履修コード	098601
科目名	商法二部
担当者名	中濱 義章 <small>なかはま よしあき</small>

講義のねらい 手形小切手法の基本的な原則・制度を理解し、諸問題を検討することを通じて有価証券法理の基礎を習得する。

講義の内容・授業スケジュール 講義は以下の順に行い、各項目ごとに1～2回程度の授業時間を割り当てる。講義の内容は、制度の概要を解説し、具体例を通じて問題点の検討をおこなう。
1 手形・小切手の意義および性質
2 手形法・小切手法の意義および役割
3 手形行為の意義・特色
4 手形行為の成立時期
5 手形能力、手形行為と意思表示に関する一般原則
6 代理人・代表者による手形行為
7 無権代理と偽造
8 手形関係と手形の実質関係
9 手形の振出
10 白地手形
11 手形の裏書
12 為替手形の引受、手形保証
13 手形上の権利の取得と善意取得制度
14 手形上の権利と手形抗弁
15 手形上の権利の消滅
16 支払・不渡・遡求
17 小切手特有の法制度
18 振込・振替など新たな決済システムに関する諸問題

履修上の留意点 六法は小型のものでかまいませんので最新版を携帯して下さい。例えば、『ポケット六法』(有斐閣)、『セレクト六法』(岩波書店)、『デイリー六法』(三省堂)など。
民法 (財産法関係科目) および商法科目を履修済み、あるいは履修中であることが望ましい。
期末試験での評価を予定していますが、レポートを課す場合もあります。

成績評価の方法 濱田惟道『手形法小切手法』(文真堂)
教科書参考書等 開講時に指示します。
『別冊ジュリスト 手形小切手判例百選 (第6版)』(有斐閣)
山下友信 = 神田秀樹編『商法判例集 (第3版)』(有斐閣)

履修コード	098701
科目名	経済法
担当者名	<small>わかばやし ありき</small> 若林 亜理紗

講義のねらい 経済法を中心をなす独占禁止法を理解することを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持をになうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解ができるように進める予定である。

講義の内容・授業スケジュール 以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法 期末試験により評価を行う。

教科書 丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

参考書等 別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

その他の他

授業は毎回配布するレジュメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

履修コード	098801
科目名	労働法
担当者名	藤本 茂

講義のねらい 今日、雇用社会は、能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。労働法は、労働問題を平和的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。たとえば、労働基準法改正、労働時間、男女雇用平等、労働契約法制定などです。本講義ではこの雇用関係法領域を中心に、基礎的な知識を身につけてもらうことを念頭においています。

講義の内容・授業スケジュール 下記事項について、基礎的知識を学びつつ、現代的課題に言及します。詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 集団的労働条件の決定・変更－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 賃金、賞与、退職金
- (10) 労働時間、時間外・休日労働
- (11) 休憩、休日、休暇
- (12) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (13) 労働災害など

履修上の留意点 出席を心がけてください。私語は No、携帯電話は Off、内職は No。そして無断で席を立つことも No。いわゆる授業のマナーは守ってください。配布プリントは取り上げる項目を列挙したレジュメや資料です。教科書は必要です。予習や復習をする上でも欠かせないでしょう。憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。

成績評価の方法 成績は、学年末試験がメインで、受験しなければ評価が付きません。レポートや中間試験そして出席も考慮して評価をします。追試験は実施します。

教科書 教科書は、金子征史・藤本茂・高野敏春・大場敏彦共著『基礎から学ぶ労働法』（エイデル研究所2009）。「参考書等」も第1回で示しますが、最低1冊は、購入して自宅学習に使ってください。

参考書等 概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において紹介します。六法は最新のもの（法律改正や制定があるので特に注意）。そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。詳しくは、第1回授業で配布するプリントで。

その他 各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら授業を進めます。

履修コード	058501
科目名	行政法
担当者名	鶴徳 啓登

講義のねらい 現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後60年経過して、国内的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。

講義の内容・授業スケジュール 本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。
1. 行政とは何か 2. 行政の原則 3. 行政法の意義と解釈 4. 行政作用の分類と内容・効力 5. 行政行為の瑕疵と効力 6. 行政手続 7. 行政上の強制の方法と制裁 8. 国家による賠償と補償 9. 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

成績評価の方法 成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。
教科書 原田尚彦著 『行政法要論』（学陽書房） 3,000円

『小六法』 出版社・定価各種
参考書等 塩野宏著『行政法Ⅰ・Ⅱ』（有斐閣）4,000円 その他、教場にて説明。

履修コード	099001
科目名	国際法
担当者名	橋本 靖明

講義のねらい 私達は今、国際社会の中で生きています。国際社会の動きとその行動を規律する法体系である国際法を無視しては、社会のさまざまな構成員間の関係を良好に保つことができないのです。本講義では、皆さんとともに国際社会の現状と展望を概観しつつ、その社会を規律する国際法とは何か、について学んでゆきます。

講義の内容・授業スケジュール 大きく、以下の三つのパートに分けて進めてゆく予定です。
 ①国際法の全体像をを概観する。(2～5)
 ②領域(陸、海、空、宇宙等)に関する国際法を考える。(6～25)
 ③領域を越えるさまざまな今日の問題(人権、環境、テロ等)に関する国際法を考える。(26～30)

履修上の留意点 事前の準備は基本的に不要とする予定ですが、その分、授業への出席が求められます。

成績評価の方法 受講生の出席状況と筆記試験の回答内容から総合的に成績評価を行います。

教科書 広部和也、杉原高嶺(代表)編 『解説条約集2009』 三省堂 3045円(税込み:2008版参考) 978-4-385-15913-3(参考:2008版)

参考書等 特に指定する予定はありません。

その他 講義は、必要に応じて資料等を参照しながら行います。

専門教育

履修コード	100451
科目名	税法I
担当者名	奥村 正郎

講義のねらい 租税は、我々納税者が、税法の定めるところにしたがって、国や地方公共団体(都道府県及び市町村)に納付すべきものであり、それは公共サービスの資金となり、我々の生活に影響する。しかしながら税法は、多数の法律とそれを施行するための政令、省令で成り立ち、さらに多くの通達があり、しかも法律の解釈や手続きは難解で、改正も毎年ある。このような事情からかその重要性は認識していても、将来その専門家になりたいという人以外、積極的に税法の知識を身につけようとする人は少ないように思われる。このようなことから本講義により、我々の身近な法律である税法に、関心をもち、具体的事例、計算を通じてその基本的知識を習得してもらいたい。

また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にしたい。本年度、税法I(前期)では個人を納税義務者とする相続税を中心に講義、計算演習を行う。相続税は、平成15年度、シャープ勧告以来の大きな改正があり、今後この新しい制度がどのように推移していくのか関心が寄せられている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 財政の役割と租税	8. 贈与税の課税原因と納税義務者、課税財産
2. 税法の基本原則	9. 生前贈与と相続時精算課税制度
3. 租税の種類と分類	10. 相続税・贈与税の財産評価(1)
4. 相続税の意義	11. 相続税・贈与税の財産評価(2)
5. 相続税の納税義務者	12. その他の税(法人税概説1)
6. 相続税額の計算(1)	13. その他の税(法人税概説2)
7. 相続税額の計算(2)	

履修上の留意点 簿記の知識は必須ではないが、なければ簿記(3級レベル)の講義も履修することを勧める。

成績評価の方法 出席状況、期末試験により評価する。

教科書 速水昇編著 『公共部門の経済活動と租税』(学文社)

参考書等 授業を進める中で適宜紹介する。

その他 計算演習等プリントを随時配布する。電卓を使用することがあるので持参すること。

履修コード	100461
科目名	税法Ⅱ
担当者名	奥村 正郎

講義のねらい 租税は、我々納税者が、税法の定めるところにしたがって、国や地方公共団体（都道府県及び市町村）に納付すべきものであり、それは公共サービスの資金となり、我々の生活に影響する。しかしながら税法は、多数の法律とそれを施行するための政令、省令で成り立ち、さらに多くの通達があり、しかも法律の解釈や手続きは難解で、改正も毎年ある。このような事情からかその重要性は認識していても、将来その専門家になりたいという人以外、積極的に税法の知識を身につけようとする人は少ないように思われる。このようなことから本講義により、我々の身近な法律である税法に、関心をもち、具体的事例、計算を通じてその基本的知識を習得してもらいたい。

また将来、税理士試験を目指すものにとっても有用な知識が提供できるような内容にしたい。本年度、税法Ⅱでは定率減税の廃止、税率など抜本的見直しが予定されている個人を納税義務者とする所得税を中心に講義、計算演習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

1. 所得の概念
2. 納税義務者
3. 課税所得の範囲等
4. 各種所得の種類
5. 各種所得金額の計算（1）
6. 各種所得金額の計算（2）
7. 各種所得金額の計算（3）
8. 各種所得金額の計算（4）
9. 所得控除及び税額の計算（1）
10. 所得控除及び税額の計算（2）
11. 申告・納付、源泉徴収、その他
12. その他の税法（消費税法概説1）
13. その他の税法（消費税法概説2）

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

簿記の知識がある方がよいが、なければ簿記（3級レベル）の講義も履修することを勧める。出席状況、期末試験により評価する。
速水昇編著 『公共部門の経済活動と租税』（学文社）
授業を進める中で適時紹介する。
計算演習等プリントを随時配布する。電卓を使用する場合があるので毎回持参のこと。

専門教育

履修コード	099811・099812・099813・099814			
科目名	経済外国書講読Ⅰa〔英語〕	外国書講読Ⅰa〔英語〕	経済外国書講読Ⅱa〔英語〕	外国書講読Ⅱa〔英語〕
担当者名	鈴木 伸枝			

講義のねらい ノーベル経済学賞の受賞講演録を輪読します。経済学用語を習い、経済学の専門書や学術論文を英語で読む力を養うとともに、これまで経済学者たちがどのような問題に着目し研究してきたかを垣間見て刺激を受ける機会にもなるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

第1回：ガイダンス&教材選び。候補の講演録を5～10本紹介し、その中のどれから読んでいくかを決めます（多数決）。
第2回以降：1人あたり半ページ程度を音読して訳してもらいます。

成績評価の方法
教科書

出席・予習・発表（訳）の平常点により評価します。
ノーベル経済学賞の受賞講演録から何点か選びます。

履修コード	099821・099822・099823・099824			
科目名	経済外国書講読Ⅰb〔英語〕	外国書講読Ⅰb〔英語〕	経済外国書講読Ⅱb〔英語〕	外国書講読Ⅱb〔英語〕
担当者名	鈴木 伸枝			

講義のねらい ノーベル経済学賞の受賞講演録を輪読します。経済学用語を習い、経済学の専門書や学術論文を英語で読む力を養うとともに、これまで経済学者たちがどのような問題に着目し研究してきたかを垣間見て刺激を受ける機会にもなるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

第1回：ガイダンス&教材選び。候補の講演録を5～10本紹介し、その中のどれから読んでいくかを決めます（多数決）。
第2回以降：1人あたり半ページ程度を音読して訳してもらいます。

成績評価の方法
教科書

出席・予習・発表（訳）の平常点により評価します。
ノーベル経済学賞の受賞講演録から何点か選びます。

履修コード	099831・099832・099833・099834
科目名	経済外国書講読I a〔英語〕 外国書講読I a〔英語〕 経済外国書講読II a〔英語〕 外国書講読II a〔英語〕
担当者名	松本 典子

講義のねらい	非営利組織 (non-profit organization) や社会的企業 (social enterprise) に関する英語文献を素材に、外国語の専門書を読むことに慣れ親しむこと、楽しみながら読解力を維持・向上させること、非営利組織および社会的企業の経営学に関わるさまざまな知識・技法・思想を学ぶことが本講義のねらいです。
講義の内容・授業スケジュール	非営利組織および社会的企業に関する下記の英語文献を講読します。 Nyssens, Marthe, ed. [2006] <i>Social Enterprise</i> , Routledge. Borzaga, Carlo and Defourny, Jacques, eds. [2001] <i>The Emergence of Social Enterprise</i> , Routledge.
履修上の留意点	・必ず予習をして参加してください。 ・非営利組織論 a と b をすでに履修していることを前提として講義をすすめます。
成績評価の方法	・成績は、定期試験50%、出席・報告状況等50%で、総合的に評価します。
教科書	随時、配布します。
参考書等	適宜、指示します。
その他	・輪読形式です。

専門教育

履修コード	099841・099842・099843・099844
科目名	経済外国書講読I b〔英語〕 外国書講読I b〔英語〕 経済外国書講読II b〔英語〕 外国書講読II b〔英語〕
担当者名	松本 典子

講義のねらい	非営利組織 (non-profit organization) や社会的企業 (social enterprise) に関する英語文献を素材に、外国語の専門書を読むことに慣れ親しむこと、楽しみながら読解力を維持・向上させること、非営利組織および社会的企業の経営学に関わるさまざまな知識・技法・思想を学ぶことが本講義のねらいです。
講義の内容・授業スケジュール	経済外国書講読 Ia・IIa に引続き、非営利組織および社会的企業に関する下記の英語文献を講読します。 Nyssens, Marthe, ed. [2006] <i>Social Enterprise</i> , Routledge. Borzaga, Carlo and Defourny, Jacques, eds. [2001] <i>The Emergence of Social Enterprise</i> , Routledge.
履修上の留意点	・必ず予習をして参加してください。 ・非営利組織論 a と b、経済外国書講読 Ia (松本) あるいは IIa (松本) をすでに履修していることを前提として講義をすすめます。
成績評価の方法	・成績は、定期試験50%、出席・報告状況等50%で、総合的に評価します。
教科書	随時、配布します。
参考書等	適宜、指示します。
その他	・輪読形式です。

履修コード	099911・099912・099913・099914
科目名	経済外国書講読I a〔英語〕 外国書講読I a〔英語〕 経済外国書講読II a〔英語〕 外国書講読II a〔英語〕
担当者名	吉野 紀

講義の内容・授業スケジュール	理想とするところは、速読・速解であるが、何にも増して、日頃から英文に触れ、慣れることが大切である。 あいまいな表現の裏から意を汲み取る日本語の特徴と、論理の流れを重視する英語の表現構造にも注意を喚起してゆきたい。
成績評価の方法	受講生の短期的目的(大学院受験など)を聴取した上で、教材を選択するが、極めて狭い経済学の文献のみに限定したくない。候補としては、J.ゴルデルの「ソフィーの世界」も念頭にある。 予め教師の方から教材を配布しておいて、学生諸君の邦訳を披露してもらう形式で進めてゆき、その過程で評価を付け、定期試験を実施することは無い。

履修コード	099921・099922・099923・099924
科目名	経済外国書講読I b〔英語〕 外国書講読I b〔英語〕 経済外国書講読II b〔英語〕 外国書講読II b〔英語〕
担当者名	<small>よしの おさむ</small> 吉野 紀

講義の内容・授業スケジュール 理想とするところは、速読・速解であるが、何にも増して、日頃から英文に触れ、慣れることが大切である。
あいまいな表現の裏から意を汲み取る日本語の特徴と、論理の流れを重視する英語の表現構造にも注意を喚起してゆきたい。
受講生の短期的目的（大学院受験など）を聴取した上で、教材を選択するが、極めて狭い意味の経済学の文献のみに限定したくない。候補としては、J.ゴルデルの「ソフィーの世界」も念頭にある。

成績評価の方法 予め教師の方から教材を配布しておいて、学生諸君の邦訳を披露してもらう形式で進めてゆき、その過程で評価を付け、定期試験を実施することは無い。

履修コード	099931・099932・099933・099934
科目名	経済外国書講読I a〔ドイツ語〕 外国書講読I a〔ドイツ語〕 経済外国書講読II a〔ドイツ語〕 外国書講読II a〔ドイツ語〕
担当者名	<small>しろた じゆん</small> 代田 純

講義のねらい ドイツ語で経済を学ぶ。ドイツ語に親しむことで、ドイツやEU経済に関しても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール テキストと参考書を輪読していきます。履修者の語学力に応じて、スケジュールを調整します。

履修上の留意点 ドイツ語を履修していなくても、ドイツやEUの経済に関心があれば、履修できる。英語の資料も使用します。

成績評価の方法 出席が基本です。順番に訳していきますので、当たっている時は、和訳してください。

教科書 Die Geldpolitik der Bundesbank
これはドイツ連邦銀行（中央銀行）が金融政策の仕組みを解説したものです。

参考書等 The monetary policy of the bundesbank
ドイツ語テキストの英語版です。

その他 後期と通年で履修することが望ましい。

履修コード	099941・099942・099943・099944
科目名	経済外国書講読I b〔ドイツ語〕 外国書講読I b〔ドイツ語〕 経済外国書講読II b〔ドイツ語〕 外国書講読II b〔ドイツ語〕
担当者名	<small>しろた じゆん</small> 代田 純

講義のねらい ドイツ語で経済を学ぶ。ドイツ語に親しむことで、ドイツやEU経済に関しても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール テキストと参考書を輪読していきます。履修者の語学力に応じて、スケジュールを調整します。

履修上の留意点 ドイツ語を履修していなくても、ドイツやEUの経済に関心があれば、履修できる。英語の資料も使用します。

成績評価の方法 出席が基本です。順番で訳していきますので、当たっている時には、和訳してください。

教科書 Die Geld politik der Bundesbank
これはドイツ連邦銀行（中央銀行）が金融政策の仕組みを解説したものです。

参考書等 The monetary policy of the bundesbank
ドイツ語テキストの英語版です。

その他 前期と連続して履修することが望ましい。

履修コード	100011・100012・100013・100014
科目名	経済外国書講読I a〔フランス語〕 外国書講読I a〔フランス語〕 経済外国書講読II a〔フランス語〕 外国書講読II a〔フランス語〕
担当者名	清水 卓

講義のねらい フランス語や英語でEUの公文書を読み取る力をつけるのが目標です。平成20年度前期はEUの人道援助、後期はEUの運輸政策についての公文書を読みました。

講義の内容・授業スケジュール 参加者の関心に応じて専門資料を読解するため、EUのホームページから始めて主要政策分野の資料を一通り読み、結びに専門分野の論説記事を翻訳します。

履修上の留意点 時間を費やす以外に外国語、外国文化を理解する方途はありません。粘り強くがんばってください。

成績評価の方法 最後の翻訳文の出来具合で判定します。

教科書 なし

参考書等 EU公式文書

履修コード	100021・100022・100023・100024
科目名	経済外国書講読I b〔フランス語〕 外国書講読I b〔フランス語〕 経済外国書講読II b〔フランス語〕 外国書講読II b〔フランス語〕
担当者名	清水 卓

講義のねらい EUの経済分野に関するフランス語あるいは英語の公式文書やEUホームページ、その他を読み取る力をつけることが目標です。平成20年度前期はEUの人道援助について、後期はEUの運輸政策についてのテキストを読みました。

講義の内容・授業スケジュール EUのホームページなどから、参加者の実力に応じたテキストを選択して読み解きます。

履修上の留意点 外国語や外国文化を理解するには時間をかけることが必要で、予習に3、4時間をあてましょう。

成績評価の方法 最後に提出してもらった翻訳文の出来具合で判定します。

教科書 なし

参考書等 EUホームページ

履修コード	100131・100132・100133・100134
科目名	経済外国書講読I a〔中国語〕 外国書講読I a〔中国語〕 経済外国書講読II a〔中国語〕 外国書講読II a〔中国語〕
担当者名	小杉 修二

講義のねらい 中国経済の担い手は主として中国人であり、主たる経済活動は中国大陸で行われている。そこで主として使われているのは中国語である。「また聞き」でない、生の声は中国語で行われている。この「また聞き」でない生の声を書物を通じてくみ取る訓練が「外国書講読」である。

講義の内容・授業スケジュール ここでは現在の中国の在り方を大枠で作った鄧小平の文書＝『鄧小平文選』を読む。
第1－5週：第1章 第6－10週：第2章 第11－15週：第3章 第16－20週：第4章 第21－25週：第5章 第26－30週：第6章

履修上の留意点 語学の初心者が一から始める科目ではない。中国語を学んでいることが前提になる。中国語を母語とするものは「厳密な日本語」への翻訳を志す者に限る。

成績評価の方法 出席とテストで行う。

履修コード	100161・100162・100163・100164
科目名	経済外国書講読I b〔中国語〕 外国書講読I b〔中国語〕 経済外国書講読II b〔中国語〕 外国書講読II b〔中国語〕
担当者名	小杉 修二

講義のねらい 中国経済の担い手は主として中国人であり、主たる経済活動は中国大陸で行われている。そこで主として使われているのは中国語である。「また聞き」でない、生の声は中国語で行われている。この「また聞き」でない生の声を書物を通じてくみ取る訓練が「外国書講読」である。

講義の内容・授業スケジュール ここでは現在の中国の在り方を大枠で作った鄧小平の文書＝『鄧小平文選』を読む。
第1－5週：第1章 第6－10週：第2章 第11－15週：第3章 第16－20週：第4章 第21－25週：第5章 第26－30週：第6章

履修上の留意点 語学の初心者が一から始める科目ではない。中国語を学んでいることが前提になる。中国語を母語とするものは「厳密な日本語」への翻訳を志す者に限る。

成績評価の方法 出席とテストで行う。

履修コード	100141・100142・100143・100144
科目名	経済外国書講読I a〔ロシア語〕 外国書講読I a〔ロシア語〕 経済外国書講読II a〔ロシア語〕 外国書講読II a〔ロシア語〕
担当者名	山縣 弘志

講義の内容・授業スケジュール 取り上げる主な内容は以下のとおり。
 (1) 農工複合体
 (2) 気候帯
 (3) コルホーズ
 (4) ソフホーズ

成績評価の方法 授業における発表によって評価する。
 教科書 Сельское Хозяйство СССР, 1982.

履修コード	100171・100172・100173・100174
科目名	経済外国書講読I b〔ロシア語〕 外国書講読I b〔ロシア語〕 経済外国書講読II b〔ロシア語〕 外国書講読II b〔ロシア語〕
担当者名	山縣 弘志

講義の内容・授業スケジュール 主な内容は以下のとおり。
 (1) 穀物生産
 (2) 飼料作物
 (3) 加工用作物

成績評価の方法 授業における発表によって評価する。
 教科書 Сельское Хозяйство СССР, 1982.

履修コード	100151・100152・100153・100154
科目名	経済外国書講読I a〔朝鮮語〕 外国書講読I a〔朝鮮語〕 経済外国書講読II a〔朝鮮語〕 外国書講読II a〔朝鮮語〕
担当者名	鄭 章淵

講義の内容・授業スケジュール 韓国の経済発展に関する朝鮮語(韓国語)文献を講読して、韓国経済について理解を深めてもらうことを目的とする。受講生には予め朝鮮語に対する基礎的な理解力が求められるが、講義では、受講生の習熟度に合わせてできるだけ平易な解説に努めるつもりである。朝鮮語に自信のない諸君も奮って参加してもらいたい。

成績評価の方法 定期試験(前期末)、出席率、レポート回数などを加味して総合的に評価する。
 教科書 初回講義時にプリントを配布する。
 また、辞書や文法書などについても当日紹介する予定である。

履修コード	100181・100182・100183・100184
科目名	経済外国書講読I b〔朝鮮語〕 外国書講読I b〔朝鮮語〕 経済外国書講読II b〔朝鮮語〕 外国書講読II b〔朝鮮語〕
担当者名	鄭 章淵

講義の内容・授業スケジュール 韓国の経済発展に関する朝鮮語(韓国語)文献を講読して、韓国経済について理解を深めてもらうことを目的とする。受講生には予め朝鮮語に対する基礎的な理解力が求められるが、講義では、受講生の習熟度に合わせてできるだけ平易な解説に努めるつもりである。朝鮮語に自信のない諸君も奮って参加してもらいたい。

成績評価の方法 定期試験(後期末)、出席率、レポート回数などを加味して総合的に評価する。
 教科書 初回講義時にプリントを配布する。
 また、辞書や文法書などについても当日紹介する予定である。

履修コード	100601
科目名	現代経済事情I〔ロシアの現在〕
担当者名	クロチコフ, Y.

講義のねらい ロシアは日本に一番近い国です。現代のロシア経済事情を勉強します。

講義の内容・授業スケジュール 現代ロシア経済のファンダメンタルズとロシア政治システム。ロシア経済の特徴と経済動向。計画経済下のロシア（ソ連）から市場経済化したロシア。民間化の到達点と問題点。ロシアの金融政策のメカニズム。ロシアの金融制度。ロシアの財政状況。ロシア経済の市民生活。インフレ問題。失業と労働問題。地下経済の活力。ロシアの工業、農業、サービス業と商業。ロシア教育と経済。マイノリティーと民族問題。ロシアの国際貿易と国際経済関係。地方の経済。シベリア・極東の開発と日ロ経済関係。新時代の日ロ関係をめざして。

成績評価の方法 レポートを随時書いてもらい、出席を重視する。

教科書 教科書はありませんので授業中に

その他 ノートを取るのとは当然のことに。参考書は適宜指示する。

履修コード	100701
科目名	現代経済事情II〔国際協力の考え方と実際〕
担当者名	長瀬 理英

講義のねらい 国際社会の21世紀の目標の一つは貧困根絶にあり、国際協力は大きな役割が期待されています。しかし、一口に「貧困」と言っても様々などらえ方があり、その処方せんも一様ではありません。他方、実際の国際協力には貧困以外の目的もあり、実践面にはいくつかの課題に直面しています。これらについて「援助する側」だけでなく、「援助される側」からも考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール (1) オリエンテーション、(2～4) 現場から見る貧困と南北問題、(5～7) 貧困の定義とアプローチ、(8～10) 政府による援助(ODA)の考え方と実際、(11～13) ODAの課題と改善に向けて、(14～15) NGO・市民による援助の考え方と実際

成績評価の方法 レポートに基づき評価します。中間レポート試験2回、定期レポート試験1回。

教科書 各授業でプリントを配布します。

参考書等 フーベルト・ザウパー『ダーウィンの悪夢』(ドキュメンタリー映画、2004年)
外務省『ODA白書』各年版
ロバート・チェンバース『第三世界の農村開発』明石書店1995年

履修コード	100801
科目名	現代経済事情III〔今日の日本の医療現場〕
担当者名	佐藤 公美子

講義のねらい 病院に一度も行かず、生涯を終える人は少ないでしょう。さらに、高齢化が進む日本にとって、医療に関わるマンパワーが今後ますます必要になるでしょう。日本の医療は今、どうなっているのでしょうか…。

講義の内容・授業スケジュール わが国の医療は近年、高度化、専門化、複雑化及び医療事故の多発を背景に、医療サービスの質を確保する方策が検討されています。今日の現状を把握したうえで、多面的な視点から日本の医療について考察していきます。

履修上の留意点 ①日本の医療・看護の歴史的背景、②日本の医療・看護の現状分析、③医療・看護の日米比較、これら3つの主テーマを軸に、現場の実際の声を交えながら、講義を展開します。話題提供、問題提起をしますので、その課題に対して質問や意見、感想を持ちながら講義に臨んでください。

成績評価の方法 ①出席＋講義に関する課題②中間レポート③科目まとめレポートにて評価します。
*定期試験は行いません。

教科書 指定はしません。

参考書等 皆さんの希望により随時紹介します。

履修コード	100901
科目名	現代経済事情IV〔企業倒産の事例研究〕
担当者名	阿南 俊昭

講義のねらい 激変する世の中の動きを企業の倒産（失敗）から見つめ、そこから何かを学び、今後に生かしていくスキルを身につけてもらうことを目的とします。講師は（株）帝国データバンクの現職です。

講義の内容・授業スケジュール (1) イントロダクション～駒澤大学の失敗から学ぶ～、(2) ー (15) 最近の倒産動向、「企業」とは何か？、金融機関の役割、反社会勢力と経済、企業とコンプライアンス、取り込み詐欺、消費者保護行政による官製不況、業界別事例研究
※講義の順序や内容などは変更の可能性があります。

成績評価の方法 期末テスト、出席、授業への参加度合い

教科書 なし。

参考書等 講義に必要な資料は授業中に配布しますが、下記出版物を駒澤大学図書館に入手していただきますので業界把握に役立ててください。

TDB REPORT 業界動向（年6回、偶数月発行）（株）帝国データバンク刊

履修コード	100511
科目名	会計資格特別演習
担当者名	鈴木 勝浩

講義のねらい 本講義は、特に税理士試験の法人税法（公認会計士試験の租税法の一部も含む）について、基礎的な理論及び計算方法を理解した上で、できる限り受験可能なレベルの知識の習得を目指すものである。法人税は、企業会計において算出された決算利益を基礎に、税務上の調整を行って求められた課税所得に対して課せられる。したがって法人税法は企業会計と有機的に結びついており、その理解には企業会計の理論や会計処理を習熟していることが必要とされる。本講義では、企業会計の理論に関連付けながら、法人税法について理解を深めていきたい。法人税法は計算問題のウエートが高いため、計算演習を多く取り入れながらより確実な知識を求めていきたい。授業スケジュールについては、受講生の理解を考慮しながら柔軟に対処していく予定である。また本講義履修後は、税務会計（法人税法）を受験できるレベルに到達するのでぜひ挑戦してほしい。

講義の内容・授業スケジュール (1) 法人税のあらまし (2) 総則 (3) 課税所得 (4) 損益の期間帰属 (5) 棚卸資産 (6) 減価償却① (7) 減価償却② (8) 減価償却③ (9) 繰延資産 (10) 給与等① (11) 給与等② (12) 交際費等① (13) 交際費等② (14) 寄附金① (15) 寄附金② (16) 租税公課 (17) 貸倒損失と貸倒引当金① (18) 貸倒損失と貸倒引当金② (19) 圧縮記帳 (20) 受取配当等の益金不算入① (21) 受取配当等の益金不算入② (22) 有価証券 (23) その他の損益 (24) 同族会社と留保金課税① (25) 同族会社と留保金課税② (26) 所得税の控除 (27) 申告と納税 (28) 連結納税 (29) 総合演習① (30) 総合演習②

履修上の留意点 本講義を履修するに当たっては、特に株式会社に関する会計理論を理解していることが必要であり、日商簿記2級の商業簿記（工業簿記の知識は不要）程度の知識を有していることが望ましい。積み上げ方式により講義を進めていくので、できるだけ欠席しないこと。

成績評価の方法 出席率と講義中の演習で評価する。

教科書 社団法人全国経理教育協会編『演習法人税法』（清文社）
渡辺淑夫著『法人税法の要点整理〔平成21年受験用〕』（中央経済社）
『法人税法 個別問題集〔平成21年度版〕』（TAC出版）
『法人税法 理論マスター〔平成21年度版〕』（TAC出版）

その他 法人税法はボリュームの多い科目であり、難しいといわれています。しかし法理念と体系さえ把握できれば必ず理解できます。また実務上必ず必要となりますから、資格取得に対して高い目的意識をもって講義に参加してほしいと思います。疑問点については遠慮せずに積極的に質問をして早期に解決してください。

履修コード	100551
科目名	教員試験特別演習
担当者名	谷敷 正光 <small>やしき ただみつ</small>

講義のねらい

この講義は、教員採用試験を目指している人にて、教師としての資質・力量の形成と教員試験に必要な基礎学力を育成することを主眼としています。

近年、教員採用試験はより優れた、魅力ある教師を求めて選考試験も多様化・高度化し、筆記試験のみならず、面接、論作文、実技試験その他全般にわたって、さまざまな工夫がなされている。

そこで、本講は「なぜ教師を目指すのか」「どんな教師になりたいのか」「どんな教育をしたいのか」といった教師をめざすのに不可欠な教育理念の形成をはじめとして、教職教養、一般教養、専門教養の学習方法、面接・論作文演習などの試験対策、模擬授業の実践、先輩教師との交流、小・中学校学習支援ボランティア、ティーチングアシスタントの実践など、さまざまな活動を通して、教師としての資質・力量の形成につとめたい。

模擬授業実践、学校学習支援ボランティア、ティーチングアシスタントなど実践経験を要するものはサブゼミでも行います。教職を目指す人ならば学部、学科を問いませんので、ともに勉強し、教員志望の夢を叶えたいと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 教員採用試験の実施状況
2. 教員試験の心構えと学習計画
3. 教師として必要な資質と能力について
4. 西洋教育史の要点整理と問題演習
5. 日本教育史の要点整理と問題演習
6. 教育法規の要点整理と問題演習
7. 教育心理の要点整理と問題演習
8. 教育原理の要点整理と問題演習
9. 同和・人権教育の要点整理と問題演習
10. 道徳教育の要点整理と問題演習
11. 学習指導要領の要点整理と問題演習
12. 一般教養の取り組み方について
13. 専門教養の取り組み方について
14. 集団討論の実際（今日的教育課題を中心に実践演習・討論）
15. 個人面接の実際（演習）
16. 集団面接の実際（演習）
17. 教育論作文演習
18. 模擬授業実践
19. 総合問題演習
20. 先輩教師(小学校、中学校、高等学校、教育委員会の先生)との交流や対話
21. ティーチング・アシスタントの実践

履修上の留意点

- 1 講義、問題演習、各種討論などさまざまな活動を行うので、出席を重視する。
- 2 教育現場への認識・理解を深め、教師としての資質・力量の形成を目指して、参加者全員が小学校、中学校でティーチング・アシスタントを実践し、教師としての実際的能力の修得を行います。
- 3 小学校、中学校、養護学校でのボランティアも実施します。ボランティア活動は教員の資質の養成に役立ちます。

成績評価の方法

出席を基本に、授業中実施する小テスト、各種討論、小論文作成などで総合的に評価します。追試験は実施しない。

教科書

必要に応じて講義教材としてプリントを配布するので、教科書は使用しない。

履修コード	099211
科目名	流通経済論
担当者名	大吹 勝男

講義のねらい 大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が悩みに悩み、迷いに迷って、大人になっていくところが、大学という場です。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。

講義の内容・授業スケジュール (1～3) 商品、貨幣および資本 (4～7) 商品の生産過程と価値増殖の仕組み (8～16) 資本の流通過程、流通時間、販売および購買費用、商品在庫と保管費用、市場と商品の輸送、倉庫業および輸送業 (17～20) 商業資本の本質と機能、商業資本自立化の利益と根拠 (21～28) 商品買取資本と商業利潤、純粋流通費用および商業的可変資本と商業利潤、純粋流通費用および商業的可変資本の回収・補填 (29～30) 商業的賃労働者・ホワイトカラー労働者と商業利潤

成績評価の方法 成績は期末試験により評価します。
教科書 大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』梓出版社1500円
 大吹勝男著『商業資本の基礎理論』梓出版社1500円

履修コード	091701
科目名	商業政策
担当者名	番場 博之

講義のねらい 経済活動としての流通活動は、単なる競争ではなくルールにもとづく競争である。そして、このような流通や商業に関わる方針やルール（公共政策）のことを流通政策・商業政策という。本講義では、流通および商業に関わるルールが必要とされた流通問題・商業問題に言及しながら、流通・商業政策の必要性や体系およびその運用について講義する。

講義の内容・授業スケジュール (1) 流通・商業問題と流通・商業政策の考え方
 (2～5) 流通・商業の基礎知識
 (6～9) 流通・商業政策の枠組み
 (10～15) 競争政策
 (16～21) 振興政策と調整政策
 (22～27) まちづくり政策
 (28～30) 海外における商業に関わる政策

履修上の留意点 詳細かつ正確なシラバスは開講時に配布する。
成績評価の方法 定期試験によって評価する。ただし、若干の平常点を加味することもある。
教科書 加藤義忠・齋藤雅通・佐々木保幸編 『現代流通入門』有斐閣 978-4-641-18351-3
参考書等 渡辺達朗『流通政策入門 第2版』中央経済社、2007年。
 岩下弘『イギリスと日本の流通政策』大月書店、2007年。
 番場博之『零細小売業の存立構造研究』白桃書房、2003年。

その他 現在注目されている流通に関わる新しいトピックをテーマとした「トピック講義」を何回かおこなう予定である。「トピック講義」では、ゲストを講師にお願いすることも検討している。

履修コード	091801
科目名	マーケティング
担当者名	<small>そが のぶなか</small> 曾我 信孝

講義のねらい	マーケティング技術の基本的な方法を理解し、マーケティングが抱える倫理の問題を理解してもらうことにねらいを置く。
講義の内容・ 授業スケジュール	1～2回 マーケティングの概要と問題点を指摘する。
	3～9回 製品政策について学習させる。 その内容は、製品の差別化、細分化等の政策やライフサイクルとその短縮に関する政策の問題点など。なお、この間に2度ほどの小テストをする。
	10～15回 価格政策について学習させる。 その内容は、差別価格や価格維持の問題などとりあげる。この間に小テストをする。
	16～22回 チャンネル政策について学習させる。 流通機構とメーカーの販売チャンネルとの関係、大規模メーカーによる流通支配などを取り上げる。この間に小テストをする。
	23～28回 促進政策について学習させる。 広告、販売員管理、サービスなどを批判検討する。この間に小テストをする。
	29～30回 マーケティング・ミックスについて学習する。
履修上の留意点	マーケティングを学ぼうとする知識欲旺盛な方の受講を期待しています。他人に迷惑をかけるなど、著しく受講態度の悪い方は学期途中でも受講を断ることがあります。
成績評価の方法	夏休みの課題レポート(20%) 年度末の課題レポート(20%)と平常点(講義中の小テスト評価:60%)によって評価する。
教科書	基本的に教科書は使用しない。
参考書等	参考書は適宜紹介する。
その他	授業方法-講義形式

専門教育

履修コード	096301
科目名	商品学
担当者名	<small>おおせら しん</small> 大瀬良 伸

講義のねらい	我々の生活は商品を抜きに考えることはできない。商品は使用に適しているだけでなく、購買可能な価格が設定され、入手可能な場所で販売され、適切に情報提供がなされている必要がある。本講義では、まず、商品を構成している諸要素について理解する。その上で、企業戦略の視点、消費者の視点から商品について考察する。
講義の内容・ 授業スケジュール	商品の分類と構成要素(第2回)商品の構成要素と競争力(第3回～第10回)、商品とマーケティング戦略(第11回～第14回)、前半のまとめ(第15回)、新商品開発(第16回～第21回)、商品と消費者行動(第22回～第29回)、後半のまとめ(第30回)
履修上の留意点	遅刻、欠席をしないこと。
成績評価の方法	私語や携帯電話の使用など、講義の妨げになるような行為はしないこと。 前期(40%)、後期(40%)の2回のテスト、および夏休業期間中のレポート(20%)により評価する。
教科書	とくに指定しない。毎回の講義で資料を配付する。
参考書等	青木幸弘、恩蔵直人編『製品・ブランド戦略』有斐閣、2004年、2,100円。 石崎悦史『商品学と商品戦略』白桃書房、1993年、3,570円。 和田充夫、恩蔵直人、三浦俊彦『マーケティング戦略 第3版』有斐閣、2006年、2,100円。

履修コード	096402・096401
科目名	交通政策・交通論
担当者名	金 兌奎

講義のねらい 我々の日常生活において欠かせない交通サービス及び交通産業の概念・特徴・現状あるいは分析アプローチなどについて具体的かつ体系的に理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①交通論の概略：交通論を学ぶ目的、交通論の対象
- ②交通サービスの需要と供給の特性（2回）
- ③交通サービスへの規制（2回）
- ④運賃理論（2回）
- ⑤運賃政策（3回）
- ⑥社会資本整備の効果（2回）
- ⑦前期のまとめ
- ⑧公共投資の社会経済的評価（3回）
- ⑨道路整備事業（2回）
- ⑩道路政策及び道路公団の民営化
- ⑪鉄道政策及び鉄道輸送事業の特徴（2回）
- ⑫国鉄の分割民営化、JR・民鉄の現状
- ⑬空港整備制度（2回）
- ⑭航空輸送事業における規制緩和及びローコストキャリアの新規参入
- ⑮後期のまとめ

履修上の留意点

交通の様々な側面を正確に理解するためには、ミクロ経済の知識を必要とする。受講者は基礎的なミクロ経済学を理解していることが望まれる。

成績評価の方法
参 考 書 等

平常点（出席、小テストなど）と試験の成績による総合評価
藤井彌太郎・中条潮編『現代交通政策』東京大学出版会、1992年
山内弘隆・竹内健蔵『交通経済学』有斐閣アルマ、2002年
杉山雅洋他編著『明日の都市交通政策』成文堂、2003年

そ の 他

授業は、パワーポイントを使って進めるが、補助のプリントを配布する予定である。

履修コード	096601
科目名	消費経済論
担当者名	姉齒 暁

講義のねらい 「消費」とは全経済活動が行き着く先であり、経済活動の抱える問題が噴き出す場でもある。従って、私たちが日常生活の中で抱く疑問を突き詰めていくと、現代社会が抱える諸問題に突き当たることになる。「食の安全」をめぐる一連の動きから、日本の食料事情や日米間の経済関係が見えてくる。サラ金のCMから消費者信用の性格が見えてくる。

講義の内容・
授業スケジュール

この講義では、日常生活のさまざまな場において生じるところの問題の背景にあるものを見出す作業を行っていきたいと思う。具体的には、消費生活における諸問題を経済の仕組みから検証していくことになるが、その際、できる限り具体的資料を提示し国際比較を多用しつつ経済理論の復習も兼ねてわかりやすい講義を行うつもりである。

- I. 今日の「生産」「流通」と消費経済
 1. 生産の経済学と消費の経済学
 2. 経済の変化と消費生活
 3. 流通システムの変化と消費生活
- II. 現代消費経済の諸問題
 1. 豊かさ論議をめぐって－「消費のサービス化」から豊かさを考える
 2. 家計と金融－家計内債務と消費者問題
 3. 「情報化社会」と消費－情報の偏在
- III. グローバリゼーションと消費生活
 1. 食料輸入大国日本の消費生活
 2. グローバリゼーション下における地域経済と消費生活
 3. 環境問題を生産・流通・消費の相互連関から考える

履修上の留意点

毎回、講義のはじめに質問を受け付ける。また、講義の最中の質問も歓迎する。私語および中途の入・退室は他の出席者の迷惑になるので、原則的に禁止する。

成績評価の方法
教 科 書

中間試験及び学年末試験によって評価する。講義の中で行われた受け答えも、評価に組み入れる。教科書は使用しない。

参 考 書 等
そ の 他

伊藤セツ・川島美保共編著『三訂消費生活経済学』光生館（2008年）
配布するレジュメ、統計資料等の資料および映像資料を用いて講義を行う。

履修コード	099241
科目名	ロジスティクス
担当者名	石原 伸志

講義のねらい	<p>昨今、経営戦略の一環として注目されているグローバル・ロジスティクスやSCMを構築するためには、従来の物流に関する知識の他に、貿易実務やマーケティング及び海外の物流事情など幅広い知識が求められている。</p> <p>本講義では、具体的な事例やビデオ等を使って、ロジスティクスのおもしろさが理解できるように講義するつもりである。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>①前期は、グローバル・ロジスティクスを理解するために必要な基礎について講義する予定である。</p> <p>②後期は、グローバル・ロジスティクスを理解するために必要な海外の物流事情や貿易実務などの応用編について講義する予定である。</p>
履修上の留意点	<p>ロジスティクスは学生にとって馴染みが薄い分野で、解りづらいかもかもしれないが、物流の必要性とその面白さが理解できればと思う。</p>
成績評価の方法	<p>授業の3分の2以上出席して、1年間の講義を通して、ロジスティクスの必要性や重要性をどの程度理解できたかを成績評価の対象にする。なお、授業開始後、20分以上の遅刻は欠席とみなす。</p>
教科書参考書等	<p>ハンドアウトのテキストを使用する予定</p> <p>中田信哉・湯浅和夫・橋本雅隆・長峰太郎 『現代物流システム論』有斐閣アルマ¥2000</p> <p>中田信哉・橋本雅隆 『物流のしくみ』日本実業出版社¥1400</p> <p>石原信志 『貿易物流実務マニュアル』成山堂¥8400</p> <p>山下洋史・諸上茂登・村田潔 『グローバルSCM』有斐閣¥2500</p>
その他	<p>講義形式・プリント配布</p>

専門教育

履修コード	091911・091912
科目名	企業管理論 a 経営管理論 a
担当者名	岩波 文孝

講義のねらい	<p>経済的・社会的環境が急激に変化している状況において、企業管理の構造変化および企業管理のあり方が社会から問われている。本講義では、日本企業を中心とするCSR 経営とそれを主導すべき社会的規制の脆弱な実態を踏まえ、現代日本のCSR の意義と限界を導きだし、持続可能な社会をめざすCSR 型ビジネスモデルと経営、環境、社会分野における今後の課題を検討する。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の概要：ガイダンス（1） 2. CSRと企業管理（2～3） 3. ステークホルダーと企業管理（4） 4. ステークホルダーの現状（5） 5. コーポレート・ガバナンスとマネジメント（5～6） 6. グローバル・ガバナンスとマネジメント（7～8） 7. CSRと環境マネジメント（9） 8. 労働CSRの現状と課題（10～11） 9. 地域産業の文化と企業管理の課題（12～13） 10. CSR経営の課題と展望（14～15）
履修上の留意点	<p>授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。</p>
成績評価の方法	<p>定期試験（前期末）により評価します。</p>
教科書参考書等	<p>足立辰雄・井上千一編著（2009）『CSR経営の理論と実際』中央経済社。</p> <p>日本比較経営学会編（2006）『会社と社会』文理閣。</p> <p>細井浩一（2006）『コーポレート・パワーの理論と実際』同文館出版。</p> <p>仲田正機編著（2005）『比較コーポレート・ガバナンス研究』中央経済社。</p>

履修コード	091921・091922
科目名	企業管理論 b 経営管理論 b
担当者名	<small>いわなみ ふみたか</small> 岩波 文孝

講義のねらい 経済的・社会的環境が急激に変化している状況において、企業管理の構造変化および企業管理のあり方が社会から問われている。巨大企業のトップ・マネジメントをめぐって、所有と経営の分離にともなう会社支配の問題、グローバル化の進展・企業間競争の激化・資本調達にともない企業の透明性と効率性が求められている。本講義では、コーポレート・ガバナンスに関連付けながら現代の巨大企業におけるトップ・マネジメント機能の特質を考察していきたい。

**講義の内容・
授業スケジュール**

1. 授業の概要：ガイダンス (1)
2. 企業と社会 (2～3)
3. 会社支配論とトップ・マネジメント (3～4)
4. 機関投資家の台頭とコーポレート・ガバナンス (5)
5. 取締役会改革とコーポレート・ガバナンス (6)
6. CSRとトップ・マネジメント機能 (7～8)
7. アメリカのトップ・マネジメント改革 (9)
8. イギリスのトップ・マネジメント改革 (10)
9. ドイツのトップ・マネジメント改革 (11)
10. ロシアのトップ・マネジメント改革 (12)
11. グローバル企業のコーポレート・ガバナンス (13)
12. 企業管理改革の課題と展望 (14～15)

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。

定期試験（後期末）により評価します。

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等**

風間信隆・海道ノブチカ編著 (2009) 『コーポレート・ガバナンスと経営学』 ミネルヴァ書房。
日本比較経営学会編 (2006) 『会社と社会』 文理閣。
細井浩一 (2006) 『コーポレート・パワーの理論と実際』 同文館出版。
仲田正機編著 (2005) 『比較コーポレート・ガバナンス研究』 中央経済社。

履修コード	091901
科目名	経営管理論
担当者名	岩波 文孝 <small>いわなみ ふみたか</small>

講義のねらい 経済的・社会的環境が急激に変化している状況において、企業管理の構造変化および企業管理のあり方が社会から問われている。本講義では、CSRからのアプローチおよびコーポレート・ガバナンスからのアプローチに基づき現代の企業管理の特質、特にトップ・マネジメント機能の現代的特質を考察していきたい。

- 講義の内容・授業スケジュール**
1. 授業の概要・ガイダンス (1)
 2. CSRと企業管理 (2～3)
 3. ステークホルダーと企業管理 (4)
 4. ステークホルダーの現状 (5)
 5. コーポレート・ガバナンスとマネジメント (5～6)
 6. グローバル・ガバナンスとマネジメント (7～8)
 7. CSRと環境マネジメント (9)
 8. 労働CSRの現状と課題 (10～11)
 9. 地域産業の文化と企業管理の課題 (12～13)
 10. CSR経営の課題と展望 (14～15)
 11. 企業と社会 (16～17)
 12. 会社支配論とトップ・マネジメント (18～19)
 13. 機関投資家の台頭とコーポレート・ガバナンス (20)
 14. 取締役会改革とコーポレート・ガバナンス (21)
 15. CSRとトップ・マネジメント機能 (22～23)
 16. アメリカのトップ・マネジメント改革 (24)
 17. イギリスのトップ・マネジメント改革 (25)
 18. ドイツのトップ・マネジメント改革 (26)
 19. ロシアのトップ・マネジメント改革 (27)
 20. グローバル企業のコーポレート・ガバナンス (28)
 21. 企業管理改革の課題と展望 (29～30)

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。

現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。

定期試験(年度末)により評価します。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

前期教科書：足立辰雄・井上千一編著(2009)『CSR経営の理論と実際』中央経済社。

後期教科書：風間信隆・海道ノブチカ編著(2009)『コーポレート・ガバナンスと経営学』ミネルヴァ書房。

参考書等

日本比較経営学会編(2006)『会社と社会』文理閣。

細井浩一(2006)『コーポレート・パワーの理論と実際』同文館出版。

仲田正機編著(2005)『比較コーポレート・ガバナンス研究』中央経済社。

履修コード	092011
科目名	人的資源管理論 a
担当者名	堀 龍二 <small>ほり りゅうじ</small>

講義のねらい 人的資源管理とは、企業が従業員を人的資源とみなして、その有効活用を図る施策のことです。端的にいえば、どのような人をどのような形態で雇い、企業目的に沿ってどのように活用し、その働きに対してどのように処遇するか、といった課題を扱います。

a (前期)では、主に、わが国企業が求める人材像の変化および人的資源管理の基本理念の変化を、企業を取り巻く環境の変化と関わらせて考察します。概略としては、グローバリゼーションとIT革命、さらには新自由主義に基づく規制緩和といった環境の変化が、労働の質や労働市場の構造を変化させ、それに対応して企業の人的資源管理の基本理念が変化していることを具体的に検討し、それが労働者の働き方にどのような影響を与えているかという時代状況を把握することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の順序にそって進める予定ですが、変更することもあります。

(1) 講義概要の紹介とガイダンス、(2) 人事労務管理論から人的資源管理論へ、(3～5) 求められる人材像の変化、(6～8) 年功主義と能力主義、(9～10) 成果主義、(11～15) 経済グローバル化に対応する人的資源管理の動向

履修上の留意点
成績評価の方法

原則として、a (前期)とb (後期)を合わせて同一年度に履修してください。

出席(10%)、小レポート(20%)、前期定期試験(70%)を総合して評価します。追試験は実施しません。

教科書

伊藤健市著『よくわかる現代の労務管理』ミネルヴァ書房、2006年。(2,600円+税)。なお、教科書に載っていない資料などは、プリントして配布します。

参考書等

木元進一郎監修『人間らしく働く』(泉文堂、2008年)。その他、講義中に適宜紹介する。

履修コード	092021
科目名	人的資源管理論 b
担当者名	堀 龍二

講義のねらい 人的資源管理とは、企業が従業員を人的資源とみなして、その有効活用を図る施策のことです。端的にいえば、どのような人をどのような形態で雇い、企業目的に沿ってどのように活用し、その働きに対してどのように処遇するか、といった課題を扱います。

b（後期）では、主に従業員の働きに対してどのように処遇するか、やる気をどう引き出し、どう育てるのかといった問題を取り上げます。具体的には、人事評価や賃金システムのあり方、職務割当や仕事の与え方、キャリア形成のあり方などが、成果主義時代にどのように変化してきているかという問題を考察します。いま、わが国企業は激しい国際競争を勝ち抜くために競争力強化を求められており、そのなかで競争優位の源泉とされる人的資源の有効活用の新たな方法を模索しています。

テキストに沿って以下の構成で進める予定ですが、変更することもあります。

(1) 講義概要の紹介とガイダンス、(2～4) 業績評価と目標管理とコンピテンシー評価 (5～7) 賃金システムの変化、(8～9) 賞与制度と退職金制度、(10) 人事制度改革、(11～12) 社内公募制と社内FA制度、(13) エンプロイヤビリティ、(14) キャリア形成制度、(15) 新しい働き方と労働組合

原則として、a（前期）とb（後期）を合わせて同一年度に履修してください。

出席（10%）、小レポート（20%）、後期定期試験（70%）を総合して評価します。追試験は実施しません。

教科書 伊藤健市著『よくわかる現代の労務管理』ミネルヴァ書房、2006年。(2,600円+税)。なお、教科書に載っていない資料などは、プリントして配布します。

参考書等 木元進一郎監修『人間らしく働く』（泉文堂、2008年）。その他、講義中に適宜紹介する。

専門教育

講義の内容・授業スケジュール

**履修上の留意点
成績評価の方法**

教科書

参考書等

履修コード	096911
科目名	ビジネスの歴史（日本）
担当者名	宇田 理

講義のねらい 本講義は、独自の企業システムを構築することによって高い競争力を誇っている日本の企業を、企業の生成・発展・衰退の歴史から振り返ることで、そうしたシステムの生成の契機、そして、それが発展に結びついていった要因、さらには、それが長期的成長を維持するのに貢献した場合、あるいは、衰退への道筋を招いてしまう場合の各要因を軸に、実際の事例に基づき説明する。それによって、企業にとっての「変化」とは何か、についての理解を深めることが本講義のねらいである。

第一回の講義で講義計画のプリントを配布するが、だいたい以下のトピックに沿って講義を進めていく。各トピックは約二回の講義から成っている。なお、取り上げるトピックは変更される場合がある。

1. 無から有を創り出す：松下幸之助と松下電器産業
2. ニーズの多様化に対峙する：鈴木敏文とイトーヨーカ堂
3. 大量生産システムの超克：大野耐一とトヨタ生産システム
4. 規制に真っ向から立ち向かう：小倉正男とヤマト運輸
5. アパレルの革命児：オンワード樫山と樫山純三
6. 国産コンピュータに賭けた夢：富士通と池田敏夫

**成績評価の方法
教科書**

期末試験【持ち込み可】（80%）、授業中の感想（20%）
講義中に指示する。

履修コード	096921
科目名	ビジネスの歴史（欧米）
担当者名	宇田 理

講義のねらい

同じ業界に属する企業でも、その経営のカタチは大きく異なる。それは変化の激しい業種に関わっている場合は、なおさらである。そのため、いくつもの企業の事例を見ていくことも大事だが、一企業がどのように誕生し、発展し、幾多の難局をどう乗り越えていったのか否かの歴史を詳細にたどることで、経営に関する色々な示唆を得ることができる。本講義では、半導体業界No.1のインテルという一企業の歴史を取り上げ、その歴史を詳細に振り返る。とりわけ、企業の命運を左右する戦略的意思決定のプロセスにスポットを当てることで、企業が直面する難局に潜む重要なポイントをあぶり出したいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

第一回の講義で詳細な講義計画のプリントを配布するが、だいたい以下のトピックに沿って講義を進めていく。各トピックは約2回の講義から成っている。

1. ガイダンス
2. プロセスの重要性—戦略は事前に完備されるものではない。
3. 変化への対応力はどこに潜んでいるのか—DRAM撤退の歴史
4. 瀕死の状態にある企業を救うものは何か—計画外の製品の貢献
5. 異なるトップの果たした役割とは—インテル高成長期を支えたリーダー
6. 業界を支配することは必ずしも良いことではない—共進化ロックインという罠
7. どうやって事業のバリエーションを増やすか—新規事業開発プロセス
8. まとめ

成績評価の方法
教科書

レポート2回（100%）
パーゲルマン『インテルの戦略』ダイヤモンド社、2006年（5000円）

専門教育

履修コード	092001
科目名	労務管理論
担当者名	堀 龍二

講義のねらい

最近急激な変化をみせているわが国の労務管理（＝人的資源管理）の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本的経営」ないし「日本の労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。ところが、近年における日本経済の低迷のなかで、中高年層を中心に正規従業員の大量リストラが断行されるとともに、雇用形態の多様化、年俸制の導入などにみられる賃金・処遇の成果主義化、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の改編等々、雇用と賃金・処遇に関する基本的な制度・慣行にかつてない変化が進行してきている。これらの変化は従来の「日本の労務管理」からの脱却であり、そこにみえるのは人事労務への市場原理の導入、内容的にはその流動化、個別化、成果主義化という傾向である。こうした傾向・特徴の内実を明らかにし、その背景にあるものと今後の展望を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って進める。

<前期の講義概要>

（1）講義概要の紹介とガイダンス、（2）人事労務管理論から人的資源管理論へ、（3～5）求められる人材像の変化、（6～8）年功主義と能力主義、（9～10）成果主義、（11～15）経済グローバル化に対応する人的資源管理の動向

<後期の講義概要>

（1）後期講義概要の紹介、（2～4）業績評価と目標管理とコンピテンシー評価（5～7）賃金システムの变化、（8～9）賞与制度と退職金制度、（10）人事制度改革、（11～12）社内公募制と社内FA制度、（13）エンプロイアビリティ、（14）キャリア形成制度、（15）新しい働き方と労働組合

履修上の留意点
成績評価の方法

平成15年度以前に入学した商学科学学生を対象としています。

出席（10%）、小レポート（20%）、年度末の定期試験（70%）を総合して評価します。定期試験受験時の注意事項：本講義の受講対象である平成15年度以前入学生は、通年4単位科目として登録履修するので、定期試験は年度末（後期）の1回のみとなります。前期の定期試験はありません。年度末定期試験に対応する追試験は実施します。

教科書

伊藤健市著『よくわかる現代の労務管理』ミネルヴァ書房、2006年。（2,600円＋税）。

参考書等

なお、教科書に載っていない資料などは、プリントして配布します。

木元進一郎監修『人間らしく働く』（泉文堂、2008年）。その他、講義中に適宜紹介する。

履修コード	096711・096712
科目名	企業戦略論 a 経営戦略論 a
担当者名	田淵 泰男

講義のねらい 企業をとりまく経営環境が、めまぐるしく、ダイナミックに変化している現代、経営戦略の優劣いかに、企業の栄枯盛衰に重大な影響をもつようになっています。企業がそうした環境に、いかにうまく適応すべきかを考える経営戦略は、現代企業にとって最も重要なものであるとともに、現代経営学における中心的な研究分野の1つになっています。この講義では、これまでの経営戦略論の展開をふまえ、経済学部で経営戦略論を学ぶ皆さんにとって是非必要な重要論点にかんする知識を提供し、それらの考え方の理解をはかることをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

「経営戦略論 a」は、「企業戦略論」を主たる内容とします。企業戦略は、企業全体の将来のあり方に関する戦略です。その内容は、企業の諸事業を全体としてどのようにバランスないし統合するか、新しくどのような事業に進出するか、将来にわたってどのような企業を形成していくか、等にかかわる戦略です。この講義は以下の主要分野について、それぞれの理論を事例もまじえて解説します。

- ・経営戦略論への招待
戦略とは何か、経営戦略の概念、経営戦略論の発展過程、経営戦略の体系。
- ・企業のアイデンティティと事業活動領域を選択・決定する「ドメインの定義」
- ・企業が成長戦略のなかで新しい製品・市場をめざして複数の事業分野に経営資源を展開していく「多角化戦略」
- ・多角化した企業が経営資源をどのような製品事業へ選択的に重点配分すべきかを考える「事業ポートフォリオ戦略」

履修上の留意点

企業行動の論理を探究しようとする意欲をもって、その機会を常日頃意識的にさまざまな視点からとらえようとする姿勢が大切です。

成績評価の方法教科書

授業の進捗内容にあわせて実施する試験（事前に予告）によって評価します。使用しません。毎回、プロジェクター（パワーポイント）を利用します。図表を多用するときや、詳細な説明を要するときはプリントを配布します。

参考書等

適宜紹介します。

履修コード	096721・096722
科目名	企業戦略論 b 経営戦略論 b
担当者名	田淵 泰男

講義のねらい 企業をとりまく経営環境が、めまぐるしく、ダイナミックに変化している現代、経営戦略の優劣いかに、企業の栄枯盛衰に重大な影響をもつようになっています。企業がそうした環境に、いかにうまく適応すべきかを考える経営戦略は、現代企業にとって最も重要なものであるとともに、現代経営学における中心的な研究分野の1つになっています。この講義では、これまでの経営戦略論の展開をふまえ、経済学部で経営戦略論を学ぶ皆さんにとって是非必要な重要論点にかんする知識を提供し、それらの考え方の理解をはかることをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

「経営戦略論 b」は、「競争戦略論」を主たる内容とします。競争戦略は、競争企業に対して持続的な競争優位を確立するための戦略であり、現在最も注目されている戦略論の研究テーマです。この講義は以下の主要分野について、それぞれの理論を事例もまじえて解説します。

- ・業界の競争構造分析フレームワーク（競争の程度から収益性の高い魅力的な業界を探し出す考え方と手法）である「5つの競争要因」分析。
- ・競争優位状態の分析と戦略的ポジションの選択にかかわる「競争の基本戦略」、および「戦略グループ」「価値連鎖」等。
- ・競争優位の源泉に関する2つの考え方として、「ポジショニング・アプローチ」と「資源ベース・アプローチ」。
- ・競争地位の類型化とそれに対応して要求される「競争対抗戦略」。
- ・製品ライフサイクル別の競争戦略、先発企業の競争優位性、後発企業の競争逆転の戦略、業界標準規格をめぐる競争戦略、など。

履修上の留意点

企業行動の論理を探究しようとする意欲をもって、その機会を常日頃意識的にさまざまな視点からとらえようとする姿勢が大切です。

成績評価の方法教科書

授業の進捗内容にあわせて実施する試験（事前に予告）によって評価します。開講時に説明します。毎回、プロジェクター（パワーポイント）を利用します。図表を多用するときや、詳細を要するときはプリントを配布します。

参考書等

適宜紹介します。

履修コード	095831
科目名	グローバル・ビジネス論 a
担当者名	ひだか かつへい 日高 克平

講義のねらい	1980年代末から本格化した地球規模での経済活動（グローバリゼーション）によって、現代企業のビジネスは劇的に変化しています。グローバリゼーションの現代的特徴は、ICT（情報通信技術）の飛躍的發展をとまなっていることにあるため、現代企業のビジネス・モデルを分析する際にも、企業経営のグローバル化とICT化を関連付けることが肝要です。本講義では、そのような視座に立って、グローバル・ビジネスを展開する企業の具体的な事例を取り上げつつ、企業経営の新たな手法や技法を探るとともに、その革新的特性や問題点を解明することを目的としています。
講義の内容・授業スケジュール	グローバル・ビジネスの概念と歴史（第1～3回）、今日のグローバリゼーションと企業経営（第4～5回）、グローバル・ビジネス論ーグローバル戦略とローカル戦略ー（第6～7回）、グローバル・マーケティング戦略（第8～9回）、生産活動のグローバル化ー海外生産拠点の配置と調整ー（第10～12回）、革新的ビジネス・モデルの事例研究（第13～15回）
履修上の留意点	グローバル・ビジネスに関する情報は、日頃の新聞、経済誌、テレビやインターネット等によって豊富に得られます。受講者は、授業を理解するのみに留まらず、そのような情報源に積極的にアクセスし、自ら知識を蓄えながら理解を深めるよう努力してください。
成績評価の方法	学期末試験に、出席状況および受講態度、講義中に課した提出物の評価を加味して総合判定します。
教科書	講義時に配布するオリジナルのレジュメと資料を使用します。本講義の指定教科書はありません。参考文献については、各回のレジュメの中で紹介します。

履修コード	095841
科目名	グローバル・ビジネス論 b
担当者名	ひだか かつへい 日高 克平

講義のねらい	国境を越えて事業を拡大する企業行動は、市民生活にもさまざまな影響を及ぼしています。後期の課題を一言で表現すれば、グローバル・ビジネスと市民社会との共生関係をどのように築くべきか、という問題を検討すること、と言えましょう。グローバル・ビジネスは、優れた商品やサービスの提供という部分ではわれわれの生活に欠かせないものではありませんが、他方で、環境問題、雇用や労働条件をめぐる問題、人権問題等を引き起こす場合もあります。したがって、個々のビジネス・モデルを検討する場合、グローバル・ビジネスの恩恵の部分だけでなく、負の部分も認識した上で総合的に評価をくだすことが重要です。また21世紀のビジネス・モデルがどうあるべきか、どのようなビジネスを育成していくべきか、という問題について、「共生」というキーワードを用いて考察します。
講義の内容・授業スケジュール	グローバル・ビジネスの現代的特徴および戦略的課題（第1～3回）、グローバル・リストラクチャリングーグローバル M&A とアライアンス戦略ー（第4～6回）、グローバル・ビジネスと国家・地域・都市（第7～9回）、グローバル・ビジネスと CSRー環境・人権・労働問題ー（第10～12回）、共生型ビジネス・モデルとその事例研究（第13～15回）
履修上の留意点	グローバル・ビジネスに関する情報は、日頃の新聞、経済誌、テレビやインターネット等によって豊富に得られます。受講者は、授業を理解するのみに留まらず、そのような情報源に積極的にアクセスし、自ら知識を蓄えながら理解を深めるよう努力してください。
成績評価の方法	学期末試験に、出席状況および受講態度、講義中に課した提出物の評価を加味して総合判定します。
教科書	講義時に配布するオリジナルのレジュメと資料を使用します。本講義の指定教科書はありません。参考文献については、各回のレジュメの中で紹介します。

履修コード	099181
科目名	企業統治論 a
担当者名	みずむら のりひろ 水村 典弘

講義のねらい	株式会社制度を理解したうえで、企業統治（コーポレート・ガバナンス）のメカニズムを解明します。そして、比較制度分析の観点から、企業統治の制度について解明します。
講義の内容・授業スケジュール	（1～3）株式会社の歴史と現在、（4～6）株式会社制度と企業統治、（7～11）機関の設計と経路依存性、（12～15）日本の株式会社と企業統治の現在
履修上の留意点	経済報道及び企業報道等に日頃から接するように心掛けて下さい。また、講義の内容についてわからない点は必ず質問するようにして下さい。
成績評価の方法	学期末試験の結果とリアクションペーパーの内容を基準として評価します。
教科書	無し。
参考書等	講義の進行に応じて適宜に紹介します。
その他	記載事項無し。

履修コード	099191
科目名	企業統治論 b
担当者名	水村 典弘 <small>みずむら のりひろ</small>

講義のねらい たとえ制度又は機関を設計したとしても、当該制度又は機関が適切に運用されるとはかぎりません。講義では、経営者のプロフェッショナルリズムについて具体例を紹介しながら解説します。

講義の内容・授業スケジュール (1～3) ビジネスと倫理、(4～6) 経営のプロフェッショナルリズム、(7～10) 企業の目的とステークホルダー・マネジメントの組織能力、(11～15) 新たな企業価値の創造

履修上の留意点 経済報道及び企業報道等に日頃から接するように心掛けて下さい。また、講義の内容についてわからない点は必ず質問するようにして下さい。

成績評価の方法 学期末試験の結果とリアクションペーパーの内容を基準として評価します。

教科書 水村典弘『ビジネスと倫理～ステークホルダー・マネジメントと価値創造～』文眞堂、2008年。

参考書等 講義の進行に応じて適宜に紹介します。

その他 記載事項無し。

履修コード	099331
科目名	現代企業論 a
担当者名	松田 健 <small>まつだ たけし</small>

講義のねらい 本講義では、企業に関する基礎的な知識、概念ならびに理論等を広く体系的に習得します。企業の基本的構造、主として制度上の観点からの基本的課題事項の整理を通じて、現代企業の特質とその役割を理解することを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 現代企業と経済学(1)(持続可能な社会と企業：現代企業論の基礎)
- 第3回 現代企業と経済学(2)(企業と市場)
- 第4回 現代企業と経済学(3)(取引コスト論)
- 第5回 現代企業と経済学(4)(所有権理論)
- 第6回 企業形態(1)(企業形態の分類とその意図)
- 第7回 企業形態(2)(個人企業・合名・合資・株式会社・LLC/LLP)
- 第8回 企業形態(3)(会社制度の歴史的発展とその意義)
- 第9回 株式会社の特質(1)(株式会社制度と所有者支配論)
- 第10回 株式会社の特質(2)(株式会社制度と専門経営者)
- 第11回 現代株式会社の特質と機関化現象(1)(株主機関化・法人化を巡る問題)
- 第12回 現代株式会社の特質と機関化現象(2)(機関的大株主と企業支配様式)
- 第13回 企業集中形態(1)(企業集団)
- 第14回 企業集中形態(2)(連結経営と企業グループ)
- 第15回 まとめ

履修上の留意点 企業とそれを取り巻く経済社会との相互関連への理解を深めるために、新聞、雑誌に目を通し、現代の経済・経営にとって何が問題となっているのかという点にアンテナを張るように心がけて下さい。

成績評価の方法 授業への出席を最低要件とし、定期試験を行います。この評価に、授業中の小レポートによる評価を加味して総合的に評価し、60点以上の者に単位を認めます。

教科書 開講時に指示します。

参考書等 自分で使いやすいと思われる経営学辞典あるいは経営学用語集

その他 なし

履修コード	099341
科目名	現代企業論 b
担当者名	まつだ たけし 松田 健

講義のねらい 本講義では「現代企業論 a」の履修を踏まえ、「企業とは何か」という視点から、企業の果たす役割、企業統治ならびに企業の社会的責任など、現代の企業経営にとって重要なTOPICSを欧州企業のケースを中心に学習します。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 企業の目的と経営者の役割（1）（経営理念と企業の目的）
- 第2回 企業の目的と経営者の役割（2）（企業価値と株主の富の最大化）
- 第3回 企業統治（1）（企業統治とは何か：利害関係者と会社権力の正当性）
- 第4回 企業統治（2）（株主と企業（経営者）：プリンシパル＝エージェント問題）
- 第5回 企業統治（3）（株式所有構造と企業間関係）
- 第6回 企業統治（4）（アングロ・サクソン型企業統治）
- 第7回 企業統治（5）（日本型企業統治）
- 第8回 欧州企業の戦略と社会性（1）EU（欧州連合）と企業の社会性
- 第9回 欧州企業の戦略と社会性（2）RDS：スーパーメジャーの戦略
- 第10回 欧州企業の戦略と社会性（3）スタトイル：ノルウェーにおけるCSR
- 第11回 欧州企業の戦略と社会性（4）ルノー：CSR戦略の国際的展開
- 第12回 欧州企業の戦略と社会性（5）フォルクスワーゲン：共同決定法と資本市場
- 第13回 欧州企業の戦略と社会性（6）レゴ：安全性、高品質
- 第14回 欧州企業の戦略と社会性（7）エアバス：汎欧州企業
- 第15回 まとめ

履修上の留意点

企業とそれを取り巻く経済社会との相互関連への理解を深めるために、現代の経済・経営にとって何が問題となっているのかという点にアンテナを張るように心がけて下さい。

成績評価の方法

授業への出席を最低要件とし、定期試験の評価に、レポートによる評価を加味して総合的に評価し、60点以上の者に単位を認めます。

教科書等その他

高橋俊夫編著『EU企業論』中央経済社、2008年。
経営学辞典あるいは経営学用語集
なし

専門教育

履修コード	097071
科目名	非営利組織論 a
担当者名	まつもと のりこ 松本 典子

講義のねらい 非営利組織（非営利セクターに属する組織）には、営利セクター・行政セクターに含まれないNPO法人、社会福祉法人、学校法人、医療法人、協同組合など多種多様な組織が包含されます。非営利組織は、政府・行政や企業活動の行き詰まりが顕在化する中で、最近では介護分野、まちづくり分野、国際協力分野（NGO）など活躍の場は着実に拡大し、雇用創出面における期待も増大し、経済活動の主体としてその役割が無視できない存在に発展しています。また、行政や企業と非営利組織とのコラボレーションも活性化しています。今後、みなさんが非営利組織と関わる機会はますます増大するでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、非営利組織の現実を踏まえて、営利／非営利組織の共通性／差異性の明確化、国際比較などから、非営利組織とは何か、とくに非営利事業体を含めてその発展の課題や社会的な存在意義に関する理解が深められる授業を行います。

- ・狭義／広義の非営利組織（1～3）
- ・非営利組織に関する法、税制度および経済規模（4～5）
- ・非営利組織の活動分野、医療・福祉、まちづくり、環境等（6～9）
- ・非営利事業体、社会的企業（10～12）
- ・非営利組織の国際比較（13～14）
- ・非営利組織論 a のまとめ（15）

履修上の留意点

講義に主体的・積極的に参加する学生の履修を望みます。

成績評価の方法

成績は、定期試験70%、出席率・授業態度・レポート等30%で、総合的に評価します。

教科書等

特に指定しません。

参考書等

- ・雨宮孝子・小谷直道・和田敏明編著『ボランティア・NPO』中央法規、2002年。
- ・雨森孝悦『テキストブックNPO』東洋経済新報社、2007年。
- ・川口清史・田尾雅夫・新川達郎編『よくわかるNPO・ボランティア』ミネルヴァ書房、2005年。
- ・山岡義典編著『NPO基礎講座・新版』ぎょうせい、2005年。

その他

講義形式で行います。適宜、レジュメおよび資料を配布し、参考文献や関連HPを紹介します。また、画像、映像等の利用や現場で活動する人の講演なども交えることによって、できるだけ非営利組織の現実の姿を実感できるようにする予定です。

履修コード	097081
科目名	非営利組織論 b
担当者名	松本 典子

講義のねらい 非営利組織（非営利セクターに属する組織）には、営利セクター・行政セクターに含まれないNPO法人、社会福祉法人、学校法人、医療法人、協同組合など多種多様な組織が包含されます。非営利組織は、政府・行政や企業活動の行き詰まりが顕在化の中で、最近では介護分野、まちづくり分野、国際協力分野（NGO）など活躍の場は着実に拡大し、雇用創出面における期待も増大し、経済活動の主体としてその役割が無視できない存在に発展しています。また、行政や企業と非営利組織とのコラボレーションも活性化しています。今後、みなさんが非営利組織と関わる機会はますます増大するでしょう。

本講義では、非営利組織論 a で学習した内容に基づき、「営利/非営利」、「社会的企業」、「社会的起業家」、「コミュニティ・ビジネス」、「ソーシャル・キャピタル」等をキーワードに、非営利組織の経営学を学びます。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- ・非営利組織の存在理由（1～3）
 - ・ソーシャルエコノミー、ボランタリー経済（4）
 - ・社会的起業家とは何か（5～6）
 - ・非営利組織のガバナンス、マネジメントの基本的特徴、リーダーシップ、経営戦略、資金調達など（7～11）
 - ・非営利組織のネットワーク、行政・企業とのコラボレーション（12～14）
 - ・非営利組織論 b のまとめ（15）

履修上の留意点 講義に主体的・積極的に参加する学生の履修をのぞみます。

講義内容は、非営利組織論 a を履修していることを前提とします。

成績評価の方法 成績は、定期試験70%、出席率・授業態度・レポート等30%で、総合的に評価します。特に指定しません。

教科書等

- ・川口清史・田尾雅夫・新川達郎編『よくわかるNPO・ボランティア』ミネルヴァ書房、2005年。
- ・坂本文武『NPOの経営—資金調達から運営まで—』日本経済新聞社、2004年。
- ・谷本寛治・田尾雅夫編著『NPOと事業』ミネルヴァ書房、2002年。
- ・塚本一郎・雨宮孝子・古川俊一編著『NPOと新しい社会デザイン』同文館出版、2004年。
- ・山岡義典・雨宮孝子編著『NPO実践講座・新版』ぎょうせい、2008年。

その他

講義形式で行います。適宜、レジュメおよび資料を配布し、参考文献や関連HPを紹介し、また、画像、映像等の利用や現場で活動する人の講演なども交えることによって、できるだけ非営利組織の現実の姿を実感できるようにする予定です。

履修コード	095311
科目名	契約理論
担当者名	村松 幹二

講義のねらい 生産や消費といった経済活動を相互に結び付けている取引関係には、大きく分けると、交換と契約の2つがある。交換（市場取引）は通常、匿名の相手との一時点で終わる関係であるのに対し、契約関係は事前の調査・交渉や契約内容の実行に時間がかかり、多くの場合、長期にわたって続く関係である。経済主体は相互に様々な契約関係を結ぶことで、企業をはじめ様々な組織・システムを構築している。

本講義では、ミクロ経済学、なかでも「情報の経済学」、「法と経済学」などの手法を用いて、雇用契約や金融契約などの契約関係から見た経済主体の相互の関連と経済システムについて論じる。

受講する学生には、この授業を通じて、システムとしての経済・企業組織、その中における経済主体の相互関連を考えることで経済社会全体についての視点を身につけてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. イントロダクション：契約と契約理論（1）
2. エージェンシー関係と情報の経済学（2～4）
3. 雇用契約とインセンティブ（5～8）
4. 金融契約とコーポレート・ガバナンス（9～12）
5. 契約法の経済分析（13～14）
6. 契約の不完備性、契約違反と再交渉（15）

履修上の留意点

講義ではミクロ経済学と情報の経済学の知識を前提とするため、「ミクロ経済学」、「企業経済学」、「情報の経済学」、「制度の経済学」のいずれかをすでに履修した学生を対象とする。

成績評価の方法
教科書等

成績評価は、期末試験による。

テーマが多岐にわたるため特定のテキストは指定せず、配布するレジュメをもとに講義を行う。

テーマに応じて講義内で参考文献を示す。

履修コード	092401
科目名	財務会計論
担当者名	寺坪 修 <small>てらつば おさむ</small>

講義のねらい 財務会計は、企業活動の実態を投資者などの利害関係者へ報告するための「みせる会計」です。そのための開示手段の中心となるのが財務諸表ですが、その作成方法に関しては統一的な制度として、会社法や金融商品取引法などの法令および会計基準が制定されています。会計基準は、現在、グローバル化の進展に伴ないグローバル・スタンダード（世界標準）との調和が進められています。本講義では、日本における財務諸表制度の変遷と動向を踏まえて、会計上の主要なテーマについて具体的にみていきます。

講義の内容・授業スケジュール おおむね次の構成で進めていきます。
 (1) オリエンテーション、(2～5) 財務会計の意義・会計の構造、(6～9) 財務諸表の仕組み・企業会計制度、(10～13) 企業会計原則、(14～26) 新会計基準：会計ビックバン・リース会計・退職給付会計・税効果会計・キャッシュフロー会計・連結財務諸表、(27～29) 財務諸表の活用、(30) 会計の国際化。

履修上の留意点 会計は積み重ねの学習によって理解が深まりますので、休まずに受講してください。私語は厳禁とします。

成績評価の方法 学年末試験（60％）、出席率（25％）、宿題・レポート提出（15％）の総合評価。ただし、S・Aの評価はGPA評価ガイドラインによる調整を行うことがあります。

教科書参考書等 寺坪修『会社会計論〈改訂版〉』2004年刊（創成社）3,990円
 寺坪修『英文会計論〔基本編〕第2版』2007年刊（五紘舎）1,575円

履修コード	097001
科目名	会計監査論
担当者名	森田 佳宏 <small>もりた よしひろ</small>

講義のねらい 会計監査とは、企業における会計記録および会計行為につき、それに関与しない独立第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。本講義においては、職業監査人による財務諸表監査を中心として、会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度、監査基準等について解説する。

講義の内容・授業スケジュール (1) 会計監査の意義と概要 (2～5) 企業会計法と監査、会計の国際化と監査、監査の主体① (6～10) 監査の主体②、外部監査制度の生成①、監査の種類、監査役監査、委員会設置会社 (11～15) ディスクロージャー制度（金融商品取引法・会社法）、外部監査制度の生成②、監査基準の生成①、監査基準の生成② (16～20) 監査基準の体系、公正不偏性と外観的独立性、監査のプロセス、内部統制、監査調書 (21～25) 重要な虚偽表示、監査の品質管理、守秘義務、リスク・アプローチ、監査要点 (26～30) 監査証拠、継続企業の前提、監査意見、監査報告書

履修上の留意点 本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会計学基礎または会計学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法 原則としてレポート（後期の最初の授業で回収）および定期試験（年度末）により評価する。

教科書参考書等 指定しない。必要に応じて資料を配付する。
 山浦久司『監査論テキスト（第5版）』（中央経済社）
 盛田良久、蟹江章、友杉芳正、長吉眞一、山浦久司編著『スタンダードテキスト監査論』（中央経済社）
 日本公認会計士協会編『監査小六法（平成20年版）』（中央経済社）
 日本公認会計士協会編『監査実務指針ハンドブック（平成20年版）』（中央経済社）

履修コード	097301
科目名	会計情報論
担当者名	石川 純治 <small>いしかわ じゅんじ</small>

講義のねらい 変容する現代の会計のトータルな理解と将来の予見に役立つことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 教科書と放送大学「現代の会計」（DVD）の講義とをあわせて、企業会計の変容のあり方を理論と制度の両面から講義する。

履修上の留意点 細かな会計基準の知識は必要ないが、一応の会計学の基礎知識ないし関心をもっていただくことが望ましい。

成績評価の方法 小テストと定期試験。

教科書参考書等 石川純治『変容する現代会計』（日本評論社）1,600円。
 別途指示する。

履修コード	098161
科目名	企業倫理
担当者名	桑山 <small>くわやま みえこ</small> 三恵子

講義のねらい 企業不祥事はなぜ、起きるのか。企業倫理の重要性を認識し、企業経営の質の向上をどう高めるかについて学習します。さらに、具体的なケースをとりあげグループディスカッションを行い、倫理的思考を身につけます。

講義の内容・授業スケジュール (1～4) イントロダクション、企業倫理学と経営倫理、米国における経営倫理の展開 (5～7) 日本の企業構造と経営倫理、コーポレートガバナンス、コンプライアンス (8～13) 経営倫理の組織内制度化 倫理綱領、組織体制、教育コミュニケーション、内部通報制度 監査 (14) 内部統制 (15) まとめ

履修上の留意点 企業経営と倫理に関するテーマをとりあげた新聞、雑誌、テレビの特集番組等の情報に積極的にアクセスすることを心がけてください。

成績評価の方法 学期末に筆記試験を行います。さらに、授業内に求める課題の遂行結果と授業への取り組み姿勢をあわせて総合的に評価します。

教科書 小林俊治 百田義治 編 『社会から信頼される企業—企業倫理の確立に向けて』2004年刊(中央経済社) 2400円 ISBN4-502-37550-0

参考書等 日本経営倫理学会監修 水谷雅一編著 『経営倫理』2003年刊(同文館出版) 2400円 ISBN4-495-37131-2

履修コード	098171
科目名	企業社会責任論
担当者名	桑山 <small>くわやま みえこ</small> 三恵子

講義のねらい 「企業の社会責任」とは何か、近年、関心が高まっているのは何故か、その背景と意味を学習し、企業と社会が共に持続的に発展する企業像を考察します。さらに、具体的なケースをとりあげ、グループディスカッション、グループワークを行ないブラッシュアップをはかります。

講義の内容・授業スケジュール (1～2) イントロダクション、企業とは何か (3～5) 日本、米国、欧州の企業構造、コーポレートガバナンス、ステークホルダーマネジメント理論 (6～7) 企業の社会責任とは何か、歴史的背景と定義 (8～10) グローバリゼーションと企業の社会責任、企業の社会責任の標準化、サプライチェーンマネジメント (11～13) 企業の社会責任報告書、コミュニケーション、社会的責任投資 (14) 企業とNPO、社会的企業家 (15) まとめ：新たな企業像

履修上の留意点 企業と社会の相互関係という視点から、新聞、雑誌、テレビの特集番組、企業の社会責任報告書、インターネット上の情報に積極的にアクセスすることを心がけてください。

成績評価の方法 学期末試験を行います。また、授業内に求める課題の遂行結果、授業への取り組み姿勢をあわせて総合的に評価します。

教科書 未定

参考書等 谷本寛治『CSR—企業と社会を考える』2006年刊(NTT出版) 1600円 ISBN4-7571-2179-2
田中宏司 CSR入門講座 第1巻『CSRの基礎知識』2005年刊(日本規格協会) 1300円 ISBN4-542-70150-6

履修コード	097111
科目名	管理会計論 a
担当者名	石川 <small>いしかわ ゆうじ</small> 祐二

講義のねらい 本講義では、伝統的に管理会計研究の領域において取り扱われてきた諸問題について検討を加える。とりわけ、経営管理者の意思決定を中心として、その意思決定上必要とされる会計情報について学ぶことになる。このことを通じて、会計情報の経営管理的意味を明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス、(2～4) 管理会計論をとらえる視点、(5～8) 管理会計上の基礎概念、(9～12) 設備投資の意思決定、(13～15) 製品関連の意思決定

履修上の留意点 会計学基礎(総論)および簿記論を履修済みであることが好ましい。また、電卓を用いることが多いので、持参すること。

成績評価の方法 定期試験(前期末)により評価する。

教科書 毎回配布するプリントが教科書代わりである。

参考書等 必要に応じて紹介する。

履修コード	097121
科目名	管理会計論 b
担当者名	石川 祐二 <small>いしかわ ゆうじ</small>

講義のねらい 本講義においては、現代において特に注目されている、新たな管理会計研究の領域について取り上げることとする。具体的には、業績評価に関わる新たな手法に検討を加えることや、企業の「経営管理」と「会計」との関係をとらえ直すことが中心的な課題となる。このことを通じて、伝統的な管理会計研究では捕捉しきれなかった会計現象の意味を明らかにしたい。それにより、現代的な意味で、管理会計の社会的機能を理解することが、本講義の目指すところである。

講義の内容・授業スケジュール

(1)ガイダンス、(2~3) リスク・マネジメントと法律規定；リスク・マネジメントと会計制度との関連性、(4~5)ドイツ会計基準第5号「リスク報告」、(6~7)企業内部のリスク・マネジメント・システム；会計報告との関連性、(8)リスク・マネジメントと状況報告書、(9)リスク・マネジメントと引当金、(10~11)リスク・マネジメントとバランス・スコアカード、(12~13)リスク・マネジメントと監査制度の新展開、(14~15)リスク・マネジメントとチャンスの記載；リスク・マネジメント会計制度の社会的意味

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書
等

会計学基礎（総論）および簿記論を履修済みであることが好ましい。
中間レポート（30%）および定期試験（後期末：70%）により評価する。
石川祐二著『現代ドイツ管理会計制度論』（森山書店）
必要に応じて紹介する。

専門教育

履修コード	097401
科目名	税務会計論
担当者名	北口 りえ <small>きたぐち りえ</small>

講義のねらい 税務会計は、法人税法における課税所得計算に関する学問です。法人の所得に対して課される法人税は、企業にとって避けられないものであり、企業行動を左右する重要な要素のひとつとなっています。

本講義では、税務計算技術の習得や課税所得計算構造への理解を深めることに重点をおき、企業会計を基礎として課税所得および税額を計算し、申告・納税するという企業会計と税務の一連の手続きについて学習します。まず税務会計の基礎的な概念や考え方などについて学んだ上で、個別具体的な税務会計処理について学んでいきます。本講義をきっかけに、なぜ課税所得は企業利益に調整を加えて算出されるのか、公平な課税はどのようにしたら実現できるのかということについて考えてもらえればと思います。

講義の内容・授業スケジュール

第1回：ガイダンス
第2~4回：税務会計の制度的基礎
第5~7回：法人税の基礎
第8~10回：課税所得計算の基礎
第11~15回：益金の会計
第16~24回：損金の会計
第24~27回：課税所得・税額の計算
第28回：申告・納付等
第29・30回：企業組織再編税制、連結納税制度

履修上の留意点

会計学の基礎的知識を前提として授業を行いますので、なるべく「簿記論」および「会計学基礎（会計学総論）」を履修した上で受講してください。

成績評価の方法

計算演習を行いますので、電卓を持参してください（講義内で指示します）。

教科書

成績評価は、出席点、授業内試験、定期試験の総合評価により行います。ただし、受講者数次第では、出席点を加味しない場合があります。
柳裕治他『税務会計論』（創世社）

履修コード	092311
科目名	上級簿記
担当者名	福島 隆

講義のねらい	本講義は、簿記論での学習内容を基礎として、株式会社における簿記を学習します。具体的には、株式会社で必要な簿記技法について説明します。株式会社の取引は、その種類および内容とも複雑化しています。そのような複雑化した取引について、理論と技法の両方を理解し、習得することが本講義の目的です。そのため授業中は、講義と問題演習を行います。レベルとしては、日商簿記2級の商業簿記を想定していますが、1級の導入部分についても簡単に解説する予定です。2008年度は、学生の要望が多かったため、商業簿記終了後は工業簿記を行いました。
講義の内容・授業スケジュール	本講義では、次のようなスケジュールを予定しています。授業中に2回中間試験を行います。 (1) ガイダンス (2) 現金預金 (3) 有価証券 (4・5) 手形 (6) 引当金 (7・8) 商品売買 (9・10) 特殊商品売買取引 (11) 固定資産 (12) 税金 (13・14) 株式会社会計 (15・16) 本支店会計 (17・18) 帳簿組織 (19～) 工業簿記、連結会計等 11月の日商簿記2級の試験までに、2級の商業簿記の範囲と(可能な限り)工業簿記を終わらせませす。
履修上の留意点	簿記は積み重ねが重要であるので、毎回出席して、復習に時間を当てることを希望します。受講生は毎回電卓を持参して下さい。なお、受講生は簿記論またはこれに相当する科目を履修したという前提のもとに(つまり、日商簿記3級程度の知識があることを前提として)、講義を行います。講義では3級の復習は必要最低限しか行いませんので、各自復習しておいてください。10分以上の遅刻は欠席扱いとします。
成績評価の方法	評価は、次のいずれかを自己の責任で選択してもらいます。 (1) 平常点重視型・出席10点、課題20点、中間試験40点(20点×2回)、定期試験30点。 (2) 試験重視型・中間試験60点(30点×2回)、定期試験40点。
教科書	福島隆「上級簿記」2,940円(税込)。駒澤大学で教えるためだけに作成したので、大学の売店でしか販売していません。
その他	授業の詳細については、1回目のガイダンスで説明しますので、履修を考えている学生は出席してください。

履修コード	095501
科目名	コンピュータ会計I
担当者名	鈴木 勝浩

講義のねらい	今日、コンピュータをはじめとする情報技術の進展及び高度化はめざましく、あらゆる社会活動がその影響をうけている。このような高度情報化の到来に伴って、近年、コンピュータ会計は、企業の規模や業種にかかわらず広く普及している。本講義では、コンピュータを前提とした会計情報システムについて、その現状と問題点を検討したうえで、表計算ソフトを利用して簡単な会計データ処理システムを設計し、そのシステムへのデータ入力の実習を行う。
講義の内容・授業スケジュール	(1) コンピュータ会計概論 (2) 会計情報とデータベース (3) 会計情報とシステム設計 (4) 表計算ソフトによる実習(基礎準備) (5) 表計算ソフトによる実習(勘定科目コード及びその他の会計情報コードの設計) (6) 表計算ソフトによる実習(仕訳データの作成) (7) 表計算ソフトによる実習(試算表の作成) (8) 表計算ソフトによる実習(決算処理) (9) 表計算ソフトによる実習(財務諸表の作成) (10) 表計算ソフトによる実習(取引の入力①) (11) 表計算ソフトによる実習会計(取引の入力②) (12) 表計算ソフトによる実習(財務分析) (13) 表計算ソフトによる実習(補助簿の作成①) (14) 表計算ソフトによる実習(補助簿の作成②) (15) 表計算ソフトによる実習(補助簿の作成③)
履修上の留意点	パソコン中級者以上を想定して講義をすすめるため、「基礎情報処理I・II」、「情報・経済ネットワーク論」、「コンピュータ基礎」等を履修済か、同等の能力を有することが求められる。また特に会計に関する知識を問わないが、簿記会計に関する基礎的な知識を有していればより理解が深まると思われる。
成績評価の方法	出席率及び課題の提出状況・内容等を総合的に評価する。
教科書	志村正著『エクセルで学ぶ会計情報の作成と分析』(創成社)
参考書等	講義中に適時指示する。
その他	本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがありますので、初回講義時には必ず出席してください。初回講義に出席できない人や質問は、以下のアドレス宛にメール連絡してください。 k2szk@komazawa-u.ac.jp また本講義は、総合情報センターに登録しないと受講できません。受講者は4月に4号館2F事務室に行き、登録してください。

履修コード	095601
科目名	コンピュータ会計II
担当者名	<small>すずき かつひろ</small> 鈴木 勝浩

講義のねらい

今日、高度情報化の到来に伴い、コンピュータ会計は企業の規模及び業種にかかわらず広く普及している。本講義は、従来の手書き会計とコンピュータ会計の相違点を明確にし、リアルタイムで会計情報の入手とその利用が可能である点を解説したうえで、パソコン演習を通じて上記の点を検証していく。まず表計算ソフトを利用して簡単な会計データ処理システムを設計し、その後会計パッケージを利用してその有用性を体感していく。

講義の内容・授業スケジュール

(1) コンピュータ会計概論 (2) 表計算ソフトによる実習(製造原価報告書・損益計算書)
(3) 表計算ソフトによる実習(貸借対照表・キャッシュフロー計算書) (4) 表計算ソフトによる実習(財務指標) (5) 表計算ソフトによる実習(売上データ) (6) 表計算ソフトによる実習(原価分解法) (7) 表計算ソフトによる実習(損益分岐点分析①) (8) 表計算ソフトによる実習(損益分岐点分析②) (9) 表計算ソフトによる実習(各種シミュレーション技法①) (10) 表計算ソフトによる実習(各種シミュレーション技法②) (11) 表計算ソフトによる実習(プロダクトミックス①) (12) 表計算ソフトによる実習(プロダクトミックス②) (13) 表計算ソフトによる実習(予算シミュレーション) (14) 表計算ソフトによる実習(予算コントロール) (15) 表計算ソフトによる実習(投資プロジェクトの評価法)

履修上の留意点

パソコン中級者以上を想定して講義をすすめるため、「基礎情報処理I・II」、「情報・経済ネットワーク論」、「コンピュータ基礎」履修済か、同等の能力を有することが求められる。

成績評価の方法

出席率及び課題の提出状況・内容等を総合的に評価する。

教科書

志村正著『エクセルで学ぶ会計情報の作成と分析』(創成社)

その他

本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがありますので、初回講義には必ず出席してください。初回講義に出席できない人や質問は、以下のアドレス宛にメールしてください。

k2szk@komazawa-u.ac.jp

また本講義は、総合情報センターに登録しないと受講できません。受講者は4月に4号館2F事務室に行き、登録してください。

専門教育

履修コード	097601
科目名	貿易論
担当者名	古沢 紘造 <small>ふるさわ こうぞう</small>

講義のねらい オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまでできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易（4～5回）
2. 水産物と貿易（1～2回）
3. 林産物と貿易（1～2回）
4. 鉱物資源と貿易（1～2回）
5. エネルギーと貿易（1～2回）
6. 工業製品と貿易（4～5回）

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

II. 政治・経済・社会と貿易

1. 自由貿易とその問題点（3～4回）
2. 開発援助と貿易（1～2回）
3. 軍事と貿易（1～2回）
4. 環境と貿易（1～2回）
5. WTOと貿易（2～3回）
6. グローバリゼーションと貿易（3～4回）
7. 持続可能な発展と貿易（1～2回）

成績評価の方法

本試験を基本とするが、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期のまとめ）などを総合して評価を行う。答案やまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

専門教育

履修コード	097801
科目名	銀行システム論
担当者名	さいとう たかし 齊藤 正

講義のねらい

07年夏に表面化した「サブプライム金融危機」は世界の金融システム全体を大きく揺るがしただけでなく、世界同時不況の懸念も増大させており、いまだその解決策が見えない状況にある。「サブプライム金融危機」の原因については、様々な視点からの検討が必要であるが、IMF＝ドル体制の下での行き過ぎた規制緩和と銀行の投機的活動への傾斜がその一つであることは明らかである。

日本政府も米国の動向に歩調を合わせ、「フリー、フェア、グローバルな金融市場」の実現を掲げた「日本版金融ビッグバン」及び小泉「構造改革」の下で日本の金融制度は大きく様変わりした。一方では、大手銀行の金融持株会社を通じた経営統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている。他方では、バブル崩壊後の長期不況、不良債権処理の遅れのなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安も高まった。

膨大な公的資金の注入と超低金利政策の結果、大手行は不良債権処理に目処をつけたが、地域金融機関に関してはなお厳しい状況が続ぎ、地域経済が深刻な衰退状況から脱却できない一因となっている。

こうした変化の激しい時代にあっても、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的発展」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が問われなければならない。

本講義では、現代の銀行が直面している諸問題を銀行の基礎理論に関連づけながら検討し、あるべき銀行の姿を考えてみたい。

(第1～2講) まず、講義へのガイダンスとして、1990年代以降、銀行が直面している諸問題を概観し、新聞紙上等でよく見聞きする基本的用語と「銀行論」との関連づけを行なう。

(第3～10講) では銀行の基礎理論の理解を中心に据える。

(第3～5講) 銀行制度の成立以前からすでに存在していた「金貸し業者」や「高利貸し」と「銀行」の違いがどこにあるのかを考えながら、「銀行」の基本的機能および経済社会(メーカー、流通業、消費者、さらに国家など)との関連を明らかにする。

(第6～10講) 銀行が一方で預金を受け入れ、他方で貸出を行っていることは広く知られている。しかし、銀行は受け入れた預金をそのまま貸し出すのではなく、「信用創造」という銀行のみに認められた方法で行い、その際「預金通貨」という「マネー」を供給する。このメカニズムを明らかにするとともに、インターネットバンキングや電子マネーなど、エレクトロニクス技術の発展にもとづいた「キャッシュレス社会」の意味について考える。

(第11～15講) では、現代の銀行が直面する諸問題と銀行論の関連づけを行なう。

(第11～13講) グローバル競争の実態をみながら、それが銀行のあり方にどのような問題(理論的・法的)を提起しているのかを考える。

(第14～15講) グローバル競争の激化の一方、金融リスクも高まり、「サブプライム金融危機」に見られるように、銀行システムが動揺する状況も出てきている。また、中小企業の借入難や多重債務問題といった「金融的排除」の克服も依然重要な課題である。経済発展に果たすべき銀行の役割という視点から望ましい銀行システムについて考える。

講義の内容・授業スケジュール

履修上の留意点

理解をさらに深めるために

1) 後期科目の「現代銀行事情」

2) 通年科目の「金融論」、「グローバルファイナンス」、後期科目の野村證券提供講座「現代産業事情III」を併せて履修されることが望ましい。

成績評価の方法

成績は、定期試験(またはレポート)(60点)と毎回のミニレポート(40点)によって評価する。講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。

教科書

教科書は特に指定しないが、最初の講義で紹介する。授業は毎回配布するレジメとパワーポイントによって進める。

参考書等

齊藤 正『戦後日本の中小企業金融』ミネルヴァ書房、2003年
 全国銀行協会金融調査部編『図説 わが国の銀行』財経詳報社
 日本銀行『新版 わが国の金融制度』

履修コード	097901
科目名	現代銀行事情
担当者名	齊藤 正

講義のねらい

「フリー、フェア、グローバルな金融市場」の実現を掲げた「日本版金融ビッグバン」及び小泉「構造改革」の下で日本の金融制度は大きく様変わりした。一方では、大手銀行の金融持株会社を通じた経営統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている。他方では、バブル崩壊後の長期不況、不良債権処理の遅れのなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安も高まった。

膨大な公的資金の注入と超低金利政策の結果、大手行は不良債権処理に目処をつけたが、地域金融機関に関してはなお厳しい状況が続き、地域経済が深刻な衰退状況から脱却できない一因となっている。

そうした中、07年夏に表面化した「サブプライム金融危機」は、世界の金融システム全体を大きく揺るがしただけでなく、世界同時不況の懸念も増大させており、いまだその解決策が見えない状況にある。

こうした変化の激しい時代にあっても、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が問われなければならない。

本講義では、戦後の日本経済に果たしてきた銀行の役割を具体的に検証し、今後のあるべき銀行の姿を考えてみたい。

講義は戦後の日本経済に果たした銀行の役割を時期ごとに検証する。

(1) 「専門的金融機関制度」といわれる戦後日本の金融制度の特徴とそれぞれの専門機関（普通銀行、長期金融機関、中小企業金融専門機関、証券会社、保険会社など）の役割を理解する。(1～2講)

(2) 時期区分は、おおまかに高度成長期（1974年まで）、低成長・自由化期（1985年まで）、バブル経済期（1990年まで）、グローバル期（1990年代以降）とし、欧米の動向も参考にしながらそれぞれの時期にどのような「銀行理論」が展開されていたのかを紹介する。(3～9講)

(3) 現代の銀行制度が抱えている主要な問題を浮かび上がらせる契機となったのが、80年代後半以降の「バブル経済」と90年代以降の「バブル崩壊」、「グローバル化」である。戦後銀行制度の抜本的改革を目指したビッグバン及び小泉「構造改革」を様々な角度から検討しながら望ましい銀行システムのあり方を考える。(10～14講)

(4) 激しく変容している金融制度をサブプライム金融危機を例に考える。(15講)

講義の内容・授業スケジュール

履修上の留意点

理解をさらに深めるために

- 1) 前期科目の「銀行システム論」
- 2) 通年科目の「金融論」、「グローバルファイナンス」、後期科目の野村証券提供講座「現代産業事情III」を併せて履修されることが望ましい。

成績評価の方法

成績は、定期試験（またはレポート）(60点)と毎回のミニレポート（40点）によって評価する。講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。

教科書

教科書は特に指定しないが、最初の講義で紹介する。

参考書等

- なお、授業は毎回配布するレジメとパワーポイントによって進める。
- 齊藤正『戦後日本の中小企業金融』ミネルヴァ書房、2003年
- 大橋・小西・齊藤・田村・平沢著『日本のビッグインダストリー6 金融』大月書店、2001年

履修コード	098011
科目名	グローバル・ファイナンス
担当者名	小西 宏美

講義のねらい	<p>本講義では、多国籍企業の生産、投資活動を金融の側面から支えてきたグローバル・ファイナンスの役割とその弊害について学習する。今日のグローバル化は多国籍企業の活動に因るところが大きい。たとえば多国籍企業による海外生産活動と企業内国際貿易、海外企業の買収などである。グローバル・ファイナンスは、こうした企業の国際的生産、投資活動を資金調達や為替リスク管理といった側面から支えてきた。</p> <p>しかし逆にグローバル・ファイナンスがもたらす問題もある。それは経済の「カジノ化」(カジノ資本主義)である。今アメリカ発の金融危機によって世界経済が混乱しているが、これも「カジノ資本主義」がもたらした問題と言える。本講義ではグローバル・ファイナンスの役割とその問題点を検討しながら、将来的に望ましい企業金融のあり方や金融システムの枠組みについて考える。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>I 多国籍企業の国際的生産体制とグローバル・ファイナンス (1～14) ユーロ市場、シンジケート・ローン、証券化、クロスボーダーM&A</p> <p>II 多国籍企業のリスク管理 (15～22) デリバティブ取引</p> <p>III 多国籍金融機関とカジノ資本主義 (23～28) 金融自由化と金融持株会社、ヘッジ・ファンド、カジノ資本主義</p>
履修上の留意点	<p>新聞やテレビ、インターネットなどで見聞きした情報を、授業時に得た知識と結びつけながら様々な事象の関連性を考えて下さい。</p>
成績評価の方法	<p>前期終了時点での授業内試験、後期終了後の定期試験、毎回のコメントカードへの記入の3点で評価します。</p>
教科書 参考書等	<p>指定しません。</p> <p>スーザン・ストレンジ (2007) 『カジノ資本主義』岩波現代文庫 (" Casino Capitalism" 1986) 1260円、978-4006001728</p> <p>上川孝夫、藤田誠一、向寿一 (2007) 『現代国際金融論 (第3版)』有斐閣ブックス、3045円、978-4641183469</p>
その他	<p>授業内で配布するプリントや毎回のコメントカードへの解答は YeStudy にアップしています。学習の参考にして下さい。</p>

履修コード	098001
科目名	証券市場論
担当者名	広田 真人

講義のねらい	<p>ファイナンス理論の裏づけなくして証券制度の理解はありえない。そこで講義の大部分はファイナンスの基礎理論の学習のために費やされる。最後に「金融ビックバン」の説明の際、「改革」の前提としての既存制度についても言及する。従って、本講義のキーワードは、「資本コスト」発見の場としての証券市場の役割となる</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>①「出席表一同様な事業内容を持つ日米両企業の株価等を毎週提出一」の説明一1週目</p> <p>②株式市場の存在理由一資本コスト発見機能を中心に一2～4週目</p> <p>③資産価値の評価一NPV・IRR、債券と株式の評価一5～8週目</p> <p>④株式投資におけるリスクαとβ一9～12週目</p> <p>⑤資本コストの計測とEVA一13～16週目</p> <p>⑥デリバティブの初歩一オプションを中心に一17～20週目</p> <p>⑦株価指数とインデックス運用一21～24週目</p> <p>⑧金融ビックバンの評価からみた日本の証券市場の特色一25～28週目</p>
履修上の留意点	<p>最初の授業で「出席表」の説明を行うので必ず出席すること</p>
成績評価の方法	<p>期末レポート (中間は未定)、ただし、問題数は計算問題を含めて10近く、全て回答すること一、追試は無し</p>
教科書 参考書等	<p>特になく、授業中にプリント配布</p> <p>井出・高橋『経営財務入門』 ¥3600 ISBN4-532-13312-2・『証券分析入門』(日本経済新聞社) 2003～2006年 ¥3000 ISBN4-532-13297-5</p>

履修コード	098101
科目名	保険論
担当者名	本間 照光 <small>ほんま てるみつ</small>

講義のねらい	<p>現代社会において、保険は、わたくしたちの生活のすみずみにまで浸透しています。保険なしには、わたくしたちは生きることも死ぬこともできなくなっているし、現代社会と経済も機能しえません。また、私的保険のほかに、社会保険があり、日本の社会保障の中心を占めています。</p> <p>本講義では、保険と社会保険の基礎的知識と今日的課題を学ぶとともに、保険を通じて現代社会のあり方をともに考えていきたい。双方向の授業であり、講義の中で、受講生の意見を求めることがあります。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>金融投機——なぜ世界最大の保険グループが破綻したのか</p> <p>保険大国の生活</p> <p>保険の歴史</p> <p>私的保険・社会保険・社会保障の関係</p> <p>保険の仕組みと機能</p> <p>金融機関としての保険会社</p> <p>日米保険協議と規制緩和</p> <p>保険の監督行政</p> <p>生命保険（生命保険の商品 保険契約の当事者・関係者 他人の生命の保険 福利厚生と保険団体生命保険問題）</p> <p>損害保険（損害保険の商品 自動車保険・自賠責保険 地震保険 原子力保険 再保険制度）</p> <p>共済（協同組合保険としての共済 消費者保護と消費者主権）</p> <p>社会保険（社会保険の歴史 健康保険 介護保険 年金制度 労災保険 雇用保険）</p> <p>社会保障の保険化政策</p>
成績評価の方法	定期試験、レポート、小テストによる総合評価。
教科書その他	<p>本間照光『保険の社会学——医療・くらし・原発・戦争』（勁草書房）3,800円</p> <p>履修希望者は、自分が学びたいことがらについて、400字2枚程度にまとめて提出してください（第3回目の授業時まで）。</p>

履修コード	097161
科目名	ビジネス事例研究
担当者名	百田 義治 <small>ひやくた よしはる</small>

講義のねらい	<p>この講義では、新たなビジネス・モデルを構築している企業、CSR経営を実践する先進的企業、あるいはベンチャー・ビジネス経営者、社会起業家、NPO代表、ファンド・マネジャーなど、さらにはスポーツ分野の指導者やジャーナリズムやマス・メディアで活躍する駒大関係者などを講師に招いて、ビジネスの実践、仕事の内容と社会的意義、指導者に求められるもの、大学時代に学んでおくべきこと、などについて幅広く語ってもらいます。このようなゲストスピーカーの話から、学生諸君は社会人として成長するために必要な貴重なアドバイスや体験、勉学上の刺激と知識を学ぶことができるでしょう。実践的・体験的な講義から「生きた知識」を学ぶことが本講義の目的です。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>ほぼ2回に1回のペースで講師を迎えて講義を受けます。金融、流通、商社、メーカー、外食、建設などさまざまなビジネス・パーソンや、自立した職業人を予定しています。詳細は授業開始までに講師の日程が決定次第、担当者（百田）のホームページ（http://www.komazawa-u.ac.jp/hyakuta/）でお知らせします。</p>
履修上の留意点	<p>講師の企業や職業について、予備的講義は行いますが、学生諸君もインターネットや新聞・雑誌など活用し、積極的に予備知識を獲得して参加してください。</p>
成績評価の方法	<p>各講師の話についてレポートを提出してもらいます。今学期は6人を予定しています。6回のレポート（1200～1600字）の評価と学期末の授業全体に関するレポート（4000字程度）で評価します。</p>
教科書等その他	<p>なし</p> <p>必要があれば授業で紹介します。</p> <p>この科目は、「トップ・マネジメント講座」（後期、2単位）とともに、履修制限（150名～200名）をします。最初の授業で履修制限の説明をします。授業における私語および携帯電話の使用は禁止します。また講師講演中の遅刻入場や途中退席はできません。</p>

履修コード	097171
科目名	トップ・マネジメント講座
担当者名	<small>ひやくた よしはる</small> 百田 義治

講義のねらい 本講義では、企業のトップ（経営者）の人達に、その貴重な経験を踏まえて、企業経営の実践、経営の真髄、コーポレート・ガバナンス、また職業観や人生観などを講演していただき、学生諸君とのディスカッションにも応じていただきます。経済学・経営学などの学習に大きな刺激となるだけでなく、経営者が学生に期待するものを知ることはキャリア・デザインにも大いに参考になることでしょう。企業と経営について、企業の経営者から体験的・経験的な生きた知識を学ぶことが本講義のねらいです。

講義の内容・授業スケジュール ほぼ2回に1回のペースで講師に講演していただきます。今年は6人の講師を予定しています。講師の方々の授業の前後の授業日には、予習（企業やテーマの紹介など）と復習（講演の理解を深めるためのフォローアップ）を行います。講師の詳細は9月までに決定し、担当者（百田）のホームページでお知らせします（<http://www.komazawa-u.ac.jp/hyakuta/>）。

履修上の留意点 予備的講義を予習として行いますが、学生諸君もインターネットや新聞・雑誌など活用し、積極的に予備知識を獲得して参加し、ディスカッションにも積極的に参加してください。

成績評価の方法 各講師の話についてレポートを提出してもらいます。今学期は6回のレポート（1200～1600字）の評価と学期末の授業全体に関するレポート（4000字程度）で評価します。

教科書 なし
参考書等 必要に応じて授業で紹介いたします。
その他 この科目は、「ビジネス事例研究」（前期、2単位）とともに、履修制限（150名～200名）をします。4月の「ビジネス事例研究」の最初の授業で履修制限の説明をします。授業における私語および携帯電話の使用は禁止します。また講師講演中の遅刻入場や途中退席はできません。

専門教育

履修コード	097141
科目名	ビジネス英会話 a
担当者名	<small>いのうえ あいこ</small> 井上 愛子

講義のねらい 本講義の目的はビジネス英会話の基礎を学び応用練習をすることです。英語を使ってビジネスをする状況は異文化コミュニケーションの場ですので、ビジネスマナーのみならず文化背景の違う相手に対する配慮を学ぶことも重要です。授業では、語彙や英語表現をはじめとする言語コミュニケーションと同時にアイコンタクト、ジェスチャーなどの非言語コミュニケーションについても学習し、多様なビジネスの状況に役立つスキルを学習していきます。

講義の内容・授業スケジュール 講義
 1回目 インTRODクッション
 2－4回目 異文化コミュニケーションの学習とテキストに沿ったロールプレイ
 5－6回目 プレゼンテーション
 7－10回目 ビジネスマナー学習とグループプレゼンテーションの準備
 11－12回目 プレゼンテーション
 13－15回目 総合演習

履修上の留意点 社会人としてのマナーの練習だと思って授業に臨んでください。履修希望者は初回講義に必ず出席してください。

成績評価の方法 出席点、プレゼンテーション、小テスト、課題提出物、テストなどを総合的に評価します。
教科書 ディビッド・ワグナー ビジネス英語速攻ハンドブック ワグナー・メソッド エクセレント・マニュアル「電話」コミュニケーション編 「ミーティング」マネジメント編 朝日出版社 1400円 ISBN4-255-99045-X

参考書等 適宜授業中に案内します。
その他 英会話はスポーツのようなもので、お手本を真似して練習しながら自分のスタイルを体得していくものです。アウトプット重視の授業ですが、失敗はありません。フィードバックがあるのみです。どんどんトライしましょう。

履修コード	097151
科目名	ビジネス英会話 b
担当者名	井上 愛子

講義のねらい 本講義の目的はビジネス英会話の基礎を学び応用練習をすることです。英語を使ってビジネスをする状況は異文化コミュニケーションの場ですので、ビジネスマナーのみならず文化背景の違う相手に対する配慮を学ぶことも重要です。授業では、語彙や英語表現をはじめとする言語コミュニケーションと同時にアイコンタクト、ジェスチャーなどの非言語コミュニケーションについても学習し、多様なビジネスの状況に役立つスキルを学習していきます。

**講義の内容・
授業スケジュール**

講義

- 1回目 イントロダクション
- 2-4回目 異文化コミュニケーションの学習とテキストに沿ったロールプレイ
- 5-6回目 プレゼンテーション
- 7-10回目 ビジネスマナー学習とグループプレゼンテーションの準備
- 11-12回目 プレゼンテーション
- 13-15回目 総合演習

履修上の留意点

社会人としてのマナーの練習だと思って授業に臨んでください。履修希望者は初回講義に必ず出席してください。

**成績評価の方法
教科書**

出席点、プレゼンテーション、小テスト、課題提出物、テストなどを総合的に評価します。
ディビッド・ワグナー ビジネス英語速攻ハンドブック ワグナー・メソッド エクセレント・マニュアル「電話」コミュニケーション編 「ミーティング」マネジメント編 朝日出版社
1400円 ISBN-255-99044-1

**参考書等
その他**

適宜授業中に案内します。
英会話はスポーツのようなもので、お手本を真似して練習しながら自分のスタイルを体得していくものです。アウトプット重視の授業ですが、失敗はありません。フィードバックがあるのみです。どんどんトライしましょう。

履修コード	099311
科目名	ビジネス・インターンシップ a
担当者名	吉田 敬一・松田 健

講義のねらい 「ビジネス・インターンシップ a」は、皆さんが企業や団体での現場研修を受けるために必要な社会的常識や作法・知識を身につけるための科目です。

**講義の内容・
授業スケジュール**

また現場研修に関わる「ビジネス・インターンシップ b」を受講するためには、この科目の単位の修得が条件になりますので、真剣に受講することが求められます。

「ビジネス・インターンシップ a」では、教室での授業を通じて、企業に入ってから現場研修で最低限必要な社会人としての素養や基礎知識を修得するために必要な準備トレーニングを行います。経営者・団体役員・専門家を招聘し、次のような点を目標にして授業を進めます。

- ・ 講義ガイダンス (1)
- ・ インターンシップの目標とプログラムについての理解 (2~3)
- ・ 仕事のルールとビジネスマナーの修得 (4~8)
- ・ 自己分析トレーニングと各自の目標・計画の設定 (9~10)
- ・ インターンシップ先についての研究 (11~12)
- ・ インターンシップ先の確定と研修計画の相談 (13~15)

履修上の留意点

(1) この科目は a (前期) と b (後期) に分かれています。登録時は必ず ab 2つセットで登録してください。a のみ、あるいは b のみの登録および履修は認めません。

(2) 単位認定は、a、b それぞれに2単位を認めますが、a (前期) の2単位を修得できなかった場合は、b (後期) の履修と単位は認められません。

(3) ビジネス・インターンシップ a (前期) を登録・履修できる商学科・現代応用経済学科の学生は、演習IIIに所属している3年生だけです。

(4) 受講希望者は、最初の授業に必ず出席してください。

成績評価の方法

出席点と授業中の課題とレポートおよび受講態度で総合的に評価します。授業に対する取り組み方自体も、インターンシップに対する心構えの一環となりますので、安易な考えで受講しないようにしてください。

教科書

教科書は使用しません。必要に応じてプリントを配布します。
社会に出るとメモの取り方も重要なポイントになりますので、5W1Hの観点からメモを取る方法を身につけるように努力してください。

履修コード	099321
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	吉田 敬一・松田 健

講義のねらい

「ビジネス・インターンシップ b」は皆さんが企業や団体での現場研修を受けてもらい、そうした就業体験を通じて、活きた経済・経営の動向を理解し、より高度な専門学習への意欲を高めることをねらいとしたユニークな科目です。受講生の自覚と責任がきびしく要求されますが、そうしたハードルを越えることで貴重な体験学習をすることができます。研修先は、中小企業が中心ですが、そのほかにも商店、生協、NGO・NPO、自治体など多様な体験のできる場を予定しています。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 実際の研修は夏休み期間に実施されます。原則として、8月上旬から9月上旬に約2週間の研修を行います。

(2) 後期は、研修についてのレポート作成を行います。また「インターンシップ報告書」の刊行も予定しています。

履修上の留意点

次の点を必ず確認して履修してください。

1. 無責任な受講はやめましょう。インターンシップ b は多くの企業・団体のご協力によって行われます。無責任な受講は、研修先に多大なご迷惑をかけることとなりますので、注意してください。
2. ビジネス・インターンシップ a の単位を修得していないと、現場研修を内容とするビジネス・インターンシップ b を受けることはできません。
3. 研修の際の経費（交通費や被服費等）は受講生の自己負担となりますので、了解しておいてください。あくまで研修ですので、勤務報酬も出ません。
4. ビジネス・インターンシップ b を受講できる学生は、演習IIに所属している3年生に限定されます。

成績評価の方法

基本的には研修後のレポートによって成績評価しますが、研修先の評価なども参考にして判断します。

専門教育

履修コード	100951
科目名	ビジネス・インターンシップ a
担当者名	大石 雄爾・溝手 芳計

講義のねらい

「ビジネス・インターンシップ a」は、皆さんが企業や団体で現場の実習を受けるために必要な社会的常識や作法・知識を身につけるための科目です。

実習科目である「ビジネス・インターンシップ b」を受講するには、この科目の単位を修得することが条件となるため、真剣に受講することが求められます。

講義の内容・授業スケジュール

「ビジネス・インターンシップ a」では、教室での授業を通じて、企業等の現場における実習で最低限必要な、社会人としての素養や基礎知識を習得するための準備トレーニングを行います。ビジネス研修の専門家・団体役員等を招聘し、次のような点を目標にして授業を進めます。

- ・講義ガイダンス (1)
- ・インターンシップの目標とプログラムについての理解 (2~3)
- ・仕事のルールとビジネスマナーの修得 (4~6)
- ・自己分析トレーニングと各自の目標・計画の設定 (7~8)
- ・インターンシップ先の確定作業とその研究 (9~12)
(各ゼミで、ゼミ担当教員の指導のもとに進める)
- ・実習先企業・団体に関する資料を作成する (13~14)
- ・インターンシップ実習先の確定と研修計画の相談 (15)
(各ゼミで、ゼミ担当教員の指導のもとに進める)

*授業計画が事情により多少変わる場合があります。

履修上の留意点

①この科目は、経済学科の3年次生のみを対象として開講されている専門・選択科目です。実習科目である「ビジネス・インターンシップ b」(後期)を履修するためには、この「ビジネス・インターンシップ a」(前期)を履修し、単位を修得することが必要となります。受講希望者は、第1回目の講義時間に必ず出席してください。

②「ビジネス・インターンシップ b」(実習科目、後期)は、演習IIの担当者がこの科目を開講しているゼミの学生のみ履修が可能です。履修登録前に、開講されているかどうかを必ず確認してください。

③履修登録のさいには、必ず「a」「b」の2科目をセットで登録してください。

成績評価の方法

出席点と授業中の課題とレポートおよび受講態度で総合的に評価します。授業に対する取り組み方自体も、インターンシップに対する心構えの一環となりますので、安易な考えで受講しないようにしてください。

教科書

教科書は使用しません。必要に応じてプリントを配布します。

社会に出ると、メモの取り方も重要なポイントとなりますので、5 W1Hを絶えず考えてメモをとるという方法を身につけるよう努力してください。

履修コード	112951
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	<small>わたなべ けいいち</small> 渡邊 恵一
講義のねらい	3年次の夏期休暇中、企業や各種団体で一定期間研修に従事し、その職場経験を大学における専門学習、あるいは自分の進路選択に生かす。
講義の内容・授業スケジュール	①前期にビジネス・インターンシップ a を受講するとともに、各自で研修先を確定、②夏季休暇中、企業や各種団体で研修に従事、③研修の成果を報告書として作成・提出
履修上の留意点	対象は担当者の演習Ⅱを受講する3年生のみ。前期開講のビジネス・インターンシップ a の単位修得ができなかった場合、この科目の履修は認められない。
成績評価の方法	研修報告書および受講生との面談から総合的に判断する。

履修コード	113011
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	<small>いしかわ じゆんじ</small> 石川 純治
講義のねらい	インターンシップのねらいは、企業や団体での現場実習を通して専門的な就業体験をすることにあります。受講生の自覚と責任がきびしく要求される科目です。 ゼミにて説明します。
講義の内容・授業スケジュール	
履修上の留意点	このインターンシップは私の演習Ⅱに所属する経済学科の学生しか取れません。演習の中で希望者と相談したいと思います。
成績評価の方法	事前の講義への出席点とインターンシップ研修および事後のレポートで評価します。
教科書	講義の際に必要な資料を配布します。
その他	3年次生のみ履修可能な科目です。

履修コード	113021
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	<small>いしかわ ゆうじ</small> 石川 祐二
講義のねらい	インターンシップは、学生が企業等で実習する体験を通じて、働くことの意味を考えることを目的としています。
講義の内容・授業スケジュール	7月：インターンシップ先の決定 8月～9月上旬：インターンシップ研修 9月～10月：研修についてのレポート作成
履修上の留意点	インターンシップは、演習Ⅲに所属する学生のうち、経済学科の学生に履修が限定されます。また、企業等にお世話になるため、自らの責任を自覚して下さい。
成績評価の方法	研修内容とレポートを中心に評価します。
教科書	適宜指示します。
その他	3年次生のみ履修可能です。

履修コード	113031
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	<small>いわたみ ふみたか</small> 岩波 文孝
講義のねらい	ビジネス・インターンシップは、企業や団体の現場実習を通じて就業体験をすることにより、自分の適性を発見し、就業することや社会について認識を深め、人生設計など自らの将来像を描くための授業です。
講義の内容・授業スケジュール	研修に関する自己評価（1～5）、研修に関するレポート作成（6～10）、レポートに基づく発表（11～13）、各受講生における今後の課題に関するレポートの作成（14～15）
履修上の留意点	現場実習を行なうので、受講生の自覚と責任がきびしく要求されます。この科目は、演習Ⅱ（岩波ゼミ）を受講する経済学科の学生のみが履修できます。受け入れ先や研修の調整作業が必要となるとともに、受け入れ先の都合で、時期・期間が変更になることもあります。 次の点を必ず確認して履修してください。 1. 無責任な受講はやめましょう。インターンシップ b は多くの企業・団体のご協力によって行われます。無責任な受講は、研修先に多大なご迷惑をかけることとなりますので、注意してください。 2. 研修の際の経費（交通費や被服費等）は受講生の自己負担となりますので、了解しておいてください。あくまで研修ですので、勤務報酬も出ません。
成績評価の方法	インターンシップ事前準備、インターンシップ受け入れ先からの報告、および事後研修レポートにより評価します。
その他	演習Ⅱ（岩波ゼミ）を履修する3年次生のみ履修可能な科目です。

履修コード	113041
科目名	ビジネス・インターンシップb
担当者名	松本 典子

講義のねらい	ビジネス・インターンシップは、学生が企業やNPO等での就業体験を通じて、働くことの意味を考えることを目的としています。
講義の内容・授業スケジュール	4月：履修登録後、履修生の希望を受けて、受け入れ先との調整を行います。 主にNPO法人、財団法人、社会福祉法人、をインターンシップ先として検討します。 7月：事前研修 8月～9月：1～2週間程度の就業体験 10月～12月：事後研修、レポートの作成
履修上の留意点	松本典子ゼミの演習IIの受講生のみが登録できます。
成績評価の方法	ビジネス・インターンシップ a を必ず履修してください。 研修後のレポートおよび研修先の評価によって総合的に評価します。

履修コード	113051
科目名	ビジネス・インターンシップb
担当者名	齊藤 達正

講義のねらい	社会や産業の各分野の専門化が進み、他の人がどんな仕事をしているのか分かりづらくなってきています。さらに、テレビや情報機器の発達で断片的知識や印象は持てても、実感が伴わず、将来の進路について具体的なイメージを描くことが難しい時代となっています。インターンシップは現実の職場を体験することで、自分の適性を発見し、職業や社会について再認識し、将来像を描くことができるような契機となることを目的として行われます。
講義の内容・授業スケジュール	4月までにインターンシップの希望と受け入れ先の調整を進めます。 4月に履修登録。 7月に事前研修。 夏休みまたは後期授業期間中に就業体験（2週間程度） 終了後事後研修（レポート作成）など
履修上の留意点	受け入れ先や研修の日程など調整作業が必要です。それ自体、研修の一部と考えてください。
成績評価の方法	受け入れ先からの報告と、事後研修レポートで評価します。
その他	3年次生のみ履修可能な科目です。

履修コード	113061
科目名	ビジネス・インターンシップb
担当者名	清水 卓

講義のねらい	インターンシップという科目が設けられたのは比較的最近のことです。その背景には、大学卒業生の3割が新規就職して3年以内に転職するという現象に現れているように、自己の適性にあった安定的な就職先を見つけることが困難となってきたことがあります。企業や団体その他公的機関等も、テレビなどの一般向PR情報では、その実際の姿を知ることはできません。学生時代に企業や団体の現場を直接経験することで、自分を活かせる産業や企業など、就職先の選択を確かなものとすることができます。そして現場に立つことによって、今まで気が付かなかった自分の本当の姿を発見することもできるでしょう。
講義の内容・授業スケジュール	前期は講義形式での授業、夏休みに企業研修体験、後期に報告書をさまざまな資料を参考にして報告文書を作成します。
履修上の留意点	このインターンシップは私の演習II参加者のみ受講可能です。 履修登録する人は、可能な限り至急私と連絡を取ってください。
成績評価の方法	事前の準備の質と量、事後のレポートで評価します。
教科書	適宜指示します。

履修コード	113071
科目名	ビジネス・インターンシップb
担当者名	代田 純

講義の内容・授業スケジュール	相手先の都合により変更となる可能性があるものの、岡三証券本社において夏休み中に3～4日間のインターンシップを予定している。
履修上の留意点	インターン期間中は岡三証券の社員と一緒にになります。このため男子の場合、茶髪、ひげ、長髪等は禁止されます。女子もこれに準じます。スーツ着用になります。
成績評価の方法	成績評価については、インターンの出席と相手先からの評価、事後のレポートで決定する。
その他	希望者多数の場合は、選抜となる。また留学生は日本語水準が高いことが必要です。

履修コード	113081
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	瀬戸岡 紘 <small>せとおか ひろし</small>

講義のねらい	企業、商店、NGO、芸術団体、自治体など実際に経済活動や社会活動をおこなっている現場に向いて作業や労働を経験してもらうことが目標です。相応の責任感が要求されますが、大学のキャンパス内では学べない多くのことを体験学習することができます。本学の構内は決して広くはありませんが、学外の広い世界をいわば広義の学園と見立てて大学生活にふくらみをもたせてみることをお勧めします。
講義の内容・授業スケジュール	この科目のスケジュールは、大きく三つの時期にわけられます。 前期は、学内の教室でおこなわれる授業をとおして、インターンシップをおこなうための基礎的知識の習得や最小限の基礎的訓練をおこないます。 夏休みには、現場での実際の研修をおこないます。 後期は、現場での研修について、レポートの作成と発表会をおこないます。
履修上の留意点	現場の作業や労働の迷惑にならないよう、責任を自覚できる学生に受講してもらいます。研修先を自分で探してくる学生は歓迎します。インターンシップに必要な交通費や衣服などの諸経費は自己負担になります。また、あくまで研修というたてまえから、報酬は支給されないことを了解しておいてください。
成績評価の方法 教科書	学内での授業、研修先からの評価、レポートや発表などを総合的に評価します。とくにありません。ただし、随時、必要と思われるプリント等の配布はいたします。

履修コード	113091
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	百田 義治 <small>ひやくた よしはる</small>

講義のねらい	本科目は学生が企業や各種団体において現場研修を受け、その就業体験を通じて企業経営や団体活動の実際・動向を理解し、大学における専門科目の学習意欲を高めることを目指しています。
講義の内容・授業スケジュール	本科目では、講義にあたるものは、インターンシップ先における実際の研修です。研修期間は、原則として、夏休み期間です。通常は、約2週間～1ヶ月の研修が実施されます。
履修上の留意点	本科目は、百田ゼミの演習IIの受講生のみが登録できます。また、「ビジネス・インターンシップ a」の単位を修得していない学生は「ビジネス・インターンシップ b」を受けることはできません。
成績評価の方法	研修後のレポートおよび研修先の評価によって成績評価します。

履修コード	113111
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	姉齒 暁 <small>あねは あき</small>

講義の内容・授業スケジュール	インターンシップという制度は、学生のみさんが、社会に出る前に企業・商店・団体等の現場で実際に就業を体験するものです。この研修を通じて、イメージだけで語られることの多い「仕事」の実際を垣間見ることができます。皆さんは、この経験を通じて、自分がどんな仕事に就きたいのか、自分に合った仕事は何かといった疑問に対する答えを得られるでしょう。この演習が、ブランド名やイメージだけにとらわれず、自分の適性を活かす道を見つけられる一助となるよう、企業選びから研修、その後のまとめに至るまで相談しながら進めていきたいと思います。 インターンシップ研修そのものは夏休み中に行われることとなります。数ある研修先企業・団体の中から研修先を選定し、研修前に行き先についての予習もしておきましょう。 研修終了後、レポートを提出してもらいます。
履修上の留意点	この演習を受けるものは、演習IIを履修しているものに限ります。
成績評価の方法 教科書 参考書等	研修後の「レポート」等の提出物により評価します。 研修先・研修目的等にあわせて適宜指示します。 研修先・研修目的等にあわせて適宜指示します。

履修コード	113121
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	光岡 博美 <small>みつおか ひろみ</small>

講義の内容・授業スケジュール	ビジネス・インターンシップは、演習IIの履修者（3年生）のみを対象とする。具体的な取り組みについては、最初の授業で、希望者と打ち合わせを行う。インターンシップを希望する学生は、(イ) どのような業種、企業を希望するか (ロ) 学生自身がインターンシップの志望先を確保しているか否かについて話し合うことにする。志望先のない学生は私の側で、相手先の企業 etc を探す努力をしてみたい。
成績評価の方法	インターンシップ研修前の課題レポートと研修後のレポートで評価します。

履修コード	113131
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	谷敷 正光

講義のねらい インターンシップとは、学生が在学中に、企業、学校、教育委員会その他公共施設、各種団体などで研修生として「就業（職場）体験」を積むための制度です。

インターンシップによって、実社会＝職場の実態を知り、自らの専攻分野や関心分野について大学の講義では学べない具体的な知識を得、自己の適性を的確に判断しながら、進路の選択や人生設計における主体性と問題解決能力の強化を図ろうとするものです。

大学での普段の学習方式とは異なり、仕事の大変さや厳しさ、責任の重さややりがい（生きがい）など「就業（職場）体験」で得たものは、きっと貴重な生きた知識になるとともに就職活動の自己啓発にも大いに役立ちます。受け入れ先によっては企業経営に参加させてくれるなど、思わぬ貴重な体験をすることがあります。

**講義の内容・
授業スケジュール**

前期 「インターンシップ a」履修

後期 「インターンシップ b」履修

①前期5～7月頃、就業体験ができる受け入れ先を探す。

②【受け入れ先】

・ 各自で探す（インターンシップ紹介サイトなどで探す。サイトは授業中に紹介する。）

・ 経済学科で紹介する企業から探す。

・ キャリアセンターが実施するインターンシップを利用する。

③就業体験受け入れ先が決定したら「受け入れ先決定報告書」を演習（II）担当教員に提出。

④就業体験前に受け入れ先への挨拶と書類持参、受け入れ先との打ち合わせを行う。

⑤夏休みなどを利用して1週間程度インターンシップを実践。

⑥10～11月頃レポート「インターンシップ報告」作成し、演習（II）担当教員に提出。

⑦『インターンシップ報告書』作成＝「インターンシップ報告」をインターンシップ担当教員に提出（④と同じもの）。

履修上の留意点

（1）インターンシップは目的意識を持って参加すること。

（2）インターンシップでは、受け入れ先との信頼関係の構築が大切です。

（3）スケジュールは、受け入れ先の都合で時期・期間はいろいろです。

**成績評価の方法
教科書**

受け入れ先からの「就業報告」とレポート「インターンシップ報告」などで評価します。

その都度、必要な資料を配布する。

受け入れ先に関する資料を配布する。

参考書等

檜谷芳彦著『大学3年生になったらすぐ読む本』大和書房 619円。

『高感度をアップさせる「モノの言いよう」』PHP新書 514円。

武田哲男著『「顧客満足」の常識』PHPビジネス新書 800円。

高井伸夫著『3分以内に話はまとめなさい』かんき出版 1300円。

梅沢正著『職業とキャリア』学文社 2415円。

古関博美著『インターンシップ』学文社 2100円。

高良和武著『インターンシップとキャリア』学文社 2520円。

野田・浜田著『会社のしくみが分かる本』日系ビジネス新書 667円。

川合雅子著『キャリア発掘わたしの適性・適職発見』学文社 1575円。

その他

ゼミ3年次生のみ履修が可能な科目です。「インターンシップ a」の履修を済ませることが必要です。

履修コード	113141
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	吉田 敬一

講義のねらい 「ビジネス・インターンシップ b」は皆さんに企業や団体での現場研修を受けてもらい、そうした就業体験を通じて、活きた経済・経営の動向を理解し、より高度な専門学習への意欲を高めることをねらいとした科目です。

**講義の内容・
授業スケジュール**

実際の研修は原則として夏休み期間に実施されます。8月末ないしは9月初めに約2週間の研修を行いません。

成績評価の方法

基本的には研修後のレポートによって成績評価しますが、研修先の評価なども参考にして判断します。

その他

*次の点を必ず確認して履修してください。

①吉田ゼミの演習IIを受講している経済学科3年生のみが登録できます。

②ビジネス・インターンシップ a の単位を修得していないと、現場研修を内容とするビジネス・インターンシップ b を受けることはできません。

専
門
教
育

履修コード	113151
科目名	ビジネス・インターンシップb
担当者名	おおいし ゆうじ 大石 雄爾

講義のねらい インターンシップのねらいは、学生が企業等の実習を通して就業体験をし、働くことの意味を考
えることにあります。

講義の内容・授業スケジュール ゼミにて説明します。

履修上の留意点 このインターンシップは、私の演習IIに所属する経済学科の学生のみ履修することができます。
希望する学生は、前期科目「ビジネス・インターンシップa」を履修することが必要です。

成績評価の方法 インターンシップ研修報告書および事後のレポートで評価します。

履修コード	113161
科目名	ビジネス・インターンシップb
担当者名	なかすみ みつあき 中済 光昭

講義のねらい 企業の現場に出向いて、どのような仕事をするのかを経験してもらうことがこの講義の狙いです。

講義の内容・授業スケジュール ビジネス・インターンシップ a やゼミにおいてインターンシップをおこなうための基礎的知識の
習得や最小限の基礎的訓練をおこないます。
夏休み等長期休暇を中心に1～2週間程度、現場での実際の研修をおこないます。終了時にインター
ンシップについて、レポートの作成と発表会をおこないます。

履修上の留意点 ・会社の迷惑にならないよう、責任を自覚できる学生に受講してもらいます。無断遅刻・欠席が
あった場合、インターンシップを打ち切ります。
・インターンシップでは、報酬などが支給されませんので、あらかじめ了解ください。

成績評価の方法 ゼミでのビジネスマナー等に関する評価、研修先の評価、レポートや発表などを総合的に評価し
ます。

教科書等その他 とくにありません。必要と思われるプリント等の配布はいたします。
とくにありません。必要と思われるプリント等の配布はいたします。
* 次の条件を満たさない場合受講できません。確認してから履修してください。
・中済ゼミの演習IIを受講している3年生のみが登録できます。
・ビジネス・インターンシップaの単位を修得していないと、現場研修を内容とするビジネス・イ
ンターンシップbを受けることはできません。
・演習II担当教員(中済)・就業体験受け入れ先・学生の3者間でインターンシップに関する基本
的な合意が得られた後派遣します。

履修コード	113171
科目名	ビジネス・インターンシップb
担当者名	あべ ひろし 阿部 弘

講義のねらい この演習では、企業社会の現実・内容などについて、演習を通じて体現していくことが要求され
る。

講義の内容・授業スケジュール 演習は次の3つの過程を経る。
(1)：前期中に希望する職種の決定と実習先の選定。関連する授業等の履修。
(2)：夏季〈8月〉に実習をする。
(3)：後期に、実習のまとめと報告書の作成。

成績評価の方法 定期試験などはしない。評価は「スケジュール」の総合的評価とする。

その他 この演習講義は、阿部弘ゼミナール(演習II)生にのみ履修が許可される。なお、参考文献など
はその都度指定する。

履修コード	113181
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	北口 ^{きたぐち} りえ

講義のねらい	ビジネス・インターンシップは、企業など実際の職場で就業体験をすることにより、働くということがどういうことなのか、自分の適性にあった仕事はどのような仕事なのかということについて考え、就職活動において自己の適性にあった就職先を主体的に選択することができるようになることを目的としています。
講義の内容・授業スケジュール	ゼミにて説明します。
履修上の留意点	私の演習Ⅱに所属する経済学科の学生のみ履修できます。
成績評価の方法	インターンシップの研修状況や研修後の報告書等により評価します。
教科書	3年次生のみ履修可能な科目です。 「ビジネス・インターンシップ a」の単位を修得していないと、「ビジネス・インターンシップ b」を履修することはできません。

履修コード	113191
科目名	ビジネス・インターンシップ b
担当者名	溝手 ^{みぞて} 芳計 ^{よしけい}

講義のねらい	ビジネス・インターンシップ b は、企業や団体での就業体験をとおして、働くことの意味や職業人としての基本姿勢を身につけ、あわせて大学での専門科目の学習意欲を高めることを目的とする科目です。
講義の内容・授業スケジュール	研修期間は、原則として夏休みですが、研修先探しや受け入れ先との打ち合わせ等のため、前期からの取り組みが必要です。詳しくは、4月最初の演習Ⅱの時間に説明します。
履修上の留意点	<p>(1) この科目は、経済学科、同FAの学生で溝手担当の「演習Ⅱ」の受講生しか履修できません。</p> <p>(2) 「ビジネス・インターンシップ a」(経済学科向け)をきちんと履修してください。</p> <p>(3) 研修先は、原則として受講生の責任で探してください。</p> <p>(4) インターンシップの研修は、受け入れ先の企業・団体のご協力を頼って行われます。無責任な行為は、ご好意をアダで返すこととなりますので、安易な気持ちでの履修は避けてください。</p> <p>(5) 研修に要する費用(交通費等)は受講者の自己負担となります。あくまで研修ですので、報酬はありません。</p>
成績評価の方法	研修先による評価、事後レポートで評価します。

履修コード	101001
科目名	現代産業事情I
担当者名	曾我 ^{そが} 信孝

講義のねらい

われわれの身の回りには輸入品があふれている。高額な有名ブランド商品から安価な日用品や食料品までその幅は広い。高額な商品は、一般的には大規模な企業が生産したものであることから、日本のニーズを十分に調査し、そのニーズにあったものが投入されている。それは、世界的ニーズのある高額商品の国際市場が狭隘化し、国際競争が著しく激化していることから、緻密なマーケティングが展開されているためである。

反面で、およそマーケティングを展開するほどの力のない中小企業の製品であろうと思われる安価な日用品が、日本のニーズにしっかり対応している。周知のように、それらは日本企業が海外で生産したものや、開発輸入したものであるためである。当然その相手国は、生産コストを抑えることを目的としているので、途上国であることはいうまでもない。

それらの急成長してきた途上国のインフラ整備や生産技術の指導などにかかわってきた企業人に直接お話を聞きながら、日本企業の国際化と日本における消費の国際化の過程を考えてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1～2回 日本企業の国際マーケティングと現地化政策
- 3～5回 中国における生産技術の向上の指導の実態について
(元横河電機 現地責任者)
- 6～8回 インドにおける生産技術の移転の実態について
(元横河電機 現地責任者)
- 9～11回 中国におけるアパレル工場の生産管理の実態について
(元三菱商事 現地指導員)
- 12～14回 中国の港湾設計にかかわる経済的背景について
(国際産業設計士) …現在交渉中

履修上の留意点

15回 まとめ
講義の多くの部分を教職経験のない企業人にしてもらうので、私語など失礼な行為の無いようお願いしたい。また、講義中の注意などは出来ませんので、他の受講生の迷惑になるような行為は避けていただきたい。

成績評価の方法
教科書
参考書等

平常の出席状況や授業内での小テストを総合して評価する。
なし
必要に応じて紹介する。

専門
教育

履修コード	101201
科目名	現代産業事情III
担当者名	王 志安

講義のねらい

野村ホールディングスの提供による本講座は、「資本市場の役割と証券投資」をテーマとして、野村ホールディングス、野村総合研究所の現役スタッフによって講義される。証券投資に関する基礎から出発するので、証券業務にはじめて触れる者にも十分対応しうる授業である。また、現役スタッフによる「現場」の動向をも織り交ぜた講義であり、証券業界のみならず、広く金融業界への就職を検討する際に大いに参考になることが期待される。

講義の内容・授業スケジュール

以下の進行を予定しているが、講師の都合によって変更される場合があるので、毎回の授業においてスケジュールを確認しておくこと。

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 経済情報の捉え方
- 第3回 証券投資のリスク・リターン
- 第4回 ポートフォリオ・マネジメント
- 第5回 企業とCSR
- 第6回 債権市場の役割と投資の基礎知識
- 第7回 株式市場の役割と投資の基礎知識（1）
- 第8回 株式市場の役割と投資の基礎知識（2）
- 第9回 投資信託の役割とその仕組み
- 第10回 日本の株式市場の歴史
- 第11回 経済成長と金融資本市場
- 第12回 資本市場における投資家心理
- 第13回 資産運用とライフ・プランニング
- 第14回 レポートの講評
- 第15回 まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

定期試験および追試験は実施しない。
出席点とレポート点で評価する。
毎回資料を配布する。授業ではパワーポイントを用いる予定。
野村証券投資情報部編『証券投資の基礎』丸善。
氏家純一編『日本の資本市場』東洋経済新報社。

その他の

企業の現役スタッフによる講義であり、定刻に開始し、4年生の就職活動による場合を除き、原則として遅刻は認めない。授業中の私語は厳禁。受講態度に問題がある場合、退室を指導することがある。

専門教育

履修コード	O95321
科目名	情報の経済学
担当者名	館 健太郎

講義のねらい

入門レベルでのミクロ経済学では、人々が選択を行うために必要な情報はすべて容易に入手できると想定していた。しかし、現実には、人々は先の見えない不確実な状況におかれていたり、人に保有する情報が異なっていることがしばしば見られる。もし人々がこのような状況にあるときには、結果はどのように変化するだろうか？また、情報が不足する問題に対してどのような対処が考えられるだろうか？本講義では、不確実性と情報にまつわる経済問題を紹介していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 全体として5部構成で説明していく。
- (1) 市場と情報
 - 1. 市場の情報効率性 2. 不確実性と情報
 - (2) 不確実性下の意思決定
 - 3. リスクと期待値 4. 期待効用 5. リスクプレミアム 6. 保険の役割
 - (3) 情報の非対称性：逆選択
 - 7. レモンの市場 8. シグナリング 9. スクリーニング
 - (4) 情報の非対称性：モラルハザード
 - 10. モラルハザード 11. 業績給と固定給 12. 相対業績評価
 - (5) ホールドアップ問題
 - 13. コースの定理と不完備契約 14. ホールドアップ問題

※講義の進度などにより内容を変更することがある。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他の

ミクロ経済学、経済数学、ゲーム理論を並行して学習することが望ましい。
定期試験（100点）。ただし、授業中に加点方式で課題を出すことがある。
とくに指定しない。
とくに指定しない。
参考資料を授業中と Yestudy 上で配布する。

履修コード	098181
科目名	法と経済学
担当者名	村松 幹二

<p>講義のねらい</p> <p>講義の内容・ 授業スケジュール</p> <p>履修上の留意点</p> <p>成績評価の方法 教科書 参考書等</p>	<p>法制度は日常生活や企業活動などの様々な側面で経済に大きな影響を与えており、経済現象を考える上で、法制度の役割を理解することは不可欠である。そのような法制度の役割を経済システム全体の中で見るために、「法と経済学」ではミクロ経済学的手法を用いてインセンティブの視点から様々な法制度の役割について論じる。</p> <p>受講する学生には、この授業を通じて経済における法制度の役割、それに関する政策の意義を考え、経済社会に対する視点を身につけてもらいたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション (1) 2. 法学と経済学の基礎 (2～3) 3. 犯罪と刑罰の「法と経済学」(4～6) 4. 事故と損害賠償の「法と経済学」(7～9) 5. 所有と契約の「法と経済学」(10～12) 6. 競争政策の「法と経済学」(13～15) <p>講義ではミクロ経済学、ゲーム理論の知識を前提とするため、ミクロ経済学またはゲーム理論を履修した学生を対象とする。</p> <p>成績評価は、定期試験による。</p> <p>テーマが多岐にわたるため特定のテキストは指定せず、配布するレジュメをもとに講義を行う。テーマに応じて講義内で参考文献を示す。</p>
---	---

履修コード	098191
科目名	制度の経済学
担当者名	村松 幹二

<p>講義のねらい</p> <p>講義の内容・ 授業スケジュール</p> <p>履修上の留意点 成績評価の方法 教科書 参考書等</p>	<p>企業組織と企業を取りまく制度は相互に関連しながら経済システムを作り上げており、景気の動向や産業構造、雇用形態などを通じて消費者・労働者としての我々の日々の生活に大きな影響をもたらす。また1990年代以降、企業の雇用形態や資本市場との関係などは大きく変化しており、そのなかで企業の不祥事が頻発するなど、企業組織のあり方やコーポレート・ガバナンスのあり方が問われている。</p> <p>本講義では、ミクロ経済学、なかでも「比較制度分析」と情報の経済学などの手法を用いて企業組織に関する諸制度の相互の関連と経済システムについて論じる。</p> <p>受講する学生には、この授業を通じて、システムとしての経済・企業組織、経済における制度の役割、それに関する政策の意義を考えることで経済社会に対する視点を身につけてもらいたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 企業システムと法・制度 (1～2) 2. 日本の企業システム (3～4) 3. 雇用システムとインセンティブ (5～7) 4. 企業の競争戦略と競争政策 (8～10) 5. 企業間取引 (11～12) 6. 会社法とコーポレート・ガバナンス (13～15) <p>講義ではミクロ経済学の知識を前提とするため、ミクロ経済学を履修した学生を対象とする。</p> <p>成績評価は、定期試験による。</p> <p>テーマが多岐にわたるため特定のテキストは指定せず、配布するレジュメをもとに講義を行う。テーマに応じて講義内で参考文献を示す。</p>
--	--

履修コード	096811・096812
科目名	ファイナンス論 a 財務管理 a
担当者名	<small>さかもと つねお</small> 坂本 恒夫

講義のねらい	サブプライムローン問題など不安定な経営・財務環境の中で、大企業がどのような戦略で財務政策を展開しているか、項目に分けて平易に解説します。資本の運用・調達、株式資本、株式会社、銀行との関係、そして財務制度など重要なトピックスを今日的な金融・証券などと関連付けて取り上げます。
講義の内容・授業スケジュール	<p><財務管理論とは何か> 1. 財務管理論概説 2. 機関投資家支配の時代 3. コーポレート・ガバナンス 4. キャッシュフロー管理 5. EVAと資本コスト管理</p> <p><財務計画と財務管理> 6. 経営計画 7. 財務計画 8. 設備資本管理 9. 運転資本管理 10. 利益管理</p> <p><株式資本とは何か> 11. 増資の方法 12. 株式の多様化 13. 株式所有 14. 配当政策 15. 自己金融</p>
履修上の留意点	出席を重視します。
成績評価の方法	定期試験を基本に出席状況を加味して評価します。
教科書	坂本恒夫編『テキスト財務管理論（第3版）』中央経済社、¥3,400、ISBN4-502-25160-7 ジェフリー・ジョーンズ著『イギリス多国籍銀行史』日本経済評論社、¥5,500、ISBN978-4-8188-1705-0
参考書等	坂本恒夫・天堂弘之編『図解 M&Aのすべて』税務経理協会、¥2,400、ISBN4-419-04800-X

履修コード	096821・096822
科目名	ファイナンス論 b 財務管理 b
担当者名	<small>さかもと つねお</small> 坂本 恒夫

講義のねらい	サブプライムローン問題など不安定な経営・財務環境の中で、大企業がどのような戦略で財務政策を展開しているか、項目に分けて平易に解説します。資本の運用・調達、株式資本、株式会社、銀行との関係、そして財務制度など重要なトピックスを今日的な金融・証券などと関連付けて取り上げます。
講義の内容・授業スケジュール	<p><株式会社> 1. 株式会社と企業形態 2. 株式会社とLLP、NPO 3. 株式会社とベンチャービジネス 4. 株式会社と中小企業 5. 株式会社とM&A</p> <p><債務資本とは何か> 6. 企業間信用 7. CPとMTN 8. 借入金 9. 金利 10. 社債</p> <p><現代の財務管理> 11. 企業と銀行 12. 証券化 13. デリバティブ 14. ディスクロージャー</p> <p>15. 明日の財務管理</p>
履修上の留意点	出席を重視します。
成績評価の方法	定期試験を基本に出席状況を加味して評価します。
教科書	坂本恒夫編『テキスト財務管理論（第3版）』中央経済社、¥3,400、ISBN4-502-25160-7 ジェフリー・ジョーンズ著『イギリス多国籍銀行史』日本経済評論社、¥5,500、ISBN978-4-8188-1705-0
参考書等	坂本恒夫・天堂弘之編『図解 M&Aのすべて』税務経理協会、¥2,400、ISBN4-419-04800-X

履修コード	097041
科目名	起業論
担当者名	ながやま むねひろ 長山 宗広

講義のねらい 1990年代以降、日本では廃業率が開業率を上回り、経済のダイナミズムが失われてきている。特に、地方圏においては、企業誘致による外来型開発に限界が見える中、地域における新規開業企業の増大・創業支援が重要な課題となっている。本講義では、こうした課題解決に向けて主体的に挑戦できる人材（起業家）を養成する。そのため、学術的研究を概説するにとどまらず、ビジネスプラン（事業計画書）作成の演習などを交えた実践的学習をすすめていく。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 前期（ベンチャー論）のサマリー、起業論のガイダンス
- (2) 起業、起業家とは
- (3) 近年の起業活動の実態
- (4) 近年の起業家の実態
- (5) 起業活動の出発点（事業機会の発見）
- (6) ビジネス・アイデアの創出
- (7) 起業とイノベーション
- (8) ビジネスプランと起業家
- (9) 起業活動と経営戦略（ビジネスモデル、ドメイン）
- (10) 創業期のマーケティング活動
- (11) アクションプラン
- (12) 計数計画、資金調達
- (13) 組織・人材戦略
- (14) ビジネスプランの作成

**履修上の留意点
成績評価の方法**

起業論、ベンチャー論を一括履修することがのぞましい。
 期末試験による評価：50%
 講義中のレポート（ビジネスプラン）および出席状況など平常点：50%

**教科書
参考書等**

教科書は特に指定しない。都度、プリント等を配布する。
 高橋徳行『起業学の基礎』勁草書房,2005年
 高橋徳行『起業学入門』通商産業調査会,2000年
 ジェフリー・A・ティモンズ『ベンチャー創出の理論と戦略』ダイヤモンド社,1997年
 その他 本学の e-Education システム「イエスタディ」を活用する。

専門教育

履修コード	097051
科目名	コミュニティ・ビジネス論
担当者名	やまぐち こうへい 山口 浩平

講義のねらい 従来の社会システムが有効に解決し得ない多様で個別的な地域の課題に対して、ビジネスの手法を用いてそれらを解決し、得られた利益を構成員に分配するだけでなく、コミュニティへの還元へと使用する組織が近年注目を集めています。この講義ではこのコミュニティ・ビジネス（CB）の概念を整理し、その存在を理解することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

1. CB登場の背景：地域社会の歴史と現状、事例紹介（1～6）、2. CBをめぐる概念整理と経営課題：NPO、株式会社等との比較や各国比較（7～10）、3. CBを支える仕組みと展望：支援組織、金融システム（11～15）、

履修上の留意点

非営利組織についての一定の知識を要します。各種メディアを通じて日常的に情報を得ておいてください。

**成績評価の方法
教科書**

学期末試験と授業内に提出を求める課題を中心に、講義への参加も考慮します。
 風見正三・山口浩平編著（2009）『コミュニティ・ビジネス教科書』学芸出版社を使用するほか、資料を配布します。

参考書等

細内信孝（1999）『コミュニティ・ビジネス』中央大学出版部
 斎藤慎（2004）『社会起業家』岩波新書
 福原宏幸（2007）『社会的排除/包摂と社会政策』法律文化社

履修コード	097061
科目名	協同組合論
担当者名	山口 浩平

講義のねらい

この講義では生協、農協など、構成員の共通の目的を達成する上で人と人との結びつきによって組織されている協同組合の存在を理解し、その各国における現状と課題、またその現代的な姿を探ることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

1. 協同組合が存在する背景と法制度、社会・経済システムの中での位置づけ：株式会社・NPO等との比較（1～5）、2. 日本における各種協同組合の現状：農協・生協・協同組織金融等（6～10）、諸外国の協同組合と非営利・協同セクターの中での存在意義、新しい協同組合（11～15）

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

身近にある協同組合（店舗やサービス）に実際に触れてみる機会を持ってください。
学期末試験と授業内に提出を求める課題を中心に、講義への参加も考慮します。
特に指定しません。毎回資料を配布します。
栗本昭編著（2006）『21世紀の新協同組合原則』コープ出版社
河野直践（2006）『協同組合入門』創森社
川口清史・富沢賢治編（1999）『福祉社会と非営利・協同セクター』日本経済評論社

履修コード	095811
科目名	ネットワーク組織論 a
担当者名	梅木 眞

講義のねらい

20世紀は「（巨大）組織の時代」であった。しかし、21世紀を迎えた今、そうした潮流は大きく変わりつつある。これまで支配的であった巨大組織に代わり、「組織のネットワーク」が重要な存在となってきた。本講義では組織のネットワークの形成・発展のメカニズムと、そのマネジメントについて学んでいくこととする。

講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに
2. 市場と組織
3. ピラミッド型組織
4. 分権型組織
5. 組織間ネットワーク
6. 組織間ネットワークのマネジメント（1）-資源依存の観点
7. 組織間ネットワークのマネジメント（2）-組織学習の観点
8. 組織間ネットワークのマネジメント（3）-外部経済の観点
9. 戦略的提携とアウトソーシング（1）
10. 戦略的提携とアウトソーシング（2）
11. M&A（1）
12. M&A（2）
13. グループ経営
14. バーチャル組織とインターネット
15. まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法

私語を繰り返す学生は、履修を取り消す。
期末試験による評価（100%）を行う。出席はとらないが、質問に対して挙手で答えた学生に対しては1回につき5～10点を試験成績に上乘せする。

教科書
参考書等

（使用しない）
山倉健嗣『新しい戦略マネジメント－戦略・組織・組織間関係』同文館出版、2940円
ISBN:978-4-495-37701-4

履修コード	095821
科目名	ネットワーク組織論 b
担当者名	梅木 眞 <small>うめき しん</small>

講義のねらい 現代は巨大企業中心の社会から中小企業・地域企業・コミュニティビジネス・NPOなど多様な組織から成る社会へと移行しつつある。また、インターネットの普及は従来型のビジネスモデルを大きく変えてしまった。本講義ではそれらの組織が織り成すネットワークと、その社会に対する影響について学んでいくこととする。

講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに
2. 均質化社会から多様性社会への移行
3. 中堅・中小企業の台頭とネットワーク
4. クラスタ (1) 概論
5. クラスタ (2) 事例分析①
6. クラスタ (3) 事例分析②
7. 産学官のネットワーク (1) 概論
8. 産学官のネットワーク (2) 事例分析①
9. 産学官のネットワーク (3) 事例分析②
10. コミュニティビジネス (1) 概論
11. コミュニティビジネス (2) 事例分析
12. NPO (1) 概論
13. NPO (2) 事例分析
14. ネットワーク組織におけるメディアと情報
15. まとめ

**履修上の留意点
成績評価の方法**

私語を繰り返す学生は、履修を取り消す。
期末試験による評価 (100%) を行う。出席はとらないが、質問に対して挙手で答えた学生に対しては1回につき5〜10点を試験成績に上乘せる。

**教科書
参考書等**

使用しない。
中小企業総合研究機構『産業集積の新たな胎動』同友館、2730円、ISBN：4-496-03702-5
五十嵐敬喜・天野礼子『市民事業』中公新書 ラクレ、ISBN：4-12-150085-7

履修コード	097031
科目名	ベンチャー論
担当者名	長山 宗広 <small>ながやま むねひろ</small>

講義のねらい 日本は、大量生産体制・キャッチアップ型経済から、知識集約化・フロントランナー型経済へとパラダイムの転換を果たした。こうした時代環境の中、ミクロレベルでは、プロダクト・イノベーション創出の担い手として、ベンチャービジネスに期待が高まっている。本講義では、ベンチャービジネスに関する正確な理解を深めるとともに、ベンチャービジネスの担い手である起業家を養成していく。そのため、学術的研究を概説するにとどまらず、ケーススタディなどを交えた実践的学習をすすめていく。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) ベンチャービジネスとは (ガイダンス)
- (2) ベンチャービジネスのブームとベンチャー企業「観」
- (3) 中小企業、中堅企業、ベンチャー企業
- (4) ベンチャー企業の成長ステージ別マネジメント
- (5) ベンチャー企業とイノベーション
- (6) イノベーションの発見
- (7) ケーススタディ：SWOT分析の活用
- (8) ベンチャー企業のマーケティング戦略
- (9) 大学発ベンチャー、産学連携の実態
- (10) スピンオフ・ベンチャーの実態
- (11) ベンチャー金融 (ベンチャーキャピタル、エンジェル、株式公開)
- (12) ベンチャー支援施策とインキュベーション

**履修上の留意点
成績評価の方法**

起業論、ベンチャー論を一括履修することがのぞましい。

**教科書
参考書等**

期末試験による評価：50%
講義中のレポートおよび出席状況など平常点評価：50%
教科書は特に指定しない。都度、プリント等を配布する。
植田・桑原・本多・義永『中小企業・ベンチャー企業論』有斐閣コンパクト,2006年
金井・角田編『ベンチャー企業経営論』有斐閣,2002年
松田修一『ベンチャー企業』日本経済新聞社,1998年
ジェフリー・A・ティモンズ『ベンチャー創出の理論と戦略』ダイヤモンド社,1997年
その他の 本学の e-Education システム「イエスタディ」を活用する。

履修コード	097011
科目名	ボランティア経済 a
担当者名	鈴木 岳 <small>すずき たけし</small>

講義のねらい 日本を中心に、ボランティアをめぐる経済活動について、その成り立ちと近況、さらにその周辺の活動と、各種の課題についてお話しする予定です。ボランティア経済について、その有用性と限界について冷静に考えてみましょう。

講義の内容・授業スケジュール (1～2) はじめに、経済の基礎素養をチェックする (3～7) ボランティアの定義、その歴史的経緯、近年のボランティア活動とその契機、その形態と活動領域、新自由主義とボランティア (8～11) 協同組合、NPO、地域通貨、国家・自治体との関係、企業との関係 (12～14) 評価と表彰、問題と批判、限界について (15) これから

履修上の留意点 ボランティアに関わろうと考える人は、人間愛・博愛精神に裏打ちされた善意を強く有する一方、ともすれば観念的で、現実の経済システムの基本問題を見落としがちです。あふれる情報を自分の頭で考え整理すること、このことを常日頃から意識して下さい。

成績評価の方法 学期末試験を中心とします。が、授業内に提出を求めるコメント票も出席状況とともに考慮します。

教科書 特に使いません。参考文献、資料については、授業内に適宜紹介します。

履修コード	097021
科目名	ボランティア経済 b
担当者名	鈴木 岳 <small>すずき たけし</small>

講義のねらい 世界に目を向けて、ボランティアをめぐる経済活動について、いくつかの諸国を抽出し、それぞれの成り立ちと近況、さらにその周辺の経済活動と、各種の課題についてお話しする予定です。ボランティアという表現も、経済活動や国家のあり方に応じて、さまざまな様相を持つことが理解されるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール (1～2) はじめに、世界経済をめぐる基礎素養をチェックする (3～11) 諸国の政治経済事情を踏まえた各国ボランティア事情—アメリカ、イギリス、スウェーデン、フランス、イタリア、スペインほか—キーワードとして、社会的経済論、ノーブレス・オブリージュ、良心的兵役拒否、地域通貨、NPO、NGO、地域通貨、国家・自治体との関係、企業との関係など (12～14) ボランティア活動を受容する側の第三世界諸国とその評価、問題 (15) まとめ

履修上の留意点 ボランティア経済論 a に同じです。

成績評価の方法 学期末試験を中心とします。が、授業内に提出を求めるコメント票も出席状況とともに考慮します。

教科書 特に使いません。参考文献、資料については、授業内に適宜紹介します。

履修コード	101901
科目名	演習I
担当者名	浅野 克巳 <small>あさの かつみ</small>

講義のねらい ゼミの目標は3つ

- ・はじめに経済学を基礎理論からしっかり勉強しよう
- ・新聞の事例などを参考に理論を現実の経済に応用してみよう
- ・練習問題を通して経済学をしっかりとマスターしよう

講義の内容・授業スケジュール

1. マクロ経済学を基礎から学ぶ
2. ミクロ経済学を基礎から学ぶ
3. 経済学の理論を通して新聞や経済白書を読み経済学的に考える練習をする
4. インターネットで経済学を学ぼう
5. エクセルで需要曲線や供給曲線を描いてみよう
6. 国家試験などの過去問を実際に解いてみよう

履修上の留意点 演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習をしておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションも行うので「情報センター」を利用して活用できるようにしておくこと。

成績評価の方法 なにより授業にまじめに出席することが前提だ。

教科書 経済学の入門書を授業の際に指示する。

参考書等 必要に応じて参考書その他の資料については授業の中で指示する。

履修コード	103901
科目名	演習I
担当者名	あらいは あき 姉齒 暁

講義のねらい 紙面を賑わせるさまざまな社会・経済問題は、わたしたちの生活に多大な影響を与えるものでありながら、難解な言葉で語られることが多いので、実際には、それがどのように生活と関わっているのかが見えにくいものでもあります。
そこで、演習Iでは、生活実感を通して社会・経済の問題を考えていくことを体験してもらおうと同時に、「真理の探究」のために必要不可欠な「問題意識」を持てるような課題に取り組む作業を行いたいと考えています。
皆と一緒に考えていくこと、意見を交わしていくことで、複雑な問題でも理解しやすくなるという実感は、ゼミならではの最も大切な体験になることでしょう。
具体的には、「グローバル経済下の日本の消費生活」という大きなテーマの下、報告ならびに討論を行うつもりです。

講義の内容・授業スケジュール ゼミの活動に必要なさまざまなスキルを身につける作業を行います。タイムリーな問題を扱った新書やブックレットといった安価で簡潔にまとめられた題材を利用して、レジュメの作り方から報告・討論の手法を身につけます。
ゼミ生と相談の上、時期を決めて合宿を行います。現時点では、農村での合宿を通して、「グローバル化の影響」と「食生活」、「コミュニティ」などを考えたいと思っています。基本的には皆さんと相談の上で、どのような合宿にするのかを決めたいと思います。

履修上の留意点 遅刻・欠席は厳禁です。ゼミは、意見交換の場であり、一人ひとりの自主的なかわりと同時に、お互いに助け合い、問題への理解に達するための努力が不可欠となります。
また、ゼミ活動に関する作業をはじめとする集団的な行動への参加も必要です。ただ、その場に座っているだけでは、ゼミへの参加とはみなしえません。必ず毎回発言することが求められます。

成績評価の方法 報告・討論への参加を含め、平常点で評価します。
教科書 最初の時間に何冊かを提示し、相談の上で、決定します。
参考書等 随時紹介します。

履修コード	102001
科目名	演習I
担当者名	あべ ひろし 阿部 弘

講義のねらい テーマ：日本経済論-1

講義の内容・授業スケジュール 日本経済の歴史的展開
また年間2回の合宿予定。11月末から12月初めにゼミ論発表会予定。
ゼミナールの成果を「ゼミ論集」に掲載します。

履修上の留意点 「演習」ですから出席することは基本です。
合宿およびゼミ論発表会の欠席は不可です。
4年次に「卒業研究」を履修することが前提になります。

成績評価の方法 総合的に評価します。「定期試験」はありません。

履修コード	103501
科目名	演習I
担当者名	あらか よしひろ 荒木 勝啓

講義のねらい 経済変動や数理ファイナンスなどのモデルをコンピュータ上でシミュレートするというテーマに向けて様々なコンピュータ技法をマスターしていく。

講義の内容・授業スケジュール モデルをマルチメディア・プレゼンテーション可能にするため、全員に最低DTP（デスクトップパブリケーション）の方法を習得させる。すなわち（1）編集方法（Page Maker, Quark Express）（2）グラフィックス（Illustrator）（3）レタッチ・修正（Photoshop）を習得させる。ゼミ生は課題として、DTP検定2種試験にチャレンジする。

成績評価の方法 検定試験への挑戦50と出席点50。ただし検定試験に不合格だからといってゼミが不合格ということにはならないので、ご安心。

教科書 指定なし。ただし必要な場合指示する。
その他 Macintosh 教場を使う。

履修コード	102401
科目名	演習I
担当者名	有井 行夫

講義のねらい 現代社会は、企業中心社会です。受験競争や消費競争、夫 or 妻の争奪競争からマイホーム獲得競争にいたるまで、競争社会の中心に実は企業への就職競争が位置しています。企業の内部もサラリーマンの出世競争・生き残り競争です。そして、最後に生き残って経営者に成り上がったサラリーマンにしても、企業自身の業績責任に不断に脅迫されて過労死寸前です。企業自身が、好況のときも不況のときも生き残り競争のただ中にあるのです。企業は、利潤のための利潤、生産のための生産をどこまでも続けていかなければなりません。日本型企业社会に構造変革を迫っている今日のグローバルゼーションも、この傾向をさらに強めるものにほかなりません。サラリーマンからも、経営者からも、株主からも独立して、自己拡大の衝動に駆りたてられて走り続ける企業。国民の豊かさに無縁の「利潤のための利潤」。地球環境や資源の制約にも無関心の「生産のための生産」。――これが現代社会の最大の謎であり、21世紀前半に解決しなければならない現代社会最大の課題のありかです。

講義の内容・授業スケジュール

前期 有井のプリント、新聞の読み方、佐和隆光『市場主義の終焉』

夏合宿 競争主義対平等主義

後期 有井のプリント、新聞の読み方（ファイルの作成）、ドーア『誰のための会社にするか』

履修上の留意点

最大のテキストは現代社会そのものです。新聞を読みこなす力を養います。併せて日本語を読む力、書く力、話す力を鍛えます。

**成績評価の方法
教科書**

ゼミへの積極的参加50%、各種レポートの評価50%

佐和隆光『市場主義の終焉』（岩波新書）。ロナルド・ドーア『誰のための会社にするか』（岩波新書）。

履修コード	104401
科目名	演習I
担当者名	飯田 泰之

講義のねらい 演習のテーマは「日本経済への実証的アプローチ」である。近年、経済問題にとどまらずビジネス・社会・政治分野においても経済学的な思考は必須の教養になっている。そして、自身の意見を発表し、説得する（つまりは「自分がわかっている」ことを人に伝え、他の人を「納得させる」）際には十分な実証的根拠を示し、聞き手を考慮した発表を行うことが必要とされる。本演習は「経済理論の理解」「統計を用いた証拠づけ」「プレゼンテーション能力」の3つを柱に、「使える経済学」を身につけることを目標とした。

講義の内容・授業スケジュール

前期

・経済学以外の本を使ってのレジュメ作成・発表演習

・ Word、Excel の基本操作に関する講義

・経済の基本書を使ってそれまでのゼミの内容を生かした発表

夏期合宿

・ディベート大会

後期

・ネットを利用した情報収集の講習と統計の基礎知識

・金融政策・産業政策・産業組織・金融工学のいずれかの本を輪読

・卒論報告会

履修上の留意点

「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「経済政策」「統計原論」「企業経済学の a、b」等関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のため駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

**成績評価の方法
教科書**

出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

教科書は開講時に協議する。

**参考書等
その他**

テキストのみにこだわらずゼミ生の興味に沿った論文を取り上げていく。

経済学やパソコンの利用など基本知識のレベルには受講生ごとにばらつきがあると思うが、皆の希望を聞いた上で補充したいと思う。

履修コード	104601
科目名	演習I
担当者名	石川 純治 <small>いしかわ じゆんじ</small>

講義のねらい ゼミのモットーは「常識や通念、風潮にとらわれない」です。その力はどのようにすれば養えるか、そのための学習をします。

講義の内容・授業スケジュール また社会経済における「生きた会計」を学習するために「時事会計」を重視します。会計の基礎にある社会経済問題への関心が大切で、それとの関連で会計を学習します。会計をとらえて世の中の問題に発言できる洞察力が得られればと思っています。

履修上の留意点 会計を本当に理解するには、まずもってその基礎にある社会経済に関する学習が大切です、したがって、会計学の学習に先立ち、社会経済に関する学習を行ないます。その後、会計学の基礎を学習します。

成績評価の方法 単に本のなかの会計を学ぶのではなく、それを通して世の中の社会経済問題を読み解く力をつちかう。

教科書 出席・合宿・レポートなどゼミ活動の総合評価。

参考書等 『日本の論点2009』（文藝春秋）、会計学の初級レベル。

その他の他 『常識「日本の論点」』（文藝春秋）など、必要に応じて指示します。

世の中の社会経済問題に関心をもっている真摯な学生、国家試験にも挑戦する意欲ある学生を歓迎します。私のプロフィールについては、駒澤大学のHPのトップページ「教員の紹介」から見ることができますので参考にしてください。

専門教育

履修コード	101801
科目名	演習I
担当者名	石川 祐二 <small>いしかわ ゆうじ</small>

講義のねらい 企業においては、会計情報が様々な目的を持って利用されている。その情報を生み出すための仕組みは、どのような構造をもっているのであろうか。その構造を探り、それが社会の多様な関係の中で果たす役割を研究する。そのことによって、社会現象を分析する視点の獲得を目指す。

特に、演習Iでは、そのような分析視点を確立するために、基本的なスキルと知識を身につけることが目標となる。

講義の内容・授業スケジュール 演習Iでは、会計に関する基礎知識を身につけることを目的としている。特に、会計に関わる現象を捉える上で不可欠な、基礎的な用語・概念を中心に取り扱う。基本的には、プリントを中心にディスカッションを行いたい。

履修上の留意点 積極的に参加すること。また、ゼミ生が相互に協力しあい、楽しいゼミ運営を行ってほしい。また、4年次には「卒業研究」を開設する予定である。

成績評価の方法 特に出席を重視するが、報告内容等も含め、総合的に評価する。

教科書 特になし。

参考書等 必要に応じて紹介する。

その他の他 合宿その他のイベント等については、話し合いで決定する。

履修コード	102101
科目名	演習I
担当者名	<small>いわなみ ふみたか</small> 岩波 文孝

講義のねらい 企業をめぐるビジネス環境は複雑・多様化するとともに、企業不祥事の続出、経営不振、敵対的買収、機関投資家・投資ファンドの不祥事など経営システムの改革が企業経営に求められています。演習では、現代企業におけるトップ・マネジメントの構造と機能の理解を中核として、企業経営の仕組みや企業間ネットワークとコーポレート・パワーとの連関を理解していくとともに、企業経営に関する興味・関心を深め、企業と社会との関係、企業の社会的責任（CSR）を踏まえた経営システムの構築にむけた課題について考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール 企業経営に関わる基礎的な文献を用いて輪読形式によりグループによるレジュメ報告を中心に討論を行います。夏期・春期に行うゼミ合宿では、現代の企業経営が直面する諸問題について、討論していきます。

1. ゼミナールの概要とガイダンス（1）
2. 株式会社の仕組み（2～5）
3. 株式所有と会社支配（6～7）
4. トップ・マネジメントの組織と機能（8～12）
5. 企業の社会的責任（CSR）の現状（13～18）
6. 企業とステークホルダー（19～25）
7. 企業と社会のあり方（26～30）

履修上の留意点 ゼミナールは受講生の主体的な学びの姿勢にもとづいて運営されます。専門の学習に向けて自らの課題を発見することや積極的な学習スタイルが求められます。受講の際には企業経営に関する興味・関心を持ちゼミナールに参加してもらいたい。

成績評価の方法 ゼミへの出席、発表内容、積極的な討論への参加などの平常点による総合評価を行います。

教科書 開講時に指定します。

参考書等 開講時に指定します。

その他 演習III履修時には「卒業研究」（4単位）を併設します。

履修コード	102201
科目名	演習I
担当者名	<small>おおいし ゆうじ</small> 大石 雄爾

講義のねらい 現在、日本の経済構造は大きく変化しつつあります。この変化は、1970年代の国際通貨制度の崩壊、石油危機などとともに始まり、バブル経済とその崩壊を経て今日に至っています。この演習では、資本主義の経済理論を学びながら、現代資本主義の諸問題について考えます。とくに、バブル経済がなぜ起こり崩壊したか、その原因を考えながら今日の日本経済の特質について学びます。

講義の内容・授業スケジュール 今年度は、増田寿男他編『現代経済と経済学（新版）』をテキストとして、日本経済の特質について、理論と歴史の両面から迫ります。また、環境問題、高齢化社会のあり方、日本の開発援助など、今日の重要問題について学習します。

履修上の留意点 欠席・遅刻をしないこと。演習Iの履修者は、原則として演習II・IIIを履修し、4年次に「卒業論文」を作成することになります。

成績評価の方法 平常点により評価します。

教科書 増田寿男他編『現代経済と経済学（新版）』（有斐閣ブックス）2,300円＋税

参考書等 大西広他『政治経済学』（大月書店）

その他 ①「卒業研究」を併設します。

②演習IIでは、選択科目「ビジネス・インターンシップ」を履修することができます。

③コース制との関連：コースの履修は自由です。

履修コード	101601
科目名	演習I
担当者名	おおつき かつお 大吹 勝男

講義のねらい 現代企業の物流管理、マーケティング戦略における物流、ロジスティクス・マネジメント、サプライチェーン・マネジメントと物流等々として本年度からは、日本の商社や卸売業についても学習します。
ゼミの仲間と一緒に勉強し、考えていきましょう。そして卒業時には、単なる知識の習得だけでなく、それを生かすことのできる科学的な思考能力を身につけた人間になっていることを期待します。

講義の内容・授業スケジュール 本年は特に日本の卸売業の実態について分析することをめざします。

履修上の留意点 ゼミでは、当然のことながら欠席や遅刻はゆるされません。

成績評価の方法 平常点によるが、年に2回～3回のテキスト以外の読者感想文の提出を求めます。あとは諸君の勉強次第です。

教科書 未定

その他 <卒業研究の有無> ゼミ論は4年次に必ず提出しなければなりません。「卒業研究」は、義務ではないが、4年次の演習で開講します。自分自身の力をつけるために、提出することを要望します。

履修コード	104301
科目名	演習I
担当者名	きたぐち 北口 りえ

講義のねらい 税務会計は、法人税法における課税所得計算に関する学問です。法人の所得に対して課される法人税は、企業にとって避けられないものであり、企業行動を左右する重要な要素のひとつとなっています。本演習は、法人税における課税所得が企業利益をベースとしてどのように算出されるのか、その課税所得の計算構造に関する理解を深めることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 演習Iでは、税務会計についての理解を深める前段階として、まず企業会計および租税についての基礎知識を習得します。企業会計における基礎知識としては、企業会計の基本原則、会計制度の構造について学び、租税についての基礎知識としては、税体系や租税の意義、租税特有の論理について学びます。その上で、法人税の特質、課税所得の計算構造などについて学び、税務会計への理解を深めていきます。

履修上の留意点 基本的には、テキストの1つのテーマに対してレジュメを作成し報告してもらい、ディスカッションするという方法で進めていきます。レジュメは単にテキストをまとめるだけでなく、疑問を持った点や深く掘り下げてみたい点などを追求したものを作成するよう心がけてください。また、報告者はプレゼンテーションにおいても棒読みではなく、的確に相手に理解してもらえるよう工夫をしてもらいたいと思います。

成績評価の方法 ゼミ内で意欲的に発言し、ゼミの運営や行事（合宿、税務署見学、ゼミナール連合会での研究発表会等）にも積極的に参加してください。

教科書 出席率、報告内容、ゼミやゼミの運営への参加度、レポート等の総合評価により行います。
理由のない遅刻や無断欠席は大きな減点としますので、注意してください。

参考書等 永野則雄『ケースブック会計学入門』（新世社）
柳裕治『税務会計論』（創成社）
その他、適宜プリントを配布します。

その他 伊藤邦雄『ゼミナール現代会計入門』（日本経済新聞出版社）
金子宏『租税法』（中央経済社）
日商簿記2級取得のためのサブゼミを開きます（希望者のみ）。

履修コード	104001
科目名	演習I
担当者名	小杉 修二

講義のねらい

大学の授業には演習と講義があります。講義はいわば先生が中心にしゃべり、結論を出していきます。これに対して、ゼミ（演習）は学生が自分たちで問題を確かめ、事実と論理を確認し、結論へとたどり着くようにします。その意味では、皆さんが中心になって進めていきます。

変化の激しい近頃の社会では学んだことが古くなるスピードも速くなりつつあります。覚えたことは古くなったら使えなくなるものもあるでしょう。でも、大丈夫です。新しい状況について、また勉強すればよいのです。でも勉強をしたことがない人は勉強ができません。大学では特定の事柄について勉強しますが、同時にそれを通じて勉強の仕方を勉強しましょう。その勉強の仕方の中で、自分で調べたり、討論したり、人の意見を聞いたりしながら、知識を深め、根拠を確かめ、結論を出すといったトレーニングをし、また、相手に理解してもらって発表に熟達するトレーニングをするのがゼミです。

講義の内容・授業スケジュール

このゼミでは地球環境問題の中の「地球温暖化問題」を考えます。

近年の猛暑が騒がれていますが、これも年間平均にすると、平年に対して1度程度の昇温に過ぎません。国連の機関であるIPCCによれば、今世紀末には地球全体が1.8-4.0度の気温上昇を見られるとされています。文明（農業）が生まれたのが1万年前とされていますが、この1万年というのは、地球の平均気温は15度近辺で安定していました。時々起きる変動の幅もプラスマイナス1度程度でした。つまり、今予想されている気候の変動は「文明の未体験ゾーン」なのです。

温暖化の害悪はさまざまありますが、海面上昇や雨の降り方の変化、農地の乾燥化、熱帯の病気・害虫の北上などが言われています。映画にも取り上げられた「温暖化が地球の寒冷化をもたらす」という逆転現象も決して「冗談」ではない現実性をもったものです。

原因の主たるものは石炭・石油・天然ガスの燃焼に伴う炭酸ガスが太陽からの熱を閉じ込めて宇宙空間に逃げにくくするからです。しかも厄介なことに、暑くなるとますます暑くなるというメカニズムが地球にはあります。例えばシベリヤの永久凍土層にはメタンが閉じ込められています。暑くなればこれらが溶け出していきます。メタンガスは炭酸ガスの20倍の温暖化効果があります。こうした加速要因は23ほど見つかっていますが、そのほとんどがプラスの加速要因です。「サプライズ」とも言われる急激で過激な気候変動の可能性も排除はできません。

温暖化問題は近代文明・経済活動を支える化石燃料が主たる原因となって起こるため、その対策は経済活動にも大きな影響をもたらすし、経済活動のあり方や文明のあり方にも変更を迫ることになる可能性もあります。その対策をする時に必ず「利害」が絡みます。この利害関係を合理的に制御するのが経済学の課題です。

こういった問題を勉強するのがこのゼミです。通常の授業とならんで年2回の「ゼミ合宿」では集中的に1冊の本を勉強します。また、ゼミ生同士の親睦を図るため、いくつかのイベントも用意しています。

- 第1-5週：テキスト第1章第1-3節
- 第6-10週：テキスト第1章第4-5節
- 第11-15週：テキスト第2章第1-6節
- 第16-20週：テキスト第2章第7-9節、第3章第1-3節
- 第25-30週：テキスト第3章第4-12節

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

出席の悪い人は単位を認定できません。
出席状況とゼミへの参加の積極性・発言を総合して判定する。
『よくわかる地球温暖化問題』（中央法規社）
小宮山宏『地球温暖化問題に答える』（東大出版会）
＜卒業研究の有無＞
あり。4年次に履修（別に4単位が与えられる）。

履修コード	101411
科目名	演習I
担当者名	小西 宏美

講義のねらい

「多国籍企業、多国籍金融機関とカジノ資本主義」をテーマとしています。「カジノ資本主義」とは何か、多国籍企業、多国籍金融機関の活動がいかに経済を「カジノ化」してきたのか、「カジノ資本主義」は我々の生活をどのように変えてきたのか、について研究します。

講義の内容・授業スケジュール

国際経済、国際金融関係のテキストを使ってレジュメの作成や報告、討論を行います。また学内のゼミ連に参加します。

履修上の留意点

演習は、皆さんが主体的に参加してはじめて成立する学習の場です。責任感と自覚をもって臨みましょう。

成績評価の方法
教科書

出席、報告、討論の3点で評価します。
最初の授業時に指定します。

履修コード	103301
科目名	演習I
担当者名	さいとう たかし 齋藤 正

講義のねらい 「金融大改革と銀行業」をテーマとし、金融の仕組みがどのように変化しているのか、それにもなつて銀行業務がどのように変化しているのかを学びます。

講義の内容・授業スケジュール IT(情報通信技術)の発展が金融業務を大きく変え、ヘッジファンド、デリバティブなどの聞き慣れない用語を新聞誌上で目にする事が多くなりました。いまや金融業務は「資金の貸借」という意味だけではとらえきれない一大変革の時代にあり、銀行業務も大手銀行を中心に、「預貸業務」中心の伝統的銀行業務からデリバティブやM&A(合併)の仲介へと大きく変貌を遂げています。演習Iでは、金融業務の大変革をもたらしている「グローバル競争」のあり方を眺めながら、「預貸業務」中心の伝統的銀行業務が現代経済において、どのような意味で重要であるのかを考えます。

履修上の留意点 ゼミナールは少人数であり、討論を通じて具体的な問題についての理解を深めたり、議論の仕方を学ぶところに意義がありますので、積極的な諸君の参加を求めます。

成績評価の方法 年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

教科書 全国銀行協会金融調査部編『図説 わが国の銀行』財経詳報社

参考書等 日本銀行『わが国の金融制度』
日本経済新聞社『経済新語辞典』(毎年、新版が発行されています)

その他 「卒業研究」を併設します。

専門教育

履修コード	102601
科目名	演習I
担当者名	しみず たかし 清水 卓

講義のねらい このゼミは、現在のヨーロッパ経済や社会の研究を中心としたゼミです。とはいっても、ヨーロッパは多数の国や地域からなる大きくて懐の深い社会ですから、ゼミ参加者の問題関心も毎年実に様々で、中東欧諸国の加盟、欧州連合(EU)の統一通貨ユーロ、北欧諸国の福祉社会、教育制度、各国国民の日常生活など興味の対象はつきません。3年間をかけて、現代の経済社会を見る目を、基礎から徐々にレベルアップしていけるように運営しています。卒業時点で自分の得意分野でしっかりと自分の考えを表現できるようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール 担当教員は、様々な最新情報や、資料の所在、文献の紹介などを行いますが、ゼミの中心は参加者学生の自由な話し合いです。参加者の色々な個性が触れ合って、学びの楽しさを実感できる場になりたいと思います。

履修上の留意点 中・東欧諸国の加盟による構成メンバー国数の増加に対応してのEU自体の機構改革への動きなど、現在のヨーロッパの様々な動きの意味について考えていきましょう。

成績評価の方法 演習Iでは、ディベートとEUに関する基礎知識修得を課題とします。見学(裁判所、TBS、製鉄所、東京の街散歩)などの行事をしたり、春と夏には、楽しい合宿をやります。

教科書 「よく学びよく遊べ」をモットーにしたいと思っています。このように書く遊びの方を期待するかもしれませんが、けじめをつけて、何事につけ前向き真剣にに取り組もうとする姿勢がほしいですね。

参考書等 それと、数年前から基礎的学力を充実させるため、ゼミ生には漢字検定の資格、英検、TOFLE、TOEICの資格に挑戦するように呼びかけています。

その他 平常授業や合宿への参加や、研究発表への取組を評価して成績を決めます。参加者の意向を聞き取った上で決定します。授業で紹介します。「卒業研究」併設。

履修コード	101701
科目名	演習I
担当者名	しろた じゆん 代田 純

講義のねらい 金融や証券市場に関する基礎を習得すること。

講義の内容・授業スケジュール 2年生の前半は、金融に関する基本を理解することを目指す。後半には、証券市場の現状理解へと進む。また毎年、2年生の後半には、日経ストックリーグへ参加している。

履修上の留意点 欠席しないこと。

成績評価の方法 出席点は80点、発表点は20点。レポートやテストはない。

教科書 代田 純、『図説 やさしい金融財政』、丸善、定価1800円+税、ISBN4-621-07708-2

代田 純、『日本の株式市場と外国人投資家』、東洋経済、定価2800円+税
ISBN 4-492-71155-4

履修コード	101501
科目名	演習I
担当者名	<small>すずき のぶえ</small> 鈴木 伸枝

講義のねらい 公共経済学のゼミです。講義よりも専門的なことを学ぶとともに、自ら問題を発見する能力を身につけることを目標とします。年金・医療・介護保険・環境・失業の諸トピックについて「どうい
う問題があって、何を為すべきか」を自分なりの意見をもてるようにしましょう。

講義の内容・授業スケジュール 二年生のうちは、公共経済学の理論の基礎となるマイクロ経済学・ゲーム理論のテキストを輪読し
ます。毎回、輪読の報告担当者にはレジュメを用意してもらいます。
コンピュータを使った文書作成やインターネットでの情報検索についても指導します。

履修上の留意点 ゼミは勉強の場だけでなく、人前で自分の意見を言えるよう訓練したり、同じゼミの仲間と協力
して何かを達成することを通じて人間的に成長する場でもあります。引っ込み思案にならず、常に
積極的な態度で参加してください。

成績評価の方法 出席状況・予習状況・討論への参加度により評価します。

教科書 梶井厚志・松井彰彦(2000年)『マイクロ経済学戦略的アプローチ』日本評論社【演習補助費にて一
括購入します。各自用意する必要はありません。】

履修コード	102801
科目名	演習I
担当者名	<small>せとおか ひろし</small> 瀬戸岡 紘

講義のねらい 「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応した社会、経済、経営などにかんする学習と
研究の基礎的能力をやしなうこと。

講義の内容・授業スケジュール アメリカの大学（なかでも名門シカゴ大学）の演習の方式を採用して、「基礎はしっかり、研究は
自由に」のスローガンのもと、活気あるゼミ活動をしています。何を研究・学習の対象とするかは、
受講生の希望によりかなり幅広くみとめているのが当ゼミの特徴。
最初の2ヶ月は、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディバートのしかた、レ
ジュメ、小論、論文の書きかた、本のさがしかた、読みかた、資料のあつかいかたの習得が主にな
ります。その後は、グローバル時代の世界経済の特質と諸問題、および日本経済の特質とその歴史
的背景など、自主的研究としてどんなテーマをとりあげるばあいでも最小限知っておくべきこと
について、共同で学習し、討論します。しばしば英語の文献も使用します。

成績評価の方法 その他、上級生によるパソコン教室、英語圏から当ゼミにきた留学生による英会話教室、上級生
と少人数グループで一緒に学習・研究をするサブゼミの活動、他大学の学生と交流できる日本学生
経済ゼミナールへの参加、アメリカの学生とのインターネットによる交流とテレビ会議システムを
つかった遠隔討論会、工場見学・企業訪問など多彩なイベントが用意されています。

教科書 ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は、当人のやる気
です。

参考書等その他 随時、有益な文献を紹介します。
随時、有益な文献を紹介します。
当ゼミは、2003年には『世界週報』で全国に、1994年にはCNNテレビで世界120カ国に紹介され
ました。
当ゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問い合わせたりするほか、下記
のホームページ（ゼミ生制作）にアクセスしてください。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~setooka>

履修コード	103601
科目名	演習I
担当者名	<small>そが のぶたか</small> 曾我 信孝

講義のねらい 2年生のゼミでは、マーケティングの基礎理論を理解しながら学習姿勢と発表力を見つけることを目標にする。

講義の内容・授業スケジュール
 1～2回 学習方法、調査方法、発表方法などを指導。
 3～7回 製品政策に関する問題を課題としてプレゼンテーションをする。
 8～12回 価格政策に関する問題を課題としてプレゼンテーションをする。
 13～15回 製品、価格政策に関するディベートをする。
 夏合宿 マーケティングに関する時事問題を取り上げ、ディベートをする。
 16～20回 チャネル政策に関する問題を課題としてプレゼンテーションをする。
 21～25回 販売促進政策に関する問題を課題としてプレゼンテーションをする。
 26～29回 ディベート大会に向けての学習指導。

履修上の留意点
 成績評価の方法
 ・出席を重視するが、特に夏合宿、12月のディベート大会は必ず出席をしてもらいたい。
 ・平常点（・日常の出席と学習態度60%、・合宿の出席と学習態度20%、・ディベート大会の出席と学習態度20%）で評価する。
 教科書
 参考書等
 特に指定しない。
 必要に応じて紹介する。

専門教育

履修コード	101421
科目名	演習I
担当者名	<small>たけ けんたろう</small> 館 健太郎

講義のねらい 人々のかけひきを分析するための道具である「ゲーム理論」について学習し、これを使ってさまざまな社会現象を自分の言葉で説明できるようになることをめざします。ゲーム理論は、スポーツやカードゲームの必勝法の研究というよりも、私たちの日常生活や社会のなかで起きるさまざまなかけひきをゲームとみなし、それらをいくつかのパターンに整理して結果を予想するための学問で、その応用分野はとても広いです。情報通信や交通手段の発達などによってネットワーク化されている今日の経済では、人々のつながりに関する理解を深めることの重要性はますます高まっています。

本ゼミでは、主に産業組織論、すなわち企業の投資、生産、販売などを通じた競争戦略や、他の企業との戦略的提携など、それぞれの産業における企業間の競争と協力について扱います。また、補助金や規制などを通じて市場への介入を行う政府の産業政策・競争政策についても考えます。例えば、家電産業や情報通信産業ではしばしば製品間の互換性が重要になりますが、そのときに企業はどんな戦略をとるべきでしょうか。政府は何か政策を打ち出すべきでしょうか。もちろん、財政や金融、政治・外交など市場競争以外のかけひきについて研究したいという人も歓迎します。ゲーム理論という共通の土台の上に立って、社会について自由に議論しあえるようになることを演習の目標にしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール
 最初のうちは講義形式の説明と輪読形式の発表の両方を使って、ゲーム理論そのものの学習を中心にすすめます。その後、ゲーム理論の学習と並行して、グループや個人で実際の産業や行政について調べ、そこからゲームを作って分析するなど、より実践的な研究へと展開していきます。

履修上の留意点
 ・自分自身で社会の中にあるかけひきを表現するためにオリジナル・ゲーム（といってもプログラムではない）を創作し、発表してもらうなど、発想やアイデア、表現力を養うことを重視します。

・年に1～2回（休みの期間）、インゼミ（ゼミ合宿や他大学のゼミとの合同合宿）を行いたいと思っています。このときには交通費・宿泊費などの実費がかかります。自由参加としますが、参加や準備に積極的な人を希望します。

成績評価の方法
 教科書
 参考書等
 定期試験は行わず、発表など平常点で評価する。
 渡辺隆裕『図解雑学 ゲーム理論』（ナツメ社）
 梶井厚志(2002)『戦略的思考の技術』中央論社（中公新書、1658）

履修コード	104801
科目名	演習I
担当者名	鄭 章淵 <small>ちよん ちやんまん</small>

講義のねらい 研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に第二次世界大戦後の東アジア経済の発展過程について理解を深めてもらうことです。

ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭に、アジア NIEs (新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール)、ASEAN3 (タイ、マレーシア、インドネシア)、中国、その他と続く発展の様は、しばしば「雁行型発展」と称されてきました。

ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。

日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく状況において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・授業スケジュール 東アジア経済に関する基礎知識を身につけるため、下記(教科書)を輪読してもらいます。具体的には、予め報告分担を決め、報告者は各自が作成したレジュメに基づいて報告してもらいます。

夏季休暇中にゼミ合宿をします。そこでは別の文献を取り上げて講読し、ビデオ鑑賞なども予定しています。また、演習(ゼミ)の特別企画として課外活動も行うつもりです。

成績評価の方法 出席率、レポート回数、合宿への参加状況などを加味して総合的に判定します。

教科書 大野健一・桜井宏二郎著『東アジアの開発経済学』(有斐閣アルマ) 2,000円+税、ISBN4-641-12044-7

その他 4年次に「卒業研究」を併設します。

専門教育

履修コード	103101
科目名	演習I
担当者名	徳永 俊明 <small>とくなが としあき</small>

講義のねらい 発展途上諸国=アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国の国際関係とその中での人びとの生活の問題を研究します。国際政治・経済のなかでの人間と人間との関係、とくに発展途上諸国民が直面している“貧困”と彼らのたたかいについて学びながら、日本・日本人・そして私たち一人ひとりの“豊かさ”と“貧困”を考えます。

上の趣旨にそって学生諸君と相談しながらすすめます。

講義の内容・授業スケジュール

何よりも<考える>努力を求めます。

履修上の留意点

<考える>努力したかどうかをもって評価します。

成績評価の方法

考え、討論するための資料を使ってすすめます。

参考書等

演習IIIに卒業研究を併設します。(希望者のみ。)

その他

履修コード	104701
科目名	演習I
担当者名	友松 憲彦

講義のねらい

経済史の基礎を学びます。現在、日本や世界にはさまざまな「経済問題」がありますが、これらはすべて過去の遺産を背負っており、歴史をもっています。経済史は「経済問題」の歴史を研究する学問ですが、それは必ずしも過去だけに関心を向けるということではありません。過去の経済を学ぶことによって現在の経済の理解を深め、その問題点を明らかにすることが、今後の社会や経済はどうあるべきかを考えることにつながります。経済学の基礎知識を習得しながら、経済史という学問の課題と方法を理解します。

講義の内容・授業スケジュール

2年次から3年間の継続履修を原則としますが、3年次からの参加もできます。
 2年次は、経済学や経済史の初歩的な概念や理論を説明しながら、近代社会の経済システムがどのように誕生し発展してきたのか、経済史の基礎を学びます。
 3年次は、特定のテーマを決めて全員で本を講読し報告と討論を行います。
 4年次は、自分でテーマを決めて卒業研究をまとめます。
 また、ゼミでは大学や社会で必ず必要とされる技術である資料や文献の探し方、本や資料の読み方、レジュメやリポートの書き方、発表や討論の仕方などを習得します。
 「経済史」「西洋経済史」「日本経済史」「商業史」等をあわせて履修することが望ましい。
 出席、発表、討論、レポートの状態を総合して評価します。
 最初の授業で指示します。
 演習を通じて紹介します。
 卒業研究を併設します。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

履修コード	102501
科目名	演習I
担当者名	中濟 光昭

講義のねらい

インターネット上での電子商取引、ネットワークを駆使した流通システム、サプライチェーンマネジメント、電子決済システム、デジタル情報の著作権問題など経営・経済に関するテーマに加え、コンピュータシステムに興味のある学生は、システム設計実習やホームページデザイン実習といった情報系のテーマを扱います。合宿、学外の研究発表、展示会見学、インターンシップ参加など様々な活動を通じて、社会人として必要なことを学びます。この演習の成果は情報産業を始めとする様々な業種への就職に結びつきます。

講義の内容・授業スケジュール

履修者のパソコンスキルによっては、ICTリテラシー、レジュメ作成、レポート作成、プレゼンテーションなどの実習を行います。サブゼミでの輪講、各自で研究テーマを決めて研究した経過をゼミで発表するなどにより、研究の仕方を習得します。

履修上の留意点

- ・合宿、課外イベント、サブゼミは原則として出席していただきます。
- ・メールの読み書きやワープロを打つといったことがゼミ活動上必須です。インターネットに接続できるノートパソコンが必要です。

成績評価の方法

出席と課題提出、夏季合宿、学年末に行う発表とレポート提出、ゼミ運営上の雑務、イベントへの参加、資格取得を総合評価します。

教科書
参考書等
その他

別途指示
別途指示

- ・積極性のある学生の参加を希望します。
- ・ゼミではパソコン教場を使用しますので、本ゼミを受講したい人は総合情報センターで利用登録を行う必要があります。
- ・演習IIIでは、卒業研究（論文及び作品）を併設します。
- ・編入学および転部・転科の学生を主な対象として4月に追加募集を行います。希望者は初回の演習に必ず出席すること。

履修コード	101431
科目名	演習I
担当者名	ながやま 宗広 <small>むねひろ</small>

講義のねらい	演習Iでは、講義「地域経済論 a、b」の予習・復習をかねて、地域経済・地域産業に関する基礎的な理論と分析手法を学ぶ。また、レポート・論文作成にとって必要なスキルを高めてもらう。 地域という窓から、現実の経済・産業を見ていくと、様々な問題意識や疑問が生まれてくる。研究対象についても、地域の農業や漁業、産地・地場産業など工業集積、商店街・中心市街地やまちづくり、温泉郷など地域観光、地域の金融や財政・政策、など多岐にわたる。地域という総合的存在を学ぶことを通じて、経済・産業の全体像を理解していくことを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	前期では、地域経済論の基礎的な文献や統計データ等を使って、輪読や担当を決めての要旨報告を中心に討論を行なう。具体的には、地域の人口・世帯、就業・労働、事業所・企業、産業（農業・工業・商業・サービス業）、各種インフラ、財政等、に関する地域経済の統計データについて、その分析方法を学ぶ。 ゼミ合宿では、仮想（実在しないが地方都市の典型例）のA地域の活性化プランをグループ単位で取りまとめてもらう。既に用意してあるA地域の統計データや、A地域の主要企業やキーマンのヒアリング情報等を分析し、A地域の課題抽出とその解決に向けた活性化策を提示してもらう。 後期では、ゼミ生各人（またはグループ）が愛着のある実在の地域を選定し、そこをケーススタディにして地域活性化プランを取りまとめてもらい、発表まで行う。
履修上の留意点	「地域経済論 a・b」の講義、「ベンチャー論・起業論」の講義を履修することががぞましい。 ゼミには主体的に参加してもらいたい。最終的には、ゼミ生各人が自ら問題を設定し、その問題を解決するために自分自身で調べ、新たな発見を見出し、その成果をプレゼンテーションできるようになってもらいたい。
成績評価の方法 教科書 参考書等	出席状況、授業中のレジュメ・報告内容、討論への参加などを総合的に評価する。 開講時にゼミ生と相談して決定する。 都度、紹介する。
その他	とりあえずは、講義の「地域経済論 a・b」「ベンチャー論・起業論」を参照のこと。 演習IIIでは、「卒業研究」を併設する。 本学の e-Education システム「イエスタディ」を活用する。

専門教育

履修コード	101481
科目名	演習I
担当者名	ばんば 博之 <small>ひろゆき</small>

講義のねらい	社会には、普段の生活で我々が気づかない様々な不思議があります。その不思議をマーケティングの発想で発見するセンスを磨くことが番場ゼミ（演習I）の目的です。
講義の内容・授業スケジュール	(1～5) ビジネス教育としてのグループエンカウンター (6～10) ディベート (11～15) フィールドワーク (16～30) 「ビジネスモデルづくり」か「課題研究」
履修上の留意点	詳細なシラバスは開講時に配布します。様々な活動を自主的かつ積極的に経験してみたい人のみ履修してください。
成績評価の方法 教科書 その他	日常の活動やゼミへの貢献度等を総合的に評価する。レポートや試験は行わない。 使用しない。 ゼミの運営モデルは2年生から卒業までの3年間でつくられています。3年間のプログラムの内容やゼミの運営・活動の内容を十分に理解したうえで履修してください。番場が担当する演習II、演習IIIの詳細な内容を知りたい方は、問い合わせてください。

履修コード	103701
科目名	演習I
担当者名	百田 義治 <small>ひやくた よしはる</small>

講義のねらい 現代の日本企業の経営管理に関わる主要なテーマを中心に、グローバル化・情報化（IT革命）の進展など経営環境が激変するなかで大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。同時に、「社会から信頼される企業」に求められるものは何か、という視点から企業倫理や企業の社会的責任（CSR）について学びます。

講義の内容・授業スケジュール 次のようなテーマに取り組みます。
 (1) 経済危機のなかで、日本企業の経営行動はどのように変化しているのか？（1～6）
 (2) 企業不祥事がなぜ多発するのか？ その防止（コーポレート・ガバナンス）には何が必要なのか？株価至上主義経営の破綻は何を意味するのか？企業の社会的責任とは何か？（7～12）
 (3) いま、なぜ、能力主義・成果主義なのか？ 終身雇用・年功制はなぜ修正されなければならないのか？日本的経営の何を残し、何を変革すべきか？（13～18）
 (4) 企業は環境問題にどのように取り組んでいるのか？（19～24）
 (5) 21世紀型ビジネス・モデルの特徴とは何か？ネットワーク経営とは何か？（25～30）

履修上の留意点 経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法 出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教科書 百田義治編著『経営学基礎』（中央経済社）2006年

参考書 鈴木幸毅・百田義治編著『企業社会責任の研究』中央経済社、2008年。
 稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』ミネルヴァ書房、2005年。

その他 「卒業研究」（4単位）を併設します。

履修コード	105101
科目名	演習I
担当者名	堀 龍二 <small>ほり りゅうじ</small>

講義のねらい 雇用、賃金、労働時間、能力開発、人事制度、労使関係といった人的資源管理論に関する基本的知識を獲得するとともに、現代的な問題意識をもってもらうことをねらいとしています。現代日本企業の人的資源管理はいま大きく変化を遂げつつあるところです。従来の人的資源管理がどのような特徴と構造をもっていたのか、それがなぜいま、どのような方向へ変化しているのか。このような問題を考えるのに有用な知識を修得してもらいます。

講義の内容・授業スケジュール 適当なテキストを選んで、それを輪読し、また担当を決めて要旨を報告してもらうといった方法で知識を修得するとともに、ゼミとしての共通の認識を養ってもらう。また、基本的な統計資料の利用といった学習スキルの向上も図っていく。適切な時期に、グループを作り、グループごとに小さなテーマを決めて、メンバー同士の協力のもとに下調べを行って、ゼミで報告する方法も予定しています。

履修上の留意点 人的資源管理に関する基本的知識の修得が主眼とはいえ、ゼミでの私の説明、他のメンバーの報告、それに基づく議論において、理解しにくいと感じたことをうやむやにしないで、率直に質問する姿勢を大切にしたい。つまり、とにかく積極的な参加・協力姿勢を重んじます。

成績評価の方法 毎週のゼミへの参加、丹念な下調べ、レジュメ・レポートの提出、積極的な発言を中心に評価します。

教科書 初回ゼミで相談して決めます。

参考書 ゼミのなかで適宜指示します。

その他 <卒業研究の有無>
 演習II・IIIまで引き続き履修した場合には、演習III履修時に卒業研究を併設します。

履修コード	101441
科目名	演習I
担当者名	松田 健

講義のねらい	今日の企業は単に経済的な機関として位置づけられるのみならず、私たちの生活に大きな影響力を及ぼす社会的存在に成長しました。企業とは一体どのような存在なのでしょう。私たちはどの程度企業について知っているのでしょうか？ 本演習はこうした基底的問題意識を踏まえつつ、現代における企業の基本的活動について体系的に理解することを目的としています。
講義の内容・授業スケジュール	利潤の追求を基本的原理としながら、製品・サービスの生産・流通・販売という経済活動を担う、企業の行動を主たる対象として、私たちの生活に密接不可分な存在になってきている企業を、再度「企業とは何か」という視点から見つめ直します。一年を通じて、企業の意義、役割およびその特質について理論的に考察を進めます。 第1回 前期オリエンテーション 第2回～第10回 研究課題に関する資料輪読とレジュメに基づいた報告 第11回 小括：資料輪読による知見をまとめた研究報告（1） 第12回～第14回 夏合宿で扱う研究課題に関する資料輪読と討論 第15回 小括：資料輪読と討論による知見をまとめた研究報告（2） 第16回 後期オリエンテーション 第17回～第26回 研究課題に関する資料輪読とレジュメに基づいた報告 第27回 小括：資料輪読による知見をまとめた研究報告 第28回 他大学ゼミとの研究交流会（1） 第29回 他大学ゼミとの研究交流会（2） 第30回 まとめ
履修上の留意点	専門演習とは、一つの学問領域に絞りながら、この領域における課題事項を集中的に考察、検討するものです。したがって、参加する学生は、自らの課題を自らが設定し、その課題に自らがチャレンジするという気概を持って演習に参加してください。
成績評価の方法	ゼミへの出席は最低要件です。したがって各自の発表を主たる評価の対象としながら総合的に評価します。
教科書 参考書等 その他	適宜指示します。 経営学辞典あるいは経営学用語集。 卒業研究有り

専門教育

履修コード	101451
科目名	演習II
担当者名	松本 典子

講義のねらい	非営利組織（NPO）とは何か、について学びます。 ①企業と非営利組織を比較することによって、両者の特徴を学びます。 ②非営利組織の実際の活動、行政や企業との協働を経営学の視点から考えます。 ③ゼミ生同士の交流を深め、卒業研究や就職に向けて様々な能力を培います。
講義の内容・授業スケジュール	講義では、非営利組織に関する基本文献を読み、基礎知識や理論を学習します。また、第一線で活躍している人に話を聞いたり現場を見学することで、文献では学べないことを積極的に学びます。同時に、非営利組織の学習を通して、パワーポイントによるプレゼンテーション能力やHP作成能力、ヒアリング調査やゼミ生同士の交流によるコミュニケーション能力を獲得することを目指します。 1年間の詳細なスケジュールは、話し合いによって決定します。
履修上の留意点	①積極的な姿勢で授業にのぞんでください。 ②物事を積極的に調べてください。 ③NPO・企業・行政訪問、サブゼミ、合宿等を積極的に企画し、参加しましょう。
成績評価の方法	出席およびゼミの活動にもとづいて総合的に評価します。
教科書 参考書等 その他	ゼミ生と相談の上、決定します。 参考文献や報告書、新聞・雑誌記事、関連HPなどを随時紹介します。 非営利組織の用語に関する基本文献として以下を薦めます。 ①雨森孝悦『テキストブックNPO』東洋経済新報社、2007年。 ②川口清史・田尾雅夫・新川達郎編『よくわかるNPO・ボランティア』ミネルヴァ書房、2005年。 ③山岡義典編著『NPO基礎講座・新版』ぎょうせい、2005年。 4年次（演習III）に卒業研究を併設します。 非営利組織論 a・b を履修することがのぞましいです。

履修コード	101301
科目名	演習I
担当者名	溝手 芳計

講義のねらい	食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス（農業・食料関連産業）の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思っています。
講義の内容・授業スケジュール	テキストの輪読とディスカッションを中心に進めます。レジュメの作成、発表のやり方、議論の進め方など、集団学習のスキル取得も重視します。ふだんは2年次生だけで学習しますが、このほか上級生と合同の合宿で学習と交流を進めます。
履修上の留意点	ゼミは集団学習、相互修練の場です。世の中、答えが一つとは決っていません。異なる意見を出し合って一緒に考えていくうちに理解が深まり、当初は考えられなかった結論に達することもあります。学生の皆さんが相互に疑問を出し合い、教えあい、意見交換していくことを大切にしてください。
成績評価の方法	ひとりひとりを大切にすることは当然ですが、同時に集団としての規律を守ることも求めます。
教科書	出席状況、レポートと発表の内容・態度、議論への参加状況などを総合的に評価します。 1冊目：レスター・ブラウン『フード・セキュリティー だれが世界を養うのか』、ワールドウォッチジャパン。
参考書等	2冊目以降は、ゼミ生と相談の上、決定しますが、2年次は食料問題を中心にします。 食料、農業、農村、環境、そして経済が今直面している具体的な課題に取り組んでいる本や新聞・雑誌記事を読むことを勧めます。必要に応じて紹介します。当面、次のものを薦めます。 金子勝『金子勝の食から立て直す旅』、岩波書店、2007年、1575円、ISBN978-4-00-023437-5 フェリシティ・ローレンス『危ない食卓—スーパーマーケットはお好き？』、河出書房新社、2005年、1980円、ISBN4-309-20441-4 内橋克人『共生の大地』、岩波新書、1995年、819円、ISBN4-00-430381-8-C0233 伊藤修『日本の経済』、中公新書、2007年、945円、ISBN978-4-12-101896-0
その他	演習IIIで「卒業研究」を併設します。

履修コード	103001
科目名	演習I
担当者名	光岡 博美

講義のねらい	日本の福祉・社会保障、またそれを支える日本経済や労働問題について入門的な学習を行う。
講義の内容・授業スケジュール	テキストにしたがって各自の分担を決め、レポーターの報告に従って討議を行う。また、夏と春は2泊3日の合宿を行う予定。但し、合宿への参加は強制しない。
履修上の留意点	自分からテキストに関連する、また興味あるテーマを決めて勉強して欲しいが、毎回の論読の箇所は事前に精読しておくこと。
成績評価の方法	出席状況やレポートの内容などで総合的に判断する。
教科書	参加者の意見や希望も考慮して決める。テキストは岩波新書程度のものを使用する。
参考書等	テキストに従って、または必要に応じて紹介する。

履修コード	101461
科目名	演習I
担当者名	村松 幹二 <small>むらまつ かんじ</small>

講義のねらい 現代の経済社会、特に経済活動と法・制度の関係を学ぶことで経済社会の仕組みについての理解を深めることを目的とする。そのために2年次には、ビジネス・エコノミクスの基礎を学び、それらを用いて、企業組織における経済活動と法・制度が日常生活や企業の経済活動に与える影響を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

経済学を用いて経済社会の仕組みを分析する方法を身につけ、論理的に議論できるようになることを重視する。参加者は日常生活における経済活動や政策に関する議論に関心を持ち、その意味を経済学の視点から分析し、意見を形成できるよう心がけてほしい。

前期には、ビジネス・エコノミクスのテキストを輪読し、現代の日本経済や日本企業の諸問題について経済学の視点から議論する。夏休みに合宿討論会を行い、そこでの議論を踏まえて、後期には企業組織論や「法と経済学」のテキストの輪読とワーキング・グループによる研究発表を行う。3年次前期には、企業組織論や「法と経済学」のテキストを輪読し、各自の研究テーマを決定する。3年次後期には、各自の研究発表をもとに討論を行う。4年次は卒論指導を行う。

履修上の留意点

ゼミへの出席、発表・報告を担当することを前提とし、毎回の討論に積極的に参加すること。ゼミの自主的な運営に積極的に参加すること。

成績評価の方法
教科書
その他の他

ゼミへの出席、報告内容、討論への積極的な参加などにより総合的評価を行う。
開講時にゼミ生と相談の上、決定する。
演習III履修時には、「卒業研究」（卒業論文）を併設する。

専門教育

履修コード	102701
科目名	演習I
担当者名	森岡 仁 <small>もりおか じん</small>

講義のねらい 1974年の少子化の開始以来30年が経過し、日本の人口は2005年から減少に転じました。少子高齢化人口減少と経済社会との関係を研究するのがこの演習の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

現在わが国にみられる少子高齢化人口減少は低い出生率と低い死亡率の組み合わせの結果です。経済が近代化する以前の出生率と死亡率はともに高く、人口は増加し、年齢構造は若く維持されてきました。その後経済社会が近代化するにつれて現在のような低出生・低死亡に変化しましたが、本演習では、これら人口要因の変化と密接な関係にある経済的・社会的諸要因との間の相互依存の関係を研究します。

履修上の留意点

休まず遅れず必ず出席し、自分の意見を積極的に述べる姿勢が必要です。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他の他

出席率と平常点
未定
特になし
卒業研究有

履修コード	101401
科目名	演習I
担当者名	森田 佳宏 <small>もりた よしひろ</small>

講義のねらい 会計とは、企業の経営活動の状況を数字によって表現しようとするもので、その具体的な技術が簿記であり、その背後にある理論が会計学といわれるものである。会計学の領域は大きく財務会計と管理会計とに分けられる。財務会計とは、投資者、債権者、税務当局、消費者など、企業外部の利害関係者に対し、会計情報という形で企業の実態を明らかにする外部報告会計である。さらに、このような外部報告会計に信頼性を付与するため、資本金5億円以上または負債総額200億円以上の会社、および有価証券の募集・売出しをしようとする会社または有価証券を上場している会社などに対して、公認会計士または監査法人による会計監査が義務づけられている。

講義の内容・授業スケジュール 本演習では、財務会計および監査の基礎理論を学ぶことを目的とする。テキストをベースとして、財務会計および監査の領域に属する基礎的な諸問題を取り上げ、解説および学生諸君による報告・討論を行う。必要に応じて簿記の学習を取り入れることもある。演習Iの終了時にはレポートの提出を課すので必ず提出すること。

履修上の留意点 演習であるから、すでにどれだけの知識を持っているかということよりも、みんなと一緒に会計を勉強したいという気持ちを重視したい。したがって、特別な事情がない限り、毎回必ず出席すること。

成績評価の方法 出席を重視するが、そのほかに報告内容（レジュメを含む）、レポートなどを考慮に入れて総合的に評価する。

教科書 新井清光著、川村義則補訂『現代会計学（第9版）』（中央経済社）2,600円（なお、改訂版が出る可能性があるため、初回の演習時まで購入しないこと。）

参考書等 演習時に適宜紹介する。

その他 演習IIIに「卒業研究」を併設する。

履修コード	102301
科目名	演習I
担当者名	谷敷 正光 <small>やしくし まさみつ</small>

講義のねらい テーマ〔日本の工業化と産業・経済発展史〕
日本の経済、産業、企業の驚異的な成長はいかにして可能だったかを考察します。2年生の演習は、戦前の日本経済や産業の発展過程と経済システムの形成を中心に学びます。3年生の演習では、戦後の経済や産業の発展過程を中心に学びます。

講義の内容・授業スケジュール 〔前期〕 ①近代産業の形成期に外貨を獲得に最も貢献した製糸業(繭を原料に絹糸をつくる工業)の理解の手がかりとして和田英『富岡日記』、島岡幸一『野麦峠に立つ経済学』、山本茂実『ああ野麦峠―ある製糸工女哀史』、②綿織物の工程を手織りから機械織機に変え、織物業を飛躍的に発展させた「豊田佐吉」の国産「力織機」の発明、豊田織機製作所から分離し、国産初の乗用車「トヨベツクラウン」をつくった「豊田喜一郎」の理解の手がかりとして邦光史郎『トヨタ王国』、③両替商から証券業・銀行業の基礎を築いた「野村徳七」の理解の手がかりとして邦光史郎『野村証券王国』などの経済小説を読み進めます。

また、参考資料として、「ああ野麦峠」「若き日の豊田佐吉」「生きている昭和史」などの映画、「乗用車ゼロからの出発」「ビジュアル近代産業の形成」「日本の企業家群像 豊田喜一郎」などのDVDやVTRを副教材として使用します。

前期はこれらの教材を使用して、班別の課題研究発表やプレゼンテーションを行います。

〔後期〕 前期に学んだ日本の製糸業、紡績業、織物業や日本の自動車産業について論じた「学術論文」(学会雑誌)を読んだり、基礎的文献を教材に日本経済の形成期、産業資本の確立期を中心に、日本経済の発展過程や経済システムの形成を班別の課題研究発表やプレゼンテーションを行います。

履修上の留意点 4年ゼミまで続けられる人を望んでいます。

成績評価の方法 授業の出席を基本に総合評価します。

教科書 演習の時間に適宜紹介します。

参考書等 松本衛『製糸労働争議の研究 岡谷・山一林組争議の一考察』柏出版
その他演習の時間に適宜紹介します。

その他 4年ゼミ(演習III)では、「卒業研究」(4単位)を併設しており、併せて履修することができます。3年ゼミ(演習II)では、「インターンシップb」(2単位)を併設しており、併せて履修することができます。インターンシップは「インターンシップa」(2単位)の履修が必要です。2年ゼミ(演習I)は、できれば「教育経済論」の講義(4単位)も履修して下さい。

履修コード	104201
科目名	演習I
担当者名	松井 柳平

講義のねらい 統計学の知識が経済、経営の分野でも必要不可欠なものとなっている。世界を舞台に経済は毎日めまぐるしく変動し、激動している。こうした不確実な変動を分析するための統計的手法を、パソコンを用いることで実践的に習得する。

講義の内容・授業スケジュール ガイダンス データの要約と視覚化 基本統計量 確率分布 相関分析 推定 仮説・検定 集計表と適合度検定 回帰分析 等分散の検定 時系列分析。数学モデル、確率モデルを視覚的に理解できることに重点を置く。

履修上の留意点 このゼミの履修にあたっては、数学の知識は事前にはまったく必要としない。

成績評価の方法 成績は授業中のゼミへの貢献によって評価する。具体的には、出席頻度、報告内容、質疑応答、討論への参加、課題達成度、ゼミ行事への積極的参加等を総合して評価する。

教科書 開講時に、ゼミ生と相談の上、決定する。

参考書等 鳥居『はじめての統計学』（日本経済新聞社）ISBN4-532-13074-3
 縄田『Excelによる統計入門』（朝倉書店）ISBN4-254-12142-3
 得津『はじめての統計』（有斐閣）ISBN4-641-08667-2

その他 パソコン教場でおこなう。レポーターによる報告に基づいて進める。

専門教育

履修コード	102901
科目名	演習I
担当者名	山縣 弘志

講義のねらい 比較経済論研究の入門

講義の内容・授業スケジュール 専門的学習・研究へ向けての入門的トレーニングを行う。国際的な視野を獲得し、卒業時に各自のテーマで論文作成することを目標とする。2年次においては、(1)社会科学の文献に慣れる、(2)論理的思考を育てる、(3)プレゼンテーションを経験する、(4)問題意識を明確にもつ、(5)世界経済の全体像をイメージできるようにする、(6)国際的な比較の観点を常に意識する、を主な柱として授業を組み立てる。

成績評価の方法 出席、発表、討論への参加を点数化して総合評価する。

教科書 岡沢憲英『スウェーデンの挑戦』 西川潤『世界経済入門』 石弘之『地球環境報告』
 暉峻淑子『豊かさとは何か』 以上岩波新書

その他 「卒業研究」有。

履修コード	103401
科目名	演習I
担当者名	吉田 敬一

講義のねらい この演習は日本経済分析の入門を基本課題としています。バブル崩壊後の日本経済は長期にわたって深刻な不況に喘いでいます。90年代の世紀末大不況は単純な循環性の不況ではなく、日本経済の構造とりわけ日本型生産システムの抜本的再編成に基礎を置く「構造転換不況」として把握する必要があります。そこで本演習では、21世紀に入った今日、国際的な観点を含めて、日本経済の問題点がどこにあり、なにが、いかに、なぜ変化しようとしているのか、そしてそれが地域経済と中小企業に対してどのような影響を及ぼしつつあるのかを、ともに考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール 講義とは異なり、演習は学生諸君の自主性・主体性が必要不可欠です。そこで演習生をグループ化し、班単位でレジュメを作成し、報告・議論を進めていきます。また共同研究を通して、演習生各自が自分自身の世界観・社会観（ものの見方・考え方）を確立することを目標として、また各自が個性的なプレゼンテーション能力とリーダーシップを高めることを目指して、演習を運営していきます。

履修上の留意点 受身にゼミに参加するだけでなく、積極的に発言し、楽しく有意義なゼミを共に創り上げるという姿勢でチャレンジしてください。なお4年次には卒業研究にチャレンジしてもらいます。

成績評価の方法 成績評価は、出席状況、平常点（レジュメ、報告内容、討論への参加度など）およびレポートなどを中心にして総合的に評価します。

教科書 橋本寿朗『戦後の日本経済』（岩波新書）

参考書等 演習を進める中で適宜に紹介します。

その他 演習IIIでは「卒業研究」を併設します。

履修コード	105201
科目名	演習I
担当者名	みかたべ けいいち 渡邊 恵一

講義のねらい 本演習では、近現代日本の経済史・経営史に関する研究を行う。演習Iでは、その入門編として比較的初学者にも取り組みやすい通史や概説書を読み、基本的な事実関係や先行研究について理解することから始める。文献輪読と並行して、ゼミの共同研究にも着手する。テーマは受講生の話し合いで決め、学生主体で調査、発表、論文化する力を養っていきたい。

講義の内容・授業スケジュール (1) 前期ガイダンス、(2)～(14) 文献輪読およびゼミ研究の基礎的作業、(15) ゼミ研究中間報告、(16) 後期ガイダンス、(17)～(29) 文献輪読およびゼミ研究の応用的作業、(30) ゼミ研究最終報告

履修上の留意点 授業時間だけでなく、合宿、コンパ、他大学とのインターゼミなどを含めたゼミ活動全般への積極的な参加が求められる。アルバイトやサークル活動との調整がつけられない人は受講を遠慮されたい。

成績評価の方法 ゼミに取り組む姿勢を総合的に評価した平常点。

教科書 開講時に受講生と相談のうえ指定する。

参考書等 授業の中で、その都度紹介する。

その他 演習IIでは、「インターンシップb」を併設する。
演習IIIでは、「卒業研究」を併設する。

履修コード	106001
科目名	演習II
担当者名	あきの かつみ 浅野 克巳

講義のねらい 基礎的な経済学をしっかり勉強した上で現代経済社会の抱えるさまざまな問題に実際に応用し経済学の理解を確実なものとしよう

講義の内容・授業スケジュール 1. 現代日本経済システムの特徴
2. 日本の企業と産業組織
3. 日本の企業システム
4. 日本企業とコーポレートガバナンス

履修上の留意点 演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習をしておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションにも挑戦

成績評価の方法 出席率、授業態度、レポートの内容等を総合して評価する。

教科書 内閣府『経済財政白書』その他

参考書等 その他の資料については授業の中で指示する。

履修コード	108101
科目名	演習II
担当者名	あいはら あき 姉歯 暁

講義のねらい 演習IIに引き続き、「グローバル経済と生活」を大まかなテーマに据え、「生活」を取り巻くさまざまな問題について学ぶと同時に、卒業研究への取り組みを開始します。

講義の内容・授業スケジュール 原書講読も含めて、より高度な文献を読みこなし、資料を解析し、他大学とのゼミ交流を深めながら報告ならびに討論のスキルを磨き、後期からは卒論作成に取り組むことになります。
全員でひとつの問題に取り組んで報告・討論を行うか、班分けをしながら、班毎の報告を主体にゼミを進行するかなど具体的なゼミの進行については、人数が確定した上で指示したいと思います。

履修上の留意点 遅刻・欠席は厳禁です。ゼミは、意見交換の場であり、一人ひとりの自主的なかわりと同時に、お互いに助け合い、問題への理解に達するための努力が不可欠となります。
また、ゼミ活動に関する作業をはじめとする集団的な行動への参加も必要です。
アルバイトやサークル活動などでゼミを欠席することはできません。履修予定表に載っている時間配分では終わらないのがゼミ活動です。忙しいことを承知の上で、やる気のある方の参加を希望します。

成績評価の方法 報告・討論への参加を含め、平常点で評価します。

教科書 時間のはじめに指示します。

参考書等 時間のはじめに指示します。

履修コード	106101
科目名	演習II
担当者名	阿部 弘 <small>あべ ひろし</small>

講義のねらい テーマ：日本経済論-2
 講義の内容・ 日本経済の構造分析
 授業スケジュール 年間2回の合宿と11月末から12月初めにゼミ論発表会を予定しています。
 「卒業研究」（4年次）を併設します。
 ゼミナールの成果を「ゼミ論集」に掲載します。
 履修上の留意点 「演習」ですから出席することは基本です。
 4年次に「卒業研究」を履修することが前提になります。
 合宿およびゼミ論発表会の欠席は不可です。
 成績評価の方法 総合的に評価します。「定期試験」はありません。

履修コード	107801
科目名	演習II
担当者名	荒木 勝啓 <small>あらい しょう</small>

講義のねらい 経済変動や数理ファイナンスなどのモデルをコンピュータ上でシミュレートするというテーマに
 向けて様々なコンピュータ技法をマスターしていく。
 講義の内容・ 演習IIからはエクセル上でVBAプログラミングを行う。同時に EXtend によりC言語の基礎を習
 授業スケジュール 得する。
 成績評価の方法 出席点100。
 教科書 指定なし。ただし必要な場合指示する。
 その他 Macintosh 教場（4-305）を使う。

履修コード	106401
科目名	演習II
担当者名	有井 行夫 <small>ありい ゆきお</small>

講義のねらい 現代社会は、企業中心社会です。受験競争や消費競争、夫 or 妻の争奪競争からマイホーム獲得
 競争にいたるまで、競争社会の中心に実は企業への就職競争が位置しています。企業の内部もサラ
 リーマンの出世競争・生き残り競争です。そして、最後に生き残って経営者に成り上がったサラリ
 ーマンにしても、企業自身の業績責任に不断に脅迫されて過労死寸前です。企業自身が、好況のと
 きも不況のときも生き残り競争のただ中にあるのです。企業は、利潤のための利潤、生産のための
 生産をどこまでも続けていかなければなりません。日本型企業社会に構造変革を迫っている今日の
 グローバリゼーションも、この傾向をさらに強めるものにほかなりません。サラリーマンからも、
 経営者からも、株主からも独立して、自己拡大の衝動に駆りたてられて走り続ける企業。国民の豊
 かさに無縁の「利潤のための利潤」。地球環境や資源の制約にも無関心の「生産のための生産」。一
 一これが現代社会の最大の謎であり、21世紀前半に解決しなければならない現代社会の最大の課題
 のありかです。
 講義の内容・ 前期 有井のプリント、新聞の読み方、川人博『過労死社会と日本』
 授業スケジュール 夏合宿 競争主義対平等主義
 後期 有井のプリント、新聞の読み方（ファイルの作成）、奥村宏『法人資本主義』
 履修上の留意点 最大のテキストは現代社会そのものです。新聞を読みこなす力を養います。併せて日本語を読む
 力、書く力、話す力を鍛えます。
 成績評価の方法 ゼミへの積極的参加50%、各種レポートの評価50%。
 教科書 川人博『過労死社会と日本』（岩波新書）、野村正実『雇用不安』（岩波新書）

履修コード	108301
科目名	演習II
担当者名	飯田 泰之 <small>いいた やすゆき</small>

講義のねらい

演習のテーマは「日本経済への実証的アプローチ」である。近年、経済問題にとどまらずビジネス・社会・政治分野においても経済学的な思考は必須の教養になっている。そして、自身の意見を発表し、説得する（つまりは「自分がわかっている」ことを人に伝え、他の人を「納得させる」）際には十分な実証的根拠を示し、聞き手を考慮した発表を行うことが必要とされる。本演習は「経済理論の理解」「統計を用いた証拠づけ」「プレゼンテーション能力」の3つを柱に、「使える経済学」を身につけることを目標とした。

講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点

演習Iでの学習内容をふまえ、学生の興味に応じてより発展的な内容に取り組んでいく。

「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「経済政策」「統計原論」「企業経済学 a、b」等関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のため駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

教科書は開講時に協議する。

テキストのみにこだわらずゼミ生の興味に沿った論文を取り上げていく。

経済学やパソコンの利用など基本知識のレベルには受講生ごとにばらつきがあると思うが、皆の希望を聞いた上で補充したいと思う。

履修コード	109211
科目名	演習II
担当者名	石川 純治 <small>いしかわ じゅんじ</small>

講義のねらい

企業会計の制度と理論を学習します。「制度」の基礎にある土台としての「理論」、この両者の関係において学習することが基礎にある視点です。

講義の内容・
授業スケジュール

また、社会経済における「生きた会計」を学習するために、「時事会計」を重視します。会計の基礎にある社会経済問題への関心が大切で、それとの関連で会計を学習します。会計をとおして世の中の問題に発言できる洞察力が得られればと思っています。

履修上の留意点

財務会計の基本テキストを学習し、その後、中級・上級のテキストへとレベルアップします。中級・上級では米国会計基準・国際会計基準も取り上げます。さらに、それらをより高い次元から見通す力を養うため、新聞・雑誌・小論文を素材にした学習も行います。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

会計学だけでなく、会計を通して世の中の社会経済問題を学習するというより広い視点にたてる学生を歓迎します。

出席・合宿・レポートなどゼミ活動の総合評価。

財務会計の標準的テキスト（その都度指示します）。

その都度、指示します。

私のプロフィールについては、駒澤大学のHPのトップページ「教員の紹介」から見る事ができますので参考にしてください。

履修コード	105901
科目名	演習II
担当者名	石川 祐二 <small>いしかわ ゆうじ</small>

講義のねらい

企業においては、会計情報が様々な目的をもって利用されている。その情報を生み出すための仕組みは、どのような構造をもっているのだろうか。その構造を探り、それが社会の多様な関係の中で果たす役割を研究する。そのことによって、社会現象を分析する視点の獲得を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

また、テキストの枠に縛られることなく、様々な書籍・データを用いてレジュメを作成し、発表するスキルを養うことも目標である。

履修上の留意点

演習IIでは、特に管理会計に関わる種々の技法を取り上げることにする。とりわけ、近年の管理会計研究上の議論の中心となっている技法に焦点を当てて、その意味を考えたい。さらに、その学習をつうじて、ゼミ生が各自のテーマを見つけたし、深く掘り下げていくための基礎固めをしたい。それにより、卒業研究に向けた足がかりを築くことを目指すものである。

積極的に参加すること。また、ゼミ生が相互に協力しあい、楽しいゼミ運営を行ってほしい。また、4年次には「卒業研究」を開設する予定である。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

特に出席を重視するが、報告内容等も含め、総合的に評価する。

特になし。

必要に応じて紹介する。

合宿その他のイベント等については、話し合いで決定する。

履修コード	105801
科目名	演習II
担当者名	<small>いわなみ ぶんたか</small> 岩波 文孝

講義のねらい	21世紀を迎えて以降も経営破綻や機関投資家・投資ファンドの不祥事など企業経営をめぐる問題が続出しています。本演習では、トップ・マネジメントの構造と機能の理解を中核として、企業間ネットワークとコーポレート・パワーとの連関の検討を通じて、現代の企業経営の課題を多面的に考察していきます。現代の企業経営に関する問題意識を深めていき、企業と社会との関わり、CSRを踏まえた企業経営システムの構築に向けた課題を追究していきます。
講義の内容・授業スケジュール	現代企業におけるコーポレート・パワーに関する文献の輪読形式により報告者・グループによる報告を中心に討論を行います。夏期・春期合宿では、現代の企業経営が抱える諸問題について、討議していきます。 1. ゼミナールの概要とガイダンス (1) 2. 企業と社会をめぐる論点 (2~7) 3. 企業と市場 (8~12) 4. 企業と社会 (13~17) 5. 企業の社会的責任 (CSR) の現状 (18~23) 6. 企業の社会的責任 (CSR) の課題 (24~30)
履修上の留意点	ゼミナールは受講生の主体的な学びの姿勢に基づいて運営されます。ここでは専門の学習とともに、自らの課題を発見し、問題意識を深めていくという積極的な学習が求められます。受講の際には企業経営をめぐる諸問題について問題意識を持ちゼミナールに参加してもらいたい。
成績評価の方法 教科書 参考書等 その他	ゼミへの出席、発表内容、討議への積極的な参加などの平常点による総合評価を行います。 開講時に指定します。 開講時に指定します。 演習III履修時には「卒業研究」(4単位)を併設します。

履修コード	106201
科目名	演習II
担当者名	<small>おおいし ゆうじ</small> 大石 雄爾

講義のねらい	2年次の演習Iでは現実の経済問題について幅広く学びました。演習IIではそれをふまえて、市場経済の進歩的な側面とそれが抱える問題点について検討し、資本主義経済の本質について理解を深めていきます。 また、グローバル化の過程で生じている国際的な経済問題を見る目を養えるような、そんな学習にも取り組みます。
講義の内容・授業スケジュール	いまや世界中が市場経済に組み込まれています。これは、資本主義的商品経済の仕組みが、地球的な規模で成立したことを意味しています。そのため、現代社会の動きを真に理解するには、市場経済の仕組みおよび運動法則を理解することがますます重要になってきます。 この演習IIでは、マルクスが『資本論』で明らかにした資本主義の経済法則を学び、前年に学んだ日本経済・地球環境問題への理解を深め、現代資本主義の本質に迫ります。
履修上の留意点	少人数形式の演習では、欠席をしないこと・遅刻をしないことが各人に求められます。参加者には、その点を自覚したうえで、様々な活動に積極的に取り組むことを期待しています。
成績評価の方法 教科書 参考書等 その他	平常点により評価します。 大石雄爾『商品の価値と価格』(創風社) 3,600円 マルクス『資本論』(新日本新書) 西川潤『世界経済入門(第3版)』(岩波新書) ①4年次の演習IIIに「卒業研究」を併設します。 ②選択科目「ビジネス・インターンシップ」を履修することができます。 ③コース制との関連：コースの履修は自由です。

履修コード	106501
科目名	演習II
担当者名	<small>おおいし かつお</small> 大吹 勝男

講義のねらい	現代の卸売業や商社について学習します
講義の内容・授業スケジュール	昨年の学習に引続き卸売業について学習しますが、本年は特に今日の卸売業についての実態を分析することをめざします。
成績評価の方法	平常点によりますが、昨年同様に読書感想文の提出を求めます。あとは諸君の勉強次第です。
教科書	昨年の資料等を使いながら新規は別に決定します。
その他	<卒業研究の有無> 義務ではありませんが、4年次には併せて開講します。

履修コード	106701
科目名	演習II
担当者名	北口 ^{きたぐち} りえ

講義のねらい 税務会計は、法人税法における課税所得計算に関する学問です。法人の所得に対して課される法人税は、企業にとって避けられないものであり、企業行動を左右する重要な要素のひとつとなっています。本演習は、法人税における課税所得が企業利益をベースとしてどのように算出されるのか、その課税所得の計算構造に関する理解を深めることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

演習IIでは、演習Iで得た企業会計および租税についての基礎知識を前提として、法人税の特質、課税所得の計算構造などについて学び、税務会計への理解を深めていきます。法人税法における課税所得は、公平な課税を実現させるために、企業利益に「別段の定め」による調整を加えて算出されます。したがって、企業利益と課税所得を比較しながら、益金の額・損金の額についての学習を進めます。

基本的には、テキストの1つのテーマに対してレジュメを作成し報告してもらい、ディスカッションするという方法で進めていきます。レジュメは単にテキストをまとめるだけでなく、疑問を持った点や深く掘り下げてみたい点などを追求したものを作成するよう心がけてください。また、報告者はプレゼンテーションにおいても棒読みではなく、的確に相手に理解してもらえるよう工夫をしてもらいたいと思います。

履修上の留意点

ゼミ内で意欲的に発言し、ゼミの運営や行事（合宿、税務署見学、ゼミナール連合会での研究発表会等）にも積極的に参加してください。

成績評価の方法

出席率、報告内容、ゼミやゼミの運営への参加度、レポート等の総合評価により行います。理由のない遅刻や無断欠席は大きな減点としますので、注意してください。

教科書

柳裕治『税務会計論』（創成社）

参考書等

その他、適宜プリントを配布します。

井上久彌・平野嘉秋『法人税の計算と理論』

金子宏『租税法』（中央経済社）

伊藤邦雄『ゼミナール現代会計入門』（日本経済新聞出版社）

その他

日商簿記2級取得のためのサブゼミを開きます（希望者のみ）。

履修コード	108201
科目名	演習II
担当者名	小杉 ^{こすぎ} 修二

講義のねらい

演習Iと同じですので、そちらを見てください。

講義の内容・授業スケジュール

基本的には演習Iと同じです。演習Iでは温暖化のメカニズム、その害悪について学びますが、演習IIではそれらの知識を踏まえて、その対策についてどんなものがあるか①地球に日傘 ②炭酸ガスの大気からの除去 ③炭酸ガスの発生削減について考えます。

温暖化対策は所詮は人類の意思決定の問題ですが、地球はひとつでも人類はひとつではありません。それぞれに個別利害を持つ存在である国、集団、個人に分かれています。ここから利害の合理的制御の学としての経済学の知見・方法が役に立つこととなります。3年次以降は温暖化対策の技術的側面と並んでその社会的側面を学習することとなります。

授業のやり方としては学生と相談しながら、「デイベイト」形式で問題を表と裏から考えます。デイベイトは為にする議論、という印象もありますが、ある問題に徹底的に賛成あるいは反対の立場に立って見た時、それが簡単に崩れるようなら、それは役に立たない議論ということになります。こうした議論を通じて、確実な根拠ある結論を探しましょう。やってみると意外に楽しいものようです。

第1-5週：温暖化対策として省エネルギーの可能性

第6-10週：代替エネルギーの可能性

第11-15週：炭酸ガスの吸収源の可能性

第16-20週：巨大技術の可能性

第21-25週：身近な方法の可能性

第26-30週：炭酸ガス削減の国際的取り決めの方法

履修上の留意点

演習Iと同じ。

成績評価の方法

出席状況とゼミへの参加の積極性、発言を総合して判定。

教科書

演習Iの継続+新しいテキストをゼミの進み具合に応じて考える。

参考書等

演習Iと同じ。

その他

〈卒業研究〉あり。通常のゼミの4単位とは別に卒業研究の4単位が当てられる。

履修コード	108501
科目名	演習II
担当者名	小西 宏美

講義のねらい 「多国籍企業、多国籍金融機関とカジノ資本主義」をテーマとしています。「カジノ資本主義」とは何か、多国籍企業・多国籍金融機関の活動がいかに経済を「カジノ化」してきたのか、「カジノ資本主義」は我々の生活をどのように変えてきたのか、について研究します。

講義の内容・授業スケジュール 国際経済、国際金融関係のテキストを使ってレジュメの作成、報告、討論を行います。後期は「日本学生経済ゼミナール関東部会」に参加し、他大学のゼミと討論します。

履修上の留意点 演習は、皆さんが主体的に参加してはじめて成立する学習の場です。責任感と自覚をもって臨みましょう。

成績評価の方法 出席、報告、討論の3点で評価します。

教科書 最初の授業時に指定します。

履修コード	107601
科目名	演習II
担当者名	齊藤 正

講義のねらい 「金融大変革と銀行の役割」をテーマに、望ましい金融システムのあり方について考えます。

講義の内容・授業スケジュール 金融ビッグバン、小泉構造改革を経て戦後日本の金融制度改革は総仕上げの局面にあります。金融コングロマリットを志向する大手金融機関と地域密着を掲げる地域・中小企業金融機関の経営手法の相違もいっそう明らかになってきました。

履修上の留意点 演習IIでは、サブプライム金融危機などの具体的金融問題を素材としながら、望ましい金融システムのあり方を「持続的発展」という視点から考えます。

成績評価の方法 日本社会は現在大きな変革期にあり、日本の将来をどのように描くのかという視点が求められています。金融問題を対象としながら、諸君一人一人が独自の視点を獲得されることを望みます。

教科書その他 年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。
大橋・小西・齊藤・平澤・田村『日本のビッグインダストリー6 金融』（大月書店）
「卒業研究」を併設します。

履修コード	106601
科目名	演習II
担当者名	清水 卓

講義のねらい 現代ヨーロッパ問題をより体系的にとらえるため、EU諸国の第二次大戦後の経済発展とEU統合の歴史と現状の二つの課題を柱に、グローバル化という名のアメリカナイゼーションに対抗し、アメリカや日本とは異なる、偉大な知恵の結晶である欧州社会の固有の伝統を基礎に「ヨーロッパ・モデル」を追求しているEUの動向と、我が国の「改革」路線との比較検討をします。

講義の内容・授業スケジュール また3年次後半からは就職活動が日程に上ってきますが、教員やゼミの先輩、ゼミ仲間間で有益な情報交換やアドバイスが得られるように運営します。

履修上の留意点 専門文献を精読と、各自のテーマ設定準備を行います。

成績評価の方法 演習Iを参照のこと。

教科書その他 演習Iを参照のこと。
演習Iを参照のこと。
演習Iを参照のこと。
演習Iを参照のこと。

履修コード	105701
科目名	演習II
担当者名	代田 純

講義のねらい 代田ゼミでは金融について学習し、研究します。日本の金融が中心ですが、海外の金融の動向や日本との比較についても学習します。証券アナリスト、証券外務員の受験指導も実施します。

講義の内容・授業スケジュール 4～7月においては、日本の株式市場について、テキストを使用し、学習する。夏合宿を経て、9～12月には証券外務員資格の学習指導も行う。3回生12月には卒業論文のテーマ設定をしてもらう。

履修上の留意点 金融の基礎知識がない人も歓迎します。ただし毎回出席することが前提です。

成績評価の方法 まず出席が基本です(80点)。さらにゼミでの発表、質問など発言(20点)によって日常点で評価します。

教科書 代田 純『日本の株式市場と外国人投資家』(東洋経済) 定価2800円+税 ISBN4-492-71155-4

参考書等その他 適宜紹介します。夏にインターンシップを予定する。希望者はインターン関係の科目を履修すること。

履修コード	105501
科目名	演習II
担当者名	鈴木 伸枝

講義のねらい 公共経済学のゼミです。講義よりも専門的なことを学ぶとともに、自ら問題を発見する能力を身につけることを目標とします。年金・医療・介護保険・環境・失業の諸トピックスについて「どうい問題があって、何を為すべきか」を自分なりの意見をもてるようにしましょう。

講義の内容・授業スケジュール 三年生のゼミでは、公共経済学のテキストを輪読します。毎回、輪読の報告担当者にはレジユメを用意してもらいます。必要に応じて、コンピュータを使った文書作成やインターネットでの情報検索についても指導します。

履修上の留意点 ゼミは勉強の場だけでなく、人前で自分の意見を言えるよう訓練したり、同じゼミの仲間と協力して何かを達成することを通じて人間的に成長する場でもあります。引っ込み思案にならず、常に積極的な態度で参加してください。

成績評価の方法 出席状況・予習状況・討論への参加度により評価します。

教科書 受講者と相談して決定します。

履修コード	107001
科目名	演習II
担当者名	<small>せとおか ひろし</small> 瀬戸岡 紘

講義のねらい 「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応して経済、社会、経営、文化などを分析し、自分の意見をもてる人間を養成すること。また、そういう時代を生きぬくうえでもとめられる社会的正義感をもった人間を養成すること。

講義の内容・授業スケジュール アメリカの大学の演習方式を大胆に採用しながらも、独自の方式で演習をすすめています。思考に強くなるための方法（弁証法の学習）、デジタル時代の学習と研究の方法（インターネット活用法の学習）、学ぶ者の社会的責任の体得などがそれです。

とくに最近数年間は、金融グローバル化について非常に緻密に学習しています。そのことをとおして、アメリカをはじめ、世界中でおこっている経済事象を読み解く実力がやしなわれるからです。それまでは単語として聞いたことがあった程度だった経済用語をふんだんに駆使しながら日々の出来ごとを語れるようなゼミ生が確実にそだっています。

あわせて、後輩のゼミ生の世話をすること、日本学生経済ゼミナールの東京大会・全国大会への参加、インターネットや遠隔授業をつうじたアメリカの学生との交流、工場見学や企業訪問など多彩な企画を実行しています。

履修上の留意点 4年次生で卒業論文を作成します。

成績評価の方法 ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は、当人のやる気です。

教科書 随時、有益な文献を紹介します。

その他 アメリカには、成功例も失敗例も世界一豊富にあります。企業活動から文化運動にいたるまで、アメリカの事例を知っておくことが、ゼミ生がどんなテーマを選んで研究するうえでも役にたちます。だから、アメリカの事例研究になる文献を多くとりあげます。

ゼミでは、社会の第一線で活躍している人を招いて「出前ゼミ」をときどき実施しています。当ゼミのOB・OGも、しばしば3年生や4年生のゼミに顔をだし、社会や会社の現場の話をしてくれます。

このほか、ゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問い合わせたりすることのほか、下記のホームページ（ゼミ生制作）にアクセスしてください。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/setooka>

履修コード	107901
科目名	演習II
担当者名	<small>そが のぶたか</small> 曽我 信孝

講義のねらい マーケティングの問題点を把握し、それを解決する方法を身に付けさせることをねらいにしている。

講義の内容・授業スケジュール 1～5回 問題発見の方法と論文の書き方についての指導
 6～15回 ゼミ生各自の研究テーマ発表とそれに対する指導
 夏合宿 ゼミ生各自の研究に関する弁別構成の指導
 16～25回 論文執筆に対する指導
 26～28回 ディベート大会に関する指導
 ディベート大会 12月の第2日曜に開催
 29～30回 論文集の校正に関する指導

履修上の留意点 ・平常の出席はもちろんであるが、論文の執筆と夏合宿及びディベート大会への参加は必ず必要です。

成績評価の方法 平常点（・出席状況20%、・夏合宿20%、・ディベート大会出席30%・論文30%）

教科書 指定しない

参考書等 必要に応じて紹介する。

履修コード	105311
科目名	演習II
担当者名	たち けんたろう 館 健太郎

講義のねらい

人々のかけひきを分析するための道具である「ゲーム理論」について学習し、これを使ってさまざまな社会現象を自分の言葉で説明できるようになることをめざします。ゲーム理論は、スポーツやカードゲームの必勝法の研究というよりも、私たちの日常生活や社会のなかで起きるさまざまなかけひきをゲームとみなし、それらをいくつかのパターンに整理して結果を予想するための学問で、その応用分野はとても広いです。情報通信や交通手段の発達などによってネットワーク化されている今日の経済では、人々のつながりに関する理解を深めることの重要性はますます高まっています。

本ゼミでは、主に産業組織論、すなわち企業の投資、生産、販売などを通じた競争戦略や、他の企業との戦略的提携など、それぞれの産業における企業間の競争と協力について扱います。また、補助金や規制などを通じて市場への介入を行う政府の産業政策・競争政策についても考えます。例えば、家電産業や情報通信産業ではしばしば製品間の互換性が重要になりますが、そのときに企業はどんな戦略をとるべきでしょうか。政府は何か政策を打ち出すべきでしょうか。もちろん、財政や金融、政治・外交など市場競争以外のかけひきについて研究したいという人も歓迎します。ゲーム理論という共通の土台の上立って、社会について自由に議論しあえるようになることを演習の目標にしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

最初のうちは講義形式の説明と輪読形式の発表の両方を使って、ゲーム理論そのものの学習を中心にすすめます。その後、ゲーム理論の学習と並行して、グループや個人で実際の産業や行政について調べ、そこからゲームを作って分析するなど、より実践的な研究へと展開していきます。

履修上の留意点

- ・自分自身で社会の中にあるかけひきを表現するためにオリジナル・ゲーム（といってもプログラムではない）を創作し、発表してもらおうなど、発想やアイデア、表現力を養うことを重視します。
- ・年に1～2回（休みの期間）、ゼミ合宿やインゼミ（他大学のゼミとの合同合宿）を行いたいと思っています。このときには交通費・宿泊費などの実費がかかります。自由参加としますが、参加や準備などに積極的な人を希望します。
- ・現在の演習Iとスムーズに合流するために、ゼミ履修が決定した後に定期的にプレゼミ（ゼミの内容の基礎知識を身につけるための勉強会）を開催したいと思っています。これになるべく参加することを希望します。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

定期試験は行わず、発表など平常点で評価する。
渡辺隆裕『図解雑学 ゲーム理論』（ナツメ社）
梶井厚志(2002)『戦略的思考の技術』中央公論社（中公新書、1658）
卒業研究として仕上げることをめざします。

履修コード	108801
科目名	演習II
担当者名	ちよん ちやんよん 鄭 章淵

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に第二次世界大戦後の東アジア経済の発展過程について理解を深めてもらうことです。

ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭に、アジア NIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）、ASEAN3（タイ、マレーシア、インドネシア）、中国、その他と続く発展の様は、しばしば「雁行型発展」と称されてきました。

ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。

日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく状況において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・授業スケジュール

演習Iで身につけた基礎知識を土台に、さらに東アジア経済に関する知識を深めるため、下記（教科書）の文献を輪読してもらいます。

夏季休暇中にゼミ合宿をします。そこでは別の文献を取り上げて講読し、ビデオ鑑賞なども予定しています。また、演習（ゼミ）の特別企画として課外活動を行うつもりです。

成績評価の方法
教科書
その他

出席率、レポート回数、合宿への参加状況などを加味して総合的に判定します。
北原淳・西澤信善〔編著〕『アジア経済論』現代世界経済叢書4、ミネルヴァ書房、2004年、3,200円＋税、ISBN4-623-04158-1
4年次に「卒業研究」を併設します。

履修コード	107401
科目名	演習II
担当者名	徳永 俊明

講義のねらい 発展途上諸国＝アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国の国際関係とそこでの人々の生活の問題を研究します。国際政治・経済のなかでの人間と人間との関係、とくに発展途上諸国民が直面している“貧困”と彼らのたまたかについて学びながら、日本・日本人・そして私たち一人ひとりの“豊かさ”と“貧困”を考えます。

講義の内容・授業スケジュール 上の趣旨にそって学生諸君と相談しながらすすめます。

履修上の留意点 何よりも<考える>努力を求めます。

成績評価の方法 <考える>努力したかどうかをもって評価します。

参考書等 考え、討論するための資料を使ってすすめます。

その他 演習IIIに卒業研究を併設します。(希望者のみ。)

履修コード	108701
科目名	演習II
担当者名	友松 憲彦

講義のねらい 西洋社会経済史の研究を課題にしています。ヨーロッパやアメリカ経済史の基本文献を講読し、経済史の基礎理論や概念について学びます。

講義の内容・授業スケジュール 基礎文献の講読をおこなうと同時に、各自が設定したテーマについて研究をすすめ、卒業研究のための基礎づくりをします。

履修上の留意点 「経済史」「西洋経済史」「日本経済史」「商業史」等をあわせて履修することが望ましい。

成績評価の方法 出席、発表、討論、レポートの状態を総合して評価します。

教科書 最初の授業で指示します。

参考書等 演習を通じて紹介します。

その他 卒業研究を併設します。

履修コード	105601
科目名	演習II
担当者名	中濱 光昭

講義のねらい 演習Iの内容を前提に、具体的なテーマを設定して研究します。

インターネット上での電子商取引、ネットワークを駆使した流通システム、サプライチェーンマネジメント、電子決済システム、デジタル情報の著作権問題など経営・経済に関するテーマに加え、コンピュータシステムに興味のある学生は、システム設計実習やホームページデザイン実習といった情報系のテーマを扱います。合宿、学外の研究発表、展示会見学、インターンシップ参加など様々な活動を通じて、社会人として必要なことを学びます。この演習の成果は情報産業を始めとする様々な業種への就職に結びつきます。

講義の内容・授業スケジュール 履修者のパソコンスキルによっては、ICTリテラシー、レジュメ作成、レポート作成、プレゼンテーションなどの実習を行います。サブゼミでの輪講、各自で研究テーマを決めて研究した経過をゼミで発表するなどにより、研究の仕方を習得します。

履修上の留意点 ・演習IIでは、就職のための準備など、様々な活動が要求されます。もちろん、合宿、課外イベント、サブゼミは原則として出席していただきます。

・メールの読み書きやワープロを打つといったことがゼミ活動上必須です。インターネットに接続できるノートパソコンが必要です。

成績評価の方法 出席と課題提出、夏季合宿、学年末に行う発表とレポート提出、ゼミ運営上の雑務、イベントへの参加、資格取得を総合評価します。

教科書 別途指示

参考書等 別途指示

その他 ・積極性のある学生の参加を希望します。

・ゼミではパソコン教場を使用しますので、本ゼミを受講したい人は総合情報センターで利用登録を行う必要があります。

・編入学および転部・転科の学生を主な対象として4月に追加募集を行います。希望者は初回の演習に必ず出席すること。

・演習IIIでは、卒業研究(論文及び作品)を併設します。

履修コード	109201
科目名	演習II
担当者名	<small>ながやま むねひろ</small> 長山 宗広

講義のねらい 演習IIでは、地域経済・地域産業の理論を踏まえて、地域の実態を把握する実践的手法を学んでいく。

地域という窓から、現実の経済・産業を見ていくと、様々な問題意識や疑問が生まれてくる。研究対象についても、地域の農業や漁業、産地・地場産業など工業集積、商店街・中心市街地やまちづくり、温泉郷など地域観光、地域の金融や財政・政策、など多岐にわたる。地域という総合的存在を学ぶことを通じて、経済・産業の全体像を理解していくことを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

世田谷区やタ張市など実在の地域を選定し、当該地域の実態把握と活性化プランを取りまとめていく。まずは、ゼミ生全員で、選定地域における既存資料や統計データを入手・分析する。その後は、グループ単位で、選定地域において興味のある研究テーマ（例：地場産業・中小企業の再生、新産業・ベンチャービジネスの創出、商店街・中心市街地の活性化、観光振興による交流人口アップなど）を設定し、各種調査を実施・取りまとめていく。それぞれの研究テーマにおける調査結果をもとに、当該地域の関係者（中小企業経営者や政策担当者など）と議論を行ない、最終的に当該地域の活性化プランとして取りまとめていく。この活性化プランは、当該地域の関係者に対して発表会が行なえる水準を目指す。

履修上の留意点

夏休み等を利用して、合宿やフィールドワークも行う予定。
「地域経済論 a・b」の講義、「ベンチャー論」「起業論」の講義を既に履修済みであることがのぞまれる。

成績評価の方法
教科書
参考書等

ゼミには主体的に参加してもらいたい。最終的には、ゼミ生各人が自ら問題を設定し、その問題を解決するために自分自身で調べ、新たな発見を見出し、その成果をプレゼンテーションできるようになってもらいたい。

その他

出席状況、授業中のレジュメ・報告内容、討論への参加などを総合的に評価する。
開講時にゼミ生と相談して決定する。
都度、紹介する。
とりあえずは、講義の「地域経済論 a・b」「ベンチャー論・起業論」を参照のこと。
演習IIIでは、「卒業研究」を併設する。
本学の e-Education システム「iエスタディ」を活用する。

履修コード	108901
科目名	演習II
担当者名	<small>ぬまた さとし</small> 沼田 郷

講義のねらい 日本経済の幅広い理解を目的としています。したがって、日本経済の歴史、主要産業、諸外国との関係など、確実に知識を積み上げていきたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

学生と相談のうえ決定しますが、おおまかなスケジュールとして、前期は日本経済を幅広く理解することに重点をおき、後期は主要産業ごとに掘り下げて理解することに重点をおきます。また、現場重視の観点から、企業見学も積極的に行いたいと考えています。この点に関しても学生と相談のうえ決定します。

履修上の留意点

当然のことながら、演習は出席することを前提としています。くれぐれも欠席することのないように。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

あらゆる活動に対する取り組みを総合的に評価します。
学生と相談のうえテキストを決定する。
随時お知らせします。
みなさんにとって、演習での活動が大学生生活の財産になるよう、持てる力をすべて注いでください。私にできることは何でもお手伝いします。

履修コード	105361
科目名	演習II
担当者名	番場 博之

講義のねらい 番場ゼミ（演習Ⅱ）の目的は、専門分野の研究を通して問題の発見からその解決へと向かう問題解決能力を育成することにあります。専門分野の研究は、流通政策・マーケティング・流通経済学などを中心に行います。

講義の内容・授業スケジュール (1～15)「ビジネスモデル」「課題研究」の研究報告書作成
(16～22) テキストを利用した学習（グループ単位）
(23～30) テキストを利用した学習（個人単位）

履修上の留意点 詳細なシラバスは開講時に配布します。様々な活動を自主的かつ積極的に経験してみたい人のみ履修してください。

成績評価の方法 日常の活動やゼミへの貢献度等を総合的に評価する。レポートや試験は行わない。

教科書その他 必要に応じて相談して決める。
このゼミの運営モデルは2年生から卒業までの3年間でつくられています。3年次からの入ゼミは基本的には想定していませんが、欠員が生じた等の場合には追加募集をすることもあり得ます。詳しくは、問い合わせてください。

履修コード	108001
科目名	演習II
担当者名	百田 義治

講義のねらい グローバル化・情報化（IT革命）の進展など経営環境が激変するなかで、大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。

講義の内容・授業スケジュール 演習Iの継続です。個別・グループ別に決定したテーマについて取り組みます。

履修上の留意点 経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法 出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教科書参考文献等 未定
鈴木幸毅・百田義治編著『企業社会責任の研究』中央経済社、2008年。
稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』ミネルヴァ書房、2005年。

その他 「卒業研究」（4単位）を併設します。

履修コード	106801
科目名	演習II
担当者名	福原 好喜

講義の内容・授業スケジュール 〔ウェーバーとマルクス研究〕
このゼミナールではカール・マルクスの『資本論』やマックス・ウェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』の輪読を行う。専門の研究会以外に週1回自由テーマの読書会を持っている。合宿、コンパ、マラソン大会とゼミの行事は多彩であるが、そんな中から真の友人を得、自分なりの勉学態度を身につけてくれればと思っている。若干名募集。

履修上の留意点 「卒業研究」併設。

成績評価の方法 成績は出席点とレポートでつける。

履修コード	109101
科目名	演習II
担当者名	堀 龍二 <small>ほり りゆうじ</small>

講義のねらい	わが国企業の人事・労務管理（人的資源管理）はいま大きく変化しつつあります。雇用、賃金、労働時間、昇進・昇格などの人事制度、能力開発、福利厚生、企業内労使関係といった労務管理のほとんどの領域で、かつて日本の労務管理（あるいは日本の経営）と特徴づけられた制度や慣行が改廃されつつあります。グローバル化、メガコンペティション、情報技術革新、それらに伴う企業・職場組織の再編などがその背景にあります。新しい方向を示すキーワードは、多様化、弾力化（フレキシビリティ）、成果主義、個別化などです。こうした変化をどのように把握し、どのように評価するか、自らの働き方（社会への貢献の仕方）として何を望むのか、メンバー同士の語り合いのなかで模索することがねらいです。その際に、諸外国の制度や慣行も比較対照として学習していきたい。
講義の内容・授業スケジュール	ゼミ生にワーキンググループを作ってもら。現代人事労務管理の変容を、①雇用、②賃金、③労働時間、④能力開発、⑤福利厚生（企業年金を含む）、⑥労使関係などの領域ごとに大別して、各グループが1つの領域を担当し、具体的なテーマを決めて下調べや報告をし、全員で議論するという形式で進める予定です。ワーキンググループ方式以外の方法をゼミ生が希望する場合は、進め方を相談して決めます。
履修上の留意点	1つのテーマのもとにグループメンバーがお互いに協力して調べものをするを楽しい学習と思っしてほしい。また、全員が自由に発言できる雰囲気を大切にしたい。
成績評価の方法	日頃のゼミへの参加、丹念な下調べ、レジュメ・レポートの提出、積極的な発言と参加を中心に評価します。
教科書 参考書等 その他	共通テキストを用いるかどうかはゼミ生と相談して決めます。 ゼミのなかで適宜指示します。 <卒業研究の有無> 引き続き演習IIIを履修する場合には、履修時に卒業研究を併設します。

履修コード	109221
科目名	演習II
担当者名	松井 柳平 <small>まつい りゅうへい</small>

講義のねらい	統計学の知識が経済の分野で必要不可欠なものとなっている。世界を舞台に経済は毎日めまぐるしく変動し、激動している。こうした不確実な変動を分析するための統計的手法を、パソコンを用いることで実践的に習得する。
講義の内容・授業スケジュール	統計的な分析をおこない、評価・討論する。 必要な場合、輪読をおこなう。テキストは、ゼミ生と相談の上、決定する。
履修上の留意点	このゼミの履修にあたっては、数学の知識は事前にはまったく必要としない。
成績評価の方法	成績は授業中のゼミへの貢献によって評価する。具体的には、出席頻度、報告内容、質疑応答、討論への参加、課題達成度、ゼミ行事への積極的参加等を総合して評価する。
教科書 参考書等 その他	開講時に、ゼミ生と相談の上、決定する。 授業のなかで必要に応じて、指示する。 パソコン教場でおこなう。レポーターによる報告に基づいて進める。

履修コード	105321
科目名	演習II
担当者名	まつだ たけし 松田 健

講義のねらい 現代は極めて変化のスピードが早い時代です。こうした傾向は企業経営の世界にも当てはまりません。企業は経営環境の著しい変化の中で日々の業務に携わりながらも、自らが拠って立つ基盤を模索しています。これは企業自身も自らと社会との関係をどのように構築していけばよいのかという課題に直面しているといえるでしょう。こうした理解に立ち、本演習では企業経営の現代的課題について取り上げながら、企業活動の体系的理解を目指します。

講義の内容・授業スケジュール 本演習では、企業形態、株式会社制度、企業統治ならびに企業の社会的責任などに代表される、現代の企業に関わる重要な課題を考察の対象とします。一年を通じて、企業に関する基礎的な知識、概念ならびに理論に対する考察を踏まえ、各自で設定した研究テーマにしたがって卒業論文作成の準備に取り掛かれるように、企業の意義、役割ならびにその特質に関わる体系的な理解を目指します。

- 第1回 前期オリエンテーション
- 第2回～第11回 研究課題に関する資料輪読とサブゼミのレジュメ作成
- 第13回～第15回 夏合宿で扱う研究課題に関する資料輪読と討論
- 第16回 後期オリエンテーション
- 第17回～第26回 研究課題に関する資料輪読とサブゼミのレジュメ作成
- 第27回 小括：資料輪読による知見をまとめた研究報告
- 第28回 他大学ゼミとの研究交流会（1）
- 第29回 他大学ゼミとの研究交流会（2）
- 第30回 まとめ

履修上の留意点 専門演習とは、一つの学問領域に絞りながら、この領域における課題事項を集中的に考察、検討するものです。したがって、参加する学生は、自らの課題を自らが設定し、その課題に自らがチャレンジするという気概を持って演習に参加してください。

成績評価の方法 ゼミへの出席は最低要件です。したがって各自の発表を主たる評価の対象としながら総合的に評価します。

教科書 適宜指示します。
参考書等 経営学辞典あるいは経営学用語集。
その他 卒業研究有り

履修コード	105331
科目名	演習II
担当者名	まつもと のりこ 松本 典子

講義のねらい 演習Iと同じです。
 演習Iで学んだことを基礎に、更に発展した調査および研究を行い、非営利組織（NPO）や社会問題について考え、討論を行います。また、最後まで考え抜く力を養います。

講義の内容・授業スケジュール 演習Iと同様に、文献の輪読・討論を行い、非営利組織・行政・企業へのヒアリング調査を実施します。年度末には、卒業研究の基礎となる報告書をまとめます。

- 1年の詳細なスケジュールは、話し合いによって決定します。
- 履修上の留意点**
- ①積極的な姿勢で授業にのぞんでください。無断欠席・無断遅刻厳禁！
 - ②物事を積極的に調べてください。
 - ③NPO・企業・行政訪問、合宿等を積極的に企画し、参加しましょう。

成績評価の方法 出席およびゼミの活動にもとづいて総合的に判断します。
教科書 ゼミ生と相談の上、決定します。
参考書等 参考文献や報告書、新聞・雑誌記事、関連HPなどを随時紹介します。
その他 4年次（演習III）に卒業研究を併設します。
 非営利組織論 a・b を履修することがのぞましいです。

履修コード	105301
科目名	演習II
担当者名	溝手 芳計

講義のねらい 食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス（農業・食料関連産業）の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思っています。演習IIでは、これらの問題に関する代表的な見解を見ていきます。

講義の内容・授業スケジュール テキストの輪読とディスカッションを中心に進めます。今年はディベートにチャレンジしましょう。レジュメの作成、発表のやり方、議論の進め方など、集団学習のスキル取得も重視します。ふだんは3年次生だけで学習しますが、このほか演習I（2年次生）等と合同の合宿で学習と交流を進めます。

履修上の留意点 ゼミは集団学習、相互修練の場です。世の中、答えが一つとは決っていません。異なる意見を出し合って一緒に考えていくうちに理解が深まり、当初は考えられなかった結論に達することもあります。学生の皆さんが相互に疑問を出し合い、教えあい、意見交換していくことを大切にしてください。

ひとりひとりを大切にすることは当然ですが、同時に集団としての規律を守ることも求めます。

成績評価の方法 出席状況、レポートと発表の内容・態度、議論への参加状況などを総合的に評価します。

**教科書
参考書等**

ゼミ生と相談の上、1年間のテーマを決め、これに沿ってテキストを選定します。
スーザン・ジョージ『なぜ世界の半分が飢えるのか』、朝日新聞社、1984年、1785円、ISBN4-02-259357-1 C0336
金子勝『金子勝の食から立て直す旅』、岩波書店、2007年、1575円、ISBN978-4-00-023437-5
フェリシティ・ローレンス『危ない食卓—スーパーマーケットはお好き』、河出書房新社、2005年、1980円、ISBN4-309-20441-4
坂内久・大江徹男編『燃料か食料か—バイオエタノールの真実』、日本経済評論社、2008年、2730円、ISBN978-4-8188-2020-3-C0033

その他 演習IIIで「卒業研究」を併設します。

履修コード	107201
科目名	演習II
担当者名	光岡 博美

講義のねらい 日本の福祉・社会保障、その制度や現状、日本経済との関連について、やや専門的な学習をする。この演習IIでの勉強をもとに、演習IIIではゼミ論文の作成に取り組んでもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール テキストに従って、各自の分担を決め、レポーターの報告に従って討議を行う。また、後半は各自の研究を発表してもらう。

履修上の留意点 夏と春は2泊3日の合宿を行う。但し、合宿への参加は強制しない。

前期はテキストを論読していくが、後期は各自の研究を発表してもらうので、前期のうちから準備しておくこと。

成績評価の方法 出席状況、レポート報告、研究発表等、総合的に判断する。

**教科書
参考書等**

参加者の意見や希望も考慮して決める。
テキストに従って、また必要に応じて紹介する。

履修コード	105341
科目名	演習II
担当者名	村松 幹二

講義のねらい	現代の経済社会、特に経済活動と法・制度の関係を学ぶことで経済社会の仕組みについての理解を深めることを目的とする。そのために3年次には、企業組織論と「法と経済学」の基礎を学び、それらを用いて、企業組織における経済活動と法・制度が日常生活や企業の経済活動に与える影響を考察する。
講義の内容・授業スケジュール	経済学を用いて経済社会の仕組みを分析する方法を身につけ、論理的に議論できるようになることを重視する。参加者は日常生活における経済活動や政策に関する議論に関心を持ち、その意味を経済学の視点から分析し、意見を形成できるよう心がけてほしい。 前期には、企業組織論や「法と経済学」のいずれかのテキストを輪読し、現代の日本経済や日本企業の諸問題について経済学の視点から議論する。夏休みに討論会を行い、そこでの議論を踏まえて、後期にはワーキング・グループによる研究発表を行うとともに個人の研究テーマを決定し、個人研究のための指導を行う。4年次は卒論指導を行う。
履修上の留意点	ゼミへの出席、発表・報告を担当することを前提とし、毎回の討論に積極的に参加すること。ゼミの自主的な運営に積極的に参加すること。
成績評価の方法	ゼミへの出席、報告内容、討論への積極的な参加などにより総合的評価を行う。
教科書その他	開講時にゼミ生と相談の上、決定する。 演習III履修時には、「卒業研究」(卒業論文)を併設する。

履修コード	106901
科目名	演習II
担当者名	森岡 仁

講義のねらい	人口が増加する状況で発展してきた日本の経済が、人口減少によってどのような影響を受けるのかを知ることは重要です。人口減少が日本経済に与える影響を研究するのがこの演習の目的です。
講義の内容・授業スケジュール	人口減少が経済に与える影響を考える場合、そこには幾つかの経済的諸要因が存在します。例えば、労働力、生産性、技術進歩、消費、貯蓄、投資などです。人口増加がこれら経済的諸要因との間に維持していた良循環が、人口減少状態においてどのように変化するのかが問われています。
履修上の留意点	休まず遅れず必ず出席すること。
成績評価の方法	出席率と平常点。
教科書	未定。
参考書等	特に指定せず。
その他	卒業研究有。

履修コード	105401
科目名	演習II
担当者名	森田 佳宏

講義のねらい	財務会計は、企業をとりまく利害関係者の利害調整およびその意思決定に貢献することを目的として発展してきている。さらに、財務会計によってもたらされる情報に信頼性を付与するために会計監査が行われている。したがって、財務会計と会計監査には密接なつながりがあり、財務会計の知識なくして会計監査を深く理解することはできない。本演習においては、財務会計および監査の領域に属する諸問題を、学生相互間の討論を中心として研究していく。
講義の内容・授業スケジュール	まずテキストを用いて財務会計の理論を習得し、その後監査論の学習に進む。これらの学習は、次年度における卒業研究の基礎となるものである。なお、夏合宿では日商簿記検定試験2級程度の学習を行う。
履修上の留意点	特別な事情がない限り、毎回出席すること。明るく楽しいゼミにしたいと思うので、自主的にゼミを運営できるような、積極的かつ協調の精神に富んだ諸君の参加を期待している。
成績評価の方法	いわゆるゼミであるから出席を重視するが、そのほかにゼミにおける報告(レジュメを含む)・発言内容やゼミ活動に対する取り組みなどを考慮に入れて総合的に評価する。
教科書	最初の演習時に指示する。
参考書等	演習時に適宜紹介する。
その他	演習IIIに「卒業研究」を併設する。

履修コード	106301
科目名	演習II
担当者名	谷敷 正光

講義のねらい

テーマ〔戦後日本経済の発展と日本型経済システム〕

3年演習は、戦後の日本経済の発展過程を中心に学びます。戦後の日本経済は、1950年代半ばから驚異的な経済成長を遂げ、国民総生産で資本主義第2位にまで成長し、「経済大国」「貿易大国」と称されたが、「バブル経済」崩壊後は「バックスジャボニカ」も露と消えた。戦後60年間に形成された「日本経済システム」の形成と「制度的疲労」による破綻の要因を基本文献や「学術論文」(学会雑誌)を教材に解明します。また、4年演習は経済の発展過程を経済・人材・学校の側面から明らかにします。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕 戦後の日本経済を中心に、1950年代前半経済復興期、1955年以降の高度成長第I期、第II期、第III期、第IV期から経済構造転換期、安定成長期、バブル経済期に至る各段階の発展要因とその構造的特質を捉え、「日本経済システム」はどのように構築されたかを解明します。

〔後期〕 「制度的疲労」によって戦後の日本経済を支えてきた日本経済システムは破綻した。日本経済システム破綻の要因を基本文献や「学術論文」(学会雑誌)等を教材に考察します。

履修上の留意点

後期は就職を控えて「就職セミナー」に参加する機会も多くなるが、差し支えない日は必ず授業に出席して下さい。

成績評価の方法
教科書

出席を基本にレポートや発表などで総合評価します。

演習の時間に適宜紹介します。

参考書等
その他

学術論文を多く使用しますが、学術論文はプリントして配布します。

演習の時間に適宜紹介します。

4年ゼミ(演習III)では、「卒業研究」(4単位)を併設していますので、併せて履修が可能です。

3年ゼミ(演習II)では、「インターンシップb」(2単位)を併設していますので、併せて履修が可能です。

インターンシップは「インターンシップa」(2単位)の履修が必要です。希望する人は併せて履修することができます。

2年次で「教育経済論」の講義(4単位)を履修していない人は3年次での履修をのぞみます。

履修コード	108401
科目名	演習II
担当者名	安元 稔

講義のねらい

われわれが現在生活している工業化社会は、18世紀後半にイギリスで始まった産業革命に端を発しています。今年度の演習IIでは、18-19世紀のイギリス経済の特質をさまざまな角度から見て行きます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの要約・疑問点・興味を持った点の報告、関連する学術用語・概念等の調査・報告を中心に演習を進めます。

履修上の留意点

学部の講義「経済史」を受講することが望ましい。

成績評価の方法

日常の勉学態度・出席状況を見て成績を評価します。

教科書

第1回目の演習の際、指示します。

参考書等

適宜指示します。

履修コード	107101
科目名	演習II
担当者名	山縣 弘志

講義のねらい

比較経済論の専門的学習・研究

講義の内容・授業スケジュール

現代世界のリアリティをどうとらえるかは経済学的重要な責務となっている。テクノロジーの発展が生み出すヴァーチュアリティと現実とのギャップをいかに埋めるか、わたしたちの知恵が問われているといえる。20世紀に顕在化した課題――環境、戦争、福祉、民族、競争と平等、これらとどう取り組むべきか。市場主義の限界は明らかであり、他方で「20世紀社会主義」も対案となりえなかった。ヨーロッパ、ロシアの経験に学び、比較経済論の視点から、これらの問題を考えていきたい。後期は自主研究の発表の形で授業を進める。

成績評価の方法

出席、発表、討論への参加を点数化して総合評価する。

教科書

相談の上決める。

その他の他

「卒業研究」有。

履修コード	107301
科目名	演習II
担当者名	<small>ふるさわ こうぞう</small> 古沢 紘造

講義のねらい 3年演習〔アフリカの社会と文化II〕
アフリカに関心を置いた卒業作品の制作に着手する。作品の形態は、個人の好みに合わせ、ルポ、エッセイ、評論など自由に選択する。

講義の内容・授業スケジュール (1) 卒業作品について数回の中間発表を行う
(2) アフリカをテーマにしたユニークな雑誌を発行する。
(3) アフリカに関連した企画の主要な担い手となる。

成績評価の方法その他 作品中間発表、レポート提出、ゼミ活動への参加に基づき評価する。
「卒業研究」を併設する。

履修コード	107701
科目名	演習II
担当者名	<small>よしだ けいいち</small> 吉田 敬一

講義のねらい この演習は日本経済の構造転換問題をグローバル化との関わりで共同研究し、併せて企業システムの変容の実態を理解することを目的としています。また共同研究を通じて、4年次の卒業研究にチャレンジするテーマをつかむことも3年次の重要な課題となります。

講義の内容・授業スケジュール 講義とは異なり、演習は学生諸君の自主性・主体性が不可欠です。そこで演習生をグループ化し、班単位でレジメを作成し、報告・議論を進めていきます。また共同研究を通して、演習生各自が自分自身の世界観・社会観（ものの見方・考え方）を確立することを目標として、また各自が個性的なプレゼンテーション能力とリーダーシップを高めることを目指して、演習を運営していきます。

履修上の留意点 受身でゼミに参加するのではなく、積極的に発言し、楽しく有意義なゼミを共に創り上げるという姿勢でチャレンジしてください。なお4年次には卒業研究にチャレンジしてもらいます。

成績評価の方法 成績評価は、出席状況、平常点（レジメ、報告内容、討論への参加度など）およびレポートなどを中心にして総合的に評価します。

教科書 参考書等 共同研究のテキストは、最初のゼミの時間に指定します。
適宜、指示します。

履修コード	107501
科目名	演習II
担当者名	<small>よしの おさむ</small> 吉野 紀

講義の内容・授業スケジュール 経済状況を「かなり」とか「非常に」といった形容詞を用いて言い表わすのではなく、「数量」や「尺度」を用いることでより客観的に提示することが、私の手法であると、かつてケネーが表明していたが、そうした考え方に軸足を置きつつも、規範的（normative）な経済の論理を生かすか否かは、良くも悪くも、生身の人間の、教育で育まれたかあるいは伝統として社会全体に受け継がれてきたかの思想（身体に染みついた考え方であり、容易に変革しえない部分）に依存する。

成績評価の方法 日本社会の底流にあるこうした部分との接点にも目を向けてゆくことにしよう。
日常の授業にとり組む姿勢を評価の基準に置く。

教科書 参考書その他 開講時に指示する。
「卒業研究」併設。

履修コード	108601
科目名	演習II
担当者名	渡邊 恵一 <small>わたなべ けいいち</small>

講義のねらい 本演習では、近現代日本の経済史・経営史に関する研究を行なう。演習IIで輪読する文献は、もう少し読みごたえのある専門書へとステップアップしたい。文献輪読と並行して、ゼミの共同研究にも着手する。テーマは受講生の話し合いで決め、学生主体で調査、発表、論文化する力を養っていききたい。

講義の内容・授業スケジュール (1) 前期ガイダンス、(2)～(14) 文献輪読およびゼミ研究の基礎的作業、(15) ゼミ研究中間報告、(16) 後期ガイダンス、(17)～(29) 文献輪読およびゼミ研究の応用的作業、(30) ゼミ研究最終報告

履修上の留意点 授業時間だけでなく、合宿、コンパ、他大学とのインターゼミなどを含めたゼミ活動全般への積極的な参加が求められる。アルバイトやサークル活動との調整がつけられない人は受講を遠慮されたい。

成績評価の方法 ゼミに取り組む姿勢を総合的に評価した平常点。
教科書 開講時に受講生と相談のうえ指定する。
参考書等 授業の中で、その都度紹介する。
その他 演習IIでは、「インターンシップ b」を併設する。
 演習IIIでは、「卒業研究」を併設する。

履修コード	109901
科目名	演習III
担当者名	浅野 克巳 <small>あさの かつみ</small>

講義のねらい 演習IIの継続として以下の内容を検討する。

講義の内容・授業スケジュール 1. 現代日本経済システムの特徴 2. 日本の企業と産業組織 3. 日本の企業システム 4. 市場と取引コスト 5. 情報の経済分析 6. ネットワーク外部性 7. 巨大企業の誕生と「収獲増」の波 8. 技術進歩と研究開発 9. 知的財産権と企業 10. 構造改革と日本経済 11. メインバンクシステムと資本市場 12. 日本企業とコーポレートガバナンス

履修上の留意点 演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習しておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションも行うので「情報センター」を利用して活用できるようにしておくこと。

成績評価の方法 出席率、授業態度、レポートの内容等を総合して評価する。
教科書 長岡・平尾『産業組織の経済学』（日本評論社）1998年
 ポール・ミルグロム＝ジョン・ロバーツ『組織の経済学』（NTT出版）1997年
 小田切宏之『企業経済学』（東洋経済新報社）2000年
参考書等 内閣府『経済財政白書』その他の資料については授業の中で指示する。
その他 卒業研究 有

履修コード	109411
科目名	演習III
担当者名	姉齒 暁 <small>あねはら あき</small>

講義の内容・授業スケジュール 演習IIに引き続き、グローバリゼーションの下での国民生活の問題を扱います。食料問題、農業問題、地域経済に大きな影響をもたらすグローバル経済システムの実態を読み解く理論的枠組みを合わせて学んでいくので、経済理論の基礎も同時に身につきます。

成績評価の方法 報告・討論への参加、提出物を含め、平常点で評価します。

履修コード	113201
科目名	演習III
担当者名	阿部 弘 <small>あべ ひろし</small>

講義のねらい テーマ：日本経済論
講義の内容・授業スケジュール 「卒業研究」を併設し、演習IIIおよび「卒業研究」の指導を行います。

成績評価の方法 総合的に評価します。「定期試験」はありません。
 「卒業研究」の論文発表ができない場合は、単位にはなりません。

履修コード	111701
科目名	演習III
担当者名	荒木 勝啓 <small>あらかき よしひろ</small>

講義のねらい 経済変動や数理ファイナンスなどのモデルをコンピュータ上でシミュレートするというテーマに向けて様々なコンピュータ技法をマスターしていく。

講義の内容・授業スケジュール 4年生は経済変動モデルや数理ファイナンスモデルを構築していく。昨年度は回帰分析モデル、移動平均モデルを使い株式の売買シミュレーションを行なった。今年度は重回帰プログラミングの成果をもとにさまざまな社会現象の重回帰分析とその統計的検定を行う。

成績評価の方法その他 オリジナルモデルの作成と検定（ゼミ論）80、出席点20。
プログラミングやコンピュータシミュレーションの実際をマスターした学生は、就職の際に圧倒的に希望の会社、職種につくことができるというのが実情である。DTPの技能についても同様である。本ゼミとは、そうしたプロフェッショナルな技能を身に付けた上で、その技術をもとにはじめてオリジナルな自己表現をすることができるという現実を知る場であると心得て欲しい。

履修コード	109291
科目名	演習III
担当者名	有井 行夫 <small>あらい ぎょうぶ</small>

講義のねらい 現代日本社会は、経済問題にとどまらず、実に様々な社会問題をかかえています。少子高齢化、過労死、地域社会の荒廃、犯罪の増加、子供たちの学力の低下から、地球温暖化対策や地震災害対策にいたるまで容易に列挙することができますね。これら様々な社会問題の根底には実は企業中心社会という特殊な社会編成原理がすわっています。逆に様々な社会問題は企業中心社会の諸相であり、諸断面なのです。関心のある社会問題を自由に選んでその根底に潜む企業中心社会をえぐりだしてみましょう。演習Iと演習IIとの発展研究がこれです。演習IIIでは、以上の観点から卒業研究をまとめます。

講義の内容・授業スケジュール 前期=各自卒業研究のテーマを決定。夏休み中=資料と文献の読み込み。9月中間報告合宿。後期=執筆。

成績評価の方法 卒業研究で評価します。

履修コード	109801
科目名	演習III
担当者名	飯田 泰之 <small>いいた たいし</small>

講義のねらい 演習のテーマは「日本経済への実証的アプローチ」である。近年、経済問題にとどまらずビジネス・社会・政治分野においても経済学的な思考は必須の教養になっている。そして、自身の意見を発表し、説得する（つまりは「自分がわかっている」ことを人に伝え、他の人を「納得させる」）際には十分な実証的根拠を示し、聞き手を考慮した発表を行うことが必要とされる。本演習は「経済理論の理解」「統計を用いた証拠づけ」「プレゼンテーション能力」の3つを柱に、「使える経済学」を身につけることを目標としたい。

講義の内容・授業スケジュール 演習I・IIでの学習内容を継続的に発展させ、卒業研究の形で4年間の学習成果をまとめることを最終目標とする。

履修上の留意点 「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「経済政策」「統計原論」「企業経済学 a、b」等関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のため駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

成績評価の方法 出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

教科書 教科書は開講時に協議する。

参考書等 テキストのみにこだわらずゼミ生の興味に沿った論文を取り上げていく。

その他 「卒業研究」を併設する。演習IIIは卒業論文の指導が中心のため、履修登録時の登録を忘れないこと。

履修コード	111601
科目名	演習III
担当者名	石川 純治 <small>いしかわ じゆんじ</small>

講義のねらい 上級会計学の学習、および卒業論文の指導を行います。

講義の内容・授業スケジュール 卒業論文については、夏休み中に論文のテーマおよびおおよそ章別構成を仕上げる。後期になってそれを発表しながら完成させていくという作業をします。

成績評価の方法 ゼミ報告・レポートなどの平常点、及び卒業論文の内容評価。

教科書 その都度指示します。

参考書等 その都度指示します。

履修コード	109701
科目名	演習Ⅲ
担当者名	石川 祐二

講義のねらい 企業においては、会計情報が利用される場合、それによって様々な目的が果たされる。その目的と会計上の手法との関係を探ることで、会計が社会的な諸関係の中でいかなる意味を持つものであるのかを明らかにしたい。そのことによって、社会現象のもつ意味を考えるための視点を養うことに努めたい。

具体的には、「卒業研究」の論文作成に取り組むことで、社会現象を分析するための視点を身につけてほしい。

講義の内容・授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

ゼミ生各自が研究テーマに関する調査・分析を進め、それを基に「卒業研究」を作成する。

初回の演習時に伝達するスケジュールに則り、「卒業研究」を作成するように努めること。「卒業研究」の内容で評価する。

特に指定しない。ただし、各自の研究に必要な書籍を利用すること。

必要に応じて紹介する。

合宿その他のイベント等については、話し合いで決定する。

履修コード	110001
科目名	演習Ⅲ
担当者名	岩波 文孝

講義のねらい 経営破綻や機関投資家・投資ファンドの不祥事など企業経営をめぐる問題が続出しています。本演習では、トップ・マネジメントの構造と機能の理解を中核として、企業間ネットワークとコーポレート・パワーとの連関の検討を通じて、現代の企業経営の課題を多面的に考察していきます。現代の企業経営に関する問題意識を深めていき、卒業研究またはゼミ論文の執筆を通じて、企業と社会との関わり、CSRを踏まえた企業経営システムの構築に向けた課題を追究していきます。

講義の内容・授業スケジュール

各ゼミ生の「ゼミ論文」あるいは「卒業研究」報告を中心に討論し、「ゼミ論文」・「卒業研究」の作成に取り組みます。

合宿では、各ゼミ生のゼミ論文・卒業研究テーマの報告とともに、現代の企業経営が抱える諸問題について討議していきます。

1. ゼミ論文・卒業研究作成に向けたガイダンス (1)
2. 企業と社会の論点整理 (2~4)
3. 企業の社会的責任 (CSR) の現状と課題 (5~6)
4. ゼミ論文・卒業研究の個別報告 (7~15)
5. ゼミ論文・卒業研究の個別報告と執筆指導 (16~30)

履修上の留意点

ゼミナールは、受講生の主体的な学びの姿勢にもとづいて運営されます。ここでは専門の学習とともに、自らの課題を発見し、問題意識を深めていくという積極的な学習スタイルが求められます。受講の際には企業経営をめぐる諸問題について問題意識を持ちゼミナールに参加してもらいたい。

成績評価の方法

ゼミへの出席、発表内容、積極的な討議への参加、論文の執筆など平常点による総合評価を行います。

教科書
参考書等
その他

開講時に指定します。

必要に応じて指定します。

「卒業研究」を併設します。

履修コード	110101
科目名	演習Ⅲ
担当者名	おおいし ゆうじ 大石 雄爾

講義のねらい 2年次・3年次の活動成果を「卒業論文」としてまとめること、そのための準備と執筆が主な活動となります。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、各自が就職活動に専念し、自分の性格や能力に適した、やりがいのある仕事や就職先を見つけるための活動をします。
後期には、卒業論文作成のために詳細なレジュメを作成し、執筆にとりかかります。提出された論文は、ゼミ活動の思い出として残るよう、『経済学ゼミ論集』（大石ゼミナール発行）にまとめられます。

履修上の留意点 原則として平常点で評価しますが、「卒業論文」が提出されない場合には演習Ⅲの単位を取り消すことがあります。

成績評価の方法 平常点で評価します。

教科書参考書等その他 新聞記事等、授業に使用する教材はそのつど支給します。
特に指定しない。
①「卒業研究」を併設します。
②コース制との関連：コースの履修は自由です。

専門教育

履修コード	110401
科目名	演習Ⅲ
担当者名	おのぶき かつら 大吹 勝男

講義のねらい 2年次・3年次の学習成果を基礎にして卒業論文の作成をめざします。

講義の内容・授業スケジュール 現代日本企業の物流あるいはマーケティングに係わる諸問題をテーマとして論文を作成することを課題とする。「演習Ⅱ」のテーマの、より高度な内容とする。

成績評価の方法 ゼミ論文の提出によって成績を評価する。「卒業研究」も併せて開講する。

履修コード	109421
科目名	演習Ⅲ
担当者名	きたぐち 北口 りえ

講義のねらい 税務会計は、法人税法における課税所得計算に関する学問です。法人の所得に対して課される法人税は、企業にとって避けられないものであり、企業行動を左右する重要な要素のひとつとなっています。本演習は、法人税における課税所得が企業利益をベースとしてどのように算出されるのか、その課税所得の計算構造に関する理解を深めることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール 各自が選んだ研究テーマについての発表を中心に進め、ゼミ内でのディスカッションや論文指導により、その研究について深く掘り下げてもらいます。

履修上の留意点 ゼミ内で意欲的に発言し、ゼミの運営や行事（合宿、税務署見学、ゼミナール連合会での研究発表会等）にも積極的に参加してください。
卒業研究も開講する予定です。

成績評価の方法 出席率、報告内容、ゼミやゼミの運営への参加度、レポート等の総合評価により行います。
理由のない遅刻や無断欠席は大きな減点としますので、注意してください。

履修コード	112001
科目名	演習III
担当者名	小杉 修二

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

演習Iと同じですので、そちらを見てください。
基本的には演習I、IIと同じです。演習Iでは温暖化のメカニズム、その害悪について学び、演習IIではそれらの知識を踏まえて、その対策についてどんなものがあるか①地球に日傘 ②炭酸ガスの大気からの除去 ③炭酸ガスの発生削減について考えます。

IIIはその総仕上げとして、2050年の世界の人口、経済規模を予測し、そこからどれほどの温室効果ガスが出てくるかを考えます。そして、海と森林が吸収してくれる分を差し引けば、放置しておいたときに大気中の炭酸ガス濃度を増やす分です。これらを「自然エネルギー」でどれだけ代替できるのか、また、省エネルギーの可能性はどれだけあるのかを考えます。

温暖化対策は所詮は人類の意思決定の問題ですが、地球はひとつでも人類はひとつではありません。それぞれに個別利害を持つ存在である国、集団、個人に分かれています。ここから利害の合理的制御の学としての経済学の知見・方法が役に立つことになります。3年時以降は温暖化対策の技術的側面と並んでその社会的側面を学習することになります。

授業のやり方としては学生と相談しながら、グループ形式で問題を考えます。

第1-5週：2050年の世界の人口と経済規模

第6-10週：代替エネルギーの可能性

第11-15週：温暖化対策として省エネルギーの可能性

第16-20週：炭酸ガスの吸収源の可能性

第21-25週：巨大技術の可能性とライフスタイル変更の可能性

第26-30週：炭酸ガス削減の国際的取り決めの方法

演習Iと同じ。

出席状況とゼミへの参加の積極性、発言を総合して判定。

演習Iの継続+新しいテキストをゼミの進み具合に応じて考える。

演習Iと同じ。

〈卒業研究〉あり。通常のゼミの4単位とは別に卒業研究の4単位が当てられる。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

履修コード	109431
科目名	演習III
担当者名	小西 宏美

講義のねらい

「多国籍企業、多国籍金融機関とカジノ資本主義」をテーマとしています。「カジノ資本主義」とは何か、多国籍企業・多国籍金融機関の活動がいかに関係を「カジノ化」してきたのか、「カジノ資本主義」は我々の生活をどのように変えてきたのか、について研究します。

講義の内容・
授業スケジュール

前期はテキストを読み進めながら卒業研究のテーマを考えます。

後期は各自の研究テーマにそって卒業研究を作成します。

後期は3年生が参加する「日本学生経済ゼミナール関東部会」に議長団として参加してもらいます。

成績評価の方法

演習IIIは出席、報告、討論で評価します。

卒業研究は提出した卒業論文で評価します。

教科書

とくに指定しません。

履修コード	111501
科目名	演習III
担当者名	齊藤 正

講義のねらい

演習I・IIの集大成としてゼミナール論文（「卒業研究」）の作成をめざします。テーマは自由ですが第1回目の授業までにテーマを確定してもらいます。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は就職活動等で全員が揃うことは難しいことが予想されますが、就職情報を交流したり、新聞記事を題材に議論するのが慣例となっています。就職活動を通じて社会への関心が深まったり、勉学への新たな意欲が湧いてくるケースも少なくなく、飛躍的に成長できる時期でもあります。

後期はゼミ論の完成に向けて、報告・議論を積み重ねていきます。

履修上の留意点

4年生は学生時代の締めくくりの年です。勉学面でも、生活面でも社会人への備えが求められます。

成績評価の方法
その他

年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

「卒業研究」を併設します。

履修コード	110501
科目名	演習III
担当者名	しみず たかし 清水 卓

講義のねらい EU諸国の経済社会問題について、自分が決めたテーマでゼミ論文あるいは「卒業研究」を作成するのが課題です。一生の思い出になるよう、大学時代の学習の総まとめとして真剣に取り組んでもらいたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 年間を通して、現在のEUに関する研究書の講読します。

履修上の留意点 演習Iを参照のこと。

成績評価の方法 演習Iを参照のこと。

教科書 演習Iを参照のこと。

その他 演習Iを参照のこと。

履修コード	109501
科目名	演習III
担当者名	しろた じゆん 代田 純

講義のねらい 金融についての研究
講義の内容・授業スケジュール 就職活動と両立させて、卒論完成をめざす。

成績評価の方法 卒業論文の提出、内容で評価する。9月以降の卒業研究中間発表をしない場合、単位は認定しない。

教科書 特に決めない。

参考書等 必要に応じて紹介する。

履修コード	110601
科目名	演習III
担当者名	すずき のぶえ 鈴木 伸枝

講義の内容・授業スケジュール 公共経済学のゼミで学んだ知識を生かし、自らの興味をもった事柄について卒論（卒業研究）を書いてもらいます。

成績評価の方法 出席状況・予習状況・討論への参加度・レポートにより評価します。

教科書 受講者と相談して決定します。

その他 「卒業研究」を併設します。

履修コード	110901
科目名	演習III
担当者名	せとおか ひろし 瀬戸岡 紘

講義のねらい 「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応して、経済、社会、経営、文化など各自の学習と研究の成果を卒業論文にまとめます。何をテーマにとりあげるかは、各自の希望で決定します。現代経済過程の成功例、失敗例どちらも最も豊富にもっているアメリカの経験を参照するところから、意外な結論をひきだせるなら卒論は成功といえましょう。

講義の内容・授業スケジュール 卒業論文の検討と完成が年間の最大の課題です。各自の論文の構想は、ゼミ生全体からのコメントを受けることでわりあげられます。他方、各ゼミ生は他人のテーマに関与することで耳学問としての幅広い知識と教養を得ることができます。また数百人におよぶ当ゼミ卒業生との交流をつうじて、就職・進学・留学の準備をします。そのほか、日本学生経済ゼミナールへの後輩の参加を後援したり、インターネットや遠隔授業をつうじた海外の学生との交流をリードしたり、工場見学などゼミの各種イベントにスーパーバイザーとして後輩を支援します。

成績評価の方法 ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は当人のやる気です。卒業論文の作成に必要なあらゆる文献が教科書になりますが、それは個々人で異なります。

教科書 卒業論文の作成に必要なあらゆる文献が参考書になりますが、それは個々人で異なります。

参考書等 このゼミは、卒業生のほか、外部の人も参加・協力してくれることの多いゼミです。このゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問いあわせたりすることのほか、ゼミ生作成による下記のホームページにアクセスしてください。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~setooka/>

履修コード	111801
科目名	演習III
担当者名	曾我 信孝 <small>そが のぶたか</small>

講義のねらい 卒業研究の指導と実社会に向けてのマーケティングの問題点の検討をねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール 1～15回 ゼミ生の就職希望企業のマーケティング分析。
16～25回 卒業研究の指導およびマーケティングの社会問題の検討。
26～29回 合同ディベート大会の準備、合同ディベート大会 (12月の第2日曜に開催予定)
30回 合同ディベート大会の反省会

履修上の留意点 就職活動のため出席が困難な場合があるでしょうが、極力出席することを義務付けます。なお、併設している卒業研究受講者は、最低1回の発表を義務付けます。

成績評価の方法 平常点(出席状況40%、授業への取り組み態度20%、ディベート大会参加40%)

教科書 特に指定しない

参考書等 必要に応じて紹介する。

履修コード	109441
科目名	演習III
担当者名	館 健太郎 <small>たけけんたろう</small>

講義のねらい 人々のかけひきを分析するための道具である「ゲーム理論」について学習し、これを使ってさまざまな社会現象を自分の言葉で説明できるようになることをめざします。ゲーム理論は、スポーツやカードゲームの必勝法の研究というよりも、私たちの日常生活や社会のなかで起きるさまざまなかけひきをゲームとみなし、それらをいくつかのパターンに整理して結果を予想するための学問で、その応用分野はとて広いです。情報通信や交通手段の発達などによってネットワーク化されている今日の経済では、人々のつながりに関する理解を深めることの重要性はますます高まっています。

本ゼミでは、主に産業組織論、すなわち企業の投資、生産、販売などを通じた競争戦略や、他の企業との戦略的提携など、それぞれの産業における企業間の競争と協力について扱います。また、補助金や規制などを通じて市場への介入を行う政府の産業政策・競争政策についても考えます。例えば、家電産業や情報通信産業ではしばしば製品間の互換性が重要になりますが、そのときに企業はどんな戦略をとるべきでしょうか。政府は何か政策を打ち出すべきでしょうか。もちろん、財政や金融、政治・外交など市場競争以外のかけひきについて研究したいという人も歓迎します。ゲーム理論という共通の土台の上に立って、社会について自由に議論しあえるようになることを演習の目標にしたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール 現実の経済現象をゲーム理論を応用して説明する論文を作成するために、発表とコメント、文章作成と添削と繰り返しながら完成を目指していきます。

履修上の留意点 卒業研究を提出することを前提とします。

成績評価の方法 卒業研究の提出の有無とその内容。

履修コード	112801
科目名	演習III
担当者名	鄭 章淵 <small>ちよん ちやんよん</small>

講義のねらい 研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に第二次世界大戦後の東アジア経済の発展過程について理解を深めてもらうことです。

ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭に、アジア NIEs (新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール)、ASEAN3 (タイ、マレーシア、インドネシア)、中国、その他と続く発展の様は、しばしば「雁行型発展」と称されてきました。

ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。

日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく状況において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・
授業スケジュール 演習I・IIでの学習を基礎に「卒業研究」を作成します。ゼミ生各自のテーマに従い、グループおよび個別指導を行います。

成績評価の方法 出席率、卒業研究の内容を参考に評価します。

その他 「卒業研究」を併設します。

履修コード	111301
科目名	演習III
担当者名	とくなが としあき 徳永 俊明

講義のねらい 発展途上諸国＝アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国の国際関係とそこの中での人々の生活の問題を研究します。国際政治・経済のなかでの人間と人間との関係、とくに発展途上諸国民が直面している“貧困”と彼らのたたかひについて学びながら、日本・日本人・そして私たち一人ひとりの“豊かさ”と“貧困”を考えます。

講義の内容・授業スケジュール 上の趣旨にそって学生諸君と相談しながらすすめます。

履修上の留意点 何よりも＜考える＞努力を求めます。

成績評価の方法 ＜考える＞努力したかどうかをもって評価します。

参考書等 考え、討論するための資料を使ってすすめます。

その他 演習IIIに卒業研究を併設します。(希望者のみ。)

履修コード	112601
科目名	演習III
担当者名	ともまつ よしひこ 友松 憲彦

講義のねらい 演習II（3年）で開始した研究を継続発展させ、卒業研究をまとめます。

講義の内容・授業スケジュール 文献講読と卒業研究の中間報告を並行しておこないます。

履修上の留意点 「経済史」、「西洋経済史」、「日本経済史」、「商業史」等をあわせて履修することが望ましい。

成績評価の方法 出席、発表、討論、レポートの状態を総合して評価します。

教科書 最初の授業で指示します。

その他 卒業研究を併設します。

履修コード	112501
科目名	演習III
担当者名	なかすみ みつあき 中津 光昭

講義のねらい 卒業論文作成を中心にゼミを進めます。各自の研究内容における問題点を明確にし、それについて全員で討論・アドバイスをすることで、お互いの卒業論文の内容を高めていくことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

- ・研究計画書作成
- ・論題の提出
- ・研究テーマに関する調査・分析
- ・レジュメ作成、レポーティング、発表

履修上の留意点

- ・ゼミへの積極的な参加を期待しています。
- ・追加募集は致しません。
- ・メールを読む、ワープロを打つといったことがゼミ活動上必須です。

成績評価の方法 出席、発表とレポートの内容、積極的な討議への参加など、平常点による総合評価を行います。

教科書 別途指示

参考書等 別途指示

その他 ゼミではパソコンを使用しますので、本ゼミを受講したい人は、総合情報センターへ利用登録を行う必要があります。卒業研究（論文及び作品）を併設します。

履修コード	109451
科目名	演習Ⅲ
担当者名	<small>ながやま むねひろ</small> 長山 宗広

講義のねらい テーマ：「地域の活性化」
演習IおよびIIでの学びを活かし、4年間の経済学部での学習と研究の集大成として、「卒業研究」の作成に取り組む。

講義の内容・授業スケジュール 各ゼミ生の「卒業研究」報告を中心に討論する。
卒業論文の提出にあたっては、「研究企画書の作成」「中間報告会での予備審査」「最終原稿の審査」といったプロセスを経る必要がある。

履修上の留意点 演習I、IIと同じ。

成績評価の方法 演習I、IIと同じ。
この他、上記の卒業論文提出までのプロセスに関して評価する。

教科書等その他 演習I、IIと同じ。
演習I、IIと同じ。
「卒業研究」を併設する。
本学の e-Education システム「イエスタディ」を活用する。

履修コード	112901
科目名	演習Ⅲ
担当者名	<small>ぬまた さとし</small> 沼田 郷

講義のねらい 大学生生活の集大成としての卒業論文指導が中心になります。各自の問題意識のもと、論文作成経過を定期的に報告してもらいます。これはプレゼンテーション能力の向上という観点からも重要です。さらに、報告に際しては、他のゼミ生との活発な議論を期待しています。こうすることで、問題意識や論理展開などがブラッシュアップされます。

講義の内容・授業スケジュール 卒業研究指導が中心となります。したがって、各自の問題意識に沿ったテーマ決定し、主要文献の読み込みが前期の目標となります。後期は、卒業研究の進捗状況を確認し、随時必要なアドバイスをを行います。

履修上の留意点 演習は出席することが前提となります。就職活動等でやむを得ない場合を除き積極的に参加することを望みます。

成績評価の方法 あらゆる活動への取り組みを総合的に評価します。

教科書等その他 卒業研究指導が主となるため、共通のテキストは指定しない。
随時お知らせします。
卒業研究がみなさんにとって何にも代えがたい財産になるよう、持てる力をすべて出し切ってください。

履修コード	112101
科目名	演習Ⅲ
担当者名	<small>ばんば ひろゆき</small> 番場 博之

講義のねらい 番場ゼミ（演習Ⅲ）の目的は、流通論の研究と卒業論文の執筆です。

講義の内容・授業スケジュール (1～20) 課題報告・プレゼンテーション
(21～30) 卒論報告

履修上の留意点 詳細なシラバスは開講時に配布します。

成績評価の方法 日常の活動やゼミへの貢献度等を総合的に評価する。

教科書等その他 必要に応じて相談して決める。

履修コード	111901
科目名	演習III
担当者名	ひやくた よしはる 百田 義治

講義のねらい 本演習は演習I・IIの継続として位置づけています。現代企業の経営管理に関わるテーマを中心に、演習IIの夏休み後に決定した卒業論文の作成に取り組みます。

講義の内容・授業スケジュール 演習I・IIの継続です。各人のテーマについて「卒業研究」に取り組みます。

履修上の留意点 経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法 出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教科書 未定

参考書等 未定

その他 「卒業研究」(4単位)を併設します。

履修コード	112201
科目名	演習III
担当者名	ふくはら よしのぶ 福原 好喜

講義の内容・授業スケジュール 経済理論、経済学史、日本経済及び世界経済について、各自のテーマに合わせた卒業指導を行う。

履修上の留意点 原則として4年生からの募集は行わない。

成績評価の方法 成績は出席点とレポートでつける。

参考書等 福原好喜『総理に忠告す―日本経済危機水域に入れり―』、『総理お間違えではありませんか?一銀八教授内閣への直論一』、『Warm Heart』、『我も生命 汝も生命』、『熱血教授 心の教育』

履修コード	111101
科目名	演習III
担当者名	ふるさわ てるたけ 古沢 紘造

講義のねらい 4年演習〔アフリカの社会と文化III〕卒業作品を完成する。

講義の内容・授業スケジュール (1) 卒業作品について2回の中間発表会と、公開発表会を行う。同時に作品の展示会を開催する。

(2) アフリカをテーマにしたユニークな雑誌を発行する。

(3) アフリカに関連した企画のサポーター役を務める。

成績評価の方法 作品発表、ゼミ活動への参加に基づき総合的に評価する。

その他 「卒業研究」を併設する。

履修コード	113001
科目名	演習III
担当者名	ほり りゅうじ 堀 龍二

講義のねらい 演習IとIIの履修を前提にし、その集大成として各自が興味あるテーマに関して論文ないし本格的レポートを作成することを目指す。テーマは広く労働に関連する問題が望ましい。

講義の内容・授業スケジュール 各自のテーマに沿って、調べたことや纏めたことを、逐次報告してもらい、全員で討論・アドバイスを形式で進める。あわせて、問題意識の深め方、情報収集の仕方・整理、論理的な記述の方法、レポートや論文の作法なども身に付けていくことにする。

履修上の留意点 興味をもった問題の検討をまとめるという作業は考えることそのものである。そうした作業は必ずや役に立つ。

成績評価の方法 ゼミでの積極的な姿勢、レポート・論文への取り組みと成果で評価します。

教科書 ゼミ生と話し合って決定します。

参考書等 適宜指示します。

その他 「卒業研究」を併設します。

履修コード	113101
科目名	演習Ⅲ
担当者名	松井 柳平

講義のねらい	卒論を完成させる。 卒論指導。
講義の内容・ 授業スケジュール	
履修上の留意点	受講生は、3年次からの継続に限る。
成績評価の方法	成績は授業中のゼミへの貢献によって評価する。具体的には、出席頻度、報告内容、質疑応答、討論への参加、課題達成度、ゼミ行事への積極的参加等を総合して評価する。
教科書	必要な場合、輪読をおこなう。テキストは、ゼミ生と相談の上、決定する。
参考書等	授業のなかで必要に応じて、指示する。
その他	「卒業研究」を開設する。

専門教育

履修コード	109461
科目名	演習Ⅲ
担当者名	松田 健

講義のねらい	本演習では、「現代における企業と社会との関係を、どのように捉えればよいのか」という命題に基づきながら、企業経営の現代的課題や企業活動の体系的理解を通じて企業を広く理解する視点をも身につけることを目標としています。 とりわけ1990年代以降、企業の経済活動が急速にグローバル化したことを受け、それ以前の社会・政治・文化・国際関係といった多様な領域と企業との関係性は大きく変容しつつあります。企業が持つ経済的性格のみならずその社会的性格にも焦点を当て、企業を社会経済システムの中に位置づけながら、企業と社会の相互関係性から生じている現代的諸問題を考察し、それを卒業研究につなげていきたいと考えています。
講義の内容・ 授業スケジュール	本演習では、企業形態、株式会社制度、企業統治ならびに企業の社会的責任などに代表される、現代の企業に関わる重要な課題を考察の対象とします。一年を通じて、企業に関する基礎的な知識、概念ならびに理論に対する考察を踏まえ、各自で設定した研究テーマにしたがって卒業研究論文の作成を試みます。 第1回 オリエンテーション 第2回～第5回 演習参加者各自の研究課題テーマについての討論 第6回～第10回 演習参加者各自の研究課題に関する資料輪読(1) 第11回 小括：資料輪読(1)による知見をまとめた研究報告(1) 第12回～第14回 演習参加者各自の研究課題に関する資料輪読(2) 第15回 小括：資料輪読(2)による知見をまとめた研究報告(2) 第16回～第20回 演習参加者各自の研究課題に関する資料輪読(3) 第21回 小括：資料輪読(3)による知見をまとめた研究報告(3) 第22回～第26回 演習参加者各自の研究課題に関する資料輪読(4) 第27回 小括：資料輪読(4)による知見をまとめた研究報告(4) 第28回 論文作成の技術的指導(1) 第29回 論文作成の技術的指導(2) 第30回 卒業論文口頭報告
履修上の留意点	卒業研究に向け、自らが設定した研究課題を体系的な論文にまとめ上げていく作業には、強い自律心が求められます。したがって演習参加者は、自らの課題を自らが設定し、その課題に自らがチャレンジするという気概を持って演習に参加してください。卒業研究が提出されない場合は単位認定が取り消される場合があります。
成績評価の方法	授業への出席は最低要件です。したがって卒業研究にかかわる各自の報告を主たる評価の対象としながら総合的に評価します。
教科書	開講時に指示します。
参考書等	経営学辞典あるいは経営学用語集。
その他	卒業研究を併設します。

履修コード	109471
科目名	演習III
担当者名	まつもと のらこ 松本 典子

講義のねらい 演習IIで研究したことを基礎に、卒業研究をまとめます。
また、非営利組織の経営学についての理解を深めます。

講義の内容・授業スケジュール 各自の研究テーマにあわせて、文献講読、調査・分析を行い、卒業研究に取り組みます。講義内での発表、サブゼミにおいて中間報告を行うことで、卒業研究の質を高めます。

履修上の留意点 積極的に物事を調べ、積極的な姿勢で授業にのぞんでください。

成績評価の方法 出席およびゼミの活動にもとづいて総合的に判断します。

教科書 ゼミ生と相談の上、決定します。

参考書等 参考文献や報告書、新聞・雑誌記事、関連HPなどを随時紹介します。

その他 卒業研究を併設します。

履修コード	109301
科目名	演習III
担当者名	みぎて よしかず 溝手 芳計

講義のねらい 食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス（農業・食料関連産業）の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思えます。演習IIIでは、ゼミ生自身の考えを整理し、表現する力の取得を目指します。

講義の内容・授業スケジュール 演習IIIでは、卒業研究に向けて、個別指導と集団討論を中心に進めます。

履修上の留意点 ゼミは集団学習、相互修練の場です。世の中、答えが一つと決っていません。学生相互の疑問の出し合い、教えあい、意見交換を大切にしてください。“みんな違ってみんないい”でいきましょう。

成績評価の方法 平常の出席状況や卒業研究に向けた取り組み姿勢を基本として評価します。

教科書 木下是雄『レポートの組み立て方』、ちくま学芸文庫、780円+税、ISBN4-480-08121-6

参考書等 他は、別途指示します。

その他 必要に応じて紹介します。
「卒業研究」を併設します。

履修コード	111401
科目名	演習III
担当者名	みつおか ひろみ 光岡 博美

講義の内容・授業スケジュール 演習I、IIの勉強をもとに、総仕上げとしてのゼミ論文を完成させることが演習IIIの最大の目的です。ゼミ論文については、その内容はもとより、論文としての形式や体裁についても指導します。なお、「卒業研究」を併設します。ゼミ論文の完成の直前の時期には合宿（2泊3日程度）を行い、また、ゼミ論文の発表会の場とします。ゼミでの勉強の総仕上げとしての意味をもつ合宿です。全員参加を原則とします。

成績評価の方法 ゼミ論文の完成度によって評価します。ゼミ論文未提出者は単位を認定しません。なお、演習IIIには課題研究を併設します。

履修コード	109481
科目名	演習III
担当者名	むらまつ かんじ 村松 幹二

講義のねらい 本演習ではこれまでの演習や共同研究において習得した知識にもとづき、各自の問題意識を踏まえて、卒業研究の作成を行なう。

講義の内容・授業スケジュール 卒業研究では、自身の意見を論理的に構成し、それに関する十分な実証的根拠を示し、相手に伝わる発表を行うことが必要とされる。そのために必要な論理的思考能力、資料収集・整理能力、プレゼンテーション能力を養い、自らの問題意識を卒業研究の形でまとめることを目的とする。

履修上の留意点 卒業研究の作成は、テーマの選定、論理の組み立て、資料収集・整理、本文の執筆、内容の報告の順に進める。

成績評価の方法 ゼミ形式での発表と個別指導の形で演習を行なう。

参考書等 特別な事情がない限り、毎回出席すること。原則として4年生の新規募集は行わない。

卒業研究の内容を中心に、ゼミへの出席状況、卒業研究作成プロセス、研究のプレゼンテーションなどから総合的に評価する。

卒業研究の課題に応じて個別に紹介する。

履修コード	110801
科目名	演習III
担当者名	森岡 仁

講義のねらい 「卒業研究」の論文作成。
(新規募集はしない)
各自が決定した論文のテーマに沿って議論を重ね、最終的には論文の完成を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他
出席状況。
特に使用せず。
論文テーマに沿って適宜指示する。
「卒業研究」を併設。

履修コード	109401
科目名	演習III
担当者名	森田 佳宏

講義のねらい 本演習は「卒業研究」(卒業論文)の研究報告を中心に行う。卒業論文のテーマは、演習Iおよび演習IIにおいて習得した財務会計および監査の知識にもとづき、これらの領域から各人が自由に決定することを原則とする。

講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
卒業論文の報告は、テーマの選定、章立ての決定、内容の報告の順に進める。
特別な事情がない限り、毎回出席すること。なお、原則として4年生の新規募集は行わない。
最終的な卒業論文の内容はもとより、その作成過程における報告内容(レジュメを含む)、さらにはゼミ活動に対する取り組みなどを考慮に入れて総合的に評価する。卒業論文未提出者には演習IIIの単位を認定しない。
原則として使用しない。
演習時に適宜紹介する。

履修コード	110201
科目名	演習III
担当者名	谷敷 正光

講義のねらい テーマ〔経済発展と人材・技術〕
4年ゼミは、戦前の日本の近代化・工業化、戦後の経済成長とそれを支えた人材や技術開発、教育制度などについて、各自の問題意識に応じて自由に論題を設定して研究します。12月にはゼミ論文を完成し、論文集に発表します。

講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他
〔4年ゼミ〕は、就職活動で会社訪問する機会が多くなるので、プレゼンテーション、ディスカッションが難しくなります。したがって基礎文献、参考資料を使って、日本経済の発展と技術、人材、教育を検証します。
また、〔卒業研究〕は、2年生からゼミで学んできた集大成として各自の問題意識として自由に論題を設定し、論文の作成をすすめます。12月には完成し、15日頃に教務部に提出します。
①詳細は4年ゼミ当初に説明します。
②研究の基礎資料は提供できるものは提供します。足りない所は、駒澤大学図書館、他大学図書館、国会図書館、政府関係機関などから資料収集をします。
③図書館での資料の収集の仕方は、授業中に指導します。
④「卒業研究」の作成の仕方、論述の技法等については「卒業研究手引き」「ゼミ論文の書き方」を配布し、詳細に指導します。
就職活動で多忙になる時期ですが、差し支えない日は必ず授業に出席して下さい。
基本的には出席、平常でのゼミ活動状況、完成した「ゼミ卒業論文」「卒業研究」で評価します。
演習の時間に適宜紹介します。
各自の問題意識や論題によって、その都度、適宜紹介します。
4年ゼミでは「卒業研究」を併設しています。
希望する人は併せて履修することができます。
「卒業研究」の進め方は4年ゼミの中で適宜説明します。

履修コード	112301
科目名	演習III
担当者名	やすもと みのろ 安元 稔

講義のねらい 演習I・IIで勉強して来た経済史の知識に基づいて、より専門的なテーマを選び、ゼミナール論文にまとめることが、演習IIIの目的です。

講義の内容・授業スケジュール ゼミ論の中間発表と指導を中心に、演習を進めます。

履修上の留意点 ゼミ論を書くための「文献・史料目録」をまず提出してもらいます。提出された目録に記載された文献・史料が妥当であれば、これに基づいて、ゼミ論作成を進めてもらいます。文献・史料をよく読み、ゼミ論の内容を豊富にしてください。

成績評価の方法 ゼミ論の内容と出席状況を勘案して成績を評価します。

教科書 特に指定しません。

参考書等 特に指定しません。

その他 同時に「卒業研究」を履修して、所定の手続きを経て、「卒業論文」を提出し、口頭試問を受けて合格したゼミ生に対しては、更に4単位を与えます。「卒業論文」の詳しい内容・形式・分量等については、経済学部事務室前においてある小冊子、『「卒業研究」の手引き』を参照してください。

専門教育

履修コード	111001
科目名	演習III
担当者名	やまがた ひろし 山縣 弘志

講義のねらい 比較経済論の専門的学習・研究を進め、論文作成をめざす。

講義の内容・授業スケジュール 3年次から継続。就職活動に取り組みながら、各自の自主研究の発表を行ない、論文の形にまとめていく。

履修上の留意点 出席、発表、討論参加を総合評価する。

成績評価の方法 「卒業研究」有。

教科書

参考書等

その他

履修コード	109601
科目名	演習III
担当者名	よしだ けいいち 吉田 敬一

講義のねらい この演習では大学生生活の総決算として各自の問題意識を踏まえて、卒業研究の作成を行ないます。

講義の内容・授業スケジュール 演習IIIでは、これまでの共同研究を踏まえて、卒業研究の作成に向かって、個別指導の形で演習を行ないます。

履修上の留意点 第一回目の演習の時間に今年度の予定を伝えますので、必ず出席してください。演習IIIは卒業研究の作成を中心課題としているため、少なくとも演習IIをすでに履修していることが前提となります。

成績評価の方法 出席状況、平常点（卒業研究作成指導への対応姿勢など）、卒業研究の内容を中心に総合的に評価します。

教科書 使用しません。

参考書等 卒業研究の課題に応じて個別に紹介します。

その他 演習IIIでは原則として「卒業研究」を作成することが求められます。

履修コード	111201
科目名	演習III
担当者名	よしの おさむ 吉野 紀

講義の内容・授業スケジュール 基本的な方向は演習IIの延長線上にある。変わりゆくものは真実であり、変わらぬものは美を与えるが、もし演習IIに比べて色彩にいろどりが加わるとすれば、この真実と美の実像をより豊富に示すことにあるかもしれない。

成績評価の方法 日常の授業姿勢を評価の基準とする。

教科書 開講時に指示する。

履修コード	112401
科目名	演習Ⅲ
担当者名	わたなべ ひろいち 渡邊 恵一

講義のねらい 近現代日本の経済史・経営史に関連したテーマにもとづく卒業研究（卒論）を、教員の指導を受けつつ執筆する。受講生は、執筆に必要となる資料や統計データをできるかぎり渉猟し、実証密度の高い分析作業に挑んでもらう。

講義の内容・授業スケジュール (1) 前期ガイダンス、(2)～(14) 目次案の作成、論文執筆や図表作成の技法、先行研究のサーベイ、参照資料・統計データの収集などに関する指導、(15) 卒業研究中間報告会、(16) 後期ガイダンス、(16)～(29) 卒業研究の草稿作成と個別添削指導、(30) 卒業研究最終報告会

履修上の留意点 受講生の新規募集は行わない（演習Ⅱの継続者のみ）。

成績評価の方法 卒業研究の作成に取り組む姿勢と論文の完成度で評価する。

参考書等 個別指導の中で、適宜紹介していく。

その他 「卒業研究」を併設する。

履修コード	112701
科目名	演習Ⅲ
担当者名	わたなべ さとし 渡邊 智

講義のねらい 当演習は、これまでの間、各履修者が演習や講義の中で修得してきた財務会計や経営分析の知識や能力を十分に活用し、企業の実態を把握することができるように更なる努力を重ねるとともに、研究の成果を卒業論文としてまとめることを最終的な目標としています。

講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス (2)～(5) 研究テーマの選定と報告 (6)～(10) 経過報告 (11)～(15) 前期末のまとめと報告 (16)～(20) 研究成果の報告 (21)～(26) 研究の補足・修正 (27)～(30) 後期末のまとめと報告、卒業論文の完成

履修上の留意点 演習の履修者は、日々積極的な姿勢で研究に取り組むとともに、その成果を演習において定期的に報告することが要求されます。演習は通常の講義と異なり、履修者全員の積極的な参加や協力が求められますので、自主性や積極性が重要な要素となってきます。何事も各自が責任を持って取り組む必要があることについても十分留意して下さい。

成績評価の方法 出席の状況、報告の内容、レポートの内容および平常点（積極性、貢献の度合など）に基づき総合的に評価を行いません。

教科書 演習の中で指示します。

参考書等 演習の中で指示します。

履修コード	100251・100252
科目名	会計プロフェッショナルクラスI(会計士) 会計プロフェッショナルクラスI(税理士)
担当者名	寺坪 修・石川 純治・石川 祐二・森田 佳宏・北口 りえ

講義のねらい

将来、公認会計士・税理士となることを目指している学生を対象として、資格試験の合格目標達成を側面から支援するとともに、学生生活が試験対策・受験勉強のみに偏ることのないよう指導していきます。そのため、履修学生の日常生活等に関する相談にも対応し、かつ、職業会計人となった場合において役立つと思われる事柄で会計関連教科において触れる機会が少ないテーマについて、幅広く取り上げていきます。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下に掲げる「経営・会計税務・監査」に関連するテーマ(順番は目安であり、適宜、入れ替えがある)について、講義とクラス討議を、演習(ゼミ)形式で進めます。その他、資格取得のための学習相談・指導や「会計研究」のレポート課題の出題および解説も、適宜、授業時間内に行います。

(1) イントロダクション、(2～4) インベスター・リレーションズ(IR)・アニュアルレポート、(5～8) 企業倫理コンプライアンス・リスクマネジメント(内部統制を含む)・職業倫理(税理士・公認会計士)、(9～12) 公会計監査(国/地方自治体/非営利法人)・中小企業の会計指針、(13～16) 企業利益と課税所得・企業分析と診断・管理会計技法(BSC/EVA/ etc.)・経営問題解決方法論(コンサルティング手法)、(17～20) 時事問題、(21～24) 「会計研究」レポート課題の出題および解説、(25～28) 学習相談および指導(全体および個別)

履修上の留意点

職業会計人には「創造性・自主性・先見力・調査力」等が求められます。クラスへの積極的参加をとおして、それらの能力の開発・養成を心がけてください。

成績評価の方法

出席率・討議参加度を勘案して、総合的に評価します。課題レポートの提出・テーマについての発表を求めるともあります。

教科書
参考書等
その他

特に指定しません。必要な資料は配布します。

そのつど紹介します。

1、「会計プロフェッショナルクラスI(会計士)」には「会計研究A」の(1)から(5)が併設されます。

併設される「会計研究A」については、(1)が財務会計論、(2)が管理会計論、(3)が監査論、(4)が租税法、(5)が企業法となります。いずれも専任教員が副担当として受け持ちます。「会計プロフェッショナルクラスI(会計士)」の前期と後期にそれぞれ「会計研究A」のレポート課題の説明および解説を行います。

なお、「会計研究A」の評価は、前期および後期に「会計研究A」の(1)から(5)のそれぞれで課されるレポートの内容および資格取得のための学習状況から総合的に判断します。

2、「会計プロフェッショナルクラスI(税理士)」には「会計研究B」の(1)および(2)が併設されます。

併設される「会計研究B」については、(1)が簿記論、(2)が財務諸表論となります。いずれも専任教員が副担当として受け持ちます。「会計プロフェッショナルクラスI(税理士)」の前期と後期にそれぞれ「会計研究B」のレポート課題の説明および解説を行います。

なお、「会計研究B」の評価は、前期および後期に「会計研究」の(1)および(2)のそれぞれで課されるレポートの内容および資格取得のための学習状況から総合的に判断します。

履修コード	100261・100262・100263・100264
科目名	会計プロフェッショナルクラスII(会計士) 会計プロフェッショナルクラスIII(会計士) 会計プロフェッショナルクラスII(税理士) 会計プロフェッショナルクラスIII(税理士)
担当名	寺坪 修・石川 純治・石川 祐二・森田 佳宏・北口 りえ

専
門
教
育

講義のねらい 今年度初めて公認会計士試験・税理士試験を受けることとなる学生を対象として、引き続き合格目標達成を側面から支援するとともに、学生生活が試験対策・受験勉強のみに偏ることのないよう指導していきます。そのため、履修学生の日常生活等に関する相談にも対応し、かつ、職業会計人となった場合において役立つと思われる事柄で会計関連教科において触れる機会が少ないテーマについて、幅広く取り上げていきます。

講義の内容・授業スケジュール おおむね以下に掲げる「経営・会計税務・監査」に関連するテーマ(順番は目安であり、適宜、入れ替えがある)について、講義とクラス討議を、演習(ゼミ)形式で進めます。その他、資格取得のための学習相談・指導や「会計研究」のレポート課題の出題および解説も、適宜、授業時間内に行います。

(1) イントロダクション、(2～4) 会計基準の統合(IFRS等)、(5～7) 内部統制(システム監査を含む)、(8～9) 職業倫理、(10～11) 公会計(東京都の会計基準・システム)、(12～13) 経営コンサルティングの動向、(14～15) 国際税務、(16～18) 時事問題、(19～22) 「会計研究」レポート課題の出題および解説、(23～26) 学習相談および指導(全体および個別)

履修上の留意点 資格試験への適度な緊張感を保持すると共に、クラスへの積極的参加をとおして、目的に邁進するよう心がけてください。

成績評価の方法 出席率・討議参加度を勘案して、総合的に評価します。課題レポートの提出・テーマについての発表を求めることもあります。

教科書 特に指定しません。必要な資料は配布します。

参考書 そのつど紹介します。

その他 1、「会計プロフェッショナルクラスII・III(会計士)」には「会計研究A」の(6)から、(8)が併設されます。

併設される「会計研究A」については、(6)が上級財務会計論、(7)が上級管理会計論、(8)が上級監査論(上級租税法)となります。いずれも専任教員が副担当として受け持ちます。「会計プロフェッショナルクラスII・III(会計士)」の前期と後期にそれぞれ「会計研究A」のレポート課題の説明および解説を行います。

なお、「会計研究A」の評価は、前期および後期に「会計研究A」の(6)から(8)のそれぞれで課されるレポートの内容および資格取得のための学習状況から総合的に判断します。

2、「会計プロフェッショナルクラスII・III(税理士)」には「会計研究B」の(3)から(5)が併設されます。

併設される「会計研究B」については、(3)が上級簿記論、(4)が上級財務諸表論、(5)が税法となります。いずれも専任教員が副担当として受け持ちます。「会計プロフェッショナルクラスII・III(税理士)」の前期と後期にそれぞれ「会計研究B」のレポート課題の説明および解説を行います。

なお、「会計研究B」の評価は、前期および後期に「会計研究B」の(3)から(5)のそれぞれで課されるレポートの内容および資格取得のための学習状況から総合的に判断します。

履修コード	101151・101152
科目名	ITプロフェッショナルクラスI ITプロフェッショナルクラスII
担当者名	<small>なかずみ みつあき</small> 中済 光昭

講義のねらい	当科目は基本的なITの知識を持ち、海外のプログラマやリーダーと英語や中国語で打ち合わせを行い、業務知識やプロジェクト管理能力、コミュニケーション力にたけたITプロフェッショナルを養成することを目的としている。そのため、専門学校における情報系資格取得や国内・海外IT企業でのインターンシップ等も単位として認める特別演習として開講する。将来の進路としてITコンサルタントを考えている学生の参加を期待する。
講義の内容・授業スケジュール	(1) ガイダンス (2)～(15) 基礎的な英語文献を調査しまとめる練習とレポーティング、プレゼンの練習、コンサルタントとして必要な心構えやマナー、会話技法、ユニークな発想を発案するための演習(KJ法、ブレインストーミング法など)、システム提案演習 (16)～(30) ドイツSAP社のERP認定資格取得のための研修
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・当科目は演習と同等の科目であるので、演習I、II、IIIを同時に履修することはできない。 ・このクラスでは専門学校に半年間通学し資格試験を受けることなどが必須であり、別途学費負担がある。 ・このクラスではインターンシップに参加することが必須であり、交通費等インターンシップにかかる費用は自己負担となる。 ・合宿、課外イベントなどには原則として出席すること。 ・メールの読み書きやワープロを打つといったことが必須であるのでインターネットに接続できるノートパソコンが必要である。
成績評価の方法 教科書 参考書等 その他	<p>出席と課題提出、学年末に行う発表とレポート提出、イベントへの参加を総合評価する。</p> <p>適宜指示する。</p> <p>適宜指示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・編入学および転部・科の学生を主な対象とする追加募集を行うので、履修許可を受けていないが、履修したい者は4月初回の授業に必ず出席すること。 ・当科目に併設されるIT研究I～Vは専門学校での資格取得と学習状況および当クラスを指導する副担当が課外レポートに基づき成績評価する。 ・当科目に併設されるITインターンシップI、IIでは、担当者と派遣先のIT企業が職務内容を決め、それによってインターンシップを行い、最終発表および派遣先からの勤務状況報告に基づいて成績評価する。 ・ITプロフェッショナルクラスIIIでは、卒業研究(システム開発)を併設する。

Ⅲ 他学部履修科目

他学部
履修科目

履修コード	016701
科目名	西洋思想史
担当者名	たきどわ まさゆき 滝沢 正之

講義のねらい	感情の哲学。感情について哲学的に考えたい。我々は常日頃から自らの感情に振り回されて生きている。このやっかいな感情というものが、どのような本性のものであり、どんな機能を果たしているのかを考えてみたい。
講義の内容・授業スケジュール	<p>哲学的情念論の古典的なテキストの一部を配布し、それを丁寧に読み、解説する。それに基づいて、議論をすすめることになる。スミス、ヒューム、カントなどを扱う予定。</p> <p>[1回～5回] 感情の問題の概観（情念論の哲学史など。）</p> <p>[6回～10回] 感情と社交（人間関係と感情はどうかかわるのか？）</p> <p>[11回～15回] 感情と趣味（芸術性の評価と感情はどうかかわるのか？）</p> <p>[16回～20回] 感情と倫理（道徳的な善悪と感情はどうかかわるのか？）</p> <p>[21回～25回] その他の諸問題</p> <p>（＊残りは予備日。また、あくまで目安である。）</p>
履修上の留意点	講義が中心になるので、きちんと出席してノートをとらないと理解が深まらない。適宜プリント等で復習を行うが、この点について注意されたい。
成績評価の方法	中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。
教科書 参考書等	<p>講義中にプリントを配布する。その他のものにかんしては、適宜指定する。</p> <p>久保陽一、河谷淳編著『原典による哲学の歴史』、公論社、2002年、3,200円。その他のものについては講義中に適宜指定する。</p>

他学部
履修科目

履修コード	017101
科目名	日本民俗学
担当者名	たにぐち みつぎ 谷口 貢

講義のねらい	日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の調査・研究を通して、日本社会に展開する生活文化を追究する学問である。地域社会に伝承されてきた民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していきたい。
講義の内容・授業スケジュール	（1～2）民俗学とは（3～5）民俗学の流れと現在（6～7）家族生活と住まい（8～10）食をめぐる民俗（11～12）村と町の成立（13～15）若者と一人前（16～18）婚姻と出産・子育ての民俗（19～21）女性・子ども・老人の民俗（22～24）葬送儀礼と先祖祭祀（25～27）里と海・山のなりわい（28～29）祭りと年中行事（30）民俗宗教の諸相
履修上の留意点	夏期レポート及び小レポートを実施する予定。
成績評価の方法	学年末に実施する筆記試験、それに夏期レポートと小レポートの合計をもって評価を行う。出席を重視する。
教科書	谷口貢・松崎憲三編著『民俗学講義—生活文化へのアプローチ—』2006年刊（八千代出版）2,100円（税込）、ISBN 4-8429-1405-X

履修コード	027901
科目名	時事英語
担当者名	からさわ かずとも 唐澤 一友

講義のねらい	時事英語というと、新聞や雑誌等、ジャーナリズムと関連した英語というイメージがありますが、この授業では、必ずしもそういう枠に囚われず、もう少し幅広く、「最近の英語」一般を扱いたいと思っています。リーディングが中心となりますが、随時ビデオなどを用いてリスニング（ディクテーション）の練習も行う予定です。
講義の内容・授業スケジュール	（前期）1. オリエンテーション、2. ～15. 教科書に沿った演習、（後期）1. ～15. 教科書に沿った演習
履修上の留意点	必ず予習をしてください。予習の際によく分からなかった点については、授業で積極的に質問して下さい。
成績評価の方法	出席、小テスト、期末テスト、および授業への取り組みにより総合的に評価します。
教科書	使用せず。毎回ハンドアウト等を配布します。

履修コード	033101
科目名	文化地理学
担当者名	小田 匡保 <small>おだ まさやす</small>

講義のねらい 文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

- 講義の内容・授業スケジュール
1. オリエンテーション
 2. 文化地理学の概要
 - 3～4. 宗教地理学の概要
 - 5～11. 宗教分布
 - 12～14. 信仰圏
 - 15～16. 宗教集落・宗教都市
 - 17～20. 巡礼・社寺参詣
 - 21～23. 墓地・火葬場
 24. 村落の宗教組織

成績評価の方法 成績評価は、試験（前期・後期の2回、持込不可）の点数が基本であり、これに夏休みレポートの点数を加味する。出席は参考程度であるが、半分以上の出席と夏休みレポートの提出を必須条件とする。試験の点数が低い時はもちろんだが、出席回数が足りない場合、レポートが受理されない場合も、単位は認定されない。

教科書 使用しない。
参考書等 授業中に指示する。

他
修
学
科
目

履修コード	035101
科目名	人口地理学
担当者名	平井 誠 <small>ひらい まこと</small>

講義のねらい 現在「少子高齢化」という現象が関心を集めているが、日本ではこれまでも「過疎・過密」「東京一極集中」「ドーナツ化」など、人口に関する事柄が社会的な課題として議論されてきた。これらの問題はいずれも、人口規模や人口構造の地域的差異に関する問題であり、空間的な視点、地理学的な視点から捉えることによってその理解が容易になる。

本講義は、人口の規模や構造、およびその変化に関する地域性について考える。前期は、人口現象の地域性を把握する上で必要となる基本的な指標やその利用を紹介する。後期は、これらの指標を用いながら、少子高齢社会の現状を考案する。
(各テーマについて2～3回講義する。)

- 講義の内容・授業スケジュール
1. 人口変化と人口学的方程式
 2. 人口変化の要因（出生、死亡）
 3. 人口構造（年齢構造、産業構造）
 4. 人口分布
 5. 人口移動
 6. 中間試験
 7. コーホートの考え方
 8. 少子化と高齢化（展開と要因）
 9. 高齢社会の地域性
 10. 高齢人口移動
 11. 高齢者福祉の地域性
 12. まとめ

履修上の留意点 教科書は指定しない。配布資料を用いて講義を行う。簡単な実習を行う場合がある。
成績評価の方法 前期終了時の中間試験および後期のレポート、平常点（出席や提出物）の総合評価とする。
教科書 指定しない。

参考書等 阿藤 誠『現代人口学』日本評論社。
荒井良雄他『日本の人口移動 ライフコースと地域性』古今書院。
大友 篤『日本の人口移動』大蔵省印刷局。
小笠原節夫『人口地理学入門』原書房。
濱 英彦・山口喜一編『地域人口分析の基礎』古今書院。
石川義孝『人口減少と地域』京都大学学術出版会。
その他講義中に紹介する。

履修コード	O41001
科目名	現代地理学特論
担当者名	ひらい ゆきひろ 平井 幸弘

講義のねらい 人為的な開発行為によって傷ついた自然の再生を目指す「自然再生推進法」が2003年1月に施行され、2007年11月には「第三次生物多様性国家戦略」が策定されるなど、近年身近な自然・生態系に関する行政や一般市民の関心が高まっている。また、IPCCによる「第4次統合報告書」も2007年11月にまとまり、地球温暖化に対する様々な対応が強く求められるようになった。このような国内外における現代の環境問題を踏まえ、本講義では、とくに水辺の環境問題の事例として、それぞれの地域における人間と環境の関係について、主として自然地理学の視点から考察する。

講義の内容・授業スケジュール 前期は主として日本国内の水辺（河川、海岸、湖沼）を対象として、(1) 日本のラムサール条約登録地をめぐる課題と意義（2回～6回）、(2) 日本の湖沼（霞ヶ浦、宍道湖・中海など）における自然再生への取り組み（7回～10回）、(3) 日本の海岸（オホーツク海沿岸、東京湾、有明海など）における近年の環境問題（11回～15回）。後期は主としてアジアの水辺を対象として、(1) タイのチャオプラヤ川、ソンクラ湖、アンダマン海での環境問題（16回～20回）、(2) ベトナムの江河デルタ、メコンデルタ、フエのラグーン地域での海面上昇問題（21回～25回）、(3) 韓国の始華湖、セマングム干拓地、ほか（26回～30回）。

履修上の留意点 現実の様々な環境問題に、広い視野から関心を持ち学ぼうとする意欲を期待したい。
成績評価の方法 出席とレポート及びその発表。受講生が多数の場合は試験を行う。
教科書 とくに指定しない。
その他 高校で使う程度の地図帳（二宮書店や帝国書院発行のものなど）と12色の色鉛筆を用意することが望ましい。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	O46911
科目名	西洋文化史
担当者名	にしうら まみこ 西浦 麻美子

講義のねらい 古代から20世紀までの西洋服飾の歴史を、図像資料を中心に概説する。各時代の流行の服飾を、その時代特有の美意識や社会背景との関わりの中で理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール (1～3) 古代ギリシャ、ローマ、ビザンチン帝国の服飾（4～6）中世の服飾：色の象徴性（7～8）16世紀の服飾：誇張と変形（9～10）17世紀の服飾：ギャラントリー（11～12）18世紀の服飾：モードの簡素化（13）革命期から19世紀初頭の服飾：エンパイア・スタイル（14）ロマン主義の服飾（15～17）ダンディズムの服飾（18～19）19世紀後半の服飾：クリノリン、バツル、S字型スタイル（20～21） コルセットをめぐる歴史（22）ジャポニズムの服飾（23）20世紀初頭の服飾（24～29）18世紀後半のフランスにおけるアングロマニーの服飾（30）まとめ

履修上の留意点 授業内で紹介する参考文献をできるだけ読み、展覧会などに積極的に足を運んでください。
成績評価の方法 学年末試験（60％）と出席状況（40％）により評価する。
教科書 深井晃子監修『世界服飾史』1998年刊（美術出版社）2,625円 ISBN4568400422
参考書等 授業内で随時紹介していく。

履修コード	048401
科目名	日本史特講Ⅶ〔近代〕
担当者名	熊本史雄 <small>くまもと ふみお</small>

講義のねらい 本講義では、日清・日露戦争期から第一次大戦、第二次大戦を経て、戦後のサンフランシスコ平和条約・日米安全保障条約締結に至るまでの日本外交につき、史料を交えて講述する。

前期では、朝鮮・満洲地域進出の足がかりとなった日清・日露戦争期の日本外交政策を起点に、第一次大戦後の「転換期」に「新外交」を模索したはずの日本が、満州事変を経て日中戦争、アジア・太平洋戦争へと突入していく過程を検証しつつ、その根底に潜む「外交思想」の解明を試みる。

後期には、終戦工作を経て、敗戦後の日本が独立に向けて再生していく過程を、占領期GHQとの折衝交渉をつうじて検証する。

こうした検証と解明をもとに、近代日本の歴史像の一面の提示を併せ行いたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 前期の授業計画、参考文献などの説明
- 第2回 アジア進出の端緒①
- 第3回 アジア進出の端緒②
- 第4回 第一次大戦と東アジア社会
- 第5回 「転換期」としての戦間期
- 第6回 「新外交」としての「対支文化事業」
- 第7回 「幣原外交」と「田中外交」
- 第8回 若槻礼次郎と海軍軍縮会議
- 第9回 満州事変とその拡大過程 ①
- 第10回 満州事変とその拡大過程 ②
- 第11回 松岡洋右と国際連盟脱退をめぐる動向
- 第12回 「広田外交」と「佐藤外交」
- 第13回 日中戦争への道
- 第14回 日中戦争とその拡大
- 第15回 中間試験
《以上前期》
- 第16回 前期の総括（中間試験返却）／後期の授業計画
- 第17回 日独伊三国同盟と日ソ中立条約 ①
- 第18回 日独伊三国同盟と日ソ中立条約 ②
- 第19回 南進政策と日米関係
- 第20回 日米交渉から日米開戦へ
- 第21回 総力戦体制と銃後の世界
- 第22回 終戦工作と戦後構想
- 第23回 敗戦と占領の開始 ①
- 第24回 敗戦と占領の開始 ②
- 第25回 「自衛外交」の模索
- 第26回 サンフランシスコ講和会議の準備作業 ①
- 第27回 サンフランシスコ講和会議の準備作業 ②
- 第28回 吉田茂の安全保障構想
- 第29回 サンフランシスコ講和条約の締結
- 第30回 日米安全保障条約と行政協定の締結

履修上の留意点 史料の講読を通じて外交政策の決定過程を追体験して欲しい。外交指導者が下した決断の理由は何か、その根底にある主張とは何か、といった問題意識を常に持つことが重要。

成績評価の方法 前・後期2回の試験の成績（70%）、および出席状況と授業態度（30%）で評価する。

教科書等 とくに指定しない。

その他 適宜紹介する。
講義形式で進め、レジュメと史料を毎回配布する。

履修コード	053201
科目名	哲学史
担当者名	山口 祐弘

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

ヨーロッパにおける近代哲学の展開を通して哲学とは何かを学び、思索する態度を養う。
 <前期> 近代哲学の潮流
 I 近代哲学の出発点と問題：デカルト
 1 確実な学問の追求、2 方法的懐疑と帰結、3 心身問題
 II 大陸合理論：二元論の調停
 1 心身平行論—スピノザ 2 单子論—ライプニッツ 3 偶因論—マルブランシュ
 III イギリス経験論
 1 人間知性の吟味—ロック 2 存在と知覚—バークリー 3 懐疑主義—ヒューム
 IV 啓蒙思想
 1 感覚論—コンディヤック 2 唯物論—ラマルク、ドルバック 3 決定論—ディドロ
 4 功利主義—エルベシウス
 V 総括：近代知の抬頭と挫折
 <後期> 近代哲学の潮：カント
 I カントの見た学問的状况
 1 独断論 2 懐疑論 3 批判哲学の課題
 II 形而上学への関心
 1 諸学問の基礎 2 先天的総合判断 3 形而上学の危機と可能性
 III 認識論の革命
 1 コペルニクス革命と実験的方法 2 科学的認識の構造 3 観念論と実在論
 IV 実践的形而上学
 1 行為と自由 2 道徳と形而上学 3 実践と理論
 V 総括：近代的人間の全体像
 学期毎に小論文を課す。
 久保・河合編「原典による哲学の歴史」公論社
 山口祐弘「カントにおける人間観の探究」勁草書房

成績評価の方法
教科書

他学部
履修科目

履修コード	058371
科目名	産業と変動の社会学
担当者名	山田 信行

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

社会学の観点から産業と社会変動に関する基本的な理解を深めるとともに、労使関係、企業戦略、生産システム、およびグローバル化などの現代的な問題への認識を深める。
 この講義では、労使関係の変化とそれに対する雇主の対応と企業戦略の変化に照準して、生産システムの変遷をたどり、その過程に多国籍企業の展開と日本的なシステムの意義を位置づける。さらに、現代社会の基本的な変動趨勢としてのグローバル化の原因とその影響についても考察する。
 授業の内容は、以下のとおり。
 1. 近代化・産業化・資本主義—労使関係の成立
 2. 労使関係と生産システム
 (1) テーラー主義とその限界 (2) フォード主義とその意味
 3. ポスト・フォード主義
 (1) 労使関係の変容とフォード主義の限界 (2) 雇主の戦略と新国際分業 (3) 多国籍企業の戦略と周辺社会の工業化 (4) 日本的生産システム
 4. グローバル化と日本的生産システム
 (1) グローバル化の原因と日本企業 (2) 国際移転と普遍性
 5. グローバル化とサービス経済化
 (1) ポスト新国際分業と産業構成の変化 (2) 世界都市と移民労働者の流入
 6. インフォーマル化の進展
 (1) インフォーマル・セクターの拡大 (2) インフォーマル化の概念と意味
 継続的に出席することが、講義内容を理解するうえで重要である。
 中間試験と学期末試験による。
 特になし。
 山田信行 1998『階級・国家・世界システム—産業と変動のマクロ社会学』ミネルヴァ書房
 後期に開講する雇用と労働の社会学もあわせて履修することが望ましい。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

履修コード	058381
科目名	雇用と労働の社会学
担当者名	やまだ のぶゆき 山田 信行

講義のねらい 社会学の観点から雇用と労働に関する基本的な理解を深めるとともに、非典型雇用、ワーキング・プア、および外国人労働者などの現代的な問題への認識を深める。

講義の内容・授業スケジュール この講義では、雇用という関係について基礎的な事項を確認したうえで、主として日本を事例として、雇用をめぐる基本的な制度とその現代的な変容について、パート労働や有期雇用の拡大、および外国人労働者の利用に象徴される雇用の多様化とそれに伴う労使関係の変化に言及しながら概説する。講義の内容は、以下のとおり。

1. 雇用という関係—雇用の発生と労使関係の本質
2. 労使関係の歴史的展開—労使関係モデルの変遷とグローバル化
3. 現代日本の産業・労働
 - (1) 年功賃金と終身雇用 (2) フレキシビリティと非典型雇用 (3) フリーター問題 (4) 自主管理活動 (5) 企業別組合と春闘 (6) ユニオンと新しい労働運動 (7) ME革命と技術革新 (8) 日本型コーポラティズム
4. 外国人労働者と看護・ケア労働
 - (1) 日本における外国人労働者 (2) 再生産労働のグローバル化 (3) 外国人看護労働の現状と課題

履修上の留意点 講義の内容を的確に理解するためには、継続的に出席することが重要である。

成績評価の方法 中間試験と学期末試験による。

教科書 とくになし。

参考書 山田信行 1996『労使関係の歴史社会学』ミネルヴァ書房

その他 前期に開講される産業と変動の社会学もあわせて履修することが望ましい。

他学部
履修科目

履修コード	058411
科目名	マス・コミュニケーション論A
担当者名	かわもと まさる 川本 勝

講義のねらい われわれの生活は情報メディアなしでは成立しえなくなっている現状をまず把握する。その現状を基礎にして、マス・コミュニケーション活動が人々の社会生活や社会とどのように関係しているかを考察し、多種多様化した情報メディアの社会的機能を理解するのが、この講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール パーソナル・コミュニケーションからマス・コミュニケーションまで、生活に欠かせないコミュニケーション活動の現状を整理し、その社会的機能と課題について講義する。

第1回目は、オリエンテーション（授業のガイダンス）

1. コミュニケーションとは—その意味、定義と特質—
2. 社会的コミュニケーションの種類と特質、その規程要因（2～3回）
3. マス・コミュニケーション活動の現状、特質と課題（数回を予定）
 - ①情報の生産・伝達活動、②報道活動、③論評活動、④教育活動、⑤娯楽の提供活動
4. マス・コミュニケーション内容の実態と特質（2回）
5. マス・コミュニケーションの機能類型（2～3回）

まとめ—マス・コミュニケーションの社会的機能の整理

履修上の留意点 この講義は、マスコミ社会学の学問領域での考察となりますので、他学部他学科の学生は、すでに社会学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法 試験により授業内容の理解についての評価を行う。その他、授業時間内に実施する小テストや小レポート、出席を考慮して、総合的に評価する。

教科書 特に使用しない。

参考書 適宜紹介、指示、配布する。

履修コード	058421
科目名	マス・コミュニケーション論B
担当者名	川本 勝 <small>かわもと まさる</small>

講義のねらい	これまで多くの研究がなされてきたマス・コミュニケーションの効果、影響についての理論学び、現代社会における情報メディアの社会的影響過程を考察するのがこの講義の目的です。
講義の内容・授業スケジュール	マス・コミュニケーションの受容過程を扱う。マス・コミュニケーションが社会や人びとに対してどのような効果や影響を及ぼしているか、これまでの効果論を紹介しながら考察する。 第1回目は、オリエンテーション（授業のガイダンス） 第2回：マス・コミュニケーションの受容過程とは 第3回～2、3回を予定：マス・コミュニケーションの接触行動、意味解釈行動の多様性とその要因 第7回：マス・コミュニケーションの効果研究の視点と系譜 第8回：マス・コミュニケーションの効果研究の小史（推移） 第9回～：マス・コミュニケーションの効果に関する諸理論（効果モデル） まとめーマス・コミュニケーションの社会的影響過程の整理
履修上の留意点	この講義は、マスコミ社会学の学問領域での考察となりますので、他学部他学科の学生は、すでに社会学を履修していることが望ましい。
成績評価の方法	試験により授業内容の理解についての評価を行う。その他、授業時間内に実施する小テストや小レポート、出席を考慮して、総合的に評価する。
教科書 参考書等	特に使用しない。 適宜紹介、指示、配布する。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	063901
科目名	社会福祉発達史
担当者名	堀 千鶴子 <small>ほり ちづこ</small>

講義のねらい	我が国における、近代以降の社会事業・社会福祉の生成、発展について学ぶ。特に、社会福祉事業・社会福祉に貢献した人物史の足跡をたどることから、社会福祉の歴史を理解する。																																																
講義の内容・授業スケジュール	<table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>社会福祉の歴史と人物史 1</td> <td>13</td> <td>人物史 4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>” 2</td> <td>14</td> <td>” 4</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>慈善・救済の時代</td> <td>15</td> <td>” 4</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>人物史 1</td> <td>16</td> <td>社会事業・社会福祉の時代</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>” 1</td> <td>17</td> <td>人物史 5</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>” 1</td> <td>18</td> <td>” 5</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>” 2</td> <td>19</td> <td>” 5</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>” 2</td> <td>20</td> <td>” 6</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>” 2</td> <td>21</td> <td>” 6</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>” 3</td> <td>22</td> <td>” 6</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>” 3</td> <td>23</td> <td>社会事業に生きた女性</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>” 3</td> <td>24</td> <td>地域の歴史</td> </tr> </table>	1	社会福祉の歴史と人物史 1	13	人物史 4	2	” 2	14	” 4	3	慈善・救済の時代	15	” 4	4	人物史 1	16	社会事業・社会福祉の時代	5	” 1	17	人物史 5	6	” 1	18	” 5	7	” 2	19	” 5	8	” 2	20	” 6	9	” 2	21	” 6	10	” 3	22	” 6	11	” 3	23	社会事業に生きた女性	12	” 3	24	地域の歴史
1	社会福祉の歴史と人物史 1	13	人物史 4																																														
2	” 2	14	” 4																																														
3	慈善・救済の時代	15	” 4																																														
4	人物史 1	16	社会事業・社会福祉の時代																																														
5	” 1	17	人物史 5																																														
6	” 1	18	” 5																																														
7	” 2	19	” 5																																														
8	” 2	20	” 6																																														
9	” 2	21	” 6																																														
10	” 3	22	” 6																																														
11	” 3	23	社会事業に生きた女性																																														
12	” 3	24	地域の歴史																																														
履修上の留意点	出席を重視する。テキスト必ず持参。																																																
成績評価の方法	出席（40%）、レポート（60%）																																																
教科書	室田保夫「人物で読む近代社会福祉のあゆみ」ミネルヴァ書房2800円ISBN4-623-04519-6																																																

履修コード	126601
科目名	国際政治学
担当者名	小堀 訓男

講義のねらい 国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解し、同時に、国家が国際社会のステージで行動するとき、その国家の内部の意思決定のシステムが、どのように作用し合うかを理解することが、本講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール 前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに基礎的知識の整理をおこなう。

後期では、国際政治と国内政治との関係を理解し、国際政治の本質を、利益、権力政治、国際組織、政治は矛盾であり対立である、というテーマでアプローチして考案する。最後に、国家が国際社会の中で行動するとき、原理、原則があるのだろうか、というテーマで、国家の行動基準、冷戦中、冷戦後の国際政治を検証する。

授業スケジュールは、(1～5) 政治学の基礎的知識の整理、(6～8) 国家、権力、民族、階級、(9～11) 近代国家の特質、(12～15) 国際社会の特質、(16～17) 国際政治と国内政治、(18～22) 国際政治の本質、(23～26) 国家の行動基準、(27～30) 冷戦中、冷戦後の国際政治の予定である。

履修上の留意点 授業中に読むべき本を紹介しますので本を読むこと、TV・新聞・雑誌の報道に日頃から留意すること。

成績評価の方法 1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書 使用しません

参考書等 必要に応じて講義のなかで紹介します。

他
修
科
目
部

履修コード	126701
科目名	ヨーロッパ政治史
担当者名	浦田 早苗

講義のねらい 現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点—ルネサンス期と18世紀
- ・英国革命とIRA
- ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程
- ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法 年5～6回とる出席点は学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した2題を出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書 特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

履修コード	127501
科目名	地方自治法
担当者名	<small>とみい せきお</small> 富井 幸雄

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は大旨以下のスケジュールで行う。前期は、地方自治の概念、憲法と地方自治、地方公共団体の概念、地方公共団体の事務、住民自治を順に勉強していく。後期は、地方公共団体の組織、自治立法権、自主財政権、公の施設、国と地方公共団体の関係を順に勉強する。なお、前後期それぞれ最後の授業時に試験を実施する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教科書

富井幸雄『新地方自治法読本』2008年4月刊予定（内外出版）

参考書等

『地方自治判例百選（第3版）』（別冊ジュリスト）。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、その都度チェックすること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

他学部
履修科目

履修コード	128201
科目名	比較政治学
担当者名	三竹 ^{みたり なおや} 直哉

講義のねらい

比較政治学は、いろいろな国や地域の事例を比較して、政治現象の因果関係の解明を目指す分野です。この授業では、その一端をご紹介しますとともに、みなさん自身が比較研究をするのに役に立つ勉強をすることを目標にします。

「比較」という手法は、あらゆる分野に使える方法ですので、まじめに勉強すると卒業後も役に立つことが多いと思います。

講義の内容・授業スケジュール

この文章は2008年12月の時点で書いています。この授業には世界や日本で今現在起きている出来事を反映させる必要があります。また、よいドキュメンタリー番組などが放映されれば、積極的に使っていきたく考えています。参加する学生さんの関心や熱意、人数によって、授業内容も変えていきます。したがって、2008年12月の時点で詳細な授業スケジュールを確定させることはできません。基本的には2009年度も2008年度同様、民主化、民族問題、移民政策といったテーマで授業を進めていき、その後比較研究の方法論の勉強をします。以下はあくまで参考です。

前期

第1回 ガイダンス

第2回～第6回 民主化を考える（ビルマ、ブータン、南アフリカ、日本）

第7回～第13回 ネイションを考える（チベット、クルディスタン、沖縄とアイヌ民族、ベルギー、スリランカ、オーストラリアの先住民族、日本の移民政策）

第14回 ワークショップ（多文化主義）

後期

第15回～第21回 比較の方法を学ぶ（比較方法の基礎、質的比較、ブル代数を使った比較のグループ作業）

第22回～第25回 国際社会に目を向ける（社会的起業による支援、ODA等）

第26回～第27回 日本の難民政策

第28回～第29回 個人発表（希望があれば）・ワークショップ

履修上の留意点

他の多くの授業とやり方が違いますので、一回目のガイダンス授業には必ず出席してください。一回目の授業に参加していない場合、減点が生じる可能性があります。ほぼ毎週文献を読む課題が出ます。基本的に勉強の大半は自分で文献を読むことによるものです。教室には必ず課題を読んでもくることが条件です。毎週こつこつやると興味深く感じるが増えていきます。YeStudy を必ず利用します。授業のやり方は、参加人数や大学からあてがわれる教場の設備によっても大きく変わってきます。参加人数が非常に少なければ、ゼミのようにやることもあります。

また、中学校の社会科レベルの内容が身につけていること、新聞（特に国際面）をふだんから読んでいること、高校の社会科レベルの内容で授業に関連することは自分で学習することが条件です。

欠席したときの授業内容は各自の責任で補ってください。就職活動であろうが部活動であろうが、欠席した人を特別扱いすることはありません。（病気による長期欠席の場合は早めに相談してください。）

成績評価の方法

平常点と定期試験によります。参加人数が少なくなった場合、出席を取る可能性があります。一回目の授業に参加していない場合、減点が生じる可能性があります。

教科書等
参考書等
その他の他

指定する可能性はありますが、現時点で未定です。
その都度紹介します。

この文章は2008年12月時点で書いています。変更もあり得ます。最新の情報は YeStudy で確認してください。YeStudy に、前年度に履修した学生さんの感想やアドバイス、授業評価結果を載せますので、参考にしてください。

履修コード	133801
科目名	現代国家論
担当者名	おおつか かつら 大塚 桂

講義のねらい

本講義は近代における日本国家の解明を主たる目的に定めます。具体的には下記の諸課題を検討していきます。第一に近代日本国家の形成過程＝明治国家の構造（前期）であり、第二に日本人の政治的行動様式・観念形態を規定するもの＝政治文化の問題（後期）をとりあげます。

講義の内容・
授業スケジュール

I前期 (1) 幕末維新の政治過程 (2) 内閣官制 (3) 大日本帝国憲法 (4) 統帥権 (5) 帝国議会 (6) 自由民権運動 (7) 地方官官制 (8) 財政 (9) 国家神道 (10) 教育勅語 (11) 社会主義 (12) 大正デモクラシー (13) 天皇制ファシズム (14) 統制経済 (15) 中間試験
II後期 (16) 日本の宗教①～⑤ (17) 日本人の死生観 (18) タテ社会の原理 (19) 和の精神 (20) ムラ・イエの原理 (21) ホンネとタテマエ (22) 集団指導体制 (23) 意志決定 (24) 被害者意識 (25) 期末試験

成績評価の方法
教科書

授業内における中間試験（50％）と期末試験（50％）により評価します。

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3200円

大塚桂『日本の政治文化』（勁草書房）2800円

上記教科書の巻末にかかげた参考文献を参照のこと。

参考書等
その他の

私の研究室は、第二研究館八階（2835）です。電話は、3418-9377（直）です。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	141201
科目名	アメリカ経営学
担当者名	宮城 徹

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の9つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当る場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

（2009年度『アメリカ経営学』授業計画）

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力（パワー：マハト）(2)
- IV 戦略（特に提携、グループ、ファミリー）(2)
- V 取引コスト理論 (6)
- VI プロパティ・ライツ理論 (4)
- VII プリンシパル・エージェント理論 (5)
- VIII 契約の理論 (3)
- IX 企業のモジュラー化 (4)

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1983：1999年
- 2 宮城徹『企業制度とプロパティ・ライツ理論』『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985年
- 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987年
- 4 宮城徹『経営者論』鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1989：1999年
- 5 宮城徹『経営学の歴史』藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』（学文社）1983：1993年
- 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』（千倉書房）1997年
- 7 宮城徹「企業統治の研究の統合の一試論」『駒大経営研究』第31巻 第1・2号、2000年
- 8 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』（税務経理協会）2000：2009年（A.Picot u.a., Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998）
- 9 宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）1999：2007年（A.Picot u.a., Organisation. Eine ökonomische Perspektive, Schaffer-Poeschel, 1997）
- 10 宮城徹「企業文化と組織の経済理論」遠山正朗編著『ケースに学ぶ企業の文化』（敬愛大学学術叢書）（白桃書房）2003年
- 11 宮城徹（訳稿）「民主的な経済政策と社会政策の理論的基礎—O. ウィリアムソンの貢献*—」
*Ingo Pies : Theoretische Grundlagen demokratischer Wirtschafts- und Gesellschaftspolitik—Der Beitrag Oliver Williamsons, in : Ingo Pies und Martin Leschke (Hrsg.) (2001) : Oliver Williamsons Organisationsökonomik, Tübingen : Mohr Siebeck, S. 1-27. 『駒大経営研究』第39巻第3・4号 (2008年)
- 12 宮城徹（訳稿）「取引対相互作用、特異性対拡散効果および結束した行為者のレーゾンデートル—組織の経済学の構想の新しい志向を求めて*—」
*Ingo Pies : Transaktion versus Interaktion, Spezifität versus Brisanz und die raison d'être korporativer Akteure—Zur konzeptionellen Neuausrichtung der Organisationsökonomik, in : Ingo Pies und Martin Leschke (Hrsg.) (2001) : Oliver Williamsons Organisationsökonomik, Tübingen : Mohr Siebeck, S.95-119. 『駒大経営研究』第39巻第3・4号 (2008年)

ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介してゆく。

履修コード	141301
科目名	経営分析論
担当者名	片桐 伸夫 <small>かたぎり のぶお</small>

講義のねらい 経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・授業スケジュール

（1）経営分析について、（2－6）経営分析の資料、貸借対照表・損益計算書の読み方、（7－12）収益性・安定性分析、製造業－製造原価報告書、（13－15）貸借対照表・損益計算書問題、安定性・収益性比率の計算問題、（16－20）生産性分析、標準原価、損益分岐点分析、（21－26）キャッシュフロー計算書、連結財務諸表、（27－30）税効果会計、正味現在価値法と設備投資

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、さきやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

評価基準 前期レポート40%、前期小テスト10%、

後期レポート40%、後期小テスト10%、

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書

開講時、指示します。

参考書等

随時、紹介します。

履修コード	142351
科目名	リスクマネジメント論
担当者名	石名坂 邦昭 <small>いしなざか くにあき</small>

講義のねらい 近年、企業を取り巻く環境は多種多様なリスクに囲まれている。企業はそれらのリスクを征服しなければ、安定経営は望めない。企業を取り巻くリスクにはどのようなものがあるかを知り、それらにどのように対処したらよいかを講義の中心とする。

講義の内容・授業スケジュール

リスクマネジメントの生成について学び、リスクマネジメント・プロセスについて講義を行う。その後、PLリスクや環境リスクについて学ぶ。

①リスクマネジメントの生成と発達、1～3、②リスクマネジメントの理論、4～10、③企業経営とリスクマネジメント、11～20、④PLとリスクマネジメント、21～25、⑤環境リスクとリスクマネジメント、26～30

履修上の留意点

ノートをしっかりとること

成績評価の方法

定期試験の成績と平常点

教科書

特になし

参考書等

リスクマネジメントの理論 石名坂邦昭著 白桃書房

その他

授業にまじめに出席すること

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	164701
科目名	医療経済学
担当者名	<small>まつもと</small> 松元 <small>かずとし</small> 和敏

講義のねらい この科目を理解するには、医療で使われる言葉、システム、法律等について知ること、さらに医療制度を学ぶ必要がある。これらをやさしく解説しながら医療経済学を学習する。今や医療制度および医療経営を論ずるとき、医療経済を無視出来ない状況にある。これから医療で働く人特にリーダーには欠せない学問である。是非多くの学生に学んで頂きたい。

- 講義の内容・授業スケジュール**
1. 医療経済学を理解するために
 2. 医療経済学の経済学的基礎
 3. 医療経済学とはなにか
 4. 医療と最新の経済学
 5. 医療の仕組みを経済学で分析する
 6. 医療のプレーヤーとその行動
 7. 米国の医療制度を考える
 8. 日本の医療制度を考える

履修上の留意点 実践に即した内容にするために参加型の授業を目指し、積極的な参加を求める。

成績評価の方法 出席、レポート、試験

教科書 真野俊樹著「入門 医療経済学」(中公新書)、820円

参考書等 ① 医療の質用語事典 「日本規格協会」 3000円

② 図説 国民衛生の動向2008 「厚生統計協会 1600円

他
修
学
科
目

履修コード	427501
科目名	メディア・コミュニケーション概論
担当者名	<small>にしおか</small> 西岡 <small>ようこ</small> 洋子

講義のねらい 本講義では、コミュニケーションの基本機能およびコミュニケーションにおいて活用されるメディアの基本的特性を理解することを目的とする。まずは、コミュニケーションの基本的構造モデルを紹介したのちに、コミュニケーション主体の違いによって展開される異なるレベルのコミュニケーション(個人、グループ、マスのレベル)があることを理解する。さらには、それぞれのコミュニケーションにおいてどのようなメディアが活用されているか、さらには、それがどのように使い分けられ、また、変化しようとしている大きな傾向を理解する。

- 講義の内容・授業スケジュール**
1. イントロダクション
コミュニケーション・モデル
 2. パーソナル・コミュニケーション
人と人とのコミュニケーション
電話コミュニケーション
 3. グループ・コミュニケーション
集団・組織のコミュニケーション(企業の例を中心に)
地域コミュニティのコミュニケーション
集団行動のコミュニケーション(噂とクチコミ)
 4. マス・コミュニケーション
マス・メディアの変貌
マス・コミュニケーション研究
マーケティング・コミュニケーション(広告、PR)
 5. グローバル・コミュニケーション
 6. まとめ

履修上の留意点 社会における様々なコミュニケーション行為とメディア、その使い分けについて意識を持つように心がけて欲しい。

成績評価の方法 テスト、レポート、平常点などで総合的に評価する。

教科書 船津衛『コミュニケーション・入門』有斐閣アルマ、1996年、1,785円、

ISBN 9784641120198

参考書等 講義中に指示する。

履修コード	432001
科目名	情報メディア産業論
担当者名	福家 秀紀 <small>ふけ ひでのり</small>

講義のねらい	インターネットをはじめとした様々なネットワークの特性を理解するとともに、ブロードバンド・インターネットの急速な普及により大きく変化している、日本の情報メディア産業の現状と課題を理解することを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	(1) 情報メディア産業とは、(2)～(3) 情報メディア産業を理解するためのキーワード、(4) 電気通信、(5) 放送、(6) 携帯電話、(7)～(8) インターネット、(9) 新聞、(10) 出版、(11) 広告、(12) 映像コンテンツ、(13) 音楽、(14)～(15) まとめ
履修上の留意点	情報メディア産業の変化のスピードは極めて速いので、日頃から新聞、雑誌などの情報メディア関連の記事を読む習慣を身につけておいて下さい。また、レジュメは事前に授業支援システムに掲載しますので、予習をしてから受講して下さい。
成績評価の方法	各授業時間終了時に作成する講義概要、レポート、定期試験、および出席状況を総合的に評価します。
教科書 参考書等	特に指定しません。 ・村井純、『インターネット』、岩波書店、650円、4-00-430416-4 ・湯浅正敏他、『メディア産業論』、有斐閣、1,800円、4-641-17311-7 ・その他講義の中で適宜紹介します。
その他	レジュメを配布する他、新聞記事なども適宜使用します。

他
履
修
学
科
目
部

履修コード	432201
科目名	ネットワークコミュニケーション論
担当者名	<small>すがや みのる</small> 菅谷 実

講義のねらい

社会のコミュニケーション活動を支える情報ネットワークの基礎的知識の修得とネットワークの進化が社会のコミュニケーション活動にどのような影響を及ぼしてきたかを明らかにすることを目的としている。具体的には、人的組織、物理的ネットワーク、情報ネットワークの歴史、仕組み、機能、運営等を明らかにする。

前半は、「ネットワークとコミュニケーション」というテーマで、社会的コミュニケーション活動とネットワークの関係を明らかにする。具体的には、組織とネットワーク、組織コミュニケーション、ネットワーク産業の特質などを論じる。

後半は、「情報ネットワーク発展の歴史」を、各ネットワーク産業ごとに明らかにする。具体的には、郵便、交通、通信、放送、インターネットなどのネットワークの発展過程を論じる。まとめの部分においては、今後、ますます進化が期待されている「ネットワークの融合と社会的コミュニケーション」を取り上げる。具体的には、融合化が進むネットワーク環境のなかで社会的コミュニケーション活動がどのような影響を受け、変容していくかを展望する。

講義の内容・
授業スケジュール

第1部 ネットワークとコミュニケーション

1. ネットワークと経営

企業経営とは

企業活動にとっての情報基盤の重要性

クローズネットワークとオープンネットワーク

2. 企業組織とネットワーク

企業組織

組織コミュニケーション

3. ネットワーク産業の特質

ネットワーク産業の構造

ネットワーク産業の変容

第2部 情報ネットワーク発展の歴史

4. 郵便制度

物流と情報流を支える流通ネットワーク

郵便サービス

郵便局

民営化

情報ネットワークとしての郵便ネットワーク

5. 交通ネットワーク

貨物輸送

国内旅客輸送

国際輸送

6. 放送ネットワーク

放送ネットワーク種別

放送規制

テレビ放送ネットワークの発展

7. 通信ネットワーク

通信事業者の種別

通信ネットワークの構造

制度の変容

8. インターネット

発展の歴史

ブロードバンドネットワーク

ネットワーク機能

第3部 ネットワークの融合

9. ネットワークの融合

10. ネットワークの高度化と経営環境の変化

講義には毎回出席してください

平常点と期末テスト

特に指定しない。

初回講義時に紹介する。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

履修コード	432401
科目名	比較メディア制度論
担当者名	にしおか ようこ 西岡 洋子

講義のねらい 放送の世界的な競争の歴史を理解するとともに、日本、米国、EU主要国、韓国などの放送制度とその変化の方向性について、特徴および制度形成の背景を理解する。また、適宜、日本との比較を行うことで、各国の制度が互いに影響し合っていることを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 本講義のアプローチ
- (2) 世界の放送の歴史
- (3) 日本の放送制度
放送制度の概要と意義
通信と放送の融合に対応した制度改革
- (4) 米国の放送制度
- (5) EU主要国の放送制度
- (6) 韓国の放送制度
- (7) まとめ

履修上の留意点 メディア政策論または同様の講義を受講していることが望ましい。

成績評価の方法 テスト、レポート、平常点などで総合的に判断する。

教科書 講義中に指示する。

参考書等 講義中に指示する。

履修コード	432601
科目名	グローバルアート政策論
担当者名	かわさき けんいち 川崎 賢一

講義のねらい 現代文化システムの特色・機能・可能性、について、文化政策 (cultural policies) 特に芸術文化政策をキーワードとして論じる。文化的グローバリゼーションにより、国家単位の文化システムが、越境的・グローバルな展開を遂げつつある、その中核的な機能を果たしている。その成立過程、展開・普及家庭、そして将来の可能性を展望する。

講義の内容・授業スケジュール 文化政策のオリジナルを、西欧諸国等にイギリスとアメリカに求め、その歴史と展開を概観する。その後1980年代以降のグローバルな展開を、アジア諸国への普及を例とし、比較の観点から概説する。

〈スケジュール〉

1. イントロダクション
2. 文化政策とは何か？ その期限と展開の概略
3. ファインアートカルチャーとポピュラーカルチャー
4. 文化階層と文化政策
5. 文化政策の3タイプ：アメリカ型
6. 文化政策の3タイプ：アジア型(シンガポールと中国(その1))
7. 文化政策の3タイプ：アジア型(シンガポールと中国(その2))
8. 文化政策の3タイプ：中間型 (イギリス)
9. 文化政策の3タイプ:(中間型(フランスとイタリア))
10. 文化政策の3タイプ:中間型(他のヨーロッパ諸国)
11. 文化政策の3タイプ：中間型(日本)
12. 文化政策と国際文化交流
13. 文化政策と文化産業のシナジー
14. 文化政策の限界と可能性
15. まとめ

履修上の留意点 授業以外に、文化政策について調べてもらう予定である。

成績評価の方法 学期末のテスト、あるいは、学期末のレポート、プラス、平常点・出席点等を加算する。

教科書 授業の中で指示する。

参考書等 川崎賢一、「トランスフォーマティブ・カルチャー」、勁草書房、2006年
佐々木・川崎・河島 (共編)、「グローバル化する文化政策」、勁草書房、2009年

履修コード	432701
科目名	グローバル創造都市論
担当者名	<small>かわさき けんいち</small> 川崎 賢一

講義のねらい

文化的グローバリゼーションを推進する中核的なトレンドは、創造都市（Creative Cities）ないし創造産業（Creative Industries）である。本講義では、創造都市とは何か、どのように成立し、どのように発展しつつあるかを、具体的な例（ロンドン・ニューヨーク・東京・香港・シンガポール、など）を例にとって、紹介・説明する。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義形式で、3つの内容からなる。創造都市と創造産業の成立とその機能。文化的グローバリゼーションと関連付けて、どのように発展したかについて具体的な例を挙げて説明する。最後に、将来的な可能性と問題点について考察する。

〈授業スケジュール〉

1. イントロダクション：予備的考察とキー概念
2. 何のためのグローバル創造都市か？なぜ、グローバル創造都市が生まれたのか？：グローバリゼーションとグローバルシティ、創造都市
3. 誰がグローバル創造都市を造るのか？：文化階層と文化資本
4. ロンドン
5. ニューヨーク
6. 東京
7. シンガポールと東南アジアの主要都市
8. 中国都市圏
9. 東京と京都
10. 日本のグローバル創造都市：金沢・横浜・大阪
11. ローカルとネイティブ
12. トランスナショナルの重要性：EUとASEAN
13. 新しいコスモポリタニズムと中間層
14. グローバル創造都市の限界と可能性
15. グローバル創造都市論：まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

授業以外に、創造都市について調べてもらう予定である。
学期末テスト、あるいは、学期末のレポート、プラス、平均点・出席点等を加算する。
授業の中で指示する。
川崎賢一、「トランスフォーマティブ・カルチャー」、勁草書房、2006年
佐々木雅幸、「創造都市への挑戦」、岩波書店、2001年
J. Florida, The Rise of Creative Class, Basic Books, 2002

他
履修
科目
部

履修コード	434301
科目名	情報保護と社会
担当者名	苗村 憲司

講義のねらい

社会活動の全般的な情報化が進展するのにしたがって、情報の価値が増大している。小説、映画、音楽、コンピュータプログラム、データベース、マルチメディア情報等のように経済的価値がありしかも公開された情報については、著作権法等の知的財産権法による保護に適している。企業秘密やプライバシー情報のように経済的価値がありしかも非公開の情報についてはセキュリティ上の対策が必要になる。また、危険な情報から子供を守るための対策も必要となる。この科目では、日本の知的財産戦略および情報セキュリティ政策との関連を含め、情報保護のニーズとこれに対応する種々の社会的方策について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①情報化社会における情報の価値とその保護の必要性
- ②知的財産権の保護に関する政策と技術（1. 知的財産戦略）
- ③知的財産権の保護に関する政策と技術（2. 著作権制度）
- ④知的財産権の保護に関する政策と技術（3. 著作権保護技術）
- ⑤知的財産権の保護に関する政策と技術（4. 産業財産権の保護と課題）
- ⑥知的財産権の保護に関する政策と技術（5. 営業秘密の保護と課題）
- ⑦情報セキュリティに関する政策と技術（1. 個人情報保護政策）
- ⑧情報セキュリティに関する政策と技術（2. 情報セキュリティ政策）
- ⑨情報セキュリティに関する政策と技術（3. 情報セキュリティ・マネジメント）
- ⑩情報セキュリティに関する政策と技術（4. 暗号技術）
- ⑪情報セキュリティに関する政策と技術（5. 情報セキュリティ技術の高度化と応用）
- ⑫グローバル環境における情報保護の課題（1. 国際機関の果たす役割）
- ⑬グローバル環境における情報保護の課題（2. 有害情報からの児童の保護）
- ⑭グローバル環境における情報保護の課題（3. 情報保護の新たな展望）
- ⑮まとめ

成績評価の方法

- 次の2項目を総合して評価する。
1. 授業時間に行うミニテストの成績（合計30点）
 2. 期末試験の成績（70点）
- ただし、遅刻と欠席の回数に応じて減点する。

教科書
参考書等

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~naemura/ps/> 上に電子教材を提供する。
電子教材の中で参考書を紹介する。

他
学
部
履
修
科
目

履修コード	435001
科目名	映像コンテンツ論
担当者名	テヅカ ヨシハル

講義のねらい

講義のねらい：映像コンテンツ産業の象徴的中核である映画産業のグローバル化の歴史をたどり、アメリカ大衆文化の世界的拡大とそれに伴う文化の同一化ならびに多様化の問題を検証します。19世紀末における映画伝来以来、日本の映画産業と文化はいかに近代化・アメリカ化・グローバル化の波に対応してきたのか解き明かし、現代日本の文化状況を批判的に検証する教養を養います。

講義の内容・授業スケジュール

アドルノ／ホーケイマーの文化産業論、ウォルター・ベンヤミンの複製芸術論等、メディア&カルチュラル・スタディーズにおける基本文献を紹介し、戦後から前世紀末までの日本映画産業史を情報化／グローバル化の文脈から分析します。

履修上の留意点

現代思想に興味があり、社会科学の基礎を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

授業中の発言、レポート、口頭試問によって総合的に評価する。

参考書等

- アドルノ／ホルクハイマー著、啓蒙の弁証法—哲学的断想（2007）、岩波文庫 青 692-1
 グレアム・ターナー著、金智子他訳、カルチュラル・スタディーズ入門—理論と英国での発展（1999）、作品社
 ポール ドゥ・ゲイ他著、暮沢剛巳翻訳、実践カルチュラル・スタディーズ—ソニー・ウォークマンの戦略（2000）、大修館書店

履修コード	437101
科目名	メディアと知識論
担当者名	<small>さいとう のぶお</small> 齋藤 信男

講義のねらい

メディアは人間の知識の表現と言えるが、その作成、操作、管理などをより効率的、効果的に行う事を支援する知的な処理の基本的な考え方をまず理解する。知識処理の具体例としてセマンティックWEBを取り上げ、メタデータを利用したインテリジェントなWEBの操作を体験する。更に、メタデータの作成、その操作、基本的な辞書構築、自然言語処理機能の利用など知識表現やその処理に関連する課題について理解し考えていく。メタデータが、高度なコミュニケーション環境や社会システムの実現に寄与し、今後のWEB利用における種々のイノベーションに発展していく可能性を探る。

講義の内容・授業スケジュール

- 以下の具体的な項目を学んでいく。
- (1) この講義の目的
 - (2-4) 知識表現、知識獲得、知識管理など従来の手法の概括とその課題を考える。
 - (5-7) 論理と推論 命題論理、述語論理の基礎、推論の意味
 - (8-11) セマンティックWEBについて、その基本的機能、構造を学ぶ。メタデータ記述言語 RDF(Resource Description Framework)、オントロジーとその記述言語 OWL、RDFに対する検索言語 SPARQLについて、その概要を学び、具体的な演習を行う。また、セマンティックWEBの応用例をいくつか取り上げ、その効果、メタデータによる種々のWEBの統合化、RSSへの適用などを学ぶ。
 - (12-14) コンテンツマネジメントシステムについて、その意味付け、知識処理との関係、具体例などを学ぶ。
 - (15) まとめ、将来に実現すると思われる知識社会への展望などを学び、講義全体のまとめとする。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

実際のシステムをなるべく体験できるような演習を行う。
いくつかの課題レポート、総合課題、および出席の総合評価により判定する。
特に指定しない。
講義の内容に応じて、その都度紹介する。
WEBシステムについて、その基礎的理解をしておくことが望ましい。

他
修
学
目
部

IV 「日本語」・「日本事情」科目

「日本語」
「日本事情」

履修コード	230511
科目名	日本語入門Ⅰa
担当者名	鈴木 美希

講義のねらい 日本語学習歴が150時間未満までの学生を対象とし、基本的な文法、語彙、文字の習得を目指す。短い文章を読みながら、文法、語彙、文字の学習をする。

講義の内容・授業スケジュール

履修上の留意点

- ◆非漢字圏の学生で、日本語の学習経験が全くないか、ほとんどない学生を対象としているため、漢字圏の学生および、ある程度の日本語力を持つ学生は受講できない。
- ◆「日本語入門Ⅰa」と連続して講義を行うため、「日本語入門Ⅰa」と「日本語入門Ⅰa」は同時に受講することが望ましい。
- ◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。
- ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。

成績評価の方法 平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。

教科書 授業時に指定する。

その他の他 辞書を持ってくること。

履修コード	230521
科目名	日本語入門Ⅰb
担当者名	鈴木 美希

講義のねらい 日本語学習歴が150時間程度の学生を対象とし、基本的な文法、語彙、文字の習得を目指す。「日本語入門Ⅰa」の続きとして講義を行う。短めの文章を読みながら文法、語彙、文字の学習をする。

講義の内容・授業スケジュール

履修上の留意点

- ◆非漢字圏の学生を対象としているため、漢字圏の学生は受講できない。
- ◆「日本語入門Ⅰa」「日本語入門Ⅰa」を受講した学生を前提とするが、日本語のレベルが適当であれば受講を認める。
- ◆「日本語入門Ⅰb」と連続して講義を行うため、「日本語入門Ⅰb」と「日本語入門Ⅰb」は同時に受講することが望ましい。
- ◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。
- ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。

成績評価の方法 平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。

教科書 授業時に指定する。

その他の他 辞書を持ってくること。

履修コード	230531
科目名	日本語入門Ⅱa
担当者名	鈴木 美希

講義のねらい 日本語学習歴が150時間未満までの学生を対象とし、「日本語入門Ⅰa」で学んだことをもとに、「話す、聞く、書く、読む」の4技能を高め、総合的な日本語力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

履修上の留意点

身近なトピックによる作文とスピーチの練習を繰り返す。また、他の人の作文を読んだり、スピーチを聞いたりした後、質疑応答・意見交換を行う。

- ◆非漢字圏の学生で、日本語の学習経験が全くないか、ほとんどない学生を対象としているため、漢字圏の学生および、ある程度の日本語力を持つ学生は受講できない。
- ◆「日本語入門Ⅰa」と連続して講義を行うため、「日本語入門Ⅰa」と「日本語入門Ⅰa」は同時に受講することが望ましい。
- ◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。
- ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。

成績評価の方法 平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。

教科書 必要に応じてプリントを配布する。

その他の他 辞書を持ってくること。

「日本語
事情」

履修コード	230541
科目名	日本語入門II b
担当者名	鈴木 美希

講義のねらい 日本語学習歴が150時間程度の学生を対象とし、「話す、聞く、書く、読む」の4技能を高め、総合的な日本語力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 簡単なアンケート調査を実施し、結果をクラスで発表することが最終課題であり、アンケート用紙の作成の仕方、アンケートの仕方、結果のまとめ方、発表の仕方等の練習をする。

履修上の留意点 ◆非漢字圏の学生を対象としているため、漢字圏の学生は受講できない。
◆「日本語入門 Ia」「日本語入門 IIa」を受講した学生を前提とする。
◆「日本語入門I b」と連続して講義を行うため、「日本語入門I b」と「日本語入門II b」は同時に受講することが望ましい。
◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。
◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。

成績評価の方法 平常点(出席率・授業への参加度・小テスト・提出物)と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。

教科書 必要に応じてプリントを配布する。
その他 辞書を持ってくること。

履修コード	230611
科目名	日本語I a
担当者名	佐野 典子

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法 成績は、提出物(毎週)、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230621
科目名	日本語I b
担当者名	佐野 典子

講義のねらい 本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 授業は、日本の劇場用映画を主教材とし、日本語を勉強すると同時に、日本人のものの考え方や行動パターン、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点 教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法 成績は、提出物(毎週)、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230631
科目名	日本語I a
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力、表現力を高める。

講義の内容・授業スケジュール 衣③・食①・住②・学生生活④⑤など日常の場面ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・擬音語・擬態語・機能語・慣用表現などを紹介し、生の文章を読む、書くなどを通して実際にどう使われているかを知り、より豊かな表現ができるようにする。

成績評価の方法 出席率・平常点(小テスト・提出物・授業への参加度)、期末テストの成績から総合的に評価する。

教科書 プリントを配布する。
その他 辞書を持ってくること。

履修コード	230641
科目名	日本語Ⅰb
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール
成績評価の方法
教科書

語彙・表現を豊かにし、日本語の理解力・表現力を高める。
日本語Ⅰaに続き政治⑥・法律⑦・経済⑧・文化⑩・社会問題⑨などの分野ごとに、よく使われる漢語・和語・外来語・省略語・慣用表現など日本語の知識を高め、ニュースを見る、読む、自分の考えを述べるなどを通してより深く理解できるようにする。
出席率・平常点（小テスト・提出物・授業への参加度）、期末試験から総合的に評価する。
プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

履修コード	230711
科目名	日本語Ⅱa
担当者名	佐野 典子

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。
授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。
教材は、担当者が用意する。
成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230721
科目名	日本語Ⅱa
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
人前で話すことに慣れ、言うべきことが、正しく適切な表現を用いて効果的に相手に伝わることを目指す。
発音・アクセント・イントネーション等、自分で見直し矯正する習慣をつける。
紹介・インタビュー・情報提供のスピーチをして、質疑応答・意見交換を行う。ほかの人のスピーチの内容・感想・意見などを限られた時間内に文章にまとめる。
テープで自分が話した日本語を聞く。必要に応じて発音・アクセント・話し方等の練習をする。
授業活動が大切なので出席し、授業に積極的に参加すること。
平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。
必要に応じてプリントを配布する。

履修コード	230811
科目名	日本語Ⅱb
担当者名	佐野 典子

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。
授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。
教材は、担当者が用意する。
成績は、提出物（毎週）、試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

履修コード	230821
科目名	日本語Ⅱb
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

話すことを中心に日本語の運用能力を高める。
自分の考えを、正しく適切な表現を用いて効果的に説得力を持って相手に伝えることを目指す。
発音・アクセント・イントネーション等を自分で見直し矯正する習慣をつける。
意見表明や提言のスピーチ・ディベートを行う。スピーチのあと質疑応答・討論を行い、最後に自分の意見とその根拠を文章にまとめることによって論理的に話したり書いたりする練習をする。
テープで、自分が話した日本語を聞く。
授業活動が大切なので出席し積極的に授業に参加すること。
平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。
必要に応じてプリントを配布する。

「日本語
事情」

履修コード	230911
科目名	日本語III a
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 聞き取ることを中心に日本語の総合能力を強化する。
まず内容を聞き取って把握すると共に、相手や立場、場面にふさわしい話し言葉の使い方を知る。
次に話し言葉と書き言葉の違いを知り、レポートを書く練習の第一歩とする。

講義の内容・授業スケジュール ビデオでドラマ・講演などを聞き取り、敬語、くだけた表現、改まった表現など場面・立場・相手によって使い分ける自然な話しかたに慣れ、スピードにも慣れる。語彙表を使って聞き取った内容を文章にまとめることで豊かな表現を身につけ、書き言葉で書く練習もする。

成績評価の方法 平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。期末テストも行う。

教科書 ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。
辞書を持ってくること。

履修コード	230921
科目名	日本語III a
担当者名	湯村 礼子

講義のねらい これまでに修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること、さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール 新聞・雑誌・専門書などから教材を選び、辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。2コマで一つの文章・記事を読み進め、一学期中に七つの題材を扱う予定。

履修上の留意点 授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。調べてくる宿題が出る。なお、第1週・第2週の授業を続けて欠席した者は履修を許可しない場合があるので注意すること。

成績評価の方法 小レポート、小テスト、授業活動50%
期末試験50%

教科書 最初の授業時に指定する。

履修コード	231011
科目名	日本語III b
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 聞き取ることを中心に日本語の総合的能力を強化する。
前期をふまえ、さらに聞きとりの強化とレポートを書くための文章力の強化をする。

講義の内容・授業スケジュール ドキュメンタリー、ニュース関連番組などのビデオを用い、今話題になっている問題の内容を聞き取る。
聞き取った内容等をまとめながら、レポートの書き方の練習をする。

成績評価の方法 平常点（出席、授業への参加度、提出物など）を重視する。

教科書 ビデオを準備し必要に応じてプリントを配布する。
辞書を持ってくること。

履修コード	231021
科目名	日本語III b
担当者名	湯村 礼子

講義のねらい 日本語III aの続きとして、文献を自分で調べながら読み、理解できるようになること、さらに、文献を通して考え、自分の意見を持ち、発表、説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール 教材を辞書や事典、他の資料を使って詳しく調べながら読み、理解を深める。その後、意見を出し合い討論をして、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。2コマで一つの文章・記事を読み進め、一学期中に七つの題材を扱う予定。

履修上の留意点 授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。調べて来て発表することがある。なお、第1週・第2週の授業を続けて欠席した者は履修を許可しない場合があるので注意すること。

成績評価の方法 小レポート、小テスト、授業活動50%
期末試験50%

教科書 最初の授業時に指定する。

履修コード	231111
科目名	日本語Ⅳa
担当者名	鈴木 美希

講義のねらい	中級レベルの日本語学習（日本語能力試験2級程度）を修了した学生を対象とし、「話す、書く」を中心に日本語力の向上を目指す。他の人と情報・意見交換をすることにより自分の考えを深め、論理的にわかりやすい説明ができるようになること、説得力のある意見が述べられるようになることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	日本文化や今、日本社会で問題となっていることの中から幾つかのトピックを設定し、そのトピックに関する資料を読んで理解を深めた後、自分の意見を文章でまとめ、発表する。フォーマルな話し言葉と書き言葉を学ぶ。講義はグループワークを中心に進めるため、学生同士の活発な意見交換を望む。
履修上の留意点	◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。 ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。
成績評価の方法	平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。
教科書 その他の	必要に応じてプリントを配布する。 辞書を持ってくること。

履修コード	231121
科目名	日本語Ⅳa
担当者名	湯村 礼子

講義のねらい	文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	レポートの書き方を学習する。事実・情報を正確に伝える文章を書くために、文、段落、構成などの基本から始める。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするというように進める。 （1～5）文章の基本一文・段落・構成（6～10）レポートの方法—主題・材料・アウトライン等—（11～15）レポートの形式—表紙・序論・本論・結論・参考文献—
履修上の留意点	授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。第1・第2週の授業を続けて欠席した者は、履修を許可しない場合があるので注意すること。
成績評価の方法	提出物・小テスト・授業活動（授業での発言、授業態度など）50% 期末テスト50%
教科書	教科書は授業時に指定する。

履修コード	231211
科目名	日本語Ⅳb
担当者名	鈴木 美希

講義のねらい	中級レベルの日本語学習（日本語能力試験2級程度）を修了した学生を対象とし、「話す、書く」を中心に日本語力の向上を目指す。他の人と情報・意見交換をすることにより自分の考えを深め、論理的にわかりやすい説明ができるようになること、説得力のある意見が述べられるようになることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	日本文化や今、日本社会で問題となっていることの中から幾つかのトピックを設定し、そのトピックに関する資料を読んで理解を深めた後、自分の意見を文章でまとめ、発表する。フォーマルな話し言葉と書き言葉を学ぶ。講義はグループワークを中心に進めるため、学生同士の活発な意見交換を望む。
履修上の留意点	◆履修者数の制限をする場合があるので、必ず初回の授業に出席し、担当者の承認を得ること。 ◆5回以上欠席した場合、単位を認めないことがある。
成績評価の方法	平常点（出席率・授業への参加度・小テスト・提出物）と期末試験から総合的に評価する。授業態度を重視する。
教科書 その他の	必要に応じてプリントを配布する。 辞書を持ってくること。

「日本語
日本事情」

履修コード	231221
科目名	日本語Ⅳb
担当者名	湯村 礼子

講義のねらい 文章表現を中心に学び、日本語の知識を深め、大学生として必要な表現力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール レポート、意見文を学習する。授業は、講義、そして実践として書き、必要に応じて書き直しをするように進める。(1～7)レポートを書く(8～15)意見文の書き方、実践

履修上の留意点 授業活動が重要となるので、毎時間の出席を原則とする。第1週・第2週の授業を続けて欠席した者は履修を許可しない場合があるので注意すること。

成績評価の方法 作文(3～4回) 50%
提出物・小テスト・授業活動(授業での発言、授業態度など) 50%

教科書 教科書は授業時に指定する。

履修コード	231311
科目名	日本語Ⅴa
担当者名	石川 守

講義のねらい しっかりとした日本語の基礎を築くために概念シラバス、機能シラバスの観点からやっています。日本語の基本となる部分、呼称や指示詞などから始めます。もう一度しっかりとした日本語の基本を復習したい人におすすめします。

講義の内容・授業スケジュール 日本語の話し言葉や書き言葉の文体から、会話や基礎文法が復習ができるように構成されています。まず会話特有の表現から始まり、呼称、指示詞、存在や場所関係の表現、数詞、形容詞など日本語コミュニケーションの基本的なものを学んでいきます。

履修上の留意点 履修者数の制限をする場合があります。最初の授業で教員の承認を得てください。最初の授業で許可を得ない者は、履修を認めないことがあります。

成績評価の方法 試験50%、平常点(出席、授業態度)50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書 特になし。授業中にプリントを配ります。

参考書等その他 辞書を持ってきてください。
受講態度を重視しています。

「日本語
日本事情」

履修コード	231321
科目名	日本語Ⅴa
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 読むことを通して日本語の読解力、表現力を高める。特に今、話題になっているニュース等について読んだり説明したり意見を述べたりする力をつける。

講義の内容・授業スケジュール レポートを書くための基礎を学ぶ。
各種の新聞記事など時事問題を中心に読む。見出しから内容を推測したりわかる言葉から概要をつかむ練習をし、さらに自分で調べながら細部まで読み、内容について説明したり、意見発表を行う。

成績評価の方法 それらを文章にまとめる。
平常点(小テスト・提出物・授業の参加度)を重視する。期末テストも行う。

教科書 プリント配布する。
辞書を持ってくること。

履修コード	231411
科目名	日本語Ⅴb
担当者名	石川 守

講義のねらい 日本語Ⅴaに続けて、日本語コミュニケーションの会話に必要な基本的な文法について学んでいきます。特に日本語の基礎を固めたい人におすすめです。

講義の内容・授業スケジュール 日本語Ⅴaの続きをやっていきます。

履修上の留意点 日本語Ⅴaに準じますので、そちらを参照してください。

成績評価の方法 試験50%、平常点(出席、授業態度)50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとっても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書 特になし。授業中にプリントなどを配ります。

参考書等その他 辞書を持ってきて下さい。
受講態度を重視しています。

履修コード	231421
科目名	日本語V b
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 読むことを通して日本語の読解力、表現力も高め、時事的問題について読んだり読したり文章で意見を述べたりする力を養う。

講義の内容・授業スケジュール 各自関心のある新聞記事等を読み、内容を発表する。その内容に関して話し合ったり、文章を書いたりする。

成績評価の方法 平常点（小テスト・発表・提出物・授業への参加度）を重視する。期末テストも行う。

教科書 プリントを配布する。

その他 辞書を持ってくること。

履修コード	231511
科目名	日本語VI a
担当者名	石川 守

講義のねらい 日本語の中上級文法を話し言葉、書き言葉、コミュニケーションの観点からテキストを使いながらやります。

講義の内容・授業スケジュール 授業は中上級の文型に関するもの、特に型の似ているものの用法や意味の違い、類義的な表現の用法の違いなどを中心に、用例に出てくる語句の意味の分析、発音やアクセントなどもやっています。

履修上の留意点 スケジュールはテキストの初めから順次やっていきたいと思っています。

成績評価の方法 履修者数の制限をする場合があります。最初の授業で教員の承認を得てください。最初の授業で許可を得ない者は履修を認めません。ご注意ください。

教科書 試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとつても、悪い成績が付く可能性があります。

参考書等 使用するテキストは、授業中にプリントで配ります。

その他 辞書を持ってきてください。

その他 授業態度を重視しています。

「日本語
日本事情」

履修コード	231521
科目名	日本語VI a
担当者名	多田羅 哲子

講義のねらい 文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・授業スケジュール 雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し、感想や意見を述べる。

成績評価の方法 現在よく使われているカタカナ語、語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても各自調べ、確認しながら細部まで理解して読む。

教科書 平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

参考書等 プリントを配布する。

その他 辞書を持ってくること。

履修コード	231611
科目名	日本語VI b
担当者名	石川 守

講義のねらい 日本語 VI a の続きをやっていきますので、基本的に変更はありません。日本語 VI a を参照してください。

講義の内容・授業スケジュール 日本語 VI a の続きをやっていくため、日本語 VI a を参照してください。

履修上の留意点 履修者数の制限をする場合があります。最初の授業で必ず教員の承認を得てください。最初の授業で許可を得ない者は、履修を認めません。ご注意ください。

成績評価の方法 試験50%、平常点（出席、授業態度）50%の合計。ただし、成績評価は駒沢大学の新評価法により行っていますので、高得点をとつても、悪い成績が付く可能性があります。

教科書 授業中にテキストのプリントを配ります。

参考書等 辞書を持ってきてください。

その他 受講態度を重視しています。

履修コード	231621
科目名	日本語VIb
担当者名	たたら あきこ 多田 羅 哲子

講義のねらい 文章読解を通して日本語の総合力を高めると共に日本人の考え方にふれる。

講義の内容・授業スケジュール 雑誌を中心にさまざまな文章を読み、その内容を把握し感想や意見を述べる。現在よく使われているカタカナ語、語句の意味や使い方、漢字の読み、文法事項等についても復習し、確認しながら理解していく。

成績評価の方法 平常点（提出物・小テスト・授業への参加度）、出席率、期末試験の成績から総合的に評価する。

教科書 プリントを配布する。
辞書を持ってくること。

履修コード	231701
科目名	日本事情I〔地理〕
担当者名	たかはし けんたろう 高橋 健太郎

講義のねらい 人々の生活や地域社会の特徴と変化を、空間的側面と関連づけて考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール この授業では、最初に、日本の地理的特徴や、日本人の文化や生活の地域性について説明する。その後、受講生2～3人で1つの班を作り、班ごとに、日本の各都道府県の地理的特徴について調べ、授業で発表してもらおう。
また、駒澤大学の周辺地域、つまり東京近郊地域の特徴や変容を理解するために、大学の外に出て、見学も行なう。

履修上の留意点 第1回目に授業の案内を行なうので必ず出席のこと。また、学外見学の際の交通費や施設入場料は各自の負担となる。

成績評価の方法 頻繁に教場で作成してもらおう小レポート、班ごとの発表の内容、学外見学のレポート、および学期末レポートで評価する。

教科書 使用しない。授業中にプリントを配布する。

「日本事情」

履修コード	231801
科目名	日本事情II〔自然〕
担当者名	しみず よしかず 清水 善和

講義のねらい 日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海が多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わさり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物、自然保護の5つの章に分けて解説する。また、日本の自然と日本人の文化・生活との関連についても取り上げる。

講義の内容・授業スケジュール 1章：位置（国土の範囲、行政区分、位置の特徴；1,2回）、2章：気候（気候帯、海流、気候の特徴、気団と季節、気象観測、気候と文化；3-7回）、3章：地質・地形（弧状列島、変動の歴史、多様な地形、火山、地震、自然災害；8-11回）、4章：生物（植生帯、生物多様性、生物地理区、里山、帰化生物；12-14回）、5章：自然保護（レッドデータ、国内の法律、国際条約；15回）

成績評価の方法 2回のレポートと出席回数に基づいて評価する。

教科書 講義内容を文章化した「web版テキスト（日本語版と英語版）」を紹介する。受講者は指定のHPから自由にダウンロードして利用できるようにする。

参考書等 講義とweb版テキストの中で適宜紹介する。

その他 講義に必要な図表をまとめたプリントを毎回配布する。講義は日本語で行うが、英語圏の留学生のために講義内容を英語で著した「web版テキスト（English version）」を用意する。

履修コード	231901
科目名	日本事情III〔歴史〕
担当者名	井上 桂子

講義のねらい 本講義では、19世紀以降の日本と中国大陸の文化、人事交流を中心に、大きな歴史の流れの中で両国の人びとがどのような交流し、相互理解に努力したかを学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 19世紀—鎖国政策の中での日本の他国関係
2. 中国商人の「唐風説書」の役割
3. 江戸幕府貿易船で上海に行った明治維新のキーマン
4. 日米和親条約と中国
5. 明治維新と中国の反応
6. 駐華公使森有礼と清朝の李鴻章の会談から見えてくるもの
7. 清末の改革維新と日本との関係
8. 孫中山と日本
9. 民間交流と日中関係
10. 戦争中中国大陸で反戦活動
11. 日中国交正常化への道のり

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行い、全般的な講義内容を説明します。特別な予習、復習は必要ありません。

成績評価の方法

出席回数と課題リポートで評価します。

教科書

必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

授業のなかで適宜紹介します。

その他の

希望があれば、その日の要点を中国語でも話します。また、中国語で発言してもかまいません。

履修コード	232001
科目名	日本事情IV〔思想〕
担当者名	佐藤 美奈子

講義のねらい 明治維新によって江戸幕府は倒れ、日本は新しく近代国家としての道を歩み始めました。この大きな転換期に日本では何が起こったのでしょうか。そして、その変化を当時の思想家達はどのように受けとめたのでしょうか。本授業では、幕末から明治末期にかけての歴史と思想について学びます。この時代の日本に何が起こったのか。当時の思想家達は、何を問題だと考えていたのか。その問題をどのように解決しようとしていたのか。こういった問いを明らかにしていくことが本授業の目的です。この作業を行うことにより、学生の皆さんは近代日本（ひいては現代日本）がどのように成立したかを知る手がかりを得ることができるでしょう。なお、授業を理解する上では、常識レベルでの日本史の知識が必須です。よって、日本の中学校で学ぶ程度の日本史の知識について学ぶことも授業の目的の一つとなることは留意しておいてください。

講義の内容・授業スケジュール

オリエンテーション(1)、儒教思想(2～3)、福沢諭吉(4～5)、明六社(6～7)、自由民権(8～9)、中江兆民(10～11)、徳富蘇峰(12～13)、社会主義(14～15)。

履修上の留意点

毎回行う小テストの合計で成績を決定します。そのため欠席が多い場合は、単位が取得できません。毎回のテストの点数が低い場合も不可となります。授業への積極的参加、及び毎回の授業の復習は必須と考えてください。授業を履修する場合は、4月中旬に必ず一度授業に出席して上記の点について確認をしてください。また可能であれば、授業内で一度学外研修を実施したいと考えています。

成績評価の方法

出席点と授業内で実施する小テストの点数で成績を決定します。なお、小テストは毎回授業開始時に、前回の授業内容に基づいて行います。欠席の場合、点数は与えられません。

教科書

特に指定しません。

参考書等

授業時に適宜、紹介します。

その他の

講義形式。授業や小テストは日本語で行いますが、授業後の個別質問には英語でも対応します。

日本語
日本事情

履修コード	232101
科目名	日本事情V〔社会〕
担当者名	<small>ついで、つよし</small> 坪井 健

講義のねらい この講義は、外国人学生のために現代の日本社会への理解を深めるための講義です。基本的には、日本人が何を考えているか、「日本人の意識」を外国人と比較しながら考えていきます。外国人はあなたの意識でもありますので、授業中は、集団としての日本人の平均的考え方とあなた自身の意見と比較してみてください。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、「生活価値観」「仕事」「家庭」「教育」「ナショナリズム」「生活満足度」などです。こうした問題について討論しながら進めたいと思います。

1. はじめに 講義の方針と受講の仕方
2. 戦後日本の生活変動 一概要一
3. 日本人の生活価値観 一講義一
4. 教育と学校 一講義とビデオ一
5. 政治とナショナリズム 一講義一
6. 仕事と余暇 一講義とビデオ一
7. 家族とジェンダー 一講義一
8. 高齢化社会と老後 一講義一
9. 若者の意識 一講義とビデオ一
10. 戦後日本人の意識の動向
11. まとめ 一現代日本の社会問題一

履修上の留意点

この授業では、対話型授業を行うので、皆さんの意見を積極的に述べること。また、毎回リアクション・ペーパーを配布するので、意見や感想などを必ず記入すること。ビデオによる映像教材や1回程度は、社会見学をすることがあるので遅刻・欠席しないこと。授業内容はすべてプリントにして配布する。特別、英語による補足説明はしないが、プリントと映像教材で、外国人にも理解しやすい工夫をする。

成績評価の方法

この授業は、平常点（出席＋リアクションペーパー＋受講態度等）40％と課題レポート（2～3回提出）60％で評価する。

教科書

1. NHK放送文化研究所編『現代日本人の意識構造』（第六版）NHKブックス ¥1020＋税

「日本語」
「日本事情」

履修コード	232201
科目名	日本事情VI〔政治・法律〕
担当者名	<small>あたけ、九木や</small> 三竹 直哉

講義のねらい 日本の政治について知り、みんなで意見交換します。
講義の内容・授業スケジュール 下記のようなトピックを考えていますが、参加者のみなさんの意見を聞いて決めます。

- ◎議会制民主主義
- ◎三権分立と二院制
- ◎天皇
- ◎選挙制度
- ◎政党と派閥
- ◎ナショナリズム
- ◎安全保障
- ◎日本のマイノリティ
- ◎日本の移民政策

履修上の留意点

日本の政治について考える授業ですから、日本の政治に関心がなかったり、政治について学ぶ気がない学生は履修すべきではありません。
授業参加を重視します。参加人数によって授業のやり方は変わります。人数が少なければ討論中心になりますので、発言することが重要になります。

成績評価の方法

平常点と期末テストによります。

教科書

指定する予定はありません。

その他

I speak English, but students are encouraged to communicate in Japanese.

最新の情報は YeStudy で確認してください。

履修コード	232301
科目名	日本事情VII〔文学〕
担当者名	坂口 博規

講義のねらい

本講義は、日本語を母国語としない外国人留学生等を中心に、日本の文学作品を歴史的な流れに立って紹介し、日本の美意識を含めて文化の諸相に対する理解を深めることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

日本の古典文学の作品が成立した時代や社会の背景を紹介しつつ、それぞれの時代の美意識の特徴を概説するとともに、作品内容の一部を読みながら、理解を深めることを目標とする。各時限の内容は以下の通り。

- 1、ガイダンス、日本文学のジャンル発生
- 2、古代前期の歌謡
- 3、日本神話・伝説・説話
- 4、古代前期の詩歌
- 5、古代後期の文学とその美意識（1）
- 6、古代後期の文学とその美意識（2）
- 7、中世の文学とその美意識（1）
- 8、中世の文学とその美意識（2）
- 9、中世の文学とその美意識（3）
- 10、近世の文学とその美意識（1）
- 11、近世の文学とその美意識（2）
- 12、近世の文学とその美意識（3）
- 13、日本文学の特質（1）
- 14、日本文学の特質（2）
- 15、日本文学の特質（3）

履修上の留意点

第1回にガイダンスを行い、半期の講義内容を総括するとともに、日本文学に対する受講生の興味・関心を喚起したい。半期の限られた時間の中で日本文学を要約する上で、中心となるのは時代背景の理解と美意識の把握であることを確認したい。なお古典文学の文章は現代語表現と違うので、出来るかぎり現代語に置き換えるか、現代語を添えて紹介する。

成績評価の方法

レポートにより、授業において特に興味・関心を持った内容について受講生自身の所感をまとめてもらう。レポート評価（90%）を中心に、受講姿勢（出席状況・関心の度合等々、10%）を加えて評価する。

教科書
参考書等

必要に応じて適宜プリントを配布する。
授業内で紹介する。

「日本語」
「日本事情」

履修コード	232401
科目名	日本事情VIII〔文化・芸術〕
担当者名	佐藤 美奈子

講義のねらい

「日本文化」とは何か。日本に生まれ育った人でも、この問いにきちんと答えられる人はあまりいません。それは「日本文化」と呼ばれるものが時代によって変化したり、作り変えられたりするものだからではないでしょうか。よって本授業では、「日本文化」が時代ごとにどのような特徴を持つのか、それがどのように人々の日常に影響を及ぼすのかについて、身近なもの（食文化など）を例にあげながら、学んでいきたいと思えます。特定の「日本文化」に注目し明らかにするというよりも、通史的に日本文化史を学ぶ形になります。そのため、日本の中学生レベルの日本史について学ぶことも、授業の目的の一つとなります。

講義の内容・授業スケジュール

オリエンテーション(1)、古代日本の文化(2～4)、中世日本の文化(5～8)、近代日本の文化(9～14)、まとめ(15)。

履修上の留意点

毎回行う小テストの合計で成績を決定します。そのため欠席が多い場合は、単位が取得できません。また、毎回のテストの点数が低い場合も不可となります。授業への積極的参加、及び毎回の授業の復習は必須と考えてください。それから可能であれば、授業内で一度学外研修を実施したいと考えています。

成績評価の方法

出席点と授業内で実施する小テストの点数で成績を決定します。なお、小テストは毎回授業開始時に、前回の授業内容に基づいて行います。欠席の場合、点数は与えられません。

教科書
参考書等
その他

特に指定しません。
授業時に適宜、紹介します。
講義形式。授業や小テストは日本語で行いますが、授業後の個別質問には英語でも対応します。

履修コード	232501
科目名	日本事情IX〔経済〕
担当者名	福原 好喜

講義のねらい 特別のことがない限り、これ以降日本経済、世界経済は大不況（デフレーション）へと突入して行くが、やさしい日本語で「福原経済学」を講義する。

講義の内容・授業スケジュール 拙著『総理、お間違えではありませんか？—銀八教授内閣への直言—』、『熱血教授心の教育—駒大経済銀八ゼミナール—』等を使い、デフレーションからどのように脱出するのか？福原のユニークな考えを述べる。ノーベル賞を受賞した Mr. Paul Krugman 等他のエコノミストの主張にも言及する。（Krugman の経済学はこれから起こる大不況に対しては useless）

履修上の留意点 テキストを前もって読んでおくこと。分からない単語は辞書を引いておく。

成績評価の方法 出席とペーパーテストで成績評価。

教科書その他 前述の拙著の他、その時々新聞及び雑誌等の経済記事を教材として利用する。受講者が少ない場合、ロールプレイング等学生参加型の授業にしたい。複数回レポートを課す。

履修コード	232601
科目名	日本事情X〔経営〕
担当者名	中野 香織

講義のねらい 本講義は留学生の方々を対象としている。主な目的は、日本の企業について学ぶことである。特に広告会社を事例にして、企業をとりまく環境、部署の構造、業務内容などについて説明する。さらに、本講義では受講生が授業で議論できる能力をつけることも目指したい。教員と受講生間のコミュニケーション、および受講生同士のコミュニケーションを密にすることによって、授業で積極的に発言しやすい場を作り、日本で議論することに慣れてもらいたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール 講義の前半では、広告会社を事例とした企業活動の説明をする。講義の中盤では、受講生の関心が高いテーマを選び、その解説をする。同時に、それらのテーマについて各自で調べてもらい、発表をしてもらう。講義の後半では、テーマについてグループで議論し、資料にまとめ、発表をしてもらう。

(1) イントロダクション：本講義の概要説明、(2) 教員・受講者の自己紹介を兼ねた発表、(3～6) 広告会社を事例とした企業活動の説明：市場をとりまく環境、市場構造、各部署の役割、個人の業務内容など、(7～12) 受講者の関心が高いテーマについての解説、および受講生による発表、(13～14) グループ作業および発表、(15) 試験

履修上の留意点 留学生の皆さんに、日本の企業に興味を持ってもらいたいと思っているので、質問は積極的にしてほしい。

成績評価の方法 出席点・授業への取組み方70%、試験30%で評価する。

教科書 特になし。

「日本事情」

V 随 意 科 目

随意科目

履修コード	—
科目名	英語（海外演習）
担当者名	—

講義の内容・授業スケジュール この科目は、本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期語学セミナーでの3～4週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われる英語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。ただし、春期クインズランド大学（オーストラリア）のセミナーに関しては、4年次生は参加できません。

成績評価の方法 現地演習後に各大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他 受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

履修コード	—
科目名	フランス語（海外演習）
担当者名	—

講義の内容・授業スケジュール この科目は、本学の海外協定校であるプロヴァンス大学（フランス）における短期語学セミナーでの3週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われるフランス語随意科目である。受講対象学生は1年次生から3年次生までとする。

成績評価の方法 現地演習後にプロヴァンス大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他 受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

履修コード	—
科目名	中国語（海外演習）
担当者名	—

講義の内容・授業スケジュール この科目は、本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期語学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われる中国語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。

成績評価の方法 現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他 受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

経済学科フレックスB

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗 教 教 育 科 目

履修コード	341601
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	駒ヶ嶺 法子 <small>こまがね のりこ</small>

講義のねらい

駒澤大学の設立の目的は「仏教教義並びに曹洞宗立宗の精神に則り学校教育を行うこと」です。本校ではこの目的に基づき「仏教と人間」という科目を全学部学科に開講しています。本講義もこの目的に則して行います。その為本講義では仏教と曹洞宗の基礎知識を身につけて貰うために、仏教の教主釈尊と曹洞宗の両祖道元禪師・瑩山禪師の伝記とその教えを中心に取り上げます。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、主に①釈尊の伝記と悟りの内容、②仏教の日本への伝播、③日本に仏教を伝えた人物の一人である道元禪師、そしてその教えを広く伝えることに努めた瑩山禪師の伝記を概観します。
 (1) 授業の説明(2～5) 釈尊の伝記(6～9) 釈尊の教え(10～13) 釈尊入滅後の仏教(14～17) 中国の仏教(18～22) 日本の仏教(23～26) 道元禪師の伝記(27～30) 瑩山禪師の伝記
 ※スケジュールはあくまで目安としてください。

履修上の留意点

配布プリントを保存してください。

成績評価の方法

出席状況と学年末の定期試験で評価します。

教科書

プリントを配布します

参考書等

中村元他編『岩波仏教辞典』岩波書店 7350円 4-00-080205-4
 石川力山編著『禅宗小事典』法蔵館 2520円 4-8318-7064-1

履修コード	341801
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	松本 史朗 <small>まつもと しろう</small>

講義のねらい

本学の建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生諸君に理解してもらうことが、この講義のねらいである。従って、仏教とは何か、それは人生において如何なる意味をもつのかを、分かりやすく説明したい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、内容は、次の通り。(1～2) 仏教以前のインド思想、(3～10) 釈尊と原始仏教、(11～20) 大乘経典の思想、(21～28) チベット・中国・日本の仏教

成績評価の方法

年度末の試験によって、成績を評価する。

教科書

松本史朗『仏教への道』(東京書籍) 1,400円

履修コード	341901
科目名	仏教と人間〔再クラス〕
担当者名	四津谷 孝道

講義のねらい 受講生諸君は、今後少なくとも4年間の大学生活において、様々な機会に仏教というものに接することとなるであろう。そのような機会のひとつであるこの授業において、「仏教と自分との接点を探る」という営みの端緒を見い出してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 仏教が誕生するまで（古代インドの社会と宗教）
- 第3回 宗教とは、仏教とは
- 第4回 インドの宗教思想の基本概念 — 輪廻と解脱
- 第5回 仏陀の生涯（1）：概観（人間仏陀と神格化された仏陀）
- 第6回 仏陀の生涯（2）：誕生 / 出家 — 四住期との関係で
- 第7回 仏陀の生涯（3）：成道 — 仏陀の悟りの内容
- 第8回 仏陀の生涯（4）：仏陀の最後の食事
- 第9回 仏陀の生涯（5）：仏陀の死（涅槃） — 仏陀の葬儀を中心に
- 第10回 仏教史の概観 — インド仏教から日本仏教まで
- 第11回 経典について — 原始経典と大乘経典とは何か
- 第12回 原始仏教の経典：スッタニパータ、ダンマパダ等
- 第13回 大乘仏教の経典：維摩経
- 第14回 大乘仏教の経典：法華経
- 第15回 大乘仏教の経典：如来蔵経
- 第16回 大乘仏教の経典：涅槃経
- 第17回 日本仏教について — 葬式仏教とは
- 第18回 仏教と神道（1）— 仏教の伝来
- 第19回 仏教と神道（2）— 神仏習合
- 第20回 奈良仏教（1）— 国家仏教の成立
- 第21回 奈良仏教（2）— 表の仏教（官僧）と裏の仏教（聖）
- 第22回 平安仏教（1）— 密教と浄土仏教
- 第23回 平安仏教（2）— 最澄
- 第24回 平安仏教（3）— 空海
- 第25回 鎌倉仏教（1）— 親鸞
- 第26回 鎌倉仏教（2）— 道元
- 第27回 鎌倉仏教（3）— 日蓮
- 第28回 明治期以降の仏教

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

特になし。
出席点、小テスト、そして年度末の試験に基づいて評価する。とりわけ出席点を重視する。
授業において指示する。
授業において適宜に言及する。
特になし。

2. 教 養 教 育 科 目

履修コード	342401
科目名	宗教学〔比較宗教文化〕
担当者名	田中 <small>たなか</small> かのこ

講義のねらい

人間には実に様々な生き方・見方・考え方・信じ方があり、「いのち」あるうちに為しうることに、限らない可能性があるということを、諸宗教の比較は教えてくれる。わたくしたち自身も、そのなかの、かけがえのない一通りの人生を歩んでいる。「～教」や「～教徒」などというと、他の人々と区別しうる特徴をもっているかのように錯覚してしまうが、言うまでもなく、信仰者としての彼らが目指すのは、より善い「人間」としてこの一生を全うすることにほかならない。各宗教が人間にどのような有り方を望んでいるのかを、その伝統的な生活文化をとおして俯瞰し、いま、この世界のどこかで生きている、いまだ出会うことのない人々への共感を呼び覚ましてみたい。それが、誤解や偏見のない「人間」理解に繋がれば幸いである。

講義の内容・授業スケジュール

講義担当者の生活体験をともなう地域（インド・ヨーロッパ）を中心に、机上では知りえない、かならずしも教義一辺倒ではない信仰生活の多様性について解説する。前期（1～15）は諸宗教に共通する人間文化の特徴、後期（16～30）は各宗教の個性と他宗教との関係を念頭に置きながら、その時々の世界情勢を踏まえたトピックを臨機応変に選んでいく。

履修上の留意点

板書は、即興の覚え書きや、テーマの骨子を素描したものにすぎない。むしろ、講義の言葉や自分の考えに耳を傾けて、積極的にノートしよう。仏教と他宗教との関連性に注目。

成績評価の方法
教科書
参考書等

出席状況、創意工夫や日本語の表現力を評価する課題レポート、学年末試験（追試なし）。
拙著『比較宗教学—「いのち」の探究—』（北樹出版）2008年、改版（第4刷発行）
「いのち」の尊さや、異文化間の交流を扱ったもの（書物、映画など）なら何でも。

履修コード	342501
科目名	文学〔日本文学「古典」〕
担当者名	池田 <small>いけだ</small> たいすけ

講義のねらい

土佐日記、蜻蛉日記といった平安時代に輩出した日記文学作品を扱います。それらの作品を通して（原文に触れ）作者たちの心情を感じ取ることを目的とすると同時に、作品の時代背景などを確認しながらそれぞれの日記の世界観、作者たちの置かれていた立場などについても学んでもらいたい。また、作品に見られる風土や儀礼・年中行事などの知識を身に付けることを中心に進めます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) ガイダンス
- 2) 平安時代の日記
- 3) 蜻蛉日記
- 4) 和泉式部日記
- 5) 紫式部日記
- 6) 更級日記
- 7) 成尋阿闍梨母集
- 8) 讃岐典侍日記

履修上の留意点

現代語訳のものでよいので、事前に作品を読んでおくとうまい。学期末には試験（披見可）を行うので、ノートはきちんと取り、配布プリントも整理しておいて下さい。出席重視。

成績評価の方法
教科書
参考書等

出席状況（60％）と試験（40％）などにより評価します。
毎時間、プリントを配布します。
宮崎荘平『王朝女流日記文学案内』（朝文社）
石原昭平、津本信博、西沢正史編『女流日記文学講座』第1巻～第4巻（勉誠社）

履修コード	342601
科目名	文学〔日本文学「近代」〕
担当者名	中西 亮太

講義のねらい

この講義では、明治・大正・昭和の著名歌人の短歌作品を読み、論じていきます。日ごろ短歌を読み慣れていない人にとって、短歌の内容を読み解くのは、なかなか難しいことです。しかも、短歌は内容を読み解くだけでなく、言葉の音楽性まで味わうべきものです。そこで先ず、受講生が短歌の読み解き方の基本を身に付けられるよう、訓練します。次いで、短歌の響きとリズムの味わい方について話を進めます。そして、その上で、受講生が近代歌人の表現世界に対する関心と理解を深めることを目指します。講義で取り上げる作品を一首紹介しておきます。「白い手紙がとどいて明日は春となるうすいがらすも磨いて待たう」（斎藤史『魚歌』）

講義の内容・授業スケジュール

原則として、毎回一人の歌人の作品を読んでいきます。取り上げる歌人は、与謝野晶子、石川啄木、北原白秋、斎藤茂吉、前川佐美雄、斎藤史、塚本邦雄、中城ふみ子などです。前期が明治期と大正前半の歌人たち、後期が大正後半と昭和期の歌人たちです。なお、講義をより効果的なものにするために、前後期に一度ずつ、実習として短歌を作り歌会をします。また、現代の歌人を教室に招いて話を聴くことも予定しています。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

積極的な姿勢での受講を望みます。授業時間中や時間後の質問を歓迎します。

学年末に試験を実施します。また、授業中に課題を出すことがあります。

なし。授業中、必要に応じて参考プリントを配付します。

高野公彦編『現代の短歌』講談社学術文庫、1,450円、ISBN4-06-158974-1。この本は、明治から昭和までの代表的な歌人の作品を収録しています。

履修コード	342701
科目名	文学〔日本文学「古典」〕
担当者名	伊藤 達氏

講義のねらい

本講義では芭蕉の『おくのほそ道』以前の紀行文である、『野ざらし紀行』『鹿島詣』『笈の小文』『更科紀行』を読むことにより、芭蕉の表現の様相・芭蕉にとって旅とはどのような意義を持っていたのかという問題を探っていく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 本講義のガイダンス
- 2) 俳諧連歌について
- 3) 談林時代の芭蕉
- 4) 深川隠棲時代の芭蕉
- 5) 最初の旅へ（『野ざらし紀行』出立前の芭蕉の動向）
- 6) 『野ざらし紀行』（以下、順次上記の紀行文を読み進める。なお同時代の俳人・芭蕉の門人・蕉風俳論・当時の社会状況なども適宜参照する。）

履修上の留意点

指定したテキストを購入し、授業の前には該当箇所を読んでおくこと。欠席が三分の一に達した者は単位を認定しない。疑問点があれば積極的に授業中、時間後に質問して下さい。

成績評価の方法

年度末のレポートを主とする。前期・後期の最終日に小テストを行う。出席状況・聴講態度も加味する。

教科書
参考書等

中村俊定校注『芭蕉紀行文集 付嵯峨日記』（岩波文庫）、500円（ISBN-00-302061-8）

授業中に適宜紹介する。プリントで配布する場合もある。

履修コード	342801
科目名	歴史学〔日本近代史〕
担当者名	林 彰 <small>はやし あきら</small>

講義のねらい 幕末のペリー来航後の通商条約により、世界資本主義体制の一環に組み込まれていく我が国は、明治維新期を経て確立する明治憲法体制・教育勅語体制により、ほぼ近代国民国家の成り立ちが整備される。この体制は、アジア太平洋戦争の敗戦により幕を閉じることになるが、講義では近代を通じて支配する体制側の動向と民衆側の歩みを中心にとどめてみていきたい。そのさい、体制側の思想動向や体制側に抵抗しないしは同調しようとする民衆側の思想動向の把握、国内における衛生や病氣などにより「隔離」される民衆の問題、アジア民衆への蔑視・差別の問題にも言及していくつもりである。

講義の内容・授業スケジュール 最初に、現在の日本に残存する過去の歴史の問題を取り上げ、その要因が日本の近代にあることを検討する。次に、近代史の概説を体制側と民衆の動向をふまえて、敗戦までたどる。次に時間に余裕があれば、個人の人物を取り上げて、近代史のなかで果たした役割をみていきたい。

成績評価の方法 前期はレポート提出。後期は定期試験。レポートを提出しない学生には単位はなし。定期試験は、追試験も実施する。

教科書 大日方純夫『はじめて学ぶ日本近代史（上）』、大月書店、2002年。1800円＋税
ISBN4-272-52068-7C0021

参考書等 講義中に適宜紹介する。

履修コード	342901
科目名	歴史学〔中国史概観〕
担当者名	小林 惣八 <small>こばやし そうはち</small>

講義のねらい 中国史の歩みを大別すると、黄河文明、殷周時代、秦漢時代、魏晉南北朝時代、隋唐時代、五代・宋時代、元・明・清時代、新生中国とに分けられる。本講義ではその歩みを多角的にとらえ通観するものである。

成績評価の方法 前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。

詳細は追って指示する。

教科書 特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。

その他 出席を重視する。

履修コード	343001
科目名	歴史学〔アジア史概観〕
担当者名	山口 洋 <small>やまぐち ひろし</small>

講義のねらい アジア史の事例を通して、歴史学的なものの見方を知る。また日本とアジアとの関係を歴史上に考えることができるようになる。

講義の内容・授業スケジュール アジア史の中でも、古くから記録の残された中国史を基軸に、アジアと日本の歴史を考える。具体的には以下のスケジュールで講述する。

- 第1回：ガイダンス
- 【歴史学の基礎】第2回：アジアの風土、第3回：紀年法、第4回-第5回：歴史記録とは何か、第6回-第7回：紙と印刷の歴史
- 【中国史の基礎】第8回：伝説の古代、第9回-第11回：皇帝の登場、第12回-第13回：官僚制と科挙
- 【交通の歴史】第14回：中国人の世界観、第15回-第17回：中国と西域、第18回-第19回：駅伝制、第20回-第22回：遣隋使遣唐使、第23回-第24回：鄭和の遠征

履修上の留意点 出席不良者の単位修得は認めない

成績評価の方法 数回のレポートと平常点（出席など）、筆記試験の結果を総合して判定する

教科書 史料をプリントで配布する

参考書等 寺田隆信著『中国の歴史』（中公新書）

他は、授業内で適宜紹介する

履修コード	343101
科目名	哲学〔西洋思想の源流〕
担当者名	滝沢 正之

講義のねらい 西洋哲学史を古代から中世にかけてを中心を紹介する。時間があれば、続けて近世から現代へと時代順に進んでいくことになる。

ただし、書店で手に入る哲学史の入門書のように、哲学者たちの思想をダイジェスト版で紹介することはしない。哲学者本人が書いたテキストそのもの（翻訳ではあるが）を実際に読んでいくことにしたい。もちろんすべてを精読するわけにはいかないので、諸著作の一部を抜き出して検討することになる。

本物の哲学者の本物の哲学書から、哲学的な思考とはどのようなものかを実感することを目標とする。それと同時に、はるか昔の頭のよい人たちがどんな変なことを考えていたのかを楽しんでいきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

下に指定した教科書『原典による哲学の歴史』の原典の引用部分を丁寧に読み、解説していく。適宜プリントで補足を行う。

最初から順に読んでいく予定なので、授業スケジュールは教科書の目次を参照されたい。おおまかな目安としては、前期にタレスからプラトンまで、後期にアリストテレスからベーコンまでを検討することになると思われる。

履修上の留意点
成績評価の方法

教科書を必ず入手しておくこと。

中間試験および期末試験により評価する。中間試験はレポートにする予定。期末試験は筆記。受講者の人数が少ない場合は出席をとり、それも評価に加味したい。

教科書

久保陽一、河谷淳編著『原典による哲学の歴史』、公論社、2002年、3,200円。また、授業中に適宜プリントを配布する予定。

参考書等

講義中に適宜指示する。

履修コード	343201
科目名	哲学〔近代の人間観と世界観〕
担当者名	佐藤 暁

講義のねらい 科学が世界の基礎的な真相を記述している、という現代においても支配的な信念が初めて一般に共有されるようになった近代という時代の哲学は、それゆえ、現代の我々が普段何をしていることになるのか、あるいはどのような世界に住んでいるのか、といった哲学的な問いを考えるうえで必要となる道具立てのうち、最も基本的なものを作り上げた哲学と言えます。この授業では、近代の哲学者たちの議論に具体的に触れることによって、我々自身が哲学的に考えるうえで必要な思考方法にどのようなものがあるかを実際に知り、できればそれらにある程度使いこなせるようになることを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の哲学者を中心に、各項目ごとの解説を行います。（1）概論：人間と人間観、世界と世界観（2）～（13）イギリス経験論（ロック・パークリ・ヒューム）（14）～（22）大陸合理論（デカルト、スピノザ、ライプニッツ）（23）～（30）カントとドイツ観念論（カント・ヘーゲル）

成績評価の方法

学期末にレポートを提出してもらいます。

教科書

久保陽一・河谷淳編著『原典による哲学の歴史』公論社 3200円 ISBN978-4-7714-2002-1

履修コード	343301
科目名	哲学〔現代文明と人間〕
担当者名	鈴木 聡

講義のねらい 本講義のねらいは、現代哲学の重要問題を扱った素材を叩き台として、1つの問題について徹底的に考え抜くという態度を受講者に身につけさせることである。

講義の内容・
授業スケジュール

（1）プロローグ・（2）問いの構造・（3・4）懐疑論・（5・6）意識・（7）誤謬推理・（8・9）他人の心・（10）ロボットと人間・（11）意味・（12）生命倫理・（13）性・（14・15）道徳と宗教・（16・17）道徳に関する2つの見方・（18）芸術の定義・（19）知識・（20）帰納法・（21・22）時間・（23・24）自由意志と決定論・（25・26）功利主義・（27・28）人格の同一性・（29・30）パラドクス

履修上の留意点
成績評価の方法

欠席・遅刻は一切認めない。必ず予習をして講義に出席すること。

教科書

成績は、出席状況・講義中の発表によって評価する。

開講時に指定する。

履修コード	343401
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	伊古田 理

講義のねらい	現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。 具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。
講義の内容・授業スケジュール	(1)論理とはなにか (2)～(6)三段論法 (7)～(12)命題論理(1)－命題論理の意味論 (13)夏期中間試験 (14)～(19)命題論理の「証明」 (20)～(25)述語論理(1)－述語論理の記号表記 (26)～(30)述語論理(2)－述語論理の「推論」
成績評価の方法	年2回の試験（夏期中間試験＋年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題(年間通して計3回)を出す。これらによって総合的に評価する。
教科書	野矢茂樹著『論理学』（東京大学出版会）

履修コード	343501
科目名	論理学〔科学方法論と現代論理学〕
担当者名	麻生 享志

講義のねらい	西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものと考え、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで（1）論理とは何かを考え、（2）変化する論理学の各内容についての知識を持ち、（3）日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	論理の本性、真理論、論理パズルとパラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などを主な話題とします。 (1-7) 概説・文献・古代・ゼノン・歴史・推理小説・日常性 (8-13) 逆接・クイズ・数理・パズル・記号・真理函数 (14-22) 原理・充足理由・矛盾・排中・演繹・背理・推理・偽・逆 (23-30) 後件肯定・科学・帰納・実験・方法・諸学・真理・まとめ
履修上の留意点	大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなし、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。
成績評価の方法	平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料（60％）にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。
教科書 参考書等 その他	特になし。講義に直接必要なものは、原則としてコピーを配布します。 多数。講義内にて詳細に説明します。 講義と問題演習（ないし論述筆記）。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。 初日はガイダンスとし、定時に開始し、5分間程度、資料を配布して質問を受け付けます。（その後は、雑談的内容にあてる予定で、退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。このガイダンス資料配布および質問受付は、支障の生じない限り、初回授業終了時5分程度にも行う予定です。

履修コード	343601
科目名	倫理学〔現代と倫理〕
担当者名	<small>ふるた とあき</small> 古田 知章

講義のねらい

今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、様々な技術や科学が発達した現代において、それらに向きあう我々自身の方向性が分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、我々は、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知られなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きる我々の向かうべき方向も見えてくる。この見通しの上で、現代における倫理的なあり方を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる。

〔前期〕 倫理的原理についての検討

- (1) ガイダンス
- (2～5) 倫理学における問題の所在 —倫理的であること—
- (6～9) 古代ギリシアにおける様々な倫理思想
- (10～12) 中世における宗教的倫理観
- (13～15) ルネサンスと宗教改革 —個としての人間—

〔後期〕 前期からの続きと応用倫理学の諸問題への基礎的な検討

- (1) 前期のまとめ
- (2～5) 近世の転換期における倫理思想 —主体性と自由の問題—
- (6～8) 現代に生きる我々と倫理 —他者との共存—
- (9～11) 生命の尊厳と人生の質
- (12～13) 人間と環境との関係
- (14～15) 情報と倫理

成績評価の方法
教科書
参考書等

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。
『原典による哲学の歴史』（公論社）
講義の際にその都度紹介する。

履修コード	343701
科目名	倫理学〔人生と倫理〕
担当者名	<small>すえき やすひこ</small> 末木 恭彦

講義のねらい

倫理学は、人の行為の規範を考える学問である。人が生きる上に指針を提供する。本科目を通じて、倫理学の基礎的理解を獲得し、自分の生き方を考える手がかりとすることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、近代日本の哲学者・倫理学者である和辻哲郎を取り上げ、その倫理学を紹介する。彼が『倫理学の意義と方法』を述べたとする『人間の学としての倫理学』をテキストとして、和辻の描く倫理学の見取図を描き出す。(1) ガイダンス (2) 和辻哲郎について (3～8) 第一章一節～四節について (9) 第一章五節 (10～17) 第一章六節～十一節について (18～28) 第二章について (29～30) まとめと質疑応答

履修上の留意点

ノートをしっかり取る。

成績評価の方法

各学期末の試験と夏期休暇のレポートによって成績をつける。追試あり。

教科書

和辻哲郎『人間の学としての倫理学』（岩波文庫）（岩波全書版でも可）

参考書等

和辻哲郎『倫理学』（一）～（四）（岩波文庫）
湯浅泰雄『和辻哲郎——近代日本哲学の運命』（ちくま学芸文庫）
坂部恵『和辻哲郎——異文化共生の形』（岩波現代文庫）
苅部直『光の領国 和辻哲郎』（創文社）

履修コード	344201
科目名	社会学〔現代社会を考える〕
担当者名	南後 由和 <small>なんご よしかず</small>

講義のねらい	本講義では、普段何気なく目にしている光景や当たり前とされている事柄を批判的に疑い、多角的に検討する姿勢を身につけることを狙いとしています。そのことにより、現代社会の背後で起きている事象を広く見通す〈まなざし〉を養い、〈社会学する〉実践感覚をつかむことを目指します。
講義の内容・授業スケジュール	(1) イントロダクション、新しい社会学のために(2~4) 親密性と公共性、相互行為と自己(5~7) 社会秩序と権力、組織とネットワーク(8~11) メディアとコミュニケーション(12~16) 歴史と記憶、空間と場所(17~19) 環境と技術、医療・福祉と自己決定、国家とグローバリゼーション(20~21) 家族とライフコース、ジェンダーとセクシュアリティ(22~23) エスニシティと境界、格差と階層化(24~27) 文化と再生産、社会運動と社会構想(28) 総括 授業の順序および配分は、多少変更の可能性があります。
履修上の留意点	教科書をベースに、具体的なトピックや映像作品を紹介しながら講義を進めます。 講義中に挙手・発言をするなど、受講者の積極的な〈参加〉を求めます。
成績評価の方法	平常点、授業中の課題、前・後期のレポートにより総合的に評価します。
教科書 参考書等	長谷川公一・浜日出夫・藤村正之・町村敬志『社会学』2007年刊(有斐閣) 3,500円 授業中に随時紹介します。

履修コード	344301
科目名	社会学〔現代文化を考える〕
担当者名	橋爪 敏 <small>はしづめ さとし</small>

講義のねらい	この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」の見方を通してみた「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。 前期1)~8) 社会学とは何か、社会学の対象と方法、社会科学としての社会学9)~15) 歴史から見る社会学、総合社会学、百科全書的 sociology、マルクス主義の影響。 後期16)~20) フランスにおける現代社会学への歩み21)~25) ドイツにおける現代社会学への歩み26)~30) 現代社会学の展開を概観する事により、社会現象に対する科学的取り組みを理解し身に付ける事にしたい。
成績評価の方法	成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。
教科書 参考書等	安藤喜久雄ほか編『社会学概論』(学文社) 高尾・橋爪編『社会学の基礎』(犀書房) R. ニスベット『現代社会学入門1~4』(講談社学術文庫) その他授業中に適宜指示したい。

履修コード	344401
科目名	文化人類学〔文化と人間〕
担当者名	川上 新二 <small>かわかみ しんじ</small>

講義のねらい	文化人類学は世界のさまざまな民族や社会の理解を通じて、究極的には人間とは何かを考えようとする学問です。この授業では、さまざまな民族や社会、さらには人間を理解するために文化人類学が提出してきた見方、考え方を学びながら、今後も地球規模でさまざまな社会の人々と交流しながら生活していくことになるであろう私たちにとって有効と考えられる視座を養うことを目的とします。
講義の内容・授業スケジュール	(前期)(1~2) 文化人類学とは、(3~4) 異文化と自文化、(5~6) 人間と文化、(7~8) 文化についての進化論と伝播論、(9~10) 文化についての機能主義と構造主義、(11~12) 文化と言語、(13~14) 経済生活、など。 (後期)(1~2) 婚姻、(3~4) 家族、(5~6) 祖先とのつながり、(7~8) 呪術、(9~10) 妖術と邪術、(11~12) 憑依、(13~14) 文化的性差と文化の型、など。
成績評価の方法	学期末試験、年3回(前期1回、夏休み、後期1回)のレポート、出席状況で評価します。
教科書	祖父江孝男『文化人類学入門』増補改訂版、中央公論社(中公新書)

履修コード	344501
科目名	文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕
担当者名	杉井 純一

講義のねらい

さまざまな民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、それぞれの文化的相違についての認識を深める学問です。具体的に言えば、人々の生活様式や儀礼、習慣などを通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「異文化を理解することの面白さ、そして、むずかしさを味わいながら、「異質なものととの共存」「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

I 文化人類学の基礎

1. 文化人類学とは何か、2. 文化人類学の歩み(1)、3. 文化人類学の歩み(2)、4. 文化とコミュニケーション、5. 環境と人間(1) 狩猟採集民、6. 環境と人間(2) 牧畜民、7. 環境と人間(3) 農耕民、8. ジェンダー、9. セクシュアリティ、10. 婚姻の形態、11. 家族の多様性、12. 親族と社会

II 民族とコスモロジー

1. 呪術と宗教、2. アニミズム、3. シャーマニズム、4. シンクレティズム、5. 儀礼の構造、6. コスモロジー、7. 神話、8. 政治組織、9. 民族とエスニシティ、10. 民族紛争と戦争、11. 開発と文化、12. 移動の民族誌

履修上の留意点

成績評価の方法

教科書

参考書等

その他

ビデオを見た感想を問うことがあります。

夏期レポート(20%)、期末試験(60%)、平常点(20%)で評価します。

特に指定しません。適宜、プリントを配布します。

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書) 800円

山下晋司ほか『文化人類学キーワード』(有斐閣) 1,700円

佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』(新曜社) 2,200円

できるだけ、ビデオを利用します(年に4～5回程度)。

履修コード	344601
科目名	法学・憲法〔法と権利〕
担当者名	鶏徳 啓堂

講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール(規範)が必要である。「社会あるところ法あり。」(法諺)といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 法の概論は次の内容を中心として行う。

(1) 法の意義 (2) 法発生の背景 (3) 法とその近辺の社会規範 (4) 法の種別と解釈 (5) 法の適用

2. 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。

(1) 民法上の権利-権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容(財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利)、権利の発生・消滅。

(2) 憲法上の権利-自由権(経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権)、平等権、社会権(生存権、教育権、勤労権、労働者の権利)、参政権(選挙権、被選挙権)、受益権(請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権)。

(3) 国家・地方公共団体の権利-国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

成績評価の方法

教科書

参考書等

出席状況と試験。

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』(八千代出版) 3,500円

『小六法』または『ポケット型小六法』(出版社・定価各種類)、その他参考書等については教場にて説明。

履修コード	344701
科目名	法学・憲法〔法と社会生活〕
担当者名	長谷川 日出世

講義のねらい	日常生活において生ずる様々な法律問題を解決するための法の基礎知識の習得と、我々の社会生活の基本となる日本国憲法の理解を目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	①講義に関する全段的説明、②社会秩序と法、③～⑥法概念の本質、⑦～⑩法の成り立ちとその分類、⑪～⑬法の解釈、⑭～⑯日本の裁判制度、⑰憲法とは何か、⑱近代憲法の構成原理、⑳日本の憲法史、㉑～㉒日本国憲法の基本原理、㉓～㉔基本的人権の保障、㉕国会、㉖内閣、㉗司法権、㉘一年間のまとめ
履修上の留意点	日頃から、新聞、テレビニュースで報道される法律問題に関心を持つこと。講義の前に教科書を必ず読んでおくこと。
成績評価の方法	学期末の試験の成績と講義への出席の度合で評価します。
教科書	長谷川日出世、『法の基礎概念と憲法』、成文堂、2500+税、ISBN 4-7923-0399-0

履修コード	344801
科目名	政治学〔政治システムと政治参加〕
担当者名	真下 英二

講義のねらい	そもそも政治とは何か、何のために存在しているのか？政治学の基本的な知識を身につけることにより、社会における政治の役割とわれわれの生活との関わり合いについて考察していく。とりわけ、現代民主主義における参加の問題についても検討を加えていく。
講義の内容・授業スケジュール	春学期：政治学の基本的な概念を中心に検討していく。特に、民主主義に関する問題は、時間をかけて行っていく。 秋学期：より現代的な問題を取り上げながら、現代社会の民主主義の問題について検討を行う。特に、政治システムと政治参加について、より詳細に検討していく予定である。
履修上の留意点	この講義においては、他の履修者の迷惑となるような行為は一切禁止する。当然のことながら、私語は厳禁である。 また、政治学や社会科学全般に関する知識は、必ずしも必要としないが、最低限、社会的な諸問題についての知識を持っていることが期待される。
成績評価の方法	成績評価は、原則的に期末試験の得点のみによって行う。ただし、必要な場合にはレポートを課すこともある。詳細については、講義中に指示する。
教科書等	特に指定しない。 加藤秀治郎他『政治学の基礎』（一藝社）2002年 加藤秀治郎・中村昭雄『新版スタンダード政治学』（芦書房）1999年 他は追って指示する。

履修コード	344901
科目名	政治学〔国際社会と日本〕
担当者名	山村 恒雄 <small>やまむら つねお</small>

講義のねらい

「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、近代国際社会成立以降第二次世界大戦終了後に至るまでの国際政治の主な出来事を解説し、それを基にして現在生じている時事問題を考える素材を提供しようとするものである。したがって、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治問題に対して自分の意見を形成できるよう、「分析の道具」を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

時事問題を素材として用いるため、具体的な問題を予め示すことはできないが、分析のための基本的な知識として、以下の項目を取り上げる。

- 1 ウェストファリア体制の形成
- 2 近代の国際政治
- 3 地球的問題群
- 4 第二次世界大戦後の国際政治の変容
- 5 冷戦と核兵器
- 6 食糧問題
- 7 環境破壊と持続可能な開発
- 8 日本が直面する諸問題

履修上の留意点
成績評価の方法

受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。
夏休み明けのレポートと学期末試験による。なお、夏休み明けのレポートを提出しない者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。

教科書
参考書等

特定の教科書は使用しない。
授業中、随時指定。

履修コード	345001
科目名	経済学〔現代経済と人間〕
担当者名	沼田 郷 <small>ぬまた さとし</small>

講義のねらい

現代経済に人間がどのように関わっているのか、またどのような状況におかれているのかをわかりやすく講義したいと考えています。現代経済を読み解くキーワードを理解することが目標となります。

講義の内容・授業スケジュール

・経済学の歴史（古典派～新古典派）・地球環境問題・大量消費社会の実態とその起源・世界の経済格差・世界の貿易と投資・東アジア地域の成長と課題・経済成長と諸資源・開発論の検討・多国籍企業とその理論・雇用問題

履修上の留意点

さしあたり、以上のような項目を準備しています。これ以外にも受講者の意見を取り入れながら随時項目を追加する予定です。また、ビデオなど映像資料を用いることも検討しています。

成績評価の方法

現代経済は非常にめまぐるしく変化しています。特に「グローバルイゼーション」は、程度の差こそあれ我々人間に大きな影響を与えています。こうした今日的な問題を扱うため、受講生には日々のニュースに関心をもってもらうことが、本講義履修の留意点になります。

教科書

学期末試験は受講生の強い要望がない限り行いません。したがって、レポートの作成を求めます。また、出席カードの提出にかえて、講義終了時に書いていただく講義内容についての小レポートも成績に反映させます。

その他

本講義の性質上教科書は指定しません。しかしながら、参考文献、資料等に関しては講義の中で随時お知らせいたします。

授業方法は講義形式で行います。板書形式での授業を基本としますが、必要に応じてパワーポイントなどを使用します。

履修コード	345101
科目名	社会科学論〔社会認識の思想〕
担当者名	えだまつ まさゆき 枝松 正行

講義のねらい

社会科学論とは社会科学の方法についての学である。講義では、社会科学史を学び、社会科学の方法を代表する二つの立場を統一的に理解して、1929年以後の世界金融危機にあぐら現代社会の構造と変動の全体的把握の方法を探究する。同時に社会科学としての未来社会論についても考える。

講義の内容・授業スケジュール

社会科学論は個々の個別社会科学の成果と方法を分析・統合し、一つの総体としての生きた現実社会の運動・発展法則を解明する。この法則は、取り除くことも法令で禁止することもできないが、それを認識することによって、未来社会への分岐の苦痛を緩和することはできるからである。

前期講義と後期の前半までは、社会発展の総体的把握に不可欠な社会科学史上の方法論を概説する。後期の後半からは、資本主義の発展諸段階のなかでこれを検証し、現代グローバル金融資本の「新世界秩序」と日本の「構造改革」や「世界金融危機」の現実を必然性の科学と合理性の科学という複眼思考で総括する。併せて、21世紀の国際社会と日本が直面する人類史的課題としての科学的な未来社会論の展望も試みる。

(1) ガイダンス (2) 社会科学論とはどういう学問か (3) 形而上学と論理学 (4~5) 形式論理学の三大原則と矛盾 (6) アフォリズムと弁証法 (7~9) 弁証法論理学の基本法則 (10) 経済的社会構成体の歴史理論と経済学批判 (11~13) 生産力・生産関係の弁証法と唯物史観 (14) 必然性の社会科学と土台・上部構造の社会理論 (15) 中間試験 (16) 宗教社会学と理解社会学 (17~18) 理念と利害状況の複眼思考的歴史観 (19) 動機理解の社会理論と合理性の社会科学 (20) 必然性の社会科学と合理性の社会科学の総合 (21~25) 世界資本主義の発展諸段階と20世紀革命史・虚構の検証 (26~28) 「新世界秩序」と「構造改革」の破綻としての「世界金融危機」(29) アソシエーション社会への転換 (30) 期末試験

履修上の留意点

本講義は、前半が理論編、後半が検証・応用編である。精励出席が前提であり、毎回出席を取る。社会科学論の真の教科書は常に生成しつつある全体としての現実社会そのものであるから、現実社会の最新状況について日頃から自分自身の意見や考えをまとめておくことが本講義の予習となる。講義は常に現実社会の動向を分析の俎上にのせながら進めるので質問や意見・要望があればカード等で積極的に提出すること。次回授業の冒頭に匿名で紹介・応答し、可能な限り講義内容にも反映させていく。必ずノートを取り、復習すること。専門用語については確認テストも随時行う。

成績評価の方法
教科書
参考書等

出席・平常点(20%)と前・後期末(計2回)の授業内試験(80%)等により総合的に評価する。
大塚久雄『社会科学の方法』岩波新書
本山美彦・菅野稔人『金融危機の資本論』青土社
関岡英之『拒否できない日本』文春新書、同『奪われる日本』講談社現代新書

履修コード	345201
科目名	統計学〔社会現象の統計的決定〕
担当者名	しんきやうち こうじ 新行内 康慈

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析や意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の基本的な考え方を理解し、諸手法を修得することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

前期
1統計学の概要 2-4度数分布表・ヒストグラム・基本統計量 5-7確率 8演習I
9-10確率変数と確率分布 11平均・分散と期待値 12標準化 13正規分布表 14演習II
15まとめ・補足
後期
16母集団と標本 17統計量と標本分布 18-19点推定と区間推定 20-21仮説検定
22-24その他の推定・検定 25演習III 26散布図と相関係数 27-28回帰分析
29期末試験 30まとめ・補足

履修上の留意点

統計学は積み重ねの学習が要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

以下のふたつの評価値のうち、高得点の方を最終評価とします。
①演習I~III：45%(各15%) + 期末試験55%
②期末試験：100%

教科書
参考書等

テキストは使用しません。必要に応じて適時資料を配布します。
石村貞夫『すぐわかる統計解析』東京図書 2,000円 ISBN 4-489-00407-9
前野昌弘・三國彰『図解でわかる統計解析』日本実業出版 1,800円 ISBN 4-534-03036-3
永田靖『入門 統計解析法』日科技連出版 2,900円 ISBN 4-8171-0266-7
東京大学教養学部統計学教室『統計学入門』東京大学出版 2,800円 ISBN 4-13-042065-8
配布資料に基づいて例題を交えて講義し、さらに課題演習を実施して理解を深めます。
配布資料・説明資料等は YeStudy に公開します。

その他

履修コード	345301
科目名	心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕
担当者名	<small>すずき じゅんいち</small> 鈴木 順一

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツの学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める（勉強する）ことではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証（反証）し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を獲得した人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子の他に「遺言子」とも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスから遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見しようとするモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互と自己内のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具（理論と技法）を体験的に学んでいきます。

講義の内容・
授業スケジュール

番号は進行順であり、それぞれ1回から3回程度時間が配当されます。学習計画は、進行状況により変更することがあります。

【前期】 [1]学習とは？ 授業方針 [2]エンカウンター（出会いと人間関係づくり） [3]グループ形成と集団規範 [4]コミュニケーションの促進 [5]心とは何か [6]性格検査による自己理解 [7]パーソナリティ理論 [8]無意識の心の働き（精神分析的人格理論） [9]環境を知る働き（感覚・知覚・認知）

【後期】 [10]カウンセリングの理論と技法 [11]心理療法による自己理解と他者理解 [12]自己肯定の人間関係 [13]学習理論と行動療法 [14]relaxation による心身の健康回復

履修上の留意点

最初の数回の授業で、6人のグループを編成しますので必ず出席してください。授業は、グループごとに決められた場所に着席していただき、毎回グループごとに自筆で出席をとり本人を確認します。

単独・聴講学習ではなく、グループによる協力学習・相互学習・体験学習・発見学習ですので、集団規範を守ることと、全回出席することが求められます。ルールを守れない人と欠席しがちな人は、履修しないでください。

成績評価の方法

出席状況と平常の小試験、小レポート、個人発表とグループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。平常点で評価しますので、学年末定期試験及び追・再試験はありません。

教科書

使用しません。授業内で紹介する参考図書や下記参考書の指摘する部分などを読み概念学習を進めていただきます。

参考書等

中村昭之編著『心理学概説』（八千代出版）

その他の

すべての「心理学」の授業で、心理学科卒業年次生の卒業論文のための調査に協力していただく時間があります。

履修コード	345401
科目名	心理学〔人間関係を考える〕
担当者名	鈴木 順一 <small>すずき じゆんいち</small>

講義のねらい

講義形式だけの授業形態は、学習者を受け身のバケツ的学び方にしてしまう。学問とは、問い学ぶと書くように、講師が一方的に降り注ぐ知識を、頭に詰め込むことに強いて勉める(勉強すること)ではない。科学は、不思議な現象に対して、疑問を持ち、仮説を立て、仮説の基にサーチライトをあて、検証(反証)し、新たな仮説構成や発見をしていくプロセスである。

学習というと、教科書に書かれた知識を理解していくことだと考えられがちだが、行動主義的学習理論によると、「学習とは、経験を通じて行動変容していくプロセスである」と定義している。言語という道具を操る能力を獲得した人間は、概念学習ができるようになり、遺伝子他に「遺言子」とでも呼べる知識を残し、それを世代間で、伝達・組み換え・改良していくことで文明を築き、他の生物とは異なる進化の道を歩み出すようになった。

しかし、経験から学ぶプロセスから遊離してしまった知識だけの学習は、生きるための知恵として効果的に機能できない。頭だけが参加する聴講学習は、体験学習に伴う自発性や能動性、発見しようとするモチベーションが得られない。この授業では、講義だけではなく、グループによる体験学習を取り入れて、学生相互と自己内のコミュニケーションを深め、自己理解と他者理解を促進します。心理学の人間理解の仮説の基に、自分自身や他者を見つめなおし、よりよい人間関係を築くために役立つ道具(理論と技法)を体験的に学んでいきます。

番号は進行順であり、それぞれ1回から3回程度時間が配当されます。学習計画は、進行状況により変更することがあります。

【前期】 [1]学習とは? 授業方針 [2]エンカウンター(出会いと人間関係づくり) [3]グループ形成と集団規範 [4]コミュニケーションの促進 [5]心とは何か [6]性格検査による自己理解 [7]パーソナリティ理論 [8]無意識の心の働き(精神分析的人格理論) [9]環境を知る働き(感覚・知覚・認知)

【後期】 [10]カウンセリングの理論と技法 [11]心理療法による自己理解と他者理解 [12]自己肯定の人間関係 [13]学習理論と行動療法 [14]relaxation による心身の健康回復

講義の内容・授業スケジュール

履修上の留意点

最初の数回の授業で、6人のグループを編成しますので必ず出席してください。授業は、グループごとに決められた場所に着席していただき、毎回グループごとに自筆で出席をとり本人を確認します。

単独・聴講学習ではなく、グループによる協力学習・相互学習・体験学習・発見学習ですので、集団規範を守ることと、全回出席することが求められます。ルールを守れない人と欠席しがちな人は、履修しないでください。

成績評価の方法

出席状況と平常の小試験、小レポート、個人発表とグループ発表などで、個人とグループを、それぞれ50点満点で評価し合計します。平常点で評価しますので、学年末定期試験及び追・再試験はありません。

教科書

使用しません。授業内で紹介する参考図書や下記参考書の指摘する部分などを読み概念学習を進めていただきます。

参考書等

蓮見将敏・小山望編著『人間関係の心理学―体験をとおして学ぶ心理学―』(福村出版)
すべての「心理学」の授業で、心理学卒業年次生の卒業論文のための調査に協力していただく時間があります。

教養教育

履修コード	345501
科目名	生物学〔生態と進化〕
担当者名	清水 善和 <small>しみず ぜんわ</small>

講義のねらい

地球上には170万種以上の生物種が存在する(生物多様性)。それらはすべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後連続した進化の産物である(進化)。また、あらゆる生命活動は遺伝子とその産物によって実現される(遺伝子)。本講義では「生物多様性」、「進化」、「遺伝子」の3つをキーワードに、生物の進化や生態を体系的に捉えるとともに、それらを理解するための様々な仕組みや理論について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

1章: 遺伝子と進化(1-3回)、2章: 40億年の生物進化(4-6回)、3章: 系統と分類(7,8回)、4章: 行動と進化(9,10回)、5章: 動物の人口論(11,12回)、6章: 共生と競争(13,14回)、7章: 人類の進化(15-17回)、8章: 進化論(18,19回)、9章: 生態系(20,21回)、10章: 物質の循環(22-24回)、11章: 植生遷移(25,26回)、12章: 生物多様性(27,28回)、13章: 人為と生物(29,30回)

成績評価の方法

前期のレポート、後期の試験、通年の出席回数を勘案して評価する。

教科書

講義内容を文章化した「web版テキスト」(清水執筆)を紹介する。受講者は指定のHPより自由にダウンロードして予習・復習に利用できる。

参考書等

上記「web版テキスト」で章ごとに参考書を紹介する。
講義に必要な図表等は章ごとに1枚のプリントにして教場で配布する。

履修コード	345601
科目名	生物学〔生物と環境〕
担当者名	中村 敏枝

講義のねらい 地球上の生物はすべて40億年の歴史を背負っている。その中でヒトだけが自然の掟に逆らい、自らの歴史をつくろうとした。しかし、「ヒトも生物である」という現実から逃れることはできない。「生物とは何か」を考え、「自然との共生」について考えてみよう。

講義の内容・授業スケジュール
 (前期) 生物の生活
 (1-5) 地球の歴史と生命の起源
 (6-13) 生態系のしくみ
 (後期) 化学物質の功罪—豊かな生活とそのつけ
 (14-21) ゴミ処理とダイオキシン汚染
 (22-23) 水銀汚染と水俣病
 (24-25) 人工放射性物質汚染

履修上の留意点 義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法 学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書 赤堀他著『生物学—地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円
参考書等 授業時間内に随時紹介します。
その他 授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

履修コード	345701・345901
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕
担当者名	澤口 隆

講義のねらい DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス(CG)を利用したCADイメージ、映画などで用いられるリアルなCG映像や、インターネットブラウザ上でのFLASHアニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSは Windows を使い、アプリケーションは Adobe Photoshop を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。Web サイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

1. ガイダンス、Adobe Photoshop とは、2. Photoshop の基本操作 1、3. Photoshop の基本操作 2、4. ブラシツールによる描画、5. 塗りつぶしとグラデーション、6. 選択ツール、7. クイックマスク、8. 画像の補正・修正、9. 画像の合成、10. ロゴマーク、11. アニメーション、12. Web ページの作成、13. 最終課題製作、14. 最終課題製作

履修上の留意点 コンピュータグラフィックス初心者を対象とするので予備知識は必要としない。ただし、Windows の基本操作はマスターしていること(キーボード操作・ファイルの保存など)。また、授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法 授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書 使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等 同上

その他 計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

履修コード	345801・346001
科目名	コンピュータ基礎〔コンピュータと情報〕
担当者名	坂野井 和代

講義のねらい	主に実習を通してコンピュータに慣れることを目的とする。具体的には、コンピュータの基礎的な操作方法や用語およびインターネットについて基礎を学ぶ。特に、タイピング、電子メールやウェブといったサービスを実習を通じて身につける。セキュリティやITの法的側面についても学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス (KOMAnet ID、パスワードに関する注意事項) (1回) 2. 総合情報センターの利用方法 (2回) (ホームディレクトリ、パソコン使用上の心得、WindowsPC の基本操作) 3. タイプ練習&日本語入力 (3回) 4. 電子メール (Active ! mail の使い方、公用メールの書き方) (2回) 5. コンピュータ&インターネットの基礎 (1回) 6. WWW ウェブサイト作成 (6回)
履修上の留意点	予備知識は必要としないが、実習形式で逐次作業を行いながら進むので、講義は必ず毎回出席すること。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。KOMAnet ID の取得は必須です。
成績評価の方法	評価は授業時間中に出题する2〜3回程度の課題によって行う。
教科書	使用しない。適宜資料を配付する。
参考書等	参考書は必要に応じて紹介する。
その他	実習のために計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、基本的に受講者数が制限される。 講義情報を、独自に下記のウェブサイトで公開しています。 http://www.komazawa-u.ac.jp/~ksakanoi/lecture.html

履修コード	346101・346201
科目名	地球科学〔地球の素顔と地球環境問題〕
担当者名	加藤 潔

講義のねらい	最近、地球史にロマンを感じて博物館へ足を運ぶ人や化石や鉱物に興味を持つ人が増えています。自然災害や環境問題に関心を持つ人も増えています。家族を守るためにはある程度の知識が必要です。今後の生活をより豊かにかつ安全に過ごすために、地球科学を学ぶのも一法ではないでしょうか。
講義の内容・授業スケジュール	<p>本講義の目標は、受講者が地球科学の基礎的な概念を再確認しつつ、新聞やTVによる災害などの報道に対して所見を持てるようにすることです。また、グローバルな視点から諸現象を捉えることができるように教養を養ってもらうことにあります。これまで地学を学ぶ機会があまり無かった受講者にも理解できるように心がけます。いつでも質問して下さい。</p> <p>前半は、地球の誕生、内部構造、プレートテクトニクス、プルームテクトニクス、火山、地震、自然災害、予知について触れます。後半は、地殻の物質、造山運動、アジア大陸や日本列島の形成環境、生命の歴史、環境問題(地球温暖化など)について触れます。</p>
成績評価の方法	主に期末試験で評価されます。また前・後期に3回ぐらいずつ、ビデオ鑑賞時の簡単な感想文や実習レポートを授業中に提出してもらいます(各5点程度)。
教科書	特に定めない。適宜プリントを配布。
参考書等	『ニューステージ地学図表 新訂』(浜島書店)
その他	プロジェクター、ビデオ等を使用します。

履修コード	346301
科目名	自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕
担当者名	篠原 ^{しのはら} 正雄 ^{まさお}

講義のねらい 現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち、宇宙を視点に地球の自然環境について講義する。個別の環境問題の背後にある地球環境システムについて理解し、より深いところから地球環境を考えられるようになっていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール (1~10) 宇宙と地球環境：(自然の階層構造 宇宙137億年の歴史 地球46億年の歴史 地球の進化と地球環境の形成) (11~15) 地球環境の変動：(宇宙環境と地球環境変動 地球システムと地球環境変動 人類と地球環境変動) (16~25) 地球環境問題：(オゾン層破壊問題 地球温暖化問題 エネルギー その他の環境問題) (26~30) 宇宙と地球の未来：(文明の未来 地球と宇宙の未来 SETI：地球外文明探査)

成績評価の方法 学年末に行う筆記試験の結果により評価する。S, Aについては教務部のガイドラインを考慮するので、試験の点と成績とは一致しない。平常点は10点までの範囲で考慮する。

教科書等その他 木下紀正・八田明夫著『地球と環境の科学』(東京教学社) 2,300円+税
講義の中で適宜紹介する。
「宇宙」に関する映像を使うことがある。教科書外の事項については適宜プリント等を配布する。

履修コード	346401
科目名	自然環境論〔生命と環境〕
担当者名	山縣 ^{やまがた} 毅 ^{たけし}

講義のねらい 18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきました。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が地球環境に与える影響、自然と人間の関わりについて考えていくことを目標としています。

講義の内容・授業スケジュール [地球表層の環境]
1. 大気構造とオゾン層 (1, 2回)、2. 気候の決定要因 (3~7回)、3. 生物生存条件としての地球磁場 (8回)

[人間活動による環境変化]

1. 公害問題の変遷 (9回)、2. 地球温暖化とその要因 (10~16回)、3. 大気汚染 (17回)、4. 酸性雨 (18回)、5. 光化学スモッグ (19回)、6. オゾン層の破壊 (20回)、7. 海洋汚染 (21, 22回)、8. 廃棄物問題 (23, 24回)、9. 資源とエネルギー (25~27回)

[自然災害]：

1. 気候変動 (28回)、2. 地震とその災害 (29回)、3. 火山とその災害 (30回)

成績評価の方法 成績は、定期試験とレポートにて評価します。

参考書等 講義中に紹介します。

その他 講義にて、資料プリントを配布します。

履修コード	346501
科目名	情報数学〔情報と論理〕
担当者名	<small>とりい りゅうぞう</small> 鳥居 竜三

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

コンピュータサイエンスを学ぶ上で必要な数学を身に付けることを目標とする。
教科書に従って以下の項目を解説する。
各節を2～3回かけて授業を行う。

第1章 集合と論理

- §1 集合
- §2 論理

第2章 関係と写像

- §1 関係
- §2 写像

第3章 代数系

- §1 代数系
- §2 半群と群
- §3 環と体

第4章 順序集合と束

- §1 順序
- §2 束とブール代数

第5章 グラフ

- §1 グラフ
- §2 平面グラフ
- §3 有限オートマトン

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

毎回出席すること。
前期・後期の期末試験の結果で評価する。
石村園子「やさしく学べる離散数学」 共立出版 2,100円（税込）
適宜紹介する。
数学が苦手である人を想定して講義を進めていくので、解らないときは質問して下さい。全ての受講生が理解して進められるよう努力する。

3. 外国語科目

履修コード	354601・354602
科目名	英語IA〔再クラス〕 英語IB〔再クラス〕
担当者名	前田 脩 <small>まえだ おさむ</small>

講義のねらい 英語を学んで日本と英米の思考過程、文化の違いを学びます。
 講義の内容・ 一回に一章づつ進みます。英字新聞からのプリントも使用します。前期に二度、後期に二度自由英
 授業スケジュール 作文を行います。
 履修上の留意点 必ず毎回予習してくる。こと。
 成績評価の方法 日常評価を60%、前期テスト10%、後期テスト、小テストを80%の割合で評価します。
 教科書 To Be Continued(連続ミステリー：もうひとりの自分) 朝日出版
 ISBN978-4-255-15445-9

履修コード	354701・354702
科目名	英語IA〔再クラス〕 英語IB〔再クラス〕
担当者名	近藤 真彰 <small>こんどう まはる</small>

講義のねらい 英文ニュース記事を読みながら、時事英語の読解力、語彙力をつけ、その内容について英語で意
 見が述べられるようになることを目指します。
 講義の内容・ 【前期】第1週：ガイダンス 第2,3週 英文記事の読み方 第4～13週：ジャンル別に記事を読みなが
 授業スケジュール ながら、センテンスで意見を述べる練習を行ないます。 第14,15週：復習
 【後期】第1週：前期試験の解答 第2～13週：その時々話題になっている記事を読み、それにつ
 いての自分の意見をパラグラフで述べる練習を行ないます。第14,15週：復習
 履修上の留意点 授業には必ず辞書を持参してください。
 成績評価の方法 前期と後期の定期試験の成績(50%)と平常点(50%)を総合して評価します。
 教科書 ハンドアウトを配布します。

履修コード	354901・354902
科目名	英語IA〔再クラス〕 英語IB〔再クラス〕
担当者名	増田 恵子 <small>ますた けいこ</small>

講義のねらい 英語の総合的な運用能力を身につける。
 講義の内容・ 授業では音読、訳、内容解釈などの発表をしてもらうので、単語調べ等の予習が必要となる。また
 授業スケジュール 英語の基礎も固めていく。(第1回～第15回)文のしくみ(第16回～第30回)構文とその特徴
 履修上の留意点 3分の2以上の出席と授業への積極的な参加姿勢が必要となる。
 成績評価の方法 出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価する。
 教科書 穴戸真他著『Reading Expert 1』(成美堂) 1,800円
 ISBN978-4-7919-1084-7

履修コード	355201・355202
科目名	英語IIA〔再クラス〕 英語IIB〔再クラス〕
担当者名	照山 雄彦 <small>てるやま ゆうひこ</small>

講義のねらい この授業で扱う英文は、文法を中心とした日常会話を中心として行う。初めに基本となる表現が
 文法的にどのようになっているのか解説をする。その英文一つ一つを実際の日常会話で役立つため
 に暗記、応用して行く。
 講義の内容・ (1)授業の内容説明、(2～15)基本文型と重要構文、注意すべき文型、Itを含む文型、to 一不
 授業スケジュール 定詞を含む構文、分詞、仮定、比較を表す構文、否定、名詞を中心とした構文
 履修上の留意点 実際の表現力を養うために予習、復習は必ずすること。また疑問点を用意し、辞書は必ず持参す
 ること。
 成績評価の方法 出席状況を考慮し、学期末試験と授業内に提出を求める課題を評価する。
 教科書 授業の第1日めに教場にて紹介する。
 参考書等 授業の第1日めに教場にて紹介する。

履修コード	355301・355302
科目名	英語IIA〔再クラス〕 英語IIB〔再クラス〕
担当者名	岸本 茂和

講義のねらい Back-to-Basics! ー基本に帰ることーをこのクラスの最大の標語としたい。英語学習の Basics である「5文型」の徹底的理解をめざす。

講義の内容・授業スケジュール (1)基本的に1時限1章(全22章)を目標とする。計22週。(2)《遊び時間》として前期と後期にそれぞれ「英語固有名詞」および「英語慣用句」について学習する。計2週。プリントを配布する。(3)前期・後期試験が各1週で計2週。合計年間26週。残りの週は適宜そのつど指示する。

履修上の留意点 予習は必須。出欠はかならずとる。3分の1以上欠席は不可。授業には英和辞書をかならず携行のこと。電子辞書も可。電子辞書をあらたに購入する用意のある受講生は「英和大辞典」が入っているものを選ぶこと。

成績評価の方法 前期・後期試験の結果および出席状況等をかながみ評価する。

教科書 『基礎文法からはじめる大学英語学習』 松柏社 定価 1,600円(本体)

履修コード	355401・355402
科目名	英語IIA〔再クラス〕 英語IIB〔再クラス〕
担当者名	本間 俊一

講義の内容・授業スケジュール 教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

履修上の留意点 毎回、作品の全体を視野にいれながら、細部に注目し、各自が一部を責任もって発表する予定。パソコン・ネットワークを利用した、英語自習、研究の発展、相互のコミュニケーションに及ぶつもりである。

成績評価の方法 前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については、授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書 Anne of Green Gables(講談社インターナショナル)693頁
ISBN4-06-186057-7

外国語

履修コード	355601・355602
科目名	ドイツ語IA〔再クラス〕 ドイツ語IIB〔再クラス〕
担当者名	野島 利彰

講義のねらい 簡単な練習を積み重ね、さまざまな角度からドイツ語を学びます

講義の内容・授業スケジュール 文法的な説明は少なくし、練習問題でドイツ語を教える方法で授業を進めます。

履修上の留意点 理解できるためには予習復習が重要です。授業の前には必ず予習しておいて下さい。

成績評価の方法 出席回数、小テスト、七月と一月の試験の成績、および授業中、練習問題や質問にどれだけ答えたかが成績評価の基準になります。

教科書 佐藤・Pinnau・中村著『新ドイツに行ってみませんか』、郁文堂、2500円

その他 外国語学習には毎日の積み重ねが大切です。テレビやラジオのドイツ語講座も視聴して下さい。

履修コード	355701・355702
科目名	ドイツ語IIA〔再クラス〕 ドイツ語IIB〔再クラス〕
担当者名	本橋 右京

講義のねらい 初級文法の配列に則った読章を読み、基本的なドイツ語の語彙や構造を習得して行きます。

講義の内容・授業スケジュール 初級文法に準拠して、文法項目を確認しながら学んで行きます。基本表現はできるだけ覚えましょう。

履修上の留意点 テキストは丁寧に無理なく、また興味深く作られています。しっかり予習・復習して授業に臨んでください。授業中の発表や表現練習など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法 前期・後期の試験60%、出席率と授業参加度40%。

教科書 山本淳著『新々・じゃあ、またあした!』(同学社)2006年刊 2500円+税
ISBN8102-0723-4

履修コード	355801・355802
科目名	フランス語IA〔再クラス〕 フランス語IB〔再クラス〕
担当者名	<small>はせがわ みつあき</small> 長谷川 光明

講義のねらい 初級文法を復習しながら、フランス語の表現能力を習得することを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール (1) 受講上の諸注意／アルファベ (2) つづり字の読み方 (3-30) 人称代名詞・基本動詞の活用・名詞の性・数詞／冠詞・形容詞／第一群規則動詞の活用・所有形容詞・否定文／指示代名詞／疑問代名詞・中性代名詞／部分冠詞・数量の表現／命令形・非人称構文／比較級／代名動詞／複合過去／未来形

履修上の留意点 *毎回、発音練習・練習問題等を行います。試験は前期末と後期末計二回行います。基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法 前期、後期の試験と小テストおよび平常点の総計。

教科書 伊勢見他『ヴワラ!』(早美出版社) 2,100円

参考書等 石野好一『フランス語の入門』(白水社) 2,200円

履修コード	355901・355902
科目名	フランス語IIA〔再クラス〕 フランス語IIB〔再クラス〕
担当者名	<small>はせがわ みつあき</small> 長谷川 光明

講義のねらい ビデオ教材を用いて、フランス語初級文法を複合過去から復習していきます。

講義の内容・授業スケジュール (1) 受講上の諸注意／つづり字の読み方の復習 (2-30) 文法(複合過去・代名動詞／半過去・大過去／関係代名詞・命令形・補語人称代名詞／現在分詞／ジェロンディフ・疑問代名詞／受動態／強調構文・中性代名詞／条件法／接続法／間接話法・時制の一致

履修上の留意点 *毎回、発音練習・練習問題等を行います。試験は前期と後期二回行います。基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口頭問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法 前期、後期試験及び平常点。

教科書 中山真彦、杉山利恵子『ボンジュール・パリ』(白水社) 2,200円

参考書等 石野好一『フランス語の入門』(白水社) 2,200円

履修コード	356001・356002
科目名	中国語IA〔再クラス〕 中国語IB〔再クラス〕
担当者名	<small>おおくぼ あきお</small> 大久保 明男

講義のねらい 正確な発音と基礎文法の習得、中国語コミュニケーション能力の養成を目指します。

講義の内容・授業スケジュール 基本的に教科書に沿って授業を進めていくが、折に触れて中国の社会や文化に関わることを紹介したり、ビデオを見たりする予定です。

履修上の留意点 中国語を学ぶ意義を十分に認識し、授業に意欲を持って臨むこと。毎回予習、復習すること。

成績評価の方法 出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価します。

教科書 南雲智・趙暉『はじめよう! 中国語』(白水社、2205円)

履修コード	356201・356202
科目名	中国語IIA〔再クラス〕 中国語IIB〔再クラス〕
担当者名	<small>ひろみね かなこ</small> 弘兼 加奈子

講義のねらい 一年次で行った会話練習を継続しつつ、日常のアナウンス、説明文などの簡単な文章を読む練習を行います。教科書の内容は、本学が上海で実施している夏期中国語セミナーの状況とも一致しています。ぜひ実際に使ってほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 全16課の内、4課ごとにテストを行います。年間30回の授業では、テストも含めて授業7、8回で4課ずつ進むことになります。

履修上の留意点 授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ぬ理由により欠席する場合でも、7回を越えた場合は単位取得が不可能となります。具体的には、欠席を1点、遅刻早退を0.5点として合計し、7点以内の者を成績評価の対象とします。

成績評価の方法 4分の3以上の出席を前提に、テストによって評価します。テストは年間4回行う予定です。

教科書 石慧敏、金子真也『上海びより』(好文出版) 2000円+税

履修コード	356401・356402
科目名	スペイン語IA〔再クラス〕 スペイン語IB〔再クラス〕
担当者名	栗林 ゆき絵

講義のねらい	基本的な単語や挨拶のほか、基本的なスペイン語のことばのしくみを学習し、日常の簡単な会話に活用できることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は文字と発音(1)、主語・名詞句(2)、現在形(3-15)、後期は過去形(1-10)、再帰動詞(11-13)、復習と会話表現(14-15)を中心に学習する予定。毎回時間の初めに小テスト(活用・単語・作文)を実施。
履修上の留意点	少しずつ文法や単語を身につけられるよう、毎回、授業の最初に2問程度の小テストを行う。途中でわからなくなってもめげずに授業に出席するように心がけてほしい。
成績評価の方法	平常点(毎時間の小テスト含む)30%と前後期の期末試験70%。半期のうち5回以上欠席した者は試験の受験を認めない。
教科書 参考書等	初回の授業の授業で指示(プリント教材配布予定)。初回は必ず出席のこと。 『ポケットプログレッシブ西和・和西語辞典』(小学館) *辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するとよい。他の辞書については授業中に紹介する。

履修コード	356501・356502
科目名	スペイン語IIA〔再クラス〕 スペイン語IIB〔再クラス〕
担当者名	栗林 ゆき絵

講義のねらい	現在形・過去形(点過去・線過去)の復習のあと、未来形・過去未来形や接続法の形も学び、初級会話を越えた豊かな表現を身につける。
講義の内容・授業スケジュール	最終的には、活用表と辞書があれば、会話文から新聞記事まで読みこなせることをめざす。 前期はスペイン語Iで扱わなかった活用形を中心に文法説明とその応用の練習問題を行う。現在・点過去・線過去の復習(1回)、再帰動詞(2-3回)、現在完了(4-5回)、分詞(6-7回)、未来と過去未来(8-9回)、接続法(10-11回)、命令文(12-13回)、復習(14-15回)、の予定。 後期は、スペインや中南米に関する新聞記事等の購読を行う。(1-15回) 最終授業時は和訳提出の課題を実施する。
履修上の留意点	最初は難しく感じると思うが、できるだけ個人のレベルに合わせた指導を行うので、出席をかかさないように。平常点の配分を高くしているので日々の授業で地道に力をつけていってほしい。辞書(和西単語集つきが望ましい)は授業中に使用するので必ず持ってくること。
成績評価の方法	平常点80%、前期試験10%、後期課題10%
教科書 参考書等	プリント配布予定(初回授業で指示します)。 〈辞書〉『ポケットプログレッシブ西和・和西辞典』(小学館) *辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するとよい。他の辞書については授業中に紹介する。

外国語

履修コード	356601・356602
科目名	ロシア語IA〔再クラス〕 ロシア語IB〔再クラス〕
担当者名	杉山 秀子

講義のねらい	1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。 4) 基礎的な初等文法を学びます。 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
講義の内容・授業スケジュール	はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいます。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。
成績評価の方法	4-7月はイントネーションや発音に重点をおき、9-12月はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。
教科書 参考書等	試験は行わず、平常点で評価します。 『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円+税 『露和辞書』

履修コード	356701・356702
科目名	ロシア語IIA〔再クラス〕 ロシア語IIB〔再クラス〕
担当者名	<small>すぎやま ひでこ</small> 杉山 秀子

講義のねらい 1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。

ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。
- 4-7月 基礎文法の復習
- 9-12月 中等文法を学び多様なロシア語文に馴れるようにする。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

既習の教科書と文法表。

参考書等

『露和辞書』

その他の

プリント配布。教場にて指示します。

履修コード	351201
科目名	英会話I
担当者名	ロビン, G. F.

講義のねらい This topic-based course will develop speaking skills in English for students through interactive controlled pair and group communication projects. A variety of topic-oriented discussion, role-playing, dialogue, and drill activities will be used to enhance the students' ability to express themselves. A basic text will be used for warm-up speaking and other materials will be provided by the teacher to extend oral skill development. Students will be graded on classroom participation, homework assignments, and a speaking test at the end of term.

**講義の内容・
授業スケジュール**

Lesson 1 and 2: Abilities
Lesson 3 and 4: Time and Date
Lesson 5 and 6: Daily Routine
Lesson 7 and 8: Location and Moving Things
Lesson 9 and 10: Directions
Lesson 11 and 12: Personal Information
Lesson 13 Speaking test
Lesson 14 and 15: Family
Lesson 16 and 17: Likes and Dislikes
Lesson 18 and 19: About Tomorrow
Lesson 20 and 21: The Past
Lesson 22 and 23: Describing People
Lesson 24 and 25: In a Restaurant
Lesson 26 and 27: Making comparisons
Lesson 28 Review
Lesson 29: Rehearsal for speaking test
Lesson 30: Speaking test

成績評価の方法

40% attendance and participation in class
40% speaking tests
20% homework assignments

教科書

Fifty-Fifty, Book 1
by Warren Wilson and Roger Bernard
Longmans

履修コード	351301
科目名	英語 LLI
担当者名	<small>にしむら ゆうこ</small> 西村 祐子

講義のねらい 聞き取り、読む力を同時につける。日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。TOEIC形式の模擬試験を前期1回後期一回行う。すくなくともスコアで150から300程度のアップをめざす。

**講義の内容・
授業スケジュール**

前期

1. 小テスト(1)実施(受講希望者が多い場合はこのテストにより振り分けを行う)
2. 聞き取り、書き取り訓練(1)
3. 聞き取り、書き取り訓練(2)
4. 聞き取り、書き取り訓練(3)
5. 聞き取り、書き取り訓練(4)
6. 小テスト(2)
7. 英語での自己紹介(1)
8. 英語での自己紹介(2)
9. 英語での自己紹介(3)
10. 聞き取り、書き取り訓練(5)
11. 聞き取り、書き取り訓練(6)
12. 聞き取り、書き取り訓練(7)
13. 小テスト(3)

後期

1. 小テスト(4)
2. 聞き取り、書き取り訓練(8)
3. 聞き取り、書き取り訓練(9)
4. 聞き取り、書き取り訓練(10)
5. 聞き取り、書き取り訓練(11)
6. 小テスト(5)
7. 英語でおこなうペアワークと書く英語(1)
8. 英語でおこなうペアワークと書く英語(2)
9. 英語でおこなうペアワークと書く英語(3)
10. 英語でおこなうペアワークと書く英語(4)
11. 小テスト(6)
12. 復習とまとめ(1)
13. 復習とまとめ(2)

**履修上の留意点
成績評価の方法**

全員コンピュータIDを習得しておくこと。

平常点、出席点：30%

小テスト、課題提出：30%

TOEIC模擬試験：40%

定期試験は実施しない。

**教科書等
その他の**

教場にあるPCソフト教材をつかう。

教場で指示。

ウェブ上でおこなう宿題は Yestudy などをつかい、電子データでの音の持ち帰りもできる。フラッシュメモリー(USB)、自宅での吹き込み用簡易ヘッドセット(マイクつき)などを用意しておくことと便利。

履修コード	354301
科目名	英会話II
担当者名	ロビン, G. F.

講義のねらい This class is for everyone. Not only experienced speakers, but beginners as well, are encouraged to participate. Even if you have difficulty, making an effort will get you a good grade. This class will emphasize conversation, public speaking and discussion. This is not an information course, but a participation course. Therefore good attendance is necessary to get a passing grade. The course will focus on improving grammar, vocabulary, and fluency in speaking through topic-oriented materials.

Various kinds of activities will be used to enhance your conversational skills, such as pair work, information gap, group discussion, language games, story-building, dictation and so on. As your conversation skills develop, you will then use them for the purpose of making a speech later in the course. Some work sheets will be given at that time to enhance your speech-making skills. A few homework assignments will also be given relating to your speaking projects. Enjoy and Learn!

**講義の内容・
授業スケジュール**

1 unit every 2 weeks from the texts and other activities using other materials.

- Week
- 1 Introduction
 - 2 Asking Question
 - 3 Unit 1
 - 4 Unit 1
 - 5 Unit 2
 - 6 Unit 2
 - 7 Unit 3
 - 8 Unit 3
 - 9 Unit 4
 - 10 Unit 4
 - 11 Unit 5
 - 12 Unit 5
 - 13 Review
 - 14 Rehearsal for Speaking Test
 - 15 Test
 - 16 Unit 6
 - 17 Unit 6
 - 18 Unit 7
 - 19 Unit 7
 - 20 Unit 8
 - 21 Unit 8
 - 22 Unit 9
 - 23 Unit 9
 - 24 Unit 10
 - 25 Unit 10
 - 26 Review
 - 27 Review
 - 28 Conversation activities
 - 29 Rehearsal
 - 30 Test

履修上の留意点

- 1) Speak English whenever possible.
- 2) Do homework if assigned.
- 3) Attend all classes. If absent, bring a stamped note.
- 4) Bring your textbook, a notebook, and a good dictionary.

成績評価の方法

- 40% attendance and participation in class
40% speaking tests
20% homework assignments

教科書

- 1) Inside English, High Beginner Student Book, Susan Kay et.al., (Longmans)

履修コード	354401
科目名	英語L L II
担当者名	林 明人 <small>はやし あきと</small>

講義のねらい リスニング用のテキストを使用します。CDがテキストに付いてきますので事前によく聞き取りをしてきて下さい。

講義の内容・ 授業スケジュール	1	ユニット1 (問題1, 2)	16	ユニット5 (問題5, 6)
	2	ユニット1 (問題3, 4)	17	ユニット6 (問題1, 2)
	3	ユニット1 (問題5, 6)	18	ユニット6 (問題3, 4)
	4	ユニット2 (問題1, 2)	19	ユニット6 (問題5, 6)
	5	ユニット2 (問題3, 4)	20	ユニット7 (問題1, 2)
	6	ユニット2 (問題5, 6)	21	ユニット7 (問題3, 4)
	7	ユニット3 (問題1, 2)	22	ユニット7 (問題5, 6)
	8	ユニット3 (問題3, 4)	23	ユニット8 (問題1, 2)
	9	ユニット3 (問題5, 6)	24	ユニット8 (問題3, 4)
	10	ユニット4 (問題1, 2)	25	ユニット8 (問題5, 6)
	11	ユニット4 (問題3, 4)	26	ユニット9 (問題1, 2)
	12	ユニット4 (問題5, 6)	27	ユニット9 (問題3, 4)
	13	ユニット5 (問題1, 2)	28	ユニット9 (問題5, 6)
	14	ユニット5 (問題3, 4)	29	ユニット10 (問題1, 2)
	15	前期試験	30	後期試験

履修上の留意点 遅刻(交通機関の遅延を除く)及び授業中の出入りは認めない。
成績評価の方法 試験(30%)②発表(40%)③出席(30%)で総合評価するが、①～②のそれぞれの評価が一つでも3割に満たない場合、あわせて③の出席が全授業回数の3分の2以下の場合は評価の対象にしない。

教科書 4月に教場で指示します。

4. 保健体育科目

履修コード	341201
科目名	健康・スポーツ論
担当者名	むらまつ 誠

講義のねらい 現代は健康の時代の不健康な時代といわれる。健康に関する情報は、マスコミにあふれている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、しっかりとした健康観を持つことは、適切な選択をするために大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中で最も健康な時期といわれるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この年代より始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯にわたっての健康を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10 時限目：飲酒と健康
- 11 時限目：ストレスと健康
- 12 時限目：食べ物と健康
- 13 時限目：運動と健康
- 14 時限目：環境と健康
- 15 時限目：まとめ(テスト)

成績評価の方法 数回のレポート、小テストなどを行い、これを加味して評価する。
教科書 特に指定はしない。参考図書についてはその都度提示する。

履修コード	341301
科目名	健康・スポーツ論
担当者名	みゆき 晴三

講義のねらい 健康の概念はあまりにも固定観念や独善的な考え方に支配されている。この講義ではそうした考え方にメスを入れてどうしたら本当の健康を手に入れることができるかを検証する。また日常生活で行うことができる「マイエクササイズ」を実技をしながら説明する。スポーツは現在話題になっているスポーツについて説明し、スポーツの持つ意義をどうしたら自分自身の人生に生かすことができるかを考える。

講義の内容・授業スケジュール

- 1限：講義のオリエンテーション<講義の進め方の説明>
- 2限：健康概念の変遷
- 3限：健康と固定観念 1
- 4限：# 2
- 5限：健康と生き方 1
- 6限：# 2
- 7限：日常生活での留意点 1
- 8限：# 2
- 9限：小テスト<健康>
- 10限：スポーツ概念の変遷
- 11限：オリンピック 1
- 12限：# 2
- 13限：ワールドカップ
- 14限：小テスト<スポーツ>
- 15限：総合テスト

履修上の留意点 出席は毎時限とる。教科書などはないが、配布するプリントを中心に授業を進める。
成績評価の方法 出席点と小テスト・総合テストを総合的に評価する。特に総合テストは必ず受けなければならない。

教科書 指定なし
参考書等 指定なし

履修コード	340201
科目名	健康・スポーツ実習（ミニサッカー）〔再クラス〕
担当者名	大石 武士

講義のねらい ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ること数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
- 3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
- 4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
- 10時限目～14時限目：ゲーム
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法

※受講者数によっては、他の球技（バドミントン・卓球など）に変更する。
服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。
評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

履修コード	340301
科目名	健康・スポーツ実習（ミニサッカー）〔再クラス〕
担当者名	大石 武士

講義のねらい ミニサッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ること数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間余暇感覚でゲームを行い、よき人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ゲームの進め方、練習ゲーム
- 3時限目：ゲームの攻め方、守り方、ゲーム
- 4時限目～9時限目：基礎技術の応用練習、ゲーム
- 10時限目～14時限目：ゲーム
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点
成績評価の方法

※受講者数によっては、他の球技（バドミントン・卓球など）に変更する。
服装は、一般的な運動服装で良い。シューズについては、オリエンテーションの時に説明する。
評価は出席点70%、総合評価30%で行う。

履修コード	340501
科目名	健康・スポーツ実習（バドミントン）〔再クラス〕
担当者名	村松 誠

講義のねらい バドミントンをはじめとして、室内球技のゲームを通して、その基礎技術、戦術、ルール等を理解し、他の参加者と協力してゲーム運営ができるようになることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：バドミントンの基礎技術
- 3時限目：バドミントン1次リーグ戦
- 4時限目：バドミントン2次リーグ戦
- 5時限目：バドミントン3次リーグ戦
- 6時限目：バドミントンダブルス1次リーグ戦
- 7時限目：バドミントンダブルス2次リーグ戦
- 8時限目：バドミントンダブルス3次リーグ戦
- 9時限目：その他の球技の基礎技術
- 10時限目：その他の球技1次リーグ戦
- 11時限目：その他の球技2次リーグ戦
- 12時限目：その他の球技3次リーグ戦
- 13時限目：その他の球技4次リーグ戦
- 14時限目：その他の球技5次リーグ戦
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

動きやすいスポーツ服装と室内専用のスポーツシューズ。バドミントンをはじめとして、バスケットボール、バレーボール、卓球、フットサルなど、季節性、受講者のレディネスも加味して実施する。

成績評価の方法

出席点を重視する。全授業回数の3分の2以上の出席者に単位を認定する。

履修コード	199301・199302
科目名	生涯スポーツ演習Ⅰ（シーズン基礎）（ゴルフ） 生涯スポーツ演習Ⅱ（シーズン応用）（ゴルフ）
担当者名	三幣 晴三 他

講義のねらい

「健康・スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。

ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良い人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション:

1回目 4月8日(水) 12:10~12:40 2研一209教場

2回目 4月18日(土) 12:10~12:40 2研一209教場

*本オリエンテーションにて、受講許可書を発行します。

1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。

2. 事前授業: 7月21日(火) 13:00~16:10 2研一209教場「ゴルフの基礎知識」

3. 実習内容および現地講義

1日目 9月7日(月)

講義: 9:00~12:10 ゴルフコースとゲーム、スイングの基礎(玉川校舎教場)

実技: 13:00~17:30 打撃練習

*注意: 1日目は、玉川校舎で実施する。

2日目 9月8日(火) 実技・講義: 11:00~18:00 打撃練習・ゴルフの規則1、その他

3日目 9月9日(水) 実技・講義: 8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ゴルフの規則2

4日目 9月10日(木) 実技・講義: 8:30~17:00 打撃練習・ラウンド・ラウンドの総括

5日目 9月11日(金) 実技・講義: 8:30~13:30 打撃練習・ラウンド・閉校式

履修上の留意点

生涯スポーツ演習Ⅰ(シーズン基礎・シーズン応用)を履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。

1. 実習日程: 平成21年9月7日(玉川校舎)・9月8日~11日(現地: 3泊4日)

2. 場所:

宿泊: マロードインターナショナルホテル成田

〒286-0121 千葉県成田市駒井野763-1

電話 0476-30-2222 FAX 0476-32-9112

練習コース: ダイナミックゴルフ成田

〒289-2231 千葉県香取郡多古町飯笹1040

電話 0479-75-0793 FAX 0479-75-0785

3. 定員: 40名

4. 集合解散:

(1) 集合 9月7日(月) 午前9時 玉川校舎 305教場

9月8日(火) 午前11時 ダイナミックゴルフ成田

(2) 解散 9月11日(金) 午後12時30分: 予定 ダイナミックゴルフ成田

5. 受講料: 37,600円(左記金額には、交通費は含まれない。)

6. 納入期間: 平成21年5月18日(月)~5月30日(土)

証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康部門(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意してください。

7. 服装・用具

(1) 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)

(2) ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。

(3) グローブは、必ず各自で用意すること。

(4) ゴルフクラブ・キャディーバックは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法
その他

出席状況、ゴルフの技術的向上、授業態度を総合的に判断して評価する。

都合で参加できなくなった場合は、早急にスポーツ・健康部門(第2研究館9階資料室)に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

履修コード	199401・199402
科目名	生涯スポーツ演習II(シーズン基礎)(スキー・スノーボード) 生涯スポーツ演習II(シーズン応用)(スキー・スノーボード)
担当者名	<small>すずき じゅんぺい</small> 鈴木 淳平 他

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。
○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。
○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション1回目 4月8日(水)12:10~12:40 2研-209教場
2回目 4月18日(土)12:10~12:40 2研-209教場
※本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 1月8日(金)13:00~16:00 2研-209教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目 1月28日(木)
午前：駒澤大学駒沢校舎から貸し切りバスで移動(集合・出発時刻未定) 正午到着予定
午後：開講式 班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 1月29日(金)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目 1月30日(土)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目 1月31日(日)
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省まとめ」
 - 5日目 2月1日(月)
午前：班別実習 閉講式
午後：駒澤大学駒沢校舎へ貸し切りバスで移動(集合・出発時刻未定) 到着後解散予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習IIシーズン・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認してください。

- 1) 実習日程：平成22年1月28日(木)~2月1日(月)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 実習場所：セントレジャー舞子スノーリゾート
宿泊)セントレジャー舞子ホテル 電話(025)783-3511
〒949-6423 新潟県南魚沼市舞子2056-108
- 3) 定員：スキー20名
スノーボード30名(但し、初心者・初級者に限る)
- 4) 受講料：50,000円(内訳：往復交通費・宿泊費・食費・傷害保険・その他雑費として)
※リフト券、レンタル代は別途料金がかかります。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書をスポーツ・健康部門(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成21年5月18日(月)~5月30日(土)
- 5) 用具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生が履修する場合は日程などに注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加修了し、2単位が認められる。成績評価方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

保健体育

Ⅱ. 専 門 教 育 科 目
経 済 学 科 フ レ ッ ク ス B

履修コード	306611
科目名	経済学概説
担当者名	森田 成也

講義のねらい はじめて経済学を学ぶ人のために、経済学の基礎理論の初歩的知識と、その応用編としての日本経済の歩みについて、わかりやすく解説します。

講義の内容・授業スケジュール 授業の前半は経済学の基礎理論を、最も単純で目の前に存在する普通の商品からはじめて、世界的に資本展開する多国籍企業にいたるまで、わかりやすくかいつまんで説明します。授業の後半は、以上の基礎理論を踏まえての日本経済の独自の歩みについてです。

<前半>

1、経済学とは何か、2、商品とは何か—商品生産社会と価値法則、3、貨幣とは何か、4、利潤の源泉としての剰余価値とその発生メカニズム、5～6、剰余価値生産の3つの形態、7、労賃とは何か、8、資本の蓄積メカニズム、9、利潤と生産価格、10、商業資本、11、利子生み資本と銀行、12、株式会社、13、土地所有と地代、14、競争と独占、15、市民社会と国家、16、外国貿易と多国籍企業と帝国主義

<後半>

17、明治維新から敗戦まで、18、戦後改革と戦後復興、19～20、高度経済成長、21、高度成長の終焉と70年代後半の中成長、22、レーガン革命と80年代前半の日本経済、23、バブル経済とその崩壊、24、平成大不況、25、小泉改革と階層的景気、26、今後の課題と展望

履修上の留意点 板書中心の授業になるので、必ずノートはとってください。出席はとくにとりません。

成績評価の方法 夏休みのレポートと学期末試験の2つで成績評価します。とくに学期末試験が重要です。夏休みのレポートは、学期末試験に対する追加点と考えてください。

(1) 夏休みのレポート……夏休みのレポートとして、いくつかの課題の本を指定しますので、それを読んで、内容の要約と感想を書いてください。提出は夏休み後の授業。

(2) 学期末試験……1年間の授業すべてが範囲になります。穴埋め問題と筆記問題の両方が適度なバランスで出題されます。

教科書 森田成也『資本と剰余価値の理論』2008年刊(作品社)、2300円

参考書等 松石勝彦『新版現代経済学入門』2002年刊(青木書店)、2625円

履修コード	306801
科目名	経済理論IB・経済システムの原理
担当者名	阿部 弘

講義のねらい 現代の私たちの経済社会の運動は「資本」の運動原理に基づいている。この講義の前半部分は<IA>としてその原理の根本を明らかにしてきたが、この後半部分では、現実の資本の運動がどのようなことに基づいているのかを明らかにして、現代社会が直面している諸問題に取り組んでいきたい。

講義の内容・授業スケジュール 講義は前期15回・後期15回の年間30回の予定で行う。

A：利潤の生産(前期01-07回)

- 1 剰余価値と利潤
- 2 利潤の生産と生産価格体系の形成
- 3 社会的虚偽の価値体系の形成

B：利潤体系の運動(前期08-15回)

- 1 利潤体系とその構成要素
- 2 利潤の分配と再分配
- 3 資本の商品化

C：恐慌と独占(後期15回)

- 1 過剰生産恐慌とその必然性(01-05回)
- 2 失業とその産業予備軍機構化(06-10回)
- 3 労働組合と独占体(11-15回)

履修上の留意点 この科目は経済理論の応用部分を含むので、積み重ねが肝要である。したがって出席は重視される。

成績評価の方法 成績の評価は出席とレポートによる。

レポートは年間4回の予定である。

教科書 「教科書」は用いないが、次の文献を重要参考書として揚げておく：

参考書等 * マルクス：『資本論』、大月書店、国民文庫 1～9分冊

* レーニン：『帝国主義論』、大月書店、国民文庫

履修コード	306901
科目名	経済理論II・ミクロ経済学
担当者名	まつい 柳平

講義のねらい 理論的な経済分析の基礎となるミクロ経済学の理論を、ゲーム理論をベースとして解説する。消費者や企業などの個別経済主体が自発的かつ合理的に行動しているとき、どのような社会・経済状態が実現するか考察する。その際、その帰結の理解よりもむしろ、その帰結に至る論理展開、つまり分析方法の理解に重点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

<前期>
 ガイダンス 講義の概要等説明
 あるパン屋の話
 ナッシュ均衡
 バックワード・インダクション
 サブゲーム完全均衡

<後期>
 交渉ゲーム
 オークション
 消費者理論
 金融とリスク管理
 契約と誘因

履修上の留意点 この講義の履修においては、小学校・中学校・高校での算数・数学について、その基本的な部分の理解がきちんとできていることが前提となる。こうした算数、初等的な数学について自信のない受講生は、算数や中学時代の数学の教科書を事前に十分よく復習した上で授業に臨んでもらう必要がある。

具体的には、
 ◎小学校の算数における「数と計算」（個数を数える・比べる、加法・減法・乗法・除法、小数・分数の計算、約数・倍数、約分・通分）、「数量関係」（表やグラフ、交換法則、結合法則や分配法則、比、比例）
 ◎中学校の数学における「数と式」（正の数と負の数・その四則計算、一元一次方程式、文字を用いた式の四則計算、連立二元一次方程式、式の展開や因数分解、等）、「数量関係」（比例・反比例の関係、変数・変域、一次関数、等）
 ◎高校の「数学I」における「方程式と不等式」、「二次関数」
 以上について理解ができていない人は、この講義を理解するのに困難を感じる場合が多々あるだろう。こうした基礎学力について自信がない受講生は、必ず、算数や中学時代の数学の勉強を自学自習すること。

また、受講生の予習と復習を前提とし、授業中に学生に答えを尋ねる場合が多々ある。したがって、受講生は YeStudy に登録し、講義プリントを、YeStudy から事前にプリントアウトして必ず予習してきた上で、講義に臨むこと。

公務員試験、経済学検定試験、その他各種資格試験を将来、受験しようという学生は、この科目やマクロ経済学を履修した後、さらに、応用ミクロ経済学、応用マクロ経済学、公共経済学、経済政策などの科目を履修することが望まれる。

成績評価の方法 成績評価は基本的に、定期試験（年度末）に基づくが、授業中に自ら手を上げて練習問題を自発的に発表して内容がよかった人には成績評価に加味する。

また、夏期休暇中にレポート課題を課す場合がある（レポート課題の有無は7月の授業中にアナウンスする）。

教科書 梶井・松井『ミクロ経済学一戦略的アプローチ』（日本評論社）ISBN4-535-55202-9
参考書等 若田 規久男『経済学を学ぶ』（筑摩書房）（ちくま新書）ISBN4-480-05602-5
 武藤 滋夫『ゲーム理論入門（日経文庫：経済学入門シリーズ）』（日本経済新聞社）ISBN：4532108292

渡辺 隆裕『図解雑学 ゲーム理論』（ナツメ社）ISBN：4816337458
 渡辺 隆裕『ゼミナール ゲーム理論入門』（日本経済新聞出版社）ISBN：4532133467
その他 受講生の予習を前提とし、授業中の学生による発表によって授業を進めていく。

履修コード	312101
科目名	経済数学
担当者名	池田 宏

講義のねらい 経済学に必要な道具としての数学、およびその道具として使う数学を修得するために必要な数学的基礎の理解を目的とする。経済学で使う道具としての数学で基礎となるのは線形代数と微分積分である。本講義ではこの2分野のなかで経済学で使う事柄のうちの基本的方法の修得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール 前期：線形代数 (1) ガイダンス (2.3) ベクトルと行列の定義と計算 (4.5.6) 1次変換と固有値、固有ベクトル (7.8) 行列式の定義と計算 (9.10) 連立1次方程式(掃き出し方) (11.12) 線形計画法 (13) 試験
後期：微分積分 (1.2.3) 微分の基礎 (4.5) 接線、増減、極値 (6.7.8.9) 基本関数の微分 (10) 高次導関数 (11.12) 多変数関数と偏微分 13. 試験

履修上の留意点 高校2年までに学習した程度の微分の基礎知識が必要である。

成績評価の方法 前後期に各一回行う試験(70%)と平常点(30%)

教科書 教科書は指定しない。必要な時には適宜、教材プリントを配布する。

参考書等 田代嘉宏著 『数学概論 線形代数/微分積分』 裳華房 本体2400円 ISBN4-7853-1078-2 C3041

履修コード	309001
科目名	景気循環論
担当者名	野村 信廣

講義のねらい 景気(循環)への関心は極めて高い。それは(1)景気循環が多くの人々の生活に影響する(2)景気循環の姿がその都度変化する(3)景気循環が経済・政治の諸問題に影響する一などのためである。講義では(1)景気循環を把握する方法(2)景気循環を引き起こす原因とメカニズム(3)景気循環を応用して景気の過去や現状把握、将来予測などを学ぶ。学生達が景気判断に対する理解・評価能力を習得し、自分自身で景気判断や予測が出来るようにする。

講義の内容・授業スケジュール [前期]
景気循環と景気指標
景気循環を引き起こす要因とメカニズム
[後期]
景気循環の歴史
景気循環の理論
実証的なもののウエートを高くして行う。

履修上の留意点 日々の経済動向に興味を持つこと。

成績評価の方法 レポート(前期)、定期試験(筆記・後期)、出席状況を加味して評価。

教科書 景気循環学会・金森久雄「ゼミナール・景気循環入門」(東洋経済新報社)。

参考書等 適宜参考資料を配布。

その他 講義中心だが、質問や討議を歓迎。

履修コード	312611
科目名	社会思想史 a
担当者名	阿部 弘

講義のねらい	「経済学」は私たちが日常生活している「市民社会」と密接な関連をもって形成されてきた。そこでこの過程を概観することをこの講義の目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	<p>「市民社会」の発達と「経済学」の形成過程</p> <p>「経済学」という科学は人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持つ。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入ってヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしている。</p> <p>さて「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた「帝王学」的な政治・経済の倫理・政策論に求められる。この場合に重要なのは古代中国で培われてきた「経世済民」という考え方であった。</p> <p>近代的な「経済学」の成立は、ヨーロッパ的な「市民社会」の発達との関係なしにはあり得ない。そこで近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」およびその後に登場してくる「プロレタリアート」が、「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察する。そのうえで、現代社会で「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていく。</p> <p>講義は15回であるので、次のスケジュールになる。</p> <p>第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開（01-05回）</p> <p>第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程（05-12回）</p> <p>第3章：現代の経済的諸問題（13-15回）</p>
履修上の留意点	<p>この科目は講師からの一方通行的講義によるものではなくて、受講生の社会思想を通じた参加型のカリキュラムを目指しているため、受講生の積極的参加が重要視される。したがって次のようになる：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 出席の確認（授業中に適宜実施される） 2 3回のレポートの作成
成績評価の方法	「成績評価」は以上の形で行い、「定期試験」は実施しない。したがってこの「定期試験」に伴う、「追試験」等を行わないので注意して欲しい。
教科書	阿部弘：『労働と所有』、八千代出版、1983
参考書等	阿部弘：『「経世済民論」と「経済学」』、創成社、2009 適宜授業中に指定する。

履修コード	312621
科目名	社会思想史 b
担当者名	阿部 弘 <small>あべ ひろし</small>

講義のねらい

私たちが何気なしに用いている「市民」という概念が私たち自身の「社会」との関わりのなかでの概念であり、そして、この「市民」・「市民社会」の成り立ちと共に「経済学」もまた形成されるのであるが、それは「国家」的なシステムの構築と共にあることを明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール

「経済学」という科学は人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持つ。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入ってヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしている。

さて「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた「帝王学」的な政治・経済の倫理・政策論に求められる。この場合に重要なのは古代中国で培われてきた「経世済民」という考え方である。この論の本質・その発展を追っていくことによって現代の「経済学」にもつながるこの論は、資本家的な生産システムが人間それ自体をコスト原則で規定していった、「格差社会」なるもの作り上げて、それをさも「高度な社会」であるかのように吹聴する資本家的な国家体制のなかで、まさにこの非人間的な体制を根本から見直すべきものをもっている。

そこでこの講義体系では「経世済民」論の成立過程そしてその本質と現代へつながっていく要素を明らかにして、現代にあってこの論の持つ意義を観ていく。

講義は15回であるから、つぎのようなかたちになる：

- 第1章：「経世済民」思想（01-05回）
- 第2章：「経世済民論」と「経済学」（06-12回）
- 第3章：「経世済民論」と現代（13-15回）

履修上の留意点

この科目は講師からの一方通行的講義によるものではなくて、受講生の社会思想を通じた参加型のカリキュラムを目指しているので、受講生の積極的参加が重要視される。したがって次のようになる：

- 1 出席の確認（授業中に適宜実施される）
- 2 3回のレポートの作成

成績評価の方法

「成績評価」は以上の形で行い、「定期試験」は実施しない。したがってこの「定期試験」に伴う、「追試試験」等を行わないので注意して欲しい。

教科書
参考書等

阿部弘：『「経世済民論」と「経済学」』、創成社、2009
適宜授業中に指定する。

履修コード	307401
科目名	西洋経済史
担当者名	友松 憲彦

講義のねらい この講義は近代ヨーロッパと北アメリカの経済発展の歴史について説明しますが、中心は18世紀末から19世紀にかけての工業化（産業革命）についてです。

現在、世界経済の3つの中心は、EUとして政治経済的統合を進める「ヨーロッパ」、アメリカ合衆国を中心とする「北アメリカ」、そして日本や近年成長著しい「アジア」です。これらの地域は、いずれも工業化に成功したか、あるいは成功しつつあるという共通の歴史的経験をもっています。工業化とはなにか、それはどのようにしておこり、経済や社会をいかに変化させたのか。また、工業化により現われた社会経済問題に対してどのような改革が進められたのか。講義では世界最初の工業化に成功したヨーロッパ（とりわけイギリス）の事例を中心に説明します。さらに、ヨーロッパの工業化が他の地域にどのような影響を与え、世界経済をどう変容させたのか、工業化がもたらした光だけでなく影にも注目します。

近代西洋経済の歴史を学ぶことで、現在の世界経済の成立過程と、それが抱える諸問題を理解するための手がかりを得ることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

1. 講義のねらい
 - (1) 資本主義市場経済
2. 前近代の経済 -封建制-
 - (2) (3) 農村と農業, (4) (5) 都市と商工業
3. 資本主義の成長
 - (6) (7) 「封建制の危機」と資本主義の誕生, (8) (9) 農村工業の成長, (10) 農業革命, (11) 海外市場の発達, (12) 国内市場の発達
4. 資本主義の確立-イギリス産業革命（工業化）
 - (13) 産業革命の原因, (14) (15) 産業革命の過程, (16) (17) 産業革命の結果, (18) (19) 経済・社会問題の改革
5. 世界資本主義の形成
 - (20) イギリス経済と世界経済, (21) (22) (23) 後発国の産業革命, (24) (25) 脱工業化
6. 資本主義の変質
 - (26) 「大不況」と資本主義の構造変化, (27) 国際経済, (28) (29) 帝国主義と植民地
7. まとめ
 - (30) 現代への展望

**成績評価の方法
教科書
参考書等**

定期試験（年度末）、授業中に行う小レポートに出席状態を加味します。とくに指定しませんが、毎回資料を配布します。

長岡・太田・宮本編著『世界経済史入門』ミネルヴァ書房、1992年

岡田泰男編著『西洋経済史』八千代出版、1996年

原輝史・工藤章『現代ヨーロッパ経済史』有斐閣、1996年

岡田泰男著『アメリカ経済史』慶応義塾大学出版会、2000年

楠井他著『エレメンタル西洋経済史』英創社、2006年

履修コード	307201
科目名	経済政策
担当者名	<small>まつまえ たつよし</small> 松前 龍宜

講義のねらい

本講義は、経済政策に関する様々なトピックとその背景にある基礎理論を学び、各々の経済政策がどのように私たちの生活に影響を及ぼしているのかを理解してもらうことを目的とする。本講義の特徴は、多くの専門分野における経済政策に関するトピックを、ミクロ経済政策（参入規制、価格規制、特定産業の保護政策）、マクロ経済政策（成長政策、財政・金融政策による安定化政策）、所得再配分政策（税制の公平性、社会保障制度、世代間所得移転問題）の3部に統一的に分類し、バランスよく解説することにある。講義の方針としては、数式の利用を極力避け、表やグラフを利用して直感的に理解してもらうこととする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 経済学と経済政策の基礎知識 1
2. 経済学と経済政策の基礎知識 2
3. ミクロ経済政策 1：市場への政府介入
4. ミクロ経済政策 2：公共事業と競争政策
5. ミクロ経済政策 3：外部性と公共財
6. ミクロ経済政策 4：情報の経済学と経済政策
7. マクロ経済政策 1：成長政策の理論と課題
8. マクロ経済政策 2：安定化政策の基礎と財政・金融政策
9. マクロ経済政策 3：インフレ・デフレと失業
10. マクロ経済政策 4：安定化政策の現代的課題
11. 所得再配分政策 1：所得再配分政策の基礎知識
12. 所得再配分政策 2：税制の効率性と公平性
13. 所得再配分政策 3：年金と医療政策

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

数学の知識は特に必要としない。

試験60%、レポート40%で評価する。

岩田規久男、飯田泰之、(2006)、『ゼミナール経済政策入門』、日本経済新聞社、3200円（税別）、ISBN 4-532-13310-6

参考書等

ミクロ経済学：武隈慎一、(1999)、『ミクロ経済学』、新世社
マクロ経済学：吉川洋、(2001)、『マクロ経済学』、岩波書店

その他の

板書による講義形式である。

履修コード	309101
科目名	農業政策
担当者名	溝手 芳計

講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、食料問題を入口として、現代農業の産業的特質との関連で日本の農業問題・農業政策について、経済学の視点から説明します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「農業政策」とは（2回）
2. 食料問題と食料政策（7回程度）
3. 農業の特質と現代農業（5回程度）
4. 戦後日本の農業問題と農業政策（7回程度）
5. 農産物価格問題と価格・所得政策（7回程度）

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験（年度末）を基本としますが、授業中に行う小テストの結果を20点の範囲で加点して採点します。追試験有り。

教科書

田代洋一『新版農業問題入門』、大月書店、3150円、ISBN978-4-272-14046-6

参考書等

※ 授業中には使いませんが、予復習してください。

大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』、有斐閣、2100円、ISBN4-641-28094-0

加瀬良明編著『グローバル資本主義と農業』、筑波書房、2940円、ISBN978-4-8119-0332-3 C3033

中野一新・岡田知弘編『グローバル化と世界の農業』、大月書店、3150円、ISBN978-4-272-14055-8

橋本卓爾ほか編著『食と農の経済学』、ミネルヴァ書房、3150円、ISBN4-623-04012-7

履修コード	308701
科目名	経済地理
担当者名	矢延 洋泰

講義のねらい

経済的諸活動の空間構造を地理学的に捉えてみたい。なかでも世界で最も経済発展が著しい東アジア地域を中心に考察します。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 地理学の中における経済地理学とは
- (2) 経済を中心にみた世界史の潮流
- (3) 経済社会の変化を探る
- (4) 東南アジアの基礎知識
- (5) アジア・ダイナミズムの源泉を探る—OECD レポートの衝撃とその分析、アジアNIES誕生の意味。
- (6) 成長の基層文化
- (7) 戦後日本の経済発展と周辺アジアとの関係
- (8) 東南アジアにみる地域協力機構の色々—ASEANの成立過程、シンガポールの経済開発と成長の限界、成長の三角地帯構想の背景、
- (9) 冷戦崩壊後の世界と日本—冷戦とバブル崩壊後の日本の対応、幻のEAEC構想とAFTA実現の意味、太平洋を跨ぐAPECの思惑、日米中が描くASEANを核にした地域協力、
- (10) 「ハブ」と「スポークス」の考え方
- (11) 大航空時代の周辺アジアと日本の動向

履修上の留意点

学ぶことに意欲を持ち、アジアに興味と関心のある学生を期待します。文献紹介は適宜するつもりですが、それらは必ず読むようにしてください。

成績評価の方法

学期末の筆記試験（80%）と、授業内に提出を求める課題、アトランダムに取る出席（20%）で評価します。

教科書

教科書は使いませんが、適宜プリントを配布します。配布は基本的に2週としますので、忘れずに取得するようにして下さい。

参考書等

矢延洋泰『インサイト東南アジア』勁草書房 3255円 ISBN4-326-65182-2

その他

質問は授業の後に受け付けます。諸般の事情で授業スケジュールを変更する場合があります。

履修コード	311311
科目名	中小企業論
担当者名	吉田 敬一

講義のねらい	商店街のパン屋さんも中小企業、ハイテク製品を造るベンチャーも中小企業。中小企業は異質で多様な形で存在しています。しかも戦後日本の経済発展において中小企業は意外に大きな役割を果たしてきました。この点に関して自動車工業を事例として明らかにし、中小企業の実態を考えることが、この講義の目的です。
講義の内容・授業スケジュール	講義ガイダンス (1) I 中小企業の基礎理論 I-1 中小企業の法的規定(2) I-2 中小企業の経営類型(3) I-3 中小企業の企業形態(4) I-4 日本型下請構造の特質(5~6) II 日本型下請システムの形成過程、 II-1 日本経済復活期の生産分業構造(7~8) II-2 高度経済成長期の下請管理の合理化(9~10) II-3 自動車工業の急成長と日本型下請構造の確立(11~12) II-4 グローバル化と日本型下請け構造の改変(13~14) 講義のまとめ(15)
履修上の留意点	中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。
成績評価の方法	成績評価は定期試験(前期末:80点)とレポート(最終授業日提出:20点)を基準として行ないます。追試験は実施します。
教科書 参考書等	教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。 『中小企業白書』 吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房 吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版 渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣 『世界を制した中小企業』講談社現代新書

履修コード	311401
科目名	中小企業政策論
担当者名	吉田 敬一

講義のねらい	この講義は中小企業論の内容を前提として進めます。戦後日本の高度成長を支えた中小企業の革新過程を支援した中小企業政策の特徴を学ぶこと、さらに下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。
講義の内容・授業スケジュール	講義ガイダンス (1) 1 復興期の中小企業政策 (2~4) 2 高度成長と中小企業近代化政策 (5~8) 3 中小企業政策の大転換 (9~11) 4 経済のグローバル化と中小企業政策 (12~13) 5 中小企業と不正取引問題 (14) 講義のまとめ (15)
履修上の留意点	中小企業問題は国際経済・日本経済の動向と密接に絡み合っているため、毎日の新聞に目を通しておくことが望ましい。
成績評価の方法	成績評価は定期試験(後期末:80点)とレポート(最終授業日提出:20点)を基準として行ないます。追試験は実施します。
教科書 参考書等	教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。 『中小企業白書』 吉田ほか編著『産業構造転換と中小企業』ミネルヴァ書房 吉田ほか『グローバル化のなかの中小企業問題』新日本出版 渡辺ほか『21世紀中小企業論』有斐閣 『世界を制した中小企業』講談社現代新書

履修コード	312801
科目名	環境経済論
担当者名	山口 由二 <small>やまぐち ゆうじ</small>

講義のねらい

産業革命以降、人類は無限とも思える生産力を得て、それまでとは比べものにならない急速な経済発展・成長を成し遂げてきた。この大量生産、大量消費を美德とする社会における経済成長は、すべての人々に文化的で豊かな生活を与えるものとして、これまで、声高に異議を唱える者はほとんどいなかった。しかし、21世紀が間近にせまる現在、様々な矛盾が露呈してきている。そのもっとも大きな問題が、環境問題である。

現在の環境問題は、かつての水俣病に代表される公害問題のように加害者と被害者が明確に分離されるものばかりではなく、地球温暖化のように、ほとんどすべて人々が加害者であると同時に被害者となりうる問題や、熱帯雨林の破壊や、酸性雨問題のように、貧しきゆえに引き起こされ、そのことが南北問題にまで発展しているより複雑な問題もある。

本講義では、経済成長と環境の相互関係を歴史的視点と理論的視点の両視点から論ずると共に、様々な事例を提示して経済成長の意味や、経済成長と環境破壊とのトレードオフの関係について論じる。この講義を通して、受講者の方々に環境経済学への問題意識を喚起したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、おもに、資源・環境問題、及び環境経済学を理論的に論じる。その上で、後期では、地球温暖化問題、国有林や東京湾の漁業のコスト・ベネフィット分析、捕鯨問題、自動車の社会的費用、ダイオキシンの問題、農業の環境問題など様々な事例を取り扱う。

履修上の留意点

本講義は、近経の基礎的知識を必要とするが、講義過程でその都度、簡単に復習を行いたい。環境経済学は、まだ確固とした学問体系が出来上がっておらず、発展的余地があり今後ますます重要となる研究分野である。この講義で積極的な質問や議論がでることを希望する。

成績評価の方法

前期はレポート、後期はテストを行う。
また、適宜に簡単なレポートを提出していただき、これも考慮する。

**教科書
参考書等**

- 未定、最初の授業時に指定する。
- ・K.W.カップ著 篠原泰三訳『私的企業と社会的費用』(岩波書店)
環境経済学の古典的名著。生産過程で第三者や社会が受ける、公害、環境汚染による損失を社会的費用として、大気汚染、水質汚染、動植物の絶滅、人災、エネルギーの枯渇、森林の濫伐等について理論と実際の両面で分析を試みている。1905年に原著は刊行されている。
- ・宇沢弘文著『自動車の社会的費用』(岩波書店)
若い人ならば皆大好きで、現代社会においてこれなしには成り立たないと思われる自動車の外部不経済性を徹底的に追求した名著。私が自動車の免許を取らないのもこの本を読んだため？。宇沢氏は日本の近経の一人者で、ノーベル賞をもらってもまさか文化勲章はもらまいと思いましたが…。ちょっと古い本だがおすすめ。
- ・宮本憲一著『環境経済学』(岩波書店) 3,600円ぐらい
筆者は公共経済学者、政治経済学者の立場から長年様々な公害問題に立ち向かってこられた。環境経済学を「容器の経済学」と称し、環境をあらゆる経済活動の「容器」としてとらえている。やはり、読んでおいてほしい本。

履修コード	313511
科目名	公共経済学 a
担当者名	鈴木 伸枝

講義のねらい 社会福祉や環境政策はなぜ必要か。どのような政策が望ましいのか。理想をすべて満たすような政策はあるのか。ないとすれば、どのような政策なら実現可能なのか。そして実施された政策はどんな効果をもたらすのか。公共経済学では、こうした問題をミクロ経済学的手法を用いて考えます。『公共経済学 a』は、基礎理論の習得が中心となります。『公共経済学 b』では環境問題や所得再分配などの現実の諸問題に関連付けながら、より高度な理論を紹介していきます。この講義をしっかり理解すれば、講義時間内で扱いきれない多くの政策についても習得した理論を応用して自分で考えたり、専門書を読んでさらに知識を深めることができるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

- 「ガイダンス」(第1回)
- 「政府の役割」(第1～2回)
- 「日本の政府」(第2～3回)
- 「数学的準備 I：微分」(第3～4回)
- 「生産者理論：完全競争・独占・寡占」(第4～8回)
- 「課税・価格統制」(第8～10回)
- 「競争均衡の効率性・公平性」「消費者理論 I：無差別曲線」(第11回～)

履修上の留意点 公共経済学というのは数学を多用する分野です。予備知識は要求しませんが、講義で習ったことを理解するまで復習できる根気のない人には履修をお勧めしません。

成績評価の方法 基本的には試験の得点で評価します。講義資料の誤植を指摘してくれた場合にはボーナスポイントを加味します。小テスト提出がボーナスポイントの対象となることもあります。

教科書その他 特に指定しません。YeStudy を活用します。

履修コード	313521
科目名	公共経済学 b
担当者名	鈴木 伸枝

講義のねらい 社会福祉や環境政策はなぜ必要か。どのような政策が望ましいのか。理想をすべて満たすような政策はあるのか。ないとすれば、どのような政策なら実現可能なのか。そして実施された政策はどんな効果をもたらすのか。公共経済学では、こうした問題をミクロ経済学的手法を用いて考えます。『公共経済学 a』は、基礎理論の習得が中心となります。『公共経済学 b』では環境問題や所得再分配などの現実の諸問題に関連付けながら、より高度な理論を紹介していきます。この講義をしっかり理解すれば、講義時間内で扱いきれない多くの政策についても習得した理論を応用して自分で考えたり、専門書を読んでさらに知識を深めることができるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

- 「『公共経済学 a』復習」(第1回)
- 「消費者理論 II：効用最大化」「数学的準備 II：偏微分」(第2～4回)
- 「外部性」(第4～9回)
- 「公共財」(第9～12回)
- 「応用：環境問題・所得再分配・教育・年金・医療」(第12回～)

履修上の留意点 公共経済学というのは数学を多用する分野です。予備知識は要求しませんが、講義で習ったことを理解するまで復習できる根気のない人には履修をお勧めしません。

成績評価の方法 基本的には試験の得点で評価します。講義資料の誤植を指摘してくれた場合にはボーナスポイントを加味します。小テスト提出がボーナスポイントの対象となることもあります。

教科書その他 特に指定しません。YeStudy を活用します。

履修コード	308601
科目名	金融論
担当者名	代田 純 <small>しろた じゆん</small>
講義のねらい	通貨など金融の基本から説明する。小切手・手形を踏まえ、銀行貸出へと進む。最終的に公的金融、証券市場を含む、金融の全体像の理解を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	年間を通じた授業の流れとしては、以下のような予定である。 1 金融とは、2 通貨とは、3 小切手・手形とは、4 ペイオフ解禁とは、5 銀行貸出とは、6 金利とは、7 金融市場とは、8 証券市場とは、9 国債とは、10 金融機関とは、11 公的金融とは、12 財政投融资とは、13 郵便貯金とは、14 簡易保険とは、15 公的年金とは、16 政府系金融機関の再編とは
履修上の留意点	OHPにより授業を進める。原則として板書はしない(チョークによる環境問題もあるため)。この授業をフレックスA全学年、商学科2年生以上が履修登録できます。
成績評価の方法	定期試験(80点)とレポート(20点)により評価する。出席は評価点に関係しない。追試験は実施する。
教科書	代田 純著、『図説 やさしい金融財政』(丸善)、定価1800円+税、ISBN-621-07708-2を使用する。
参考書等	レポートの際に、 代田 純著、『日本の株式市場と外国人投資家』(東洋経済)2002年 代田 純編、『日本の国債・地方債と公的金融』(税務経理)2007年のいずれか(本人の選択による)を使用する。
その他	出席はとらないが、私語は厳禁する。

履修コード	311801
科目名	社会政策
担当者名	光岡 博美 <small>みつおか ひろみ</small>
講義のねらい	社会政策という科目は、経済学のなかでも古い歴史をもっている。その詳細については最初の講義で解説する。この講義計画では、社会政策とは、資本主義社会の各々の時代において発生する社会問題の原因を学問的に究明し、その問題を解決するための政策を多面的に研究することを目的とする学問である、と定義しておきたい。そして、この場合、社会政策という学問のなかで特に重視されてきたのは、労働問題や社会保障・福祉 etc といった社会問題である。経済学という研究の分野は、財・サービスの生産・分配・消費に関する研究としてイメージされるが、これにたいして社会政策は労働力と生命の再生産が、どのような社会・経済のシステムとの関連で展開されているのかを研究する学問であるといっていよい。
講義の内容・授業スケジュール	このような大きな領域を全般的に講義することは不可能であるから、この講義では現代の日本社会を念頭に置き、そこで重要と思われるテーマを設定し、各々のテーマについて講義、解説する。 年間の具体的な講義スケジュールは、(1)現代日本の労働・雇用問題(5回)、(2)社会政策、労働関係、労働組合の理論(5回)、(3)戦後日本の労使関係史(6回)、(4)福祉国家の歴史と理論(3回)、(5)日本型福祉の現実(3回)、(6)現代日本の女性労働、フェミニズム論、(3回)を予定している。
履修上の留意点	受講者数が多いせいもあり、私語によって、授業が円滑に進行しないことがある。授業に支障が生ずる場合、厳しい措置を取る。
成績評価の方法	期末試験で評価する。具体的な内容は授業時に詳しく説明する。
参考書等	講義の内容と関連して参考書を適時指示する。また、毎講義ごとにレジュメを配布する。

履修コード	311701
科目名	人口論
担当者名	森岡 仁 <small>もりおか じん</small>

講義のねらい 本講義は経済人口学の立場から、経済と人口の相互依存関係を理論的、実証的に論ずる。マルサスの人口波動理論に始まり、出生力の経済学に至る理論篇から、現在わが国に進行する少子高齢化人口減少の実状とその経済に及ぼす影響を追及する実証篇まで、人口がいかにわれわれにとって身近な問題を提起しているかを明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール (1～8) 経済人口学とは何か、A.スミスの人口論、T.R.マルサスの人口波動理論、K.マルクスの相対的過剰人口論、J.S.ミルの人口論、E.キャナンの適度人口論、J.M.ケインズの過少人口論、発展途上国の過剰人口問題、(9～13) 人口転換論、出生力の経済学の先駆者H.ライベンシュタイン、G.S.ベッカーの出生力の経済学、R.イースターリンの出生力理論、出生力理論の統合、(14～16) 第2次大戦直後の日本の過剰人口問題、経済の高度成長と人口要因、人口移動、(17～25) 人口高齢化とは何か、人口高齢化の諸指標、日本の人口高齢化、人口高齢化と従属負担、人口高齢化と貯蓄行動、人口高齢化と労働力、人口高齢化と社会保障、人口高齢化と所得再分配、所得再分配の世代間摩擦、(26～29) 少子化とは何か、家族政策、人口減少と技術進歩、人口減少と資源・環境、(30) 人口政策。

履修上の留意点 近年大きな関心事になっている人口高齢化や少子化、それに人口減少に関する知識をどのような手段を通じてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法 学年末の定期試験。追試験も実施する。
教科書 大淵寛・森岡仁『経済人口学』(新評論) 1981年2800円。1033-330172-3177。大淵寛・森岡仁編『人口減少時代の日本経済』(原書房) 2006年2800円。4-562-09112-6

参考書等 大淵寛『少子化時代の日本経済』(日本放送協会) 1997年
京極・高橋編『日本の人口減少社会を読み解く』(中央法規) 2008年、2200円。
その他 授業方法：講義

履修コード	309801
科目名	日本経済論
担当者名	山岡 暁 <small>やまおか あきら</small>

講義のねらい アジア・太平洋戦争での敗戦(1945年)から復興を成し遂げ、世界第2位の経済大国にまで発展した日本経済について、その復興から発展の歴史を明らかにし、また発展の結果として21世紀の現代日本社会が抱えることになった経済的諸問題とその解決の方策を探究することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール (1～2) 自分史・家族史と戦後日本の経済発展、(3～4) 日本経済の今、(5～7) 敗戦と占領、戦後復興、戦後改革、(8～10) 高度経済成長、大衆消費社会の成立、日本の企業システムの形成、(11～15) 経済大国化、「日本列島改造論」、2度の石油危機、「新中間層」、財政再建、経済摩擦と円高、バブル経済とその崩壊、(16～20) 「失われた10年」、金融危機、産業空洞化とサービス経済化、(21～25) 橋本構造改革から小泉構造改革へ、(26～29) 現代日本の雇用問題、(30) 今後の日本経済

履修上の留意点 日本経済新聞を購読し、1面や総合面、さらに経済教室面、企業面、「働く」面などを日頃から読むようにして下さい。

成績評価の方法 定期試験と中間レポートを中心に、授業の終わりに毎回提出してもらう「日本経済論一言カード」の提出状況を加味して評価します。

教科書 中村政則『戦後史』岩波新書、2005年、882円、4-00-430955-7。
参考書等 橋本寿朗『戦後の日本経済』岩波新書、1995年、672円、4-00-430398-2。
大槻久志『やさしい日本経済の話』新日本出版社、2003年、1785円、4-406-03044-1。
雨宮処凛『生きさせろ！／難民化する若者たち』太田出版、2007年、1365円、4-7783-1047-9。

履修コード	308901
科目名	国際経済論
担当者名	徳永 俊明 <small>とくなが としあき</small>

講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか?」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけではありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えになりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているのです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義社会経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは、〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としていますが、同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱としていることが重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

〈講義のテーマ(予定)〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日＝第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱を一つずつ検討します。

前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民地主義と世界経済
貿易・国際通貨制度・資本輸出——(「援助」と多国籍企業)・〈南北問題〉と新国際経済秩序
- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義を進めます。

成績は世界経済の基本事項、世界経済の“枝葉”ではなく、“幹”の理解度をミニ・レポート(2回予定)および学年末レポートで評価します。配分はミニ・レポート40点。学年末レポート60点。(レポート評価のため追試験は行いません。)

講義の中で適宜紹介します。

講義の内容・授業スケジュール

成績評価の方法

参考書等

履修コード	310201
科目名	アメリカ経済論
担当者名	<small>せとおか ひろし</small> 瀬戸岡 紘

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとりいれた授業です。

履修上の留意点

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。◇大統領選挙の動向、◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティ、◇ドルの地位、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

この講義は、アメリカ経済の個々の現象を羅列的に述べるようなことはしません。むしろ、日々報道されているアメリカ経済の事象を、みなさんが自力で読み解く力をつけるための話に徹します。アメリカものの本には書かれていない事柄をたくさんお話しすることによって、みなさんが講義に出席してよかったと実感してもらえたらありがたい、と考えています。

成績評価の方法

アメリカ経済を理解することは、この国が好きであれ嫌いであれ、現代世界経済全体を理解するためのカナメです。現代の国際事情を幅広く解明したい諸君は、この科目を早めに履修して、いっそう広範かつ深い国際理解へとすすむことをお勧めします。

教科書

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のたてまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、

- 瀬戸岡著『アメリカ理念と現実』（時潮社、2005年）
 - グリーンバーグ著・瀬戸岡訳『資本主義とアメリカの政治理念』（青木書店、1994年）
 - 瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』（桜井書店、2003年）
- をおすすめします。

履修コード	310111
科目名	EU統合論
担当者名	藤田 憲

講義のねらい	本講義は、域内において通貨統合を実現したEUの国際金融史的特色を、固定相場制が有する「為替変動リスク回避機能」という金融政策的観点から、実証的・理論的に論じる。 本講義の具体的目的は、「国際的通貨当局者間協力」、「中央銀行政策に対する信託」、「裁定取引を含めた国際資本移動」を鍵概念とした、第一次大戦前国際金本位制における「金」と21世紀初頭世界経済において存在感を増す「ユーロ」の相対化である。
講義の内容・授業スケジュール	I. EUにおける通貨統合から何を学ぶのか？ (①-②) II. 国際金本位制 (③-⑥) III. 再建金本位制 (⑦) IV. プレトンウッズシステム (⑧) V. 欧州決済同盟から欧州通貨同盟へ (⑨-⑬) VI. 為替変動リスク回避機能から観る「金」と「ユーロ」 (⑬-⑭)
履修上の留意点	国際経済・国際金融に関する基礎的知識を有していることが望ましい。講義の中で、適宜、EU統合関連のショート・ライティングを課すほか、ユーロ圏経済の現状を示す指標に関する小テスト、および発表予定の経済指標を予想するとともにその根拠を明示するレポートを課すことを検討している。「マネー」のダイナミズムに日ごろから接するよう努めること。
成績評価の方法	出席点 (1～2割)、講義への参加姿勢およびショート・ライティング (2～3割)、前期講義最終回に実施する中間テスト (5～7割)
教科書 参考書等	特に指定しない。 金井雄一 (1989) 『イングランド銀行金融政策の形成』名古屋大学出版会 ジョン・ウィリアムソン (須田美矢子・奥村隆平・柳田辰雄訳) (1990) 『世界経済とマクロ理論』多賀出版 金井雄一 (1994) 『ポンドの苦闘—金本位制とは何だったのか』名古屋大学出版会 藤瀬浩司 (2004) 『改定新版 欧米経済史』放送大学教育振興会 木畑洋一編 (2005) 『ヨーロッパ統合と国際関係』日本経済評論社 小野塚知二・沼尻晃伸編著 (2007) 『大塚久雄「共同体の基礎理論」を読み直す』日本経済評論社 遠藤乾編 (2008) 『ヨーロッパ統合史』名古屋大学出版会

履修コード	310121
科目名	現代西欧経済論
担当者名	工藤 芽衣

講義のねらい	本講義では、欧州通貨統合の基礎となった欧州通貨制度 (European Monetary System) のメカニズムの基礎を学びつつ、EMSへの参加やユーロ導入が、各国の国内経済社会政策とどのような点で問題となり、そして今後どのような問題が起こり得るのかを勉強していきます。個別の焦点としては、独仏英米の政策に焦点をあてることになります。
講義の内容・授業スケジュール	第1回～第3回 プレトンウッズ固定相場制とその崩壊 ① プレトンウッズ体制の設立 ② ドル過剰とプレトンウッズ体制の崩壊 第4回～第5回 スネークの発足と挫折 ① スネーク発足の背景とメカニズム ② スネークの挫折 第6回～第9回 欧州通貨制度 (EMS) の展開 ①EMSの設立 ②フランスとEMS—強いフラン政策への転換 ③ドイツ統一とEMS危機 第10～14回ユーロをめぐる諸問題 ① 財政安定協定と各国経済 ② イギリスの参加問題 ③ グローバル経済の中のユーロ 第15回 予備日
成績評価の方法	授業中に行われる小テスト、中間テストによる。
教科書	山下英次 『ヨーロッパ通貨統合』勁草書房、2002年。

履修コード	310301
科目名	ロシア・東欧経済論
担当者名	<small>やまがた ひろし</small> 山縣 弘志

講義のねらい

外国経済研究の課題は、その経済事情に通じることではない。むしろ、我々にとっては、日本経済の進むべき方向を考える上でのヒントをそこから引き出すことである。ロシア・東欧経済を研究する場合、異なる文化に基づく人々の行動様式の違い、経済体制の違いの基礎となる思想、体制転換によって露になった経済と人々の生活との関わり、これらのことが特に大きな関心と呼ぶテーマになるだろう。ロシアとソ連の歴史は常に価値判断を伴って語られてきた。多くの場合、証明されるべき結論が前提とされて議論された。そのため、議論はすれ違わざるを得なかった。こうした不毛を終わらせるためには、事実を前提として考えなければならない。事実とはしばしば諸君の常識を覆すはずである。

講義の内容・授業スケジュール

講義では主としてロシアを取り上げる。前期は、ロシア経済の現状分析と将来展望、問題点を明らかにする内容とし、全体として問題提起を狙いとする講義になる。後期は、歴史的なアプローチによって、問題に答えるためのいくつかの視点を示す。最終的に問題に答えるのは諸君である。

前期

- 1 ベレストロイカと体制転換
 - (1) 経済改革と停滞の時代
 - (2) ベレストロイカとその挫折
 - (3) 体制転換
- 2 ロシア・東欧経済の現状
 - (1) 市場経済化のショック療法
 - (2) 金融危機
 - (3) プーチンの時代
- 3 BRICs の発展と限界

後期

- 4 社会主義論とロシア革命
 - (1) マルクスの社会主義論
 - (2) ロシア革命とレーニン時代
- 5 ソ連型社会主義の確立と行きづまり
 - (1) 1930年代とスターリン
 - (2) ソ連型社会主義の特質
 - (3) 計画経済のフィクション
- 6 ロシア経済の独自性
 - (1) 帝政ロシアの資本主義発展
 - (2) ロシアと日本 — 比較経済の視点 —

履修上の留意点

常に現状に留意しそこから問題意識を喚起していきたいので、必ずしも授業計画通りに進まない。配布資料は必要最小限にとどめ、授業中にノートを取ることを推奨する。ウェブ時代にはむしろそれが学習能力を高めるために必要と考えるためである。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持ち込み可、60点配点）によって行う。ダウンロードしただけのレポートは認めない。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。

教科書その他

教科書は存在しない。参考書は適宜指示する。
板書には注意を払うが、時間の関係で読みづらくなることもあり得るので、許していただきたい。聞きながら書く習慣を身につけて対応できるものと期待する。

履修コード	311901
科目名	情報・経済ネットワーク論
担当者名	中済 光昭 <small>なかつみ みつあき</small>

講義のねらい この講義では、情報が経済学でどのように扱われているかについて議論します。具体的には「経済学と情報」「デジタルエコノミーとはなにか」「ICTによって何が変わるのか」「情報ネットワーク経済の基盤となる情報システムとは」「電子商取引とは」について理解し、事例を通じてインターネット上の電子商取引、オンラインバンキング、オンライントレードなどについて理解を深めていきます。講義では、コンピュータを操作して情報システムについて実習し、また電子掲示板などを活用し教員と皆さんが双方向に意見を交換するようにしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

(1) 教場のパソコンの使い方、受講上の注意など
(2)～(6) インターネットのサービスを使ってみる(株取引シミュレーション、グループウェア、経営情報システムの実例(SAP ERP))。
(7)～(15) 情報システム概論 —コンピュータのコスト構造、組織変革論、技術概論
(16)～(21) 情報経済システム論 —情報とは、カジノテーブルと収獲増の法則、情報の非対称性、デジタルエコノミーとは
(21)～(26) 電子商取引概論 —電子商取引のインパクト、電子決済概論、法制度
(27)～(29) インターネットビジネス概況 —マイクロソフトにみる情報とビジネス戦略、Web2.0 やロングテール、google のビジネスモデル、インターネットビジネスを覆う危機
(30) まとめ

履修上の留意点 ワープロ、表計算、メール、ホームページ検索などの基本的操作ができる前提で講義を行います。課題提出や講義中の議論には、パソコンやインターネットを活用します。パソコン初心者には、まず、コンピュータ基礎、基礎情報処理I・IIや情報入門I・IIを履修することをお勧めします。

成績評価の方法 講義時の課題、夏季休業時に課すレポートと授業内テストによります。卒業年次生においても期限までにレポートを提出しないものは、単位を認めません。

教科書等その他 初回の講義で指示
初回の講義で指示
・本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがあります。初回の講義で履修許可票を配布することがあるので「必ず」出席すること。卒業年次生についても例外は認めません。
・KOMAnetに登録している前提で講義を行なうので、KOMAnet 未登録者は4月初旬に4号館1F自習室に行き、登録手続きを行なうこと(登録なしに受講することは講義内容上困難です)。
・講義に関する質問などは、nakasumi@komazawa-u.ac.jp にメールすること。

履修コード	312401
科目名	情報処理論
担当者名	岩瀬 弘和 <small>いわせ ひろかず</small>

講義のねらい 高度情報化社会といわれている現代社会において、コンピュータグラフィックス(CG)は様々なところで利用されており、今後、インターネットにおける技術向上やコンピュータの家庭内への普及とともに、CGを作成したり鑑賞する機会が急速に増大するものと予想される。

この講義では、CGの概要から始まり、CG作成のための基本的な理論を学習していく。その際、既存のCG作成ソフトを使用しながらその技術を習得するとともに、CG理論の理解を深めていく。さらに、現在CGが応用されている分野を知り、今後どのようにCGが活用され、発展していくのかについて議論する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・コンピュータグラフィックスとその展開
- ・2次元CGの作成と変換理論の習得
- ・3次元図形の表示技術(投影方法と透視変換、陰線処理と陰面処理など)
- ・自由曲線の種類とその理論(ベジエ曲線、Bスプライン曲線など)
- ・自由曲面の種類とその理論(ベジエ曲面、Bスプライン曲面など)
- ・3次元モデリングの実際、コンピュータアニメーションなど

上記の理論を学習するとともに、Photoshop、VRML、Java Script などの使用方法についても習得する。

履修上の留意点 パソコン使用経験者が望ましい。
成績評価の方法 出席状況および提出課題にて評価する。

教科書等 配布資料。
参考書等 田中成典、小林孝史(編)『VRMLの達人』(森北出版)
黒瀬能幸『3次元図形処理工学』(共立出版)

履修コード	307501
科目名	商学総論
担当者名	大吹 <small>おおき</small> 勝男 <small>かつお</small>

講義のねらい

大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を身につけることです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。諸君が、悩みに悩み、迷いに迷って、大人になっていくところが、大学という場です。キャリアを積んだビジネスマンから多く聞くことは、学生時代に「学問」をしておくべきであったということです。諸君も、過労死や過労自殺をすることなく、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に物事を考える能力を身につけてください。そして、社会人として現実には困難な問題に直面しても、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。

講義の内容・授業スケジュール

(1～3) 商品、貨幣および資本 (4～7) 商品の生産過程と価値増殖の仕組み (8～16) 資本の流通過程、流通時間、販売および購買費用、商品在庫と保管費用、市場と商品の輸送、倉庫業および輸送業 (17～20) 商業資本の本質と機能、商業資本自立化の利益と根拠 (21～28) 商品買取資本と商業利潤、純粋流通費用および商業的可変資本と商業利潤、純粋流通費用および商業的可変資本の回収・補填 (29～30) 商業的賃労働者・ホワイトカラー労働者と商業利潤

成績評価の方法
教科書

成績は期末試験により評価します。
大吹勝男著『流通諸費用の基礎理論』梓出版社1500円
大吹勝男著『商業資本の基礎理論』梓出版社1500円

履修コード	307611
科目名	企業経営学 a
担当者名	名取 <small>なとり</small> 修一 <small>しゅういち</small>

講義のねらい

企業経営活動は、利潤生産・商品生産過程において、生活の糧を提供し、人々の「豊かさの創造」機会をも生み出している。そして企業が存続し続けるためには利潤達成を実現すると同時に、社会的責任の遂行がなされなければならない。本講義では、こうした観点に立って経営者・管理者行動に視点を当てる。

講義の内容・授業スケジュール

企業経営学 (a) では、企業経営活動を全般に渡って概観する中で、「企業とは何か」を中心に講義する。そこでは、単に企業そのもの定義や概念を理解するだけでなく、「活動体」であり「存続体」であるという視点から企業と環境の構造的、体系的連関の構図の把握を目指す。
まず、資本と労働の構造的・機能的な関係からの二重性、また国内・国際市場との複層性を理解する。その上で、国際社会化、情報社会化の展開とともに、たとえば労働生産性の追求と超高齢社会、人々の生活と機械的合理主義、国内ならびに国際的格差の構造化、自然環境や生活圏の保全と物質的豊かさの追求問題等を考察し、広い視野から企業の実像を探る。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

受講生は、新聞等のメディア情報を積極的に見ておくことと自分自身の独自ノートを創ること。
受講態度 (出席状況) ・レポート・定期試験により評価する。
百田義治編著『経営学 基礎』(中央経済社)
鈴木幸毅著『環境経営学・環境経営学の確立に向けて』(税務経理協会)、名取修一・市川 彰編著『現代経営学要論』(同友館)

その他

講義形式で進めるが、適宜学生との相互授業に心がける。授業内容に応じて資料を配布する。

履修コード	307621
科目名	企業経営学 b
担当者名	名取 修一

講義のねらい 企業経営活動は、利潤生産・商品生産過程において、生活の糧を提供し、人々の「豊かさの創造」機会をも生み出している。そして企業が存続し続けるためには利潤達成を実現すると同時に、社会的責任の遂行がなされなければならない。本講義では、こうした観点に立って経営者・管理者行動に視点を当てる。

講義の内容・授業スケジュール 企業経営学 (a) で理解した企業活動の構造的な理解の上から、経営学の体系的な理解を目指す。経営学の各論を整理し、それぞれの理論的・実践的理解と統合化を主たる命題として講義するなかで、受講生各自が自らの視点と問題意識を持つことができるように努めたい。

企業による生産主体としての活動は、その構造的視点と行動的視点の統合において理解されなければならない。今日、企業経営活動は構造改革が展開され、またそれに伴ってさまざまな制度改革が勧められている。「日本的経営」の優位性が変異し、従来とは大きく様変わりしてきている。後期の授業は、学生自身が積極的に問題視角を形成していくよう、講義の進行に努めたい。

履修上の留意点 受講生は、新聞等のメディア情報を積極的に見ておくことと自分自身の独自ノートを創ること。
成績評価の方法 受講態度（出席状況）・レポート・定期試験により評価する。

教科書 百田義治編著『経営学 基礎』（中央経済社）
参考書 鈴木幸毅著『環境経営学・環境経営学の確立に向けて』（税務経理協会）、名取修一・市川 彰編著『現代経営学要論』（同友館）

その他 講義形式で進めるが、適宜学生との相互授業に心がける。授業内容に応じて資料を配布する。

履修コード	307101
科目名	会計学総論
担当者名	石川 純治

講義のねらい 変容する現実社会のなかで会計がどのように機能しているか、といった点の学習が大切である。本講義をとおして、変容する現代の会計のトータルな理解と将来の予見に役立つことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 大きく変容する現代の会計を読み解くため、「歴史」、「理論」、「社会」の3つの視軸をとおして講義を進める。

成績評価の方法 小テスト（2回）と定期試験の総合評価。

教科書 石川・齋藤『現代の会計』放送大学教育振興会。

参考書 その都度指示。

履修コード	307901
科目名	簿記論
担当者名	鈴木 勝浩

講義のねらい 簿記は、企業の経済活動を貨幣価値的に把握し、一定の記帳原理に基づいて記録・計算する方法である。現在企業ではコンピュータによる会計処理が主流となっているが、その基本には複式簿記の原理があり、マニュアル方式による簿記と何の変わりもない。また簿記は会計関連科目を学ぶ上で基礎的前提となるものであるため、初めて会計を学ぶ学生を考慮に入れ、複式簿記の原理をわかりやすく解説を行っていく。

講義の内容・授業スケジュール (1) 簿記の歴史 (2) 簿記の意義 (3) 簿記の基本原則① (4) 簿記の基本原則② (5) 簿記の基本原則③ (6) 現金預金 (7) 商品売買① (8) 商品売買② (9) 債権債務① (10) 債権債務② (11) 手形① (12) 手形② (13) 有価証券 (14) 固定資産① (15) 固定資産② (16) 資本金と引出金 (17) 収益と費用① (18) 収益と費用 (19) 税金 (20) 補助簿① (21) 補助簿② (22) 伝票会計① (23) 伝票会計② (24) 決算手続① (25) 決算手続② (26) 決算手続③ (27) 決算手続④ (28) 財務諸表① (29) 財務諸表② (30) コンピュータと簿記

履修上の留意点 簿記はその性格上、知識の積み重ねが必要であるためなるべく欠席しないこと。また簿記は一定のルールさえ習得してしまえばその後の理解は容易である。したがって講義のスタートを大事にしたと考えており、学生諸君もそのつもりでいて欲しい。

成績評価の方法 定期試験・提出課題・出席率の総合評価で行う。

教科書 加古宜士・渡部裕宣編著『新検定簿記講義 3級商業簿記』（中央経済社）

参考書 加古宜士・渡部裕宣編著『新検定簿記ワークブック 3級商業簿記』（中央経済社）

その他 講義の際には、電卓を持参すること。

履修コード	313401
科目名	憲法
担当者名	内田 <small>うちだ まりこ</small> 真利子

講義のねらい	市民と公権力との関係、個人と集団との関係、少数者と多数者との関係において、憲法の実在意義を再確認すること。受講者が、自分自身に関わる問題として憲法に興味を持つためのきっかけにしたい。
講義の内容・授業スケジュール	政治の動向、社会的事件、受講者にとっての身近な関心事などを題材に選び、「憲法」の視点から問題点の整理および検討を行う。具体的なテーマは、現実社会の変化に応じて、また受講者からの要望に応じて、適宜選択していく。網らざる領域は幅広い、というよりほとんど制限がないと言ってもよい。あくまでも一例を以下に挙げる。環境、平和、象徴（日の丸・君が代・天皇制）、家族と法、子どもの人権、職場における人権、医療と人権、性愛の自由、外国人の人権、宗教と人権、犯罪と法、報道と人権、表現の自由、性差別……。
履修上の留意点	毎回の授業への参加が履修の最低条件。形式的な出席にとどまらず、主体的・積極的な参加意欲・努力を期待する。
成績評価の方法	通常授業時間中に年1回もしくは2回テストを行う。このテストのほか、授業中の発言・提出物などについても成績評価の対象とする。
教科書 参考書等 その他の	授業で指示する。 六法（出版社、サイズは問わない）、少なくとも日本国憲法の全条文。 追試は行わない。やむをえない理由によりテストを欠席した場合、レポート提出をもってテスト受験に替えることを認める。

履修コード	307801
科目名	民法一部
担当者名	織田 <small>おだ てるこ</small> 晃子

講義のねらい	民法総則、物権が講義の対象です。具体的な事件、従って判例をなるべく使って基礎的な力をつける。
講義の内容・授業スケジュール	（1～4）権利の主体、特に自然人について権利能力、意思能力、行為能力、不在者、失踪宣告（5）権利の客体（6～9）権利の変動として法律行為、意思表示、代理、無効及び取消、時効等（10～12）物権変動（13～15）抵当権（16～20）譲渡担保（21～22）仮登記担保（23～25）所有権留保（26～30）買戻し・再売買の予約
履修上の留意点	六法は必ず持参すること
成績評価の方法	期末試験の成績による
教科書 参考書等 その他の	『民法第二版①総則・物権法』（勁草書房）、ポケット六法（有斐閣） プリント配布

履修コード	325002
科目名	民法二部
担当者名	<small>なかに ひでゆき</small> 中田 英幸

講義のねらい 本講義は、債権法の共通規則である債権総論を学習することを目的とする。債権総論とは、具体的には民法第3編債権第1章総則（およびその特別法）を指し、債権に関して共通して妥当する規則をまとめたものである。それゆえ、債権総論は債権法の根幹を成すが、難解な領域でもある。講義は、抽象的な規定の有する実質的な意味を明らかにして、わかり易くする。

講義の内容・授業スケジュール

- (1)序論(1)
 - ①債権総論とは何か②債権とは何か
- (2)債権の「目的」(2-3)
 - ①債権の「目的」の意味②債権の種類
- (3)債権の効力(4-13)
 - ①履行の強制②債務不履行③責任財産の保全④第三者による債権侵害⑤債権者遅滞
- (4)債権債務の移転(14-18)
 - ①債権譲渡②債務引受
- (5)債権の消滅(19-24)
 - ①弁済②供託③代物弁済④相殺⑤更改・免除・混同
- (6)多数当事者の債権関係(25-30)
 - ①債権者が多数である関係②分割債務③不可分債務④連帯債務⑤保証債務

履修上の留意点

債権総論と債権各論が合わさって債権法を構成するので、債権各論も同時に履修することが望ましい。

最新の六法は必ず持参すること。講義の内容などについて良く分からない点や疑問に思うことがあれば、いつでも質問してほしい。

成績評価の方法

期末試験により評価する。

**教科書
参考書等**

野村豊弘ほか著『民法III－債権総論（第3版）』（有斐閣、2005年）

星野英一ほか編『民法判例百選II債権（第5版新法対応版）』（有斐閣、2005年）（来年度までに第6版が出版された場合には第6版）

他の文献は講義中に指示する。

履修コード	308801
科目名	商法一部
担当者名	<small>いのうえ けんいち</small> 井上 健一

講義のねらい

企業活動の内部的な規整である会社組織に関する法規整（いわゆる形式的な意味での会社法）について講義する。単なる制度の紹介にとどまらず、なぜそのような制度が存在するのかという「制度の存在理由」を、近時の敵対的買収と対抗策の問題などに代表されるような現実の会社実務との関係で理解することを心がける。前期は主としてコーポレートガバナンスに関する規整、後期は企業金融および組織再編に関する規整を中心に講義する。商法総則についても適宜会社法との関連部分について触れていく。

講義の内容・授業スケジュール

前期 1 会社法総論：商法の体系および会社法の存在意義 2 会社の機関と法：コーポレートガバナンスに関する法規整（株主総会、取締役会・代表取締役、監査役等）

後期 3 会社の資金調達と法規整（設立時の資金調達、設立後の資金調達：新株発行、社債等）
4 会社の組織再編（M&A等） 5 企業会計

履修上の留意点

少なくとも民法（総則・債権各論）を履修済みか、履修中であることが望ましい。日経などの新聞・雑誌の経済記事についてもアンテナを張っておくこと。

成績評価の方法

原則として期末試験によるが、履修人数によっては授業内で質疑応答形式によるケースメソッドを実施し、その評価と合算して全体を評価する可能性もある。

**教科書
参考書等**

平出・山本・田澤編「会社法概論」（青林書院）3780円 4-417-01404-3

江頭憲治郎「株式会社法」（有斐閣）、神田秀樹「会社法」（弘文堂）。その他、適宜授業内で紹介する。

その他

授業情報は <http://homepage3.nifty.com/inoue-k/> も参照のこと。

履修コード	324902
科目名	商法二部
担当者名	なかばま よしあき 中濱 義章

講義のねらい 手形小切手法の基本的な原則・制度を理解し、諸問題を検討することを通じて有価証券法理の基礎を習得する。

講義の内容・授業スケジュール 講義は以下の順に行い、各項目ごとに1～2回程度の授業時間を割り当てる。講義の内容は、制度の概要を解説し、具体例を通じて問題点の検討をおこなう。

- 1 手形・小切手の意義および性質
- 2 手形法・小切手法の意義および役割
- 3 手形行為の意義・特色
- 4 手形行為の成立時期
- 5 手形能力、手形行為と意思表示に関する一般原則
- 6 代理人・代表者による手形行為
- 7 無権代理と偽造
- 8 手形関係と手形の実質関係
- 9 手形の振出
- 10 白地手形
- 11 手形の裏書
- 12 為替手形の引受、手形保証
- 13 手形上の権利の取得と善意取得制度
- 14 手形上の権利と手形抗弁
- 15 手形上の権利の消滅
- 16 支払・不渡・遡求
- 17 小切手特有の法制度
- 18 振込・振替など新たな決済システムに関する諸問題

履修上の留意点 六法は小型のものでかまいませんので最新版を携行して下さい。例えば、『ポケット六法』（有斐閣）、『セレクト六法』（岩波書店）、『デイリー六法』（三省堂）など。

成績評価の方法 民法（財産法関係科目）および商法科目を履修済み、あるいは履修中であることが望ましい。期末試験での評価を予定していますが、レポートを課す場合もあります。

教科書等 濱田惟道『手形法小切手法』（文真堂）
開講時に指示します。

- 『別冊ジュリスト 手形小切手判例百選（第6版）』（有斐閣）
山下友信＝神田秀樹編『商法判例集（第3版）』（有斐閣）

履修コード	325201
科目名	経済法
担当者名	あらい としあき 荒井 登志夫

講義のねらい 規制緩和・グローバル化の下で、独占禁止法を中心とする経済法の分野はますます重要性を増し、近年、相次いで法改正が行われている。本講では、独占禁止法を中心に、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①我が国の経済構造、取引実態を具体的に説明し歴史的視点も取り入れながら、②法律の規定を平易に解説しつつ、③ホットで具体的な適用事例を挙げて説明して行く計画である。

講義の内容・授業スケジュール 1～3 講義方針、基礎概念、歴史 4～5 私的独占 6～10 不当な取引制限、官製談合防止法、課徴金 11～14 不正な取引方法 15～17 景品表示法・下請法 18～19 第四章規定（一般集中、市場集中） 20 寡占規制 21～23 公正取引委員会、手続規定、罰則 24 国際的環境 25～26 事例研究、まとめ

履修上の留意点 講義に出席しないと理解できないと思われるため、できる限り出席されたい。

成績評価の方法 成績評価は、試験7割、出欠及びレポート提出3割の割合で評価し、合算するものとする。

教科書等 「経済法」（第5版・岸井大太郎・向田直範）ほか・有斐閣アルマ
「独占禁止法（第2版）」（金井貴嗣・川濱昇ほか・弘文堂）

- 根岸哲・杉浦市郎『経済法』（法律文化社）
根岸哲・舟田正之『経済法概説』（有斐閣）
丹宗暁信・岡田外司博ほか『新現代経済法入門』（法律文化社）

その他 「経済法」（鈴木満・深雪・尚学社）
レジュメを配布する。六法を必ず持参のこと。

履修コード	325101
科目名	労働法
担当者名	藤本 茂

講義のねらい 今日、労働関係は、リストラ、成果主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。労働法は、労働問題を平和的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではいられません。

この時期、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、労働時間法制、労働契約法や男女雇用平等などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進め、その基礎的知識を身につけることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、行います。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 労働条件の集団的決定－就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 賃金、賞与、退職金
- (10) 労働時間、時間外・休日労働
- (11) 休憩、休日、休暇
- (12) 雇用の終了－退職、解雇、整理解雇
- (13) 労働災害など

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語は No、携帯電話は Off、内職は No、そして無断で席を立つことは No。いわゆる授業のマナーは守ってください。

適宜、項目を列挙したレジュメや資料を配りますが、それでは十分ではありません。教科書を使って有意義な勉強を心がけてください。

成績評価の方法

憲法、民法、社会保障法、社会政策は、近接科目であるので、ぜひ履修してください。

成績は、学年末試験がメインで、受験しなければ評価はつきません。前期試験、レポートや出席を含めて、総合的に評価します。

追試験は実施します。

教科書等

金子征史・藤本茂・高野敏春・大場敏彦共著『基礎から学ぶ労働法』（エイデル研究所 2009）。

第1回目の授業で、プリントで紹介します。

六法は、最新のもの（法律改正や制定があるので特に）。そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。詳しくは、これも1回目の授業で話します。

その他

皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めます。

履修コード	323602
科目名	行政法
担当者名	金子 昇平

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていなかった新たな法分野が続出しているといえる。例えば、行政手続法の制定をはじめ、情報公開法、個人情報保護法、環境アセスメント法等を挙げることが出来るが、これらの法領域に対応すべく行政法の理論を考えていかなければならない。

そこで講義においては、行政法総論での、基本的な原理や原則に対する、よりアップ・ツー・デートな課題を積極的に掲げ、諸君とともに、問題発見と問題解決のための法的手段を考えてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

1) 行政法の基礎 (1~5)

①行政と法の一般的関係 (行政の概念と分類、行政法の成立、行政法の特長) ②日本行政法の基本構造 (公法・私法二元論とその有用性、行政法学のあり方) ③行政法の法源 (成分法源、不文法源、行政法の効力) ④日本行政法の基本原理 (法律による行政の原理、法治主義、行政のコントロール・システムの充実、法の一般原理)

2) 行政過程論 (6~15)

①行政の行為形成論 (行政立法・法規命令と行政規則) ②行政行為 (行政行為の意義、行政行為と法の拘束、行政行為の種類、行政行為と裁量、行政行為の効力、行政行為の瑕疵、行政行為と法律関係、行政行為の附款) ③行政上の契約 (問題の所在、行政上の契約の問題点) ④行政指導 (意義、行政指導と法の拘束、行政指導と救済制度) ⑤行政計画 (意義、計画と法の拘束、計画と救済制度)

3) 行政上の一般的制度 (16~25)

①行政上の義務履行確保 (行政上の強制執行、行政代執行、直接強制、執行罰) ②即時強制 ③行政調査 (行政調査の意義及び問題点) ④行政手続 (行政手続の意義と機能、適正手続の基本的内容、行政手続法の法源、行政手続法、命令・計画策定手続、手続の瑕疵と処分の効力) ⑤行政情報管理 (情報公開、情報公開の理念・意義・展開、情報公開法、行政機関個人情報保護、行政スタイルの变革)

4) 行政過程における私人 (26~30)

①行政過程における私人の地位 ②行政過程における私人の行為
行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。
期末試験の成績により評価する。
塩野宏『行政法Ⅰ』(行政法総論)〔第四版〕有斐閣
塩野宏他編『行政判例百選Ⅰ、Ⅱ』(第五版)(有斐閣)

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書等
参考書等

履修コード	323401
科目名	国際法
担当者名	王 ^{おう} 志安 ^{しあん}

講義のねらい
講義の内容・
授業スケジュール

国際法学の基礎知識を修得し、国際関係の現状を法的側面から理解する能力を養う。
国際法学の全体を様々な基礎的課題に細分し、毎回の講義においてできるだけ一つの課題を絞り、それぞれ基礎概念、理論体系、そして事例分析の形で解明する。

前期においては、国際法の史的展開、国際法と国内法との関係、国際法の法的性質といった基礎知識から着手し、国家および国際機構にかかわる様々な法的問題を取り上げていきたい。たとえば、国家の分裂や統合に生じた国家の承認や承継の問題、違憲的な政府変更やクーデターに関する国際的対応の法的性格、国内裁判における未承認政府や国家の地位、そして国連を中心とした国際機構の法的地位や機能の形態などを分析する。

後期では、前期の基礎知識の修得を踏まえて、領域に関する管轄権、国際的人権保障、条約関係の理論および外交関係の法的仕組みを検証する。具体的には、国家領域の法的地位や取得に関する理論および実行、国際地域、国際海域および宇宙空間といった国際区域の法的地位、外国人の法的地位、人権保障に関する国際制度の展開、条約の締結、形式および効力に関する法規制、外交関係および領事関係における特権および免除などを取り上げる。

履修上の留意点

国際関係を法的側面からとらえる視点の養成を常に心構えとする。個々の概念、理論、事例を解明する戦術的な能力がまず重要視されるべきであるが、政治、外交、経済、文化といった様々な形態で展開される国際関係を法という枠内でとらえる戦略的な資質をのばすことも見失われてはならない。そのためには、教科書に取り上げられた学説を理解するだけでなく、講義に取り上げられた課題の視点、問題意思をしっかりと修得する必要もある。配布される参考資料や聴講ノートを参照しながら、教科書の理解を深めてもらいたい。

成績評価の方法

成績は年末の定期試験で決定する。ただし、前期小テストや講義出席の状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書
参考書等

王志安・飯田順三『国際法への誘い』（八千代出版 2006年）
大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（上）（東信堂）2002年 2,800円
市販されている国際条約集

その他

授業はすべて power point を使って講義方式で行い、適宜に参考資料を配付する。power point で使われる簡潔な聴講ノートの、Yestudyから入手できる。

履修コード	326501
科目名	保険・海商法
担当者名	<small>いのうえ けんいち</small> 井上 健一

講義のねらい

商法のうち、保険取引および海商を含めた国際取引に関する法規整を概観する。この分野は、商法典の条文、もしくは判例の理解のみならず、約款や条約、あるいは商慣習なども含めた実務慣行に注意を払う必要がある。いわば実務との関係で「生きている法」を扱うという意味で、意欲を持って取り組めば非常に面白い内容である。前期は保険法を、特に保険契約法を中心に扱い、後期は海商法およびそれに関連した国際取引に関する契約に対する法規整を扱う。保険会社や商社などの実務に興味がある者は是非参加してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- I 保険法
 1. 保険法総論・保険契約法総論 2. 損害保険契約 3. 生命保険契約 4. 傷害保険
 II 海商法・国際取引法
 1. 海商法・国際取引法総論 2. 海上企業者 3. 海上運送契約・国際取引契約 4. 海上危険・海上保険 5. 国際取引における紛争解決

履修上の留意点
成績評価の方法

民法（総則・債権各論）および商法総則・商行為法を履修済か、履修中であることが望ましい。原則として期末試験によるが、履修人数によっては授業内で対話式のケースメソッドを実施し、その評価と合算して全体を評価する可能性もある。

教科書
参考書等
その他

山下・竹濱・洲崎・山本「保険法」(第2版)(有斐閣)1900円 4-641-12233-4
 レジュメで随時紹介する
 授業情報は <http://homepage3.nifty.com/inoue-k/> も参照のこと。

履修コード	325501
科目名	商法総則・商行為法
担当者名	<small>あわぐち ゆきみ</small> 川口 幸美

講義のねらい

民法は私人の一般的な法律関係を規律する法であるのに対して、商法は、営利を目的とする商人・会社の法律関係を規律する法と言える。また、商法は、商法総則、会社法、商取引の3つの分野から構成される。本講義では、商法総則と商行為法（商取引）を取り扱うものとする。具体的には商事売買取引の概要とその法律問題の検討を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- ①-⑥は商法総則、⑦-⑩は商取引法（一部消費者保護法を含む）であり、各テーマを2～3回に分けて講義を行う。
 ①商法総則（商法の意義） ②商法の適用（商行為概念・商人概念）
 ③営業譲渡（商号の保護） ④商号
 ⑤商業使用人（支配人・その他） ⑥商業登記（9条1項と2項の法的効力）
 ⑦商事売買取引（国際売買取引契約） ⑧運送契約
 ⑨仲立人・取次人・商事代理 ⑩その他（銀行取引・消費者取引・フランチャイズ）

履修上の留意点

教科書と最新の六法（判例付きのものは除く）を必ず持参すること。また、商法は民法の特別法であり、体系的な理解を得るためにも、民法科目（特に民法総則と債権法）を同時履修するか、既履修であることが望ましい。

成績評価の方法

試験の成績をもって評価する。出席は原則として取らないので、出席点は考慮しない。すなわち、就職活動・部活動および病欠等についても、特にこれらの者を優遇することはないので、ご理解いただきたい。

教科書
参考書等

開講時に指定する。
 瀧常夫著「商法総則」(弘文堂)
 江頭憲治郎著「商取引法(第三版)」(弘文堂)
 瀧常夫、竹内昭夫、江頭憲治郎編
 別冊ジュリスト 「商法総則・商行為法判例百選(第4版)」

その他

(当然のことだが) 授業中の私語・携帯電話の使用は厳しく注意する。場合によっては退室を命じる。

履修コード	311101
科目名	マーケティング
担当者名	曾我 信孝 <small>そが のぶたか</small>

<p>講義のねらい</p> <p>講義の内容・授業スケジュール</p> <p>履修上の留意点</p> <p>成績評価の方法</p> <p>教科書</p> <p>参考書等</p> <p>その他</p>	<p>マーケティング技術の基本的な方法を理解し、マーケティングが抱える倫理の問題を理解してもらうことにねらいを置く。</p> <p>1～2回 マーケティングの概要と問題点を指摘する。</p> <p>3～9回 製品政策について学習させる。 その内容は、製品の差別化、細分化等の政策やライフサイクルとその短縮に関する政策の問題点など。なお、この間に2度ほどの小テストをする。</p> <p>10～15回 価格政策について学習させる。 その内容は、差別価格や価格維持の問題などとりあげる。この間に小テストをする。</p> <p>16～22回 チャネル政策について学習させる。 流通機構とメーカーの販売チャネルとの関係、大規模メーカーによる流通支配などを取り上げる。この間に小テストをする。</p> <p>23～28回 促進政策について学習させる。 広告、販売員管理、サービスなどを批判検討する。この間に小テストをする。</p> <p>29～30回 マーケティング・ミックスについて学習する。 マーケティングを学ぼうとする知識欲旺盛な方の受講を期待しています。他人に迷惑をかけるなど、著しく受講態度の悪い方は学期途中で受講を断ることがあります。</p> <p>夏休みの課題レポート(20%) 年度末の課題レポート(20%)と平常点(講義中の小テスト評価:60%)によって評価する。</p> <p>基本的に教科書は使用しない。 参考書は適宜紹介する。 授業方法 講義形式</p>
---	--

履修コード	311601
科目名	商業史
担当者名	幸野 保典 <small>こうの やすのり</small>

<p>講義のねらい</p> <p>講義の内容・授業スケジュール</p> <p>履修上の留意点</p> <p>成績評価の方法</p> <p>教科書</p> <p>参考書等</p> <p>その他</p>	<p>広い意味での商業とは、商品(あるいはサービス)を円滑に生産者から消費者(あるいはサービスの受益者)に社会移転させる行為を指す。生産者から消費者へ商品が移転する過程、すなわち、商品取引過程で介在する倉庫業・運輸業や金融業・保険業も広義の商業の中に含まれる。</p> <p>本講義では、いわゆる狭義の商業とされる問屋・卸と小売業を中心として、これらの歴史的展開を幕末維新期から戦前期(1859年～1945年)までを4期にくぎり検討する。そして当該期に、社会経済構造の変容と係わせながら問屋・卸と小売業が、商業機構の内部で役割をどのように変化したか、また新たな商業形態をいかに出現させたかを考察する。</p> <p>第1期 外圧への権力・商人的対応。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自由貿易の開始から産業革命へ。 2. 外圧の下で拡大する国内市場。 3. 問屋=卸商主導の商業機構の再編。 <p>第2期 産業革命と流通の新基軸。</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 産業革命の進行と生活・社会に現出する諸変化。 5. 商業関連政策・制度の整備。 6. 交通・通信網の発達と商業の再編。 7. 第一次大戦期の商業と消費。 <p>第3期 戦間期の商業と消費—不況・恐慌から景気回復へ—。</p> <ol style="list-style-type: none"> 8. 俸給生活者の増加と消費構造の変化。 9. 関東大震災後の商業構造の変容。 10. 小売業の新たな展開。 11. 1930年代の中小小売商の窮乏化と政策対応。 <p>第4期 戦時下の商業統制。</p> <ol style="list-style-type: none"> 12. 日中戦争の卸・小売業。 13. 「新体制」下の商業再編成。 14. アジア太平洋戦争期の配給機構。 <p>特になし</p> <p>前期にレポート、後期に筆記試験を行う。出席も考慮する。</p> <p>石井寛治編『近代日本流通史』(東京堂出版)2005年 2800円+税 ISBN4-490-20550-3 石原武政・矢作敏行編『日本の流通100年』有斐閣、2004年 石井寛治『日本流通史』(有斐閣)2003年。鈴木安明『昭和初期の小売商問題』(日本経済新聞社)1980年。</p> <p>授業の方法—講義形式で行う。</p>
---	---

履修コード	313101
科目名	消費経済論
担当者名	姉齒 暁

講義のねらい 「消費」とは全経済活動が行き着く先であり、経済活動の抱える問題が噴き出す場でもある。従って、私たちが日常生活の中で抱く疑問を突き詰めていくと、現代社会が抱える諸問題に突き当たることになる。「食の安全」をめぐる一連の動きから、日本の食料事情や日米間の経済関係が見えてくる。サラ金のCMから消費者信用の性格が見えてくる。

この講義では、日常生活のさまざまな場において生じるこうした問題の背景にあるものを見出す作業を行っていきたいと思う。具体的には、消費生活における諸問題を経済の仕組みから検証していくことになるが、その際、できる限り具体的資料を提示し国際比較を多用しつつ経済理論の復習も兼ねてわかりやすい講義を行うつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 今日の「生産」「流通」と消費経済
 1. 生産の経済学と消費の経済学
 2. 経済の変化と消費生活
 3. 流通システムの変化と消費生活
- II. 現代消費経済の諸問題
 1. 豊かさ論議をめぐる「消費のサービス化」から豊かさを考える
 2. 家計と金融一家計内債務と消費者問題
 3. 「情報化社会」と消費—情報の偏在
- III. グローバリゼーションと消費生活
 1. 食料輸入大国日本の消費生活
 2. グローバリゼーション下における地域経済と消費生活
 3. 環境問題を生産・流通・消費の相互連関から考える

履修上の留意点

毎回、講義のはじめに質問を受け付ける。また、講義の最中の質問も歓迎する。私語および中途の入・退室は他の出席者の迷惑になるので、原則的に禁止する。

**成績評価の方法
教科書
参考書等
その他**

中間試験及び学年末試験によって評価する。講義の中で行われた受け答えも、評価に組み入れる。教科書は使用しない。
伊藤セツ・川島美保共編著『三訂消費生活経済学』光生館（2008年）
配布するレジュメ、統計資料等の資料および映像資料を用いて講義を行う。

履修コード	330111
科目名	経営管理論 a
担当者名	岩波 文孝

講義のねらい 経済的・社会的環境が急激に変化している状況において、企業管理の構造変化および企業管理のあり方が社会から問われている。本講義では、日本企業を中心とするCSR経営とそれを主導すべき社会的規制の脆弱な実態を踏まえ、現代日本のCSRの意義と限界を導きだし、持続可能な社会をめざすCSR型ビジネスモデルと経営、環境、社会分野における今後の課題を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 授業の概要：ガイダンス（1）
2. CSRと企業管理（2～3）
3. ステークホルダーと企業管理（4）
4. ステークホルダーの現状（5）
5. コーポレート・ガバナンスとマネジメント（5～6）
6. グローバル・ガバナンスとマネジメント（7～8）
7. CSRと環境マネジメント（9）
8. 労働CSRの現状と課題（10～11）
9. 地域産業の文化と企業管理の課題（12～13）
10. CSR経営の課題と展望（14～15）

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。

**履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等**

現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。
定期試験（前期末）により評価します。
足立辰雄・井上千一編著（2009）『CSR経営の理論と実際』中央経済社。
日本比較経営学会編（2006）『会社と社会』文理閣。
細井浩一（2006）『コーポレート・パワーの理論と実際』同文館出版。
仲田正機編著（2005）『比較コーポレート・ガバナンス研究』中央経済社。

専門教育

履修コード	330121
科目名	経営管理論 b
担当者名	<small>いわなみ ふみたか</small> 岩波 文孝

講義のねらい 経済的・社会的環境が急激に変化している状況において、企業管理の構造変化および企業管理のあり方が社会から問われている。巨大企業のトップ・マネジメントをめぐって、所有と経営の分離にともなう会社支配の問題、グローバリゼーションの進展・企業間競争の激化・資本調達にともない企業の透明性と効率性が求められている。本講義では、コーポレート・ガバナンスに関連付けながら現代の巨大企業におけるトップ・マネジメント機能の特質を考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 授業の概要：ガイダンス (1)
2. 企業と社会 (2~3)
3. 会社支配論とトップ・マネジメント (3~4)
4. 機関投資家の台頭とコーポレート・ガバナンス (5)
5. 取締役会改革とコーポレート・ガバナンス (6)
6. CSRとトップ・マネジメント機能 (7~8)
7. アメリカのトップ・マネジメント改革 (9)
8. イギリスのトップ・マネジメント改革 (10)
9. ドイツのトップ・マネジメント改革 (11)
10. ロシアのトップ・マネジメント改革 (12)
11. グローバル企業のコーポレート・ガバナンス (13)
12. 企業管理改革の課題と展望 (14~15)

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等

現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。

定期試験（後期末）により評価します。

風間信隆・海道ノブチカ編著（2009）『コーポレート・ガバナンスと経営学』ミネルヴァ書房。

日本比較経営学会編（2006）『会社と社会』文理閣。

細井浩一（2006）『コーポレート・パワーの理論と実際』同文館出版。

仲田正機編著（2005）『比較コーポレート・ガバナンス研究』中央経済社。

履修コード	312211
科目名	人的資源管理論 a
担当者名	<small>ほり りゅうじ</small> 堀 龍二

講義のねらい 人的資源管理とは、企業が従業員を人的資源とみなして、その有効活用を図る施策のことです。端的にいえば、どのような人をどのような形態で雇い、企業目的に沿ってどのように活用し、その働きに対してどのように処遇するか、といった課題を扱います。

a（前期）では、主に、わが国企業が求める人材像の変化および人的資源管理の基本理念の変化を、企業を取り巻く環境の変化と関わらせて考察します。概略としては、グローバリゼーションとIT革命、さらには新自由主義に基づく規制緩和といった環境の変化が、労働の質や労働市場の構造を変化させ、それに対応して企業の人的資源管理の基本理念が変化していることを具体的に検討し、それが労働者の働き方にどのような影響を与えているかという時代状況を把握することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の順序にそって進める予定ですが、変更することもあります。

(1) 講義概要の紹介とガイダンス、(2) 人事労務管理論から人的資源管理論へ、(3~5) 求められる人材像の変化、(6~8) 年功主義と能力主義、(9~10) 成果主義、(11~15) 経済グローバル化に対応する人的資源管理の動向

履修上の留意点
成績評価の方法

原則として、a（前期）とb（後期）を合わせて同一年度に履修してください。

出席(10%)、小レポート(20%)、前期定期試験(70%)を総合して評価します。追試験は実施しません。

教科書

伊藤健市著『よくわかる現代の労務管理』ミネルヴァ書房、2006年。(2,600円+税)。なお、教科書に載っていない資料などは、プリントして配布します。

参考書等

木元進一郎監修『人間らしく働く』（泉文堂、2008年）。その他、講義中に適宜紹介する。

履修コード	312221
科目名	人的資源管理論 b
担当者名	堀 龍二

講義のねらい

人的資源管理とは、企業が従業員を人的資源とみなして、その有効活用を図る施策のことです。端的にいえば、どのような人をどのような形態で雇い、企業目的に沿ってどのように活用し、その働きに対してどのように処遇するか、といった課題を扱います。

b（後期）では、主に従業員の働きに対してどのように処遇するか、やる気をどう引き出し、どう育てるのかといった問題を取り上げます。具体的には、人事評価や賃金システムのあり方、職務割当や仕事の与え方、キャリア形成のあり方などが、成果主義時代にどのように変化してきているかという問題を考察します。いま、わが国企業は激しい国際競争を勝ち抜くために競争力強化を求められており、そのなかで競争優位の源泉とされる人的資源の有効活用の新たな方法を模索しています。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って以下の構成で進める予定ですが、変更することもあります。
 (1) 講義概要の紹介とガイダンス、(2～4) 業績評価と目標管理とコンピテンシー評価 (5～7) 賃金システムの変化、(8～9) 賞与制度と退職金制度、(10) 人事制度改革、(11～12) 社内公募制と社内FA制度、(13) エンプロイアビリティ、(14) キャリア形成制度、(15) 新しい働き方と労働組合

履修上の留意点
成績評価の方法

原則として、a（前期）とb（後期）を合わせて同一年度に履修してください。
 出席（10%）、小レポート（20%）、後期定期試験（70%）を総合して評価します。追試験は実施しません。

教科書

伊藤健市著『よくわかる現代の労務管理』ミネルヴァ書房、2006年。(2,600円＋税)。なお、教科書に載っていない資料などは、プリントして配布します。

参考書等

木元進一郎監修『人間らしく働く』（泉文堂、2008年）。その他、講義中に適宜紹介する。

履修コード	310611
科目名	財務管理 a
担当者名	白坂 亨

講義のねらい

企業における財務活動の基本的な理解を目標にしています。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 格付け
- 第3回 リスク管理
- 第4回 ALM
- 第5回 企業価値
- 第6回 EVA（1）
- 第7回 EVA（2）
- 第8回 キャッシュ・フローの仕組み（1）
- 第9回 キャッシュ・フローの仕組み（2）
- 第10回 キャッシュ・フローの仕組み（3）
- 第11回 キャッシュ・フローの分析（1）
- 第12回 キャッシュ・フローの分析（2）
- 第13回 キャッシュ・フローの分析（3）
- 第14回 主要財務指標
- 第15回 デリバティブ

履修上の留意点
成績評価の方法

何よりも求められるのは学問に対する意識です。積極的な参加を求めます。
 レポートを期末に提出してもらいます。出席とともに総合的に評価します。

教科書

講義開始時に指示します。

参考書等

講義開始時に指示します。

その他

受講人数によってはパソコン教室にて開講します。

履修コード	310621
科目名	財務管理 b
担当者名	白坂 亨

講義のねらい 企業における財務活動の基本的な理解を目標にしています。

講義の内容・
授業スケジュール

第1回 ガイダンス
第2回 株式会社の仕組み
第3回 コーポレート・ガバナンス
第4回 資金の流れ
第5回 金融市場と金融機関
第6回 資金調達
第7回 外国為替
第8回 B/S, P/Lの仕組み(1)
第9回 B/S, P/Lの仕組み(2)
第10回 B/S, P/Lの仕組み(3)
第11回 B/S, P/Lの分析(1)
第12回 B/S, P/Lの分析(2)
第13回 B/S, P/Lの分析(3)
第14回 M&A
第15回 デリバティブ

履修上の留意点 何よりも求められるのは学問に対する意識です。積極的な参加を求めます。
成績評価の方法 レポートを期末に提出してもらいます。出席とともに総合的に評価します。
教科書 講義開始時に指示します。
参考書等 講義開始時に指示します。
その他 受講人数によってはパソコン教室にて開講します。

履修コード	308401
科目名	経営学史
担当者名	小阪 隆秀

講義のねらい アメリカにおける経営管理の領域でさまざまな理論が登場しながら発展してきた過程を体系的に跡付けていくことが、この講義の目的である。

経営管理の理論は、企業の成長とともに変化し、発展してきた。すなわち、企業はその管理に必要な理論に支えられて成長することができた。そして、企業の成長と発展にともない、それまでの理論は古いものとなっていき、やがて新しい管理の理論を必要とするようになる。その新しい理論が、さらに企業の成長と発展を可能にしていくことになる。本講義では、このようにして経営学の発展史が形成されてくることを明らかにしていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

①初期のマネジメント思想
②科学的管理の理論とその発展
③人間関係論とモチベーションの諸理論
④オーガニゼーションの諸理論
⑤経営戦略の諸理論
⑥現代のマネジメント思想

履修上の留意点 これまでに習った経営学や経営管理の理論を、この講義のなかでしっかり復習してもらいたい。それによって、経営管理論の発展史を体系的に理解できるようになるだろう。

成績評価の方法 学年末試験70%、授業中の小テスト(年間8回)30%を目安の総合的に評価する。
教科書 特に指定しない。
参考書等 授業の中で必要に応じて指示する。

履修コード	308001
科目名	財務会計論
担当者名	わたなべ 智 渡邊 智

講義のねらい この講義は、簿記に関する知識や技術を身に付け、これから会計学の学習を始めようとする人達が会計学に関する基本的な理論を修得すると同時に、会計学を学ぶ上で必要な思考力を養うことを目的としています。会計学の様々な論点を取り上げて可能な限りわかりやすく説明し、また、プリント等の資料を随時配布し、最新の情報を提供してゆきたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール (1) ガイダンス (2~3) 会計学とは何か (4~5) 企業会計の仕組 (技術的特徴) (6~7) 企業会計の仕組 (理論的特徴) (6~7) 企業会計制度 (8~11) 資産会計 (12~14) 負債会計 (15) 前期のまとめ (16~17) 資本金会計 (18~21) 損益会計 (22~23) 財務諸表の作成 (24~25) 連結財務諸表 (26~27) 財務諸表の分析 (28~29) 後期のまとめ (30) 試験

履修上の留意点 簿記・会計関連科目を履修し、単位を取得していることを前提とします。
欠席・遅刻・早退をせず講義には毎回必ず出席して下さい。
講義中は静粛を保ち、課題には真剣な態度で取り組み、講義の予習と復習は毎回欠かさず行なって下さい。

成績評価の方法 期末試験の結果、出席状況およびレポートの内容を総合的に判断することにより成績評価を行いません。

教科書 新井清光著 川村義則補訂 『現代会計学』第9版 中央経済社 定価2,600円+税
ISBN978-4-502-28190-7

参考書等 必要に応じて紹介します。

履修コード	309411
科目名	会計情報論
担当者名	いしかわ 純治 石川 純治

講義のねらい 大きく変貌する今日の企業会計はどこに行こうとしているのか、その変容の形と方向について学習する。

講義の内容・授業スケジュール 教科書と放送大学「現代の会計」(DVD)の講義とをあわせて、企業会計の変容のあり方を理論と制度の両面から講義する。

履修上の留意点 会計学の基礎知識をもっていることが望ましい。

成績評価の方法 小テスト(2回)と定期試験。

教科書 石川純治『変貌する現代会計』(日本評論社)。

参考書等 別途指示する。

履修コード	308111
科目名	管理会計論 a
担当者名	いしかわ 祐二 石川 祐二

講義のねらい 本講義では、伝統的に管理会計研究の領域において取り扱われてきた諸問題について検討を加える。とりわけ、経営管理者の意思決定を中心として、その意思決定上必要とされる会計情報について学ぶことになる。このことを通じて、会計情報の経営管理的意味を明らかにする。

講義の内容・授業スケジュール (1)ガイダンス、(2~4)管理会計論をとらえる視点、(5~8)管理会計上の基礎概念、(9~12)設備投資の意思決定、(13~15)製品関連の意思決定

履修上の留意点 会計学基礎(総論)および簿記論を履修済みであることが好ましい。
また、電卓を用いることが多いので、持参すること。

成績評価の方法 定期試験(前期末)により評価する。

教科書 毎回配布するプリントが教科書代わりである。

参考書等 必要に応じて紹介する。

履修コード	308121
科目名	管理会計論 b
担当者名	石川 祐二

講義のねらい 本講義においては、現代において特に注目されている、新たな管理会計研究の領域について取り上げることにする。具体的には、業績評価に関わる新たな手法に検討を加えることや、企業の「経営管理」と「会計」との関係をとらえ直すことが中心的な課題となる。このことを通じて、伝統的な管理会計研究では捕捉しきれなかった会計現象の意味を明らかにしたい。それにより、現代的な意味で、管理会計の社会的機能を理解することが、本講義の目指すところである。

講義の内容・授業スケジュール (1)ガイダンス、(2～3) リスク・マネジメントと法律規定；リスク・マネジメントと会計制度との関連性、(4～5)ドイツ会計基準第5号「リスク報告」、(6～7)企業内部のリスク・マネジメント・システム：会計報告との関連性、(8)リスク・マネジメントと状況報告書、(9)リスク・マネジメントと引当金、(10～11)リスク・マネジメントとバランスト・スコアカード、(12～13)リスク・マネジメントと監査制度の新展開、(14～15)リスク・マネジメントとチャンスの記載；リスク・マネジメント会計制度の社会的意味

履修上の留意点 会計学基礎（総論）および簿記論を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法 中間レポート（30%）および定期試験（後期末：70%）により評価する。

教科書 石川祐二著『現代ドイツ管理会計制度論』（森山書店）

参考書 必要に応じて紹介する。

履修コード	309401
科目名	原価計算論
担当者名	鈴木 勝浩

講義のねらい 原価計算は「目的」に対する「手段」の体系にはかならないから、原価計算はその目的との関連において理解されなければならない。多くの企業において、原価計算システムは経営情報システムのコアを形成し、経営管理に関連するさまざまな情報ニーズに応えることができるように、システムの構築が考えられるべきである。原価計算システムに対する情報ニーズは、経営環境や経営戦略の変化に応じて絶えず変化する。特にFA化が進んだ今日では、伝統的な原価計算の中にはその有用性が失いつつあるものもある。

そこで本講義では、伝統的な原価計算を解説しその問題点を把握した後、原価計算の新しい潮流について話を進めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール (1)原価計算の歴史 (2)原価概念① (3)原価概念② (4)原価計算の目的 (5)費目別計算 (6)個別原価計算 (7)製造間接費の配賦① (8)製造間接費の配賦② (9)部門別計算 (10)単純総合原価計算① (11)単純総合原価計算② (12)工程別総合原価計算 (13)組別総合原価計算 (14)等級別総合原価計算 (15)連産品等 (16)標準原価計算① (17)標準原価計算② (18)標準原価計算③ (19)標準原価計算④ (20)原価の固変分解 (21)損益分岐点分析① (22)損益分岐点分析② (23)直接原価計算① (24)直接原価計算② (25)意思決定のための原価計算① (26)意思決定のための原価計算② (27)意思決定のための原価計算 (28)FA・CIM化の進展と原価計算① (29)FA・CIM化の進展と原価計算② (30)ABCとABM

履修上の留意点 計算演習を行うので電卓を持参のこと。

成績評価の方法 定期試験・提出課題・出席率の総合評価で行う。

教科書 清水孝／長谷川恵一／奥村雅史著『入門原価計算（第2版）』（中央経済社）

参考書 参考文献については必要に応じて紹介する。

履修コード	332301
科目名	税務会計論
担当者名	高木 克己

講義のねらい 今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、会社法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

(1～2) 税務会計の制度的基礎、(3～5) 法人税の意義、性格、納税義務者等、(6～8) 事業年度、同族会社、(9～12) 課税所得計算の基礎、(13～16) 販売収益、請負収益、有価証券譲渡益等、(17～21) 売上原価、減価償却、寄付金、交際費等、(22～24) 税額の計算、申告、納付等、(25～28) 企業組織再編税制、連結納税制度等、(29～30) 国際課税、不服申立・訴訟等

履修上の留意点

「簿記学」「会计学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。前期末に小テストを行う。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

履修コード	312901
科目名	経営分析
担当者名	渡邊 智

講義のねらい 企業は財務諸表を開示することによって、財政状態や経営成績などの会計情報を広く一般に伝えていきます。しかし、財務諸表の見方を知らなければ、そのような情報を正確に把握することはできません。経営分析とは、分析対象となる企業の財務諸表や必要な資料を収集し、それらを正確に分析し、当該企業がどの様な状態にあるのか判断するものです。この講義では、経営分析に関する基本的な知識を身に付け、自ら簡単な分析を行うことができるようにすることを目的としています。

(1) ガイダンス(2～5) 財務諸表分析とは何か(6～14) 貸借対照表とその分析(15) 前期のまとめ(16～22) 貸借対照表と損益計算書の分析(23～25) 株主資本等変動計算書とその分析(26～29) キャッシュフロー計算書とその分析(30) 後期のまとめ

履修上の留意点

簿記と会計の知識が必要となりますので、簿記と会計に関連する科目を履修し、単位を取得しておいて下さい。また、電卓を使用しても構いませんが、ある程度の計算力は必要になります。ただ講義に出席していれば良いのではなく、日頃から企業の動向に関心を持ち、財務諸表や資料を自ら積極的に収集して分析を行うなど、積極的な姿勢で課題に取り組むことが求められます。

成績評価の方法

出席状況、小テストの成績、前期末レポートおよび後期末レポートの内容から総合的に判断して成績を評価します。

出席の確認と理解度の判定を目的として小テストを随時実施しますので、毎回の講義に積極的な姿勢で参加する必要があります。ただし、受講者数が多いなどの理由で小テストの実施が難しい場合は、レポートその他の課題を課すこともあります。

また、前期末のレポートと後期末のレポートは定期試験に代わるものですから、どちらも必ず提出して下さい。

教科書

平林亮子編『財務諸表分析入門』アスキーメディアワークス 定価1,700円+税 ISBN978-4-04-867324-2

参考書等

村形聡著『財務諸表と経営分析』アスキーメディアワークス 定価1,700円+税 ISBN978-4-04-867325-9

その他

講義の進行状況に応じてプリントを配布します。

ただ説明をするだけでなく、受講者とのディスカッションも随時行ない、お互いに理解を深めながら講義を進めてゆきたいと思います。

履修コード	309601
科目名	貿易論
担当者名	ふるさわ ことせう 古沢 紘造

講義のねらい オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・
授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易（4～5回）
2. 水産物と貿易（1～2回）
3. 林産物と貿易（1～2回）
4. 鉱物資源と貿易（1～2回）
5. エネルギーと貿易（1～2回）
6. 工業製品と貿易（4～5回）

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

II. 政治・経済・社会と貿易

1. 自由貿易とその問題点（3～4回）
2. 開発援助と貿易（1～2回）
3. 軍事と貿易（1～2回）
4. 環境と貿易（1～2回）
5. WTOと貿易（2～3回）
6. グローバリゼーションと貿易（3～4回）
7. 持続可能な発展と貿易（1～2回）

成績評価の方法

本試験を基本とするが、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期のまとめ）などを総合して評価を行う。答案やまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本などを教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

履修コード	318801・318802
科目名	演習II 演習III
担当者名	姉齒 暁

講義のねらい

演習Ⅲでは、課題研究のために必要不可欠な「問題意識を持つこと」、そして、それを論文という形に結びつけることが求められます。課題研究はいわば学生生活の集大成です。経済学は人間と人間との関係を明らかにする学問です。ワーキングプアー、ホームレス、食の安全を巡る問題、環境問題、どれをとっても経済学の課題です。課題研究を行うというイメージは、自分の周りにある様々な問題を空の上から眺めて、関心をもった課題の上に降り立ち、今度は草をかき分け、時にははいずりまわってミクロの目で分析を行う、必要とあればもう一度空に舞い上がる…そんな感じでしょうか。本当に自分の関心あるところをひたすら追いかける緊迫感と、その成果を論文にまとめる充実感を楽しんでもらいたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

最終目標である課題研究論文作成に必要なさまざまなスキルを身につける作業を行います。資料収集や調査の方法を身につけ、レジュメ作成から報告・討論というこれまでのゼミを通して身につけてきた「企画能力」「プレゼン能力」などを高めます。これらのゼミ活動を通して、この時期に同時並行で行われる孤独な就職活動をも乗り切るだけの周囲に対する説得力と連帯感、社会に出てから必要となる技能も身につけてもらいます。

履修上の留意点

遅刻・欠席は厳禁です。ゼミは意見交換の場であり、一人ひとりの自主的なかわりと同時に、お互いに助け合いみんなで問題の理解に達する努力が不可欠となります。したがって、個々の課題への取り組みも重要ですが、集団的な行動への参加も必要となります。

成績評価の方法

報告・討論への参加を含め平常点で評価します。

教科書

個々の研究課題に沿ったものを随時選択します。

参考書等

随時指示します。

その他

課題研究論文の提出を義務とします。

履修コード	319001・319002
科目名	演習II 演習III
担当者名	阿部 弘

講義のねらい

テーマ：日本経済論

講義の内容・授業スケジュール

日本経済の歴史的展開

通常のゼミの他に年間2回の合宿予定。11月末から12月初めにゼミ論発表会予定。ゼミナールの成果を「ゼミ論集」に掲載する。

履修上の留意点

「演習」ですから出席することは基本です。

年間2回の合宿への参加は不可欠です。

4年次に「課題研究」を履修することが前提です。

成績評価の方法

総合的に評価します。「定期試験」はありません。

教科書

池上惇『文化経済学のすすめ』丸善ライブラリー

履修コード	319701
科目名	演習III
担当者名	荒木 勝啓

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅲ…時系列分析の原理と応用を行なう。ただし系列には定常性が存在するという強い仮定を置くため、AR (Auto Regression) およびVAR (Vector Auto Regression) までとする。受講者には最低行列演算の知識が要求される。プログラムはVBAを利用する。

成績評価の方法

出席点+最終課題の提出

その他

課題研究…株価、為替相場などをデータとする実証研究ならばすべてよい。

(例)「東証一部××企業の日経平均との相関性について」など

専門教育

履修コード	318501・318502
科目名	演習II 演習III
担当者名	有井 行夫

講義のねらい

現代社会は、企業中心社会です。受験競争や消費競争、夫 or 妻の争奪競争からマイホーム獲得競争にいたるまで、競争社会の中心に実は企業への就職競争が位置しています。企業の内部もサラリーマンの出世競争・生き残り競争です。そして、最後に生き残って経営者に成り上がったサラリーマンにしても、企業自身の業績責任に不断に脅迫されて過労死寸前です。企業自身が、好況のときも不況のときも生き残り競争のただ中にあるのです。企業は、利潤のための利潤、生産のための生産をどこまでも続けていかなければなりません。日本型企業社会に構造変革を迫っている今日のグローバリゼーションも、この傾向をさらに強めるものにほかなりません。サラリーマンからも、経営者からも、株主からも独立して、自己拡大の衝動に駆りたてられて走り続ける企業。国民の豊かさに無縁の「利潤のための利潤」。地球環境や資源の制約にも無関心の「生産のための生産」。――これが現代社会の最大の謎であり、21世紀前半に解決しなければならない現代社会最大の課題のありかです。

講義の内容・授業スケジュール

前期 有井のプリント、新聞の読み方、佐和隆光『市場主義の終焉』

夏合宿 競争主義対平等主義

後期 有井のプリント、新聞の読み方（ファイルの作成）、ドーア『誰のための会社にするか』

履修上の留意点

最大のテキストは現代社会そのものです。新聞を読みこなす力を養います。併せて日本語を読む力、書く力、話す力を鍛えます。

成績評価の方法
教科書

ゼミへの積極的参加50%、各種レポートの評価50%

佐和隆光『市場主義の終焉』（岩波新書）。ロナルド・ドーア『誰のための会社にするか』（岩波新書）。

履修コード	319201・319202
科目名	演習II 演習III
担当者名	飯田 泰之

講義のねらい

演習テーマは「日本経済への実証的アプローチ」である。近年、経済問題にとどまらずビジネス・社会・政治分野においても経済学的な思考は必須の教義になっている。そして、自身の意見を発表し、説得する（つまりは「自分がわかっている」ことを人に伝え、他の人を「納得させる」）際には十分な実証的根拠を示し、聞き手を考慮した発表を行うことが必要とされる。本演習は「経済理論の理解」「統計を用いた証拠づけ」「プレゼンテーション能力」の3つを柱に、「使える経済学」を身につけることを目標とした。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- ・経済学以外の本を使ってのレジュメ作成・発表演習
- ・Word、Excel の基本操作に関する講義
- ・経済の基本書を使ってそれまでのゼミの内容を生かした発表

夏期合宿

- ・ディベート大会

後期

- ・ネットを利用した情報収集の講習と統計の基礎知識
- ・課題研究指導

履修上の留意点

「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「経済政策」「統計原論」「企業経済学の a、b」等関連科目をあわせて履修することが望ましい。また、連絡のため駒澤大学総合情報センターのアカウントを取得しておくこと。

成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

出席を中心に、発表内容・発言・ゼミへの貢献から判断する。

教科書は開講時に協議する。

テキストのみにこだわらずゼミ生の興味に沿った論文を取り上げていく。

課題研究と合わせて履修すること。

履修コード	318601・318602
科目名	演習II 演習III
担当者名	石川 純治

講義のねらい

卒論指導と上級会計学

講義の内容・授業スケジュール

卒論指導が主な内容になります。

履修上の留意点

できるだけ卒論を卒業記念に残してもらいたい。

成績評価の方法

出席・合宿・レポートなどゼミ活動の総合評価。

教科書

卒論指導に必要なものをその都度指示します。

参考書等

その都度指示します。

履修コード	320911・320912
科目名	演習Ⅱ 演習Ⅲ
担当者名	<small>いわねみ ふみたか</small> 岩波 文孝

講義のねらい

企業をめぐるビジネス環境は複雑・多様化するとともに、不祥事の続出や経営不振などを解決するために経営システムの改革が企業に求められています。授業では、企業経営の仕組みを理解していくとともに、企業経営に関する興味・関心を深め、企業と社会との関わり、企業の社会的責任(CSR)を踏まえた経営システムの構築にむけた課題について考えていきます。

課題研究は演習Ⅱまたは演習Ⅲに併設開講されているため、演習で学習した成果や受講生の問題意識に基づき、課題研究を執筆することになります。

講義の内容・授業スケジュール

演習時に通常の演習の授業とともに課題研究の指導を行います。

1. 授業のガイダンス(1～2)
2. 企業と社会をめぐる論点(2～7)
3. CSRの現状(8～15)
4. 現代CSRの課題(16～23)
5. 現代の企業管理の課題と展望(24～30)

履修上の留意点

課題研究は演習Ⅱまたは演習Ⅲに併設されています。

成績評価の方法

日常の課題研究報告および指定された期日に提出された課題研究に基づき評価する。

教科書

開講時に指定。

参考書等

随時指定。

その他

「課題研究」を併設します。

履修コード	320601・320602
科目名	演習Ⅱ 演習Ⅲ
担当者名	<small>おおぶき かつお</small> 大吹 勝男

講義のねらい

2年次・3年次の学習成果を基礎にして卒業論文の作成をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

現代日本企業の物流あるいはマーケティングに係わる諸問題をテーマとして論文を作成することを課題とする。「演習Ⅱ」のテーマの、より高度な内容とする。

成績評価の方法

ゼミ論文の提出によって成績を評価する。「課題研究」も併せて開講する。

履修コード	321221・321222
科目名	演習Ⅱ 演習Ⅲ
担当者名	<small>きたぐち</small> 北口 りえ

講義のねらい

本演習では、企業会計の基本原則、会計制度の構造、貸借対照表・損益計算書を中心とする財務諸表の分析について学びます。

講義の内容・授業スケジュール

本演習は、企業外部の利害関係者に報告することを目的とする財務会計を中心に行います。基本的には、テキストの1つのテーマについてレジュメを作成し報告してもらい、ディスカッションするという方法で進めていきます。レジュメは単にテキストをまとめるだけでなく、疑問を持った点や深く掘り下げてみたい点などを追求したものを作成するよう心がけてください。また、報告者はプレゼンテーションにおいても棒読みではなく、的確に相手に理解してもらえるよう工夫をしてもらいたいと思います。

履修上の留意点

ゼミ内で意欲的に発言する学生、ゼミの運営や行事に積極的に参加する学生を希望します。

成績評価の方法

出席率、報告内容、ゼミやゼミの運営への参加度、レポート等の総合評価により行います。

教科書

理由のない遅刻や無断欠席は大きな減点としますので、注意してください。

参考書等

永野則雄『ケースで学ぶ財務会計』(白桃書房)
伊藤邦雄『ゼミナール現代会計入門』(日本経済新聞出版社)

履修コード	319801・319802
科目名	演習II 演習III
担当者名	小杉 修二

講義のねらい

大学の授業には演習と講義があります。講義はいわば先生が中心にしゃべり、結論を出していきます。これに対して、ゼミ（演習）は学生が自分たちで問題を確かめ、事実と論理を確認し、結論へとたどり着くようにします。その意味では、皆さんが中心になって進めていきます。

変化の激しい近頃の社会では学んだことが古くなるスピードも速くなりつつあります。覚えたことは古くなったら使えなくなるものもあるでしょう。でも、大丈夫です。新しい状況について、また勉強すればよいのです。でも勉強をしたことがない人は勉強ができません。大学では特定の事柄について勉強しますが、同時にそれを通じて勉強の仕方を勉強しましょう。その勉強の仕方の中で、自分で調べたり、議論したり、人の意見を聞いたりしながら、知識を深め、根拠を確かめ、結論を出すといったトレーニングをし、また、相手に理解してもらって発表に熟達するトレーニングをするのがゼミです。

講義の内容・授業スケジュール

このゼミでは地球環境問題の中の「地球温暖化問題」を考えます。

近年の猛暑が騒がれていますが、これも年間平均にすると、平年に対して1度程度の昇温に過ぎません。国連の機関であるIPCCによれば、今世紀末には地球全体が1.4～5.8度の気温上昇を見られるとされています。文明（農業）が生まれたのが1万年前とされていますが、この1万年というのは、地球の平均気温は15度近辺で安定していました。時々起きる変動の幅もプラスマイナス1度程度でした。つまり、今予想されている気温の変動は「文明の未体験ゾーン」なのです。

温暖化の害悪はさまざまありますが、海面上昇や雨の降り方の変化、農地の乾燥化、熱帯の病気・害虫の北上などが言われています。映画にも取り上げられた「温暖化が地球の寒冷化をもたらす」という逆転現象も決して「冗談」ではない現実性をもったものです。

原因の主たるものは石炭・石油・天然ガスの燃焼に伴う炭酸ガスが太陽からの熱を閉じ込めて宇宙空間に逃げにくくするからです。しかも厄介なことに、暑くなるとますます暑くなるというメカニズムが地球にはあります。例えばシベリヤの永久凍土層にはメタンが閉じ込められていますが、暑くなればこれらが溶け出してきます。メタンガスは炭酸ガスの20倍の温暖化効果があります。こうした加速要因は23ほど見つかっていますが、そのほとんどがプラスの加速要因です。「サプライズ」とも言われる急激で過激な気候変動の可能性も排除はできません。

温暖化問題は近代文明・経済活動を支える化石燃料が主たる原因となって起こるため、その対策は経済活動にも大きな影響をもたらす、経済活動のあり方や文明のあり方にも変更を迫ることになる可能性もあります。その対策をする時に必ず「利害」が絡みます。この利害関係を合理的に制御するのが経済学の課題です。

こういった問題を勉強するのがこのゼミです。

出席の悪い人は単位を認定できません。

出席点とゼミへの参加意欲、発言を総合して認定。

IPCC 第4次報告書（政策決定者向け要約） CLIMATE CHANGE 1-3 Detlef Vuuren et.al. Stabilizing Greenhouse gas concentration at low level. Christian Azar et.al. Carbon capture and storage from fossil fuels and biomass—costs and potential role in stabilizing the atmosphere など。

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

参考書等

その他

小宮山宏『地球温暖化問題に答える』（東大出版会）

ジョージ・モンピオ『地球を冷やせ』（日本教文社）

〈課題研究の有無〉あり

履修コード	317601・317602
科目名	演習II 演習III
担当者名	小西 宏美

講義のねらい

「多国籍企業、多国籍金融機関とカジノ資本主義」をテーマとしています。「カジノ資本主義」とは何か、多国籍企業・多国籍金融機関の活動がいかに経済を「カジノ化」してきたのか、「カジノ資本主義」は我々の生活をどのように変えてきたのか、について研究します。

講義の内容・授業スケジュール

国際経済、国際金融関係のテキストを使ってレジュメの作成、報告、討論を行います。後期は「日本学生経済ゼミナール関東部会」に参加し、他大学のゼミと討論します。

履修上の留意点

演習は、皆さんが主体的に参加してはじめて成立する学習の場です。責任感と自覚をもって臨みましょう。

成績評価の方法
教科書

出席、報告、討論の3点で評価します。最初の授業時に指定します。

履修コード	320201・320202
科目名	演習II 演習III
担当者名	<small>さいとう ただし</small> 齊藤 正

講義のねらい	「日本経済の構造改革の方向」をテーマとし、日本の「何を」「どのように」改革すべきなのかを主に新聞・雑誌記事等のトピックスと教科書を並行利用して考えます
講義の内容・授業スケジュール	世界経済は「大競争時代」といわれる激しい変化の時代にあります。それは一方では、ソ連・東欧型社会主義の崩壊によって「市場経済化」が急速に拡大したこと、他方では、情報通信技術の発展によって産業構造や経済取引のあり方が大きく変化していることに由来しています。 そうしたなかで、日本経済はバブル経済崩壊後の不況を経て市場最長の景気回復が続いているといわれていますが、国民の多くはそうした実感を持たず、むしろ将来への不安が高まっています。職場では「派遣切り」など、勤労者の労働条件（就業機会、賃金、労働時間）がますます厳しくなっています。戦後50年あまりにわたって展開され、世界から「脅威」とも目されてきた「日本の経営」のあり方が、根本的に問われているのです。「6大改革」に代表されるさまざまな改革論議が飛び交うゆえんです。 授業では、毎回「トピックに関する意見交換」（30分）を行なった後、教科書を年間3冊程度読み進めます。
履修上の留意点	ゼミナールは少人数であり、討論を通じて具体的な問題についての理解を深めたり、議論の仕方を学ぶところに意義がありますので、積極的な諸君の参加を求めます。そして、議論を通じて諸君が自らの「見解」を獲得することを大いに期待します。
成績評価の方法 参 考 書 等	年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。 日本経済新聞社『経済新語辞典』：毎年新版が発行されており、新聞記事を理解するために役立ちます。

履修コード	320921・320922
科目名	演習II 演習III
担当者名	<small>すずき のぶえ</small> 鈴木 伸枝

講義のねらい	公共経済学のゼミです。講義よりも専門的なことを学ぶとともに、自ら問題を発見する能力を身につけることを目標とします。年金・医療・介護保険・環境・失業の諸トピックについて「どういふ問題があって、何を為すべきか」を自分なりの意見をもてるようにしましょう。
講義の内容・授業スケジュール	公共経済学のテキストの輪読を中心とします。毎回、輪読の報告担当者にはレジュメを用意してもらいます。また、学年末には自分でトピックを選んでレポートを提出してもらいます。コンピュータを使った文書作成やインターネットでの情報検索についても指導します。
履修上の留意点	ゼミは勉強の場だけでなく、人前で自分の意見を言うよう訓練したり、同じゼミの仲間と協力して何かを達成することを通じて人間的に成長する場でもあります。引っ込み思案にならず、常に積極的な態度で参加してください。
成績評価の方法 教 科 書 そ の 他	出席状況・予習状況・討論への参加度・レポートにより評価します。 受講者と相談して決定します。 「課題研究」を併設します。

履修コード	318701・318702
科目名	演習II 演習III
担当者名	<small>せとおか ひろし</small> 瀬戸岡 紘

講義のねらい 「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応して経済、社会、経営、文化などを分析し、自分の意見をもてる人間を養成すること。また、そういう時代を生きぬくうえでもとめられる社会的正義感をもった人間を養成すること。

講義の内容・授業スケジュール アメリカの大学の演習方式を大胆に採用しながらも、独自の方式で演習をすすめています。思考に強くなるための方法（弁証法の学習）、デジタル時代の学習と研究の方法（インターネット活用法の学習）、学ぶ者の社会的責任の体得などがそれです。

とくに最近数年間は、金融グローバル化について非常に緻密に学習しています。そのことをとおして、アメリカをはじめ、世界中でおこっている経済事象を読み解く実力がやしなわれるからです。それまでは単語として聞いたことがあった程度だった経済用語をふんだんに駆使しながら日々の出来ごとを語れるようなゼミ生が確実にそだっています。

あわせて、日本学生経済ゼミナールの東京大会・全国大会への参加、インターネットや遠隔授業をつうじたアメリカの学生との交流、工場見学や企業訪問など多彩な企画を実行しています。

履修上の留意点 4年次生は卒業論文を作成します。

成績評価の方法 ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は、当人のやる気です。

教科書 随時、有益な文献を紹介しします。

その他 アメリカには、成功例も失敗例も世界一豊富にあります。企業活動から文化運動にいたるまで、アメリカの事例を知っておくことが、ゼミ生がどんなテーマを選んで研究するうえでも役にたちます。だから、アメリカの事例研究になる文献を多くとりあげます。

ゼミでは、社会の第一線で活躍している人を招いて「出前ゼミ」をときどき実施しています。当ゼミのOB・OGも、しばしばゼミに顔をだし、社会や会社の現場の話をしてくれます。

このほか、ゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問い合わせたりすることのほか、下記のホームページ（ゼミ生制作）にアクセスしてください。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~setooka>

履修コード	318401・318402
科目名	演習II 演習III
担当者名	<small>せが のぶたか</small> 曾我 信孝

講義のねらい マーケティングの問題点を把握し、それを解決する方法を身に付けさせることをねらいにしている。

講義の内容・授業スケジュール 1～5回 問題発見の方法と論文の書き方についての指導
6～15回 ゼミ生各自の研究テーマ発表とそれに対する指導
夏合宿 ゼミ生各自の研究に関する弁別構成の指導
16～25回 論文執筆に対する指導
26～28回 ディベート大会に関する指導
ディベート大会 12月の第2日曜に開催
29～30回 論文の発表・討論会

履修上の留意点 ・平常の出席はもちろんであるが、論文の執筆と夏合宿及びディベート大会への参加は必ず必要です。

成績評価の方法 平常点（・出席状況30%、・夏合宿20%・ディベート大会出席30%・論文20%）

教科書 指定しない

参考書等 必要に応じて紹介する。

履修コード	317901・317902
科目名	演習II 演習III
担当者名	館 健太郎

講義のねらい

人々のかけひきを分析するための道具である「ゲーム理論」について学習し、これを使ってさまざまな社会現象を自分の言葉で説明できるようにすることをめざします。ゲーム理論は、スポーツやカードゲームの必勝法の研究というよりも、私たちの日常生活や社会のなかで起きるさまざまなかけひきをゲームとみなし、それらをいくつかのパターンに整理して結果を予想するための学問で、その応用分野はとて広いです。情報通信や交通手段の発達などによってネットワーク化されている今日の経済では、人々のつながりに関する理解を深めることの重要性はますます高まっています。

本ゼミでは、主に産業組織論、すなわち企業の投資、生産、販売などを通じた競争戦略や、他の企業との戦略的提携など、それぞれの産業における企業間の競争と協力について扱います。また、補助金や規制などを通じて市場への介入を行う政府の産業政策・競争政策についても考えます。例えば、家電産業や情報通信産業ではしばしば製品間の互換性が重要になりますが、そのときに企業はどんな戦略をとるべきでしょうか。政府は何か政策を打ち出すべきでしょうか。もちろん、財政や金融、政治・外交など市場競争以外のかけひきについて研究したいという人も歓迎します。ゲーム理論という共通の土台の上で、社会について自由に議論しあえるようになることを演習の目標にしたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点

現実の経済現象をゲーム理論を応用して説明する論文を作成するために、発表とコメント、文章作成と添削と繰り返しながら完成を目指します。

- ・自分自身で社会の中にあるかけひきを表現するためにオリジナル・ゲーム（といってもプログラムではない）を創作し、発表してもらうなど、発想やアイデア、表現力を養うことを重視します。
- ・他大学のゼミとの合同合宿を行いたいと思っています。

成績評価の方法
教科書

出席状況と発表などゼミへの貢献度
渡辺隆裕『図解雑学ゲーム理論』（ナツメ社）

履修コード	320501・320502
科目名	演習II 演習III
担当者名	鄭 章淵

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に第二次世界大戦後の東アジア経済の発展過程に関する知識を身につけてもらうことです。

ここでいう東アジアとは、東北アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭に、アジア NIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）、ASEAN3（タイ、マレーシア、インドネシア）、中国、その他と続く発展の様は、しばしば「雁行型発展」と称されてきました。

ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。

日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく状況において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを輪読してもらいます。具体的には、予め報告分担を決め、報告者は各自が作成したレジュメに基づいて報告してもらいます。

また、夏季休暇中にゼミ合宿をおこないます。そこでは別の文献を取り上げて講読し、ビデオ鑑賞なども予定しています。

成績評価の方法
教科書
その他

出席率、レポート回数、合宿への参加状況などを加味して総合的に判定します。
未定。

「課題研究」を併設します。

アジア経済論専修課程：系統学習に必要な科目

アジア経済論、演習Ⅱ・Ⅲ、国際経済論、中国経済論、日本経済論、国際金融論、アメリカ経済論

履修コード	321231・321232
科目名	演習II 演習III
担当者名	徳永 俊明

講義のねらい

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国（発展途上諸国：第3世界）の国際関係とそこでの人々の生活の問題を研究します。第3世界の社会・経済や人々の暮らしを研究しながら、日本・日本人・私たち一人ひとりの人生・生活を考えます。国際政治・経済の中での人間と人間の関係、とくに第3世界の人々が直面しているさまざまな豊かさと貧困、そして彼らのたまたかについての検討を通じて、日本・日本人・私たち自身の豊かさと貧困を考えるのです。

春・夏2回の全学年そろってのゼミ合宿のテーマは「人生」です。幸福とは？ 自由とは？ 愛するとは？ 一人ひとりの意見がみんなからまじめに受けとられ、一人ひとりがみんなの意見を参考にして考えを深めます。

第3世界の人々と自分の現実のなかに〈夢〉を求め、見つけましょう。
上の趣旨に沿って、学生諸君と相談しながらすすめます。

講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
参考書等
その他

何よりも〈考える〉努力を求めます。

〈考える〉努力をしたかどうかをもって評価します。

討論のための資料を使ってすすめます。

〈考える〉努力の成果を「課題研究」としてまとめます。（希望者のみ）

〈現代国際経済〉専修課程認定に必要な科目——国際経済論、貿易論、アジア経済論、中国経済論、日本経済論

履修コード	319101・319102
科目名	演習II 演習III
担当者名	友松 憲彦

講義のねらい

演習II（3年）で開始した研究を継続発展させ、卒業研究をまとめます。

文献講読と卒業研究の中間報告を並行しておこないます。

講義の内容・
授業スケジュール
履修上の留意点
成績評価の方法
教科書

「経済史」、「西洋経済史」、「日本経済史」、「商業史」等をあわせて履修することが望ましい。

出席、発表、討論、レポートの状態を総合して評価します。

最初の授業で指示します。

履修コード	316901・316902
科目名	演習II 演習III
担当者名	中済 光昭

講義のねらい

論文作成を中心にゼミを進めます。各自の研究内容における問題点を明確にし、それについて全員で討論・アドバイスをすることで、お互いの論文の内容を高めていくことを目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・研究計画書作成
- ・論題の提出
- ・研究テーマに関する調査・分析
- ・レジュメ作成、レポーティング、発表

履修上の留意点

を行い、最終的に論文を完成させます。

・ゼミへの積極的な参加を期待しています。

・メールを読む、ワープロを打つといったことがゼミ活動上必須です。

成績評価の方法
教科書等
参考書等
その他

出席、発表とレポートの内容、積極的な討議への参加など、平常点による総合評価を行います。

別途指示

別途指示

・ゼミではパソコンを使用しますので、本ゼミを受講したい人は、総合情報センターへ利用登録を行う必要があります。

・課題研究を併設します。

履修コード	319301・319302
科目名	演習II 演習III
担当者名	ながやま むねひろ 長山 宗広

講義のねらい テーマ：「地域の活性化」
フレBの演習Ⅲでは、これまでの学びを活かし、4年間の経済学部での学習と研究の集大成として、卒業論文の作成に取り組む。

講義の内容・授業スケジュール 各ゼミ生の「卒業研究（課題研究）」報告を中心に討論する。
卒業論文の提出にあたっては、「研究企画書の作成」「中間報告会での予備審査」「最終原稿の審査」といったプロセスを経る必要がある。

履修上の留意点 演習Ⅱの際と同じ。
成績評価の方法 平常点。
出席状況、授業中のレジュメ・報告内容、討論への参加などを総合的に評価する。
この他、上記の卒業論文提出までのプロセスに関して評価する。

教科書 なし
参考書等 都度、紹介する。
その他 本学の e-Education システム「イエスタディ」を活用する。

履修コード	321201・321202
科目名	演習II 演習III
担当者名	ばんば ひろゆき 番場 博之

講義のねらい 番場ゼミの目的は、流通論の研究と論文の執筆です。
講義の内容・授業スケジュール (1～20) 課題報告・プレゼンテーション
(21～30) 論文報告

履修上の留意点 詳細なシラバスは開講時に配布します。
成績評価の方法 日常の活動やゼミへの貢献度等を総合的に評価する。
教科書 必要に応じて相談して決める。

履修コード	317501
科目名	演習II
担当者名	ひやくた よしはる 百田 義治

講義のねらい 現代の日本企業の主要な問題である「社会から信頼される企業」に求められる課題、企業倫理や企業の社会的責任（CSR）について学びます。

講義の内容・授業スケジュール 毎回、決められたテーマについてゼミ生が報告し、討論するという形式で進めます。
(1) 経済危機のなかで、日本企業の経営行動はどのように変化しているのか？
(2) 企業不祥事がなぜ多発するのか？その防止（コーポレート・ガバナンス）には何が必要なのか？株主至上主義経営の破綻は何を意味するのか？企業の社会的責任とは何か？
(3) いま、なぜ、能力主義・成果主義なのか？終身雇用・年功制はなぜ修正されなければならないのか？日本の経営の何を残し、何を変革すべきか？
(4) 企業は環境問題にどのように取り組んでいるのか？
(5) 21世紀型ビジネス・モデルの特徴とは何か？ネットワーク経営とは何か？などなど

履修上の留意点 経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法 出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。
教科書 鈴木幸毅・百田義治編著『企業社会責任の研究』中央経済社、2008年。
参考書等 稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』（ミネルヴァ書房）2005年
その他 「ビジネス・マネジメント」専修課程の認定を行います。専修課程認定のための系統的学習に必要な科目は、経営学基礎、経営学史、経営管理論、労務管理論、経営戦略論、財務管理論、演習などです。

履修コード	320901
科目名	演習III
担当者名	百田 義治

講義のねらい 現代日本企業が直面する経営管理に関するテーマ、特に「企業と社会」に関する企業倫理やCSR（企業の社会的責任）に関連するテーマを中心に、大きく変貌する日本企業の課題について学びます。

講義の内容・授業スケジュール 演習IIの継続です。課題研究（卒業論文）の作成にむけて、各人が発表し、討論を積み重ねて行きます。

履修上の留意点 課題研究（卒業論文）の作成・提出が履修の前提です。

成績評価の方法 出席、発表内容、クラス・リーダーシップなどを総合して平常点評価を行います。

参考書等 課題研究のテーマに沿って指示します。

その他 「課題研究」（4単位）を併設します。

履修コード	317701・317702
科目名	演習II 演習III
担当者名	福原 好喜

講義の内容・授業スケジュール (社会科学方法論研究)

このゼミナールは経済学の基本となる社会科学方法論に関する基礎的な文献を読むことにしている。昨年は大塚久雄『社会科学の方法』、マックス・ウェーバー『社会科学方法論』、『職業としての学問』、カール・マルクス『経済学の方法』などを読んだ。主観を離れられない個人が如何にして学問の客観性を保証しうるのであるか？これがゼミの基本テーマである。ゼミはディスカッション方式で行うので何よりも学生の自主的な勉学態度を期待する。ガリ勉である必要はないが、勉学に情熱を持った学生に是非来てほしい。

夏の合宿では、研究会とともに、午後はテニスを行っている。午前勉強、午後スポーツ、夜研究会という日課である。

「よく遊びよく学ぶ」というのが福原ゼミのモットーである。テニスは初心者には手ほどきをする。福原ゼミで諸君が学ぶものは別にテキストからだけではない。教師や学生仲間とのつき合いを通して夫々の個性をのびのびと育ててほしいと思っている。

学生に、勉学はもとより、精神的、肉体的訓練も幾分かでも与えることが出来ればと思う。サブゼミとして、専門にとらわれない経済問題全般についての研究会を実施中である。3年という歳月はそう長くはない。自分を鍛えることにもっと意欲を持とう。

学生との人間的つきあいを大事にするゼミにしたいと思っている。

(福原ゼミナール十訓)

福原ゼミ生は以下の教えを胸に刻み、その実践を心掛けなければならない

1. 理想を高く掲げ、日々の努力を怠らざること
1. 人格の陶冶を心掛け、心身の鍛練に努めること
1. すべての生命を慈しみ、無用の殺生をなさざること
1. 社会的貢献に努め、弱者の救済に役立つこと
1. 質素を旨とし、浪費をなさざること
1. 規則正しい生活を心掛け、早朝マラソンを欠かさざること
1. 親の葬儀以外は授業をさぼらざること
1. 隣に優しく、自らには厳しかるべきこと
1. 自らの責務を回避せざること
1. 酒を愛すも、深酒は慎むこと

履修上の留意点 「課題研究」併設。

成績評価の方法 成績は出席点とレポートでつける。

履修コード	317001・317002
科目名	演習II 演習III
担当者名	古沢 紘造

講義のねらい アフリカの経済と社会について考える。異質な世界を学ぶことによって私たち日本人のもの見方、考え方として暮しのあり方を改めて問う。

講義の内容・授業スケジュール 本、雑誌、新聞、DVDなどを通してアフリカの多面的な姿を知ること努める。自分で調べて考えてきたことを授業で発表してもらい、レポートを書く準備をしてもらう。DVDは合宿などを利用して多くの作品に触れたい。

履修上の留意点 文献は英文のものも使いたいので、英文を読む意欲が求められる。

成績評価の方法 提出された2回（前期・後期）のレポートにより成績評価を行う。

履修コード	321241・321242
科目名	演習II 演習III
担当者名	ほりりゅうじ 堀 龍二

講義のねらい	労務管理や人的資源管理に関する基本的知識の習得、現代的問題意識の喚起、それらに基づいてテーマを設定してアプローチすることなどをねらいとしている。現代の日本企業で働くとき、企業の働き方やねらいと自らの望む働き方とをいかに調和させていくかを考えてもらいたい。雇用はどうあるべきか。賃金・処遇は何を基準にすべきか。仕事をする能力をどのように育成していくのか、企業が考える問題は、働く者の職業人生に大きく関係・影響する。労働のあり方を身近な問題として考えたい。
講義の内容・授業スケジュール	最初は適当なテキストや資料を利用して、輪読や要旨報告の形で知識の習得と問題意識の喚起を図る。次にゼミ生の数にもよるが、グループ研究を行う。グループごとに小テーマを決めて、下調べをしてその成果をゼミで報告し、全員で討論する。適宜、統計資料の利用方法の実践、諸外国との比較なども行う。
履修上の留意点	テキスト・資料・新聞記事などを読んで、分かりにくいと感じたところをそのままにしないで、ゼミで疑問をぶつけるような積極的姿勢の持ち主を歓迎する。
成績評価の方法	ゼミへの出席・参加、丹念な下調べ、レジュメ・レポートの提出、積極的な発言を中心に評価する。
教科書 参考書等 その他	初回に相談して決める。 適宜、紹介する。 課題研究を併設する。 専修過程「企業労働」を認定する。系統学習に必要な科目は、社会政策、労働法、経営管理論、企業統治論、人的資源管理論、演習などである。

履修コード	321261・321262
科目名	演習II 演習III
担当者名	まつだ たけし 松田 健

講義のねらい	本演習では、「現代における企業と社会との関係を、どのように捉えればよいのか」という命題に基づきながら、企業経営の現代的課題や企業活動の体系的理解を通じて企業を広く理解する視点を身につけることを目標としています。 とりわけ1990年代以降、企業の経済活動が急速にグローバル化したことを受け、それ以前の社会・政治・文化・国際関係といった多様な領域と企業との関係性は大きく変容しつつあります。企業が持つ経済的性格のみならずその社会的性格にも焦点を当て、企業を社会経済システムの中に位置づけながら、企業と社会の相互関係性から生じている現代的諸問題を考察し、それを卒業研究につなげていきたいと考えています。
講義の内容・授業スケジュール	本演習では、企業形態、株式会社制度、企業統治ならびに企業の社会的責任などに代表される、現代の企業に関わる重要な課題を考察の対象とします。一年を通じて、企業に関する基礎的な知識、概念ならびに理論に対する考察を踏まえ、各自で設定した研究テーマにしたがって卒業研究論文の作成を試みます。 第1回 オリエンテーション 第2回～第5回 演習参加者各自の研究課題テーマについての討論 第6回～第10回 演習参加者各自の研究課題に関する資料輪読(1) 第11回 小括:資料輪読(1)による知見をまとめた研究報告(1) 第12回～第14回 演習参加者各自の研究課題に関する資料輪読(2) 第15回 小括:資料輪読(2)による知見をまとめた研究報告(2) 第16回～第20回 演習参加者各自の研究課題に関する資料輪読(3) 第21回 小括:資料輪読(3)による知見をまとめた研究報告(3) 第22回～第26回 演習参加者各自の研究課題に関する資料輪読(4) 第27回 小括:資料輪読(4)による知見をまとめた研究報告(4) 第28回 論文作成の技術的指導(1) 第29回 論文作成の技術的指導(2) 第30回 課題研究論文口頭報告
履修上の留意点	課題研究に向け、自らが設定した研究課題を体系的な論文にまとめ上げていく作業には、強い自律心が求められます。したがって演習参加者は、自らの課題を自らが設定し、その課題に自らがチャレンジするという気概を持って演習に参加してください。
成績評価の方法	講義への出席は最低要件です。したがって卒業研究にかかわる各自の報告を主たる評価の対象としながら総合的に評価します。
教科書 参考書等 その他	開講時に指示します。 経営学辞典あるいは経営学用語集。 課題研究を併設します。

履修コード	319901・319902
科目名	演習II 演習III
担当者名	松本 典子

講義のねらい 非営利組織（NPO）とは何か、について学びます。
 ①営利組織と非営利組織を比較することによって、両者の特徴を学びます。
 ②非営利組織の実際の活動、行政や企業との協働を経営学の視点から考えます。
 ③ゼミ生同士の交流を深め、就職に向けて様々な能力を培います。

講義の内容・授業スケジュール 非営利組織に関する基本文献を読み、基礎知識や理論を学習します。
 同時に、非営利組織の学習を通して、パワーポイントによるプレゼンテーション能力、ゼミ生同士の交流によるコミュニケーション能力を獲得することを目指します。
 1年間の詳細なスケジュールは、話し合いによって決定します。

履修上の留意点 積極的に物事を調べ、積極的な姿勢で授業にのぞんでください。

成績評価の方法 出席およびゼミの活動にもとづいて総合的に評価します。

教科書等 ゼミ生と相談の上、決定します。

参考書等 参考文献や報告書、新聞・雑誌記事、関連HPなどを随時紹介します。
 非営利組織の用語に関する基本文献として以下を薦めます。
 ①雨森孝悦『テキストブックNPO』東洋経済新報社、2007年。
 ②川口清史・田尾雅夫・新川達郎編『よくわかるNPO・ボランティア』ミネルヴァ書房、2005年。
 ③山岡義典編著『NPO基礎講座・新版』ぎょうせい、2005年。

履修コード	320001・320002
科目名	演習II 演習III
担当者名	溝手 芳計

講義のねらい 食品の安全、南北問題、環境問題、過疎地域問題といったさまざまな問題が、近年、注目を集めています。これらは、農業のあり方、特に多国籍アグリビジネス（農業・食料関連産業）の影響力の増大、WTO体制への移行などと大きく関わっています。ゼミでは、上に掲げたような諸問題の理解と対策の手がかりを求めて、一緒に考えていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール テキストの輪読とディスカッションを中心に進めます。レジュメの作成、発表のやり方、議論の進め方など、集団学習のスキル取得も重視します。

履修上の留意点 ゼミは集団学習・相互修練の場です。世の中答えが一つとは決っていません。異なる意見を出し合って一緒に考えていくうちに理解が深まり、当初は考えられなかった結論に達することもあります。学生の皆さんが相互に疑問を出し合い教えあい意見交換していくことを大切にしてください。ひとりひとりを大切にすることは当然ですが、同時に集団としての規律を守ることも求めます。

成績評価の方法 出席状況、レポートと発表の内容・態度、ゼミ運営や議論への参加状況などを総合的に評価します。

教科書等 授業中に指示します。

参考書等 授業中に指示します。

履修コード	317101・317102
科目名	演習II 演習III
担当者名	光岡 博美

講義のねらい 日本の福祉、社会保障、労働問題を中心とした日本経済の学習。

講義の内容・授業スケジュール テキストに従って各自に報告してもらい、討議する。具体的なゼミの進め方については、参加人数などを考慮して必要な工夫を行う。多数の希望があれば必要に応じて合宿なども実施する。

履修上の留意点 各自の関心に応じて自主的に学習することが望ましいが、最低でもテキストは事前に精読しておくこと。

成績評価の方法 出席状況、レポート報告など総合的に判断する。

教科書等 参加者の意見や希望も考慮して決める。

参考書等 必要に応じて紹介する。

その他 <課題研究の有無> 有

履修コード	317201・317202
科目名	演習II 演習III
担当者名	むらまつ かんじ 村松 幹二

- 講義のねらい** これまでの演習や共同研究において習得した知識にもとづき、各自の問題意識を踏まえて、課題研究の作成を行なう。
- 講義の内容・授業スケジュール** 課題研究では、自身の意見を論理的に構成し、それに関する十分な実証的根拠を示し、相手に伝わる発表を行うことが必要とされる。そのために必要な論理的思考能力、資料収集・整理能力、プレゼンテーション能力を養い、自らの問題意識を卒業研究の形でまとめることを目的とする。課題研究の作成は、テーマの選定、論理の組み立て、資料収集・整理、本文の執筆、内容の報告の順に進める。
- 履修上の留意点** ゼミ形式での発表と個別指導の形で演習を行なう。
- 成績評価の方法** 特別な事情がない限り、毎回出席すること。課題研究の内容を中心に、ゼミへの出席状況、卒業研究作成プロセス、研究のプレゼンテーションなどから総合的に評価する。
- 参考書等** 課題研究の課題に応じて個別に紹介する。

履修コード	318101・318102
科目名	演習II 演習III
担当者名	もりおか じん 森岡 仁

- 講義のねらい** 第2次大戦後の人口転換の結果生じた低出生・低死亡は、人口を少子化させ高齢化させてきました。さらに30年以上に亘って続いてきた少子化はいよいよ人口を絶対的に減少させるまでに至っております。この演習では少子高齢化人口減少の経済的帰結を学びます。
- 講義の内容・授業スケジュール** 人口の移動を一定にすれば、人口は出生によって増加し、死亡によって減少します。したがってこの2要因がどのような組み合わせになっているかによって人口の増加の程度は変化します。現在見られる少子高齢化は低い出生率と低い死亡率の組み合わせの結果であります。経済が近代化する以前においては出生率、死亡率ともに高い水準にありましたが、その後経済の近代化によって低下し、現在の状況に変化しました。2005年から見られる人口減少は死亡が出生を上回ることによって生ずる現象ですが、では何故出生率と死亡率はこのように低い水準に低下したのでしょうか。これら人口要因の変化の過程の裏には経済的、社会的諸要因との密接な関係が存在しています。本演習ではこの関係を研究します。
- 履修上の留意点** 休まず遅れず必ず出席すること。人口問題に関心を持ち、自分の意見を積極的に述べる姿勢が必要です。
- 成績評価の方法** 出席率と平常点
- 教科書** 京極・高橋編『日本の人口減少社会を読み解く』中央法規、2008年。2200円
- 参考書等** 特になし
- その他** <卒業研究の有無> 有。

履修コード	321211・321212
科目名	演習II 演習III
担当者名	森田 佳宏

講義のねらい 会計とは、企業の経営活動の状況を数字によって表現しようとするもので、その具体的な技術が簿記であり、その背後にある理論が会計学といわれるものである。したがって、簿記と会計学は表裏の関係にある。会計学の領域は、大きく財務会計と管理会計とに分けられる。本演習では、財務会計の基礎理論を学ぶことを目的とする。財務会計とは、投資家、債権者、税務当局、消費者など、企業外部の利害関係者に対し、会計情報という形で企業の実態を明らかにする外部報告会計である。さらに、こうした外部報告会計に信頼性を付与するため、資本金5億円以上または負債総額200億円以上の会社、および有価証券の募集・売出しをしようとする会社または有価証券を上場している会社などに対して、公認会計士または監査法人による会計監査が義務づけられている。こうした会計監査も、主として財務会計の領域に属するものである。

講義の内容・授業スケジュール テキストをベースとして、財務会計（会計監査を含む）に関する基礎的な諸問題を取り上げ、解説および学生諸君による報告・討論を行う。

履修上の留意点 特別な事情がない限り、毎回必ず出席すること。

成績評価の方法 いわゆるゼミであるから出席を重視するが、そのほかにレジュメや報告の内容等により、演習への取り組みについて総合的に評価する。

教科書 最初の演習時に指示する。

参考書等 演習時に適宜紹介する。

その他 演習IIおよび演習IIIに「課題研究」を併設する。
また、「財務会計専修課程」を設ける。指定系統科目は以下のとおりである。希望者は、これらの中から5科目以上を修得のこと。
「簿記論」、「上級簿記」、「会計学総論」、「財務会計論」、「会計情報論」、「会計監査論」

履修コード	318901・318902
科目名	演習II 演習III
担当者名	谷敷 正光

講義のねらい テーマ〔戦後日本経済の発展と日本型経済システム〕
3年ゼミは、戦後の日本経済の発展過程を学びます。日本型経済システムの形成はいかにして可能だったか、その破綻の要因は何かなど基本文献や「学術論文」（学会雑誌）を教材に解明します。また、経済の発展過程を経済・人材・学校の側面からも明らかにします。

講義の内容・授業スケジュール 〔前期〕日本の経済成長を復興期、高度成長I期、II期、III期、IV期、安定成長期、バブル経済期に、いかに日本型経済システムを構築したかを基本文献や「学術論文」を使って明らかにします。
〔後期〕戦後の日本を支えてきた日本型経済システムがなぜ破綻したのか、破綻の要因を基本文献や「学術論文」を使って明らかにします。

履修上の留意点 ゼミの合宿には積極的に参加して下さい。4年生まで続けられる人を望みます。

成績評価の方法 出席を基本に、常日頃の発表や論文などで総合評価します。

教科書 授業中に紹介します。

参考書等 「学術論文」は授業中に配布します。

その他 参考文献などは必要に応じて適宜紹介します。
課題研究を併設しています。
＜専修課程認定の有無＞
有り……以下の科目の中から5科目履修すると「専修課程」修了を認定し、経済学部から「専修課程終了認定書」が授与されます。（「専修課程」は履修せず、演習だけの履修でもかまいません。）
教育経済論、景気循環論、応用ミクロ経済学、応用マクロ経済学、日本経済論、日本経済史、西洋経済史、経済史、経済政策、工業政策、農業政策、社会政策、財政学、人口論、マーケティング、中小企業論。
3年ゼミでは、「インターンシップb」（2単位）を併設しています。希望する人は「インターンシップa」（2単位）も併せて履修してください。

履修コード	319601・319602
科目名	演習II 演習III
担当者名	山縣 弘志

講義のねらい 比較経済論
 講義の内容・ テクノロジーの発展が生み出すヴァーチャリティと現実（リアリティ）とのギャップをいかに
 授業スケジュール 埋めるか、わたし達の知恵が問われている。20世紀に顕在化してはまだ未解決の課題—環境、戦
 争、福祉、民族、競争と平等、これらとどう取り組むべきか。市場主義の限界は明らかであり、他
 方で「20世紀社会主義」も対案となりえなかった。ヨーロッパ、ロシアの経験に学び、比較経済論
 の視点から、これらの問題を考えていきたい。
 2年次生は入門の文献、3年次生は専門の文献、4年次生は自主研究のそれぞれ発表によって授
 業を進める。

成績評価の方法 出席、発表、討論への参加を総合評価する。
 教科書 相談の上決める。
 その他 「課題研究」有。
 〔比較経済論〕専修課程
 系統学習に必要な科目 ロシア・東欧経済論 ヨーロッパ経済論 アジア経済論 日本経済論
 国際経済論 アメリカ経済論 貿易論 中国経済論

履修コード	318201・318202
科目名	演習II 演習III
担当者名	吉田 敬一

講義のねらい この演習では大学生生活の総決算として各自の問題意識を踏まえて、課題研究の作成を行ないます。
 講義の内容・ 演習IIIでは、課題研究の作成に向かって、個別指導の形で演習を行ないます。
 授業スケジュール 第一回目の演習の時間に今年度の予定を伝えますので、必ず出席してください。
 成績評価の方法 出席状況、平常点（課題研究作成指導への対応姿勢など）、課題研究の内容を中心に総的に評
 価します。
 教科書 使用しません。
 参考書等 課題研究指導の中で適時に紹介します。

履修コード	314401
科目名	現代経済事情Ⅰ〔ロシアの現在〕
担当者名	クロチコフ、Y.

講義のねらい ロシアは日本に一番近い国です。現代のロシア経済事情を勉強します。
 講義の内容・ 現代ロシア経済のファンダメンタルズとロシア政治システム。ロシア経済の特徴と経済動向。
 授業スケジュール 計画経済下のロシア（ソ連）から市場経済化したロシア。
 民営化の到達点と問題点。
 ロシアの金融政策のメカニズム。ロシアの金融制度。
 ロシアの財政状況。
 ロシア経済と市民生活。インフレ問題。
 失業と労働問題。
 地下経済の活力。
 ロシアの工業、農業、サービス業と商業。
 ロシア教育と経済。
 マイノリティーと民族問題。
 ロシアの国際貿易と国際経済関係。
 地方の経済。
 シベリア・極東の開発と日ロ経済関係。
 新時代の日ロ関係をめざして。

成績評価の方法 レポートを随時書いてもらい、出席を重視する。
 教科書 教科書はありませんので授業中に指示する。
 その他 ノートを取るのには当然のことに。参考書は適宜指示する。

履修コード	314501
科目名	現代経済事情II〔国際協力の考え方と実際〕
担当者名	長瀬 理英

講義のねらい 国際社会の21世紀の目標の一つは貧困根絶にあり、国際協力は大きな役割が期待されています。しかし、一口に「貧困」と言っても様々なとらえ方があり、その処方せんも一樣ではありません。他方、実際の国際協力には貧困以外の目標もあり、実践面にはいくつかの課題に直面しています。これらについて「援助する側」だけでなく、「援助される側」からも考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール (1) オリエンテーション、(2～4) 現場から見る貧困と南北問題、(5～7) 貧困の定義とアプローチ、(8～10) 政府による援助 (ODA) の考え方と実際、(11～13) ODAの課題と改善に向けて、(14～15) NGO・市民による援助の考え方と実際

成績評価の方法 レポートに基づき評価します。中間レポート試験2回、定期レポート試験1回。

教科書 各授業でプリントを配布します。

参考書等 フーベルト・ザウバー『ダーウィンの悪夢』(ドキュメンタリー映画、2004年)
外務省『ODA白書』各年版
ロバート・チェンバース『第三世界の農村開発』明石書店1995年

履修コード	314601
科目名	現代経済事情III〔今日の日本の医療現場〕
担当者名	佐藤 公美子

講義のねらい 病院に一度も行かず、生涯を終える人は少ないでしょう。さらに、高齢化が進む日本にとって、医療に関わるマンパワーが今後ますます必要になるでしょう。日本の医療は今、どうなっているのでしょうか。

講義の内容・授業スケジュール わが国の医療は近年、高度化、専門化、複雑化及び医療事故の多発を背景に、医療サービスの質を確保する方策が検討されています。今日の現状を把握したうえで、多面的な視点から日本の医療について考察していきます。

履修上の留意点 ①日本の医療・看護の歴史的背景、②日本の医療・看護の現状分析、③医療・看護の日米比較、これら3つの主テーマを軸に、現場の実際の声を交えながら、講義を展開します。

成績評価の方法 話題提供、問題提起をしますので、その課題に対して質問や意見、感想を持ちながら講義に臨んでください。

教科書 ①出席+講義に関する課題
②中間レポート
③科目まとめレポート
にて評価します。
*定期試験は行いません。

参考書等 指定はしません。
皆さんの希望により随時紹介します。

履修コード	314701
科目名	現代経済事情IV〔企業倒産の事例研究〕
担当者名	阿南 俊昭

講義のねらい 激変する世の中の動きを企業の倒産(失敗)から見つめ、そこから何かを学び、今後に生かしていくスキルを身につけてもらうことを目的とします。講師は(株)帝国データバンクの現職です。

講義の内容・授業スケジュール (1) イントロダクション～駒澤大学の失敗から学ぶ～、(2)～(15) 最近の倒産動向、「企業」とは何か?、金融機関の役割、反社会勢力と経済、企業とコンプライアンス、取り込み詐欺、消費者保護行政による官製不況、業界別事例研究
※講義の順序や内容などは変更の可能性があります。

履修上の留意点 特になし。

成績評価の方法 期末テスト、出席、授業への参加度合い

教科書 なし。

参考書等 講義に必要な資料は授業中に配布しますが、下記出版物を駒澤大学図書館に入手していただきますので業界把握に役立ててください。
TDB REPORT 業界動向(年6回、偶数月発行)(株)帝国データバンク刊

専門教育

Ⅲ 他学部履修科目

履修コード	324101
科目名	西洋法制史
担当者名	^{きたの} 北野 かほる

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造と法構造
 - 第2章 中世(1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第3章 近世(1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造

履修上の留意点
成績評価の方法
教科書
参考書等
その他

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

論文式筆記試験(後期試験期間・年1回)

特に指定しない。

年度当初に指示する。

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度は講義内容を大幅に変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

履修コード	324201
科目名	法思想史
担当者名	高橋 洋城

講義のねらい 法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだということを自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にはほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

講義の内容・授業スケジュール

以下に掲げる時系列に沿った講義を柱とし、その過程でいくつかの重要な法概念については、時代横断的な考察をも交えていく。

第 I 部 古典的自然法論とその背景の世界像

[1] 講義のねらい、対象、重点、注意事項などについて / プラトンの法思想：『国家』を中心に考察する

[2] アリストテレスの法思想：アリストテレス哲学の基礎理論を考察する

[3] アリストテレスの法思想（続）：正義論、政治体制論を中心に考察する

[4] キリスト教とローマ法：ヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたキリスト教およびローマ法に由来する諸概念・思想について概説的な紹介を行なう。

[5] 中世自然法論：トマス・アクィナスの自然法論を中心に論ずる。題材は主として『神学大全』に拠る。

第 II 部 近代自然法論の思想

[6] 近代的世界像と社会契約説総説

[7] ホブズズの法思想：『リヴァイアサン』を中心に考察する

[8] ロックの法思想：『統治論』を中心に考察する。また特に、所有権論史におけるロック所有権論の意義に着目する

[9] ルソーの法思想：『社会契約論』『不平等起源論』を題材に考察する / 近代自然法論まとめ

[10] カントの哲学と法思想 批判哲学の意義とその法理論への展開を考察する。特にカントに於ける「公論」の意義を検討する

第 III 部 19世紀以降の法思想・法律学の潮流

[11] 近代市民社会の思想：18世紀～19世紀の自然法論の果たした役割、およびヘーゲル法哲学について論ずる

[12] 19世紀の法律学の動向：歴史法学・概念法学についてとりあげる。

[13] 概念法学批判

[14] 法実証主義の諸形態

[15] 現代法理論の動向

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んで上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験と平常点によって評価する。平常点には小テスト、課題レポート等が含まれるが、これらは加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

法思想史に関する概説書の例として

・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。

・深田三徳、濱真一郎（編）『よくわかる法哲学・法思想』（ミネルヴァ書房 2,730円）；田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ 1,800円）：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。

上記の他、講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

履修コード	325401
科目名	国際関係論
担当者名	三船 恵美

講義のねらい 国際関係論の基本的な概念や理論、現代国際関係の枠組み、国際関係における諸問題などについて講義するとともに、受講生の専門知識と理解を深めることを講義の目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

前期

1. 国際関係を学ぶ
2. アクター
3. 国益とパワー
4. 日本の領域と日韓関係
5. 日本の領域と日中関係
6. 安全保障（1）：安全保障の概念と類型
7. 安全保障（2）人道的介入
8. 安全保障（3）大量破壊兵器の拡散
9. 安全保障（4）テロリズム
10. グローバリズムとリージョナリズム
11. EU
12. 東アジア共同体の構想とその課題
13. 地球環境レジームの形成
14. 前期まとめ
15. 試験

後期

1. 「人間の安全保障」と人権
2. 国際開発と国際援助
3. 難民保護とUNHCR、
4. 国際関係を分析する4つの見方
5. 勢力均衡とバンドワゴン
6. 同盟の力学
7. 覇権による安定
8. リベラリズム
9. ネオ・リベラリズム
10. ゲーム理論と国際関係
11. 南北問題と構造的暴力
12. コンストラクティヴィズム
13. 国際政治と国際経済の連動
14. 後期まとめ
15. 試験

履修上の留意点

就活や部活で欠席した人を特別扱いしません。配布物は、理由の如何に関わらず、一度しか配りません。欠席した場合の授業内容は、各自の責任で補って下さい。

成績評価の方法
教科書
参考書等

試験（前期40%＋後期60%）。

山田高敬・大矢根聡編『グローバル社会の国際関係論』有斐閣、2006年、2100円。
授業中に紹介します。

他学部
履修科目

履修コード	326001
科目名	地方自治法
担当者名	富井 幸雄

講義のねらい 日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール 講義は大旨以下のスケジュールで行う。前期は、地方自治の概念、憲法と地方自治、地方公共団体の概念、地方公共団体の事務、住民自治を順に勉強していく。後期は、地方公共団体の組織、自治立法権、自主財政権、公の施設、国と地方公共団体の関係を順に勉強する。なお、前後期それぞれ最後の授業時に試験を実施する。

成績評価の方法 前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教科書 富井幸雄『新地方自治法読本』2008年4月刊予定（内外出版）

参考書等 『地方自治判例百選（第3版）』（別冊ジュリスト）。

その他 講義では頻繁に法律の条文に言及するので、その都度チェックすること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

履修コード	326801
科目名	倒産処理法
担当者名	鈴木 貴博

講義のねらい 破産法を中心に倒産処理法制の概要とその基本事項に関する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール 倒産処理手続は、債務者・債権者・担保権者など多数の利害関係人の利益が錯綜し、債権者の平等な取扱いや、破産者の再起更生、社会経済上の不利益の回避といった要請に応え、実体法の規定に配慮しつつ、手続の基準として多数の利害関係人を納得させるように機能することが期待される。このような様々な実体的法律関係の修正・処理のための法制度の特徴と概要を学んでいく。

1. 倒産法制の概観
2. 破産原因・破産能力
3. 破産手続開始申立てとその効果
4. 別除権・相殺権
5. 破産財団をめぐる法律関係
6. 破産管財人の法的地位
7. 財団債権・取戻権
8. 否認権・配当
9. 免責・破産犯罪
10. 消費者倒産

履修上の留意点 民事法関連科目（民法・商法・民事訴訟法など）を履修済みか履修中であることが望ましい。その他、受講にあたって必要なことは開講時に指示する。

成績評価の方法 簡単なレポートと学期末試験により評価される。

- 教科書** 徳田和幸『ブレップ破産法』（弘文堂、第4版、2008年）¥1,260 ISBN978-4-335-31309-7
- 参考書等**
- ①伊藤眞『破産法・民事再生法』（有斐閣、2007年）¥6,615 978-4-641-13498-0
 - ②山本和彦・中西正・笠井正俊・沖野眞己・水元宏典『倒産法概説』（弘文堂、2006年）¥4,725 978-4-335-35373-4 C3032
 - ③山本和彦『倒産処理法入門』（有斐閣、第3版、2008年）¥2,205 978-4-641-13534-5
 - ④青山善充・伊藤眞・松下淳一『倒産判例百選』（有斐閣、第4版、2006）¥2,520 978-4-641-11484-6

IV 随 意 科 目

履修コード	—
科目名	英語（海外演習）
担当者名	—

講義の内容・
授業スケジュール

この科目は、本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期語学セミナーでの3～4週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われる英語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。ただし、春期クインズランド大学（オーストラリア）のセミナーに関しては、4年次生は参加できません。

成績評価の方法
その他の

現地演習後に各大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

履修コード	—
科目名	フランス語（海外演習）
担当者名	—

講義の内容・
授業スケジュール

この科目は、本学の海外協定校であるプロヴァンス大学（フランス）における短期語学セミナーでの3週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われるフランス語随意科目である。受講対象学生は1年次生から3年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後にプロヴァンス大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他の

受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

履修コード	—
科目名	中国語（海外演習）
担当者名	—

講義の内容・
授業スケジュール

この科目は、本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期語学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心として行われる中国語随意科目である。受講対象学生は1年次生から4年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他の

受講希望者は、国際センターの短期語学セミナーに参加申込みをする。

